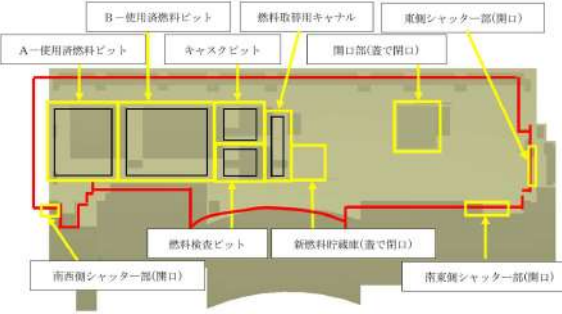


赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

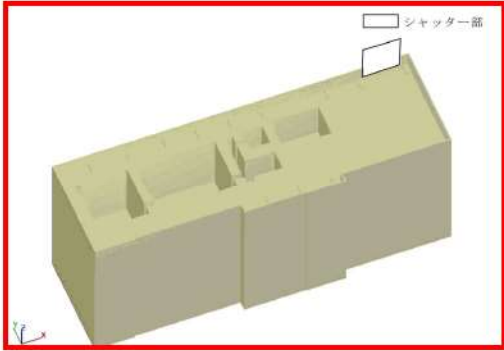
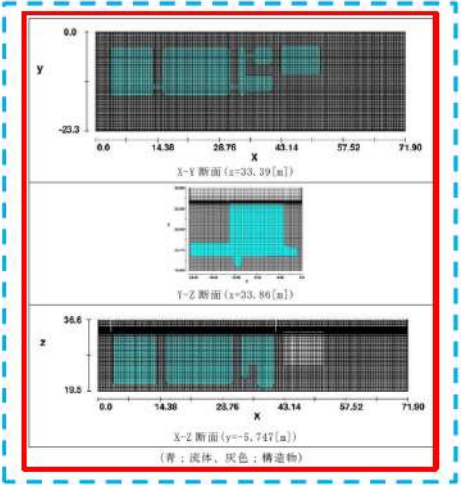
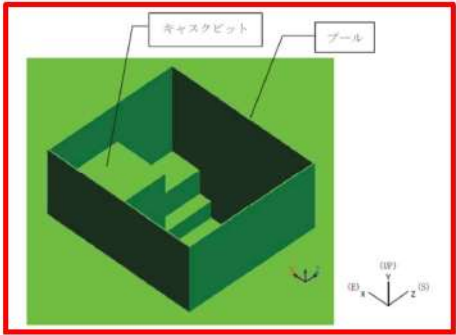
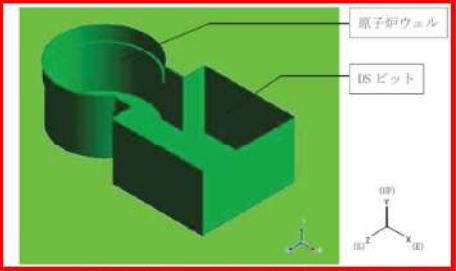
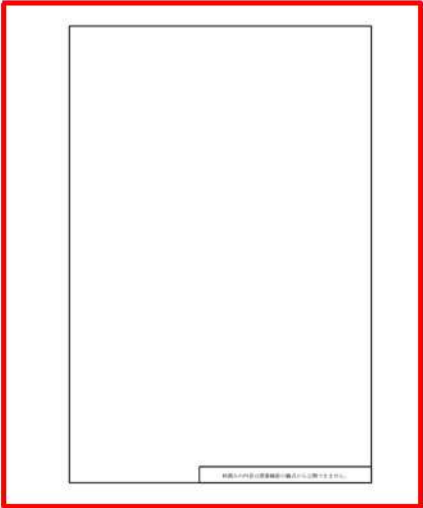
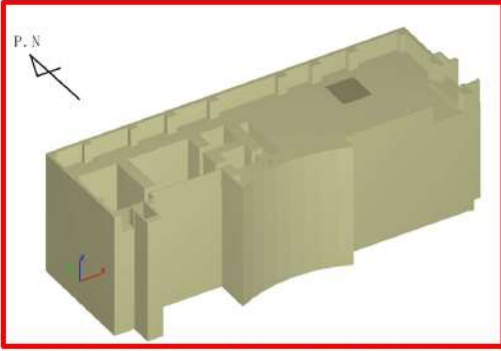

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																						
<p style="text-align: center;">表1 モデル化範囲 解析条件 (1/2)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>モデル化範囲</td> <td>・使用済燃料ピットのあるフロアレベルの全体（図1）</td> </tr> <tr> <td>境界条件</td> <td>・シャッター位置からは水が流出するものとする。 ・上部は開放とする。他は壁による境界を設定。</td> </tr> <tr> <td>初期水位</td> <td>・E.L.+33.21m(使用済燃料ピット水位高警報設定値 H.W.L)</td> </tr> <tr> <td>評価用地震動</td> <td>・応答スペクトルに基づく地震動評価結果による基準地震動 Ss(以下、応答スペクトルベース)、断層モデルを用いた手法による地震動評価結果による基準地震動 Sa 及び震源を特定せず策定する基準地震動 Ss (以下、断層モデルベース等) による原子炉周辺建屋 E.L.+33.6m の応答を使用する。 ・応答スペクトルベース (1波)、断層モデルベース等 (18波) に対し、水平1方向と鉛直方向の地震力の組合せ (EW 方向及び UD 方向、NS 方向及び V 方向) を基本として、時刻歴により評価する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">表1 モデル化範囲 解析条件 (2/2)</td> </tr> <tr> <td>解析コード</td> <td>・FLOW-3D Ver. 9.2.1 (流体解析ソフトウェア 参考参照) ・自由表面 (及び2流体界面) の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することを特徴としている。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNG タンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。(2次元メッシュ図：図3、解析モデル諸元：表2、3)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>・使用済燃料ラックは考慮せず、ピット内の水が全て揺動するとした。 ・ピット周りに設置されているフェンス等による流出に対する抵抗は考慮しない。</td> </tr> </table>	モデル化範囲	・使用済燃料ピットのあるフロアレベルの全体（図1）	境界条件	・シャッター位置からは水が流出するものとする。 ・上部は開放とする。他は壁による境界を設定。	初期水位	・E.L.+33.21m(使用済燃料ピット水位高警報設定値 H.W.L)	評価用地震動	・応答スペクトルに基づく地震動評価結果による基準地震動 Ss(以下、応答スペクトルベース)、断層モデルを用いた手法による地震動評価結果による基準地震動 Sa 及び震源を特定せず策定する基準地震動 Ss (以下、断層モデルベース等) による原子炉周辺建屋 E.L.+33.6m の応答を使用する。 ・応答スペクトルベース (1波)、断層モデルベース等 (18波) に対し、水平1方向と鉛直方向の地震力の組合せ (EW 方向及び UD 方向、NS 方向及び V 方向) を基本として、時刻歴により評価する。	表1 モデル化範囲 解析条件 (2/2)		解析コード	・FLOW-3D Ver. 9.2.1 (流体解析ソフトウェア 参考参照) ・自由表面 (及び2流体界面) の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することを特徴としている。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNG タンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。(2次元メッシュ図：図3、解析モデル諸元：表2、3)	その他	・使用済燃料ラックは考慮せず、ピット内の水が全て揺動するとした。 ・ピット周りに設置されているフェンス等による流出に対する抵抗は考慮しない。	<p style="text-align: center;">表8-1 解析条件</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>モデル化範囲</td> <td>・使用済燃料プール、原子炉ウエル、DS ピット</td> </tr> <tr> <td>境界条件</td> <td>・使用済燃料プール等の周辺に設置されているカーブ上端高さ (燃料取替床の床面高さ+0.1m) 以上に上昇し、プール外側に溢れた水を溢水量として計算</td> </tr> <tr> <td>初期水位</td> <td>・通常水位 (N.W.L.)、O.P.+32.895m (オーバーフロー水位)</td> </tr> <tr> <td>評価用地震動</td> <td>・原子炉建屋 O.P.+22.5m の応答を使用 ・基準地震動 Ss (Ss=01：応答スペクトルに基づく地震動) に対し、NS 方向と UD 方向、EW 方向と V 方向の時刻歴を用いる。</td> </tr> <tr> <td>解析コード</td> <td>・Fluent Ver.14.5 (汎用流体解析コード) ・自由表面 (及び2流体界面) の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することができる。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNG タンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>・使用済燃料プール等の内部の構造物はキャスクピットと底面段差を考慮するが、使用済燃料貯蔵ラック、蒸気乾燥器及びシュラウドヘッドは考慮しない。 ・キャスクピット内プールは中実構造とする。 ・プール周囲に設置されているフェンス等による溢水の抑制効果は考慮しない。 ・使用済燃料プール内部の水は通常水位で一定で管理されているものとする。</td> </tr> </table>	モデル化範囲	・使用済燃料プール、原子炉ウエル、DS ピット	境界条件	・使用済燃料プール等の周辺に設置されているカーブ上端高さ (燃料取替床の床面高さ+0.1m) 以上に上昇し、プール外側に溢れた水を溢水量として計算	初期水位	・通常水位 (N.W.L.)、O.P.+32.895m (オーバーフロー水位)	評価用地震動	・原子炉建屋 O.P.+22.5m の応答を使用 ・基準地震動 Ss (Ss=01：応答スペクトルに基づく地震動) に対し、NS 方向と UD 方向、EW 方向と V 方向の時刻歴を用いる。	解析コード	・Fluent Ver.14.5 (汎用流体解析コード) ・自由表面 (及び2流体界面) の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することができる。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNG タンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。	その他	・使用済燃料プール等の内部の構造物はキャスクピットと底面段差を考慮するが、使用済燃料貯蔵ラック、蒸気乾燥器及びシュラウドヘッドは考慮しない。 ・キャスクピット内プールは中実構造とする。 ・プール周囲に設置されているフェンス等による溢水の抑制効果は考慮しない。 ・使用済燃料プール内部の水は通常水位で一定で管理されているものとする。	<p style="text-align: center;">表8-1 解析条件</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>モデル化範囲</td> <td>・使用済燃料ピットのあるフロアレベル全体 ・建屋図からピット及び駆体寸法を読み取り、ピット形状を模擬した。</td> </tr> <tr> <td>境界条件</td> <td>・シャッター位置及び室内外への出入口からは水が流出するものとする。 ・上部は大気開放条件とする。 ・その他のモデル化範囲外周は壁境界を設定し、溢水の跳ね返りを考慮する。 ・直で閉口している床面開口部 (新燃料貯蔵庫、機器搬入口) からの流出は考慮しない。また、排水ドレーン口は全開とする。</td> </tr> <tr> <td>初期水位</td> <td>T.P.32.73m (使用済燃料ピット水位高警報設定値 H.W.L)</td> </tr> <tr> <td>評価用地震動</td> <td>・以下の基準地震動による燃料取扱棟 (T.P.33.1m) の応答時刻歴波を使用する。 応答スペクトルベース : Sa-1 断層モデルベース : Sa2-1, Sa2-2, Sa2-3, Sa2-4 Sa2-5, Sa2-6, Sa2-7, Sa2-8, Sa2-9, Sa2-10, Sa2-11, Sa2-12, Sa2-13, Sa3-5 ・以下の基準地震動については、詳細設計段階で3次元流動解析を実施する。 断層モデルベース等 : Sa2-5, Sa2-6, Sa2-7, Sa2-8, Sa2-9, Sa2-10, Sa2-11, Sa2-12, Sa2-13, Sa3-5</td> </tr> <tr> <td>解析コード</td> <td>・特定の方向性を持たない応答スペクトルベースに対しては、水平1方向と鉛直方向 (NS+UD 及び EW+UD) を組合せ、時刻歴により評価を行う。 ・断層モデルベース等に対しては、水平2方向 (NS 及び EW) と鉛直方向 (UD) を組合せ、時刻歴により評価を行う。 FLOW-3D Ver.9.2.1 (流体解析ソフトウェア) ・自由表面 (及び2流体界面) の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することを特徴としている。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNG タンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>・使用済燃料ラックは考慮せず、ピット内の水が全て揺動するとした。 ・ピット周りに設置されているフェンス等による流出に対する抵抗は考慮しない。 ・A-使用済燃料ピット、B-使用済燃料ピット、燃料取扱用キャナル、キャスクピット、燃料検査ピットのすべてが水張りされた状態とする。</td> </tr> </table>	モデル化範囲	・使用済燃料ピットのあるフロアレベル全体 ・建屋図からピット及び駆体寸法を読み取り、ピット形状を模擬した。	境界条件	・シャッター位置及び室内外への出入口からは水が流出するものとする。 ・上部は大気開放条件とする。 ・その他のモデル化範囲外周は壁境界を設定し、溢水の跳ね返りを考慮する。 ・直で閉口している床面開口部 (新燃料貯蔵庫、機器搬入口) からの流出は考慮しない。また、排水ドレーン口は全開とする。	初期水位	T.P.32.73m (使用済燃料ピット水位高警報設定値 H.W.L)	評価用地震動	・以下の基準地震動による燃料取扱棟 (T.P.33.1m) の応答時刻歴波を使用する。 応答スペクトルベース : Sa-1 断層モデルベース : Sa2-1, Sa2-2, Sa2-3, Sa2-4 Sa2-5, Sa2-6, Sa2-7, Sa2-8, Sa2-9, Sa2-10, Sa2-11, Sa2-12, Sa2-13, Sa3-5 ・以下の基準地震動については、詳細設計段階で3次元流動解析を実施する。 断層モデルベース等 : Sa2-5, Sa2-6, Sa2-7, Sa2-8, Sa2-9, Sa2-10, Sa2-11, Sa2-12, Sa2-13, Sa3-5	解析コード	・特定の方向性を持たない応答スペクトルベースに対しては、水平1方向と鉛直方向 (NS+UD 及び EW+UD) を組合せ、時刻歴により評価を行う。 ・断層モデルベース等に対しては、水平2方向 (NS 及び EW) と鉛直方向 (UD) を組合せ、時刻歴により評価を行う。 FLOW-3D Ver.9.2.1 (流体解析ソフトウェア) ・自由表面 (及び2流体界面) の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することを特徴としている。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNG タンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。	その他	・使用済燃料ラックは考慮せず、ピット内の水が全て揺動するとした。 ・ピット周りに設置されているフェンス等による流出に対する抵抗は考慮しない。 ・A-使用済燃料ピット、B-使用済燃料ピット、燃料取扱用キャナル、キャスクピット、燃料検査ピットのすべてが水張りされた状態とする。	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 【モデル化範囲、境界条件及びその他】(大飯と同様) ・女川は使用済燃料プールのみをモデル化しているのに対し、泊は使用済燃料ピットのあるフロア全体をモデル化範囲とし、エリアの外壁からの溢水の跳ね返りを考慮しているが、泊では初期条件として使用済燃料ピットに接続されるすべてのピットに水張りされた条件としており、さらに、溢水量は、ピットからの溢水量が最大到達時のピーク値を用いることにより保守的な評価としている。</p> <p>【初期水位】(大飯と同様) ・プラント設計の相違により、設定値が異なる。</p> <p>【評価用地震動】 ・泊は前述の通り、すべての基準地震動に対して3次元流動解析を行う方針としている。 ・泊の断層モデルベース等の地震動による評価では、断層モデルベース波は特定の方向性を有する地震動であることから、水平2方向+鉛直方向の同時入力により解析を実施している。 ・なお、特定の方向性を持たないスペクトルベースの地震動については、女川と同様の評価手法としている。</p> <p>【解析コード】(大飯と同様) ・使用している解析コードが異なるが、共にVOF法を用いた解析コードであり、同様の検証を行っている。</p>
モデル化範囲	・使用済燃料ピットのあるフロアレベルの全体（図1）																																								
境界条件	・シャッター位置からは水が流出するものとする。 ・上部は開放とする。他は壁による境界を設定。																																								
初期水位	・E.L.+33.21m(使用済燃料ピット水位高警報設定値 H.W.L)																																								
評価用地震動	・応答スペクトルに基づく地震動評価結果による基準地震動 Ss(以下、応答スペクトルベース)、断層モデルを用いた手法による地震動評価結果による基準地震動 Sa 及び震源を特定せず策定する基準地震動 Ss (以下、断層モデルベース等) による原子炉周辺建屋 E.L.+33.6m の応答を使用する。 ・応答スペクトルベース (1波)、断層モデルベース等 (18波) に対し、水平1方向と鉛直方向の地震力の組合せ (EW 方向及び UD 方向、NS 方向及び V 方向) を基本として、時刻歴により評価する。																																								
表1 モデル化範囲 解析条件 (2/2)																																									
解析コード	・FLOW-3D Ver. 9.2.1 (流体解析ソフトウェア 参考参照) ・自由表面 (及び2流体界面) の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することを特徴としている。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNG タンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。(2次元メッシュ図：図3、解析モデル諸元：表2、3)																																								
その他	・使用済燃料ラックは考慮せず、ピット内の水が全て揺動するとした。 ・ピット周りに設置されているフェンス等による流出に対する抵抗は考慮しない。																																								
モデル化範囲	・使用済燃料プール、原子炉ウエル、DS ピット																																								
境界条件	・使用済燃料プール等の周辺に設置されているカーブ上端高さ (燃料取替床の床面高さ+0.1m) 以上に上昇し、プール外側に溢れた水を溢水量として計算																																								
初期水位	・通常水位 (N.W.L.)、O.P.+32.895m (オーバーフロー水位)																																								
評価用地震動	・原子炉建屋 O.P.+22.5m の応答を使用 ・基準地震動 Ss (Ss=01：応答スペクトルに基づく地震動) に対し、NS 方向と UD 方向、EW 方向と V 方向の時刻歴を用いる。																																								
解析コード	・Fluent Ver.14.5 (汎用流体解析コード) ・自由表面 (及び2流体界面) の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することができる。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNG タンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。																																								
その他	・使用済燃料プール等の内部の構造物はキャスクピットと底面段差を考慮するが、使用済燃料貯蔵ラック、蒸気乾燥器及びシュラウドヘッドは考慮しない。 ・キャスクピット内プールは中実構造とする。 ・プール周囲に設置されているフェンス等による溢水の抑制効果は考慮しない。 ・使用済燃料プール内部の水は通常水位で一定で管理されているものとする。																																								
モデル化範囲	・使用済燃料ピットのあるフロアレベル全体 ・建屋図からピット及び駆体寸法を読み取り、ピット形状を模擬した。																																								
境界条件	・シャッター位置及び室内外への出入口からは水が流出するものとする。 ・上部は大気開放条件とする。 ・その他のモデル化範囲外周は壁境界を設定し、溢水の跳ね返りを考慮する。 ・直で閉口している床面開口部 (新燃料貯蔵庫、機器搬入口) からの流出は考慮しない。また、排水ドレーン口は全開とする。																																								
初期水位	T.P.32.73m (使用済燃料ピット水位高警報設定値 H.W.L)																																								
評価用地震動	・以下の基準地震動による燃料取扱棟 (T.P.33.1m) の応答時刻歴波を使用する。 応答スペクトルベース : Sa-1 断層モデルベース : Sa2-1, Sa2-2, Sa2-3, Sa2-4 Sa2-5, Sa2-6, Sa2-7, Sa2-8, Sa2-9, Sa2-10, Sa2-11, Sa2-12, Sa2-13, Sa3-5 ・以下の基準地震動については、詳細設計段階で3次元流動解析を実施する。 断層モデルベース等 : Sa2-5, Sa2-6, Sa2-7, Sa2-8, Sa2-9, Sa2-10, Sa2-11, Sa2-12, Sa2-13, Sa3-5																																								
解析コード	・特定の方向性を持たない応答スペクトルベースに対しては、水平1方向と鉛直方向 (NS+UD 及び EW+UD) を組合せ、時刻歴により評価を行う。 ・断層モデルベース等に対しては、水平2方向 (NS 及び EW) と鉛直方向 (UD) を組合せ、時刻歴により評価を行う。 FLOW-3D Ver.9.2.1 (流体解析ソフトウェア) ・自由表面 (及び2流体界面) の大変形を伴う複雑な3次元流動現象を精度よく計算することを特徴としている。 ・一般産業施設の主要な解析実績としては、液体燃料やLNG タンクのスロッシング解析、インクジェット解析、鋳造湯流れ凝固解析等が挙げられる。																																								
その他	・使用済燃料ラックは考慮せず、ピット内の水が全て揺動するとした。 ・ピット周りに設置されているフェンス等による流出に対する抵抗は考慮しない。 ・A-使用済燃料ピット、B-使用済燃料ピット、燃料取扱用キャナル、キャスクピット、燃料検査ピットのすべてが水張りされた状態とする。																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
<p>表2 解析領域とメッシュ数</p> <table border="1" data-bbox="143 288 658 403"> <thead> <tr> <th>解析領域</th> <th>メッシュ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>EW方向 0.0~71.9 [m]</td> <td rowspan="3">240(EW)×90(NS)×70(UD) =1,512,000</td> </tr> <tr> <td>NS方向 -23.3~ 0.0 [m]</td> </tr> <tr> <td>UD方向 19.5~36.6 [m]</td> </tr> </tbody> </table> <p>表3 物性値</p> <table border="1" data-bbox="253 767 548 882"> <thead> <tr> <th colspan="2">水 (SI単位系)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粘性係数</td> <td>0.001 [Pa・s]</td> </tr> <tr> <td>密度</td> <td>1,000 [kg/m³]</td> </tr> </tbody> </table>	解析領域	メッシュ数	EW方向 0.0~71.9 [m]	240(EW)×90(NS)×70(UD) =1,512,000	NS方向 -23.3~ 0.0 [m]	UD方向 19.5~36.6 [m]	水 (SI単位系)		粘性係数	0.001 [Pa・s]	密度	1,000 [kg/m ³]	<p>表8-2 使用済燃料プールの解析領域とメッシュ数</p> <table border="1" data-bbox="779 280 1200 379"> <thead> <tr> <th>解析領域</th> <th>総メッシュ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NS方向 0~92.4[m]</td> <td rowspan="3">5,730,000</td> </tr> <tr> <td>EW方向 0~94.235[m]</td> </tr> <tr> <td>UD方向 0~26.92[m]</td> </tr> </tbody> </table> <p>表8-3 原子炉ウェル及びDSピットの解析領域とメッシュ数</p> <table border="1" data-bbox="734 451 1245 566"> <thead> <tr> <th>解析領域</th> <th>総メッシュ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NS方向^{※1} -46.2~46.2[m]</td> <td rowspan="3">5,890,000</td> </tr> <tr> <td>EW方向^{※1} -45.89~59.27[m]</td> </tr> <tr> <td>UD方向^{※2} 4.2~26.92[m]</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 水平方向の原点は、原子炉ウェルの中心点を0[m]とした。 ※2 UD方向の原点は、使用済燃料プールの底面を0[m]とした。</p> <p>表8-4 物性値</p> <table border="1" data-bbox="813 807 1162 898"> <thead> <tr> <th colspan="2">水</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粘性係数</td> <td>0.00067 [Pa・s]</td> </tr> <tr> <td>密度</td> <td>990 [kg/m³]</td> </tr> </tbody> </table>	解析領域	総メッシュ数	NS方向 0~92.4[m]	5,730,000	EW方向 0~94.235[m]	UD方向 0~26.92[m]	解析領域	総メッシュ数	NS方向 ^{※1} -46.2~46.2[m]	5,890,000	EW方向 ^{※1} -45.89~59.27[m]	UD方向 ^{※2} 4.2~26.92[m]	水		粘性係数	0.00067 [Pa・s]	密度	990 [kg/m ³]	<p>表8-2 使用済燃料ピットの解析領域とメッシュ数</p> <table border="1" data-bbox="1294 280 1854 411"> <thead> <tr> <th>解析領域</th> <th>メッシュ数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>X方向 -0.5~58.9[m]</td> <td rowspan="3">[]</td> </tr> <tr> <td>Y方向 -20.5~2.8[m]</td> </tr> <tr> <td>Z方向 19.9~36.1[m]</td> </tr> </tbody> </table> <p>[] 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p> <p>表8-3 物性値</p> <table border="1" data-bbox="1406 799 1742 906"> <thead> <tr> <th colspan="2">水 (SI単位系)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>粘性係数</td> <td>0.001 [Pa・s]</td> </tr> <tr> <td>密度</td> <td>1,000 [kg/m³]</td> </tr> </tbody> </table> <p>図8-5 使用済燃料ピット等の解析領域（赤線）</p> 	解析領域	メッシュ数	X方向 -0.5~58.9[m]	[]	Y方向 -20.5~2.8[m]	Z方向 19.9~36.1[m]	水 (SI単位系)		粘性係数	0.001 [Pa・s]	密度	1,000 [kg/m ³]	<p>【大飯】 記載箇所の相違 大飯との比較のため、「添付資料2 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水影響評価」の記載を貼り付けた。</p> <p>【女川】 設備名称の相違 設計方針の相違 プラント設計の相違による。</p> <p>【大飯・女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【大飯・女川】 記載方針の相違 泊は使用済燃料ピットのあるフロア全体をモデル化範囲としていることから、解析領域を図で示している。</p>
解析領域	メッシュ数																																												
EW方向 0.0~71.9 [m]	240(EW)×90(NS)×70(UD) =1,512,000																																												
NS方向 -23.3~ 0.0 [m]																																													
UD方向 19.5~36.6 [m]																																													
水 (SI単位系)																																													
粘性係数	0.001 [Pa・s]																																												
密度	1,000 [kg/m ³]																																												
解析領域	総メッシュ数																																												
NS方向 0~92.4[m]	5,730,000																																												
EW方向 0~94.235[m]																																													
UD方向 0~26.92[m]																																													
解析領域	総メッシュ数																																												
NS方向 ^{※1} -46.2~46.2[m]	5,890,000																																												
EW方向 ^{※1} -45.89~59.27[m]																																													
UD方向 ^{※2} 4.2~26.92[m]																																													
水																																													
粘性係数	0.00067 [Pa・s]																																												
密度	990 [kg/m ³]																																												
解析領域	メッシュ数																																												
X方向 -0.5~58.9[m]	[]																																												
Y方向 -20.5~2.8[m]																																													
Z方向 19.9~36.1[m]																																													
水 (SI単位系)																																													
粘性係数	0.001 [Pa・s]																																												
密度	1,000 [kg/m ³]																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図2 解析モデルの概要図</p>  <p>※メッシュ設定は、図に示すように気液界面及び建屋構造物不連続部を密に設定している。</p> <p>図3 2次元メッシュ図</p>	 <p>図8-5 使用済燃料プールの解析モデル図</p>  <p>図8-6 原子炉ウェル及びDSピットの解析モデル図</p>  <p>図8-7 使用済燃料ピットの3次元メッシュ図</p> <p>※メッシュ設定は、図に示すように気液界面及び建屋構造物不連続部を密に設定している。</p> <p>図8-7 使用済燃料ピットの3次元メッシュ図</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	 <p>図8-6 使用済燃料ピットの解析モデル図</p>  <p>図8-7 使用済燃料ピットの3次元メッシュ図</p> <p>※メッシュ設定は、図に示すように気液界面及び建屋構造物不連続部を密に設定している。</p> <p>図8-7 使用済燃料ピットの3次元メッシュ図</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【大飯・女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違による。</p> <p>【大飯・女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 女川は原子炉ウェル及びDSピットを使用済燃料プールとは別にモデル化し解析を実施しているのに対し、泊は使用済燃料ピット等を一体としてモデル化し解析を実施している。（大飯と同様）</p> <p>【女川】 記載方針の相違 大飯審査実績の反映</p> <p>【大飯】 記載箇所の相違 大飯との比較のため、「添付資料2 使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水影響評価」の記載（青破線枠内）を貼り付けた。</p> <p>記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																									
<p>基準地震動Ssにおける使用済燃料ピットのスロッシングによる最大到達溢水時の溢水量を表2.4.4-1に、使用済燃料ピット水位を表2.4.4-2に示す。</p> <p style="text-align: center;">表2.4.4-1 スロッシングによる溢水量</p> <table border="1" data-bbox="123 726 674 810"> <tr> <td>基準地震動 Ss</td> <td>EW 方向、UD 方向</td> <td>41.12m³</td> </tr> <tr> <td>基準地震動 Ss</td> <td>NS 方向、UD 方向</td> <td>5.48m³</td> </tr> </table>	基準地震動 Ss	EW 方向、UD 方向	41.12m ³	基準地震動 Ss	NS 方向、UD 方向	5.48m ³	<p>8. 2 スロッシングによる溢水量（解析結果）</p> <p>基準地震動Ssに対する使用済燃料プール及び原子炉ウェル・DSピットのスロッシングによる溢水量を表8-5に示す。また、スロッシングによる溢水量の時間変化を図8-9及び図8-10に示す。</p> <p>地震起因による溢水影響評価に用いる溢水量は、使用済燃料プールの溢水量の多いEW+UD方向の解析結果にさらに10%の余裕を見込んだ上で、小数第1位を切り上げ処理し、41m³とした。また、同様に、定検時に水が張られる原子炉ウェル・DSピットも含めたスロッシングによる溢水量は107m³とした。</p> <p style="text-align: center;">表8-5 スロッシングによる溢水量（解析結果）</p> <table border="1" data-bbox="705 694 1263 821"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価ケース</th> <th colspan="2">解析結果[m³]</th> <th rowspan="2">評価に用いる溢水量[m³]</th> </tr> <tr> <th>使用済燃料プール</th> <th>原子炉ウェル及びDSピット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">Ss-D1</td> <td>Case1：EW+UD方向</td> <td>37</td> <td rowspan="2">41 (107%)</td> </tr> <tr> <td>Case2：NS+UD方向</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 原子炉ウェル・DSピットも含めた溢水量</p> <div data-bbox="696 885 1272 1133"> </div> <p style="text-align: center;">図8-9 溢水量の時間変化（使用済燃料プール）</p> <div data-bbox="696 1228 1272 1476"> </div> <p style="text-align: center;">図8-10 溢水量の時間変化（原子炉ウェル及びDSピット）</p>	評価ケース	解析結果[m ³]		評価に用いる溢水量[m ³]	使用済燃料プール	原子炉ウェル及びDSピット	Ss-D1	Case1：EW+UD方向	37	41 (107%)	Case2：NS+UD方向	34	<p>8. 2 スロッシングによる溢水量（解析結果）</p> <p>基準地震動のうち、使用済燃料ピット等のスロッシングによる溢水量が最大となった基準地震動Ss3-2における溢水量（ピーク値）を表8-5に示す。また、スロッシングによる溢水量の時間変化を図8-8に示す。</p> <p>地震起因による溢水影響評価に用いる溢水量は、水平2方向（EW及びNS）及び鉛直方向（UD）の組合せによる解析結果にさらに10%の余裕を見込んだ上で、小数第1位を切り上げ処理し、35m³とした。</p> <p>詳細設計段階で3次元流動解析を実施する基準地震動については、使用済燃料ピットの固有周期において、溢水量が最大となったSs3-2の応答加速度を超えるものがないことから、評価に用いる溢水量として妥当であると判断した。水平方向床応答スペクトル（ピット固有周期の拡大図）を図8-9に示す。</p> <p>なお、詳細設計段階における3次元流動解析結果が現状の溢水量35m³を超える場合であっても、溢水に対する防護方針は変更しない。</p> <p style="text-align: center;">表8-5 スロッシングによる溢水量（解析結果）</p> <table border="1" data-bbox="1288 869 1845 973"> <thead> <tr> <th>評価ケース</th> <th>解析結果 [m³]</th> <th>評価に用いる溢水量 [m³]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Ss3-2</td> <td>EW+NS+UD 方向</td> <td>31.30</td> <td>35</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="1288 1061 1845 1364"> </div> <p style="text-align: center;">図8-8 溢水量の時間変化（使用済燃料ピット）</p>	評価ケース	解析結果 [m ³]	評価に用いる溢水量 [m ³]	Ss3-2	EW+NS+UD 方向	31.30	35	<p>【大飯・女川】 記載表現・設備名称の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の使用済燃料ピットの固有周期において応答が大きと考えられる地震動が複数あることから、2015年12月25日の第314回審査会合にて説明した基準地震動については、代表ケースを選定せずにすべての地震動について解析を実施している。2023年6月9日第1157回審査会合にて概ね了解された基準地震動のうち第314回審査会合から追加となった基準地震動については、床応答スペクトルを比較し、ピット固有周期における応答がSs3-2を超えないことを確認し、評価に用いる溢水量として妥当であることを判断している。 追加となった地震動については詳細設計段階において解析を実施する方針としているが、仮に詳細設計段階にて、追加となった地震動のスロッシングによる溢水量が現状の評価結果を超えた場合であっても、溢水に対する防護方針は変更しない。 ・泊は使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量は、ピットからの溢水量が最大となるピーク値を用いることにより保守的な評価としている。（大飯と同様） <p>【大飯・女川】 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価結果の相違による。 ・プラント設計の相違による。 ・評価に用いる地震動は、女川は特定の方向性を持たないスペクト
基準地震動 Ss	EW 方向、UD 方向	41.12m ³																										
基準地震動 Ss	NS 方向、UD 方向	5.48m ³																										
評価ケース	解析結果[m ³]		評価に用いる溢水量[m ³]																									
	使用済燃料プール	原子炉ウェル及びDSピット																										
Ss-D1	Case1：EW+UD方向	37	41 (107%)																									
	Case2：NS+UD方向	34																										
評価ケース	解析結果 [m ³]	評価に用いる溢水量 [m ³]																										
Ss3-2	EW+NS+UD 方向	31.30	35																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
			<p>ルベースの地震動 (Ss-1)、泊は特定の方向性を有する断層モデルベース等の地震動 (Ss3-2) という相違がある。泊で用いるSs3-2は、EW方向及びNS方向それぞれに観測された地震波があるため、これらと鉛直方向との組合せにより、3方向同時入力により解析を実施している。なお、特定の方向性を持たないスペクトルベースの地震動 (Ss-1) については、女川と同様の評価手法にて評価を実施しており、Ss3-2による溢水量を超えないことを確認している。 （補足説明資料32で説明）</p>												
<p>表2.4.4-2 溢水時の使用済燃料ピット水位</p> <table border="1" data-bbox="174 1129 672 1332"> <tr> <td>初期ピット水位</td> <td>11.91m</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位低警報設定値 (L.W.L)</td> <td>(E.L. + 33.06m)</td> </tr> <tr> <td>地震後のピット水位</td> <td>11.76m</td> </tr> <tr> <td>基準地震動 Ss EW方向、UD方向</td> <td>(E.L. + 32.91m)</td> </tr> <tr> <td>地震後のピット水位</td> <td>11.89m</td> </tr> <tr> <td>基準地震動 Ss NS方向、UD方向</td> <td>(E.L. + 33.04m)</td> </tr> </table> <p>※1 ピット水位 (EW方向、UD方向) = 11.76m = 11.91m (初期ピット水位) - 41.12m³ (溢水量) / 290.08m² (ピットの面積)</p> <p>※2 ピット水位 (EW方向、UD方向) = 11.89m = 11.91m (初期ピット水位) - 5.48m³ (溢水量) / 290.08m² (ピットの面積)</p>	初期ピット水位	11.91m	使用済燃料ピット水位低警報設定値 (L.W.L)	(E.L. + 33.06m)	地震後のピット水位	11.76m	基準地震動 Ss EW方向、UD方向	(E.L. + 32.91m)	地震後のピット水位	11.89m	基準地震動 Ss NS方向、UD方向	(E.L. + 33.04m)		<p>図8-9 水平方向床応答スペクトル (ピット固有周期の拡大図)</p>	<p>【大飯】 記載箇所の相違 女川審査実績の反映 ・泊は後述の8.3にて使用済燃料ピットの水位を記載している。</p>
初期ピット水位	11.91m														
使用済燃料ピット水位低警報設定値 (L.W.L)	(E.L. + 33.06m)														
地震後のピット水位	11.76m														
基準地震動 Ss EW方向、UD方向	(E.L. + 32.91m)														
地震後のピット水位	11.89m														
基準地震動 Ss NS方向、UD方向	(E.L. + 33.04m)														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																														
<p>2.4.5 使用済燃料ピットのスロッシングに対する冷却機能及び給水機能の維持の確認</p> <p>使用済燃料ピットの最大到達溢水時の溢水量が、使用済燃料ピット低水位警報設定値（L.W.L）からピット外に流出したと仮定した場合の使用済燃料ピット水位を求め、使用済燃料ピットの冷却機能（保安規定で定められた水温65℃）の維持に必要な水位が確保されていることを確認した結果を表2.4.5-1に示す。</p> <p>また、使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能の維持に必要な防護対象設備が没水により機能喪失しないことを確認した結果を表2.4.5-2に示す。</p> <p>表 2.4.5-1 溢水時における使用済燃料ピットの冷却機能の維持の確認結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>方向</th> <th>地震後のピット水位 [m]</th> <th>冷却機能の維持に必要な水位※1 [m]</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準地震動 Ss</td> <td>11.76※2</td> <td>10.99</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>EW 方向、UD 方向 (E.L.+32.91)</td> <td>(E.L.+32.14)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 使用済燃料ピットの冷却機能（保安規定で定められた水温 65℃）の維持に必要な水位を、使用済燃料ピットポンプ吸込側のピット接続配管の上端レベルとした。</p> <p>※2 ピット水位 (EW 方向、UD 方向) = 11.76m = 11.91m(初期ピット水位) - 41.12m3(溢水量) / 290.08m2(ピットの面積)</p> <p>表 2.4.5-2 溢水時における使用済燃料ピットへの冷却機能及び給水機能維持の確認結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象機器</th> <th>設置場所</th> <th>溢水水位 [m]</th> <th>機能喪失高さ [m]</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料ピットポンプ</td> <td rowspan="2">原子炉 周辺建屋</td> <td>3号炉 0.154</td> <td>3号炉 0.71</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>4号炉 0.170</td> <td>4号炉 0.72</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料ピットポンプ現場操作盤</td> <td rowspan="2">原子炉 周辺建屋</td> <td>3号炉 0.154</td> <td>3号炉 1.20</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>4号炉 0.170</td> <td>4号炉 1.20</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料取替用水ポンプ</td> <td rowspan="2">原子炉 周辺建屋</td> <td>3号炉 0.096</td> <td>3号炉 0.47</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>4号炉 0.095</td> <td>4号炉 0.47</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">燃料取替用水ポンプ現場操作盤</td> <td rowspan="2">原子炉 周辺建屋</td> <td>3号炉 0.096</td> <td>3号炉 1.20</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>4号炉 0.095</td> <td>4号炉 1.20</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「表 2.4.3.2.1-1 大飯3号炉 地震による没水影響評価」及び「表 2.4.3.2.1-2 大飯4号炉 地震による没水影響評価」より。</p>	方向	地震後のピット水位 [m]	冷却機能の維持に必要な水位※1 [m]	評価結果	基準地震動 Ss	11.76※2	10.99	○	EW 方向、UD 方向 (E.L.+32.91)	(E.L.+32.14)		対象機器	設置場所	溢水水位 [m]	機能喪失高さ [m]	評価結果	使用済燃料ピットポンプ	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.154	3号炉 0.71	○	4号炉 0.170	4号炉 0.72	使用済燃料ピットポンプ現場操作盤	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.154	3号炉 1.20	○	4号炉 0.170	4号炉 1.20	燃料取替用水ポンプ	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.096	3号炉 0.47	○	4号炉 0.095	4号炉 0.47	燃料取替用水ポンプ現場操作盤	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.096	3号炉 1.20	○	4号炉 0.095	4号炉 1.20	<p>8. 3 使用済燃料プール等のスロッシングに対する冷却機能・給水機能・遮蔽機能維持の確認</p> <p>(1) スロッシングによる使用済燃料プール水位低下及び必要水位</p> <p>使用済燃料プール等からのスロッシングによる溢水がプール外に流出した際の使用済燃料プール水位及びプール冷却並びに遮蔽に必要な水位を表8-6に示す。使用済燃料プール単独でのスロッシング影響を考慮した場合の方が、使用済燃料プール水位がより低下するため、以下では使用済燃料プール単独のスロッシングによる影響を評価した。</p> <p>表8-6 スロッシング発生後の使用済燃料プール水位及び必要水位</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>初期プール水位 (m)</td> <td>11.515 (0.P.+32.895)</td> </tr> <tr> <td>スロッシング発生後のプール水位※1 (m)</td> <td>11.245 (使用済燃料プール単独のスロッシングを考慮した場合) (0.P.+32.625)</td> </tr> <tr> <td>スロッシング発生後のプール水位※2 (m)</td> <td>11.255 (原子炉ウエル・DSピットのスロッシングも考慮した場合) (0.P.+32.635)</td> </tr> <tr> <td>プール冷却に必要な水位※3 (m)</td> <td>11.515 (0.P.+32.895)</td> </tr> <tr> <td>遮蔽に必要な水位※4 (m)</td> <td>7.958 (0.P.+29.338)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 初期プール水位からの水位低下量 (0.27m) は、溢水量 (41m³) を使用済燃料プールの面積で除し、小数第3位を切り上げて算出した。</p> <p>※2 初期プール水位からの水位低下量 (0.26m) は、溢水量 (107m³) を使用済燃料プール・原子炉ウエル・DSピットの合計面積で除し、小数第3位を切り上げて算出した。</p> <p>※3 保安規定で定められている、水温 (65℃以下) が保たれるために必要な水位として、保守的にオーバーフロー水位を設定した。</p> <p>※4 使用済燃料を考慮した、使用済燃料プール水面の設計基準線量率 (≦0.05 mSv/h) を満足する水位。</p>	初期プール水位 (m)	11.515 (0.P.+32.895)	スロッシング発生後のプール水位※1 (m)	11.245 (使用済燃料プール単独のスロッシングを考慮した場合) (0.P.+32.625)	スロッシング発生後のプール水位※2 (m)	11.255 (原子炉ウエル・DSピットのスロッシングも考慮した場合) (0.P.+32.635)	プール冷却に必要な水位※3 (m)	11.515 (0.P.+32.895)	遮蔽に必要な水位※4 (m)	7.958 (0.P.+29.338)	<p>8. 3 使用済燃料ピット等のスロッシングに対する冷却機能・給水機能・遮蔽機能維持の確認</p> <p>(1) スロッシングによる使用済燃料ピット水位低下及び必要水位</p> <p>使用済燃料ピット等からのスロッシングによる溢水量（ピーク値）が、使用済燃料ピット低水位警報設定値（L.W.L）からピット外に流出した際の使用済燃料ピット水位及びピット冷却並びに遮蔽に必要な水位を表8-6に示す。使用済燃料ピット単独でのスロッシング影響を考慮した場合の方が、使用済燃料ピット水位がより低下するため、以下では使用済燃料ピット単独のスロッシングによる影響を評価した。</p> <p>表8-6 スロッシング発生後の使用済燃料ピット水位及び必要水位</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>初期ピット水位 T.P. [m] ※1</td> <td>32.58</td> </tr> <tr> <td>スロッシング発生後のピット水位 T.P. [m]</td> <td>32.36</td> </tr> <tr> <td>ピット冷却に必要な水位※2 T.P. [m]</td> <td>31.62</td> </tr> <tr> <td>遮蔽に必要な水位※3 T.P. [m]</td> <td>29.74</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 使用済燃料ピット低水位警報設定値 (L.W.L)</p> <p>※2 使用済燃料ピットの冷却機能 (保安規定で定められた水温 65℃) の維持に必要な水位 (使用済燃料ピットポンプ吸込側のピット接続配管の上端レベル)</p> <p>※3 使用済燃料の放射線に対する遮蔽機能 (水面の設計基準線量率 ≦ 0.01mSv/h) に必要な水位</p>	初期ピット水位 T.P. [m] ※1	32.58	スロッシング発生後のピット水位 T.P. [m]	32.36	ピット冷却に必要な水位※2 T.P. [m]	31.62	遮蔽に必要な水位※3 T.P. [m]	29.74	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水量は、ピットからの溢水量が最大となるピーク値を用いることにより保守的な評価としている。(大飯と同様) ・また、解析の初期条件としては使用済燃料ピットの高水位レベルとして評価を行っているが、スロッシング発生後のピット水位の評価では、保守的に低水位警報レベルから水位低下するものとして評価を実施している。(大飯と同様) <p>【大飯・女川】 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価結果の相違による。 ・プラント設計の相違による。 <p>【大飯】 記載箇所の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能の維持に必要な防護対象設備が没水により機能喪失しないことの確認結果を添付資料24「地震起因による没水影響評価結果」に記載している。
方向	地震後のピット水位 [m]	冷却機能の維持に必要な水位※1 [m]	評価結果																																																														
基準地震動 Ss	11.76※2	10.99	○																																																														
EW 方向、UD 方向 (E.L.+32.91)	(E.L.+32.14)																																																																
対象機器	設置場所	溢水水位 [m]	機能喪失高さ [m]	評価結果																																																													
使用済燃料ピットポンプ	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.154	3号炉 0.71	○																																																													
		4号炉 0.170	4号炉 0.72																																																														
使用済燃料ピットポンプ現場操作盤	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.154	3号炉 1.20	○																																																													
		4号炉 0.170	4号炉 1.20																																																														
燃料取替用水ポンプ	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.096	3号炉 0.47	○																																																													
		4号炉 0.095	4号炉 0.47																																																														
燃料取替用水ポンプ現場操作盤	原子炉 周辺建屋	3号炉 0.096	3号炉 1.20	○																																																													
		4号炉 0.095	4号炉 1.20																																																														
初期プール水位 (m)	11.515 (0.P.+32.895)																																																																
スロッシング発生後のプール水位※1 (m)	11.245 (使用済燃料プール単独のスロッシングを考慮した場合) (0.P.+32.625)																																																																
スロッシング発生後のプール水位※2 (m)	11.255 (原子炉ウエル・DSピットのスロッシングも考慮した場合) (0.P.+32.635)																																																																
プール冷却に必要な水位※3 (m)	11.515 (0.P.+32.895)																																																																
遮蔽に必要な水位※4 (m)	7.958 (0.P.+29.338)																																																																
初期ピット水位 T.P. [m] ※1	32.58																																																																
スロッシング発生後のピット水位 T.P. [m]	32.36																																																																
ピット冷却に必要な水位※2 T.P. [m]	31.62																																																																
遮蔽に必要な水位※3 T.P. [m]	29.74																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<p>(2) ブルー冷却に必要な水位の確保について</p> <p>地震起因による溢水影響評価において、残留熱除去系による使用済燃料プールへの冷却機能・給水機能が維持されることを確認しているが、表8-6より、地震後の使用済燃料プール水位が一時的にオーバーフロー水位を下回るため、使用済燃料プール水の温度上昇に対する時間余裕と、系統切替操作にかかる時間を評価し、使用済燃料プール水温が保安規定で定める水温(65℃)を上回らないことを、以下のとおり確認した。</p> <p>使用済燃料プール水の温度上昇に対する時間余裕については、有効性評価で想定している、原子炉停止後に最短時間(原子炉停止後10日)で取り出された全炉心分の燃料と、過去に取り出された貯蔵燃料が、使用済燃料貯蔵ラックに最大数保管されていることを想定し、また地震に伴うスロッシングによる溢水量41(m³)を使用済燃料プールの初期保有水量から差し引いた状態にて算出した。使用済燃料プール水温度が65℃に到達するまでの時間余裕を表8-7にまとめる。なお、初期水温は40℃と想定した。また、残留熱除去系による使用済燃料プールへの給水に要する時間を表8-8示す。</p> <p>以上により、使用済燃料プール水温度上昇に対する時間余裕の中で、残留熱除去系によるプールへの給水が完了し、またプール冷却機能も維持されていることから、使用済燃料プール水温が保安規定で定める水温(65℃)を上回ることはない。</p> <p style="text-align: center;">表8-7 使用済燃料プール水温度と時間余裕</p> <table border="1" data-bbox="725 1002 1249 1056"> <tr> <td>使用済燃料プール水</td> <td>65℃到達時間(h)</td> <td>100℃到達時間(h) (参考)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5</td> <td>13</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">表8-8 残留熱除去系による使用済燃料プールへの給水に要する時間</p> <table border="1" data-bbox="725 1171 1232 1311"> <tr> <td>現場所要時間 (漏えい箇所の特定、系統切替操作)</td> <td>50(分)^{※1}</td> </tr> <tr> <td>給水流量</td> <td>300 (m³/h) ^{※2}</td> </tr> <tr> <td>給水完了時間</td> <td>2時間^{※3}</td> </tr> </table> <p>※1 残留熱除去系への系統切替手順は運転手順書にて定められている。また現場所要時間(漏えい箇所の特定、系統切替操作)が50分程度であること及び系統切替操作時の運転員によるアクセス性について問題ないことを確認している(補足説明資料10参照)。 ※2 運転手順書にて定める、残留熱除去系ポンプ1台の運転時流量 ※3 現場所要時間(漏えい箇所の特定、系統切替操作)及び給水時間に余裕を考慮し設定</p>	使用済燃料プール水	65℃到達時間(h)	100℃到達時間(h) (参考)		5	13	現場所要時間 (漏えい箇所の特定、系統切替操作)	50(分) ^{※1}	給水流量	300 (m ³ /h) ^{※2}	給水完了時間	2時間 ^{※3}	<p>(2) ピット冷却に必要な水位の確保について</p> <p>表8-6より、使用済燃料ピットの冷却に必要な水位が確保されていることを確認した。</p>	<p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川は使用済燃料プールのスロッシング後、燃料プールの水位が一時的にオーバーフロー水位を下回るため、燃料プール冷却ポンプが停止し、使用済燃料プール冷却機能が喪失する。そのため、系統切替操作によるプールへの給水が必要であることから、スロッシング後の使用済燃料プール冷却・給水に係る手順を定めている。 泊では、使用済燃料ピットのスロッシング後においても使用済燃料ピットの冷却機能が喪失することはないため、女川のようなピットの冷却・給水機能を維持するための運用手順は不要である。
使用済燃料プール水	65℃到達時間(h)	100℃到達時間(h) (参考)													
	5	13													
現場所要時間 (漏えい箇所の特定、系統切替操作)	50(分) ^{※1}														
給水流量	300 (m ³ /h) ^{※2}														
給水完了時間	2時間 ^{※3}														

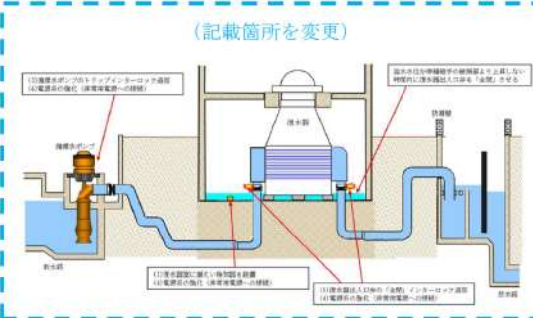
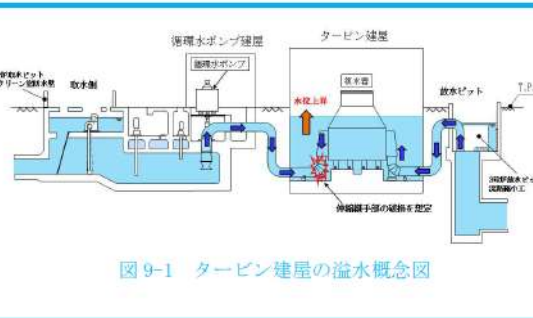
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<p>使用済燃料ピットの最大到達溢水時の溢水量が、使用済燃料ピット低水位警報設定値（L.W.L）からピット外に流出したと仮定した場合の使用済燃料ピット水位を求め、使用済燃料からの放射線に対する遮蔽に必要な水位が確保されていることを確認した結果を表2.4.5-3に示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>表 2.4.5-3 溢水時における使用済燃料からの放射線に対する遮蔽機能の確認結果</p> <table border="1" data-bbox="141 411 656 544"> <thead> <tr> <th>方向</th> <th>地震後のピット水位 [m]</th> <th>遮蔽に必要な水位^{※1} [m]</th> <th>評価結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準地震動 Ss EW方向、UD方向</td> <td>11.76^{※2} (E.L.+32.91)</td> <td>9.24 (E.L.+30.39)</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 使用済燃料ピットの水面の設計基準値（≦0.02mSv/h）を満足するために必要な水位</p> <p>※2 ピット水位（EW方向、UD方向）=11.76m =11.91m（初期ピット水位）-41.12m³（溢水量）/290.08m²（ピットの面積）</p> <p>（添付資料2）使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水影響評価</p> </div> <p>5. 防護対象設備が設置されている建屋の外からの溢水影響評価 タービン建屋（循環水管、津波）、屋外タンク及び湧水（原子炉周辺建屋）からの溢水が、防護対象設備の設置されている建屋（原子炉周辺建屋及び制御建屋）に及ぼす影響を確認した。</p>	方向	地震後のピット水位 [m]	遮蔽に必要な水位 ^{※1} [m]	評価結果	基準地震動 Ss EW方向、UD方向	11.76 ^{※2} (E.L.+32.91)	9.24 (E.L.+30.39)	○	<p>(3) 遮蔽に必要な水位の確保について 表8-6より、使用済燃料プールの遮蔽に必要な水位が確保されていることを確認した。</p>	<p>(3) 遮蔽に必要な水位の確保について 表8-6より、使用済燃料ピットの遮蔽に必要な水位が確保されていることを確認した。</p>	<p>【女川】 設備名称の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【大阪】 記載箇所の相違 女川審査実績の反映 ・泊では表8-6で遮蔽に必要な水位の確認結果を記載している。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
方向	地震後のピット水位 [m]	遮蔽に必要な水位 ^{※1} [m]	評価結果								
基準地震動 Ss EW方向、UD方向	11.76 ^{※2} (E.L.+32.91)	9.24 (E.L.+30.39)	○								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
<p>5.1 タービン建屋からの溢水影響評価</p> <p>5.1.1 タービン建屋の溢水源と溢水量</p> <p>循環水管の伸縮継手部及び2次系機器を溢水源とする。</p> <p>循環水管の伸縮継手部からの溢水については、伸縮継手部の全円周状の破損を考慮する。算出した溢水流量は以下のとおり。</p> <p>表5.1.1-1 循環水管の伸縮継手部の溢水流量</p> <table border="1" data-bbox="114 443 683 523"> <tr> <th>内径(mm)D</th> <th>継手幅(mm)w</th> <th>溢水流量(m³/h)Q/ユニット</th> </tr> <tr> <td>4,200</td> <td>150</td> <td>102,112</td> </tr> </table> <p>循環水ポンプ停止までの時間については、地震発生からポンプ停止までの時間を考慮する。想定した時間は以下のとおり。なお、中央制御室における遠隔停止機能が喪失した場合も考慮し、現地停止操作等の時間を②、③に含めている。</p> <p>表5.1.1-2 循環水ポンプ停止までの時間</p> <table border="1" data-bbox="163 762 642 927"> <tr> <td>①地震発生事象確認</td> <td>10分</td> </tr> <tr> <td>②地震発生による異常の認知時間</td> <td>10分</td> </tr> <tr> <td>③循環水ポンプ停止</td> <td>6分</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>26分</td> </tr> </table> <p>算出した溢水流量及び想定したポンプ停止までの時間から溢水量を算出した結果は以下のとおり。</p> <p>(溢水流量) × (隔離までの時間) = (溢水量) 102,112(m³/h) × 26/60(h) = 約44,300(m³)</p> <p>表5.1.1-3 循環水管の伸縮継手部の溢水量</p> <table border="1" data-bbox="114 1166 683 1246"> <tr> <th></th> <th>溢水量(m³)</th> </tr> <tr> <td>地震による破損</td> <td>約 44,300×2 ユニット=約 88,600</td> </tr> </table> <p>2次系機器の保有水量を算出した主な機器は以下のとおり。 容器：復水器、主油タンク、低圧給水加熱器、高圧給水加熱器、脱気器タンク、タービン建屋周辺タンク等 配管：給水管、復水管、海水管、飲料水配管、消火水配管等</p>	内径(mm)D	継手幅(mm)w	溢水流量(m ³ /h)Q/ユニット	4,200	150	102,112	①地震発生事象確認	10分	②地震発生による異常の認知時間	10分	③循環水ポンプ停止	6分	合計	26分		溢水量(m ³)	地震による破損	約 44,300×2 ユニット=約 88,600	<p>9. タービン建屋からの溢水影響評価</p> <p>9.1 評価条件</p> <p>溢水源となりうる機器が存在するタービン建屋において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している原子炉建屋及び制御建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行った。なお、タービン建屋における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に包含されることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行った。また、タービン建屋管理区域内に循環水系配管が設置されていることを考慮し、タービン建屋における事象進展を以下のとおり想定した。</p> <p>(1) 地震により循環水系配管の伸縮継手部及び耐震B、Cクラス機器が破損し、溢水が発生する。</p> <p>(2) 耐震B、Cクラス機器の破損による溢水は瞬時に滞留し、循環水系配管の伸縮継手部からの溢水は循環水ポンプ停止まで継続する。</p> <p>(3) 地震に伴い、津波が来襲することを考慮する。</p> <p>(記載箇所を変更)</p>  <p>図9-1 循環水系における対策内容</p>	<p>9. タービン建屋からの溢水影響評価</p> <p>9.1 評価条件</p> <p>溢水源となりうる機器が存在するタービン建屋において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している原子炉建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行った。</p> <p>なお、タービン建屋における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に包含されることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行った。また、タービン建屋内に循環水管が設置されていることを考慮し、タービン建屋における事象進展は以下のとおり想定した。</p> <p>(1) 地震により循環水管の伸縮継手部及び耐震Cクラス機器が破損し、溢水が発生する。</p> <p>(2) 耐震Cクラス機器の破損による溢水は瞬時に滞留し、循環水管の伸縮継手部からの溢水は循環水ポンプ停止まで継続する。</p> <p>(3) 地震に伴い、津波が来襲することを考慮する。</p> <p>タービン建屋の溢水概念図を図9-1に示す。</p>  <p>図9-1 タービン建屋の溢水概念図</p>	<p>【大飯】 <u>記載表現の相違</u> 【大飯】 <u>記載方針の相違</u> 女川審査実績の反映 ・タービン建屋における溢水評価方針は大飯と同様であり、大飯が記載している溢水量算出等の詳細については、補足説明資料35「タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量について」に記載している。</p> <p>【女川】 <u>建屋名称の相違</u> <u>設備名称の相違</u> 【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊のタービン建屋には管理区域は設置されていない。 <u>設計方針の相違</u> 泊のタービン建屋内にある機器・配管はすべてCクラス機器である。</p> <p>【女川】 <u>記載箇所・記載方針の相違</u> 女川は後段の「(2) 循環水系における対策内容」に循環水系を自動隔離するためのインターロックの説明として本図を掲載しているが、泊は同様の対策は無いため、タービン建屋における循環水管からの溢水概念図として本図を掲載している。</p>
内径(mm)D	継手幅(mm)w	溢水流量(m ³ /h)Q/ユニット																			
4,200	150	102,112																			
①地震発生事象確認	10分																				
②地震発生による異常の認知時間	10分																				
③循環水ポンプ停止	6分																				
合計	26分																				
	溢水量(m ³)																				
地震による破損	約 44,300×2 ユニット=約 88,600																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
<p>表5.1.1-4 2次系機器の保有水量</p> <table border="1" data-bbox="114 209 683 331"> <tr> <th colspan="2">保有水量</th> <th rowspan="2">保有水量合計 (m³) ※3</th> </tr> <tr> <th>配管 (m³) ※1</th> <th>容器 (m³) ※2</th> </tr> <tr> <td>約 3,260</td> <td>約 8,380</td> <td>約 11,700m³</td> </tr> </table> <p>※1 配管：約1,630m³×2ユニット=3,260m³</p> <p>※2 容器：タービン建屋内機器+タービン建屋周辺タンク =タービン建屋内機器 (約2,940m³×2ユニット) +タービン建屋周辺タンク (約2,500m³) =約5,880m³+約2,500m³≈約8,380m³</p> <p>※3 保有水量合計：3,260m³+8,380m³<11,700m³</p> <p>【伊方3号炉】添付資料19「タービン建屋からの溢水影響評価について」抜粋 p9条-別添1-添19-3</p> <p>3. 浸水量評価 地震発生後の事象進展を考慮して、以下のように段階を分けて浸水量を評価する。</p> <p>a. 地震発生から循環水ポンプ停止まで（津波による流入量を含む）</p> <p>次に循環水ポンプ停止から津波襲来前までの溢水量を考慮する。朔望平均満潮位及び潮位のばらつきを考慮した水位（E.L.+0.49m）とタービン建屋内の溢水水位（E.L.+8.4m）を比較した結果、タービン建屋内の溢水水位の方が高いことから、この期間の外部からの流入はない。</p>	保有水量		保有水量合計 (m ³) ※3	配管 (m ³) ※1	容器 (m ³) ※2	約 3,260	約 8,380	約 11,700m ³	<p>9. 2 評価に用いる各項目の算出</p> <p>9. 2. 1 タービン建屋における溢水源 配管計装線図 (P&ID) を用いて、タービン建屋内に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料13に示す。</p> <p>9. 2. 2 タービン建屋における溢水量 以下のとおり、管理区域エリア、非管理区域エリア各々について地震に起因する機器の破損に伴う溢水量を算出した。算出結果を添付資料17に示す。</p> <p>(i) 管理区域エリア 管理区域エリアにおいて、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。その結果、各系統の溢水量の合計は、6,843m³となった。</p> <p>a. 手動隔離は期待しない。</p> <p>b. 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p> <p>c. 給水系の溢水量算出は、①配管破断⇒②原子炉水位低 (L2) ⇒③主蒸気 隔離弁「閉」⇒④復水器ホットウェル水位低下⇒⑤低圧復水ポンプトリップ⇒⑥高圧復水ポンプトリップ⇒⑦原子炉給水ポンプトリップとし、③から⑦までの漏れ量は復水器ホットウェル水位の変化量 (NWL～LLWL) とした。また、①から③までの漏れ時間は60秒と想定した。</p> <p>d. ヒータードレン系については地震スクラム⇒主蒸気隔離弁「閉」⇒タービントリップ⇒ドレン発生停止とした。</p> <p>e. 循環水系については、今回追加設置するインターロックによる自動隔離を考慮し、復水器入口の伸縮継手部の全周破損に伴う漏れ開始20秒後に復水器室にて漏れを検知し、循環水ポンプトリップ⇒漏れ検知の30秒後に循環水ポンプ吐き出し停止となり漏れが止まるものとして算定した。</p>	<p>9. 2 評価に用いる各項目の算出</p> <p>9. 2. 1 タービン建屋における溢水源 系統図及び機器配置図を用いて、タービン建屋内に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料12に示す。</p> <p>9. 2. 2 タービン建屋における溢水量 以下のとおり、タービン建屋における地震に起因する機器の破損に伴う溢水量を算出した。算出結果を添付資料16に示す。</p> <p>地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。その結果、各系統の溢水量の合計は、47,820m³となった。</p> <p>a. 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p> <p>b. 循環水管については、地震発生からポンプ停止までの時間を考慮し、循環水ポンプ出口の伸縮継手部の全周破損に伴う漏れ開始から46分後に循環水ポンプ吐き出し停止となり漏れが止まるものとして算定した。また、ポンプ運転時はポンプ定格揚程に津波の来襲を考慮した取水側水位を加えた水頭によって溢水が流入することを想定した。</p>	<p>【大阪】 <u>記載方針の相違</u> 女川審査実績の反映 ・タービン建屋における溢水評価方針は大阪と同様であり、大阪が記載している溢水量算出等の詳細については、補足説明資料35「タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量について」に記載している。</p> <p>【女川】 <u>記載表現の相違</u> <u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・評価結果の相違による。 ・泊のタービン建屋には管理区域は設置されていない。 ・泊ではタービン建屋における循環水管からの漏れに対して運転員による手動隔離操作に期待している。 ・泊のタービン建屋内の耐震Cクラス機器のうち、隔離による漏れ停止に期待している系統は循環水系のみであることから、女川の給水系及びヒータードレン系に対応する系統はない。 ・女川は循環水系からの溢水に対して、インターロックによる自動隔離を考慮して溢水量を算出している。 ・一方泊では、運転員による手動操作による漏れ停止を実施することから、漏れ検知から隔離操作完了までの時間を保守的に設定している。（大阪と同様、大阪との比較結果は補足説明資料35にて説明する）</p> <p>【女川・大阪】 <u>設計方針の相違</u> 泊は循環水ポンプ停止前に津波が来襲するため、津波来襲時の取水側水位（水頭）を考慮して溢水量を算出している。（伊方と同様）</p>
保有水量		保有水量合計 (m ³) ※3									
配管 (m ³) ※1	容器 (m ³) ※2										
約 3,260	約 8,380	約 11,700m ³									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>さらに津波襲来時の溢水量を考慮する。</p> <p>津波襲来時の取水側水位（E.L.+6.9m：「津波に対する施設評価」による）及び放水ビット水位（E.L.+8.3m：「津波に対する施設評価」による）とタービン建屋内の溢水水位（E.L.+8.4m）を比較した結果、タービン建屋内の溢水水位の方が高いことから、この期間の外部からの流入はない。</p> <p>なお、敷地高さはE.L.+9.7mであり、津波襲来による敷地への流入はない。</p> <p>5.1.2 タービン建屋の想定破損による溢水影響評価</p> <p>5.1.2.1 タービン建屋の想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>想定破損は単一機器の破損を想定するが、地震による没水影響評価では全機器の破損を想定した溢水量で実施するため、地震による没水影響評価で包絡される。</p>	<p>なお、津波による影響に関しては、津波襲来前に復水器水室出入口弁を全閉することにより、津波がタービン建屋内に浸入しないため、影響はない。</p> <p>(2) 非管理区域エリア</p> <p>非管理区域エリアにおいて、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。その結果、各系統の溢水量の合計は、824m³となった。</p> <p>a. 手動隔離は期待しない。</p> <p>b. 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p> <p>c. タービン補機冷却海水系については、今回追加設置するインターロックによる自動隔離を考慮し、配管破損に伴う漏えい開始30秒後にタービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室にて漏えいを検知し、タービン補機冷却海水ポンプトリップ⇒漏えい検知の30秒後にタービン補機冷却海水ポンプ吐き出し停止となり漏えいが止まるものとして算定した。なお、津波による影響に関しては、津波襲来前にタービン補機冷却海水ポンプ吐出弁を全閉することにより、津波がタービン建屋内に浸入しないため、影響はない。</p> <p>9. 2. 3 タービン建屋における溢水経路</p> <p>タービン建屋における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段室、床ハッチ、開口部等を経由し、最終的には最地下階に貯留される。タービン建屋における溢水経路図を添付資料30に示す。</p>	<p>さらに循環水ポンプ停止以降の津波襲来による取水側水位（T.P.7.25m）及び放水ビット水位（T.P.7.0m）とタービン建屋内の溢水水位（T.P.7.3m）を比較した結果、タービン建屋内の溢水水位の方が高いことから、この期間の外部からの流入はない。</p> <p>9. 2. 3 タービン建屋における溢水経路</p> <p>タービン建屋における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段室、グレーチングが設置された開口部等を経由し、最終的には最地下階に貯留される。タービン建屋における溢水経路を添付資料26に示す。</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・女川は津波襲来前に復水器水室出入口弁を全閉するため津波は流入しない。</p> <p>【女川・大飯】 <u>設計方針の相違</u> ・各水位はプラント設計の相違による ・泊は循環水ポンプ運転中も津波を考慮した取水側水位を用いて溢水流量を算出しているため、循環水ポンプ停止以降の津波襲来による溢水量を評価することを記載している。</p> <p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 泊のタービン建屋には管理区域は設置されていないため、管理区域エリアと非管理区域エリアに分けた記載はしていない。</p> <p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> タービン建屋の床面はグレーチング構造となっている箇所が多数あり、溢水はグレーチング開口を経由し最地下階に滞留するため、当該記載をしている。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																							
<p>5.1.3 タービン建屋の放水による溢水影響評価</p> <p>5.1.3.1 タービン建屋の放水による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>地震による没水影響評価では全機器の破損を想定した溢水量で実施するため、地震による没水影響評価で包絡される。</p> <p>5.1.4 タービン建屋の地震による溢水影響評価</p> <p>5.1.4.1 タービン建屋の地震による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>溢水を保有するためのタービン建屋の空間容積は、E.L.+9.7m（タービン建屋からの流出高さ）以下のタービン建屋体積から、欠損部体積を差し引き算出する。具体的には、タービン建屋体積は、柱スパン寸法から算出し、欠損部体積は、建屋構築物の体積、機器及び配管とし、複雑な形状のものは、保守的に最大寸法から体積を算出した。</p> <p>欠損部体積を算出した主な設備は以下のとおり。</p> <p>建屋構築物：柱基礎、壁、復水器基礎、タービン架台脚部、循環水管基礎等</p> <p>機器：ポンプ、タンク、盤等</p> <p>配管：循環水管、復水管等</p> <p>表5.1.1.4-1 タービン建屋内の溢水を保有可能な空間容積</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ユニット</th> <th>地下体積(m³)</th> <th>欠損部体積(m³)</th> <th>空間容積(m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3号炉</td> <td>約 109,200</td> <td>約 43,000</td> <td>約 66,200</td> </tr> <tr> <td>4号炉</td> <td>約 76,800</td> <td>約 25,500</td> <td>約 51,300</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">合計約117,500m³</td> </tr> </tbody> </table> <p>2次系機器の破損による溢水量と循環水管の伸縮継手部からの溢水量を加算した場合においても、タービン建屋内の溢水を保有可能な空間容積より小さいことから、タービン建屋内に貯水可能であり、建屋外へ流出することがないことを確認した。</p> <p>100,300m³ < 117,500m³ (溢水量) (タービン建屋内の溢水を保有可能な空間容積)</p> <p>(添付資料5.1) タービン建屋からの溢水影響評価</p>	ユニット	地下体積(m³)	欠損部体積(m³)	空間容積(m³)	3号炉	約 109,200	約 43,000	約 66,200	4号炉	約 76,800	約 25,500	約 51,300	合計約117,500m³				<p>9. 3 評価結果</p> <p>9. 3. 1 タービン建屋からの溢水影響評価結果</p> <p>(1) 管理区域エリア</p> <p>管理区域エリアにおける没水水位は、最地下階（復水器室、共通エリア）で2.2mとなり、溢水経路上にある、原子炉建屋付属棟及び制御建屋との境界（貫通部等）に対しては、タービン建屋における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、タービン建屋からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表9-1に管理区域エリアにおける評価結果を示す。</p> <p>表9-1 管理区域エリアにおける評価結果（没水）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画</th> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">基準床レベル</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>滞留面積 (m²)</th> <th>没水水位 (m)</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>① / ②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>復水器室 共通エリア</td> <td></td> <td>0.P. -0.8m</td> <td>6,003^{※1}</td> <td>2,761.9</td> <td>2.2^{※2}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 復水器廻りの樹込部の容積、840m³を考慮した値 ※2 床面のコンクリート増し打ち分の最大値、55mmを考慮した値</p> <p>(2) 非管理区域エリア</p> <p>非管理区域エリアにおける没水水位は、最地下階（タービン補機冷却水系熱交換器室・ポンプ室）で2.1mとなり、溢水経路上にある、制御建屋との境界（貫通部等）に対しては、非管理区域エリアにおける没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、非管理区域からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表9-2に非管理区域エリアにおける評価結果を示す。</p> <p>表9-2 非管理区域エリアにおける評価結果（没水）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画</th> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">基準床レベル</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>滞留面積 (m²)</th> <th>没水水位 (m)</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>① / ②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室</td> <td></td> <td>0.P. -0.2m</td> <td>824</td> <td>410.9</td> <td>2.1</td> </tr> </tbody> </table>	区画	名称	基準床レベル	溢水量 (m³)	滞留面積 (m²)	没水水位 (m)	①	②	① / ②	復水器室 共通エリア		0.P. -0.8m	6,003 ^{※1}	2,761.9	2.2 ^{※2}	区画	名称	基準床レベル	溢水量 (m³)	滞留面積 (m²)	没水水位 (m)	①	②	① / ②	タービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室		0.P. -0.2m	824	410.9	2.1	<p>9. 3 評価結果</p> <p>9. 3. 1 タービン建屋からの溢水影響評価結果</p> <p>タービン建屋における没水水位は、T.P.7.3mとなり、溢水経路上にある、原子炉建屋との境界（貫通部等）に対しては溢水防護措置（ドレンライン逆止弁の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、タービン建屋からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表9-1にタービン建屋における評価結果を示す。また、タービン建屋断面図を図9-2に示す。</p> <p>なお、タービン建屋における没水水位の算出では、一部の津波高さ（入力津波）を用いており、詳細設計段階では、全ての入力津波からタービン建屋の没水水位が最も高くなる入力津波を選定して評価を行う。その結果、タービン建屋の水位が現状のT.P.7.3mを超えた場合であっても、溢水に対する防護方針は変更しない。</p> <p>表9-1 タービン建屋における評価結果（没水）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>フロア</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>空間容積 (m³)</th> <th>没水水位 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>B1F (T.P.2.8m)</td> <td rowspan="2">47,820</td> <td rowspan="2">61,500</td> <td rowspan="2">T.P.7.3m</td> </tr> <tr> <td>B2F (T.P.-1.7m)</td> </tr> </tbody> </table> <p>図9-2 タービン建屋断面図</p>	フロア	溢水量 (m³)	空間容積 (m³)	没水水位 (m)	B1F (T.P.2.8m)	47,820	61,500	T.P.7.3m	B2F (T.P.-1.7m)	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実録の反映により、泊はタービン建屋の溢水影響評価結果を補足説明資料35に記載している。</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊のタービン建屋には管理区域は設置されていない。 評価結果の相違による。 対策設備の相違による。 <p>【女川・大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊は今後の管路解析によってタービン建屋の没水水位が最も高くなる入力津波が変更になる可能性があるため、詳細設計段階で全ての入力津波を考慮した再評価を行うことを記載している。</p> <p>【女川】</p> <p>建屋名称の相違</p> <p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊のタービン建屋には管理区域は設置されていないため、管理区域エリアと非管理区域エリアに分けた記載はしていない。 泊は防護対象設備が設置される原子炉建屋との境界を明示するため、タービン建屋の断面図を図9-2示している。 <p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>泊のタービン建屋には管理区域は設置されていないため、管理区域エリアと非管理区域エリアに分けた記載はしていない。</p>
ユニット	地下体積(m³)	欠損部体積(m³)	空間容積(m³)																																																							
3号炉	約 109,200	約 43,000	約 66,200																																																							
4号炉	約 76,800	約 25,500	約 51,300																																																							
合計約117,500m³																																																										
区画	名称	基準床レベル	溢水量 (m³)	滞留面積 (m²)	没水水位 (m)																																																					
			①	②	① / ②																																																					
復水器室 共通エリア		0.P. -0.8m	6,003 ^{※1}	2,761.9	2.2 ^{※2}																																																					
区画	名称	基準床レベル	溢水量 (m³)	滞留面積 (m²)	没水水位 (m)																																																					
			①	②	① / ②																																																					
タービン補機冷却水系熱交換器・ポンプ室		0.P. -0.2m	824	410.9	2.1																																																					
フロア	溢水量 (m³)	空間容積 (m³)	没水水位 (m)																																																							
B1F (T.P.2.8m)	47,820	61,500	T.P.7.3m																																																							
B2F (T.P.-1.7m)																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																								
	<p>9. 3. 2 タービン建屋からの溢水影響を防止する対策内容</p> <p>(1) タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <p>タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備について表9-3に整理する。</p> <p>表9-3 タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="698 443 1272 785"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉建屋</td> <td rowspan="2">1F</td> <td>T/B 連絡通路層(東側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B 連絡通路層(西側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">制御建屋</td> <td>1F</td> <td>T/B 連絡通路層</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B1F</td> <td>T/B 連絡通路層</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B2F</td> <td>T/B 連絡通路層</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">タービン建屋</td> <td rowspan="3">1F</td> <td>大物搬入用</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大物搬入用横扉</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>共通エリア【東側】(No.1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">B1F</td> <td>共通エリア【東側】(No.2)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B B1F エリア</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B2F</td> <td>T/B B2F エリア</td> <td>止水壁</td> <td>既設(改造)</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 循環水系における対策内容</p> <p>循環水系における対策内容を図9-1 に示す。なお、今回追加するインターロックは、誤動作を防止するために、地震スクラム信号と復水器室漏えい検知信号のand 条件を設定することから、本インターロック動作時には、既にスクラムしており、安全解析への影響はないが、仮に誤動作した場合を想定し、以下のとおり検討を行った。</p> <p>本インターロックが誤動作した場合には、復水器の真空度が低下して、タービントリップのインターロックが作動し、一時的にタービンバイパス弁は作動するものの短時間で閉止する。この状況は「負荷の喪失（発電機負荷遮断、タービンバイパス弁不作動）」の解析結果に包絡する（原子炉圧力の上昇が緩慢であることから厳しい結果にはならない）ことから、安全解析への影響はない。</p> <p style="text-align: center;">(記載箇所を変更)</p> <p style="text-align: center;">図9-1 循環水系における対策内容</p>	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	原子炉建屋	1F	T/B 連絡通路層(東側)	水密扉	新設	1	T/B 連絡通路層(西側)	水密扉	新設	1	制御建屋	1F	T/B 連絡通路層	水密扉	新設	1	B1F	T/B 連絡通路層	水密扉	新設	1	B2F	T/B 連絡通路層	水密扉	新設	1	タービン建屋	1F	大物搬入用	堰	新設	1	大物搬入用横扉	堰	新設	1	共通エリア【東側】(No.1)	堰	新設	1	B1F	共通エリア【東側】(No.2)	堰	新設	1	T/B B1F エリア	堰	新設	1	B2F	T/B B2F エリア	止水壁	既設(改造)	1	<p>9. 3. 2 タービン建屋からの溢水影響を防止する対策内容</p> <p>(1) タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <p>タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備について表9-2に整理する。</p> <p>表9-2 タービン建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="1281 443 1863 539"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td>T.P.2.3m</td> <td>ドレンライン逆止弁</td> <td>逆止弁</td> <td>新設</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	原子炉建屋	T.P.2.3m	ドレンライン逆止弁	逆止弁	新設	4	<p>相違理由</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 対策設備の相違による。</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊では、循環水管からの溢水に対しては、運転員による手動操作により漏えい停止を実施することから、女川のような循環水系における対策内容の記載はしていない。 (大飯と同様)</p> <p>【女川】 記載箇所・記載方針の相違 ・女川は「(2) 循環水系における対策内容」に循環水系を自動隔離するためのインターロックの説明として本図を掲載しているが、泊は同様の対策は無いため、前段の「9.1 評価条件」タービン建屋における循環水管からの溢水概念図として本図を掲載している。 ・女川の図9-1は泊との横並びのため移動した。</p>
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																																																						
原子炉建屋	1F	T/B 連絡通路層(東側)	水密扉	新設	1																																																																						
		T/B 連絡通路層(西側)	水密扉	新設	1																																																																						
制御建屋	1F	T/B 連絡通路層	水密扉	新設	1																																																																						
	B1F	T/B 連絡通路層	水密扉	新設	1																																																																						
	B2F	T/B 連絡通路層	水密扉	新設	1																																																																						
タービン建屋	1F	大物搬入用	堰	新設	1																																																																						
		大物搬入用横扉	堰	新設	1																																																																						
		共通エリア【東側】(No.1)	堰	新設	1																																																																						
	B1F	共通エリア【東側】(No.2)	堰	新設	1																																																																						
		T/B B1F エリア	堰	新設	1																																																																						
B2F	T/B B2F エリア	止水壁	既設(改造)	1																																																																							
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																																																						
原子炉建屋	T.P.2.3m	ドレンライン逆止弁	逆止弁	新設	4																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3 廃棄物処理建屋の溢水影響評価</p> <p>3.1 評価目的</p> <p>廃棄物処理建屋内には防護対象設備はないが、想定破損による溢水、放水による溢水及び地震起因による溢水が隣接する原子炉周辺建屋へ影響しないことを確認する。</p> <p>3.2 廃棄物処理建屋の溢水源</p> <p>系統図を用いて廃棄物処理建屋内に存在する溢水源となる機器及び配管を抽出した。</p> <p>3.3 廃棄物処理建屋の想定破損による溢水影響評価</p> <p>3.3.1 廃棄物処理建屋の想定破損による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>廃棄物処理建屋にある高エネルギー配管及び低エネルギー配管の想定破損による溢水を考慮した。</p> <p>配管破損形状は、高エネルギー配管については完全全周破断とし、低エネルギー配管については貫通クラックとして、1 系統における単一の破損を想定した。</p> <p>また、系統ごとに溢水流量が最も大きくなる位置での破損を想定し溢水流量を算出するとともに、事象を検知し漏えい停止までの漏えい量を考慮して溢水量を算出した結果、消火水系の溢水量が最大であることから、貫通クラックが発生した場合について、溢水影響を評価したが、地震による没水影響評価では溢水量をE.L. +26.0mで117.7m³、E.L. +17.5mで164.3m³として評価を実施するため、想定破損による没水影響評価は、地震による没水影響評価に包絡されることを確認した。</p>	<p>10 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに</p> <p>溢水源となりうる機器が存在する原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している原子炉建屋原子炉棟、原子炉建屋付属棟、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（非管理区域））及び制御建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行う。</p> <p>なお、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に包含されることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行う。</p> <p>(2) 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における溢水源</p> <p>配管計装線図（P&ID）を用いて、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））内に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料13に示す。</p> <p>(3) 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における溢水量</p> <p>原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））において、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。算出結果を添付資料17に示す。その結果、各系統の溢水量の合計は3,557m³となった。</p> <p>(a) 手動隔離は期待しない。</p> <p>(b) 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p>	<p>10 電気建屋からの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに</p> <p>溢水源となりうる機器が存在する電気建屋において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している原子炉建屋及び原子炉補助建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行う。</p> <p>なお、電気建屋における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に包含されることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行う。</p> <p>(2) 電気建屋における溢水源</p> <p>系統図及び機器配置図を用いて、電気建屋内に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料12に示す。</p> <p>(3) 電気建屋における溢水量</p> <p>電気建屋において、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。算出結果を添付資料16に示す。その結果、各系統の溢水量の合計は730m³となった。</p> <p>(a) 隔離操作により漏えい停止までの隔離時間を考慮し、配管の破損箇所からの流出流量に隔離時間を乗じて漏水量を設定する。</p> <p>(b) 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【大飯・女川】</p> <p>建屋名称の相違</p> <p>女川と泊で対象となる建屋は異なるが、どちらも防護対象設備が設置される建屋への伝播防止に対する評価であることから比較対象とした。</p> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【大飯・女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>・泊の想定破損による溢水量は添付資料16「系統別溢水量算出結果」に記載している。</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・評価結果の相違による。</p> <p>・泊は地震起因の溢水評価にて運転員の隔離操作による漏えい停止を考慮した評価としている。（補足説明資料14「地震時溢水評価の隔離時間の妥当性について」で説明）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																
<p>系統ごとの溢水量を表3.3.1-1に記載する。</p> <table border="1" data-bbox="136 204 674 555"> <caption>表 3.3.1-1 廃棄物処理建屋の想定破損による溢水量</caption> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>溢水量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消火水系</td> <td>97.5</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>47.3</td> </tr> <tr> <td>廃棄物処理系</td> <td>43.7</td> </tr> <tr> <td>1次系補給水系</td> <td>47.6</td> </tr> <tr> <td>1次系洗浄水系</td> <td>31.3</td> </tr> <tr> <td>1次系温水、飲料水系</td> <td>32.2</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気系</td> <td>51.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>3.4 廃棄物処理建屋の放水による溢水影響評価</p> <p>3.4.1 廃棄物処理建屋の放水による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>消火栓からの溢水量を下記のとおり算出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・260/min×3.0時間=46.8m³ <p>また、スプリンクラーからの放水による溢水量を以下のとおり算出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・720[*]/min×30min=21,600=21.6m³ <p>※ 今回、原則として火災防護に関する基本方針で示されている放水量を用いる。ただし、詳細評価を実施する場合には、現場での消火設備の設置状況に応じた評価を行う。</p> <p>放水による没水影響を評価したが、地震による没水影響評価では溢水量をE.L. +26.0mで117.7m³、E.L. +17.5mで164.3m³として評価を実施するため、放水による没水影響評価は、地震による没水影響評価で包絡されることを確認した。</p> <p>3.5 廃棄物処理建屋の地震による溢水影響評価</p> <p>3.5.1 廃棄物処理建屋の地震による溢水影響評価のうち没水影響評価</p> <p>溢水ガイドにしたがい、流体を内包する機器（配管及び容器）を溢水源の対象とした。</p> <p>廃棄物処理建屋E.L. +26.0m、E.L. +17.5m、E.L. +10.0m、E.L. +4.9mの各フロアにおいて、地震時の溢水量低減対策を考慮し、機器（配管及び容器）からの漏えい量を溢水量として算出した。（表3.5.1-1）</p>	系統	溢水量 (m ³)	消火水系	97.5	化学体積制御系	47.3	廃棄物処理系	43.7	1次系補給水系	47.6	1次系洗浄水系	31.3	1次系温水、飲料水系	32.2	補助蒸気系	51.5			<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>・泊の消火水の放水における放水量は添付資料21「消火水の放水における放水量」に記載している。</p> <p>【大飯】</p> <p>記載箇所の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>・泊の地震時の溢水量は前頁の「(3) 電気建屋における溢水量」に記載している。</p>
系統	溢水量 (m ³)																		
消火水系	97.5																		
化学体積制御系	47.3																		
廃棄物処理系	43.7																		
1次系補給水系	47.6																		
1次系洗浄水系	31.3																		
1次系温水、飲料水系	32.2																		
補助蒸気系	51.5																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由										
<p>表 3.5.1-1 廃棄物処理建屋の地震による溢水量</p> <table border="1" data-bbox="206 210 568 368"> <thead> <tr> <th>E.L. + (m)</th> <th>溢水量 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26.0</td> <td>117.7</td> </tr> <tr> <td>17.5</td> <td>164.3</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>1,841.0</td> </tr> <tr> <td>4.9</td> <td>1,875.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>溢水は、上層階から機器ハッチや階段を經由し、廃棄物処理建屋のE.L. +4.9m及び防護対象設備が設置されていない制御建屋のE.L. +7.0mに滞留する。</p>	E.L. + (m)	溢水量 (m ³)	26.0	117.7	17.5	164.3	10.0	1,841.0	4.9	1,875.3	<p>(4) 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における溢水経路</p> <p>原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段室、床ハッチ、開口部等を經由し、最終的には最地下階である地下3階及び地下中3階に貯留される。原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における溢水経路図を添付資料31に示す。</p>	<p>(4) 電気建屋における溢水経路</p> <p>電気建屋における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段室、開口部等を經由し、最終的には最地下階であるT.P. 2.3mに貯留される。電気建屋における溢水経路図を添付資料27に示す。</p> <p>(5) 原子炉補機冷却海水放水路</p> <p>電気建屋における没水水位の評価において、原子炉補機冷却海水系等の排水経路である原子炉補機冷却海水放水路は、基準地震動による地震力に対して通水機能を確保する設計とすることを考慮する。また、原子炉補機冷却海水放水路及び一次系放水ビットには津波を遡上させない方針とすることから、電気建屋内への津波流入は考慮しない。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 建屋名称の相違</p> <p>【大阪・女川】 設計方針の相違 ・泊の電気建屋には床ハッチは設置されていないことから記載していない。 ・プラント設計の相違による。</p> <p>【大阪・女川】 設計方針の相違 ・泊の電気建屋には、図10-1に示す通り地下部に一次系放水ビットを設置している。 ・一次系放水ビットへ流入した系統水は、通常時に補機放水路に排水する設計としており、地震時及び津波時において、補機放水路を溢水評価でどのように考慮するか記載している。</p>
E.L. + (m)	溢水量 (m ³)												
26.0	117.7												
17.5	164.3												
10.0	1,841.0												
4.9	1,875.3												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																									
<p>機器（配管及び容器）から漏えいした溢水量がすべて流出したと仮定し、廃棄物処理建屋の各フロアの機器ハッチ及び階段堰から下層階へ流出することなく各フロアに滞留すると想定した場合の溢水水位を算出した結果、防護対象設備を設置している原子炉周辺建屋に溢水が伝播しないことを確認した。（表3.5.1-2）</p>	<p>(5) 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水影響評価結果</p> <p>原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における没水水位は、地下3階エリアでは3.7m（満水）、地下中3階エリアでは1.6m となり、溢水経路上にある、原子炉建屋原子炉棟、原子炉建屋付属棟、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（非管理区域））及び制御建屋との境界（貫通部等）に対しては、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表10-1に原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における評価結果を示す。</p>	<p>(6) 電気建屋からの溢水影響評価結果</p> <p>電気建屋における没水水位は、最地下階であるT.P. 2.3mで5.5m となるが、電気建屋地下部に設置された一次系放水ピット隔壁にひび割れが生じ、ピット内包水が電気建屋内に漏水する可能性を考慮し、没水水位は保守的に原子炉補機冷却海水放水水路の流路開口上端のT.P. 8.7mとする。溢水経路上にある、原子炉建屋及び原子炉補助建屋との境界（貫通部等）に対しては、電気建屋における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、電気建屋からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表10-1に電気建屋における評価結果を示す。また、電気建屋の溢水概念図を図10-1に示す。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 泊の電気建屋には、図10-1に示す通り地下部に一次系放水ピットが設置されているため、電気建屋との隔壁にひび割れが生じ、ピット内包水が電気建屋内に漏水する可能性を考慮している。没水水位は保守的に一次系放水ピット開口部の上端（図10-1参照）のT.P. 11.9mとし、原子炉建屋及び原子炉補助建屋との境界にはT.P. 11.9mまで浸水防護措置を施している。</p>																																																									
<p>表 3.5.1-2 廃棄物処理建屋の地震による溢水影響評価結果</p> <table border="1" data-bbox="145 742 649 973"> <thead> <tr> <th>E.L. + (m)</th> <th>フロア滞留面積 (m²)</th> <th>溢水量 (m³) / 水位 (m)</th> <th>貯水可能量* (m³) / 堰高さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26.0</td> <td>1,115.4</td> <td>117.7 / 0.106</td> <td>278.8 / 0.25</td> </tr> <tr> <td>17.5</td> <td>930.5</td> <td>164.3 / 0.177</td> <td>279.1 / 0.30</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>-</td> <td>1,841.0 / -</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>4.9</td> <td>-</td> <td>1,875.3 / -</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>当該フロアに水密扉が設置されているので原子炉周辺建屋に伝播しない。</p> <p>伝播経路なし。</p> <p>※ E.L. +26.0m、E.L. +17.5m までの貯水可能量は、原子炉周辺建屋との通路部に設置した堰高さにより算出</p>	E.L. + (m)	フロア滞留面積 (m ²)	溢水量 (m ³) / 水位 (m)	貯水可能量* (m ³) / 堰高さ (m)	26.0	1,115.4	117.7 / 0.106	278.8 / 0.25	17.5	930.5	164.3 / 0.177	279.1 / 0.30	10.0	-	1,841.0 / -	-	4.9	-	1,875.3 / -	-	<p>表10-1 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））における評価結果（没水）</p> <table border="1" data-bbox="705 782 1265 901"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画</th> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">基準床レベル</th> <th colspan="2">溢水量 (m³)</th> <th rowspan="2">没水水位 (m)</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地下3階エリア</td> <td></td> <td>O.P. -8.1m</td> <td>2,701</td> <td>730</td> <td>3.7(満水)</td> </tr> <tr> <td>地下中3階エリア</td> <td></td> <td>O.P. -3.3m</td> <td>856</td> <td>556</td> <td>1.6</td> </tr> </tbody> </table>	区画	名称	基準床レベル	溢水量 (m ³)		没水水位 (m)	①	②	地下3階エリア		O.P. -8.1m	2,701	730	3.7(満水)	地下中3階エリア		O.P. -3.3m	856	556	1.6	<p>表10-1 電気建屋における評価結果（没水）</p> <table border="1" data-bbox="1288 750 1848 957"> <thead> <tr> <th rowspan="2">フロア</th> <th colspan="2">T.P. 2.3m</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>溢水量 (m³)</td> <td>307</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>滞留面積 (m²)</td> <td>423</td> <td>685</td> </tr> <tr> <td>没水水位 (m)</td> <td>4.8 (満水)</td> <td>5.5 (4.8+0.7)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>-</td> <td>6.4^{※1}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 電気建屋地下部に設置された一次系放水ピットから電気建屋内へ漏水した場合を想定し、電気建屋内の溢水水位が一次系放水ピットと同じレベルまで上昇することを考慮。溢水水位は保守的に原子炉補機冷却海水放水水路の流路開口上端のT.P. 8.7mとした。</p>	フロア	T.P. 2.3m		①	②	溢水量 (m ³)	307	64	滞留面積 (m ²)	423	685	没水水位 (m)	4.8 (満水)	5.5 (4.8+0.7)		-	6.4 ^{※1}	<p>【大飯・女川】 設計方針の相違 ・評価結果の相違による。</p>
E.L. + (m)	フロア滞留面積 (m ²)	溢水量 (m ³) / 水位 (m)	貯水可能量* (m ³) / 堰高さ (m)																																																									
26.0	1,115.4	117.7 / 0.106	278.8 / 0.25																																																									
17.5	930.5	164.3 / 0.177	279.1 / 0.30																																																									
10.0	-	1,841.0 / -	-																																																									
4.9	-	1,875.3 / -	-																																																									
区画	名称	基準床レベル	溢水量 (m ³)		没水水位 (m)																																																							
			①	②																																																								
地下3階エリア		O.P. -8.1m	2,701	730	3.7(満水)																																																							
地下中3階エリア		O.P. -3.3m	856	556	1.6																																																							
フロア	T.P. 2.3m																																																											
	①	②																																																										
溢水量 (m ³)	307	64																																																										
滞留面積 (m ²)	423	685																																																										
没水水位 (m)	4.8 (満水)	5.5 (4.8+0.7)																																																										
	-	6.4 ^{※1}																																																										
		<p>図10-1 電気建屋の溢水概念図</p> 	<p>【女川】 記載方針の相違 泊は防護対象設備が設置される建屋との境界及び溢水水源の配置を明示するため、電気建屋の溢水概念図を示している。</p>																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

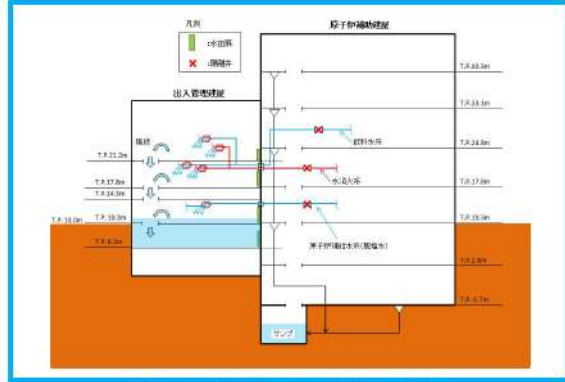
第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																															
<p>3.6 廃棄物処理建屋の溢水影響評価のまとめ</p> <p>想定破損、地震及び放水による溢水量をフロアごとに評価し、廃棄物処理建屋から原子炉周辺建屋への溢水の流出がないことを確認した。</p> <p>また、中央制御室には運転員が常駐しており中央制御室からの運転操作が可能であり、現場確認が必要な設備へのアクセス通路にあっては、歩行に影響のない水位であること及び必要に応じて環境の温度、放射線量、薬品等による影響を考慮しても、運転員による操作場所までのアクセスが可能であることを確認した。</p> <p>（添付資料3） 廃棄物処理建屋の溢水影響評価</p>	<p>(6) 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水影響を防止する対策内容</p> <p>原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水伝播に対して、止水を期待する設備について表10-2に整理する。</p> <p>表10-2 原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア（管理区域））からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="712 1066 1243 1337"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">原子炉建屋付属棟 (廃棄物処理エリア(管理区域))</td> <td>43F</td> <td>2T-1 トレンチ</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">1F</td> <td>HW 制御室扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F 共通エリア</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F 共通エリア(大物搬入用)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>HWII 熱交換器・ポンプ室</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B 連絡通路扉(東側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	原子炉建屋付属棟 (廃棄物処理エリア(管理区域))	43F	2T-1 トレンチ	水密扉	新設	1	1F	HW 制御室扉	水密扉	新設	1	1F 共通エリア	水密扉	新設	1	1F 共通エリア(大物搬入用)	水密扉	新設	1	HWII 熱交換器・ポンプ室	水密扉	新設	1	T/B 連絡通路扉(東側)	水密扉	新設	1	<p>※ 一次系放水ビット隔壁にひび割れが生じ、建屋内に漏えいする可能性を考慮し、電気建屋内の溢水水位は原子炉補機冷却海水放水路の流路開口上端の T.P. 8.7m とした。ここで、下記に示す各系の合計通水流量（合計：7,263 m³/h）を原子炉補機冷却海水放水路で排水した場合においても、水理計算によって求めた一次系放水ビット水位は T.P. 8.2m であり、原子炉補機冷却海水放水路が満水になることはないため、電気建屋の没水水位である T.P. 8.7m は保守的な設定である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却海水系：6,800 m³/h（原子炉補機冷却海水ポンプの4台起動時） ・液体廃棄物処理系：30 m³/h（ポンプ定格流量） ・地下水排水系：25 m³/h（ # ） ・飲料水系：18 m³/h（ # ） ・水消火系：390 m³/h（ # ） <p>図10-1 電気建屋の溢水概念図</p> <p>(7) 電気建屋からの溢水影響を防止する対策内容</p> <p>電気建屋からの溢水伝播に対して、止水を期待する設備について表10-2に整理する。</p> <p>表10-2 電気建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="1285 1029 1854 1428"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">原子炉補助建屋</td> <td>T.P. 2.3m</td> <td>水密扉 No. 68 (A-G 階段室⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">T.P. 10.3m</td> <td>水密扉 No. 85 (常用系インバータ一室⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No. 87 (A-F 階段室⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">T.P. 17.8m</td> <td>水密扉 No. 142 (A-G 階段室⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No. 143 (原子炉補助建屋⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉建屋</td> <td>T.P. 4.35m</td> <td>水密扉 No. 69 (原子炉補機冷却水ポンプエリア⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P. 10.3m</td> <td>水密扉 No. 93 (トラックアクセスエリア⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P. 17.8m</td> <td>水密扉 No. 140 (原子炉建屋⇔電気建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	原子炉補助建屋	T.P. 2.3m	水密扉 No. 68 (A-G 階段室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	T.P. 10.3m	水密扉 No. 85 (常用系インバータ一室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	水密扉 No. 87 (A-F 階段室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	T.P. 17.8m	水密扉 No. 142 (A-G 階段室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	水密扉 No. 143 (原子炉補助建屋⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	原子炉建屋	T.P. 4.35m	水密扉 No. 69 (原子炉補機冷却水ポンプエリア⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	T.P. 10.3m	水密扉 No. 93 (トラックアクセスエリア⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	T.P. 17.8m	水密扉 No. 140 (原子炉建屋⇔電気建屋)	水密扉	新設	1	<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 泊は防護対象設備が設置される建屋との境界及び溢水源の配置を明示するため、電気建屋の溢水概念図を示しており、その注釈を記載している。</p> <p>【女川】 <u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 対策設備の相違による。</p> <p>【大飯】 <u>記載方針の相違</u> 女川審査実績の反映 ・泊の運転員のアクセス性については、補足説明資料11「運転員のアクセス性」に記載している。</p>
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																																																													
原子炉建屋付属棟 (廃棄物処理エリア(管理区域))	43F	2T-1 トレンチ	水密扉	新設	1																																																																													
	1F	HW 制御室扉	水密扉	新設	1																																																																													
		1F 共通エリア	水密扉	新設	1																																																																													
		1F 共通エリア(大物搬入用)	水密扉	新設	1																																																																													
		HWII 熱交換器・ポンプ室	水密扉	新設	1																																																																													
		T/B 連絡通路扉(東側)	水密扉	新設	1																																																																													
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																																																													
原子炉補助建屋	T.P. 2.3m	水密扉 No. 68 (A-G 階段室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1																																																																													
	T.P. 10.3m	水密扉 No. 85 (常用系インバータ一室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1																																																																													
		水密扉 No. 87 (A-F 階段室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1																																																																													
	T.P. 17.8m	水密扉 No. 142 (A-G 階段室⇔電気建屋)	水密扉	新設	1																																																																													
		水密扉 No. 143 (原子炉補助建屋⇔電気建屋)	水密扉	新設	1																																																																													
	原子炉建屋	T.P. 4.35m	水密扉 No. 69 (原子炉補機冷却水ポンプエリア⇔電気建屋)	水密扉	新設	1																																																																												
T.P. 10.3m		水密扉 No. 93 (トラックアクセスエリア⇔電気建屋)	水密扉	新設	1																																																																													
T.P. 17.8m		水密扉 No. 140 (原子炉建屋⇔電気建屋)	水密扉	新設	1																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>11 補助ボイラー建屋からの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに 溢水源となりうる機器が存在する補助ボイラー建屋において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している制御建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行った。</p> <p>なお、補助ボイラー建屋における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に包含されることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行った。</p> <p>(2) 補助ボイラー建屋における溢水源 配管計装線図（P&ID）を用いて、補助ボイラー建屋に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料13に示す。</p> <p>(3) 補助ボイラー建屋における溢水量 補助ボイラー建屋において、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。溢水量算出結果を添付資料17に示す。その結果、各系統の溢水量の合計は、319m³となった。</p> <p>a. 手動隔離は期待しない。</p> <p>b. 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p> <p>(4) 補助ボイラー建屋における溢水経路 補助ボイラー建屋における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段を経由し、最終的には最地下階である地下1階及び地上1階に貯留される。補助ボイラー建屋における溢水経路図を添付資料32に示す。</p>	<p>11 出入管理建屋からの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに 溢水源となりうる機器が存在する出入管理建屋において、想定する機器の破損等により生じる溢水、消火水の放水により生じる溢水、地震による機器の破損によって生じる溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している原子炉補助建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行った。</p> <p>なお、出入管理建屋における単一機器の破損により生じる溢水量及び消火水の放水により生じる溢水量は、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量に包含されることから、ここでは、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量について評価を行った。</p> <p>(2) 出入管理建屋における溢水源 系統図及び機器配置図を用いて、出入管理建屋内に存在する溢水源となる系統を抽出した。抽出結果を添付資料12に示す。</p> <p>(3) 出入管理建屋における溢水量 出入管理建屋において、地震に起因する機器の破損に伴う溢水量は、以下の条件に基づき算出した。溢水量算出結果を添付資料16に示す。その結果、各系統の溢水量の合計は1,070m³となった。</p> <p>a. 隔離操作により漏えい停止までの隔離時間を考慮し、配管の破損箇所からの流出流量に隔離時間を乗じて漏水量を設定する。</p> <p>b. 系統保有水量には配管保有水量に加えて、機器の内容積も考慮する。</p> <p>(4) 出入管理建屋における溢水経路 出入管理建屋における、地震に起因する機器の破損に伴い発生した溢水は、階段室を経由し、最終的には最地下階であるT.P.6.3mに貯留される。出入管理建屋における溢水経路図を添付資料28に示す。</p>	<p>【女川】 建屋名称の相違 女川と泊で対象となる建屋は異なるが、どちらも防護対象設備が設置される建屋への伝播防止に対する評価であることから比較対象とした。</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 評価結果の相違による。 設計方針の相違 泊は運転員の隔離操作による漏えい停止を考慮した評価としている。（補足説明資料14「地震時溢水評価の隔離時間の妥当性について」で説明）</p> <p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違による。</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																															
	<p>(5) 補助ボイラー建屋からの溢水影響評価結果</p> <p>補助ボイラー建屋における没水水位は、地上1階エリアで0.3mとなり、溢水経路上にある、制御建屋との境界（貫通部等）に対しては、補助ボイラー建屋における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、補助ボイラー建屋からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表11-1 に補助ボイラー建屋における評価結果を示す。</p> <p>表11-1 補助ボイラー建屋における評価結果（没水）</p> <table border="1" data-bbox="703 549 1265 708"> <thead> <tr> <th colspan="2">区画</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>滞留面積 (m²)</th> <th>没水水位 (m)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>基準床レベル</th> <th>①</th> <th>②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地上1階エリア</td> <td>O.P. +15.0m</td> <td>57^①</td> <td>237</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 地震に起因する機器の破損に伴う溢水量319m³から地下1階の貯留量262m³を除いた値</p>	区画		溢水量 (m ³)	滞留面積 (m ²)	没水水位 (m)	名称	基準床レベル	①	②	①/②	地上1階エリア	O.P. +15.0m	57 ^①	237	0.3	<p>(5) 出入管理建屋からの溢水影響評価結果</p> <p>出入管理建屋における没水水位は、T.P.6.3mで2.9m（満水）、T.P.10.3mで0.9mとなり、溢水経路上にある、原子炉補助建屋との境界（貫通部等）に対しては、出入管理建屋における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることで、出入管理建屋からの溢水による影響がないことを確認した。</p> <p>表11-1 に出入管理建屋における評価結果を示す。また、出入管理建屋の溢水概念図を図11-1に示す。</p> <p>表11-1 出入管理建屋における評価結果（没水）</p> <table border="1" data-bbox="1285 549 1848 683"> <thead> <tr> <th>フロア</th> <th>溢水量 (m³)</th> <th>滞留面積 (m²)</th> <th>溢水水位 (m)</th> </tr> <tr> <td></td> <th>①</th> <th>②</th> <th>①/②</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>T.P.6.3m</td> <td>1070</td> <td>128</td> <td>2.9（満水）</td> </tr> <tr> <td>T.P.10.3m</td> <td>690</td> <td>863</td> <td>0.9</td> </tr> </tbody> </table>  <p>図 11-1 出入管理建屋の溢水概念図</p>	フロア	溢水量 (m ³)	滞留面積 (m ²)	溢水水位 (m)		①	②	①/②	T.P.6.3m	1070	128	2.9（満水）	T.P.10.3m	690	863	0.9	<p>【女川】 建屋名称の相違 【女川】 設計方針の相違 評価結果の相違による。</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊は防護対象設備が設置される建屋との境界及び溢水源の配置を明示するため、出入管理建屋の溢水伝搬概念図を示している。</p>
区画		溢水量 (m ³)	滞留面積 (m ²)	没水水位 (m)																														
名称	基準床レベル	①	②	①/②																														
地上1階エリア	O.P. +15.0m	57 ^①	237	0.3																														
フロア	溢水量 (m ³)	滞留面積 (m ²)	溢水水位 (m)																															
	①	②	①/②																															
T.P.6.3m	1070	128	2.9（満水）																															
T.P.10.3m	690	863	0.9																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																												
	<p>(6) 補助ボイラー建屋からの溢水影響を防止する対策内容 補助ボイラー建屋からの溢水伝播に対して、止水を期待する設備について表11-2 に整理する。</p> <p>表11-2 補助ボイラー建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="696 384 1279 491"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>制御建屋</td> <td>1F</td> <td>補助ボイラー建屋連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	制御建屋	1F	補助ボイラー建屋連絡通路	水密扉	新設	1	<p>(6) 出入管理建屋からの溢水影響を防止する対策内容 出入管理建屋からの溢水伝播に対して、止水を期待する設備について表11-2に整理する。</p> <p>表11-2 出入管理建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="1283 373 1865 644"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">原子炉補助建屋</td> <td>T.P. 6. 3m</td> <td>水密扉 No. 73 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P. 10. 3m</td> <td>水密扉 No. 77 (管理区域メイン出入口⇔出入管理建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P. 10. 3m</td> <td>水密扉 No. 78 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P. 17. 8m</td> <td>水密扉 No. 141 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P. 21. 2m</td> <td>水密扉 No. 144 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	原子炉補助建屋	T.P. 6. 3m	水密扉 No. 73 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1	T.P. 10. 3m	水密扉 No. 77 (管理区域メイン出入口⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1	T.P. 10. 3m	水密扉 No. 78 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1	T.P. 17. 8m	水密扉 No. 141 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1	T.P. 21. 2m	水密扉 No. 144 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1	<p>【女川】 建屋名称の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 対策設備の相違による。</p>
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																										
制御建屋	1F	補助ボイラー建屋連絡通路	水密扉	新設	1																																										
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																										
原子炉補助建屋	T.P. 6. 3m	水密扉 No. 73 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1																																										
	T.P. 10. 3m	水密扉 No. 77 (管理区域メイン出入口⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1																																										
	T.P. 10. 3m	水密扉 No. 78 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1																																										
	T.P. 17. 8m	水密扉 No. 141 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1																																										
	T.P. 21. 2m	水密扉 No. 144 (原子炉補助建屋⇔出入管理建屋)	水密扉	新設	1																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
	<p>12 1号炉制御建屋からの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに 溢水源となりうる機器が存在する1号炉制御建屋において溢水が発生した場合に、この溢水が、防護対象設備を設置している2号炉制御建屋に伝播するか否かについての溢水影響評価を行った。</p> <p>(2) 評価の前提条件 a. 1号炉制御建屋における溢水量の評価、溢水経路の評価は実施せず、地下階はすべて水没することを想定した。 b. 地上部（グラントレベルより上）の各階における溢水量については、4mの水没を想定した。</p> <p>(3) 1号炉制御建屋からの溢水影響評価 2号炉制御建屋との境界（貫通部等）に対しては、1号炉制御建屋における没水水位との関係を考慮した、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずること、1号炉制御建屋からの溢水による影響がないことを確認した。 表12-1 に想定した各階における没水水位を示す。</p> <p style="text-align: center;">表12-1 1号炉制御建屋における没水水位の想定</p> <table border="1" data-bbox="741 917 1218 1106"> <thead> <tr> <th>階層</th> <th>設置床レベル (m)</th> <th>没水水位 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3階</td> <td>0.P. +23.5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>2階</td> <td>0.P. +19.5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>1階</td> <td>0.P. +15.0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>地下1階</td> <td>0.P. +10.5</td> <td>8.5</td> </tr> <tr> <td>地下2階</td> <td>0.P. +5.0</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>地下3階</td> <td>0.P. +1.5</td> <td>17.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 1号炉制御建屋からの溢水影響を防止する対策内容 1号炉制御建屋からの溢水伝播に対して、止水を期待する設備について表12-2に整理する。</p> <p style="text-align: center;">表12-2 1号炉制御建屋からの溢水伝播に対して止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="719 1337 1261 1489"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>設置レベル</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">2号炉制御建屋</td> <td>3F</td> <td>1号MCR境界</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2F</td> <td>1号C/B連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F</td> <td>1号C/B連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>B2F</td> <td>1号C/B連絡通路</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	階層	設置床レベル (m)	没水水位 (m)	3階	0.P. +23.5	4	2階	0.P. +19.5	4	1階	0.P. +15.0	4	地下1階	0.P. +10.5	8.5	地下2階	0.P. +5.0	14	地下3階	0.P. +1.5	17.5	設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数	2号炉制御建屋	3F	1号MCR境界	水密扉	新設	1	2F	1号C/B連絡通路	水密扉	新設	1	1F	1号C/B連絡通路	水密扉	新設	2	B2F	1号C/B連絡通路	水密扉	新設	1		<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違 泊には該当する建屋がない。</p>
階層	設置床レベル (m)	没水水位 (m)																																																	
3階	0.P. +23.5	4																																																	
2階	0.P. +19.5	4																																																	
1階	0.P. +15.0	4																																																	
地下1階	0.P. +10.5	8.5																																																	
地下2階	0.P. +5.0	14																																																	
地下3階	0.P. +1.5	17.5																																																	
設置建屋	設置レベル	対象	種別	区分	箇所数																																														
2号炉制御建屋	3F	1号MCR境界	水密扉	新設	1																																														
	2F	1号C/B連絡通路	水密扉	新設	1																																														
	1F	1号C/B連絡通路	水密扉	新設	2																																														
	B2F	1号C/B連絡通路	水密扉	新設	1																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>5.2 屋外タンクからの溢水影響評価</p> <p>屋外タンク自体は防護対象設備ではないが、地震に起因する破損によって溢水源となりうる屋外タンクから発生する溢水が防護対象設備が設置されている建屋に流入しないことを確認する。</p> <p>なお、想定破損による溢水、放水による溢水については、地震起因による溢水に包絡される。</p> <p>5.2.1 溢水源の抽出</p> <p>発電所敷地内の溢水源となりうるすべての屋外タンクを、図5.2.1-1に示す。このうち、溢水影響のある溢水源について抽出する。地震起因による溢水源としたタンクの抽出フローを図5.2.1-2に示す。</p>	<p>13 屋外タンクからの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに</p> <p>屋外タンク（屋外にあり溢水源となりうる設備を含む）自体は防護対象ではないが、屋外タンクの破損により生じる溢水が、防護対象設備の設置されている原子炉建屋（廃棄物処理エリア（管理区域）を除く）、制御建屋、海水ポンプ室、復水貯蔵タンク（CST）エリア及び軽油タンク（LOT）エリアに及ぼす影響を確認する。</p> <p>(2) 屋外タンクの抽出</p> <p>女川原子力発電所にある溢水影響評価の対象となる屋外タンクの配置を図13-1に、タンク容量を表13-1に示す。</p> <p>なお、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されるタンク（軽油タンク及び復水貯蔵タンク）は抽出対象から除外する。</p>	<p>12 屋外タンクからの溢水影響評価</p> <p>(1) はじめに</p> <p>屋外タンク（屋外にあり溢水源となりうる設備を含む）自体は防護対象ではないが、屋外タンクの破損により生じる溢水が、防護対象設備の設置されている原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋及び循環水ポンプ建屋に及ぼす影響を確認する。</p> <p>なお、原子炉補助機冷却海水等の系統排水については、敷地に流出させない方針とすることから溢水源として想定しない。</p> <p>(2) 屋外タンクの抽出</p> <p>泊発電所にある溢水影響評価の対象となる屋外タンクの配置を図12-1に、タンク容量を表12-1に示す。</p>	<p>【大阪・女川】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 建屋名称の相違 記載方針の相違 泊では屋外タンク以外の溢水源を敷地に流出させない方針を明記している。（記載内容は要検討）</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【大阪・女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊では、A、B-2次系純水タンク、A、B-ろ過水タンク及び3A、3B-ろ過水タンクの本体は耐震性が確保されているが、接続配管は耐震性が確保されていないことから、完全全周破断を想定したタンク保有水量の全量を溢水量として考慮している。</p> <p>【大阪・女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違による。</p>
<p>図5.2.1-1 溢水源となりうる屋外タンク</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>図13-1 溢水影響評価の対象となる屋外タンクの配置図</p>	<p>図12-1 溢水影響評価の対象となる屋外タンクの配置図</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉							女川原子力発電所2号炉							泊発電所3号炉					相違理由
表5.2.2-1 溢水の影響のあるタンク（区分D、区分E）							表13-1 溢水影響評価の対象となる屋外タンクの容量（1/2）							表12-1 溢水影響評価の対象となる屋外タンクの容量					<p>【大飯・女川】 記載表現の相違</p> <p>【大飯・女川】 設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違による。</p>
No.	タンク名称	ユニット	基数	容量 (m ³)	区分	溢水量 (m ³)	No.	タンク名称	基数	設置高さ(m)	容量(m ³)	評価に用いる容量(m ³)	No.	タンク名称	基数	容量 (m ³)	評価に用いる容量 (m ³)		
2	1次系純水タンク	2号炉	1基	424	E	424	1	No.1 純水タンク	1	0.P. +15.1	1,000	1,000	1	A-2次系純水タンク	1	1,500	1,600		
7	主復水タンク	2号炉	1基	1,150	E	1,150	2	No.2 純水タンク	1	0.P. +15.4	2,000	2,000	2	B-2次系純水タンク	1	1,500	1,600		
12	ヒドラジン原液タンク	2号炉	1基	12	E	12	3	1.2号ろ過水タンク	1	0.P. +15.1	2,000	2,000	3	3A-ろ過水タンク	1	1,500	1,600		
23	淡水サージタンク	3号炉 4号炉	1基	100	D/E	100	4	再生純水タンク	1	0.P. +15.1	1,000	0 ※1	4	3B-ろ過水タンク	1	1,500	1,600		
24	飲料水タンク	3号炉 4号炉	1基	30	D/E	30	5	No.1 サプレッション プール水貯蔵タンク	1	0.P. +15.3	2,000	0 ※1	5	A-ろ過水タンク	1	1,500	1,600		
27	復水処理建屋	3号炉 4号炉	2基	138.2	D/E	276.4	6	No.2 サプレッション プール水貯蔵タンク	1	0.P. +15.3	1,000	0 ※1	6	B-ろ過水タンク	1	1,500	1,600		
28	構内排水設備	3号炉 4号炉	1基	48	E	48	7	3号純水タンク	1	0.P. +15.1	1,000	1,000	7	1号及び2号炉 補助ボイラー燃料タンク	1	600	450※		
29	構内排水B 次亜塩素酸 ソーダ貯槽(予備)	3号炉 4号炉	1基	36	E	36	8	3号ろ過水タンク	1	0.P. +15.1	2,000	2,000	8	3号炉 補助ボイラー燃料タンク	1	735	410※		
30	構内排水B 塩酸貯槽	3号炉 4号炉	1基	6	E	6	9,10	原水タンク	2	0.P. +70.04	4,000	8,000	9	1号炉 タービン油計量タンク	1	70	70		
31	構内排水B 苛性ソーダ 貯槽	3号炉 4号炉	1基	6	E	6	11-1	1号復水浄化系復水脱 塩装置硫酸貯槽	1	0.P. +16.1	5.4	5.4	10	3号炉 タービン油計量タンク	1	110	0※		
32	純水装置硫酸貯槽	3号炉 4号炉	1基	8.9	E	8.9	11-2	1号復水浄化系復水脱 塩装置苛性ソーダ貯槽	1	0.P. +16.2	20	20	合計			10,530			
33	純水装置苛性ソーダ貯 槽	3号炉 4号炉	1基	41	E	41	12	1号第1圧調合槽	1	0.P. +15.0	2.2	2.2	※評価に用いる容量は、発電所の所則類に反映し、運用容量を超過しないように管理する なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である（別添2参照）。						
39	タービン建屋海水電解 装置受液槽	3号炉 4号炉	1基	3.5	D/E	3.5	13-1	2号復水浄化系復水脱 塩装置苛性ソーダ貯槽	1	0.P. +16.0	32	0 ※1							
40	1、2 アニオン排水タン ク	1号炉 2号炉	1基	121	E	121	13-2	2号復水浄化系復水脱 塩装置硫酸貯槽	1	0.P. +16.6	7.5	0 ※1							
41	1、2 カチオン排水タン ク	1号炉 2号炉	2基	105	E	210	13-3	2号硫酸計量槽	1	0.P. +15.8	0.3	0 ※1							
溢水量合計							約 2,480	14	2号バック入り超圧調 合装置	1	0.P. +15.4	1	1						
								15	3号各種薬液貯蔵及び 移送系硫酸貯槽	1	0.P. +16.0	2.2	0 ※1						
								16	3号各種薬液貯蔵及び 移送系苛性ソーダ貯槽	1	0.P. +16.0	10.5	0 ※1						
								17	3号超圧調合槽	1	0.P. +15.3	0.1	0.1						
								18-1	PAC貯槽	1	0.P. +18.3	2	2						
								18-2	硫酸貯槽	1	0.P. +17.3	3.9	3.9						
								18-3	苛性ソーダ貯槽	1	0.P. +15.7	7	7						
								18-4	H塔再生用硫酸貯槽	1	0.P. +16.8	0.3	0.3						
								19	1,2号給排水建屋	1	0.P. +14.8	375.21	375.21						
								20	3号給排水建屋	1	0.P. +14.8	404.88	404.88						
								21-1	高濃水槽（給湯系統）	1	0.P. +33.3	6	6						
								21-2	高濃水槽（給水系統）	1	0.P. +33.3	8	8						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																							
<p>【区分の考え方】</p> <p>(1) 溢水影響がないもの</p> <p>①地震による溢水源としないタンク(区分A)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基準地震動Ssによる地震力に対して耐震性を確保するもの又は耐震対策工事により、耐震性を確保するもの。 <p>②地震により破損するが、評価対象外とするタンク(区分B)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漏えいの際に気化又は固化する物質を内包しているタンク ・地形等を踏まえ防護対象設備が設置されている建屋に溢水が伝播しないタンク <p>③空運用を行うタンク(区分C)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラントの運用にて空としているタンク ・溢水影響を防止するために、空運用を行うタンク <p>(2) 溢水影響を評価するもの</p> <p>④4号側の防護対象設備が設置されている建屋に溢水が伝播するタンク(区分D)</p> <p>⑤3号側の防護対象設備が設置されている建屋に溢水が伝播するタンク(区分E)</p> <p>⑥タービン建屋に溢水が伝播するタンク(区分D及び区分E)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防護対象設備が設置されている建屋に伝播する溢水は、タービン建屋に流入する。タービン建屋に流入するタンクは、④⑤項の区分D及び区分Eである。 	<p>表13-1 溢水影響評価の対象となる屋外タンク容量(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>タンク名称</th> <th>基数</th> <th>設置高さ(m)</th> <th>容量(m³)</th> <th>評価に用いる容量(m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>22-1</td><td>No.1 高架水槽</td><td>1</td><td>O.P. +34.7</td><td>8</td><td>8</td></tr> <tr><td>22-2</td><td>No.2 高架水槽</td><td>1</td><td>O.P. +34.7</td><td>8</td><td>8</td></tr> <tr><td>23-1</td><td>上水高架水槽</td><td>1</td><td>-</td><td>9.2</td><td>9.2</td></tr> <tr><td>23-2</td><td>雑用水高架水槽</td><td>1</td><td>-</td><td>13.7</td><td>13.7</td></tr> <tr><td>24-1</td><td>高架水槽(飲料用)</td><td>1</td><td>O.P. +34.8</td><td>1.2</td><td>1.2</td></tr> <tr><td>24-2</td><td>高架水槽(雑用)</td><td>1</td><td>O.P. +34.8</td><td>2.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>24-3</td><td>氷蓄熱槽(PAI-1)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.01</td><td>1.01</td></tr> <tr><td>24-4</td><td>氷蓄熱槽(PAI-3)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>24-5</td><td>氷蓄熱槽(PAI-4)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>24-6</td><td>高架水槽(飲料水)</td><td>1</td><td>O.P. +36.55</td><td>1.5</td><td>1.5</td></tr> <tr><td>24-7</td><td>高架水槽(雑用水)</td><td>1</td><td>O.P. +36.55</td><td>2.2</td><td>2.2</td></tr> <tr><td>24-8</td><td>氷蓄熱槽(PAI-1)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>24-9</td><td>氷蓄熱槽(PAI-2)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>24-10</td><td>氷蓄熱槽(PAI-3)</td><td>1</td><td>O.P. +19.68</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>25</td><td>主復水器用電解鉄イオン注入装置電解槽</td><td>2</td><td>O.P. +15.613</td><td>3.4</td><td>6.8</td></tr> <tr><td>26</td><td>氷蓄熱槽(PAI-1)</td><td>1</td><td>O.P. +14.95</td><td>1.49</td><td>1.49</td></tr> <tr><td>27</td><td>受水槽</td><td>1</td><td>O.P. +15.3</td><td>6</td><td>6</td></tr> <tr><td>28-1</td><td>上水受水槽</td><td>1</td><td>O.P. +62.9</td><td>37</td><td>37</td></tr> <tr><td>28-2</td><td>雑用水受水槽</td><td>1</td><td>O.P. +62.9</td><td>55</td><td>55</td></tr> <tr><td>28-3</td><td>受水槽</td><td>1</td><td>O.P. +62.9</td><td>0.5</td><td>0.5</td></tr> <tr><td>29</td><td>燃料小出槽</td><td>1</td><td>O.P. +58.592</td><td>0.95</td><td>0.95</td></tr> <tr><td>30</td><td>給水タンク</td><td>1</td><td>-</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>31</td><td>配水池</td><td>1</td><td>O.P. +69.7</td><td>300</td><td>300</td></tr> <tr><td>32-1</td><td>ろ過タンク(浄水)</td><td>1</td><td>O.P. +69.7</td><td>6</td><td>6</td></tr> <tr><td>32-2</td><td>ろ過タンク(浄水)</td><td>1</td><td>O.P. +69.7</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td>33</td><td>消火水タンク</td><td>1</td><td>O.P. +14.8</td><td>230</td><td>230</td></tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">合計容量(m³)</td> <td>17,540</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 評価に用いる容量は、発電所の所則順に反映し、運用容量を超過しないように管理する。なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。(別添2参照)</p>	No.	タンク名称	基数	設置高さ(m)	容量(m ³)	評価に用いる容量(m ³)	22-1	No.1 高架水槽	1	O.P. +34.7	8	8	22-2	No.2 高架水槽	1	O.P. +34.7	8	8	23-1	上水高架水槽	1	-	9.2	9.2	23-2	雑用水高架水槽	1	-	13.7	13.7	24-1	高架水槽(飲料用)	1	O.P. +34.8	1.2	1.2	24-2	高架水槽(雑用)	1	O.P. +34.8	2.0	2.0	24-3	氷蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +19.68	1.01	1.01	24-4	氷蓄熱槽(PAI-3)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49	24-5	氷蓄熱槽(PAI-4)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49	24-6	高架水槽(飲料水)	1	O.P. +36.55	1.5	1.5	24-7	高架水槽(雑用水)	1	O.P. +36.55	2.2	2.2	24-8	氷蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49	24-9	氷蓄熱槽(PAI-2)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49	24-10	氷蓄熱槽(PAI-3)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49	25	主復水器用電解鉄イオン注入装置電解槽	2	O.P. +15.613	3.4	6.8	26	氷蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +14.95	1.49	1.49	27	受水槽	1	O.P. +15.3	6	6	28-1	上水受水槽	1	O.P. +62.9	37	37	28-2	雑用水受水槽	1	O.P. +62.9	55	55	28-3	受水槽	1	O.P. +62.9	0.5	0.5	29	燃料小出槽	1	O.P. +58.592	0.95	0.95	30	給水タンク	1	-	2	2	31	配水池	1	O.P. +69.7	300	300	32-1	ろ過タンク(浄水)	1	O.P. +69.7	6	6	32-2	ろ過タンク(浄水)	1	O.P. +69.7	4	4	33	消火水タンク	1	O.P. +14.8	230	230	合計容量(m ³)				17,540		<p>【大飯・女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違による。</p> <p>【大飯】 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 ・大飯は溢水源となりうる屋外タンクを区分ごとに分類し、評価対象とするタンクを抽出しており、抽出フロー及び抽出結果を示しているが、泊は屋外タンクすべてを溢水源として抽出している。
No.	タンク名称	基数	設置高さ(m)	容量(m ³)	評価に用いる容量(m ³)																																																																																																																																																																					
22-1	No.1 高架水槽	1	O.P. +34.7	8	8																																																																																																																																																																					
22-2	No.2 高架水槽	1	O.P. +34.7	8	8																																																																																																																																																																					
23-1	上水高架水槽	1	-	9.2	9.2																																																																																																																																																																					
23-2	雑用水高架水槽	1	-	13.7	13.7																																																																																																																																																																					
24-1	高架水槽(飲料用)	1	O.P. +34.8	1.2	1.2																																																																																																																																																																					
24-2	高架水槽(雑用)	1	O.P. +34.8	2.0	2.0																																																																																																																																																																					
24-3	氷蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +19.68	1.01	1.01																																																																																																																																																																					
24-4	氷蓄熱槽(PAI-3)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49																																																																																																																																																																					
24-5	氷蓄熱槽(PAI-4)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49																																																																																																																																																																					
24-6	高架水槽(飲料水)	1	O.P. +36.55	1.5	1.5																																																																																																																																																																					
24-7	高架水槽(雑用水)	1	O.P. +36.55	2.2	2.2																																																																																																																																																																					
24-8	氷蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49																																																																																																																																																																					
24-9	氷蓄熱槽(PAI-2)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49																																																																																																																																																																					
24-10	氷蓄熱槽(PAI-3)	1	O.P. +19.68	1.49	1.49																																																																																																																																																																					
25	主復水器用電解鉄イオン注入装置電解槽	2	O.P. +15.613	3.4	6.8																																																																																																																																																																					
26	氷蓄熱槽(PAI-1)	1	O.P. +14.95	1.49	1.49																																																																																																																																																																					
27	受水槽	1	O.P. +15.3	6	6																																																																																																																																																																					
28-1	上水受水槽	1	O.P. +62.9	37	37																																																																																																																																																																					
28-2	雑用水受水槽	1	O.P. +62.9	55	55																																																																																																																																																																					
28-3	受水槽	1	O.P. +62.9	0.5	0.5																																																																																																																																																																					
29	燃料小出槽	1	O.P. +58.592	0.95	0.95																																																																																																																																																																					
30	給水タンク	1	-	2	2																																																																																																																																																																					
31	配水池	1	O.P. +69.7	300	300																																																																																																																																																																					
32-1	ろ過タンク(浄水)	1	O.P. +69.7	6	6																																																																																																																																																																					
32-2	ろ過タンク(浄水)	1	O.P. +69.7	4	4																																																																																																																																																																					
33	消火水タンク	1	O.P. +14.8	230	230																																																																																																																																																																					
合計容量(m ³)				17,540																																																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図 5.2.1-2 屋外タンクの抽出フロー</p>			<p>【大飯】 設計方針の相違 ・女川審査実績の反映 ・大飯は溢水源となりうる屋外タンクを区分ごとに分類し、評価対象とするタンクを抽出しており、抽出フロー及び抽出結果を示しているが、泊は屋外タンクすべてを溢水源として抽出している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
<p>5.2.2 溢水影響評価</p> <p>溢水の影響のあるタンクとして抽出した区分D、区分Eのタンクから地震起因により発生した溢水は、屋外トレンチを経由してタービン建屋に流入するもの又は直接タービン建屋に流入するものである。そのタンクの容量を表5.2.2-1に示す。</p> <p>なお、区分Dのタンクはすべて3号側へ伝播することから、区分Eにも分類される。よって、区分Eの合計がタービン建屋に伝播する溢水量(2,480m³)である。</p> <p>タービン建屋に伝播する溢水は、「5.1タービン建屋からの溢水影響評価」において評価を実施している。</p> <p>さらに、タービン建屋に流入しない想定とした評価の場合、3号側の防護対象設備が設置されている建屋に伝播する溢水を評価する。</p> <p>敷地は、中央道路から海へ向かって勾配があり排水される設計であるが、保守的に一時的に滞留するものとする。3号側の防護対象設備が設置されている建屋に伝播する溢水量は、区分Eより溢水量合計2,480m³であり表5.2.2-2に示すとおり、溢水水位はE.L.+10.5mとなるが、防護対象設備が設置されている建屋は、E.L.+11.4mまでの流入防止対策(水密扉の設置)を実施しており、溢水は流入しない。</p>	<p>(3) 評価の前提条件</p> <p>a. 敷地内に広がった溢水は雨水排水路からの流出や地盤への浸透は考慮しない。</p> <p>b. タンクから漏えいした溢水は敷地全体に均一に広がるものとする。</p> <p>(4) 屋外タンクによる溢水影響評価</p> <p>屋外の溢水影響評価に影響を及ぼす大型の水源(1000m³以上の大型タンク)については、最高使用圧力が静水頭であり、想定破損による評価が除外できる。このため、屋外タンクによる溢水影響評価においては、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されないタンクについて、複数同時破損を想定した溢水影響評価を実施した。</p> <p>その結果、屋外タンクの破損により生じる溢水が、防護対象設備の設置されている原子炉建屋、制御建屋、海水ポンプ室及び復水貯蔵タンクエリアに影響を及ぼさないことを確認した。</p> <p>なお、軽油タンクエリアについては、軽油タンクの地下化工事に伴い、水密構造とすることから、溢水影響がないと評価した。</p> <p>表13-2に屋外タンクによる溢水影響評価結果を示す。</p>	<p>(3) 評価の前提条件</p> <p>a. 敷地内に広がった溢水は雨水排水路からの流出や地盤への浸透は考慮しない。</p> <p>b. タンクから漏えいした溢水は敷地全体に均一に広がるものとする。</p> <p>(4) 屋外タンクによる溢水影響評価</p> <p>屋外の溢水影響評価に影響を及ぼす大型の水源(1,000m³以上の大型タンク)については、最高使用圧力が静水頭であり、想定破損による評価が除外できる。このため、屋外タンクによる溢水影響評価においては、基準地震動による地震力に対して耐震性が確保されないタンクについて、複数同時破損を想定した溢水影響評価を実施した。</p> <p>その結果、屋外タンクの破損により生じる溢水が、防護対象設備の設置されている原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋及び循環水ポンプ建屋に影響を及ぼさないことを確認した。なお、原子炉建屋及び原子炉補助建屋には、屋外に接する開口は無いことから、それぞれ隣接するタービン建屋及び出入管理建屋の出入口高さが最大浸水深を上回ることを確認した。</p> <p>A1、A2-燃料油貯油槽タンク室及びB1、B2-燃料油貯油槽タンク室については、タンク室内に設置されているディーゼル発電機燃料油貯油槽及び燃料油配管は静的機器であることから、溢水影響がないと評価した。</p> <p>表12-2に屋外タンクによる溢水影響評価結果を示す。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績の反映 ・泊は屋外タンクの保有水がタービン建屋に流入する条件として評価していることを補足説明資料35「タービン建屋からの溢水影響評価に用いる溢水量について」に記載している。</p> <p>【女川】 建屋名称の相違 設備名称の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 ・泊の原子炉建屋、原子炉補助建屋には、屋外から直接出入するため出入口は無いため、隣接するタービン建屋及び出入管理建屋の出入口を水位測定箇所として評価を実施している。 ・泊の燃料油貯油槽タンク室は、女川の軽油タンクエリアのような水密構造では無いが、仮に室内に溢水が流出した場合でも溢水影響は無いことを確認している。</p> <p>【女川・大飯】 設計方針の相違 評価結果の相違による。</p>																																																
<p>表 5.2.2-2 3号原子炉周辺建屋周りの溢水影響評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>3号側の防護対象設備が設置されている建屋外の滞留面積</th> <th>溢水量合計</th> <th>溢水水位</th> <th>防護対象設備が設置されている建屋の流入防止対策高さ</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,300m²</td> <td>2,480m³</td> <td>E.L.+10.5m[※]</td> <td>E.L.+11.4m</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※溢水水位 E.L.+10.5m=E.L.+9.7m+約0.8m(=2,480m³/3,300m²)</p>	3号側の防護対象設備が設置されている建屋外の滞留面積	溢水量合計	溢水水位	防護対象設備が設置されている建屋の流入防止対策高さ	評価	3,300m ²	2,480m ³	E.L.+10.5m [※]	E.L.+11.4m	○	<p>表13-2 屋外タンクによる溢水影響評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>カーブ高さ(m)</th> <th>溢水量(m³)</th> <th>敷地面積(m²)</th> <th>敷地浸水深^{※1}(m)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td>0.33^{※1}</td> <td rowspan="4">17,540</td> <td rowspan="4">115,000</td> <td rowspan="4">0.16</td> <td rowspan="4">○</td> </tr> <tr> <td>制御建屋</td> <td>0.33^{※1}</td> </tr> <tr> <td>海水ポンプ室</td> <td>0.20^{※2}(0.60^{※3})</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク</td> <td>0.20^{※1}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 建屋外壁扉の下端レベルから敷地レベル0.P.+14.8mを引いた値 ※2 海水ポンプ室ピット上端から敷地レベル0.P.+14.8mを引いた値 ※3 海水ポンプ室浸水防止壁上端から敷地レベル0.P.+14.8mを引いた値 ※4 敷地レベル0.P.+14.8mからの浸水深</p>		カーブ高さ(m)	溢水量(m ³)	敷地面積(m ²)	敷地浸水深 ^{※1} (m)	評価	原子炉建屋	0.33 ^{※1}	17,540	115,000	0.16	○	制御建屋	0.33 ^{※1}	海水ポンプ室	0.20 ^{※2} (0.60 ^{※3})	復水貯蔵タンク	0.20 ^{※1}	<p>表12-2 屋外タンクによる溢水影響評価結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>建屋開口高さ(m)</th> <th>溢水量(m³)</th> <th>敷地面積(m²)</th> <th>敷地浸水深^{※1}(m)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋(タービン建屋入口)</td> <td>0.30^{※1}</td> <td rowspan="5">10,530</td> <td rowspan="5">116,800</td> <td rowspan="5">0.10</td> <td rowspan="5">○</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機建屋</td> <td>0.30^{※1}</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助建屋(出入管理建屋入口)</td> <td>0.30^{※1}</td> </tr> <tr> <td>循環水ポンプ建屋</td> <td>0.30^{※1}</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.30^{※1}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 建屋入口高さから敷地レベルT.P.10.0mを引いた値 ※2 敷地レベルT.P.10.0mからの浸水深</p>	建屋	建屋開口高さ(m)	溢水量(m ³)	敷地面積(m ²)	敷地浸水深 ^{※1} (m)	評価	原子炉建屋(タービン建屋入口)	0.30 ^{※1}	10,530	116,800	0.10	○	ディーゼル発電機建屋	0.30 ^{※1}	原子炉補助建屋(出入管理建屋入口)	0.30 ^{※1}	循環水ポンプ建屋	0.30 ^{※1}		0.30 ^{※1}	
3号側の防護対象設備が設置されている建屋外の滞留面積	溢水量合計	溢水水位	防護対象設備が設置されている建屋の流入防止対策高さ	評価																																															
3,300m ²	2,480m ³	E.L.+10.5m [※]	E.L.+11.4m	○																																															
	カーブ高さ(m)	溢水量(m ³)	敷地面積(m ²)	敷地浸水深 ^{※1} (m)	評価																																														
原子炉建屋	0.33 ^{※1}	17,540	115,000	0.16	○																																														
制御建屋	0.33 ^{※1}																																																		
海水ポンプ室	0.20 ^{※2} (0.60 ^{※3})																																																		
復水貯蔵タンク	0.20 ^{※1}																																																		
建屋	建屋開口高さ(m)	溢水量(m ³)	敷地面積(m ²)	敷地浸水深 ^{※1} (m)	評価																																														
原子炉建屋(タービン建屋入口)	0.30 ^{※1}	10,530	116,800	0.10	○																																														
ディーゼル発電機建屋	0.30 ^{※1}																																																		
原子炉補助建屋(出入管理建屋入口)	0.30 ^{※1}																																																		
循環水ポンプ建屋	0.30 ^{※1}																																																		
	0.30 ^{※1}																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
<p>5.2.3 鯨谷タンクエリアについて</p> <p>原子炉施設西方の鯨谷タンクエリア（約E.L. + 80.0m）に設置されているタンク群については、各タンクの水位を下げて運用する。その諸元を表1に示す。</p> <p>また地震時については、淡水タンク下部及び飲料水タンク下部に接続されている配管すべてが地震により破損すると仮定し、評価した。</p> <p>淡水タンクから生じた溢水は、鯨谷タンクエリア内に設置する立坑及び排水トンネルを通じて構外へ排水することから原子炉施設側へ伝播しないことを確認した。</p> <p>表 5.2.3-1 鯨谷タンクエリアに設置されている屋外タンク</p> <table border="1" data-bbox="152 922 672 1118"> <thead> <tr> <th>タンク名称</th> <th>No.1 淡水タンク</th> <th>No.2,3 淡水タンク</th> <th>2次系純水タンク</th> <th>C-2次系純水タンク</th> <th>飲料水タンク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ユニット</td> <td>1、2号炉</td> <td>1、2号炉</td> <td>1、2号炉</td> <td>3、4号炉</td> <td>1、2号炉</td> </tr> <tr> <td>基数</td> <td>1基</td> <td>2基</td> <td>2基</td> <td>1基</td> <td>1基</td> </tr> <tr> <td>設置高さ(m)</td> <td>E.L.+81.0</td> <td>E.L.+81.0</td> <td>E.L.+72.5</td> <td>E.L.+81.0</td> <td>E.L.+72.5</td> </tr> <tr> <td>容量(m³)</td> <td>10,000</td> <td>10,000</td> <td>3,000</td> <td>7,500</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>内径(mm)</td> <td>34,870</td> <td>34,870</td> <td>19,380</td> <td>29,050</td> <td>9,670</td> </tr> <tr> <td>高さ(mm) (胴板高さ)</td> <td>12,180</td> <td>12,180</td> <td>10,660</td> <td>12,180</td> <td>7,620</td> </tr> <tr> <td>運用水位[*] (mm)[容量]</td> <td>0 [0m³]</td> <td>8,380 [8,000m³]</td> <td>0 [0m³]</td> <td>0 [0m³]</td> <td>680 [50m³]</td> </tr> </tbody> </table> <p><small>*運用水位については、発電所の所則類に反映し、運用水位を超過しないように管理する。</small></p> <p>5.2.4 まとめ</p> <p>屋外タンクから発生する溢水が防護対象設備が設置されている建屋に溢水が流入しないことを確認した。</p> <p>なお、万一これらタンクの溢水が防護対象設備が設置されている建屋に到達したとしても流入防止対策（水密性を有する貫通部のシール充てん、水密扉の設置）を実施しており、溢水は流入しない。</p> <p>（添付資料5.2）屋外タンクからの溢水影響評価</p>	タンク名称	No.1 淡水タンク	No.2,3 淡水タンク	2次系純水タンク	C-2次系純水タンク	飲料水タンク	ユニット	1、2号炉	1、2号炉	1、2号炉	3、4号炉	1、2号炉	基数	1基	2基	2基	1基	1基	設置高さ(m)	E.L.+81.0	E.L.+81.0	E.L.+72.5	E.L.+81.0	E.L.+72.5	容量(m ³)	10,000	10,000	3,000	7,500	500	内径(mm)	34,870	34,870	19,380	29,050	9,670	高さ(mm) (胴板高さ)	12,180	12,180	10,660	12,180	7,620	運用水位 [*] (mm)[容量]	0 [0m ³]	8,380 [8,000m ³]	0 [0m ³]	0 [0m ³]	680 [50m ³]		<p>(5) 屋外消火活動に伴う溢水影響</p> <p>屋外消火活動では、屋外消火栓や変圧器の火災に対するスプリンクラーからの放水が想定される。これらの放水には、表12-1に示すNo.3～6のタンクが水源として使用される。前項の評価では、基準地震動により表12-1の全てのタンクが損傷し、内包水全量が溢水となり敷地に流出した場合でも、防護対象設備に溢水影響が及ばないことを確認している。</p> <p>したがって、屋外消火栓及びスプリンクラーからの放水による溢水が敷地に流出した場合でも、防護対象設備の安全機能に影響を与えることはない。</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 泊では、屋外消火活動時の溢水影響が、地震時の屋外タンク損傷を想定した溢水影響評価に含まれることを記載している。</p> <p>【大飯】 設計方針の相違 鯨谷タンクエリアは大飯固有の評価エリアである。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
タンク名称	No.1 淡水タンク	No.2,3 淡水タンク	2次系純水タンク	C-2次系純水タンク	飲料水タンク																																														
ユニット	1、2号炉	1、2号炉	1、2号炉	3、4号炉	1、2号炉																																														
基数	1基	2基	2基	1基	1基																																														
設置高さ(m)	E.L.+81.0	E.L.+81.0	E.L.+72.5	E.L.+81.0	E.L.+72.5																																														
容量(m ³)	10,000	10,000	3,000	7,500	500																																														
内径(mm)	34,870	34,870	19,380	29,050	9,670																																														
高さ(mm) (胴板高さ)	12,180	12,180	10,660	12,180	7,620																																														
運用水位 [*] (mm)[容量]	0 [0m ³]	8,380 [8,000m ³]	0 [0m ³]	0 [0m ³]	680 [50m ³]																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>5.3 湧水サンプからの溢水影響評価</p> <p>原子炉周辺建屋周辺の地下水は、導水管により原子炉周辺建屋内の湧水サンプに集められる。湧水サンプには、耐震性を有する2台のポンプを設置しており、海水管を経由して海へ排水することが可能である。</p> <p>なお、湧水サンプ室は非常に剛性の高い基礎盤の一部であり、基準地震動Ssに対しても湧水サンプ室を構成する壁は弾性範囲にある。</p> <p>また、安全上重要な機器が設置されている原子炉周辺建屋壁においても、グランドレベル以下についても湧水サンプと同様に弾性範囲にあることから、湧水が浸水することはない。</p> <p>（添付資料5.3）湧水サンプからの溢水影響評価</p>	<p>14 地下水による影響評価</p> <p>(1) 通常時の地下水の排水</p> <p>原子炉建屋周辺の地下水は、以下のとおり排水される。（図14-1参照）</p> <p>a. 建屋底面に接する地盤からの湧水は、基礎底面下のサブドレンにより建屋周辺の集水管に集水し、集水管の流末に設置されている揚水井戸から揚水ポンプ（揚水井戸1箇所）に揚水ポンプが2台設置されている）により縦排水管を通して屋外排水溝に排水される。</p> <p>b. 建屋周辺の地盤からの湧水は、直接集水管に集水し、集水管の流末に設置されている揚水井戸から揚水ポンプにより縦排水管を通して屋外排水溝に排水される。</p> <div data-bbox="719 746 1263 986" data-label="Diagram"> <p>この図は、原子炉建屋の地下水位低下設備の概要を示しています。建屋の基礎底面にはサブドレンが設置されており、そこから集水管へと繋がります。集水管の流末には揚水井戸があり、ここから揚水ポンプが設置されています。また、建屋周辺の地盤からの湧水は、直接集水管に集水し、揚水井戸から揚水ポンプにより縦排水管を通して屋外排水溝に排水されます。</p> </div> <p>図14-1 地下水位低下設備の概要</p>	<p>13 地下水による影響評価</p> <p>(1) 通常時の地下水の排水</p> <p>原子炉建屋周辺の地下水は、以下のとおり排水される（図13-1、図13-2参照）。</p> <p>a. 建屋底面に接する地盤からの湧水は、基礎底面下の集水管及びサブドレンに集水し、集水管の流末に設置されている湧水ビットから湧水ビットポンプ（湧水ビット1箇所に湧水ビットポンプが2台設置されている）により排水配管を通して一次系放水ビットに排水される。</p> <p>b. 建屋周辺の地盤からの湧水は、基礎底面下の集水管のうち、外郭に設置された集水管に集水し、集水管の流末に設置されている湧水ビットから湧水ビットポンプにより排水管を通して一次系放水ビットに排水される。</p> <div data-bbox="1301 751 1845 991" data-label="Diagram"> <p>この図は、原子炉建屋の地下水排水設備の概要を示しています。原子炉補助建屋と原子炉建屋の間に集水管が設置されており、そこからサブドレンへと繋がります。集水管の流末には湧水ビットがあり、ここから湧水ビットポンプが設置されています。また、建屋周辺の地盤からの湧水は、直接集水管に集水し、湧水ビットから湧水ビットポンプにより排水管を通して一次系放水ビットに排水されます。</p> </div> <p>図13-1 地下水排水設備の概要</p> <div data-bbox="1308 1070 1852 1358" data-label="Diagram"> <p>この図は、原子炉建屋の地下水排水設備の配置を示しています。原子炉補助建屋と原子炉建屋の間に集水管が設置されており、そこからサブドレンへと繋がります。集水管の流末には湧水ビットがあり、ここから湧水ビットポンプが設置されています。また、建屋周辺の地盤からの湧水は、直接集水管に集水し、湧水ビットから湧水ビットポンプにより排水管を通して一次系放水ビットに排水されます。</p> </div> <p>図13-2 地下水排水設備の配置</p>	<p>【大阪・女川】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載方針の相違 ・泊は地下水排水設備の配置図も示す。</p> <p>【女川】 設備名称の相違 泊の地下水排水設備と女川の地下水位低下設備は、共に基礎底面から集水した地下水をポンプにより排水する設計である。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(2) 揚水ポンプ停止時における地下水による影響</p> <p>以下に示す理由により、揚水ポンプ停止により建屋周囲の水位が地表面まで上昇することを想定した場合でも、地下水が防護対象設備を設置している区画へ流入することはない。</p> <p>a. 地下外壁にはアスファルト防水を施しており、更に防水層の上に保護板を設置し、防水層が切れないように配慮している。</p> <p>b. 安全上重要な機器が設置されている原子炉建屋、制御建屋の地下外壁については、地震時に想定される残留ひび割れの評価結果から、「原子炉施設における建築物の維持管理指針・同解説（日本建築学会）」に示される、コンクリート構造物の使用性（水密）の観点から設定されたひび割れ幅の評価基準値【0.2mm未満】を満足することを確認している。</p>	<p>(2) 湧水ビットポンプ停止時における地下水による影響</p> <p>地下水排水設備については、想定される事象等を考慮し、信頼性向上対策を施すことで、供用期間のすべての状態において機能喪失しない設計とするものの、仮に湧水ビットポンプ停止により建屋周囲の水位が地表面まで上昇することを想定した場合でも、以下に示す理由により、地下水が防護対象設備を設置している区画へ流入することはない。</p> <p>a. 地下外壁にはアスファルト防水を施しており、さらに防水層の上に保護板を設置し、防水層が切れないように配慮している。</p> <p>b. 安全上重要な機器が設置されている原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋の地下外壁については、地震時に想定される残留ひび割れの評価結果から、「原子炉施設における建築物の維持管理指針・同解説（日本建築学会）」に示される、コンクリート構造物の使用性（水密）の観点から設定されたひび割れ幅の評価基準値【0.2mm未満】を満足することを確認している。</p> <p>c. 原子炉補助建屋と湧水ビットの境界（湧水ビットポンプ設置床）に対しては、溢水防護措置（ドレンライン逆止弁の設置等）を講ずることにより、湧水ビットから原子炉補助建屋内に地下水が伝播しないよう配慮している。</p> <p>d. A1、A2—燃料油貯油槽タンク室及びB1、B2—燃料油貯油槽タンク室については、タンク室内に設置されているディーゼル発電機燃料油貯油槽及び燃料油配管は静的機器であることから、地下水の流入による溢水影響がないと評価した。</p> <p>e. 安全上重要な機器が設置されている循環水ポンプ建屋のうち取水ビットポンプ室の側壁については、止水機能が要求される構造部材として、「水道施設耐震工法指針・解説2009」に規定されている照査基準のとおり、漏水が生じるような顕著な（部材を貫通するような）ひび割れが発生しないよう、目標性能としては鉄筋が降伏しないこと及び発生せん断力がせん断耐力以下になることを確認している。</p>	<p>【女川】</p> <p>設備名称の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>泊は地下水排水設備を供用期間の全ての状態において機能喪失しない設計とすることを記載している。（女川の地下水位低下設備も機能喪失しない設計であることは泊と同様）</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【女川】</p> <p>建屋名称の相違</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊は溢水防護対象設備を内包する原子炉補助建屋の最下階に湧水ビットが設置されており、湧水ビット上部の湧水ビットポンプ設置床を介した建屋内への地下水の流入を防止する設計としている。</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊の燃料油貯油槽タンク室は静的機器である防護対象設備のみを内包しており、仮に室内に地下水が流入した場合でも溢水影響は無いことを確認している。</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊の原子炉補機冷却海水ポンプが設置される取水ビットポンプ室は、日本コンクリート学会の指針に則り、残留ひび割れの評価を行い、評価基準値を満足することを確認している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>なお、地下水位低下設備については、基準地震動による地震力に対して耐震性を確保する設計とする。</p> <p>15 放射性物質を含む液体の漏えいの防止</p> <p>管理区域内で発生した溢水は、建屋の最地下階に貯留されるため、貯留される地下階の範囲及び溢水の伝播経路となる範囲について、前章までの溢水影響評価結果を基に、溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることにより、機器の破損等により生じた放射性物質を含んだ液体が、管理区域外に伝播しないことを確認した。</p> <p>表15-1に放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備について整理する。また、その設置場所について添付資料33に示す。</p> <p>なお、使用済燃料プール、原子炉ウエル及びFDSピットのスロッシングによる溢水を考慮しても、発生する溢水量は区画番号：R-3F-1において考慮している最大溢水量（原子炉補機冷却水系の想定破損による溢水量：265m³）以下であり、想定破損による溢水影響評価に基づき、原子炉建屋原子炉棟の溢水防護措置（水密扉の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることにより、発生した溢水が管理区域外へ伝播しないことを確認した。</p>	<p>14 放射性物質を含む液体の漏えいの防止</p> <p>管理区域内で発生した溢水は、建屋の最地下階に貯留されるため、貯留される地下階の範囲及び溢水の伝播経路となる範囲について、前章までの溢水影響評価結果を基に、溢水防護措置（止水板の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることにより、機器の破損等により生じた放射性物質を含んだ液体が、管理区域外に伝播しないことを確認した。</p> <p>表14-1に放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備について整理する。また、その設置場所について添付資料29に示す。</p> <p>なお、使用済燃料ピットのスロッシングによる溢水も考慮し、機器の破損等により生じた放射性物質を含んだ液体の最大溢水量（地震起因による溢水量：56m³）を想定し、原子炉建屋及び原子炉補助建屋の溢水防護措置（止水板の設置、配管等の貫通部への止水処置等）を講ずることにより、発生した溢水が管理区域外へ伝播しないことを確認した。</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>泊は地下水排水設備を供用期間の全ての状態において機能喪失しない設計とすることを(2)項の冒頭で記載している。(女川の地下水位低下設備も機能喪失しない設計であることは泊と同様)</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>対策設備の相違による。</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設備名称の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>評価結果の相違により、溢水量が最大となる事象が女川は想定破損、泊は地震起因による溢水となっている。</p> <p>建屋名称の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添資料1）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																						
<p>6 経年劣化事象の検討</p> <p>原子力発電所で使用されている設備については、機器、弁等の定期的な開放点検時の配管内部の目視点検、漏えい試験、日常点検（巡視点検）等により有意な劣化がないことを確認するとともに、クラス1～3配管については供用期間中検査において非破壊試験、漏えい試験等により有意な欠陥等がないことを確認している。また、このような保全に加え、過去の運転経験に基づき個別の経年劣化事象に着目した評価及び点検並びに予防保全を実施している。</p> <p>このように、経年劣化事象は適切に把握されており、評価対象箇所に経年劣化がある場合は、取替等による経年劣化事象の解消又は劣化事象に応じた評価の実施が可能である。</p> <p>（添付資料6）経年劣化事象の検討</p> <p>7 溢水影響評価の判定</p> <p>内部溢水に対して、原子炉施設の安全機能並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能が失われないことを確認した。</p>	<p>表15-1 放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="719 248 1272 576"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>フロア</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td rowspan="2">1F</td> <td>R/B大物搬入用扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R/B大物搬入用小扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋 付属棟</td> <td>1F</td> <td>HWH熱交換器・ポンプ室</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉建屋 付属棟 (廃棄物処理エリア (管理区域))</td> <td rowspan="4">1F</td> <td>主排気ダクト連絡トレンチ</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F共通エリア</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F共通エリア大物搬入用</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>RW制御室扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">制御建屋</td> <td rowspan="2">1F</td> <td>入退域エリア【管理区域ヘルメット置場】</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>補助ボイラー建屋連絡階段</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置建屋	フロア	対象	種別	区分	箇所数	原子炉建屋 原子炉棟	1F	R/B大物搬入用扉	水密扉	新設	1	R/B大物搬入用小扉	水密扉	新設	1	原子炉建屋 付属棟	1F	HWH熱交換器・ポンプ室	水密扉	新設	1	原子炉建屋 付属棟 (廃棄物処理エリア (管理区域))	1F	主排気ダクト連絡トレンチ	水密扉	新設	1	1F共通エリア	水密扉	新設	1	1F共通エリア大物搬入用	水密扉	新設	1	RW制御室扉	水密扉	新設	1	制御建屋	1F	入退域エリア【管理区域ヘルメット置場】	水密扉	新設	1	補助ボイラー建屋連絡階段	水密扉	新設	1	<p>表14-1 放射性物質を含んだ液体の溢水伝播に対して、止水を期待する設備</p> <table border="1" data-bbox="1292 248 1845 643"> <thead> <tr> <th>設置建屋</th> <th>フロア</th> <th>対象</th> <th>種別</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">原子炉建屋</td> <td>T.P.33.1m</td> <td>33.1m(区画境界②)堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P.33.1m</td> <td>33.1m(区画境界③)堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P.33.1m</td> <td>33.1m(区画境界④)堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">原子炉補助建屋</td> <td>T.P.2.8m</td> <td>止水板2.8-A</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P.6.3m</td> <td>止水板6.3-A</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P.6.3m</td> <td>止水板6.3-B</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P.10.3m</td> <td>管理区域出入り口堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P.10.3m</td> <td>10.3m(A-D階段前機器ハッチ廻り)堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P.33.1m</td> <td>33.5m(区画境界)堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P.33.1m</td> <td>33.5m(区画境界⑦)堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P.33.1m</td> <td>33.5m(区画境界⑧)堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T.P.33.1m</td> <td>33.5m(区画境界⑧)堰</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>15 経年劣化事象の検討</p> <p>原子力発電所で使用されている設備については、機器、弁等の定期的な開放点検時の配管内部の目視点検、漏えい試験、日常点検（巡視点検）等により有意な劣化がないことを確認するとともに、クラス1～3配管については供用期間中検査において非破壊試験、漏えい試験等により有意な欠陥等がないことを確認している。また、このような保全に加え、過去の運転経験に基づき個別の経年劣化事象に着目した評価及び点検並びに予防保全を実施している。</p> <p>このように、経年劣化事象は適切に把握されており、評価対象箇所に経年劣化がある場合は、取替等による経年劣化事象の解消又は劣化事象に応じた評価の実施が可能である。</p> <p>16 溢水影響評価の判定</p> <p>内部溢水に対して、原子炉施設の安全機能並びに使用済燃料ピットの冷却機能及び給水機能が失われないことを確認した。</p>	設置建屋	フロア	対象	種別	区分	箇所数	原子炉建屋	T.P.33.1m	33.1m(区画境界②)堰	堰	既設	1	T.P.33.1m	33.1m(区画境界③)堰	堰	既設	1	T.P.33.1m	33.1m(区画境界④)堰	堰	既設	1	原子炉補助建屋	T.P.2.8m	止水板2.8-A	止水板	新設	1	T.P.6.3m	止水板6.3-A	止水板	新設	1	T.P.6.3m	止水板6.3-B	止水板	新設	1	T.P.10.3m	管理区域出入り口堰	堰	既設	1	T.P.10.3m	10.3m(A-D階段前機器ハッチ廻り)堰	堰	既設	1	T.P.33.1m	33.5m(区画境界)堰	堰	既設	1	T.P.33.1m	33.5m(区画境界⑦)堰	堰	既設	1	T.P.33.1m	33.5m(区画境界⑧)堰	堰	既設	1	T.P.33.1m	33.5m(区画境界⑧)堰	堰	既設	1	<p>設計方針の相違 対策設備の相違による。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 【女川】 記載方針の相違</p> <p>泊は最新PWRの審査実績の反映として、大飯と同様に経年劣化事象について記載している。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 【女川】 記載方針の相違</p> <p>泊は最新PWRの審査実績の反映として、大飯と同様に評価の判定について記載している。</p>
設置建屋	フロア	対象	種別	区分	箇所数																																																																																																																				
原子炉建屋 原子炉棟	1F	R/B大物搬入用扉	水密扉	新設	1																																																																																																																				
		R/B大物搬入用小扉	水密扉	新設	1																																																																																																																				
原子炉建屋 付属棟	1F	HWH熱交換器・ポンプ室	水密扉	新設	1																																																																																																																				
原子炉建屋 付属棟 (廃棄物処理エリア (管理区域))	1F	主排気ダクト連絡トレンチ	水密扉	新設	1																																																																																																																				
		1F共通エリア	水密扉	新設	1																																																																																																																				
		1F共通エリア大物搬入用	水密扉	新設	1																																																																																																																				
		RW制御室扉	水密扉	新設	1																																																																																																																				
制御建屋	1F	入退域エリア【管理区域ヘルメット置場】	水密扉	新設	1																																																																																																																				
		補助ボイラー建屋連絡階段	水密扉	新設	1																																																																																																																				
設置建屋	フロア	対象	種別	区分	箇所数																																																																																																																				
原子炉建屋	T.P.33.1m	33.1m(区画境界②)堰	堰	既設	1																																																																																																																				
	T.P.33.1m	33.1m(区画境界③)堰	堰	既設	1																																																																																																																				
	T.P.33.1m	33.1m(区画境界④)堰	堰	既設	1																																																																																																																				
原子炉補助建屋	T.P.2.8m	止水板2.8-A	止水板	新設	1																																																																																																																				
	T.P.6.3m	止水板6.3-A	止水板	新設	1																																																																																																																				
	T.P.6.3m	止水板6.3-B	止水板	新設	1																																																																																																																				
	T.P.10.3m	管理区域出入り口堰	堰	既設	1																																																																																																																				
	T.P.10.3m	10.3m(A-D階段前機器ハッチ廻り)堰	堰	既設	1																																																																																																																				
	T.P.33.1m	33.5m(区画境界)堰	堰	既設	1																																																																																																																				
	T.P.33.1m	33.5m(区画境界⑦)堰	堰	既設	1																																																																																																																				
	T.P.33.1m	33.5m(区画境界⑧)堰	堰	既設	1																																																																																																																				
	T.P.33.1m	33.5m(区画境界⑧)堰	堰	既設	1																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉 添付資料1	泊発電所3号炉 添付資料1	相違理由																																
	<p>表1 発生要因及び評価項目毎に想定する溢水源</p> <table border="1" data-bbox="770 252 1178 1449"> <thead> <tr> <th data-bbox="770 1318 943 1449"></th> <th data-bbox="770 963 943 1313">想定破損</th> <th data-bbox="770 609 943 959">消火水の放水</th> <th data-bbox="770 252 943 604">地震起因の破損</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="949 1318 1077 1449">没水</td> <td data-bbox="949 963 1077 1313">▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1</td> <td data-bbox="949 609 1077 959">▶ 消火栓からの放水</td> <td data-bbox="949 252 1077 604">▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシング</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1084 1318 1178 1449">被水</td> <td data-bbox="1084 963 1178 1313">▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1</td> <td data-bbox="1084 609 1178 959">▶ 消火栓からの放水</td> <td data-bbox="1084 252 1178 604">▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシング</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1184 1318 1279 1449">蒸気</td> <td data-bbox="1184 963 1279 1313">▶ 耐震Sクラスを含む高エネルギー系統</td> <td data-bbox="1184 609 1279 959" style="text-align: center;">/</td> <td data-bbox="1184 252 1279 604">▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない高エネルギー系統</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 軸系系統も考慮する。</p>		想定破損	消火水の放水	地震起因の破損	没水	▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシング	被水	▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシング	蒸気	▶ 耐震Sクラスを含む高エネルギー系統	/	▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない高エネルギー系統	<p>表1 発生要因及び評価項目ごとに想定する溢水源</p> <table border="1" data-bbox="1301 260 1727 1422"> <thead> <tr> <th data-bbox="1301 1318 1473 1422"></th> <th data-bbox="1301 951 1473 1313">想定破損</th> <th data-bbox="1301 632 1473 946">消火水の放水</th> <th data-bbox="1301 260 1473 627">地震起因の破損</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1480 1318 1532 1422">没水</td> <td data-bbox="1480 951 1532 1313">▶ 耐震Sクラスを含む水系統配管※1</td> <td data-bbox="1480 632 1532 946">▶ 消火栓からの放水</td> <td data-bbox="1480 260 1532 627">▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシング</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1538 1318 1612 1422">被水</td> <td data-bbox="1538 951 1612 1313">▶ 耐震Sクラスを含む水系統配管※1</td> <td data-bbox="1538 632 1612 946">▶ 消火栓からの放水</td> <td data-bbox="1538 260 1612 627">▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシング</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1619 1318 1727 1422">蒸気</td> <td data-bbox="1619 951 1727 1313">▶ 耐震Sクラスを含む高エネルギー配管※3</td> <td data-bbox="1619 632 1727 946" style="text-align: center;">/</td> <td data-bbox="1619 260 1727 627">▶ 基準地震動に対して耐震性が確保されていない高エネルギー配管※3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 油系系統も考慮する。 ※2 呼び径25A (1B) を超える配管であって、運転温度が95℃を超えるか、又は、運転圧力が1.9MPaを超える配管ただし、蒸気の影響については配管後に関係なく評価する ※3 蒸気評価の対象となる溢水源の考え方は没水・被水評価と同じであるが、蒸気を内包する配管として高エネルギー配管を対象とする</p>		想定破損	消火水の放水	地震起因の破損	没水	▶ 耐震Sクラスを含む水系統配管※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシング	被水	▶ 耐震Sクラスを含む水系統配管※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシング	蒸気	▶ 耐震Sクラスを含む高エネルギー配管※3	/	▶ 基準地震動に対して耐震性が確保されていない高エネルギー配管※3	<p>【女川】 記載表現の相違 設備名称の相違 【女川】 記載方針の相違 泊は、溢水影響評価ガイドの記載を踏まえた蒸気影響評価における高エネルギー配管の取扱いについて、注記に記載している。 【大飯】 記載方針の相違 女川審査表稿の反映</p>
	想定破損	消火水の放水	地震起因の破損																																
没水	▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシング																																
被水	▶ 耐震Sクラスを含む水系統※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料プール等のスロッシング																																
蒸気	▶ 耐震Sクラスを含む高エネルギー系統	/	▶ 基準地震動[Ss]に対して、耐震性が確保されていない高エネルギー系統																																
	想定破損	消火水の放水	地震起因の破損																																
没水	▶ 耐震Sクラスを含む水系統配管※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシング																																
被水	▶ 耐震Sクラスを含む水系統配管※1	▶ 消火栓からの放水	▶ 基準地震動に対して、耐震性が確保されていない水系統※1 ▶ 使用済燃料ピット等のスロッシング																																
蒸気	▶ 耐震Sクラスを含む高エネルギー配管※3	/	▶ 基準地震動に対して耐震性が確保されていない高エネルギー配管※3																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																		
<p>添付資料 1.1</p> <p>溢水源（原子炉周辺建屋、制御建屋）</p> <p>原子炉周辺建屋、制御建屋における溢水源となりうる機器は以下のとおり。</p> <table border="1" data-bbox="156 502 645 1204"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>機器名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="12">3号炉原子炉周辺建屋</td><td>E.L.+42.0m</td><td>3号原子炉機械冷却水サージタンク</td></tr> <tr><td>配管</td><td></td></tr> <tr><td>E.L.+39.0m</td><td>3号樹脂タンク</td></tr> <tr><td>配管</td><td></td></tr> <tr><td>E.L.+33.6m</td><td>3号使用済燃料ピット</td></tr> <tr><td>配管</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="10">E.L.+26.0m</td><td>3号冷却材循環式脱塩塔</td></tr> <tr><td>3号冷却材隔イオン脱塩塔</td></tr> <tr><td>3号冷却材脱塩塔入口フィルタ</td></tr> <tr><td>3号冷却材フィルタ</td></tr> <tr><td>3号封水注入フィルタ</td></tr> <tr><td>3号使用済燃料ピット脱塩塔</td></tr> <tr><td>3号使用済燃料ピットフィルタ</td></tr> <tr><td>3号ブローダウンタンク</td></tr> <tr><td>3号格納容器冷却ユニット</td></tr> <tr><td>3号復水ピット</td></tr> <tr><td>配管</td><td></td></tr> <tr><td>E.L.+18.5m</td><td>3号燃料取替用水ピット</td></tr> <tr><td>配管</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="10">E.L.+17.1m</td><td>3号封水冷却器</td></tr> <tr><td>3号体積制御タンク</td></tr> <tr><td>3号1次系薬品タンク</td></tr> <tr><td>3号ほう酸補給タンク</td></tr> <tr><td>3号非再生冷却器</td></tr> <tr><td>3号試料冷却器</td></tr> <tr><td>3号ブローダウン試験冷却器</td></tr> <tr><td>3号安全補機室冷却ユニット</td></tr> <tr><td>3号ほう酸除去薬品タンク</td></tr> <tr><td>3号pH調整剤タンク</td></tr> <tr><td>3号燃料取替用水ポンプ</td></tr> <tr><td>配管</td><td></td></tr> <tr><td rowspan="10">E.L.+10.0m</td><td>3号使用済燃料ピット冷却器</td></tr> <tr><td>3号ほう酸タンク</td></tr> <tr><td>3号格納容器スプレイ冷却器</td></tr> <tr><td>3号全熱除去冷却器</td></tr> <tr><td>3号ほう酸フィルタ</td></tr> <tr><td>3号シリンダ冷却水タンク</td></tr> <tr><td>3号燃料弁冷却水タンク</td></tr> <tr><td>3号燃料弁冷却水冷却器</td></tr> <tr><td>3号清水加熱器</td></tr> <tr><td>3号ほう酸ポンプ</td></tr> <tr><td>3号ほう酸ポンプ</td></tr> <tr><td>3号使用済燃料ピットポンプ</td></tr> <tr><td>3号電動補助給水ポンプ</td></tr> <tr><td>3号復水循環ポンプ</td></tr> <tr><td>3号燃料弁冷却水ポンプ</td></tr> <tr><td>配管</td><td></td></tr> </tbody> </table>	建屋	フロア	機器名称	3号炉原子炉周辺建屋	E.L.+42.0m	3号原子炉機械冷却水サージタンク	配管		E.L.+39.0m	3号樹脂タンク	配管		E.L.+33.6m	3号使用済燃料ピット	配管		E.L.+26.0m	3号冷却材循環式脱塩塔	3号冷却材隔イオン脱塩塔	3号冷却材脱塩塔入口フィルタ	3号冷却材フィルタ	3号封水注入フィルタ	3号使用済燃料ピット脱塩塔	3号使用済燃料ピットフィルタ	3号ブローダウンタンク	3号格納容器冷却ユニット	3号復水ピット	配管		E.L.+18.5m	3号燃料取替用水ピット	配管		E.L.+17.1m	3号封水冷却器	3号体積制御タンク	3号1次系薬品タンク	3号ほう酸補給タンク	3号非再生冷却器	3号試料冷却器	3号ブローダウン試験冷却器	3号安全補機室冷却ユニット	3号ほう酸除去薬品タンク	3号pH調整剤タンク	3号燃料取替用水ポンプ	配管		E.L.+10.0m	3号使用済燃料ピット冷却器	3号ほう酸タンク	3号格納容器スプレイ冷却器	3号全熱除去冷却器	3号ほう酸フィルタ	3号シリンダ冷却水タンク	3号燃料弁冷却水タンク	3号燃料弁冷却水冷却器	3号清水加熱器	3号ほう酸ポンプ	3号ほう酸ポンプ	3号使用済燃料ピットポンプ	3号電動補助給水ポンプ	3号復水循環ポンプ	3号燃料弁冷却水ポンプ	配管		<p>添付資料 2</p> <p>溢水源となりうる機器のリスト</p> <p>原子炉建屋原子炉棟、原子炉建屋付属棟、原子炉建屋付属棟（廃棄物処理エリア）、制御建屋、海水ポンプ室、復水貯蔵タンクエリア、軽油タンクエリア、タービン建屋及び補助ボイラー建屋に設置される流体を内包する容器（タンク、熱交換器、空調ユニット等）及び配管を抽出した結果を表1~5に示す。</p> <p>表1 溢水源となりうる機器リスト（原子炉建屋）(1/5)</p> <table border="1" data-bbox="698 518 1270 1220"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20">原子炉棟</td><td rowspan="20">B3F</td><td>内</td><td>RCICバロオトリップコンデンサ</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>RCIC真空タンク</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>RCIC潤滑油冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>循環ポンプモータ軸受冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>WRポンプメカニカルシール冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>LPCSポンプメカニカルシール冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>LPCSポンプ軸受冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>CUWポンプ冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>R/A LCW サンプ冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>F1W#ポンプ軸受冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>WR(A)室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>RCICポンプ室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>F1W#ポンプ室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>内</td><td>CUW再生熱交換器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>CUW非再生熱交換器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>LPCSポンプ室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>HPCSポンプ室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>CRDサクションフィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>制御棟駆動水フィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td rowspan="10">原子炉建屋</td><td rowspan="10">B2F</td><td>内</td><td>CRDポンプ室空調機</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>制御棟駆動水ポンプ用オイルクーラー</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>PLRポンプシールパージ系ろ過器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="2">B1F</td><td>内</td><td>CRDスクラム排出容器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>DC-MEC 2A 室空調機</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>CUWブリーコートタンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>MB1F</td><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="2">1F</td><td>内</td><td>残留熱除去系熱交換器</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>CUWろ過脱塩器</td><td>B</td></tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス	建屋	フロア	区分			原子炉棟	B3F	内	RCICバロオトリップコンデンサ	S	内	RCIC真空タンク	S	内	RCIC潤滑油冷却器	S	内	循環ポンプモータ軸受冷却器	S	内	WRポンプメカニカルシール冷却器	S	内	LPCSポンプメカニカルシール冷却器	S	内	LPCSポンプ軸受冷却器	S	内	CUWポンプ冷却器	B	内	R/A LCW サンプ冷却器	B	内	F1W#ポンプ軸受冷却器	B	内	WR(A)室空調機	S	内	RCICポンプ室空調機	S	内	F1W#ポンプ室空調機	S	内	配管	-	内	CUW再生熱交換器	B	内	CUW非再生熱交換器	B	内	LPCSポンプ室空調機	S	内	HPCSポンプ室空調機	S	内	CRDサクションフィルタ	B	内	制御棟駆動水フィルタ	B	原子炉建屋	B2F	内	CRDポンプ室空調機	B	内	制御棟駆動水ポンプ用オイルクーラー	B	内	PLRポンプシールパージ系ろ過器	B	内	配管	-	B1F	内	CRDスクラム排出容器	B	内	DC-MEC 2A 室空調機	S	内	CUWブリーコートタンク	B	内	配管	-	MB1F	内	配管	-	1F	内	残留熱除去系熱交換器	S	内	CUWろ過脱塩器	B	<p>添付資料 2</p> <p>溢水源となりうる機器のリスト</p> <p>原子炉建屋、原子炉補助建屋、ディーゼル発電機建屋、循環水ポンプ建屋、タービン建屋、出入管理建屋及び電気建屋に設置される流体を内包する容器（タンク、熱交換器、空調ユニット等）及び配管を抽出した結果を表1~5に示す。</p> <p>表1 溢水源となりうる機器リスト（原子炉建屋）</p> <table border="1" data-bbox="1288 518 1859 1157"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="10">原子炉建屋</td><td rowspan="10">T.P.2.3m</td><td>外</td><td>原子炉補機冷却水冷却器</td><td>S</td></tr> <tr><td>外</td><td>原子炉補機冷却水冷却器海水入口ストレーナ</td><td>S</td></tr> <tr><td>外</td><td>薬液混合タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>空調用冷凍機</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>空調用冷水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="6">T.P.10.3m</td><td>内</td><td>ガス圧箱装置</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>廃ガス除塵装置</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>使用済燃料ピット冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>使用済燃料ピットポンプ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>1次系補給水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="4">T.P.17.6m</td><td>外</td><td>燃料油サービスタンク</td><td>S</td></tr> <tr><td>内</td><td>非再生冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>サンプル冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td>内</td><td>ブローダウンタンク</td><td>C</td></tr> <tr><td rowspan="3">T.P.24.6m</td><td>内</td><td>1次系純水タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内・外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>内</td><td>格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td rowspan="2">T.P.33.1m</td><td>内</td><td>燃料取替用水加熱器</td><td>B</td></tr> <tr><td>内</td><td>ブローダウンサンプル冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td rowspan="3">T.P.43.6m</td><td>内</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>外</td><td>飲料水タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="3">T.P.43.6m</td><td>外</td><td>原子炉補機冷却水サージタンク</td><td>S</td></tr> <tr><td>外</td><td>空調用冷水膨張タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>外</td><td>配管</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス	建屋	フロア	区分			原子炉建屋	T.P.2.3m	外	原子炉補機冷却水冷却器	S	外	原子炉補機冷却水冷却器海水入口ストレーナ	S	外	薬液混合タンク	C	外	空調用冷凍機	C	外	空調用冷水ポンプ	C	外	配管	-	T.P.10.3m	内	ガス圧箱装置	B	内	廃ガス除塵装置	B	内	使用済燃料ピット冷却器	B	内	使用済燃料ピットポンプ	B	内	1次系補給水ポンプ	C	内	配管	-	T.P.17.6m	外	燃料油サービスタンク	S	内	非再生冷却器	B	内	サンプル冷却器	C	内	ブローダウンタンク	C	T.P.24.6m	内	1次系純水タンク	C	内・外	配管	-	内	格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器	C	T.P.33.1m	内	燃料取替用水加熱器	B	内	ブローダウンサンプル冷却器	C	T.P.43.6m	内	配管	-	外	飲料水タンク	C	外	配管	-	T.P.43.6m	外	原子炉補機冷却水サージタンク	S	外	空調用冷水膨張タンク	C	外	配管	-	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設計方針の相違 流体を内包する設備及びそれを内包する建屋の違いによる</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内容する設備の違いによる</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
建屋	フロア	機器名称																																																																																																																																																																																																																																																																																			
3号炉原子炉周辺建屋	E.L.+42.0m	3号原子炉機械冷却水サージタンク																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	配管																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	E.L.+39.0m	3号樹脂タンク																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	配管																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	E.L.+33.6m	3号使用済燃料ピット																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	配管																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	E.L.+26.0m	3号冷却材循環式脱塩塔																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		3号冷却材隔イオン脱塩塔																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		3号冷却材脱塩塔入口フィルタ																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		3号冷却材フィルタ																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		3号封水注入フィルタ																																																																																																																																																																																																																																																																																			
		3号使用済燃料ピット脱塩塔																																																																																																																																																																																																																																																																																			
3号使用済燃料ピットフィルタ																																																																																																																																																																																																																																																																																					
3号ブローダウンタンク																																																																																																																																																																																																																																																																																					
3号格納容器冷却ユニット																																																																																																																																																																																																																																																																																					
3号復水ピット																																																																																																																																																																																																																																																																																					
配管																																																																																																																																																																																																																																																																																					
E.L.+18.5m	3号燃料取替用水ピット																																																																																																																																																																																																																																																																																				
配管																																																																																																																																																																																																																																																																																					
E.L.+17.1m	3号封水冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	3号体積制御タンク																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	3号1次系薬品タンク																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	3号ほう酸補給タンク																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	3号非再生冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	3号試料冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	3号ブローダウン試験冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	3号安全補機室冷却ユニット																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	3号ほう酸除去薬品タンク																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	3号pH調整剤タンク																																																																																																																																																																																																																																																																																				
3号燃料取替用水ポンプ																																																																																																																																																																																																																																																																																					
配管																																																																																																																																																																																																																																																																																					
E.L.+10.0m	3号使用済燃料ピット冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	3号ほう酸タンク																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	3号格納容器スプレイ冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	3号全熱除去冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	3号ほう酸フィルタ																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	3号シリンダ冷却水タンク																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	3号燃料弁冷却水タンク																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	3号燃料弁冷却水冷却器																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	3号清水加熱器																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	3号ほう酸ポンプ																																																																																																																																																																																																																																																																																				
3号ほう酸ポンプ																																																																																																																																																																																																																																																																																					
3号使用済燃料ピットポンプ																																																																																																																																																																																																																																																																																					
3号電動補助給水ポンプ																																																																																																																																																																																																																																																																																					
3号復水循環ポンプ																																																																																																																																																																																																																																																																																					
3号燃料弁冷却水ポンプ																																																																																																																																																																																																																																																																																					
配管																																																																																																																																																																																																																																																																																					
設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス																																																																																																																																																																																																																																																																																	
建屋	フロア	区分																																																																																																																																																																																																																																																																																			
原子炉棟	B3F	内	RCICバロオトリップコンデンサ	S																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	RCIC真空タンク	S																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	RCIC潤滑油冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	循環ポンプモータ軸受冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	WRポンプメカニカルシール冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	LPCSポンプメカニカルシール冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	LPCSポンプ軸受冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	CUWポンプ冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	R/A LCW サンプ冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	F1W#ポンプ軸受冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	WR(A)室空調機	S																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	RCICポンプ室空調機	S																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	F1W#ポンプ室空調機	S																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	CUW再生熱交換器	B																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	CUW非再生熱交換器	B																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	LPCSポンプ室空調機	S																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	HPCSポンプ室空調機	S																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	CRDサクションフィルタ	B																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	制御棟駆動水フィルタ	B																																																																																																																																																																																																																																																																																	
原子炉建屋	B2F	内	CRDポンプ室空調機	B																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	制御棟駆動水ポンプ用オイルクーラー	B																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	PLRポンプシールパージ系ろ過器	B																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		B1F	内	CRDスクラム排出容器	B																																																																																																																																																																																																																																																																																
			内	DC-MEC 2A 室空調機	S																																																																																																																																																																																																																																																																																
		内	CUWブリーコートタンク	B																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		内	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		MB1F	内	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																																
		1F	内	残留熱除去系熱交換器	S																																																																																																																																																																																																																																																																																
内	CUWろ過脱塩器		B																																																																																																																																																																																																																																																																																		
設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス																																																																																																																																																																																																																																																																																	
建屋	フロア	区分																																																																																																																																																																																																																																																																																			
原子炉建屋	T.P.2.3m	外	原子炉補機冷却水冷却器	S																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		外	原子炉補機冷却水冷却器海水入口ストレーナ	S																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		外	薬液混合タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		外	空調用冷凍機	C																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		外	空調用冷水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		外	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		T.P.10.3m	内	ガス圧箱装置	B																																																																																																																																																																																																																																																																																
			内	廃ガス除塵装置	B																																																																																																																																																																																																																																																																																
			内	使用済燃料ピット冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																																																
			内	使用済燃料ピットポンプ	B																																																																																																																																																																																																																																																																																
内	1次系補給水ポンプ		C																																																																																																																																																																																																																																																																																		
内	配管		-																																																																																																																																																																																																																																																																																		
T.P.17.6m	外	燃料油サービスタンク	S																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	内	非再生冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	内	サンプル冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	内	ブローダウンタンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																																		
T.P.24.6m	内	1次系純水タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	内・外	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	内	格納容器雰囲気ガスサンプル冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																																																		
T.P.33.1m	内	燃料取替用水加熱器	B																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	内	ブローダウンサンプル冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																																																		
T.P.43.6m	内	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	外	飲料水タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	外	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																																		
T.P.43.6m	外	原子炉補機冷却水サージタンク	S																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	外	空調用冷水膨張タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	外	配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉		相違理由			
			表1 溢水源となりうる機器リスト(原子炉建屋)(2/5)										
建屋	フロア	機器名称	設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス			【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる			
			建屋	フロア							【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映		
3号炉 原子炉 周辺建屋	E.L. +3.5m	3号清水冷却器	原子炉棟	1F	内	燃料プール冷却浄化系熱交換器	B						
		3号潤滑油冷却器				R/A MS トンネル室空調機	B						
		3号全熱除去ポンプ				CRD 自動交換機制御室ファンコイルユニット	B						
		3号高圧注入ポンプ				ISI 及びPCV L/T室ファンコイルユニット	B						
		3号格納容器スプレイポンプ				FPC ボンプ室空調機	S						
		3号タービン動補給水ポンプ				FPC フリコートタンク	B						
	4号炉 原子炉 周辺建屋	E.L. +42.0m				4号原子炉補機冷却水サージタンク	MEF	内	配管	-			
						4号樹脂タンク			内	配管	-		
						4号使用済燃料ピット			2F	内	ほう酸水注入系貯蔵タンク	S	
		E.L. +33.6m				E.L. +26.0m	4号冷却材湿床式脱塩塔	MEF	内	ほう酸水注入系テストタンク	C		
							4号冷却材陽イオン脱塩塔			燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器	B		
							4号冷却材脱塩塔入口フィルタ			CAMS サンプリングラック除湿機・冷却器	S		
							4号冷却材フィルタ			CAMS 室空調機	S		
							4号封水注入フィルタ			SGTS 室空調機	S		
							4号使用済燃料ピット脱塩塔			FCS 室空調機	S		
4号使用済燃料ピットフィルタ			HPCW サージタンク	S									
4号ブローダウンタンク			内	配管	-								
4号格納容器冷却ユニット			MEF	内	配管		-						
4号復水ピット			3F	内	燃料交換機制御室空調機		C						
4号燃料取替用水ピット				内	燃料交換機制御室給気加熱コイル		C						
4号封水冷却器				内	所内温水系サージタンク		C						
E.L. +18.5m	E.L. +17.1m	4号体積制御タンク	MHF	内	RCW サージタンク	S							
		4号1次系薬品タンク			内	配管	-						
		4号ほう酸補給タンク			4号再再生冷却器	B							
		4号再再生冷却器			内	配管	-						
		4号試料冷却器			BKF	外	RCW 熱交換器	S					
		4号ブローダウン試料冷却器				外	RCW 防食剤添加タンク(A)	C					
		4号安全補機室冷却ユニット				外	RCW 防食剤添加タンク(B)	C					
		4号よう薬除去薬品タンク				外	RCW ボンプ(A)室空調機	S					
		4号pH調整剤タンク				外	RCW ボンプ(B)室空調機	S					
		4号燃料取替用水ポンプ				外	RSW ストレーナ	S					
		配管				外	HPCW 防食剤添加タンク	C					
						外	HPCW 熱交換器	S					
						外	配管	-					
						BKF	外	PLR 電源装置室空調機	C				
							外	PLR-VVVF 冷却器	C				
	外	IA・SA圧縮機室空調機	C										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大飯発電所3/4号炉			女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉		相違理由
			表1 溢水源となりうる機器リスト(原子炉建屋)(3/5)							
建屋	フロア	機器名称	設置場所		管理区域	機器名称	耐震			
			建屋	フロア						
4号炉 原子炉 周辺建屋	E.L. +10.0m	4号使用済燃料ピット冷却器	付属棟	B2F	外	IA中間冷却器	C			【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる
		4号ほう酸タンク				IA空気圧縮機	C			
		4号格納容器スプレイ冷却器				IA後部冷却器	C			
		4号全熱除去冷却器				SA空気圧縮機	C			
		4号ほう酸フィルタ				SA中間冷却器	C			
		4号シリンダ冷却水タンク				SA後部冷却器	C			
		4号燃料弁冷却水タンク				配管	-			
		4号燃料弁冷却水冷却器				外	DG潤滑油冷却器	S		
		4号清水加熱器				外	DG潤滑油加熱器	S		
		4号ほう酸ポンプ				外	DG清水冷却器	S		
		4号ろてんポンプ				外	DG清水加熱器	S		
		4号使用済燃料ピットポンプ				外	配管	-		
		4号電動補助給水ポンプ				外	DG機関付空気冷却器(R側)	S		
		4号温水管環ポンプ				外	DG機関付空気冷却器(L側)	S		
		4号燃料弁冷却水ポンプ				外	HPCSDG 機関付空気冷却器	S		
	配管	外	DG清水膨張タンク	S						
	E.L. +3.5m	4号清水冷却器	外	DG潤滑油サンプタンク	S					
		4号潤滑油冷却器	外	DG燃料油ドレンタンク	C					
		4号全熱除去ポンプ	外	DG機関付動弁注油タンク	S					
		4号高圧注入ポンプ	外	HPCSDG 潤滑油冷却器	S					
		4号格納容器スプレイポンプ	外	HPCSDG 潤滑油加熱器	S					
		4号タービン動補助給水ポンプ	外	HPCSDG 発電機軸受潤滑油冷却器	S					
		配管	外	HPCSDG 清水冷却器	S					
		E.L. +40.5m	4号空調用冷水膨張タンク	外	HPCSDG 清水加熱器	S				
			配管	外	HPCSDG 清水膨張タンク	S				
			E.L. +38.6m	3号空調用冷水膨張タンク	外	HPCSDG 潤滑油補給タンク	C			
				配管	外	HPCSDG 燃料油ドレンタンク	C			
				E.L. +26.1m	安全補機開閉器室空調ユニット	外	所内温水系防食剤添加タンク	C		
					3号中央制御室空調ユニット	外	所内温水系温水熱交換器	C		
					4号中央制御室空調ユニット	外	所内温水系バックアップ熱交換器	C		
放射線管理室冷却ユニット					外	配管	-			
出入管理室温水タンク	外				T/B 給気冷却加熱コイル	C				
出入管理室温水ポンプ	外				送風機室空調機	C				
配管	外				R/A 給気冷却加熱コイル	C				
E.L. +10.0m	3号空調用冷凍機				外	R/A 給気冷却加熱コイル	C			
	4号空調用冷凍機				外	HECW 冷凍機	S			
	3号空調用冷水ポンプ				外	HECW 防食剤添加タンク	S			
	4号空調用冷水ポンプ				外	HECW サージタンク	S			
	配管	外								
	E.L. +7.0m	3号原子炉補機冷却水冷却器			外					
		4号原子炉補機冷却水冷却器	外							
		3号原子炉補機冷却水ポンプ	外							
		4号原子炉補機冷却水ポンプ	外							
		配管	外							
		E.L. +40.5m	3号空調用冷水膨張タンク	外						
			配管	外						
			E.L. +38.6m	3号空調用冷水膨張タンク	外					
				配管	外					
				E.L. +26.1m	安全補機開閉器室空調ユニット	外				
3号中央制御室空調ユニット					外					
4号中央制御室空調ユニット					外					
放射線管理室冷却ユニット					外					
出入管理室温水タンク					外					
出入管理室温水ポンプ					外					
配管	外									
E.L. +10.0m	3号空調用冷凍機				外					
	4号空調用冷凍機				外					
	3号空調用冷水ポンプ				外					
	4号空調用冷水ポンプ				外					
	配管	外								
	E.L. +7.0m	3号原子炉補機冷却水冷却器			外					
		4号原子炉補機冷却水冷却器	外							
		3号原子炉補機冷却水ポンプ	外							
		4号原子炉補機冷却水ポンプ	外							
		配管	外							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉	相違理由																																																																																							
表1 溢水源となりうる機器リスト(原子炉建屋)(4/5)																																																																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>区分</th> <th>機器名称</th> <th>耐震クラス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">付属棟</td> <td rowspan="10">フロア</td> <td rowspan="10">外</td> <td>原子炉補機(A) 室給気冷却コイル</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機(B) 室給気冷却コイル</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機(A) 室給気加熱コイル</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機(B) 室給気加熱コイル</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機(HPCS) 室給気加熱コイル</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>DG 燃料デイトンク</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>HPCSDG 燃料デイトンク</td> <td>S</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="28">付属棟 (廃棄物 処理エリア)</td> <td rowspan="10">B3F</td> <td rowspan="10">内</td> <td>HCW 収集タンク(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>HCW 収集タンク(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>HCW 収集タンク(C)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>濃縮廃液貯蔵タンク(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>濃縮廃液貯蔵タンク(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>濃縮廃液貯蔵タンク(C)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>CONW シール水タンク</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">M33F</td> <td rowspan="10">内</td> <td>HCW 調整タンク</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>HCW サンプルタンク(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>HCW サンプルタンク(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>SD 収集タンク(A)</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>SD 収集タンク(B)</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>浄化系沈降分離槽(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>浄化系沈降分離槽(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>使用済樹脂貯蔵槽(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>使用済樹脂貯蔵槽(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>復水回収装置コンデンサ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>復水回収装置フラッシュタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">B2F</td> <td rowspan="8">内</td> <td>LCW 収集槽(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>LCW 収集槽(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>LCW サンプル槽(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>LCW サンプル槽(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>HCW 蒸発濃縮装置加熱器(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>HCW 蒸発濃縮装置加熱器(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>								設置場所	管理区域	区分	機器名称	耐震クラス	付属棟	フロア	外	原子炉補機(A) 室給気冷却コイル	S	原子炉補機(B) 室給気冷却コイル	S	原子炉補機(A) 室給気加熱コイル	C	原子炉補機(B) 室給気加熱コイル	C	原子炉補機(HPCS) 室給気加熱コイル	C	DG 燃料デイトンク	S	HPCSDG 燃料デイトンク	S	配管	-	配管	-	付属棟 (廃棄物 処理エリア)	B3F	内	HCW 収集タンク(A)	B	HCW 収集タンク(B)	B	HCW 収集タンク(C)	B	濃縮廃液貯蔵タンク(A)	B	濃縮廃液貯蔵タンク(B)	B	濃縮廃液貯蔵タンク(C)	B	CONW シール水タンク	B	配管	-	M33F	内	HCW 調整タンク	B	HCW サンプルタンク(A)	B	HCW サンプルタンク(B)	B	SD 収集タンク(A)	C	SD 収集タンク(B)	C	浄化系沈降分離槽(A)	B	浄化系沈降分離槽(B)	B	使用済樹脂貯蔵槽(A)	B	使用済樹脂貯蔵槽(B)	B	復水回収装置コンデンサ	C	復水回収装置フラッシュタンク	C	B2F	内	LCW 収集槽(A)	B	LCW 収集槽(B)	B	LCW サンプル槽(A)	B	LCW サンプル槽(B)	B	配管	-	HCW 蒸発濃縮装置加熱器(A)	B	HCW 蒸発濃縮装置加熱器(B)	B	配管	-
設置場所	管理区域	区分	機器名称	耐震クラス																																																																																										
付属棟	フロア	外	原子炉補機(A) 室給気冷却コイル	S																																																																																										
			原子炉補機(B) 室給気冷却コイル	S																																																																																										
			原子炉補機(A) 室給気加熱コイル	C																																																																																										
			原子炉補機(B) 室給気加熱コイル	C																																																																																										
			原子炉補機(HPCS) 室給気加熱コイル	C																																																																																										
			DG 燃料デイトンク	S																																																																																										
			HPCSDG 燃料デイトンク	S																																																																																										
			配管	-																																																																																										
			配管	-																																																																																										
			付属棟 (廃棄物 処理エリア)	B3F	内	HCW 収集タンク(A)	B																																																																																							
HCW 収集タンク(B)	B																																																																																													
HCW 収集タンク(C)	B																																																																																													
濃縮廃液貯蔵タンク(A)	B																																																																																													
濃縮廃液貯蔵タンク(B)	B																																																																																													
濃縮廃液貯蔵タンク(C)	B																																																																																													
CONW シール水タンク	B																																																																																													
配管	-																																																																																													
M33F	内	HCW 調整タンク				B																																																																																								
		HCW サンプルタンク(A)				B																																																																																								
		HCW サンプルタンク(B)		B																																																																																										
		SD 収集タンク(A)		C																																																																																										
		SD 収集タンク(B)		C																																																																																										
		浄化系沈降分離槽(A)		B																																																																																										
		浄化系沈降分離槽(B)		B																																																																																										
		使用済樹脂貯蔵槽(A)		B																																																																																										
		使用済樹脂貯蔵槽(B)		B																																																																																										
		復水回収装置コンデンサ		C																																																																																										
復水回収装置フラッシュタンク	C																																																																																													
B2F	内	LCW 収集槽(A)		B																																																																																										
		LCW 収集槽(B)		B																																																																																										
		LCW サンプル槽(A)		B																																																																																										
		LCW サンプル槽(B)		B																																																																																										
		配管		-																																																																																										
		HCW 蒸発濃縮装置加熱器(A)		B																																																																																										
		HCW 蒸発濃縮装置加熱器(B)		B																																																																																										
		配管		-																																																																																										
<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>流体を内包する設備の違いによる</p>																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉	相違理由																																																																													
	表1 溢水源となりうる機器リスト(原子炉建屋) (5/5)																																																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">付属棟 (廃棄物 処理エリ ア)</td> <td rowspan="9">B1F</td> <td>内</td> <td>HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>HCW 蒸発濃縮装置デミスタ(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>HCW 蒸発濃縮装置デミスタ(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>HCW 蒸発濃縮装置復水器(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>HCW 蒸発濃縮装置復水器(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>中和苛性タンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>中和硫酸タンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">1F</td> <td>内</td> <td>LCW ろ過器(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>LCW ろ過器(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>LCW 脱塩器(A)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>LCW 脱塩器(B)</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>HCW 脱塩器</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>RW 制御室給気冷却コイル</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>混合槽室空調機</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>廃棄物処理系制御室換気空調系冷水供給装置 膨張タンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>RW 制御室給気加熱コイル</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内・外</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2F</td> <td>内</td> <td>排風機室空調機</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>配管</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>				設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス	建屋	フロア	区分			付属棟 (廃棄物 処理エリ ア)	B1F	内	HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶(A)	B	内	HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶(B)	B	内	HCW 蒸発濃縮装置デミスタ(A)	B	内	HCW 蒸発濃縮装置デミスタ(B)	B	内	HCW 蒸発濃縮装置復水器(A)	B	内	HCW 蒸発濃縮装置復水器(B)	B	内	中和苛性タンク	C	内	中和硫酸タンク	C	内	配管	-	1F	内	LCW ろ過器(A)	B	内	LCW ろ過器(B)	B	内	LCW 脱塩器(A)	B	内	LCW 脱塩器(B)	B	内	HCW 脱塩器	B	外	RW 制御室給気冷却コイル	C	内	混合槽室空調機	C	外	廃棄物処理系制御室換気空調系冷水供給装置 膨張タンク	C	外	RW 制御室給気加熱コイル	C	内・外	配管	-	2F	内	排風機室空調機	C	内	配管	-		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>流体を内包する設備の違いによる</p>
設置場所		管理区域	機器名称	耐震クラス																																																																															
建屋	フロア	区分																																																																																	
付属棟 (廃棄物 処理エリ ア)	B1F	内	HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶(A)	B																																																																															
		内	HCW 蒸発濃縮装置蒸発缶(B)	B																																																																															
		内	HCW 蒸発濃縮装置デミスタ(A)	B																																																																															
		内	HCW 蒸発濃縮装置デミスタ(B)	B																																																																															
		内	HCW 蒸発濃縮装置復水器(A)	B																																																																															
		内	HCW 蒸発濃縮装置復水器(B)	B																																																																															
		内	中和苛性タンク	C																																																																															
		内	中和硫酸タンク	C																																																																															
		内	配管	-																																																																															
	1F	内	LCW ろ過器(A)	B																																																																															
		内	LCW ろ過器(B)	B																																																																															
		内	LCW 脱塩器(A)	B																																																																															
		内	LCW 脱塩器(B)	B																																																																															
		内	HCW 脱塩器	B																																																																															
		外	RW 制御室給気冷却コイル	C																																																																															
		内	混合槽室空調機	C																																																																															
		外	廃棄物処理系制御室換気空調系冷水供給装置 膨張タンク	C																																																																															
		外	RW 制御室給気加熱コイル	C																																																																															
		内・外	配管	-																																																																															
	2F	内	排風機室空調機	C																																																																															
内		配管	-																																																																																

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大阪発電所3 / 4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
				表2 溢水源となりうる機器リスト（制御建屋）				表2 溢水源となりうる機器リスト（原子炉補助建屋）(1/2)				【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる
設置場所 建屋	フロア	管理区域 区分	機器名称	耐震 クラス	設置場所 建屋	フロア	管理区域 区分	機器名称	耐震 クラス			
制御建屋	B2F	外	常用電気品室給気冷却加熱コイル	C	原子炉補助建屋	T.P.-1.7a	内	洗浄排水タンク	C			
		外	中央制御室給気冷却コイル	S			内	洗浄排水ポンプ	C			
		外	計測制御(A)室給気冷却コイル	S			内	洗浄排水フィルタ	C			
		外	計測制御(B)室給気冷却コイル	S			内	補助蒸気復水モータ冷却器	C			
		外	中央制御室給気加熱コイル	C			内	補助蒸気ドレンタンク	C			
		外	計測制御電源室給気加熱コイル	C			内	補助蒸気ドレンポンプ	C			
		外	配管	—			内	配管	—			
	ME2F	外	配管	—		内	冷却材貯蔵タンク	B				
	B1F	外	配管	—		内	廃液蒸留水タンク	C				
	1F	外	入退域エリア(クリーン)空調機	C		内	廃液蒸留水ポンプ	C				
		内	脱衣エリアファンコイルユニット	C		内	洗浄排水蒸留水タンク	C				
		内	下足エリアファンコイルユニット	C		内	洗浄排水蒸留水ポンプ	C				
	2F	内・外	配管	—		内	酸液ドレンタンク	B				
		外	女性用更衣室エリアファンコイルユニット	C		内	酸液ドレンポンプ	B				
		内	女性用脱衣手洗いエリアファンコイルユニット	C		内	使用済樹脂貯蔵タンク	B				
		内・外	配管	—		内	ほう酸回収装置給水ポンプ	B				
									内	廃液給水ポンプ	B	
							内	酸液ドレンタンクから酸性ゾーダ計量タンク	C			
							内	安全補機室冷却ユニット	C			
							内	配管	—			
							内	よう素除去薬品タンク	S			
							内	封水冷却器	B			
							内	ほう酸回収装置	B			
							内	重鉛注入装置	B			
							内	余熱除去冷却器	S			
							内	格納容器スプレイ冷却器	S			
							内	pH調整剤貯蔵タンク	S			
							内	配管	—			
							内	ほう酸注入タンク	S			
							内	ほう酸タンク	S			
							内	ほう酸フィルタ	S			
							内	冷却材混床式脱塩塔	B			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																														
		<p>表2 溢水源となりうる機器リスト（原子炉補助建屋）(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th>クラス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="27">原子炉補助建屋</td><td rowspan="15">T.P. 17.8m</td><td>内 冷却材陽イオン脱塩塔</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 冷却材脱塩塔入口フィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 冷却材フィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 体積制御タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 ほう酸回収装置混床式脱塩塔</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 ほう酸回収装置陽イオン脱塩塔</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 ほう酸回収装置脱塩塔フィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 1次系薬品タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 洗浄排水濃縮廃液タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 洗浄排水濃縮廃液ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 濃縮廃液タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 濃縮廃液ポンプ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 廃液フィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 廃液蒸留水脱塩塔</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 使用済燃料ピット脱塩塔</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 使用済燃料ピットフィルタ</td><td>B</td></tr> <tr><td>内 配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="7">T.P. 24.8m</td><td>内 廃液貯蔵ピット中性ソーダ計量タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 廃液蒸発装置</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 洗浄排水蒸発装置</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 洗浄排水蒸発装置リン酸ソーダ注入装置</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 安全補機閉塞室給気ユニット</td><td>C</td></tr> <tr><td>外 中央制御室給気ユニット</td><td>S</td></tr> <tr><td>外 試料採取室給気ユニット</td><td>C</td></tr> <tr><td rowspan="3">T.P. 33.1m</td><td>外 出入管理室冷却ユニット</td><td>C</td></tr> <tr><td>内 ほう酸補給タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td>内・外 配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="2">T.P. 2.8m ~ 24.8m</td><td>内 樹脂タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>外 1次系中性ソーダタンク</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td>内・外 配管</td><td>-</td></tr> <tr><td></td><td>T.P. 2.8m ~ 24.8m</td><td>内 セメント固化装置</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	耐震	建屋	フロア	区分	クラス	原子炉補助建屋	T.P. 17.8m	内 冷却材陽イオン脱塩塔	B	内 冷却材脱塩塔入口フィルタ	B	内 冷却材フィルタ	B	内 体積制御タンク	B	内 ほう酸回収装置混床式脱塩塔	B	内 ほう酸回収装置陽イオン脱塩塔	B	内 ほう酸回収装置脱塩塔フィルタ	B	内 1次系薬品タンク	B	内 洗浄排水濃縮廃液タンク	C	内 洗浄排水濃縮廃液ポンプ	C	内 濃縮廃液タンク	B	内 濃縮廃液ポンプ	B	内 廃液フィルタ	B	内 廃液蒸留水脱塩塔	C	内 使用済燃料ピット脱塩塔	B	内 使用済燃料ピットフィルタ	B	内 配管	-	T.P. 24.8m	内 廃液貯蔵ピット中性ソーダ計量タンク	C	内 廃液蒸発装置	C	内 洗浄排水蒸発装置	C	内 洗浄排水蒸発装置リン酸ソーダ注入装置	C	外 安全補機閉塞室給気ユニット	C	外 中央制御室給気ユニット	S	外 試料採取室給気ユニット	C	T.P. 33.1m	外 出入管理室冷却ユニット	C	内 ほう酸補給タンク	C	内・外 配管	-	T.P. 2.8m ~ 24.8m	内 樹脂タンク	B	外 1次系中性ソーダタンク	C		内・外 配管	-		T.P. 2.8m ~ 24.8m	内 セメント固化装置	-	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる</p>
設置場所	管理区域	機器名称	耐震																																																																														
建屋	フロア	区分	クラス																																																																														
原子炉補助建屋	T.P. 17.8m	内 冷却材陽イオン脱塩塔	B																																																																														
		内 冷却材脱塩塔入口フィルタ	B																																																																														
		内 冷却材フィルタ	B																																																																														
		内 体積制御タンク	B																																																																														
		内 ほう酸回収装置混床式脱塩塔	B																																																																														
		内 ほう酸回収装置陽イオン脱塩塔	B																																																																														
		内 ほう酸回収装置脱塩塔フィルタ	B																																																																														
		内 1次系薬品タンク	B																																																																														
		内 洗浄排水濃縮廃液タンク	C																																																																														
		内 洗浄排水濃縮廃液ポンプ	C																																																																														
		内 濃縮廃液タンク	B																																																																														
		内 濃縮廃液ポンプ	B																																																																														
		内 廃液フィルタ	B																																																																														
		内 廃液蒸留水脱塩塔	C																																																																														
		内 使用済燃料ピット脱塩塔	B																																																																														
	内 使用済燃料ピットフィルタ	B																																																																															
	内 配管	-																																																																															
	T.P. 24.8m	内 廃液貯蔵ピット中性ソーダ計量タンク	C																																																																														
		内 廃液蒸発装置	C																																																																														
		内 洗浄排水蒸発装置	C																																																																														
		内 洗浄排水蒸発装置リン酸ソーダ注入装置	C																																																																														
		外 安全補機閉塞室給気ユニット	C																																																																														
		外 中央制御室給気ユニット	S																																																																														
		外 試料採取室給気ユニット	C																																																																														
	T.P. 33.1m	外 出入管理室冷却ユニット	C																																																																														
		内 ほう酸補給タンク	C																																																																														
		内・外 配管	-																																																																														
T.P. 2.8m ~ 24.8m	内 樹脂タンク	B																																																																															
	外 1次系中性ソーダタンク	C																																																																															
	内・外 配管	-																																																																															
	T.P. 2.8m ~ 24.8m	内 セメント固化装置	-																																																																														
	<p>表3 溢水源となりうる機器リスト(海水ポンプ室、復水貯蔵タンクエリア及び軽油タンクエリア)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th>クラス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>海水ポンプ室</td><td>-</td><td>外 配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>復水貯蔵タンクエリア</td><td>-</td><td>内 復水貯蔵タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>軽油タンクエリア</td><td>-</td><td>内 配管</td><td>-</td></tr> <tr><td>軽油タンクエリア</td><td>-</td><td>外 軽油タンク</td><td>S</td></tr> <tr><td>軽油タンクエリア</td><td>-</td><td>外 配管</td><td>S</td></tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	耐震	建屋	フロア	区分	クラス	海水ポンプ室	-	外 配管	-	復水貯蔵タンクエリア	-	内 復水貯蔵タンク	B	軽油タンクエリア	-	内 配管	-	軽油タンクエリア	-	外 軽油タンク	S	軽油タンクエリア	-	外 配管	S	<p>表3 溢水源となりうる機器リスト（ディーゼル発電機建屋、循環水ポンプ建屋）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th>クラス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>-</td><td>外 配管</td><td>-</td></tr> <tr><td rowspan="4">循環水ポンプ建屋</td><td>T.P. 10.3m 以下</td><td>外 原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナー</td><td>S</td></tr> <tr><td>T.P. 10.3m</td><td>外 海水電解装置</td><td>C</td></tr> <tr><td>-</td><td>外 海水淡水化設備</td><td>C</td></tr> <tr><td>-</td><td>外 配管</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	耐震	建屋	フロア	区分	クラス	ディーゼル発電機建屋	-	外 配管	-	循環水ポンプ建屋	T.P. 10.3m 以下	外 原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナー	S	T.P. 10.3m	外 海水電解装置	C	-	外 海水淡水化設備	C	-	外 配管	-	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる</p>																									
設置場所	管理区域	機器名称	耐震																																																																														
建屋	フロア	区分	クラス																																																																														
海水ポンプ室	-	外 配管	-																																																																														
復水貯蔵タンクエリア	-	内 復水貯蔵タンク	B																																																																														
軽油タンクエリア	-	内 配管	-																																																																														
軽油タンクエリア	-	外 軽油タンク	S																																																																														
軽油タンクエリア	-	外 配管	S																																																																														
設置場所	管理区域	機器名称	耐震																																																																														
建屋	フロア	区分	クラス																																																																														
ディーゼル発電機建屋	-	外 配管	-																																																																														
循環水ポンプ建屋	T.P. 10.3m 以下	外 原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナー	S																																																																														
	T.P. 10.3m	外 海水電解装置	C																																																																														
	-	外 海水淡水化設備	C																																																																														
	-	外 配管	-																																																																														

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	<p>表4 溢水源となりうる機器リスト(タービン建屋)(1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th></th> <th>クラス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>タービン</td><td>B2F</td><td>内 CI 逆流受タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td>建屋</td><td></td><td>内 主復水器(ホットウェル側)</td><td>B</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 低圧第1給水加熱器ドレン冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 高圧第1給水加熱器</td><td>B</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 起動用真空ポンプウォーターセパレータ</td><td>B</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 起動用真空ポンプシール水冷却器</td><td>B</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 主復水器(本室)</td><td>B</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 復水回収タンク</td><td>B</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 OG系排ガス循環水クーラ</td><td>B</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 活性炭式希ガスホールドアップ塔室空調機</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 BFP-T油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 高圧油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 油清浄機</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 BFP-T油タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 BFP-T補助油タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 高圧油圧ユニット</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 TCW防食剤添加タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 TCW熱交換器</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内・外 配管</td><td>-</td></tr> <tr><td></td><td>B1F</td><td>内 グランド蒸気復水器</td><td>B</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 排ガス復水器</td><td>B</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 排ガス予熱器</td><td>B</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 高圧第2給水加熱器</td><td>B</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 湿分分離ドレンタンク</td><td>B</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 復水器過器</td><td>B</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 主タービン油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 MF-BFP油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 BFCP油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 主油タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 油補給タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 HCN防食剤添加タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 換気空調補機常用冷却水系ターボ冷凍機</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 換気空調補機常用冷却水系冷凍機</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 冷凍機室空調機</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内・外 配管</td><td>-</td></tr> <tr><td></td><td>1F</td><td>内 蒸気式空気抽水器</td><td>B</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 低圧第3給水加熱器</td><td>B</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>内 低圧第4給水加熱器</td><td>B</td></tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	耐震	建屋	フロア		クラス	タービン	B2F	内 CI 逆流受タンク	B	建屋		内 主復水器(ホットウェル側)	B			内 低圧第1給水加熱器ドレン冷却器	B			内 高圧第1給水加熱器	B			内 起動用真空ポンプウォーターセパレータ	B			内 起動用真空ポンプシール水冷却器	B			内 主復水器(本室)	B			内 復水回収タンク	B			内 OG系排ガス循環水クーラ	B			内 活性炭式希ガスホールドアップ塔室空調機	C			内 BFP-T油冷却器	C			内 高圧油冷却器	C			内 油清浄機	C			内 BFP-T油タンク	C			内 BFP-T補助油タンク	C			内 高圧油圧ユニット	C			外 TCW防食剤添加タンク	C			外 TCW熱交換器	C			内・外 配管	-		B1F	内 グランド蒸気復水器	B			内 排ガス復水器	B			内 排ガス予熱器	B			内 高圧第2給水加熱器	B			内 湿分分離ドレンタンク	B			内 復水器過器	B			内 主タービン油冷却器	C			内 MF-BFP油冷却器	C			内 BFCP油冷却器	C			内 主油タンク	C			内 油補給タンク	C			外 HCN防食剤添加タンク	C			外 換気空調補機常用冷却水系ターボ冷凍機	C			外 換気空調補機常用冷却水系冷凍機	C			外 冷凍機室空調機	C			内・外 配管	-		1F	内 蒸気式空気抽水器	B			内 低圧第3給水加熱器	B			内 低圧第4給水加熱器	B	<p>表4 溢水源となりうる機器リスト(タービン建屋)(1/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>耐震</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th></th> <th>クラス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>B2F</td><td>外 復水回収タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 復水器</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 海水ブースタポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 復水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 タービンローダウンタンク</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 温排水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 海水ビット排水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 定常淡水ビット排水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 配管</td><td>-</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 復水ブースタポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 タービン動主給水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 タービン動主給水ポンプ油タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 タービン動主給水ポンプ油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 電動主給水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 給水ブースタポンプ(タービン動用)</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 給水ブースタポンプ(電動用)</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 主油タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 油清浄機</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 油清浄機ドレンタンク</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 油冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 スチームコンバータ給水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td>B1F</td><td>外 スチームコンバータ給水タンク</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 スチームコンバータドレンクーラ</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 スチームコンバータドレンタンク</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 スチームコンバータ</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 所内用空気圧縮機</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 所内用空気除湿装置</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 所内用空気冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 SGブロー復水冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 湿分分離器ドレンポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 復水器真空ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 低圧給水加熱器ドレンポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 軸受冷却水冷却器</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 軸受冷却水ポンプ</td><td>C</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>外 アンモニア原液タンク</td><td>C</td></tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	耐震	建屋	フロア		クラス		B2F	外 復水回収タンク	C			外 復水器	C			外 海水ブースタポンプ	C			外 復水ポンプ	C			外 タービンローダウンタンク	C			外 温排水ポンプ	C			外 海水ビット排水ポンプ	C			外 定常淡水ビット排水ポンプ	C			外 配管	-			外 復水ブースタポンプ	C			外 タービン動主給水ポンプ	C			外 タービン動主給水ポンプ油タンク	C			外 タービン動主給水ポンプ油冷却器	C			外 電動主給水ポンプ	C			外 給水ブースタポンプ(タービン動用)	C			外 給水ブースタポンプ(電動用)	C			外 主油タンク	C			外 油清浄機	C			外 油清浄機ドレンタンク	C			外 油冷却器	C			外 スチームコンバータ給水ポンプ	C		B1F	外 スチームコンバータ給水タンク	C			外 スチームコンバータドレンクーラ	C			外 スチームコンバータドレンタンク	C			外 スチームコンバータ	C			外 所内用空気圧縮機	C			外 所内用空気除湿装置	C			外 所内用空気冷却器	C			外 SGブロー復水冷却器	C			外 湿分分離器ドレンポンプ	C			外 復水器真空ポンプ	C			外 低圧給水加熱器ドレンポンプ	C			外 軸受冷却水冷却器	C			外 軸受冷却水ポンプ	C			外 アンモニア原液タンク	C	<p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる</p>
設置場所	管理区域	機器名称	耐震																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
建屋	フロア		クラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
タービン	B2F	内 CI 逆流受タンク	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
建屋		内 主復水器(ホットウェル側)	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 低圧第1給水加熱器ドレン冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 高圧第1給水加熱器	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 起動用真空ポンプウォーターセパレータ	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 起動用真空ポンプシール水冷却器	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 主復水器(本室)	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 復水回収タンク	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 OG系排ガス循環水クーラ	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 活性炭式希ガスホールドアップ塔室空調機	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 BFP-T油冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 高圧油冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 油清浄機	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 BFP-T油タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 BFP-T補助油タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 高圧油圧ユニット	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 TCW防食剤添加タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 TCW熱交換器	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内・外 配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	B1F	内 グランド蒸気復水器	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 排ガス復水器	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 排ガス予熱器	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 高圧第2給水加熱器	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 湿分分離ドレンタンク	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 復水器過器	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 主タービン油冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 MF-BFP油冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 BFCP油冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 主油タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 油補給タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 HCN防食剤添加タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 換気空調補機常用冷却水系ターボ冷凍機	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 換気空調補機常用冷却水系冷凍機	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 冷凍機室空調機	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内・外 配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	1F	内 蒸気式空気抽水器	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 低圧第3給水加熱器	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		内 低圧第4給水加熱器	B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
設置場所	管理区域	機器名称	耐震																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
建屋	フロア		クラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	B2F	外 復水回収タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 復水器	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 海水ブースタポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 復水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 タービンローダウンタンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 温排水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 海水ビット排水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 定常淡水ビット排水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 配管	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 復水ブースタポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 タービン動主給水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 タービン動主給水ポンプ油タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 タービン動主給水ポンプ油冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 電動主給水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 給水ブースタポンプ(タービン動用)	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 給水ブースタポンプ(電動用)	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 主油タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 油清浄機	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 油清浄機ドレンタンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 油冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 スチームコンバータ給水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	B1F	外 スチームコンバータ給水タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 スチームコンバータドレンクーラ	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 スチームコンバータドレンタンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 スチームコンバータ	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 所内用空気圧縮機	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 所内用空気除湿装置	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 所内用空気冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 SGブロー復水冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 湿分分離器ドレンポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 復水器真空ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 低圧給水加熱器ドレンポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 軸受冷却水冷却器	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 軸受冷却水ポンプ	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
		外 アンモニア原液タンク	C																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料2）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																					
	<p>表4 溢水源となりうる機器リスト(タービン建屋)(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>前震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20">タービン建屋</td> <td rowspan="14">1F</td> <td>内 假圧第1給水加熱器ドレンタンク</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内 凝分分離加熱器</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内 凝分分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内 凝分分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内 復水脱塩塔</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内 樹脂ストレーナ</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内 固定子巻線冷却水装置貯水槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内 固定子巻線冷却水装置冷却器</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内 固定子巻線冷却水装置イオン交換樹脂塔</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内 復水器室空調機(B)</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内 空気抽出器室空調機</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内 SCR 脱窒素空調機</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内 相分離母線冷却器</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内 発電機水素ガス冷却器</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内 假圧第1給水加熱器</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内 假圧第2給水加熱器</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内 復水器室空調機(A)</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内 配管</td> <td>-</td> </tr> <tr><td rowspan="3">2F</td> <td>内 グランド蒸気発生器</td> <td>B</td> </tr> <tr><td>内 TCW サージタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>内 配管</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	前震クラス	建屋	フロア	区分		タービン建屋	1F	内 假圧第1給水加熱器ドレンタンク	B	内 凝分分離加熱器	B	内 凝分分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク	B	内 凝分分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク	B	内 復水脱塩塔	B	内 樹脂ストレーナ	B	内 固定子巻線冷却水装置貯水槽	C	内 固定子巻線冷却水装置冷却器	C	内 固定子巻線冷却水装置イオン交換樹脂塔	C	内 復水器室空調機(B)	C	内 空気抽出器室空調機	C	内 SCR 脱窒素空調機	C	内 相分離母線冷却器	C	内 発電機水素ガス冷却器	C	内 假圧第1給水加熱器	B	内 假圧第2給水加熱器	B	内 復水器室空調機(A)	C	内 配管	-	2F	内 グランド蒸気発生器	B	内 TCW サージタンク	C	内 配管	-	<p>表4 溢水源となりうる機器リスト(タービン建屋)(2/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置場所</th> <th>管理区域</th> <th>機器名称</th> <th>前震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="30">タービン建屋</td> <td rowspan="14">B1F</td> <td>外 ヒドドラジン原液タンク</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 ヒドドラジタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 アンモニオタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 2次系補給水ポンプ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 カチオン再生塔</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 混合樹脂受入槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 樹脂補給ホッパ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 アニオン再生塔</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 スクラバ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 配管</td> <td>-</td> </tr> <tr><td rowspan="16">1F</td> <td>外 第6高圧給水加熱器</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 高圧油供給装置</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 脱気器再循環ポンプ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 低圧給水加熱器ドレンタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 SG ブロー熱回収フラッシュタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 凝分分離加熱器ドレンタンク#1</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 凝分分離加熱器ドレンタンク#2</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 凝分分離器ドレンタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 復水器室空気抜きポンプ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 復水脱塩塔</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 復水器過器</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 レジンキャッチャ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 レジントラップ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 樹脂混合用空気貯槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 初級用空気貯槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 塩酸貯槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 塩酸計量槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 塩酸スクラバ</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 苛性ソーダ計量槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 苛性ソーダ貯槽</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 ジャッキングオイルポンプユニット</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 配管</td> <td>-</td> </tr> <tr><td rowspan="2">2F</td> <td>外 第3低圧給水加熱器</td> <td>C</td> </tr> <tr><td>外 第4低圧給水加熱器</td> <td>C</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所	管理区域	機器名称	前震クラス	建屋	フロア	区分		タービン建屋	B1F	外 ヒドドラジン原液タンク	C	外 ヒドドラジタンク	C	外 アンモニオタンク	C	外 2次系補給水ポンプ	C	外 カチオン再生塔	C	外 混合樹脂受入槽	C	外 樹脂補給ホッパ	C	外 アニオン再生塔	C	外 スクラバ	C	外 配管	-	1F	外 第6高圧給水加熱器	C	外 高圧油供給装置	C	外 脱気器再循環ポンプ	C	外 低圧給水加熱器ドレンタンク	C	外 SG ブロー熱回収フラッシュタンク	C	外 凝分分離加熱器ドレンタンク#1	C	外 凝分分離加熱器ドレンタンク#2	C	外 凝分分離器ドレンタンク	C	外 復水器室空気抜きポンプ	C	外 復水脱塩塔	C	外 復水器過器	C	外 レジンキャッチャ	C	外 レジントラップ	C	外 樹脂混合用空気貯槽	C	外 初級用空気貯槽	C	外 塩酸貯槽	C	外 塩酸計量槽	C	外 塩酸スクラバ	C	外 苛性ソーダ計量槽	C	外 苛性ソーダ貯槽	C	外 ジャッキングオイルポンプユニット	C	外 配管	-	2F	外 第3低圧給水加熱器	C	外 第4低圧給水加熱器	C	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる</p>
設置場所	管理区域	機器名称	前震クラス																																																																																																																																					
建屋	フロア	区分																																																																																																																																						
タービン建屋	1F	内 假圧第1給水加熱器ドレンタンク	B																																																																																																																																					
		内 凝分分離加熱器	B																																																																																																																																					
		内 凝分分離加熱器第1段加熱器ドレンタンク	B																																																																																																																																					
		内 凝分分離加熱器第2段加熱器ドレンタンク	B																																																																																																																																					
		内 復水脱塩塔	B																																																																																																																																					
		内 樹脂ストレーナ	B																																																																																																																																					
		内 固定子巻線冷却水装置貯水槽	C																																																																																																																																					
		内 固定子巻線冷却水装置冷却器	C																																																																																																																																					
		内 固定子巻線冷却水装置イオン交換樹脂塔	C																																																																																																																																					
		内 復水器室空調機(B)	C																																																																																																																																					
		内 空気抽出器室空調機	C																																																																																																																																					
		内 SCR 脱窒素空調機	C																																																																																																																																					
		内 相分離母線冷却器	C																																																																																																																																					
		内 発電機水素ガス冷却器	C																																																																																																																																					
	内 假圧第1給水加熱器	B																																																																																																																																						
	内 假圧第2給水加熱器	B																																																																																																																																						
	内 復水器室空調機(A)	C																																																																																																																																						
	内 配管	-																																																																																																																																						
	2F	内 グランド蒸気発生器	B																																																																																																																																					
		内 TCW サージタンク	C																																																																																																																																					
内 配管		-																																																																																																																																						
設置場所	管理区域	機器名称	前震クラス																																																																																																																																					
建屋	フロア	区分																																																																																																																																						
タービン建屋	B1F	外 ヒドドラジン原液タンク	C																																																																																																																																					
		外 ヒドドラジタンク	C																																																																																																																																					
		外 アンモニオタンク	C																																																																																																																																					
		外 2次系補給水ポンプ	C																																																																																																																																					
		外 カチオン再生塔	C																																																																																																																																					
		外 混合樹脂受入槽	C																																																																																																																																					
		外 樹脂補給ホッパ	C																																																																																																																																					
		外 アニオン再生塔	C																																																																																																																																					
		外 スクラバ	C																																																																																																																																					
		外 配管	-																																																																																																																																					
		1F	外 第6高圧給水加熱器	C																																																																																																																																				
			外 高圧油供給装置	C																																																																																																																																				
			外 脱気器再循環ポンプ	C																																																																																																																																				
			外 低圧給水加熱器ドレンタンク	C																																																																																																																																				
	外 SG ブロー熱回収フラッシュタンク		C																																																																																																																																					
	外 凝分分離加熱器ドレンタンク#1		C																																																																																																																																					
	外 凝分分離加熱器ドレンタンク#2		C																																																																																																																																					
	外 凝分分離器ドレンタンク		C																																																																																																																																					
	外 復水器室空気抜きポンプ		C																																																																																																																																					
	外 復水脱塩塔		C																																																																																																																																					
	外 復水器過器		C																																																																																																																																					
	外 レジンキャッチャ		C																																																																																																																																					
	外 レジントラップ		C																																																																																																																																					
	外 樹脂混合用空気貯槽		C																																																																																																																																					
	外 初級用空気貯槽		C																																																																																																																																					
	外 塩酸貯槽		C																																																																																																																																					
	外 塩酸計量槽	C																																																																																																																																						
	外 塩酸スクラバ	C																																																																																																																																						
	外 苛性ソーダ計量槽	C																																																																																																																																						
	外 苛性ソーダ貯槽	C																																																																																																																																						
外 ジャッキングオイルポンプユニット	C																																																																																																																																							
外 配管	-																																																																																																																																							
2F	外 第3低圧給水加熱器	C																																																																																																																																						
	外 第4低圧給水加熱器	C																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																				
		<p>表4 溢水源となりうる機器リスト（タービン建屋）(3/3)</p> <table border="1" data-bbox="1288 207 1861 406"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th colspan="2">管理区域</th> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">耐震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">タービン建屋</td> <td rowspan="2">2F</td> <td>外</td> <td>外</td> <td>程分分離加熱器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>外</td> <td>配管</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">3F</td> <td>外</td> <td>外</td> <td>軸受冷却水スタンドパイプ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>外</td> <td>脱気器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>外</td> <td>配管</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>外</td> <td>循環水管伸縮継手</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>外</td> <td>外</td> <td>屋外タンク</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域		機器名称	耐震クラス	建屋	フロア	区分		タービン建屋	2F	外	外	程分分離加熱器	C	外	外	配管	—	3F	外	外	軸受冷却水スタンドパイプ	C	外	外	脱気器	C	外	外	配管	—	外	外	循環水管伸縮継手	C	—	外	外	屋外タンク	—	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる</p>																																																										
設置場所		管理区域		機器名称	耐震クラス																																																																																																		
建屋	フロア	区分																																																																																																					
タービン建屋	2F	外	外	程分分離加熱器	C																																																																																																		
		外	外	配管	—																																																																																																		
	3F	外	外	軸受冷却水スタンドパイプ	C																																																																																																		
		外	外	脱気器	C																																																																																																		
		外	外	配管	—																																																																																																		
		外	外	循環水管伸縮継手	C																																																																																																		
—	外	外	屋外タンク	—																																																																																																			
	<p>表5 溢水源となりうる機器リスト(補助ボイラー建屋)</p> <table border="1" data-bbox="701 869 1274 1236"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th colspan="2">管理区域</th> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">耐震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="13">補助ボイラー建屋</td> <td rowspan="4">01F</td> <td>外</td> <td>外</td> <td>加圧貯水槽兼呼水槽</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>外</td> <td>消火水槽</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>外</td> <td>呼水槽</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>外</td> <td>排水ピット</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">1F</td> <td>外</td> <td>外</td> <td>補助ボイラードレン冷却器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>外</td> <td>補助ボイラー蒸気発生器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>外</td> <td>補助ボイラーブロー水冷却器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>外</td> <td>補助ボイラー給水サンプリングクーラ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>外</td> <td>配管</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">2F</td> <td>外</td> <td>外</td> <td>グランド蒸気発生器ドレンクーラ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>外</td> <td>補助ボイラー蒸気だめ</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>外</td> <td>補助ボイラー給水ドレンタンク</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>外</td> <td>補助ボイラー脱気器</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>外</td> <td>補助ボイラー蒸気ドラム</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>外</td> <td>補助ボイラー建屋給気加熱コイル</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>外</td> <td>配管</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域		機器名称	耐震クラス	建屋	フロア	区分		補助ボイラー建屋	01F	外	外	加圧貯水槽兼呼水槽	C	外	外	消火水槽	C	外	外	呼水槽	C	外	外	排水ピット	C	1F	外	外	補助ボイラードレン冷却器	C	外	外	補助ボイラー蒸気発生器	C	外	外	補助ボイラーブロー水冷却器	C	外	外	補助ボイラー給水サンプリングクーラ	C	外	外	配管	—	2F	外	外	グランド蒸気発生器ドレンクーラ	C	外	外	補助ボイラー蒸気だめ	C	外	外	補助ボイラー給水ドレンタンク	C	外	外	補助ボイラー脱気器	C	外	外	補助ボイラー蒸気ドラム	C	外	外	補助ボイラー建屋給気加熱コイル	C	外	外	配管	—	<p>表5 溢水源となりうる機器リスト（出入管理建屋，電気建屋）</p> <table border="1" data-bbox="1288 861 1861 933"> <thead> <tr> <th colspan="2">設置場所</th> <th colspan="2">管理区域</th> <th rowspan="2">機器名称</th> <th rowspan="2">耐震クラス</th> </tr> <tr> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>区分</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>出入管理建屋</td> <td>—</td> <td>内・外</td> <td>外</td> <td>配管</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電気建屋</td> <td>—</td> <td>外</td> <td>外</td> <td>配管</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	設置場所		管理区域		機器名称	耐震クラス	建屋	フロア	区分		出入管理建屋	—	内・外	外	配管	—	電気建屋	—	外	外	配管	—	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 流体を内包する設備の違いによる</p>
設置場所		管理区域		機器名称	耐震クラス																																																																																																		
建屋	フロア	区分																																																																																																					
補助ボイラー建屋	01F	外	外	加圧貯水槽兼呼水槽	C																																																																																																		
		外	外	消火水槽	C																																																																																																		
		外	外	呼水槽	C																																																																																																		
		外	外	排水ピット	C																																																																																																		
	1F	外	外	補助ボイラードレン冷却器	C																																																																																																		
		外	外	補助ボイラー蒸気発生器	C																																																																																																		
		外	外	補助ボイラーブロー水冷却器	C																																																																																																		
		外	外	補助ボイラー給水サンプリングクーラ	C																																																																																																		
		外	外	配管	—																																																																																																		
	2F	外	外	グランド蒸気発生器ドレンクーラ	C																																																																																																		
		外	外	補助ボイラー蒸気だめ	C																																																																																																		
		外	外	補助ボイラー給水ドレンタンク	C																																																																																																		
		外	外	補助ボイラー脱気器	C																																																																																																		
外	外	補助ボイラー蒸気ドラム	C																																																																																																				
外	外	補助ボイラー建屋給気加熱コイル	C																																																																																																				
外	外	配管	—																																																																																																				
設置場所		管理区域		機器名称	耐震クラス																																																																																																		
建屋	フロア	区分																																																																																																					
出入管理建屋	—	内・外	外	配管	—																																																																																																		
電気建屋	—	外	外	配管	—																																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

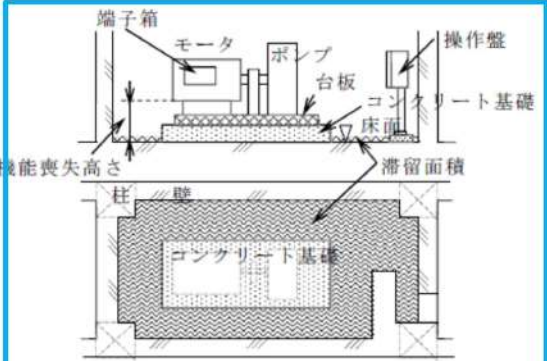
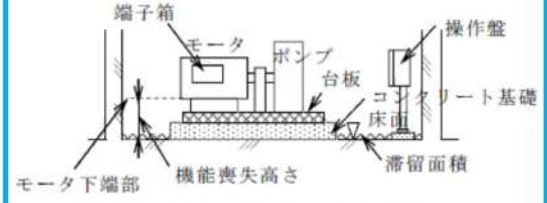
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
<p>【大飯3/4号炉】1.8.2.1 溢水源及び溢水量の想定（抜粋）p2-9-10</p> <p>(2) 消火水の放水による溢水 消火栓からの放水については、3時間の放水により想定される溢水量若しくは、火災源が小さい場合においては、その可燃性物質の量及び等価火災時間を考慮した消火活動に伴う放水により想定される溢水量を設定する。</p> <p>【島根2号炉】2.3.2 消火水の放水による溢水（抜粋）p9条-9 消火設備等のうち、消火栓からの放水量については、3時間の放水により想定される溢水量を基本とするが、火災源が小さい場合においては、日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針(JEAG4607-2010)」解説-4-5(1)の規定による「火災荷重」及び「等価火災時間」を用いて溢水量を設定する。</p> <p>【伊方3号炉】1.7.2 溢水源及び溢水量を設定するための方針（抜粋）p9条-10 また、運転員による中央制御室及び補機制御室からの手動操作により漏えい停止を期待する場合は、漏えい停止までの適切な隔離時間を考慮し、配管の破損箇所から流出した漏水量と隔離後の溢水量として隔離範囲内の系統の保有水量を合算して設定する。ここで、漏水量は、配管の破損箇所からの流出流量に隔離時間を乗じて設定する。</p> <p>【大飯3/4号炉】まとめ資料p2-9-別1-52より抜粋 1.4.3.2.3 地震による溢水影響評価のうち蒸気影響評価 蒸気を内包する耐震B、Cクラスの系統は、基準地震動Ssによる地震力に対して耐震性を確保する。</p>	<p>添付資料3</p> <p>表1 想定する溢水量一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>想定破損</th> <th>消火水の放水</th> <th>地震起因の破損</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) ⇒ 溢水量は算定せず (伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価) </td> <td> 火災荷重に係わらず一律3時間の放水を想定 ⇒ 実放水量の確認結果 264.92/min に保守性を考慮 ⇒ 3000/min×60min×3時間=54m³の放水を考慮 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) </td> <td> 複数考慮 破損する系統の保有水量を溢水量として算定 ⇒ 手動隔離には期待しない ⇒ 破損する系統の保有水量を各建風毎に算定 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) ⇒ 溢水量は算定せず (伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価) </td> </tr> <tr> <td>没水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	想定破損	消火水の放水	地震起因の破損	機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) ⇒ 溢水量は算定せず (伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価)	火災荷重に係わらず一律3時間の放水を想定 ⇒ 実放水量の確認結果 264.92/min に保守性を考慮 ⇒ 3000/min×60min×3時間=54m ³ の放水を考慮 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価)	複数考慮 破損する系統の保有水量を溢水量として算定 ⇒ 手動隔離には期待しない ⇒ 破損する系統の保有水量を各建風毎に算定 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) ⇒ 溢水量は算定せず (伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価)	没水			被水			蒸気			<p>添付資料3</p> <p>表1 想定する溢水量一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>想定破損</th> <th>消火水の放水</th> <th>地震起因の破損</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) ⇒ 溢水量は算定せず (伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価) </td> <td> 消火栓からの放水時間を原則3時間と想定 火災源が小さい一帯の区画については日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針(JEAG4607-2010)」解説-4-5(1)(表4-3 火災荷重と等価時間)について)に依り、放水時間を設定 ⇒ 実放水量の確認結果 251.7L/min に保守性を考慮 ⇒ 《屋内消火栓》 ・300L/min×60min×放水時間 《屋外消火栓》 ・780L/min×60min×放水時間 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) </td> <td> 複数考慮 破損する系統の保有水量を溢水量として算定 ⇒ 手動隔離を考慮（漏えい停止までの流出量を考慮） ⇒ 破損する系統の保有水量を各建風毎に算定 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) </td> </tr> <tr> <td>没水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>被水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>蒸気</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	想定破損	消火水の放水	地震起因の破損	機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) ⇒ 溢水量は算定せず (伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価)	消火栓からの放水時間を原則3時間と想定 火災源が小さい一帯の区画については日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針(JEAG4607-2010)」解説-4-5(1)(表4-3 火災荷重と等価時間)について)に依り、放水時間を設定 ⇒ 実放水量の確認結果 251.7L/min に保守性を考慮 ⇒ 《屋内消火栓》 ・300L/min×60min×放水時間 《屋外消火栓》 ・780L/min×60min×放水時間 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価)	複数考慮 破損する系統の保有水量を溢水量として算定 ⇒ 手動隔離を考慮（漏えい停止までの流出量を考慮） ⇒ 破損する系統の保有水量を各建風毎に算定 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価)	没水			被水			蒸気			<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 消火水の放水時間について、女川は一律3時間の放水を想定しているのに対し、泊は3時間の放水により想定される溢水量を基本とするが、火災源が小さいエリアについては可燃物量を考慮し、「原子力発電所の火災防護指針」の規定による「火災荷重」及び「等価時間」を用いて放水量を算定している。(先行PWR、島根2号炉と同様)</p> <p>設計方針の相違 泊発電所3号炉では、地震発生後に運転員によるパトロールを実施し、溢水源となりうる機器からの漏えいが確認された場合には手動操作による漏えい停止を実施することから、漏えい検知から隔離操作完了までの時間を保守的に設定し、溢水量を算出している。(伊方3号炉と同様)</p> <p>設計方針の相違 泊では蒸気が発生する高エネルギー配管については、基準地震動に対して、耐震性を確保しているため、地震起因の破損により蒸気は発生しない。(大飯と同様)</p>
想定破損	消火水の放水	地震起因の破損																															
機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) ⇒ 溢水量は算定せず (伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価)	火災荷重に係わらず一律3時間の放水を想定 ⇒ 実放水量の確認結果 264.92/min に保守性を考慮 ⇒ 3000/min×60min×3時間=54m ³ の放水を考慮 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価)	複数考慮 破損する系統の保有水量を溢水量として算定 ⇒ 手動隔離には期待しない ⇒ 破損する系統の保有水量を各建風毎に算定 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) ⇒ 溢水量は算定せず (伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価)																															
没水																																	
被水																																	
蒸気																																	
想定破損	消火水の放水	地震起因の破損																															
機器の単一破損を想定 内部流体条件により破断形状を設定 手動・自動隔離を考慮（隔離後における残水の流出を考慮） ⇒ 漏えい流量、隔離に要する時間、系統保有水量より溢水量を算出 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価) ⇒ 溢水量は算定せず (伝播範囲と防護対象設備の位置関係、耐環境仕様の有無により評価)	消火栓からの放水時間を原則3時間と想定 火災源が小さい一帯の区画については日本電気協会電気技術指針「原子力発電所の火災防護指針(JEAG4607-2010)」解説-4-5(1)(表4-3 火災荷重と等価時間)について)に依り、放水時間を設定 ⇒ 実放水量の確認結果 251.7L/min に保守性を考慮 ⇒ 《屋内消火栓》 ・300L/min×60min×放水時間 《屋外消火栓》 ・780L/min×60min×放水時間 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価)	複数考慮 破損する系統の保有水量を溢水量として算定 ⇒ 手動隔離を考慮（漏えい停止までの流出量を考慮） ⇒ 破損する系統の保有水量を各建風毎に算定 溢水量に依存しない (溢水発生箇所と防護対象設備の位置関係、被水防護措置の有無、防滴仕様の有無により評価)																															
没水																																	
被水																																	
蒸気																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由														
<p style="text-align: right;">添付資料 1.2-2</p> <p style="text-align: center;">防護対象設備と機能喪失高さ一覧</p> <p>1. はじめに 溢水水位及び機能喪失高さの考え方を示し、全防護対象設備の機能喪失高さ一覧を記載する。</p> <p>2. 溢水水位 影響評価に用いる溢水水位の算定は、溢水経路上の溢水防護区画のすべてに対して行う。 溢水水位：H は、下式に基づき算出する。 $H=Q/A$ Q:溢水量(m3) A:滞留面積(m2) 滞留面積は、コンクリート基礎等の範囲を除く有効面積を滞留面積として評価する。(図1)</p> <p>3. 機能喪失高さ 各機器における機能喪失高さの考え方を表1にまとめるとともに図2にポンプの例を示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 各設備の機能喪失高さの考え方</p> <table border="1" data-bbox="114 1029 683 1422"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>機能喪失高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁</td> <td>①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ダンパ</td> <td>各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ポンプ (操作盤含む)</td> <td>①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は前タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>ファン</td> <td>モータは下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>盤</td> <td>盤内の最低高さの計器類の下端部</td> </tr> <tr> <td>計器</td> <td>計器本体下端又は伝送器下端の低い方</td> </tr> </tbody> </table>	機器	機能喪失高さ	弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ポンプ (操作盤含む)	①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は前タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方	ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い方	盤	盤内の最低高さの計器類の下端部	計器	計器本体下端又は伝送器下端の低い方	<p style="text-align: right;">添付資料 4</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 4</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載表現の相違 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川審査実績の反映 ・女川及び泊は、機能喪失高さの考え方について添付資料5に記載する。
機器	機能喪失高さ																
弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																
ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																
ポンプ (操作盤含む)	①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は前タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方																
ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い方																
盤	盤内の最低高さの計器類の下端部																
計器	計器本体下端又は伝送器下端の低い方																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図1 機能喪失高さと滞留面積の考え方</p>  <p>図2 ポンプにおける機能喪失高さ</p>			<p>【大飯】 記載方針の相違 女川及び泊は、機能喪失高さの考え方について添付資料5に記載する。</p>

泊発電所3号炉 D B基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由		
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（1/9）						表1 防護対象設備一覧（1/27）						表1 防護対象設備一覧（1/35）						【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違		
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（1/9）						表1 防護対象設備一覧（1/27）						表1 防護対象設備一覧（1/35）						【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違		
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]	系統	設備	設置箇所	設置建物	E.L. [※] [m]	機能 [※]	系統	設備	設置箇所	設置建物	基本設定高さ ^{※1} [m]	個別測定高さ ^{※2} [m]	設定箇所	安全機能	【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違 ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。
補給給水系	3A, 3B電動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.60	0.60	補給給水系	3A, 3B電動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	原子炉建屋	9.300	①②③④⑤	補給給水系	タービン動補助給水ポンプ (3BFW1)	3B5-B-N4	原子炉建屋	0.05	0.67	個別	⑤	
補給給水系	3タービン動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.16	0.66	補給給水系	3タービン動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	原子炉建屋	9.615	⑤	補給給水系	A-電動補助給水ポンプ (3BFW2A)	3B5-B-N6	原子炉建屋	0.30	0.66	基本	③	
補給給水系	3タービン動補助給水ポンプ 駆動弁A, B (3V-MS-570A, B)	原子炉 周辺建屋	33.6	34.74	1.14	補給給水系	3タービン動補助給水ポンプ 駆動弁A, B (3V-MS-570A, B)	原子炉 周辺建屋	原子炉建屋	9.590	⑤⑥	補給給水系	B-電動補助給水ポンプ (3BFW2B)	3B5-B-N7	原子炉建屋	0.30	0.67	基本	⑤	
補給給水系	3タービン動補助給水ポンプ 駆動弁A, B (3TDF-A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.26	0.26	補給給水系	3タービン動補助給水ポンプ 駆動弁A, B (3TDF-A, B)	原子炉 周辺建屋	原子炉建屋	9.305	①②③④⑤	補給給水系	A-補助給水ポンプ出口流量 調節弁 (3V-FW-582A)	3B5-B-N6	原子炉建屋	4.35	4.66	基本	⑤	
補給給水系	3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器補助 給水流量 (3FT-3716, 3726, 3736, 3746)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.16	1.06	補給給水系	3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器補助 給水流量 (3FT-3716, 3726, 3736, 3746)	原子炉 周辺建屋	原子炉建屋	9.545	①②③④⑤	補給給水系	B-補助給水ポンプ出口流量 調節弁 (3V-FW-582B)	3B5-B-N4	原子炉建屋	4.35	4.63	基本	⑤	
補給給水系	3復水ピット水位Ⅲ, IV (3LT-3760, 3761)	原子炉 周辺建屋	26.0	26.45	0.45	補給給水系	3復水ピット水位Ⅲ, IV (3LT-3760, 3761)	原子炉 周辺建屋	原子炉建屋	9.595	①②③④⑤	補給給水系	C-補助給水ポンプ出口流量 調節弁 (3V-FW-582C)	3B5-B-N7	原子炉建屋	4.39	4.69	基本	⑤	
補給給水系	3復水ピット	原子炉 周辺建屋	26.0	-	-	補給給水系	3復水ピット	原子炉 周辺建屋	原子炉建屋	9.701	①②③④⑤	主蒸気	タービン動補助給水ポンプ駆動 蒸気入口弁A (3V-MS-582A)	3B5-B-N4	原子炉建屋	4.50	5.05	基本	③	
化学体積制御系	3A, 3B充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.64	0.64	化学体積制御系	3A, 3B充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	原子炉建屋	10.120	①②③④⑤	主蒸気	タービン動補助給水ポンプ駆動 蒸気入口弁B (3V-MS-582B)	3B5-B-N4	原子炉建屋	4.50	5.04	基本	③	
化学体積制御系	3C充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.31	0.31	化学体積制御系	3C充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	原子炉建屋	10.100	①②③④⑤	補給給水系	A-補助給水隔離弁 (3V-FW-589A)	3B5-D-N51	原子炉建屋	0.50	0.79	基本	③⑤	
化学体積制御系	3C充てんポンプ速度制御盤 (3CSC)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.00	1.00	化学体積制御系	3C充てんポンプ速度制御盤 (3CSC)	原子炉 周辺建屋	原子炉建屋	10.100	①②③④⑤	補給給水系	B-補助給水隔離弁 (3V-FW-589B)	3B5-D-N51	原子炉建屋	0.50	0.81	基本	③⑤	
化学体積制御系	3C充てんポンプ速度制御補助 盤 (3CSAC)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.80	0.80	化学体積制御系	3C充てんポンプ速度制御補助 盤 (3CSAC)	原子炉 周辺建屋	原子炉建屋	10.100	①②③④⑤	補給給水系	C-補助給水隔離弁 (3V-FW-589C)	3B5-D-N51	原子炉建屋	0.50	0.81	基本	③⑤	
化学体積制御系	3A, 3B, 3C1, 3C2充てんポンプ 現場操作箱 (3LB-5, 6, 7, 8)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	化学体積制御系	3A, 3B, 3C1, 3C2充てんポンプ 現場操作箱 (3LB-5, 6, 7, 8)	原子炉 周辺建屋	原子炉建屋	11.004	①②③④⑤	補給給水系	A-補助給水ライン流量 (II) (3FT-3766)	3B5-B-N1	原子炉建屋	1.03	1.02	個別	③⑥	
化学体積制御系	3充てんポンプ入口燃料取扱 用水ピット側補助弁A, B (3LCV-121D, E)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	化学体積制御系	3充てんポンプ入口燃料取扱 用水ピット側補助弁A, B (3LCV-121D, E)	原子炉 周辺建屋	原子炉建屋	9.180	①②③④⑤	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②木炭昇降機機能 ③事故時のプラント状態の把握機能 ④原子炉停止後の除熱機能 ⑤ピット冷却機能 ⑥放射物質の閉じ込め機能								
化学体積制御系	3A, 3Bほう酸ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.57	0.57	化学体積制御系	3A, 3Bほう酸ポンプ	原子炉 周辺建屋	原子炉建屋	9.615	③⑤									
化学体積制御系	3A, 3Bほう酸ポンプ現場操作 箱 (3LB-9, 10)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	化学体積制御系	3A, 3Bほう酸ポンプ現場操作 箱 (3LB-9, 10)	原子炉 周辺建屋	原子炉建屋	9.615	③⑤									
化学体積制御系	3充てんライン止め弁 (3V-CS-155)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.03	1.03	化学体積制御系	3充てんライン止め弁 (3V-CS-155)	原子炉 周辺建屋	原子炉建屋	9.615	③⑤									
化学体積制御系	3体積制御タンク出口第1止め 弁 (3LCV-121B)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.24	1.14	化学体積制御系	3体積制御タンク出口第1止め 弁 (3LCV-121B)	原子炉 周辺建屋	原子炉建屋	9.305	⑤									
化学体積制御系	3体積制御タンク出口第2止め 弁 (3LCV-121C)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.23	1.13	化学体積制御系	3体積制御タンク出口第2止め 弁 (3LCV-121C)	原子炉 周辺建屋	原子炉建屋	9.545	⑤									
化学体積制御系	3緊急ほう酸注入ライン補給 弁 (3V-CS-573)	原子炉 周辺建屋	17.1	21.64	4.54	化学体積制御系	3緊急ほう酸注入ライン補給 弁 (3V-CS-573)	原子炉 周辺建屋	原子炉建屋	9.371	⑤									
化学体積制御系	3充てんライン格納容器隔離 弁 (3V-CS-157)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.14	5.04	化学体積制御系	3充てんライン格納容器隔離 弁 (3V-CS-157)	原子炉 周辺建屋	原子炉建屋	9.371	⑤									
化学体積制御系	3-1次冷却材ポンプ封水戻り ライン格納容器第2隔離弁 (3V-CS-312)	原子炉 周辺建屋	17.1	20.98	3.88	化学体積制御系	3-1次冷却材ポンプ封水戻り ライン格納容器第2隔離弁 (3V-CS-312)	原子炉 周辺建屋	原子炉建屋	17.1	-									
化学体積制御系	3封水冷却器	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	化学体積制御系	3封水冷却器	原子炉 周辺建屋	原子炉建屋	17.1	-									

【島根2号炉】

まとめ資料 p9条-別添1-添付1-8より抜粋

表2-2 溢水防護対象設備リスト (1/11)

系統名称	設備番号	設備名称	設置建物	設置高さ [m]	機能喪失 高さ [m]	設定 箇所	設置区画
原子炉補機冷却系	W214-12A	A1-DG 冷却水出口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 6400	基本	R-02F-04N
原子炉補機冷却系	W214-13A	A2-DG 冷却水出口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 6400	基本	R-02F-04N
原子炉補機冷却系	W214-12B	B1-DG 冷却水出口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 6400	基本	R-02F-06N
原子炉補機冷却系	W214-13B	B2-DG 冷却水出口弁	原子炉建物	EL 1300	EL 6400	基本	R-02F-06N
原子炉補機冷却系	P214-1A	A-原子炉補機冷却水ポンプ	原子炉建物	EL 15300	EL 16204	個別	R-1F-14N
原子炉補機冷却系	P214-1C	C-原子炉補機冷却水ポンプ	原子炉建物	EL 15300	EL 16204	個別	R-1F-14N
原子炉補機冷却系	P214-1B	B-原子炉補機冷却水ポンプ	原子炉建物	EL 15300	EL 16200	個別	R-1F-15N
原子炉補機冷却系	P214-1D	D-原子炉補機冷却水ポンプ	原子炉建物	EL 15300	EL 16200	個別	R-1F-15N
原子炉補機冷却系	W214-7A	A-88R 熱交換冷却水出口弁	原子炉建物	EL 23800	EL 29956	個別	R-2F-09N
原子炉補機冷却系	W214-7B	B-88R 熱交換冷却水出口弁	原子炉建物	EL 23800	EL 28884	個別	R-2F-10N
原子炉補機冷却系	W214-3A	A-8CW 常用補機冷却水出口切替弁	原子炉建物	EL 23800	EL 26800	個別	R-2F-20N
原子炉補機冷却系	W214-3B	B-8CW 常用補機冷却水出口切替弁	原子炉建物	EL 23800	EL 26800	個別	R-2F-20N
原子炉補機冷却系	W214-1A	A-8CW 常用補機冷却水入口切替弁	原子炉建物	EL 8900	EL 11090	個別	R-01F-11N
原子炉補機冷却系	W214-1B	B-8CW 常用補機冷却水入口切替弁	原子炉建物	EL 8900	EL 11090	個別	R-01F-11N
原子炉補機高水系	W215-2A	A-8CW 熱交換水出口弁	原子炉建物	EL 15300	EL 16240	個別	R-1F-14N
原子炉補機高水系	W215-2B	B-8CW 熱交換水出口弁	原子炉建物	EL 15300	EL 16820	個別	R-1F-15N

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由				
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(2/9)					表1 防護対象設備一覧 (2/27)					表1 防護対象設備一覧 (2/35)					【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違				
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. [※] [m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} [m]	個別測定高さ ^{※2} [m]	設定箇所	安全機能
化学体積制御系	3A, 3B封水注入フィルタ	原子炉 周辺建屋	26.0	-	-	原子炉制御 原子炉	原子炉停止	0-42F-0	原子炉建屋	9.610	③	補助給水 系	B-補助給水ライン流量 (III) (3FT-3776)	3B-D-N1	原子炉建屋	1.03	1.00	個別	③⑦
化学体積制御系	3封水ストレーナ	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	原子炉制御 原子炉	原子炉停止	0-42F-0	原子炉建屋	9.610	③⑤	補助給水 系	C-補助給水ライン流量 (IV) (3FT-3786)	3B-D-N1	原子炉建屋	1.03	1.02	個別	③⑦
化学体積制御系	3体積制御タンク	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	原子炉制御 原子炉	原子炉停止	0-42F-0	原子炉建屋	9.610	③⑤	補助給水 系	補助給水ビット水位 (I) (3LT-3750)	3B-D-N3	原子炉建屋	1.03	1.00	個別	③⑦
化学体積制御系	3A, 3Bほう酸タンク水位 (3LT-206, 208)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.21	1.11	原子炉制御 原子炉	原子炉停止	0-42F-0	原子炉建屋	9.610	③	補助給水 系	補助給水ビット水位 (II) (3LT-3751)	3B-D-N3	原子炉建屋	1.03	1.00	個別	③⑦
化学体積制御系	3A, 3Bほう酸タンク	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-	原子炉制御 原子炉	原子炉停止	0-42F-0	原子炉建屋	9.610	③	関連設備	タービン動補助給水ポンプ 起動盤トレンA (3TDA)	3B-D-N1	原子炉建屋	0.37	0.47	基本	③⑤
化学体積制御系	3ほう酸フィルタ	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-	原子炉制御 原子炉	原子炉停止	0-42F-0	原子炉建屋	9.610	③⑦	関連設備	タービン動補助給水ポンプ 起動盤トレンB (3TDB)	3B-D-N1	原子炉建屋	0.37	0.46	基本	③⑤
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.31	0.81	原子炉制御 原子炉	原子炉停止	0-42F-0	原子炉建屋	9.300	③⑦	関連設備	補助給水ポンプ出口流量 調節弁盤トレンA (3AFRA)	3B-D-N1	原子炉建屋	0.43	0.53	基本	③⑤
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプ現場操作箱 (3IR-14, 15)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.70	1.20	原子炉制御 原子炉	原子炉停止	0-42F-0	原子炉建屋	9.445	③	関連設備	補助給水ポンプ出口流量 調節弁盤トレンB (3AFRB)	3B-D-N1	原子炉建屋	0.43	0.52	基本	③⑤
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプ出口流量 (3PT-601, 611)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.60	1.10	原子炉制御 原子炉	原子炉停止	0-42F-10	原子炉建屋	11.296	③	化学体積 制御系	A-充てんポンプ (3CSPIA)	3AB-H-8	原子炉補助 建屋	0.63	0.68	個別	②
余熱除去系	3A, 3B余熱除去ポンプミニマム フローライン止め弁 (3FCV-601, 611)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.96	0.86	原子炉制御 原子炉	原子炉停止	0-42F-0	原子炉建屋	9.430	③⑦	化学体積 制御系	B-充てんポンプ (3CSPIB)	3AB-H-6	原子炉補助 建屋	0.63	0.68	個別	②
余熱除去系	3A, 3B余熱除去冷却器	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-	原子炉制御 原子炉	原子炉停止	0-42F-0	原子炉建屋	9.165	③⑦	化学体積 制御系	C-充てんポンプ (3CSPIC)	3AB-H-4	原子炉補助 建屋	0.63	0.68	個別	②
制御用空気系	3A, 3B制御用空気圧縮機制御盤 (3IAC-A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.54	0.44	原子炉制御 原子炉	原子炉停止	0-42F-0	原子炉建屋	9.967	③⑦	化学体積 制御系	体積制御タンク出口第1止め弁 (3LCY-121B)	3AB-G-5	原子炉補助 建屋	0.68	1.03	基本	②
制御用空気系	3A, 3B制御用空気圧縮機	原子炉 周辺建屋	17.1	17.70	0.60	原子炉制御 原子炉	原子炉停止	0-42F-10	原子炉建屋	9.967	③⑦	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能							
制御用空気系	3A, 3B制御用空気乾燥器 (3IAHA, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	原子炉制御 原子炉	原子炉停止	0-42F-10	原子炉建屋	9.167	③⑦	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能							
制御用空気系	3A, 3B制御用空気ため (3IATA, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	原子炉制御 原子炉	原子炉停止	0-42F-10	原子炉建屋	9.167	③⑦	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能							
制御用空気系	3A-C, 3B-C制御用空気母管連絡弁 (3V-1A-501A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.80	0.70	原子炉制御 原子炉	原子炉停止	0-42F-10	原子炉建屋	9.804	③	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能							
制御用空気系	3A, 3B制御用空気主蒸気逃がし弁等 供給ライン止め弁 (3V-1A-505A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.77	0.67	原子炉制御 原子炉	原子炉停止	0-42F-20	原子炉建屋	1.240 [※]	③	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能							
制御用空気系	3A, 3B 制御用空気格納容器隔離弁 (3V-1A-508A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.99	0.89	原子炉制御 原子炉	原子炉停止	0-42F-0	原子炉建屋	9.963	③	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能							
制御用空気系	3A, 3B制御用空気供給母管圧力 (3PT-1800, 1810)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.05	0.95	原子炉制御 原子炉	原子炉停止	0-42F-0	原子炉建屋	9.965	③	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能							
原子炉補機冷却系	3A, 3B余熱除去冷却器冷却水止め弁 (3V-CC-114A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.72	1.72	原子炉制御 原子炉	原子炉停止	0-42F-0	原子炉建屋	9.965	③	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能							
原子炉補機冷却系	3原子炉補機冷却水サージ タンク水位III, IV (3LT-1200, 1201)	原子炉 周辺建屋	39.0	40.09	1.09	原子炉制御 原子炉	原子炉停止	0-42F-0	原子炉建屋	9.965	③	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能							
原子炉補機冷却系	3原子炉補機冷却水サージ タンク	原子炉 周辺建屋	42.0	-	-	原子炉制御 原子炉	原子炉停止	0-42F-0	原子炉建屋	9.965	③	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由			
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(3/9)					表1 防護対象設備一覧 (3/27)					表1 防護対象設備一覧 (3/35)					<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである</p> <p>「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>			
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} [m]	個別測定高さ ^{※2} [m]	設定箇所	安全機能
原子炉補助冷却系	3A, 3B原子炉補助冷却水冷却器	制御建屋	7.0	-	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT011)	0-02F-2	原子炉建屋	1.375	④	化学体積制御系	体積制御タンク出口第2止め弁 (3LCV-121C)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	0.67	1.02	基本	②
原子炉補助冷却系	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補助冷却水ポンプ	制御建屋	7.0	9.10	2.10	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT012)	0-02F-2	1.375	④	化学体積制御系	充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁A (3LCV-121D)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	0.56	0.91	基本	②
原子炉補助冷却系	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補助冷却水ポンプ現場操作箱 (3LB-20, 21, 22, 23)	制御建屋	7.0	9.90	2.90	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT013)	0-02F-2	1.375	④	化学体積制御系	充てんポンプ入口燃料取替用水ピット側入口弁B (3LCV-121E)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	0.56	0.91	基本	②
原子炉補助冷却系	3A-C, 3B-C原子炉補助冷却水戻り母管連絡弁 (3V-CC-043A, B)	制御建屋	7.0	9.29	2.29	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT014)	0-02F-1	0.565	④	化学体積制御系	充てんタンク/V外側止め弁 (3V-CS-175)	3RB-E-2	原子炉建屋	0.60	0.97	基本	②
原子炉補助冷却系	3A-C, 3B-C原子炉補助冷却水供給母管連絡弁 (3V-CC-056A, B)	制御建屋	7.0	9.28	2.28	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT015)	0-02F-1	0.565	④	化学体積制御系	充てんタンク/V外側隔離弁 (3V-CS-177)	3RB-E-2	原子炉建屋	0.60	0.97	基本	②⑤
原子炉補助冷却系	34廃棄物処理建屋冷却水供給ライン第1, 2止め弁 (3号機側) (34V-CC-600, 601)	原子炉周辺建屋	17.1	18.09	0.99	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT016)	0-02F-1	0.605	②⑤	化学体積制御系	A-ほう酸ポンプ (3CSP2A)	3AB-F-21	原子炉補助建屋	0.43	0.59	基本	②
原子炉補助冷却系	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器冷却水止め弁 (3V-CC-178A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.89	1.89	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT017)	0-02F-1	1.165	②⑤	化学体積制御系	B-ほう酸ポンプ (3CSP2B)	3AB-F-20	原子炉補助建屋	0.43	0.59	基本	②
原子炉補助冷却系	3-1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁 (3V-CC-403)	原子炉周辺建屋	17.1	22.41	5.31	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT018)	0-02F-1	1.165	②⑤	化学体積制御系	緊急ほう酸注入弁 (3V-CS-541)	3AB-G-5	原子炉補助建屋	0.50	0.75	基本	②
原子炉補助冷却系	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第2隔離弁 (3V-CC-429)	原子炉周辺建屋	17.1	22.42	5.32	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT019)	0-02F-1	1.135	②⑤	化学体積制御系	A-ほう酸タンク水位 (I) (3LT-206)	3AB-F-1	原子炉補助建屋	1.03	1.00	個別	②⑦
原子炉補助冷却系	3-CRM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水供給ラインCV隔離弁 (3V-CC-342)	原子炉周辺建屋	17.1	22.12	5.02	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT020)	0-02F-2	0.825	④	化学体積制御系	B-ほう酸タンク水位 (II) (3LT-208)	3AB-F-1	原子炉補助建屋	1.03	0.99	個別	②⑦
原子炉補助冷却系	3 CRM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水供給ラインCV隔離弁 (3V-CC-365)	原子炉周辺建屋	17.1	22.13	5.03	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT021)	0-02F-2	0.825	④	化学体積制御系	1次冷却材ポンプ封水戻りライン/V外側隔離弁 (3V-CS-255)	3RB-E-2	原子炉建屋	0.86	0.89	基本	⑤
原子炉補助冷却系	3A-D, 3B-C 格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁 (3V-CC-189A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	21.22	4.12	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT022)	0-02F-4	0.900	②⑤	余熱除去系	A-余熱除去ポンプ (3RSP1A)	3AB-L-6	原子炉補助建屋	0.75	0.83	基本	③④
原子炉補助冷却系	3A, 3B, 3C, 3D 格納容器再循環ユニット冷却水戻りライン格納容器隔離弁 (3V-CC-198A, B, C, D)	原子炉周辺建屋	17.1	21.12	4.02	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT023)	0-02F-4	0.900	②⑤	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②非臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ビット給水機能							
原子炉補助冷却系	3A, 3B原子炉補助冷却水冷却器海水止め弁 (3V-SW-570A, B)	制御建屋	7.0	9.70	2.70	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT024)	0-02F-4	0.900	②⑤								
原子炉補助冷却系	3海水ポンプ出口3A, 3B, 3C, 3D海水ストレーナ (3S-SW-01A, B, C, D)	海水ポンプエリア	1.0	-	-	原子炉補助冷却系	原子炉冷却水供給設備 (E1-PT025)	0-02F-4	0.885	③④⑤⑥								
原子炉補助冷却系	3A, 3B, 3C海水ポンプ	海水ポンプエリア	2.5	4.65	2.15	※1：基本より機能喪失する床面からの高さ（床面高さ0.900mを基準） ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②非臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ビット給水機能												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由	
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（4/9）						表1 防護対象設備一覧（4/27）						表1 防護対象設備一覧（4/35）						【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違	
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]		系統	設備	設置番号	設置階層	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} [m]	個別測定高さ ^{※2} [m]	設定箇所	安全機能
原子炉補助機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	海水ポンプブエリア	2.5	6.50	4.00	原子炉補助機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	E11-10000	原子炉建屋	9.400	①②③④	余熱除去系	B-余熱除去ポンプ (3BMP1B)	3AB-L-5	原子炉補助建屋	0.75	0.83	基本	③④
電気盤	3主盤 (原子炉盤) (3MCB)	制御建屋	21.8	21.96	0.16	原子炉補助機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	E11-10000	原子炉建屋	9.400	①②③④	余熱除去系	A-余熱除去ポンプミニフロー弁 (3FCV-601)	3AB-K-21	原子炉補助建屋	2.95	3.25	基本	③④
電気盤	3原子炉補助盤 (3RAB)	制御建屋	21.8	21.98	0.18	原子炉補助機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	E11-10000	原子炉建屋	9.400	①②③④	余熱除去系	B-余熱除去ポンプミニフロー弁 (3FCV-611)	3AB-K-13	原子炉補助建屋	2.95	3.23	基本	③④
電気盤	3原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV (3RPR-I, II, III, IV)	制御建屋	21.8	21.96	0.16	原子炉補助機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	E11-10000	原子炉建屋	9.400	①②③④	余熱除去系	A-余熱除去ポンプ出口流量 (I) (3FT-601)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	1.03	1.01	個別	③④
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D原子炉安全保護ロジック盤 (3RPL-A, B, C, D)	制御建屋	21.8	21.95	0.15	原子炉補助機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	E11-10000	原子炉建屋	9.400	①②③④	余熱除去系	B-余熱除去ポンプ出口流量 (II) (3FT-611)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	1.03	1.00	個別	③④
電気盤	3安全保護シーケンス盤 (3SFS-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	21.8	22.00	0.20	原子炉補助機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	E11-10000	原子炉建屋	9.400	①②③④	余熱除去系	A-余熱除去ポンプRWSF側入口弁 (3V-RH-051A)	3AB-K-21	原子炉補助建屋	0.70	1.75	個別	④
電気盤	3所内盤 (3HS)	制御建屋	21.8	21.90	0.10	原子炉補助機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	E11-10000	原子炉建屋	9.400	①②③④	余熱除去系	B-余熱除去ポンプRWSF側入口弁 (3V-RH-051B)	3AB-K-13	原子炉補助建屋	0.70	1.78	個別	④
電気盤	事故時放射線監視盤 3RMS (3PRMS-III, IV)	制御建屋	21.8	21.87	0.07	原子炉補助機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	E11-10000	原子炉建屋	9.400	①②③④	余熱除去系	A-余熱除去ポンプRWSF/再循環サンプリング側入口弁 (3V-RH-055A)	3AB-K-21	原子炉補助建屋	0.70	1.77	個別	④
電気盤	3原子炉トリップ遮断器盤 (3RTS)	原子炉周辺建屋	17.1	17.14	0.04	原子炉補助機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	E11-10000	原子炉建屋	9.400	①②③④	余熱除去系	B-余熱除去ポンプRWSF/再循環サンプリング側入口弁 (3V-RH-055B)	3AB-K-13	原子炉補助建屋	0.70	1.78	個別	④
電気盤	3A1, 3A2, 3A3, 3A4, 3B1, 3B2, 3B3, 3B4ソレノイド分電盤 (3SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	原子炉補助機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	E11-10000	原子炉建屋	9.400	①②③④	余熱除去系	A-余熱除去ポンプ再循環サンプリング側入口弁 (3V-RH-058A)	3BB-J-2	原子炉建屋	2.90	4.08	基本	④⑤
電気盤	3A, 3Bドロップ盤 (3BCP-A-DRP, 3BCP-B-DRP)	制御建屋	15.8	15.92	0.12	原子炉補助機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	E11-10000	原子炉建屋	9.400	①②③④	余熱除去系	B-余熱除去ポンプ再循環サンプリング側入口弁 (3V-RH-058B)	3BB-J-1	原子炉建屋	2.90	3.85	個別	④⑤
電気盤	3A, 3B直流分電盤 (3DMP-A, B)	制御建屋	15.8	15.92	0.12	原子炉補助機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	E11-10000	原子炉建屋	9.400	①②③④	制御用空気系	A-制御用空気圧縮機 (3IAE1A)	3BD-H-2	原子炉建屋	0.40	0.44	基本	⑥
電気盤	3A, 3B直流分電盤 (3DDP-A, B)	制御建屋	15.8	16.28	0.48	原子炉補助機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	E11-10000	原子炉建屋	9.400	①②③④	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：溢水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②緊急時停止機能 ③緊急時停止機能 ④緊急時停止機能 ⑤緊急時停止機能 ⑥緊急時停止機能							
電気盤	3A, 3B蓄電池	制御建屋	15.8	16.60	0.80	原子炉補助機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	E11-10000	原子炉建屋	9.400	①②③④	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：溢水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②緊急時停止機能 ③緊急時停止機能 ④緊急時停止機能 ⑤緊急時停止機能 ⑥緊急時停止機能							
電気盤	3A, 3B充電器盤 (3BCP-A, B)	制御建屋	15.8	15.92	0.12	原子炉補助機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	E11-10000	原子炉建屋	9.400	①②③④	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：溢水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②緊急時停止機能 ③緊急時停止機能 ④緊急時停止機能 ⑤緊急時停止機能 ⑥緊急時停止機能							
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2メタルクラッドスイッチギア (3MC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.95	0.15	原子炉補助機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	E11-10000	原子炉建屋	9.400	①②③④	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：溢水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②緊急時停止機能 ③緊急時停止機能 ④緊急時停止機能 ⑤緊急時停止機能 ⑥緊急時停止機能							
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2パワーセンタ (3PC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.86	0.06	原子炉補助機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	E11-10000	原子炉建屋	9.400	①②③④	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：溢水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②緊急時停止機能 ③緊急時停止機能 ④緊急時停止機能 ⑤緊急時停止機能 ⑥緊急時停止機能							
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2原子炉コントローラセンタ (3RCC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	16.01	0.21	原子炉補助機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	E11-10000	原子炉建屋	9.400	①②③④	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：溢水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②緊急時停止機能 ③緊急時停止機能 ④緊急時停止機能 ⑤緊急時停止機能 ⑥緊急時停止機能							
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D計装用電源盤 (1) ~ (3) (3IBC-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	15.90	0.10	原子炉補助機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	E11-10000	原子炉建屋	9.400	①②③④	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：溢水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②緊急時停止機能 ③緊急時停止機能 ④緊急時停止機能 ⑤緊急時停止機能 ⑥緊急時停止機能							
電気盤	3A1, 3A2, 3B1, 3B2, 3C1, 3C2, 3D1, 3D2計装用分電盤 (3IFD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	原子炉補助機冷却系	3A, 3B1, 3B2, 3C海水ポンプ現場操作箱 (3LB-26, 27, 28, 29)	E11-10000	原子炉建屋	9.400	①②③④	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：溢水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②緊急時停止機能 ③緊急時停止機能 ④緊急時停止機能 ⑤緊急時停止機能 ⑥緊急時停止機能							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由		
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（5/9）						表1 防護対象設備一覧（5/27）						表1 防護対象設備一覧（5/35）						【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違		
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. [※] [m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} [m]	個別測定高さ ^{※2} [m]	設定箇所	安全機能	
電気盤	3A, 3B, 3C, 3D計装用交流電源切替盤 (3ISP-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	16.13	0.33	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス (322-1000)	0-001-01	炉心スプレイス	0.545	①②	制御用空気系	B-制御用空気圧縮機 (31AE1B)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.40	0.45	基本	⑥	<p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである</p> <p>「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ビット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
電気盤	3AC, 3BD計装用後備分電盤 (31BD-AC, BD)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス (322-1000)	0-001-01	炉心スプレイス	0.575	①②	制御用空気系	A-制御用空気Cヘッダ供給弁 (3V-1A-501A)	3RB-H-N2	原子炉建屋	0.50	0.80	基本	⑥	
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機コントロールセンタ (3GCC-A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	10.24	0.24	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス (322-1000)	0-001-10	炉心スプレイス	0.433	①④	制御用空気系	B-制御用空気Cヘッダ供給弁 (3V-1A-501B)	3RB-H-N2	原子炉建屋	0.50	0.80	基本	⑥	
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル機関	原子炉周辺建屋	3.5 (本体は10.0)	3.91	0.41	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス (322-1000)	0-001-10	炉心スプレイス	0.433	①④	制御用空気系	A-制御用空気主蒸気逃がし弁供給弁 (3V-1A-505A)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.50	0.77	基本	⑥	
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機	原子炉周辺建屋	3.5 (本体は10.0)	3.84	0.34	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス (322-1000)	0-001-10	炉心スプレイス	0.433	①④	開連設備	A-制御用空気圧縮機 (31APA)	3RB-H-N2	原子炉建屋	0.30	0.30	基本	⑥	
非常用電源系	3A, 3Bディーゼル発電機制御盤 (3DGC-A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	10.10	0.10	高圧炉心スプレイス	高圧炉心スプレイス (322-1000)	0-001-10	炉心スプレイス	0.433	①④	開連設備	B-制御用空気圧縮機 (31APB)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.30	0.30	基本	⑥	
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイス冷却器	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	注5 取水注入系	注5 取水注入系ポンプ (31A-5000A)	0-001-01	炉心スプレイス	0.125	②	開連設備	A-制御用空気圧縮機容量調節盤 (31APFA)	3RB-H-N2	原子炉建屋	0.80	0.79	個別	⑥	
格納容器スプレイス	3よう素除去薬品タンク	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	注5 取水注入系	注5 取水注入系ポンプ (31A-5000B)	0-001-01	炉心スプレイス	0.125	②	開連設備	B-制御用空気圧縮機容量調節盤 (31APFB)	3RB-H-N3	原子炉建屋	0.80	0.80	基本	⑥	
格納容器スプレイス	3格納容器圧力 (広域) I, II, III, IV	原子炉周辺建屋	17.1	22.08	4.98	注5 取水注入系	注5 取水注入系ポンプ (31A-5000C)	0-001-01	炉心スプレイス	0.125	②	新御用空気系	A-制御用空気C/V外側隔離弁 (3V-1A-510A)	3RB-F-2	原子炉建屋	0.75	0.75	基本	⑤⑥	
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイスポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.31	0.81	注5 取水注入系	注5 取水注入系ポンプ (31A-5000D)	0-001-01	炉心スプレイス	0.125	②	<p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ</p> <p>※2：没水により機能喪失する床面からの高さ</p> <p>①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能</p> <p>⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能</p>								
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイスポンプ現場操作箱 (31B-18, 19)	原子炉周辺建屋	3.5	4.70	1.20	注5 取水注入系	注5 取水注入系ポンプ (31A-5000E)	0-001-01	炉心スプレイス	0.125	②									
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイスポンプ燃料取替用水ビット側入口止め弁 (3V-CP-001A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.95	1.95	注5 取水注入系	注5 取水注入系ポンプ (31A-5000F)	0-001-01	炉心スプレイス	0.125	②									
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイスポンプ再循環サンプリング側入口格納容器隔離弁 (3V-CP-003A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	12.08	2.08	注5 取水注入系	注5 取水注入系ポンプ (31A-5000G)	0-001-01	炉心スプレイス	0.125	②									
格納容器スプレイス	3A, 3B格納容器スプレイスヘッダ冷却器出口格納容器隔離弁 (3V-CP-024A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	18.97	1.87	注5 取水注入系	注5 取水注入系ポンプ (31A-5000H)	0-001-01	炉心スプレイス	0.125	②									
格納容器スプレイス	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第1止め弁 (3V-CP-054A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.65	0.55	注5 取水注入系	注5 取水注入系ポンプ (31A-5000I)	0-001-01	炉心スプレイス	0.125	②									
格納容器スプレイス	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第2止め弁 (3V-CP-056A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.65	0.55	注5 取水注入系	注5 取水注入系ポンプ (31A-5000J)	0-001-01	炉心スプレイス	0.125	②									
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.00	0.50	注5 取水注入系	注5 取水注入系ポンプ (31A-5000K)	0-001-01	炉心スプレイス	0.125	②									
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ現場操作箱 (31B-12, 13)	原子炉周辺建屋	3.5	4.70	1.20	注5 取水注入系	注5 取水注入系ポンプ (31A-5000L)	0-001-01	炉心スプレイス	0.125	②									
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット側入口弁 (3V-SI-002A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.93	1.93	注5 取水注入系	注5 取水注入系ポンプ (31A-5000M)	0-001-01	炉心スプレイス	0.125	②									
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁 (3V-SI-015A, B)	原子炉周辺建屋	6.6	7.38	0.78	注5 取水注入系	注5 取水注入系ポンプ (31A-5000N)	0-001-01	炉心スプレイス	0.125	②									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由							
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(6/9)				表1 防護対象設備一覧 (6/27)				表1 防護対象設備一覧 (6/35)				<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである</p> <p>「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>							
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ* E.L. + [m]	床上[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L.† [m]	機能* 地上[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ* 高さ* (m)	個別測定高さ* 高さ* (m)	設定箇所	安全機能
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第2止弁 (3V-SI-016A, B)	原子炉周辺建屋	6.6	7.38	0.78	ほう水注入系	ほう水注入系 (B) 標準操作箱 (3D-7000)	0-2F-0-0	原子炉建屋	1.000	◎	制御用空気系	B-制御用空気C/V外側隔離弁 (3V-IA-510B)	3EB-F-2	原子炉建屋	0.75	6.75	基本	◎⑤
安全注入系	3A, 3B高圧注入ポンプ格納容器再循環サンプル側入口格納容器隔離弁 (3V-SI-093A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.82	1.82	原子炉格納容器隔離弁	3A, 3B高圧注入系第二隔離弁 (3I-1100)	0-4F-0-0	原子炉建屋	9.070	◎	原子炉補機冷却水系	A-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCPIA)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.80	2.87	基本	◎
安全注入系	3A, 3B熱除去ポンプRWSピット及び再循環サンプル側入口弁 (3V-SI-096A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.93	1.93	原子炉格納容器隔離弁	3B, 3C高圧注入系第二隔離弁 (3I-1100)	0-4F-0-0	原子炉建屋	11.216	◎	原子炉補機冷却水系	B-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCPIB)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.80	2.87	基本	◎
安全注入系	3A高圧注入流量 (I), 3B高圧注入流量 (II)	原子炉周辺建屋	10.0	11.10	1.10	原子炉格納容器隔離弁	3C高圧注入系第二隔離弁 (3I-1100)	0-4F-0-0	原子炉建屋	9.903	◎	原子炉補機冷却水系	C-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCPIC)	3EB-K-N1	原子炉建屋	2.80	2.88	基本	◎
安全注入系	3燃料取替用水ピット水位 I, II, III, IV (3LT-1400, 1401, 1402, 1403)	原子炉周辺建屋	17.1	18.18	1.08	原子炉格納容器隔離弁	3C高圧注入系第二隔離弁 (3I-1100)	0-4F-0-0	原子炉建屋	9.904	◎	原子炉補機冷却水系	D-原子炉補機冷却水ポンプ (3CCPID)	3EB-K-N1	原子炉建屋	2.80	2.87	基本	◎
安全注入系、燃料取替用水系	3燃料取替用水ピット	原子炉周辺建屋	18.5	-	-	燃料取替用水処理系	燃料取替用水処理系標準機 (A) (3B-5000A)	0-2F-0-0	原子炉建屋	9.600	◎	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水戻り母管A側連絡弁 (3V-CC-044A)	3EB-K-N4	原子炉建屋	1.30	2.65	基本	◎
燃料取替用水系	3A, 3B燃料取替用水ポンプ	原子炉周辺建屋	17.1	17.57	0.47	燃料取替用水処理系	燃料取替用水処理系標準機 (B) (3B-5000B)	0-2F-0-0	原子炉建屋	9.605	◎	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水戻り母管B側連絡弁 (3V-CC-044B)	3EB-K-N1	原子炉建屋	1.30	2.66	基本	◎
燃料取替用水系	3A, 3B燃料取替用水ポンプ現場操作箱 (3LB-33, 34)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	燃料取替用水処理系	燃料取替用水処理系標準機 (C) (3B-5000C)	0-2F-0-0	原子炉建屋	9.140	◎	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水供給母管A側連絡弁 (3V-CC-055A)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.65	3.99	基本	◎
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B使用済燃料ピット冷却器	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	燃料取替用水処理系	燃料取替用水処理系標準機 (D) 入口弁 (3B-5000D)	0-2F-0-0	原子炉建屋	9.135	◎	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水供給母管B側連絡弁 (3V-CC-055B)	3EB-K-N1	原子炉建屋	2.65	4.00	基本	◎
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B使用済燃料ピット冷却器	原子炉周辺建屋	33.6	-	-	燃料取替用水処理系	燃料取替用水処理系標準機 (E) 入口弁 (3B-5000E)	0-2F-0-0	原子炉建屋	1.230	◎	原子炉補機冷却水系	原子炉補機冷却水供給母管D側連絡弁 (3V-CC-055D)	3EB-K-N1	原子炉建屋	2.65	4.00	基本	◎
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B使用済燃料ピットポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.71	0.71	燃料取替用水処理系	燃料取替用水処理系標準機 (F) 入口弁 (3B-5000F)	0-2F-0-0	原子炉建屋	1.230	◎	主蒸気系	I, II, III, IV, 3A, 3B, 3C, 3D主蒸気圧力 (3PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498)	原子炉周辺建屋	29.0	30.00	1.00		
燃料ピット冷却浄化系	3A, 3B使用済燃料ピットポンプ現場操作箱 (3LB-24, 25)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20	燃料取替用水処理系	燃料取替用水処理系標準機 (G) 入口弁 (3B-5000G)	0-2F-0-0	原子炉建屋	2.420	◎	主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気遠がし弁 (3PCV-3610, 3620, 3630, 3640)	原子炉周辺建屋	26.0	37.37	11.37		
主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気遠がし弁 (3PCV-3610, 3620, 3630, 3640)	原子炉周辺建屋	26.0	37.37	11.37	燃料取替用水処理系	燃料取替用水処理系標準機 (H) 入口弁 (3B-5000H)	0-2F-0-0	原子炉建屋	1.845	◎	主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁 (3V-MS-533A, B, C, D)	原子炉周辺建屋	33.6	36.78	3.18		
主蒸気系	I, II, III, IV, 3A, 3B, 3C, 3D主蒸気圧力 (3PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498)	原子炉周辺建屋	29.0	30.00	1.00	燃料取替用水処理系	燃料取替用水処理系標準機 (I) 入口弁 (3B-5000I)	0-2F-0-0	原子炉建屋	1.445	◎	主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁 (3V-MS-533A, B, C, D付属バルブ)	原子炉周辺建屋	29.0	29.52	0.52		
主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁 (3V-MS-533A, B, C, D)	原子炉周辺建屋	33.6	36.78	3.18	燃料取替用水処理系	燃料取替用水処理系標準機 (J) 入口弁 (3B-5000J)	0-2F-0-0	原子炉建屋	1.495	◎	冷水系	3A, 3B, 3C, 3D空調用冷凍機	制御建屋	10.0	10.59	0.59		
主蒸気系	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁 (3V-MS-533A, B, C, D付属バルブ)	原子炉周辺建屋	29.0	29.52	0.52	燃料取替用水処理系	燃料取替用水処理系標準機 (K) 入口弁 (3B-5000K)	0-2F-0-0	原子炉建屋	1.475	◎	冷水系	3A, 3B, 3C, 3D空調用冷水ポンプ	制御建屋	10.0	10.54	0.54		
冷水系	3A, 3B, 3C, 3D空調用冷水ポンプ	制御建屋	10.0	10.59	0.59	燃料取替用水処理系	燃料取替用水処理系標準機 (L) 入口弁 (3B-5000L)	0-2F-0-0	原子炉建屋	1.245	◎	冷水系	3A, 3B, 3C, 3D空調用冷水ポンプ現場操作箱 (3LB-102, 104, 105, 106)	制御建屋	10.0	11.20	1.20		
冷水系	3A, 3B, 3C, 3D空調用冷水ポンプ現場操作箱 (3LB-102, 104, 105, 106)	制御建屋	10.0	11.20	1.20	燃料取替用水処理系	燃料取替用水処理系標準機 (M) 入口弁 (3B-5000M)	0-2F-0-0	原子炉建屋	1.250	◎								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由																																																																																																																																																																																																									
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(7/9)						表1 防護対象設備一覧 (7/27)						表1 防護対象設備一覧 (7/35)						<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>																																																																																																																																																																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設置建屋</th> <th>設置高さ E.L. + [m]</th> <th>機能喪失高さ[※] E.L. + [m]</th> <th>床上[m]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷水系</td> <td>3空調用冷水Nヘッダ供給、戻りライン止め弁 (3V-CH-032, 033)</td> <td>制御建屋</td> <td>10.0</td> <td>11.21</td> <td>1.21</td> </tr> <tr> <td>冷水系</td> <td>3A, 3B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2878, 2879)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.32</td> <td>1.22</td> </tr> <tr> <td>冷水系</td> <td>34C, 34D安全補機開閉器室空調ユニット冷水温度制御弁 (34TCV-2800, 2801)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.58</td> <td>1.48</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3換気空調機 (3VB)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>21.97</td> <td>0.17</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室空調ファン</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.35</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室空調ファン現場操作箱 (3LB-101, 102)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.30</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室空調ファン出口ダンパ (3D-VS-603A, B)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>30.03</td> <td>3.93</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室空調ファン出口流量 (3FS-2910, 2911)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.42</td> <td>1.32</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3中央制御室温度 (1), (2) (3TS-2908, 2909)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>23.21</td> <td>1.41</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室循環ファン</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>26.34</td> <td>0.24</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室循環ファン現場操作箱 (3LB-95, 96)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.30</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604A, B)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.53</td> <td>1.43</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室循環流量調節ダンパ (3HCD-2885, 2886)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.52</td> <td>1.42</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B中央制御室循環ダンパ流量設定 (3HC-2885, 2886)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.85</td> <td>1.75</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>34A, 34B安全補機開閉器室空調ファン</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.88</td> <td>1.78</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.88</td> <td>1.78</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>34A, 34B, 34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン現場操作箱 (34LE-13, 14, 20, 21)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>27.33</td> <td>1.23</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3安全系電気盤室給気止めダンパA, B (3D-VS-532, 533)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>29.36</td> <td>3.26</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3安全系電気盤室排気止めダンパA (3D-VS-536)</td> <td>制御建屋</td> <td>28.7</td> <td>30.96</td> <td>2.26</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3安全系電気盤室排気止めダンパB (3D-VS-537)</td> <td>制御建屋</td> <td>26.1</td> <td>29.50</td> <td>3.40</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B安全補機開閉器室温度 (3TS-2817, 2818)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>17.20</td> <td>1.40</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン</td> <td>原子炉周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>17.40</td> <td>0.30</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]	冷水系	3空調用冷水Nヘッダ供給、戻りライン止め弁 (3V-CH-032, 033)	制御建屋	10.0	11.21	1.21	冷水系	3A, 3B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2878, 2879)	制御建屋	26.1	27.32		1.22	冷水系	34C, 34D安全補機開閉器室空調ユニット冷水温度制御弁 (34TCV-2800, 2801)	制御建屋	26.1	27.58	1.48	換気空調系	3換気空調機 (3VB)	制御建屋	21.8	21.97	0.17	換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン	制御建屋	26.1	27.35	1.25	換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン現場操作箱 (3LB-101, 102)	制御建屋	26.1	27.30	1.20	換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン出口ダンパ (3D-VS-603A, B)	制御建屋	26.1	30.03	3.93	換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン出口流量 (3FS-2910, 2911)	制御建屋	26.1	27.42	1.32	換気空調系	3中央制御室温度 (1), (2) (3TS-2908, 2909)	制御建屋	21.8	23.21	1.41	換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン	制御建屋	26.1	26.34	0.24	換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン現場操作箱 (3LB-95, 96)	制御建屋	26.1	27.30	1.20	換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604A, B)	制御建屋	26.1	27.53	1.43	換気空調系	3A, 3B中央制御室循環流量調節ダンパ (3HCD-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.52	1.42	換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ダンパ流量設定 (3HC-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.85	1.75	換気空調系	34A, 34B安全補機開閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78	換気空調系	34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78	換気空調系	34A, 34B, 34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン現場操作箱 (34LE-13, 14, 20, 21)	制御建屋	26.1	27.33	1.23	換気空調系	3安全系電気盤室給気止めダンパA, B (3D-VS-532, 533)	制御建屋	26.1	29.36	3.26	換気空調系	3安全系電気盤室排気止めダンパA (3D-VS-536)	制御建屋	28.7	30.96	2.26	換気空調系	3安全系電気盤室排気止めダンパB (3D-VS-537)	制御建屋	26.1	29.50	3.40	換気空調系	3A, 3B安全補機開閉器室温度 (3TS-2817, 2818)	制御建屋	15.8	17.20	1.40	換気空調系	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.40	0.30	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1} (m)</th> <th>個別測定高さ^{※2} (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>A-余熱除去冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-117A)</td> <td>3AB-K-4</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.60</td> <td>1.28</td> <td>基本</td> <td>③④</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>B-余熱除去冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-117B)</td> <td>3AB-K-4</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.60</td> <td>1.29</td> <td>基本</td> <td>③④</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>A-格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-177A)</td> <td>3AB-K-4</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.60</td> <td>1.27</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>B-格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-177B)</td> <td>3AB-K-4</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.60</td> <td>1.30</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>A-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁 (3V-CC-151A)</td> <td>3BB-H-4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.55</td> <td>1.10</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>B-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁 (3V-CC-151B)</td> <td>3BB-H-4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.55</td> <td>1.10</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>A-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-159A)</td> <td>3BB-H-4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.55</td> <td>1.10</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>B-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-159B)</td> <td>3BB-H-4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.55</td> <td>1.10</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系</td> <td>BA, WD及びLDコバが補機冷却水戻りライン第1止め弁 (3V-CC-351)</td> <td>3AB-F-1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.62</td> <td>1.02</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ</p> <p>①緊急停止機能 ②緊急降圧機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④原子炉冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能</p> <p>⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	原子炉補機冷却水系	A-余熱除去冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-117A)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	0.60	1.28	基本	③④	原子炉補機冷却水系	B-余熱除去冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-117B)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	0.60	1.29	基本	③④	原子炉補機冷却水系	A-格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-177A)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	0.60	1.27	基本	⑤	原子炉補機冷却水系	B-格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-177B)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	0.60	1.30	基本	⑤	原子炉補機冷却水系	A-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁 (3V-CC-151A)	3BB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥	原子炉補機冷却水系	B-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁 (3V-CC-151B)	3BB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥	原子炉補機冷却水系	A-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-159A)	3BB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥	原子炉補機冷却水系	B-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-159B)	3BB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥	原子炉補機冷却水系	BA, WD及びLDコバが補機冷却水戻りライン第1止め弁 (3V-CC-351)	3AB-F-1	原子炉補助建屋	0.62	1.02	基本
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]																																																																																																																																																																																																																						
冷水系	3空調用冷水Nヘッダ供給、戻りライン止め弁 (3V-CH-032, 033)	制御建屋	10.0	11.21	1.21																																																																																																																																																																																																																						
冷水系	3A, 3B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2878, 2879)	制御建屋	26.1	27.32	1.22																																																																																																																																																																																																																						
冷水系	34C, 34D安全補機開閉器室空調ユニット冷水温度制御弁 (34TCV-2800, 2801)	制御建屋	26.1	27.58	1.48																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系	3換気空調機 (3VB)	制御建屋	21.8	21.97	0.17																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン	制御建屋	26.1	27.35	1.25																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン現場操作箱 (3LB-101, 102)	制御建屋	26.1	27.30	1.20																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン出口ダンパ (3D-VS-603A, B)	制御建屋	26.1	30.03	3.93																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系	3A, 3B中央制御室空調ファン出口流量 (3FS-2910, 2911)	制御建屋	26.1	27.42	1.32																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系	3中央制御室温度 (1), (2) (3TS-2908, 2909)	制御建屋	21.8	23.21	1.41																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン	制御建屋	26.1	26.34	0.24																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン現場操作箱 (3LB-95, 96)	制御建屋	26.1	27.30	1.20																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ファン入口ダンパ (3D-VS-604A, B)	制御建屋	26.1	27.53	1.43																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環流量調節ダンパ (3HCD-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.52	1.42																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系	3A, 3B中央制御室循環ダンパ流量設定 (3HC-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.85	1.75																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系	34A, 34B安全補機開閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系	34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系	34A, 34B, 34C, 34D安全補機開閉器室空調ファン現場操作箱 (34LE-13, 14, 20, 21)	制御建屋	26.1	27.33	1.23																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系	3安全系電気盤室給気止めダンパA, B (3D-VS-532, 533)	制御建屋	26.1	29.36	3.26																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系	3安全系電気盤室排気止めダンパA (3D-VS-536)	制御建屋	28.7	30.96	2.26																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系	3安全系電気盤室排気止めダンパB (3D-VS-537)	制御建屋	26.1	29.50	3.40																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系	3A, 3B安全補機開閉器室温度 (3TS-2817, 2818)	制御建屋	15.8	17.20	1.40																																																																																																																																																																																																																						
換気空調系	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.40	0.30																																																																																																																																																																																																																						
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																				
原子炉補機冷却水系	A-余熱除去冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-117A)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	0.60	1.28	基本	③④																																																																																																																																																																																																																				
原子炉補機冷却水系	B-余熱除去冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-117B)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	0.60	1.29	基本	③④																																																																																																																																																																																																																				
原子炉補機冷却水系	A-格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-177A)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	0.60	1.27	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																				
原子炉補機冷却水系	B-格納容器スプレイ冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-177B)	3AB-K-4	原子炉補助建屋	0.60	1.30	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																				
原子炉補機冷却水系	A-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁 (3V-CC-151A)	3BB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																				
原子炉補機冷却水系	B-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水入口弁 (3V-CC-151B)	3BB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																				
原子炉補機冷却水系	A-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-159A)	3BB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																				
原子炉補機冷却水系	B-使用済燃料ピット冷却器補機冷却水出口弁 (3V-CC-159B)	3BB-H-4	原子炉建屋	0.55	1.10	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																				
原子炉補機冷却水系	BA, WD及びLDコバが補機冷却水戻りライン第1止め弁 (3V-CC-351)	3AB-F-1	原子炉補助建屋	0.62	1.02	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由	
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(8/9)						表1 防護対象設備一覧 (8/27)						表1 防護対象設備一覧 (8/35)						【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違	
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]		系統	設備	設置番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}	系統	設備	区分番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能
換気空調系	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン現場操作箱 (3LB-90, 91)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVプロセッサ (A) 入口流量制御装置 (3LB-970040)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉室	9.115	⑤	原子炉 補機冷却 水系	BA, WD及びD.E.エア補機冷却水戻りライン第2止め弁 (3V-CC-352)	3AB-F-1	原子炉補助建屋	0.62	1.01	基本	⑥
換気空調系	3制御用空気圧縮機室排気ダンパA, B (3D-VS-431A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	21.65	4.55	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCVプロセッサ (A) 入口流量制御装置 (3LB-970040)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉室	9.115	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク水位 (III) (3LT-1200)	3EB-A-N2	原子炉建屋	1.03	1.02	個別	⑥
換気空調系	3制御用空気圧縮機室温度 (1), (2), (3), (4) (3TS-2771, 2772, 2773, 2774)	原子炉周辺建屋	17.1	18.50	1.40	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV制御系 (A) 内部ゾナ温度監視電対 (3LB-970041-2)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉室	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク水位 (IV) (3LT-1201)	3EB-A-N2	原子炉建屋	1.03	1.00	個別	⑥
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.43	0.33	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV制御系 (A) 内部ゾナ温度監視電対 (3LB-970041-1)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉室	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク水位 (IV) (3LT-1201)	3EB-A-N2	原子炉建屋	1.03	1.00	個別	⑥
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン現場操作箱 (3LB-86, 87)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV制御系 (A) 内部ゾナ温度監視電対 (3LB-970041-2)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉室	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	A, B-C/V再循環ユニット補機冷却水入口C/V外側隔離弁 (3V-CC-203A)	3EB-D-2	原子炉建屋	1.00	1.18	基本	⑤
換気空調系	3電動補助給水ポンプ室排気ダンパA, B (3D-VS-411A, B)	原子炉周辺建屋	21.3	23.30	2.00	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV制御系 (A) 内部ゾナ温度監視電対 (3LB-970041-1)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉室	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	C, D-C/V再循環ユニット補機冷却水入口C/V外側隔離弁 (3V-CC-203B)	3EB-D-3	原子炉建屋	1.20	1.39	基本	⑤
換気空調系	3A, 3B電動補助給水ポンプ室温度 (1), (2) (3TS-2741, 2742, 2743, 2744)	原子炉周辺建屋	10.0	11.40	1.40	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV制御系 (A) 内部ゾナ温度監視電対 (3LB-970041-2)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉室	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク水位 (IV) (3LT-1201)	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.00	基本	⑤
換気空調系	3A1, 3A2, 3B1, 3B2ディーゼルの発電機室給気ファン	原子炉周辺建屋	33.6	33.91	0.31	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV再給水 (A) 内部ゾナ温度監視電対 (3LB-970041-1)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉室	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	原子炉補機冷却水サージタンク水位 (IV) (3LT-1201)	3EB-D-2	原子炉建屋	3.94	4.00	基本	⑤
換気空調系	3A1-A2, 3B1-B2ディーゼルの発電機室給気ファン現場操作箱 (3LB-84, 85)	原子炉周辺建屋	33.6	34.82	1.22	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV再給水 (A) 内部ゾナ温度監視電対 (3LB-970041-2)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉室	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	B-C/V再循環ユニット補機冷却水出口C/V外側隔離弁 (3V-CC-208B)	3EB-D-2	原子炉建屋	3.94	4.00	基本	⑤
換気空調系	3ディーゼルの発電機室排気ダンパA1, A2, B1, B2 (3D-VS-401A, B, 403A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	13.59	3.59	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV再給水 (A) 内部ゾナ温度監視電対 (3LB-970041-1)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉室	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	D-C/V再循環ユニット補機冷却水出口C/V外側隔離弁 (3V-CC-208D)	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤
換気空調系	3A, 3Bディーゼルの発電機室温度 (1), (2), (3), (4) (3TS-2701, 2702, 2703, 2704, 2711, 2712, 2713, 2714)	原子炉周辺建屋	10.0	11.18	1.18	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV再給水 (A) 内部ゾナ温度監視電対 (3LB-970041-2)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉室	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：設水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②緊急停止機能 ③緊急停止機能 ④緊急停止機能 ⑤緊急停止機能 ⑥緊急停止機能 ⑦緊急停止機能 ⑧緊急停止機能 ⑨緊急停止機能 ⑩緊急停止機能	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.00	基本	⑤
換気空調系	3A, 3B安全補機室冷却ファン	原子炉周辺建屋	17.1	17.93	0.83	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV再給水 (A) 内部ゾナ温度監視電対 (3LB-970041-1)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉室	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：設水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②緊急停止機能 ③緊急停止機能 ④緊急停止機能 ⑤緊急停止機能 ⑥緊急停止機能 ⑦緊急停止機能 ⑧緊急停止機能 ⑨緊急停止機能 ⑩緊急停止機能	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤
換気空調系	3A, 3B安全補機室温度 (1), (2) (3TS-2680, 2681, 2690, 2691)	原子炉周辺建屋	10.0	11.28	1.28	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV再給水 (A) 内部ゾナ温度監視電対 (3LB-970041-2)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉室	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：設水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②緊急停止機能 ③緊急停止機能 ④緊急停止機能 ⑤緊急停止機能 ⑥緊急停止機能 ⑦緊急停止機能 ⑧緊急停止機能 ⑨緊急停止機能 ⑩緊急停止機能	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤
換気空調系	3A, 3B安全補機室排気ダンパ (3D-VS-105A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	22.61	5.51	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV再給水 (A) 内部ゾナ温度監視電対 (3LB-970041-1)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉室	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：設水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②緊急停止機能 ③緊急停止機能 ④緊急停止機能 ⑤緊急停止機能 ⑥緊急停止機能 ⑦緊急停止機能 ⑧緊急停止機能 ⑨緊急停止機能 ⑩緊急停止機能	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン	原子炉周辺建屋	10.0	10.59	0.59	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV再給水 (A) 内部ゾナ温度監視電対 (3LB-970041-2)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉室	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：設水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②緊急停止機能 ③緊急停止機能 ④緊急停止機能 ⑤緊急停止機能 ⑥緊急停止機能 ⑦緊急停止機能 ⑧緊急停止機能 ⑨緊急停止機能 ⑩緊急停止機能	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン現場操作箱 (3LB-77, 78)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV再給水 (A) 内部ゾナ温度監視電対 (3LB-970041-1)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉室	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：設水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②緊急停止機能 ③緊急停止機能 ④緊急停止機能 ⑤緊急停止機能 ⑥緊急停止機能 ⑦緊急停止機能 ⑧緊急停止機能 ⑨緊急停止機能 ⑩緊急停止機能	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室空調ファン給気加熱コイル	原子炉周辺建屋	10.0	10.46	0.46	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV再給水 (A) 内部ゾナ温度監視電対 (3LB-970041-2)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉室	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：設水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②緊急停止機能 ③緊急停止機能 ④緊急停止機能 ⑤緊急停止機能 ⑥緊急停止機能 ⑦緊急停止機能 ⑧緊急停止機能 ⑨緊急停止機能 ⑩緊急停止機能	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤
換気空調系	3A, 3Bほう酸ポンプ室温度調節計 (3TC-2601, 2611)	原子炉周辺建屋	10.0	10.70	0.70	可憐性ゾナ濃度制御系 (A)	PCV再給水 (A) 内部ゾナ温度監視電対 (3LB-970041-1)	0-2P-2-0	原子炉建屋 原子炉室	9.145	⑤	原子炉 補機冷却 水系	注1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ 注2：設水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②緊急停止機能 ③緊急停止機能 ④緊急停止機能 ⑤緊急停止機能 ⑥緊急停止機能 ⑦緊急停止機能 ⑧緊急停止機能 ⑨緊急停止機能 ⑩緊急停止機能	3EB-D-3	原子炉建屋	3.94	4.04	基本	⑤

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由										
3号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く） (9/9)			表1 防護対象設備一覧 (9/27)			表1 防護対象設備一覧 (9/35)			【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違										
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床高[m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. [※] [m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ [※] 高さ [※] (m)	個別測定高さ [※] 高さ [※] (m)	設定箇所	安全機能
換気空調系	3号炉酸タンク室温度(1),(2),(3),(4) (3TS-2602, 2603, 2612, 2613)	原子炉周辺建屋	10.0	11.29	1.29	可視性ガス濃度制御系(注)	PC2 3号炉内循環気体濃度制御系 (149-30300-6)	E-2F-2-3	原子炉建屋 原子炉棟	0.105	①	原子炉 補機冷却 水系統	余剰抽出冷却器等補機冷却水 入口C/V外側隔離弁 (3Y-CC-422)	3BE-E-1	原子炉建屋	1.38	1.45	基本	⑤
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン	制御建屋	29.3	29.90	0.60	可視性ガス濃度制御系(注)	PC3 3号炉入口ガス流量制御系 (149-30300-3)	E-2F-2-3	原子炉建屋 原子炉棟	0.105	①	原子炉 補機冷却 水系統	余剰抽出冷却器等補機冷却水 出口C/V外側隔離弁 (3Y-CC-430)	3BE-E-1	原子炉建屋	0.88	0.90	基本	⑤
換気空調系	3A, B中央制御室非常用循環ファン現場操作箱 (3LB-97, 98)	制御建屋	29.3	30.50	1.20	可視性ガス濃度制御系(注)	PC2 3号炉入口ガス温度監視系 (149-30300-5)	E-2F-2-3	原子炉建屋 原子炉棟	0.105	①	原子炉 補機冷却 水系統	1次冷却材ポンプ補機冷却水 入口止め弁 (3Y-CC-501)	3BE-E-1	原子炉建屋	1.12	1.27	基本	⑥
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (3D-VS-602A, B)	制御建屋	29.3	29.66	0.36	可視性ガス濃度制御系(注)	PC3 3号炉内ガス温度監視系 (149-30300-2)	E-2F-2-3	原子炉建屋 原子炉棟	0.145	①	原子炉 補機冷却 水系統	1次冷却材ポンプ補機冷却水 出口C/V外側隔離弁 (3Y-CC-503)	3BE-E-1	原子炉建屋	1.12	1.28	基本	⑤
換気空調系	3A, 3B中央制御室外気取入流量調節ダンパ (3HC-D-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.76	1.46	可視性ガス濃度制御系(注)	PC3 3号炉内ガス温度監視系 (149-30300-1)	E-2F-2-3	原子炉建屋 原子炉棟	0.145	①	原子炉 補機冷却 水系統	1次冷却材ポンプ補機冷却水 出口C/V外側隔離弁 (3Y-CC-525)	3BE-E-1	原子炉建屋	1.12	1.25	基本	⑤
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ (3HC-D-2889, 2890)	制御建屋	29.3	29.67	0.37	可視性ガス濃度制御系(注)	PC3 3号炉内多相流監視系 (149-30300-4)	E-2F-2-3	原子炉建屋 原子炉棟	0.145	①	関連設備	A-光電器盤 (3CFA)	3AB-II-36	原子炉補助 建屋	0.10	0.10	個別	⑤
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時前環流量調節ダンパ (3HC-D-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.29	1.99	可視性ガス濃度制御系(注)	PC3 3号炉内多相流監視系 (149-30300-2)	E-2F-2-3	原子炉建屋 原子炉棟	0.145	①	関連設備	B-光電器盤 (3CFB)	3AB-II-N1	原子炉補助 建屋	0.10	0.10	個別	⑤
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常用循環ファン出口流量 (3FS-2904, 2905)	制御建屋	26.1	27.44	1.34	可視性ガス濃度制御系(注)	PC3 3号炉内多相流監視系 (149-30300-4)	E-2F-2-3	原子炉建屋 原子炉棟	0.145	①	関連設備	運転コンソール (3MCE)	3AB-F-38	原子炉補助 建屋	0.20	0.20	基本	⑥
換気空調系	3A, 3B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定 (3HC-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.90	1.60	可視性ガス濃度制御系(注)	PC3 3号炉内ガス温度監視系 (149-30300-1)	E-2F-2-3	原子炉建屋 原子炉棟	0.105	①	関連設備	共通要因故障対策EP盤室操作盤 (3CMFLP)					⑥	
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時外気取入調節ダンパ流量設定 (3HC-2889, 2890)	制御建屋	29.3	30.49	1.19	可視性ガス濃度制御系(注)	PC3 3号炉内ガス温度監視系 (149-30300-2)	E-2F-2-3	原子炉建屋 原子炉棟	0.145	①	関連設備	A-共通要因故障対策操作盤 (3CMFA)	3AB-F-38	原子炉補助 建屋	0.37	0.33	個別	⑤
換気空調系	3A, 3B中央制御室事故時前環ダンパ流量設定 (3HC-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.45	2.15	事故時監視計器(注)	原子炉出力計 (3E1-37501A)	E-2F-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.620	⑤	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ ※3：安全停止機能 ①安全停止機能 ②緊急停止機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能							
換気空調系	3A, 3Bアンモニアス空気浄化ファン (3VSP9A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.47	0.57	事故時監視計器(注)	原子炉出力計 (3E1-37501B)	E-2F-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.615	⑤	※4：安全上特に重要な関連機能 ⑥緊急停止機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能							
換気空調系	3A, 3Bアンモニアス空気浄化ファン現場操作箱 (3LB-52, 53)	原子炉周辺建屋	20.9	22.10	1.20	事故時監視計器(注)	ドライアンモニア計 (149-37501A)	E-2F-2	原子炉建屋 原子炉棟	1.200	⑤	■ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。							
換気空調系	3A, 3Bアンモニアス排気ダンパ (3D-VS-101A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.37	0.47	事故時監視計器(注)	ドライアンモニア計 (149-37501B)	E-2F-2	原子炉建屋 原子炉棟	0.900	⑤								
換気空調系	3A, 3Bアンモニアス戻りダンパ (3D-VS-104A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	19.24	2.14	事故時監視計器(注)	電力監視用内圧力 (149-37501A)	E-2F-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.905	⑤								
換気空調系	3A, 3Bアンモニアス全量排気弁 (3Y-VS-102A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	22.97	2.07	事故時監視計器(注)	電力監視用内圧力 (149-37501B)	E-2F-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.910	⑤								
換気空調系	3A, 3Bアンモニアス少量排気弁 (3Y-VS-103A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	23.25	2.35	事故時監視計器(注)	原子炉水位(圧力検出)計 (3E2-43702A)	E-2F-1	原子炉建屋 原子炉棟	0.905	⑤								
※ 浸水しても機能喪失しない設備は、機能喪失高さを「-」とする。																		【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く） (1/9)						表1 防護対象設備一覧 (10/27)						表1 防護対象設備一覧 (10/35)						<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、相崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <p>安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設置建屋</th> <th>設置高さ E.L. + [m]</th> <th>機能喪失高さ[※] E.L. + [m]</th> <th>床上[m]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>補助給水系</td><td>4A, 4B電動補助給水ポンプ</td><td>原子炉 周辺建屋</td><td>10.0</td><td>10.60</td><td>0.60</td></tr> <tr><td>補助給水系</td><td>4タービン動補助給水ポンプ</td><td>原子炉 周辺建屋</td><td>3.5</td><td>4.16</td><td>0.66</td></tr> <tr><td>補助給水系</td><td>4タービン動補助給水ポンプ 起動弁A, B (4V-MS-570A, B)</td><td>原子炉 周辺建屋</td><td>33.6</td><td>34.75</td><td>1.15</td></tr> <tr><td>補助給水系</td><td>4タービン動補助給水ポンプ 起動弁A, B (4TDF-A, B)</td><td>原子炉 周辺建屋</td><td>10.0</td><td>10.26</td><td>0.26</td></tr> <tr><td>補助給水系</td><td>4A, 4B, 4C, 4D蒸気発生器補助 給水流量 (4FT-3716, 3726, 3736, 3746)</td><td>原子炉 周辺建屋</td><td>17.1</td><td>18.21</td><td>1.11</td></tr> <tr><td>補助給水系</td><td>4復水ビット水位Ⅲ, IV (4LT-3760, 3761)</td><td>原子炉 周辺建屋</td><td>26.0</td><td>26.45</td><td>0.45</td></tr> <tr><td>補助給水系</td><td>4復水ビット</td><td>原子炉 周辺建屋</td><td>26.0</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4A, 4B充てんポンプ</td><td>原子炉 周辺建屋</td><td>10.0</td><td>10.65</td><td>0.65</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4C充てんポンプ</td><td>原子炉 周辺建屋</td><td>10.0</td><td>10.29</td><td>0.29</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4C充てんポンプ速度制御盤 (4CSC)</td><td>原子炉 周辺建屋</td><td>10.0</td><td>11.00</td><td>1.00</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4C充てんポンプ速度制御補助 盤 (4CSAC)</td><td>原子炉 周辺建屋</td><td>10.0</td><td>10.80</td><td>0.80</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4A, 4B, 4C1, 4C2充てんポンプ 現場操作箱 (4LB-5, 6, 7, 8)</td><td>原子炉 周辺建屋</td><td>10.0</td><td>11.20</td><td>1.20</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4充てんポンプ入口燃料取替 用水ビット側補助弁A, B (4LCV-121D, E)</td><td>原子炉 周辺建屋</td><td>10.0</td><td>11.19</td><td>1.19</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4A, 4Bほう酸ポンプ</td><td>原子炉 周辺建屋</td><td>10.0</td><td>10.62</td><td>0.62</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4A, 4Bほう酸ポンプ現場操作 箱 (4LB-9, 10)</td><td>原子炉 周辺建屋</td><td>10.0</td><td>11.20</td><td>1.20</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4充てんライン止め弁 (4V-CS-155)</td><td>原子炉 周辺建屋</td><td>10.0</td><td>11.03</td><td>1.03</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4体積制御タンク出口第1止め 弁 (4LCV-121B)</td><td>原子炉 周辺建屋</td><td>17.1</td><td>18.26</td><td>1.16</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4体積制御タンク出口第2止め 弁 (4LCV-121C)</td><td>原子炉 周辺建屋</td><td>17.1</td><td>18.27</td><td>1.17</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4緊急ほう酸注入ライン補給 弁 (4V-CS-573)</td><td>原子炉 周辺建屋</td><td>17.1</td><td>21.57</td><td>4.47</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4充てんライン格納容器隔離 弁 (4V-CS-157)</td><td>原子炉 周辺建屋</td><td>17.1</td><td>22.14</td><td>5.04</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4-1次冷却材ポンプ封水戻り ライン格納容器第2隔離弁 (4V-CS-312)</td><td>原子炉 周辺建屋</td><td>17.1</td><td>22.00</td><td>4.90</td></tr> <tr><td>化学体積制御系</td><td>4封水冷却器</td><td>原子炉 周辺建屋</td><td>17.1</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]	補助給水系	4A, 4B電動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.60	0.60	補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.16		0.66	補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ 起動弁A, B (4V-MS-570A, B)	原子炉 周辺建屋	33.6	34.75	1.15	補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ 起動弁A, B (4TDF-A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.26	0.26	補助給水系	4A, 4B, 4C, 4D蒸気発生器補助 給水流量 (4FT-3716, 3726, 3736, 3746)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.21	1.11	補助給水系	4復水ビット水位Ⅲ, IV (4LT-3760, 3761)	原子炉 周辺建屋	26.0	26.45	0.45	補助給水系	4復水ビット	原子炉 周辺建屋	26.0	-	-	化学体積制御系	4A, 4B充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.65	0.65	化学体積制御系	4C充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.29	0.29	化学体積制御系	4C充てんポンプ速度制御盤 (4CSC)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.00	1.00	化学体積制御系	4C充てんポンプ速度制御補助 盤 (4CSAC)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.80	0.80	化学体積制御系	4A, 4B, 4C1, 4C2充てんポンプ 現場操作箱 (4LB-5, 6, 7, 8)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	化学体積制御系	4充てんポンプ入口燃料取替 用水ビット側補助弁A, B (4LCV-121D, E)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.19	1.19	化学体積制御系	4A, 4Bほう酸ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.62	0.62	化学体積制御系	4A, 4Bほう酸ポンプ現場操作 箱 (4LB-9, 10)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20	化学体積制御系	4充てんライン止め弁 (4V-CS-155)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.03	1.03	化学体積制御系	4体積制御タンク出口第1止め 弁 (4LCV-121B)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.26	1.16	化学体積制御系	4体積制御タンク出口第2止め 弁 (4LCV-121C)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.27	1.17	化学体積制御系	4緊急ほう酸注入ライン補給 弁 (4V-CS-573)	原子炉 周辺建屋	17.1	21.57	4.47	化学体積制御系	4充てんライン格納容器隔離 弁 (4V-CS-157)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.14	5.04	化学体積制御系	4-1次冷却材ポンプ封水戻り ライン格納容器第2隔離弁 (4V-CS-312)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.00	4.90	化学体積制御系	4封水冷却器	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>E.L.^{※1} [m]</th> <th>機能^{※2}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>緊急時監視計測 (EMD)</td><td>原子炉水没防止警報 (B) (SCS-4792B)</td><td>E-01P-1</td><td>原子炉建屋 原子炉</td><td>8.360</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時監視計測 (EMD)</td><td>KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904A)</td><td>E-02-2-5</td><td>原子炉建屋 原子炉</td><td>8.360</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時監視計測 (EMD)</td><td>KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904B)</td><td>E-02-2-6</td><td>原子炉建屋 原子炉</td><td>1.360</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時監視計測 (EMD)</td><td>KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904A)</td><td>E-02-2-5</td><td>原子炉建屋 原子炉</td><td>1.310</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時監視計測 (EMD)</td><td>KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904B)</td><td>E-02-2-6</td><td>原子炉建屋 原子炉</td><td>0.423</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時監視計測 (EMD)</td><td>KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904A)</td><td>E-02-2-5</td><td>原子炉建屋 原子炉</td><td>1.305</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時監視計測 (EMD)</td><td>KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904B)</td><td>E-02-2-6</td><td>原子炉建屋 原子炉</td><td>1.305</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時監視計測 (EMD)</td><td>KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904A)</td><td>E-02-2-5</td><td>原子炉建屋 原子炉</td><td>0.375</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時監視計測 (EMD)</td><td>KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904B)</td><td>E-02-2-6</td><td>原子炉建屋 原子炉</td><td>0.403</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時監視計測 (EMD)</td><td>KAM監視系 (PASS動作 (バイパス)) (SCS-4911)</td><td>E-02-2-5</td><td>原子炉建屋 原子炉</td><td>2.003</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時監視計測 (EMD)</td><td>KAM監視系 (PASS動作 (入口止め)) (SCS-4912)</td><td>E-02-2-5</td><td>原子炉建屋 原子炉</td><td>2.105</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時監視計測 (EMD)</td><td>KAM監視系 (PASS動作 (入口止め)) (SCS-4913)</td><td>E-02-2-5</td><td>原子炉建屋 原子炉</td><td>2.206</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時監視計測 (EMD)</td><td>KAM監視系 (PASS動作 (戻り止め)) (SCS-4914)</td><td>E-02-2-5</td><td>原子炉建屋 原子炉</td><td>2.406</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時監視計測 (EMD)</td><td>KAM監視系 (PASS動作 (戻り止め)) (SCS-4915)</td><td>E-02-2-5</td><td>原子炉建屋 原子炉</td><td>2.406</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時監視計測 (EMD)</td><td>KAM監視系 (A) (A) (SCS-4811, B&C)</td><td>E-02-2-5</td><td>原子炉建屋 原子炉</td><td>0.940</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時監視計測 (EMD)</td><td>KAM監視系 (A) (A) (SCS-4811, B&C)</td><td>E-02-2-5</td><td>原子炉建屋 原子炉</td><td>0.900</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時監視計測 (EMD)</td><td>KAM監視系 (A) (A) (SCS-4811, B&C)</td><td>E-02P-2-1</td><td>原子炉建屋 原子炉</td><td>0.900</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時監視計測 (EMD)</td><td>KAM監視系 (A) (A) (SCS-4811, B&C)</td><td>E-01P-2-1</td><td>原子炉建屋 原子炉</td><td>0.300</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時監視計測 (EMD)</td><td>KAM監視系 (A) (A) (SCS-4811, B&C)</td><td>E-01P-2-5</td><td>原子炉建屋 原子炉</td><td>0.840</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時監視計測 (EMD)</td><td>KAM監視系 (A) (A) (SCS-4811, B&C)</td><td>E-02-10</td><td>原子炉建屋 原子炉</td><td>7.406</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時監視計測 (EMD)</td><td>KAM監視系 (A) (B) (SCS-4811, B&C)</td><td>E-02-2-6</td><td>原子炉建屋 原子炉</td><td>0.445</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時監視計測 (EMD)</td><td>KAM監視系 (A) (B) (SCS-4811, B&C)</td><td>E-02-2</td><td>原子炉建屋 原子炉</td><td>2.105</td><td>①</td></tr> <tr><td>緊急時監視計測 (EMD)</td><td>KAM監視系 (A) (B) (SCS-4811, B&C)</td><td>E-02-6</td><td>原子炉建屋 原子炉</td><td>0.533</td><td>①</td></tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}	緊急時監視計測 (EMD)	原子炉水没防止警報 (B) (SCS-4792B)	E-01P-1	原子炉建屋 原子炉	8.360	①	緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904A)	E-02-2-5	原子炉建屋 原子炉	8.360	①	緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904B)	E-02-2-6	原子炉建屋 原子炉	1.360	①	緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904A)	E-02-2-5	原子炉建屋 原子炉	1.310	①	緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904B)	E-02-2-6	原子炉建屋 原子炉	0.423	①	緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904A)	E-02-2-5	原子炉建屋 原子炉	1.305	①	緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904B)	E-02-2-6	原子炉建屋 原子炉	1.305	①	緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904A)	E-02-2-5	原子炉建屋 原子炉	0.375	①	緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904B)	E-02-2-6	原子炉建屋 原子炉	0.403	①	緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (PASS動作 (バイパス)) (SCS-4911)	E-02-2-5	原子炉建屋 原子炉	2.003	①	緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (PASS動作 (入口止め)) (SCS-4912)	E-02-2-5	原子炉建屋 原子炉	2.105	①	緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (PASS動作 (入口止め)) (SCS-4913)	E-02-2-5	原子炉建屋 原子炉	2.206	①	緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (PASS動作 (戻り止め)) (SCS-4914)	E-02-2-5	原子炉建屋 原子炉	2.406	①	緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (PASS動作 (戻り止め)) (SCS-4915)	E-02-2-5	原子炉建屋 原子炉	2.406	①	緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (A) (A) (SCS-4811, B&C)	E-02-2-5	原子炉建屋 原子炉	0.940	①	緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (A) (A) (SCS-4811, B&C)	E-02-2-5	原子炉建屋 原子炉	0.900	①	緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (A) (A) (SCS-4811, B&C)	E-02P-2-1	原子炉建屋 原子炉	0.900	①	緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (A) (A) (SCS-4811, B&C)	E-01P-2-1	原子炉建屋 原子炉	0.300	①	緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (A) (A) (SCS-4811, B&C)	E-01P-2-5	原子炉建屋 原子炉	0.840	①	緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (A) (A) (SCS-4811, B&C)	E-02-10	原子炉建屋 原子炉	7.406	①	緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (A) (B) (SCS-4811, B&C)	E-02-2-6	原子炉建屋 原子炉	0.445	①	緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (A) (B) (SCS-4811, B&C)	E-02-2	原子炉建屋 原子炉	2.105	①	緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (A) (B) (SCS-4811, B&C)	E-02-6	原子炉建屋 原子炉	0.533	①	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定 高さ^{※1} [m]</th> <th>個別測定 高さ^{※2} [m]</th> <th>設定 箇所</th> <th>安全 機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>関連設備</td><td>B-共通要因故障対策操作盤 (SCMFB)</td><td>3AB-F-N8</td><td>原子炉補助 建屋</td><td>0.37</td><td>0.33</td><td>個別</td><td>①</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>A-中央制御室外原子炉停止盤 (SEPA)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>②</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>B-中央制御室外原子炉停止盤 (SEPB)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>③</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>A-換気空調系集中現場盤 (SMVPA)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>④</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>B-換気空調系集中現場盤 (SMVBP)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>⑤</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>工学的安全施設作動盤 (トレンA) (SEFA)</td><td>3AB-F-N13</td><td>原子炉補助 建屋</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>工学的安全施設作動盤 (トレンB) (SEFB)</td><td>3AB-F-N2</td><td>原子炉補助 建屋</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>A-1次冷却材ポンプ母線 計測盤 (SRHA)</td><td>3RB-F-N5</td><td>原子炉建屋</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td>個別</td><td>⑦</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>B-1次冷却材ポンプ母線 計測盤 (SRHB)</td><td>3RB-F-N5</td><td>原子炉建屋</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td>個別</td><td>⑦</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>C-1次冷却材ポンプ母線 計測盤 (SRHC)</td><td>3RB-F-N5</td><td>原子炉建屋</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td>個別</td><td>⑦</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルI) (SRTI)</td><td>3RB-F-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>0.06</td><td>0.06</td><td>個別</td><td>⑧</td></tr> <tr><td>関連設備</td><td>原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルII) (SRTII)</td><td>3RB-F-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>0.06</td><td>0.06</td><td>個別</td><td>⑧</td></tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定 高さ ^{※1} [m]	個別測定 高さ ^{※2} [m]	設定 箇所	安全 機能	関連設備	B-共通要因故障対策操作盤 (SCMFB)	3AB-F-N8	原子炉補助 建屋	0.37	0.33	個別	①	関連設備	A-中央制御室外原子炉停止盤 (SEPA)						②	関連設備	B-中央制御室外原子炉停止盤 (SEPB)						③	関連設備	A-換気空調系集中現場盤 (SMVPA)						④	関連設備	B-換気空調系集中現場盤 (SMVBP)						⑤	関連設備	工学的安全施設作動盤 (トレンA) (SEFA)	3AB-F-N13	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	基本	⑥	関連設備	工学的安全施設作動盤 (トレンB) (SEFB)	3AB-F-N2	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	基本	⑥	関連設備	A-1次冷却材ポンプ母線 計測盤 (SRHA)	3RB-F-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	⑦	関連設備	B-1次冷却材ポンプ母線 計測盤 (SRHB)	3RB-F-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	⑦	関連設備	C-1次冷却材ポンプ母線 計測盤 (SRHC)	3RB-F-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	⑦	関連設備	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルI) (SRTI)	3RB-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	⑧	関連設備	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルII) (SRTII)	3RB-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
補助給水系	4A, 4B電動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.60	0.60																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.16	0.66																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ 起動弁A, B (4V-MS-570A, B)	原子炉 周辺建屋	33.6	34.75	1.15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
補助給水系	4タービン動補助給水ポンプ 起動弁A, B (4TDF-A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.26	0.26																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
補助給水系	4A, 4B, 4C, 4D蒸気発生器補助 給水流量 (4FT-3716, 3726, 3736, 3746)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.21	1.11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
補助給水系	4復水ビット水位Ⅲ, IV (4LT-3760, 3761)	原子炉 周辺建屋	26.0	26.45	0.45																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
補助給水系	4復水ビット	原子炉 周辺建屋	26.0	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
化学体積制御系	4A, 4B充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.65	0.65																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
化学体積制御系	4C充てんポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.29	0.29																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
化学体積制御系	4C充てんポンプ速度制御盤 (4CSC)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.00	1.00																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
化学体積制御系	4C充てんポンプ速度制御補助 盤 (4CSAC)	原子炉 周辺建屋	10.0	10.80	0.80																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
化学体積制御系	4A, 4B, 4C1, 4C2充てんポンプ 現場操作箱 (4LB-5, 6, 7, 8)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
化学体積制御系	4充てんポンプ入口燃料取替 用水ビット側補助弁A, B (4LCV-121D, E)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.19	1.19																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸ポンプ	原子炉 周辺建屋	10.0	10.62	0.62																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸ポンプ現場操作 箱 (4LB-9, 10)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.20	1.20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
化学体積制御系	4充てんライン止め弁 (4V-CS-155)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.03	1.03																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
化学体積制御系	4体積制御タンク出口第1止め 弁 (4LCV-121B)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.26	1.16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
化学体積制御系	4体積制御タンク出口第2止め 弁 (4LCV-121C)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.27	1.17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
化学体積制御系	4緊急ほう酸注入ライン補給 弁 (4V-CS-573)	原子炉 周辺建屋	17.1	21.57	4.47																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
化学体積制御系	4充てんライン格納容器隔離 弁 (4V-CS-157)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.14	5.04																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
化学体積制御系	4-1次冷却材ポンプ封水戻り ライン格納容器第2隔離弁 (4V-CS-312)	原子炉 周辺建屋	17.1	22.00	4.90																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
化学体積制御系	4封水冷却器	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
緊急時監視計測 (EMD)	原子炉水没防止警報 (B) (SCS-4792B)	E-01P-1	原子炉建屋 原子炉	8.360	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904A)	E-02-2-5	原子炉建屋 原子炉	8.360	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904B)	E-02-2-6	原子炉建屋 原子炉	1.360	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904A)	E-02-2-5	原子炉建屋 原子炉	1.310	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904B)	E-02-2-6	原子炉建屋 原子炉	0.423	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904A)	E-02-2-5	原子炉建屋 原子炉	1.305	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904B)	E-02-2-6	原子炉建屋 原子炉	1.305	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904A)	E-02-2-5	原子炉建屋 原子炉	0.375	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (タンクレベル監視) (SCS-4904B)	E-02-2-6	原子炉建屋 原子炉	0.403	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (PASS動作 (バイパス)) (SCS-4911)	E-02-2-5	原子炉建屋 原子炉	2.003	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (PASS動作 (入口止め)) (SCS-4912)	E-02-2-5	原子炉建屋 原子炉	2.105	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (PASS動作 (入口止め)) (SCS-4913)	E-02-2-5	原子炉建屋 原子炉	2.206	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (PASS動作 (戻り止め)) (SCS-4914)	E-02-2-5	原子炉建屋 原子炉	2.406	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (PASS動作 (戻り止め)) (SCS-4915)	E-02-2-5	原子炉建屋 原子炉	2.406	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (A) (A) (SCS-4811, B&C)	E-02-2-5	原子炉建屋 原子炉	0.940	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (A) (A) (SCS-4811, B&C)	E-02-2-5	原子炉建屋 原子炉	0.900	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (A) (A) (SCS-4811, B&C)	E-02P-2-1	原子炉建屋 原子炉	0.900	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (A) (A) (SCS-4811, B&C)	E-01P-2-1	原子炉建屋 原子炉	0.300	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (A) (A) (SCS-4811, B&C)	E-01P-2-5	原子炉建屋 原子炉	0.840	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (A) (A) (SCS-4811, B&C)	E-02-10	原子炉建屋 原子炉	7.406	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (A) (B) (SCS-4811, B&C)	E-02-2-6	原子炉建屋 原子炉	0.445	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (A) (B) (SCS-4811, B&C)	E-02-2	原子炉建屋 原子炉	2.105	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
緊急時監視計測 (EMD)	KAM監視系 (A) (B) (SCS-4811, B&C)	E-02-6	原子炉建屋 原子炉	0.533	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定 高さ ^{※1} [m]	個別測定 高さ ^{※2} [m]	設定 箇所	安全 機能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
関連設備	B-共通要因故障対策操作盤 (SCMFB)	3AB-F-N8	原子炉補助 建屋	0.37	0.33	個別	①																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
関連設備	A-中央制御室外原子炉停止盤 (SEPA)						②																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
関連設備	B-中央制御室外原子炉停止盤 (SEPB)						③																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
関連設備	A-換気空調系集中現場盤 (SMVPA)						④																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
関連設備	B-換気空調系集中現場盤 (SMVBP)						⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
関連設備	工学的安全施設作動盤 (トレンA) (SEFA)	3AB-F-N13	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
関連設備	工学的安全施設作動盤 (トレンB) (SEFB)	3AB-F-N2	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
関連設備	A-1次冷却材ポンプ母線 計測盤 (SRHA)	3RB-F-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	⑦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
関連設備	B-1次冷却材ポンプ母線 計測盤 (SRHB)	3RB-F-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	⑦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
関連設備	C-1次冷却材ポンプ母線 計測盤 (SRHC)	3RB-F-N5	原子炉建屋	0.04	0.04	個別	⑦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
関連設備	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルI) (SRTI)	3RB-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
関連設備	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルII) (SRTII)	3RB-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉							女川原子力発電所2号炉							泊発電所3号炉							相違理由	
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（2/9）							表1 防護対象設備一覧（11/27）							表1 防護対象設備一覧（11/35）							【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違	
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床高[m]		系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. [※] [m]	機能 [※]		系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ [※] 高さ [※] (a)	個別測定高さ [※] 高さ [※] (m)	設定箇所		安全機能
化学体積制御系	4A, 4B封水注入フィルタ	原子炉 周辺建屋	26.0	-	-		原子炉補機冷却系	3号炉補機冷却水ポンプ	3B-F-N2	原子炉補機 周辺建屋	2.945	⑥	関連設備	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルIII) (3RTIII)	3RB-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	⑥		
化学体積制御系	4封水ストレーナ	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-		原子炉補機冷却系	3号炉補機冷却水ポンプ	3B-F-N3	原子炉補機 周辺建屋	3.050	⑥	関連設備	原子炉トリップ遮断器盤 (チャンネルIV) (3RTIV)	3RB-F-N3	原子炉建屋	0.06	0.06	個別	⑥		
化学体積制御系	4体積制御タンク	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-		原子炉補機冷却系	3号炉補機冷却水ポンプ	3B-F-N3	原子炉補機 周辺建屋	7.655	⑥	関連設備	原子炉安全保護盤 (チャンネルI) (3PI)	3AB-F-N13	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑥		
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸タンク水位 (4LT-206, 208)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.18	1.08		原子炉補機冷却系	3号炉補機冷却水ポンプ	3B-F-N3	原子炉補機 周辺建屋	8.500	⑥	関連設備	原子炉安全保護盤 (チャンネルII) (3PII)	3AB-F-N2	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑥		
化学体積制御系	4A, 4Bほう酸タンク	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-		原子炉補機冷却系	3号炉補機冷却水ポンプ	3B-F-N3	原子炉補機 周辺建屋	9.445	⑥	関連設備	原子炉安全保護盤 (チャンネルIII) (3PIII)	3AB-F-N13	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑥		
化学体積制御系	4ほう酸フィルタ	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-		原子炉補機冷却系	3号炉補機冷却水ポンプ	3B-F-N3	原子炉補機 周辺建屋	10.245	⑥	関連設備	原子炉安全保護盤 (チャンネルIV) (3PIV)	3AB-F-N2	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑥		
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ	原子炉 周辺建屋	3.5	4.31	0.81		原子炉補機冷却系	3号炉補機冷却水ポンプ	3B-F-N3	原子炉補機 周辺建屋	10.245	⑥	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤 (3SFMA)	3AB-F-N13	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑥		
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ現場操作箱 (4B-14, 15)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.70	1.20		原子炉補機冷却系	3号炉補機冷却水ポンプ	3B-F-N3	原子炉補機 周辺建屋	10.245	⑥	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤 (3SFMB)	3AB-F-N2	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑥		
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプ出口流量 (4FT-601, 611)	原子炉 周辺建屋	3.5	4.61	1.11		原子炉補機冷却系	3号炉補機冷却水ポンプ	3B-F-N3	原子炉補機 周辺建屋	10.245	⑥	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤 (3SF0A)	3AB-F-N13	原子炉補助 建屋	0.05	0.05	個別	⑥		
余熱除去系	4A, 4B余熱除去ポンプミニマム フローライン止め弁 (4FCV-601, 611)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.98	0.88		原子炉補機冷却系	3号炉補機冷却水ポンプ	3B-F-N3	原子炉補機 周辺建屋	10.245	⑥	関連設備	安全系FDPプロセッサ盤 (3SF0B)	3AB-F-N2	原子炉補助 建屋	0.05	0.05	個別	⑥		
余熱除去系	4A, 4B余熱除去冷却器	原子炉 周辺建屋	10.0	-	-		原子炉補機冷却系	3号炉補機冷却水ポンプ	3B-F-N3	原子炉補機 周辺建屋	10.245	⑥	関連設備	安全系マルチプレクサ (トレンA) (3SWCA)	3AB-F-N13	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑥		
制御用空気系	4A, 4B制御用空気圧縮機制御盤 (4IAC-A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.54	0.44		原子炉補機冷却系	3号炉補機冷却水ポンプ	3B-F-N3	原子炉補機 周辺建屋	10.245	⑥	関連設備	安全系マルチプレクサ (トレンB) (3SWCB)	3AB-F-N2	原子炉補助 建屋	0.04	0.04	個別	⑥		
制御用空気系	4A, 4B制御用空気圧縮機	原子炉 周辺建屋	17.1	17.72	0.62		原子炉補機冷却系	3号炉補機冷却水ポンプ	3B-F-N3	原子炉補機 周辺建屋	10.245	⑥	関連設備	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：溢水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能								
制御用空気系	4A, 4B制御用空気乾燥器 (4IAHA, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-		原子炉補機冷却系	3号炉補機冷却水ポンプ	3B-F-N3	原子炉補機 周辺建屋	10.245	⑥	関連設備									
制御用空気系	4A, 4B制御用空気ため (4IATA, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	-	-		原子炉補機冷却系	3号炉補機冷却水ポンプ	3B-F-N3	原子炉補機 周辺建屋	10.245	⑥	関連設備									
制御用空気系	4A-C, 4B-C制御用空気母管連 給弁 (4V-1A-501A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.78	0.68		原子炉補機冷却系	3号炉補機冷却水ポンプ	3B-F-N3	原子炉補機 周辺建屋	10.245	⑥	関連設備									
制御用空気系	4A, 4B制御用空気主蒸気蒸が し弁等供給ライン止め弁 (4V-1A-505A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.76	0.66		原子炉補機冷却系	3号炉補機冷却水ポンプ	3B-F-N3	原子炉補機 周辺建屋	10.245	⑥	関連設備									
制御用空気系	4A, 4B 制御用空気格納容器隔離 弁 (4V-1A-508A, B)	原子炉 周辺建屋	17.1	17.88	0.78		原子炉補機冷却系	3号炉補機冷却水ポンプ	3B-F-N3	原子炉補機 周辺建屋	10.245	⑥	関連設備									
制御用空気系	4A, 4B制御用空気供給母管圧 力 (4PT-1800, 1810)	原子炉 周辺建屋	17.1	18.20	1.10		原子炉補機冷却系	3号炉補機冷却水ポンプ	3B-F-N3	原子炉補機 周辺建屋	10.245	⑥	関連設備									
原子炉補機冷却系	4A, 4B余熱除去冷却器冷却水 止め弁 (4V-CC-114A, B)	原子炉 周辺建屋	10.0	11.69	1.69		原子炉補機冷却系	3号炉補機冷却水ポンプ	3B-F-N3	原子炉補機 周辺建屋	10.245	⑥	関連設備									
原子炉補機冷却系	4原子炉補機冷却水サージ タンク水位III, IV (4LT-1200, 1201)	原子炉 周辺建屋	39.0	39.99	0.99		原子炉補機冷却系	3号炉補機冷却水ポンプ	3B-F-N3	原子炉補機 周辺建屋	10.245	⑥	関連設備									
原子炉補機冷却系	4原子炉補機冷却水サージ タンク	原子炉 周辺建屋	42.0	-	-		原子炉補機冷却系	3号炉補機冷却水ポンプ	3B-F-N3	原子炉補機 周辺建屋	10.245	⑥	関連設備									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由			
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(3/9)					表1 防護対象設備一覧 (12/27)					表1 防護対象設備一覧 (12/35)					【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違 ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。			
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L.+[m]	機能喪失高さ [※] E.L.+[m] 床[[※] m]	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. [※] [m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} [m]	個別測定高さ ^{※2} [m]	設定箇所	安全機能
原子炉補機冷却系	4A, 4B原子炉補機冷却水冷却器	制御建屋	7.0	-	原子炉補機冷却系	冷却器 (323-3001B)	B-2F-2	原子炉補機冷却系	6.000	◎	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンAグループ1） (3SLCA1)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	◎
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ	制御建屋	7.0	9.08	原子炉補機冷却系	冷却器 (323-3002-1)	B-2F-2	原子炉補機冷却系	6.000	◎	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンAグループ2） (3SLCA2)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	◎
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D原子炉補機冷却水ポンプ現場操作箱 (4LB-20, 21, 22, 23)	制御建屋	7.0	9.90	原子炉補機冷却系	3相モーターファン駆動機 (A) (323-3700A)	C-2F-1	制御建屋	6.865	◎	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンAグループ3） (3SLCA3)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	◎
原子炉補機冷却系	4A・C, 4B・C原子炉補機冷却水戻り母管連絡弁 (4V-CC-043A, B)	制御建屋	7.0	9.33	原子炉補機冷却系	3相モーターファン駆動機 (B) (323-3700B)	C-2F-2	制御建屋	6.865	◎	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンBグループ1） (3SLCB1)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	◎
原子炉補機冷却系	4A・C, 4B・C原子炉補機冷却水供給母管連絡弁 (4V-CC-056A, B)	制御建屋	7.0	9.33	原子炉補機冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ (3) (341-0001B)	B-1F-3	原子炉補機冷却系	9.115	◎	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンBグループ2） (3SLCB2)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	◎
原子炉補機冷却系	4廃棄物処理建屋冷却水供給ライン第1, 2止め弁 (4号機側) (4V-CC-605, 606)	原子炉周辺建屋	17.1	17.97	原子炉補機冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ (4) (341-0001A)	B-1F-3	原子炉補機冷却系	9.115	◎	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンBグループ3） (3SLCB3)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	◎
原子炉補機冷却系	4A, 4B格納容器スプレイ冷却器冷却水止め弁 (4V-CC-178A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.85	原子炉補機冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ (5) (341-0001B)	B-1F-3	原子炉補機冷却系	9.115	◎	関連設備	安全系現場制御監視盤（トレンBグループ1） (3SLCB1)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	0.04	0.04	個別	◎
原子炉補機冷却系	4-1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁 (4V-CC-403)	原子炉周辺建屋	17.1	22.40	原子炉補機冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ (6) (341-0001A)	B-1F-3	原子炉補機冷却系	9.115	◎	関連設備	A-1計装用インバータ (31VA)	3AB-H-36	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	◎
原子炉補機冷却系	4-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第2隔離弁 (4V-CC-429)	原子炉周辺建屋	17.1	22.40	原子炉補機冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ (7) (341-0001B)	B-1F-3	原子炉補機冷却系	9.115	◎	関連設備	B-1計装用インバータ (31VB)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	◎
原子炉補機冷却系	4 CRDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水供給ラインCV隔離弁 (4V-CC-342)	原子炉周辺建屋	17.1	22.11	原子炉補機冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ (8) (341-0001A)	B-1F-3	原子炉補機冷却系	9.115	◎	関連設備	C-1計装用インバータ (31VC)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	◎
原子炉補機冷却系	4 CRDM冷却ユニット・余剰抽出冷却器冷却水戻りラインCV隔離弁 (4V-CC-365)	原子炉周辺建屋	17.1	22.13	原子炉補機冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ (9) (341-0001B)	B-1F-3	原子炉補機冷却系	9.115	◎	関連設備	D-1計装用インバータ (31VD)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	◎
原子炉補機冷却系	4A・D, 4B・C 格納容器再循環ユニット冷却水供給ライン格納容器隔離弁 (4V-CC-189A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	22.20	原子炉補機冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ (10) (341-0001A)	B-1F-3	原子炉補機冷却系	9.115	◎	関連設備	A 1-1計装用交流分電盤 (31DPA1)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.21	0.23	基本	◎
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C, 4D 格納容器再循環ユニット冷却水戻りライン格納容器隔離弁 (4V-CC-198A, B, C, D)	原子炉周辺建屋	17.1	22.08	原子炉補機冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ (11) (341-0001B)	B-1F-3	原子炉補機冷却系	9.115	◎	関連設備	A 2-1計装用交流分電盤 (31DPA2)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.21	0.22	基本	◎
原子炉補機冷却系	4A, 4B原子炉補機冷却水冷却器海水止め弁 (4V-SW-570A, B)	制御建屋	7.0	9.69	原子炉補機冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ (12) (341-0001A)	B-1F-3	原子炉補機冷却系	9.115	◎	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ◎緊急時停止機能 ◎緊急時停止機能 ◎緊急時停止機能 ◎原子炉停止後の除熱機能 ◎原子炉停止後の除熱機能 ◎放射性物質の閉じ込め機能 ◎安全上特に重要な関連機能 ◎事故時のプラント状態の把握機能 ◎制御室外からの安全停止機能 ◎ピット冷却機能 ◎ピット給水機能							
原子炉補機冷却系	4海水ポンプ出口4A, 4B, 4C, 4D海水ストレーナ (4S-SW-01A, B, C, D)	海水ポンプエリア	1.0	-	原子炉補機冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ (13) (341-0001B)	B-1F-3	原子炉補機冷却系	9.115	◎	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ◎緊急時停止機能 ◎緊急時停止機能 ◎緊急時停止機能 ◎原子炉停止後の除熱機能 ◎原子炉停止後の除熱機能 ◎放射性物質の閉じ込め機能 ◎安全上特に重要な関連機能 ◎事故時のプラント状態の把握機能 ◎制御室外からの安全停止機能 ◎ピット冷却機能 ◎ピット給水機能							
原子炉補機冷却系	4A, 4B, 4C海水ポンプ	海水ポンプエリア	2.5	4.65	2.15	原子炉補機冷却系	燃料プールの冷却水ポンプ (14) (341-0001A)	B-1F-3	原子炉補機冷却系	9.115	◎	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ◎緊急時停止機能 ◎緊急時停止機能 ◎緊急時停止機能 ◎原子炉停止後の除熱機能 ◎原子炉停止後の除熱機能 ◎放射性物質の閉じ込め機能 ◎安全上特に重要な関連機能 ◎事故時のプラント状態の把握機能 ◎制御室外からの安全停止機能 ◎ピット冷却機能 ◎ピット給水機能						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（4/9）						表1 防護対象設備一覧（13/27）						表1 防護対象設備一覧（13/35）						<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ビット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">系統</th> <th rowspan="2">設備</th> <th rowspan="2">設置建屋</th> <th colspan="2">設置高さ</th> <th rowspan="2">機能喪失高さ[※]</th> </tr> <tr> <th>E.L.+[m]</th> <th>床[+m]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補助冷却系</td> <td>4A, 4B1, 4B2, 4C海水ポンプ現場操作箱 (4LB-26, 27, 28, 29)</td> <td>海水ポンプ</td> <td>2.5</td> <td>6.40</td> <td>3.90</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4主盤（原子炉盤）(4MCB)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>21.96</td> <td>0.16</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4原子炉補助盤 (4RAB)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>21.98</td> <td>0.18</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV (4RPR-I, II, III, IV)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>21.97</td> <td>0.17</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A, 4B, 4C, 4D原子炉安全保護ロジック盤 (4RPL-A, B, C, D)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>21.98</td> <td>0.18</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4安全保護シーケンス盤 AG1, AG2, BG1, BG2 (4SFS-A1, A2, B1, B2)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>21.97</td> <td>0.17</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4所内盤 (4HSB)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>21.90</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>事故時放射線監視盤 4RMS (4PRMS-III, IV)</td> <td>制御建屋</td> <td>21.8</td> <td>21.86</td> <td>0.06</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4原子炉トリップ遮断器盤 (4RTS)</td> <td>原子炉周辺建屋</td> <td>17.1</td> <td>17.15</td> <td>0.05</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A1, 4A2, 4A3, 4A4, 4B1, 4B2, 4B3, 4B4ソレノイド分電盤 (4SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>16.09</td> <td>0.29</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A, 4Bドロップ盤 (4BCP-A-DRP, 4BCP-B-DRP)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>15.89</td> <td>0.09</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A, 4B直流電盤 (4DMP-A, B)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>15.89</td> <td>0.09</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A, 4B直流分電盤 (4DDF-A, B)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>16.28</td> <td>0.48</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A, 4B蓄電池</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>16.60</td> <td>0.80</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A, 4B充電器盤 (4BCP-A, B)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>15.89</td> <td>0.09</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A1, 4A2, 4B1, 4B2メタルクランプスイッチギア (4MC-A1, A2, B1, B2)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>15.95</td> <td>0.15</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A1, 4A2, 4B1, 4B2パワーセンタ (4PC-A1, A2, B1, B2)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>15.86</td> <td>0.06</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A1, 4A2, 4B1, 4B2原子炉コントロールセンタ (4RCC-A1, A2, B1, B2)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>16.01</td> <td>0.21</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A, 4B, 4C, 4D計装用電源盤 (1) ~ (3) (4IBC-A, B, C, D)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>15.90</td> <td>0.10</td> </tr> <tr> <td>電気盤</td> <td>4A1, 4A2, 4B1, 4B2, 4C1, 4C2, 4D1, 4D2計装用分電盤 (4IPD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, B1, B2)</td> <td>制御建屋</td> <td>15.8</td> <td>16.09</td> <td>0.29</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	設置建屋	設置高さ		機能喪失高さ [※]	E.L.+[m]	床[+m]	原子炉補助冷却系	4A, 4B1, 4B2, 4C海水ポンプ現場操作箱 (4LB-26, 27, 28, 29)	海水ポンプ	2.5	6.40	3.90	電気盤	4主盤（原子炉盤）(4MCB)	制御建屋		21.8	21.96	0.16	電気盤	4原子炉補助盤 (4RAB)	制御建屋	21.8	21.98	0.18	電気盤	4原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV (4RPR-I, II, III, IV)	制御建屋	21.8	21.97	0.17	電気盤	4A, 4B, 4C, 4D原子炉安全保護ロジック盤 (4RPL-A, B, C, D)	制御建屋	21.8	21.98	0.18	電気盤	4安全保護シーケンス盤 AG1, AG2, BG1, BG2 (4SFS-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	21.8	21.97	0.17	電気盤	4所内盤 (4HSB)	制御建屋	21.8	21.90	0.10	電気盤	事故時放射線監視盤 4RMS (4PRMS-III, IV)	制御建屋	21.8	21.86	0.06	電気盤	4原子炉トリップ遮断器盤 (4RTS)	原子炉周辺建屋	17.1	17.15	0.05	電気盤	4A1, 4A2, 4A3, 4A4, 4B1, 4B2, 4B3, 4B4ソレノイド分電盤 (4SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	電気盤	4A, 4Bドロップ盤 (4BCP-A-DRP, 4BCP-B-DRP)	制御建屋	15.8	15.89	0.09	電気盤	4A, 4B直流電盤 (4DMP-A, B)	制御建屋	15.8	15.89	0.09	電気盤	4A, 4B直流分電盤 (4DDF-A, B)	制御建屋	15.8	16.28	0.48	電気盤	4A, 4B蓄電池	制御建屋	15.8	16.60	0.80	電気盤	4A, 4B充電器盤 (4BCP-A, B)	制御建屋	15.8	15.89	0.09	電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2メタルクランプスイッチギア (4MC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.95	0.15	電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2パワーセンタ (4PC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.86	0.06	電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2原子炉コントロールセンタ (4RCC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	16.01	0.21	電気盤	4A, 4B, 4C, 4D計装用電源盤 (1) ~ (3) (4IBC-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	15.90	0.10	電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2, 4C1, 4C2, 4D1, 4D2計装用分電盤 (4IPD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, B1, B2)	制御建屋	15.8	16.09	0.29	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>E.L. [m]</th> <th>機能[※]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気空調</td> <td>原子炉補機 (B) 冷却水ターシンプ (1)</td> <td>B-2F-1</td> <td>原子炉補機 原子炉</td> <td>6.000</td> <td>①②③④⑤</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>原子炉補機 (B) 冷却水ターシンプ (2)</td> <td>B-2F-4</td> <td>原子炉補機 原子炉</td> <td>6.000</td> <td>①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (A)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (B)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (C)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (D)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (E)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (F)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (G)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (H)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (I)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (J)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (K)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (L)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (M)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (N)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (O)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (P)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (Q)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (R)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (S)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (T)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (U)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (V)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (W)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (X)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (Y)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>電気空調</td> <td>中央制御室給電ターシンプ (Z)</td> <td>C-4B2-1</td> <td>制御建屋</td> <td>6.000</td> <td>⑧</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. [m]	機能 [※]	電気空調	原子炉補機 (B) 冷却水ターシンプ (1)	B-2F-1	原子炉補機 原子炉	6.000	①②③④⑤	電気空調	原子炉補機 (B) 冷却水ターシンプ (2)	B-2F-4	原子炉補機 原子炉	6.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (A)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (B)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (C)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (D)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (E)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (F)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (G)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (H)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (I)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (J)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (K)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (L)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (M)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (N)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (O)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (P)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (Q)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (R)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (S)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (T)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (U)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (V)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (W)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (X)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (Y)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	電気空調	中央制御室給電ターシンプ (Z)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1} (m)</th> <th>個別測定高さ^{※2} (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関連設備</td> <td>B 1-計装用交流分電盤 (31DFB1)</td> <td>3AB-H-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.21</td> <td>0.20</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>B 2-計装用交流分電盤 (31DFB2)</td> <td>3AB-H-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.21</td> <td>0.21</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>C 1-計装用交流分電盤 (31DFC1)</td> <td>3AB-H-N6</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.21</td> <td>0.22</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>C 2-計装用交流分電盤 (31DFC2)</td> <td>3AB-H-N6</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.21</td> <td>0.22</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>D 1-計装用交流分電盤 (31DFD1)</td> <td>3AB-H-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.21</td> <td>0.20</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>D 2-計装用交流分電盤 (31DFD2)</td> <td>3AB-H-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.21</td> <td>0.20</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>A-計装用交流電源切替器盤 (31SPA)</td> <td>3AB-H-N6</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.34</td> <td>0.35</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>B-計装用交流電源切替器盤 (31SPB)</td> <td>3AB-H-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.34</td> <td>0.33</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>C-計装用交流電源切替器盤 (31SPC)</td> <td>3AB-H-N6</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.34</td> <td>0.35</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>D-計装用交流電源切替器盤 (31SPD)</td> <td>3AB-H-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.34</td> <td>0.33</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>A-補助建屋直流分電盤 (3BDPA)</td> <td>3AB-H-N6</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.22</td> <td>0.23</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>B-補助建屋直流分電盤 (3BDPB)</td> <td>3AB-H-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.22</td> <td>0.22</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③事故時のプラント状態の把握機能 ④原子炉停止後の除熱機能 ⑤原子炉冷却機能 ⑥放射線物質の閉じ込め機能 ⑦安全上特に重要な閉塞機能 ⑧事故時のプラント状態の把握機能 ⑨制御室からの安全停止機能 ⑩ビット冷却機能 ⑪ビット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	関連設備	B 1-計装用交流分電盤 (31DFB1)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.20	個別	⑥	関連設備	B 2-計装用交流分電盤 (31DFB2)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.21	基本	⑥	関連設備	C 1-計装用交流分電盤 (31DFC1)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.21	0.22	基本	⑥	関連設備	C 2-計装用交流分電盤 (31DFC2)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.21	0.22	基本	⑥	関連設備	D 1-計装用交流分電盤 (31DFD1)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.20	個別	⑥	関連設備	D 2-計装用交流分電盤 (31DFD2)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.20	個別	⑥	関連設備	A-計装用交流電源切替器盤 (31SPA)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.34	0.35	基本	⑥	関連設備	B-計装用交流電源切替器盤 (31SPB)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.34	0.33	個別	⑥	関連設備	C-計装用交流電源切替器盤 (31SPC)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.34	0.35	基本	⑥	関連設備	D-計装用交流電源切替器盤 (31SPD)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.34	0.33	個別	⑥	関連設備	A-補助建屋直流分電盤 (3BDPA)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.22	0.23	基本	⑥	関連設備	B-補助建屋直流分電盤 (3BDPB)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.22	0.22	基本
系統				設備	設置建屋		設置高さ		機能喪失高さ [※]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	E.L.+[m]	床[+m]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
原子炉補助冷却系	4A, 4B1, 4B2, 4C海水ポンプ現場操作箱 (4LB-26, 27, 28, 29)	海水ポンプ	2.5	6.40	3.90																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気盤	4主盤（原子炉盤）(4MCB)	制御建屋	21.8	21.96	0.16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気盤	4原子炉補助盤 (4RAB)	制御建屋	21.8	21.98	0.18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気盤	4原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV (4RPR-I, II, III, IV)	制御建屋	21.8	21.97	0.17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D原子炉安全保護ロジック盤 (4RPL-A, B, C, D)	制御建屋	21.8	21.98	0.18																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気盤	4安全保護シーケンス盤 AG1, AG2, BG1, BG2 (4SFS-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	21.8	21.97	0.17																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気盤	4所内盤 (4HSB)	制御建屋	21.8	21.90	0.10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気盤	事故時放射線監視盤 4RMS (4PRMS-III, IV)	制御建屋	21.8	21.86	0.06																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気盤	4原子炉トリップ遮断器盤 (4RTS)	原子炉周辺建屋	17.1	17.15	0.05																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気盤	4A1, 4A2, 4A3, 4A4, 4B1, 4B2, 4B3, 4B4ソレノイド分電盤 (4SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4)	制御建屋	15.8	16.09	0.29																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気盤	4A, 4Bドロップ盤 (4BCP-A-DRP, 4BCP-B-DRP)	制御建屋	15.8	15.89	0.09																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気盤	4A, 4B直流電盤 (4DMP-A, B)	制御建屋	15.8	15.89	0.09																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気盤	4A, 4B直流分電盤 (4DDF-A, B)	制御建屋	15.8	16.28	0.48																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気盤	4A, 4B蓄電池	制御建屋	15.8	16.60	0.80																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気盤	4A, 4B充電器盤 (4BCP-A, B)	制御建屋	15.8	15.89	0.09																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2メタルクランプスイッチギア (4MC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.95	0.15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2パワーセンタ (4PC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	15.86	0.06																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2原子炉コントロールセンタ (4RCC-A1, A2, B1, B2)	制御建屋	15.8	16.01	0.21																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D計装用電源盤 (1) ~ (3) (4IBC-A, B, C, D)	制御建屋	15.8	15.90	0.10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気盤	4A1, 4A2, 4B1, 4B2, 4C1, 4C2, 4D1, 4D2計装用分電盤 (4IPD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, B1, B2)	制御建屋	15.8	16.09	0.29																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. [m]	機能 [※]																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	原子炉補機 (B) 冷却水ターシンプ (1)	B-2F-1	原子炉補機 原子炉	6.000	①②③④⑤																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	原子炉補機 (B) 冷却水ターシンプ (2)	B-2F-4	原子炉補機 原子炉	6.000	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (A)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (B)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (C)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (D)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (E)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (F)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (G)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (H)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (I)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (J)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (K)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (L)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (M)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (N)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (O)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (P)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (Q)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (R)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (S)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (T)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (U)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (V)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (W)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (X)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (Y)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
電気空調	中央制御室給電ターシンプ (Z)	C-4B2-1	制御建屋	6.000	⑧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	B 1-計装用交流分電盤 (31DFB1)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.20	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	B 2-計装用交流分電盤 (31DFB2)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.21	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	C 1-計装用交流分電盤 (31DFC1)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.21	0.22	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	C 2-計装用交流分電盤 (31DFC2)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.21	0.22	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	D 1-計装用交流分電盤 (31DFD1)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.20	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	D 2-計装用交流分電盤 (31DFD2)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.21	0.20	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	A-計装用交流電源切替器盤 (31SPA)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.34	0.35	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	B-計装用交流電源切替器盤 (31SPB)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.34	0.33	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	C-計装用交流電源切替器盤 (31SPC)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.34	0.35	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	D-計装用交流電源切替器盤 (31SPD)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.34	0.33	個別	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	A-補助建屋直流分電盤 (3BDPA)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.22	0.23	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
関連設備	B-補助建屋直流分電盤 (3BDPB)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.22	0.22	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由				
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（5 / 9）					表1 防護対象設備一覧（14/27）					表1 防護対象設備一覧（14/35）					【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ビット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。				
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]	系統	設備	設置番号	設置建屋	E.L. ^{※1} [m]	機能 ^{※2}	系統	設備	区画番号	設置建屋			基本設定高さ ^{※1} [m]	個別測定高さ ^{※2} [m]	設定箇所
電気盤	4A, 4B, 4C, 4D計装用交流電源切替盤（4TSP-A, B, C, D）	制御建屋	15.8	16.13	0.33	電気注満機	原子炉注満機(A)東送機盤(A) (T11-0002)	0-02-0	原子炉注満機	0.140	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	関連設備	ゾレノイド分電盤トレン A 1 (3SDA1)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.19	0.20	個別	⑥
電気盤	4AC, 4BD計装用後備分電盤（4TBP-AC, BD）	制御建屋	15.8	16.09	0.29	電気注満機	原子炉注満機(B)東送機盤(B) (T11-0003)	0-02-13	原子炉注満機	0.115	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	関連設備	ゾレノイド分電盤トレン A 2 (3SDA2)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.19	0.20	個別	⑥
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル発電機コントローラセンタ（4GCC-A, B）	原子炉周辺建屋	10.0	10.26	0.26	電気注満機	原子炉注満機(C)東送機盤(C) (T11-0004)	0-02-13	原子炉注満機	0.120	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	関連設備	ゾレノイド分電盤トレン A 3 (3SDA3)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.19	0.20	個別	⑥
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル機関	原子炉周辺建屋	3.5 [本体10.0]	3.91	0.41	電気注満機	原子炉注満機(D)東送機盤(D) (T11-0005)	0-02-13	原子炉注満機	0.115	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	関連設備	ゾレノイド分電盤トレン A 4 (3SDA4)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.19	0.20	個別	⑥
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル発電機	原子炉周辺建屋	3.5 [本体10.0]	3.83	0.33	電気注満機	原子炉注満機(E)東送機盤(E) (T11-0006)	0-02-14	原子炉注満機	0.110	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	関連設備	ゾレノイド分電盤トレン B 1 (3SDB1)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.19	0.18	個別	⑥
非常用電源系	4A, 4Bディーゼル発電機制御盤（4DGC-A, B）	原子炉周辺建屋	10.0	10.10	0.10	電気注満機	原子炉注満機(F)東送機盤(F) (T11-0007)	0-02-4	原子炉注満機	0.110	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	関連設備	ゾレノイド分電盤トレン B 2 (3SDB2)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.19	0.19	個別	⑥
格納容器スプレィ系	4A, 4B格納容器スプレィ冷却器	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	電気注満機	原子炉注満機(G)東送機盤(G) (T11-0008)	0-02-4	原子炉注満機	0.115	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	関連設備	ゾレノイド分電盤トレン B 3 (3SDB3)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.19	0.19	個別	⑥
格納容器スプレィ系	4よう素除去薬品タンク	原子炉周辺建屋	17.1	-	-	電気注満機	原子炉注満機(H)東送機盤(H) (T11-0009)	0-02-4	原子炉注満機	0.115	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	関連設備	ゾレノイド分電盤トレン B 4 (3SDB4)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.19	0.18	個別	⑥
格納容器スプレィ系	4格納容器圧力 (広域) I, II, III, IV (4PT-950, 951, 952, 953)	原子炉周辺建屋	17.1	22.09	4.99	電気注満機	原子炉注満機(I)東送機盤(I) (T11-0010)	0-02-4	原子炉注満機	0.120	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	関連設備	A-直流コントロールセンタ (3DCA)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥
格納容器スプレィ系	4A, 4B格納容器スプレィポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.33	0.83	電気注満機	原子炉注満機(J)東送機盤(J) (T11-0011)	0-02-4	原子炉注満機	0.115	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	関連設備	B-直流コントロールセンタ (3DCB)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥
格納容器スプレィ系	4A, 4B格納容器スプレィポンプ現場操作箱 (4LB-18, 19)	原子炉周辺建屋	3.5	4.70	1.20	電気注満機	原子炉注満機(K)東送機盤(K) (T11-0012)	0-02-4	原子炉注満機	0.120	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	関連設備	A 1 一原子炉コントロールセンタ (3RCC-A1)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥
格納容器スプレィ系	4A, 4B格納容器スプレィポンプ燃料取替用水ビット側入口止め弁 (4V-CP-001A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.91	1.91	電気注満機	原子炉注満機(L)東送機盤(L) (T11-0013)	0-02-13	原子炉注満機	0.120	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	関連設備	A 2 一原子炉コントロールセンタ (3RCC-A2)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑥
格納容器スプレィ系	4A, 4B格納容器スプレィポンプ再循環サンプ側入口格納容器隔離弁 (4V-CP-003A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	12.06	2.06	電気注満機	原子炉注満機(M)東送機盤(M) (T11-0014)	0-02-13	原子炉注満機	0.115	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②本臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能							
格納容器スプレィ系	4A, 4B格納容器スプレィヘッド冷却器出口格納容器隔離弁 (4V-CP-024A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	18.96	1.86	電気注満機	原子炉注満機(N)東送機盤(N) (T11-0015)	0-02-13	原子炉注満機	0.125	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	⑥安全上特に重要な関連機連 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能							
格納容器スプレィ系	4A, 4Bよう素除去薬品注入ライン第1止め弁 (4V-CP-054A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.64	0.54	電気注満機	原子炉注満機(O)東送機盤(O) (T11-0016)	0-02-4	原子炉注満機	0.115	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿								
格納容器スプレィ系	4A, 4Bよう素除去薬品注入ライン第2止め弁 (4V-CP-056A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	17.62	0.52	電気注満機	原子炉注満機(P)東送機盤(P) (T11-0017)	0-02-4	原子炉注満機	1.005	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿								
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプ	原子炉周辺建屋	3.5	4.00	0.50	電気注満機	原子炉注満機(Q)東送機盤(Q) (T11-0018)	0-02-4	原子炉注満機	0.115	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿								
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプ現場操作箱 (4LB-12, 13)	原子炉周辺建屋	3.5	4.70	1.20	電気注満機	原子炉注満機(R)東送機盤(R) (T11-0019)	0-02-4	原子炉注満機	0.120	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿								
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプ燃料取替用水ビット側入口弁 (4V-S1-002A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.94	1.94	電気注満機	原子炉注満機(S)東送機盤(S) (T11-0020)	0-02-4	原子炉注満機	1.005	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿								
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁 (4V-S1-015A, B)	原子炉周辺建屋	6.6	7.38	0.78	電気注満機	原子炉注満機(T)東送機盤(T) (T11-0021)	0-02-4	原子炉注満機	0.135	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大阪発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由		
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(6/9)						表1 防護対象設備一覧 (15/27)						表1 防護対象設備一覧 (15/35)						【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大阪】 記載方針の相違		
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m] 床上[m]		系統	設備	区画番号	設置建屋	E.L. [m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	<p>・ 泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・ 設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプミニマムフローライン第2止め弁 (4V-SI-016A, B)	原子炉周辺建屋	6.6	7.38	0.78	機注空調系	原子炉補機(3PCC)送風機(3)	C-2P-1	原子炉補機付建屋	5.120	③④⑤⑥	関連設備	B1-原子炉コントロールセンタ (3RCC-B1)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑤	
安全注入系	4A, 4B高圧注入ポンプ格納容器再循環サンプ側入口格納容器隔離弁 (4V-SI-093A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.83	1.83	機注空調系	原子炉補機(3PCC)送風機(4)	C-2P-14	原子炉補機付建屋	5.120	③④⑤⑥	関連設備	B2-原子炉コントロールセンタ (3RCC-B2)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.10	0.10	個別	⑤	
安全注入系	4A, 4B余熱除去ポンプRWSビット及び再循環サンプ側入口弁 (4V-SI-096A, B)	原子炉周辺建屋	10.0	11.99	1.99	機注空調系	原子炉補機(3PCC)送風機(5)	C-2P-14	原子炉補機付建屋	5.120	③④⑤⑥	関連設備	A1-ババワコントロールセンタ (3PCC-A1)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.06	0.06	個別	⑤	
安全注入系	4A高圧注入流量(T), 4B高圧注入流量(II) (4PT-962, 963)	原子炉周辺建屋	10.0	11.08	1.08	機注空調系	原子炉補機(3PCC)送風機(6)	C-2P-7	原子炉補機付建屋	5.020	③④⑤⑥	関連設備	A2-ババワコントロールセンタ (3PCC-A2)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.06	0.06	個別	⑤	
安全注入系	4燃料取替用水ビット水位 I, II, III, IV (4LT-1400, 1401, 1402, 1403)	原子炉周辺建屋	17.1	18.10	1.00	機注空調系	中央制御室送風機(A)	C-02P-1	制御室	5.070	⑤	関連設備	B1-ババワコントロールセンタ (3PCC-B1)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.06	0.06	個別	⑤	
安全注入系、燃料取替用水系	4燃料取替用水ビット	原子炉周辺建屋	18.5	-	-	機注空調系	中央制御室送風機(B)	C-02P-2	制御室	5.110	⑤	関連設備	B2-ババワコントロールセンタ (3PCC-B2)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.06	0.06	個別	⑤	
燃料取替用水系	4A, 4B燃料取替用水ポンプ	原子炉周辺建屋	17.1	17.57	0.47	機注空調系	中央制御室再循環送風機(A)	C-02P-3	制御室	5.120	⑤	関連設備	A-6.6kVメタラ (3MC-A)	3AB-H-N6	原子炉補助建屋	0.15	0.15	個別	⑤	
燃料取替用水系	4A, 4B燃料取替用水ポンプ現場操作箱 (4LB-33, 34)	原子炉周辺建屋	17.1	18.30	1.20	機注空調系	中央制御室再循環送風機(B)	C-02P-3	制御室	5.100	⑤	関連設備	B-6.6kVメタラ (3MC-B)	3AB-H-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.15	個別	⑤	
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B使用済燃料ビット冷却器	原子炉周辺建屋	10.0	-	-	機注空調系	中央制御室再循環送風機(C)	C-02P-3	制御室	5.060	⑤	原子炉補機冷却海水系	A-原子炉補機冷却海水ポンプ (3SWP1A)	3CWPB-B-N01	循環水ポンプ建屋	0.20	1.50	個別	⑤	
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B使用済燃料ビット	原子炉周辺建屋	33.6	-	-	機注空調系	中央制御室少量再吸入タンク(II)	C-02P-1	制御室	1.620	⑤	原子炉補機冷却海水系	B-原子炉補機冷却海水ポンプ (3SWP1B)	3CWPB-B-N01	循環水ポンプ建屋	0.20	1.50	個別	⑤	
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B使用済燃料ビットポンプ	原子炉周辺建屋	10.0	10.72	0.72	機注空調系	中央制御室少量再吸入タンク(III)	C-02P-1	制御室	1.620	⑤	原子炉補機冷却海水系	C-原子炉補機冷却海水ポンプ (3SWP1C)	3CWPB-B-N02	循環水ポンプ建屋	0.20	1.50	個別	⑤	
燃料ビット冷却浄化系	4A, 4B使用済燃料ビットポンプ現場操作箱 (4LB-24, 25)	原子炉周辺建屋	10.0	11.20	1.20	機注空調系	中央制御室再循環送風機(A)送風機(II)	C-02P-1	制御室	2.960	⑤	※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：没水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②緊急時停止機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ビット冷却機能 ⑩ビット給水機能								
主蒸気系	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気逃がし弁 (4PCV-3610, 3620, 3630, 3640)	原子炉周辺建屋	26.0	37.33	11.33	機注空調系	中央制御室再循環送風機(B)送風機(II)	C-02P-1	制御室	1.120	⑤									
主蒸気系	I, II, III, IV, 4A, 4B, 4C, 4D主蒸気圧力 (4PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498)	原子炉周辺建屋	29.0	30.00	1.00	機注空調系	中央制御室再循環送風機(C)送風機(II)	C-02P-1	制御室	1.110	⑤									
主蒸気系	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁 (4V-MS-533A, B, C, D)	原子炉周辺建屋	33.6	36.78	3.18	機注空調系	中央制御室再循環送風機(A)送風機(III)	C-02P-1	制御室	3.000	⑤									
主蒸気系	4A, 4B, 4C, 4D主蒸気隔離弁 (4V-MS-533A, B, C, D 付属パネル)	原子炉周辺建屋	29.0	29.40	0.40	機注空調系	中央制御室再循環送風機(B)送風機(III)	C-02P-1	制御室	3.700	⑤									
冷水系	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷凍機	制御建屋	10.0	10.59	0.59	機注空調系	中央制御室再循環送風機(C)送風機(III)	C-02P-1	制御室	2.960	⑤									
冷水系	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ	制御建屋	10.0	10.55	0.55	機注空調系	中央制御室再循環送風機(A)送風機(IV)	C-02P-1	制御室	2.960	⑤									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由	
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）（7/9）						表1 防護対象設備一覧（16/27）						表1 防護対象設備一覧（16/35）						<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違</p> <p>安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ビット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>	
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床上[m]	系統	設備	設置番号	設置階層	E.L. [※] [m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)		設定箇所
冷水系	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ現場操作箱 (4LB-103, 104, 105, 106)	制御建屋	10.0	11.20	1.20	換気空調系	計測制御電源(A) 専送機庫(A) (331-0001A)	0-02F-1	制御建屋	0.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉補機冷却海水系	D-原子炉補機冷却海水ポンプ (SSAP1D)	30CP-B-N02	循環水ポンプ建屋	0.20	1.50	個別	⑥
冷水系	4空調用冷水Nヘッダ供給、戻りライン止め弁 (4V-0H-032, 033)	制御建屋	10.0	11.14	1.14	換気空調系	計測制御電源(A) 専送機庫(A) (331-0001A)	0-02F-2	制御建屋	0.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉補機冷却海水系	A-原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水出口止め弁 (3V-SW-571A)	38B-K-N4	原子炉建屋	0.70	0.70	基本	⑥
冷水系	4A, 4B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁 (4TCV-2878, 2879)	制御建屋	26.1	27.42	1.32	換気空調系	計測制御電源(A) 専送機庫(A) (331-0001A)	0-02F-3	制御建屋	0.060	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉補機冷却海水系	B-原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水出口止め弁 (3V-SW-571B)	38B-K-N4	原子炉建屋	0.70	0.75	基本	⑥
冷水系	34A, 34B安全補機閉閉器室空調ユニット冷水温度制御弁 (34TCV-2798, 2799)	制御建屋	26.1	27.65	1.55	換気空調系	計測制御電源(A) 専送機庫(A) (332-0001A)	0-02F-4	制御建屋	0.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉補機冷却海水系	C-原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水出口止め弁 (3V-SW-571C)	38B-K-N1	原子炉建屋	0.70	0.70	基本	⑥
換気空調系	4換気空調盤 (4VB)	制御建屋	21.8	21.97	0.17	換気空調系	計測制御電源(A) 専送機庫(A) (332-0001A)	0-02F-5	制御建屋	0.060	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用所内電源系	A-ディーゼル発電機 (3DG-J-N2)	3DG-J-N2	ディーゼル発電機建屋	0.30	0.38	基本	⑥
換気空調系	4A, 4B中央制御室空調ファン	制御建屋	26.1	27.30	1.20	換気空調系	計測制御電源(A) 専送機庫(A) (332-0001A)	0-02F-6	制御建屋	0.060	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用所内電源系	B-ディーゼル発電機 (3DG-J-N1)	3DG-J-N1	ディーゼル発電機建屋	0.30	0.37	基本	⑥
換気空調系	4A, 4B中央制御室空調ファン現場操作箱 (4LB-101, 102)	制御建屋	26.1	27.30	1.20	換気空調系	計測制御電源(A) 専送機庫(A) (332-0001A)	0-02F-7	制御建屋	0.060	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用所内電源系	A-ディーゼル機関 (3DGE1A)	3DG-J-N2 (3DG-H-N2)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑥
換気空調系	4A, 4B中央制御室空調ファン出口ダンパ (4D-VS-603A, B)	制御建屋	26.1	30.30	4.20	換気空調系	計測制御電源(A) 専送機庫(A) (332-0001A)	0-02F-8	制御建屋	0.060	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用所内電源系	B-ディーゼル機関 (3DGE1B)	3DG-J-N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑥
換気空調系	4A, 4B中央制御室空調ファン出口流量 (4FS-2910, 2911)	制御建屋	26.1	27.40	1.30	原子炉補機冷却海水系	原子炉補機冷却海水ポンプ(A) (342-0001A)	0-02F-9	原子炉建屋	0.100	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用所内電源系	B-ディーゼル機関 (3DGE1B)	3DG-J-N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑥
換気空調系	4中央制御室温度(1), (2) (4TS-2908, 2909)	制御建屋	21.8	23.20	1.40	原子炉補機冷却海水系	原子炉補機冷却海水ポンプ(B) (342-0001B)	0-02F-10	原子炉建屋	0.060	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用所内電源系	B-ディーゼル機関 (3DGE1B)	3DG-J-N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑥
換気空調系	4A, 4B中央制御室循環ファン	制御建屋	26.1	26.36	0.26	原子炉補機冷却海水系	原子炉補機冷却海水ポンプ(C) (342-0001C)	0-02F-11	原子炉建屋	0.060	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用所内電源系	B-ディーゼル機関 (3DGE1B)	3DG-J-N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑥
換気空調系	4A, 4B中央制御室循環ファン現場操作箱 (4LB-95, 96)	制御建屋	26.1	27.30	1.20	原子炉補機冷却海水系	原子炉補機冷却海水ポンプ(D) (342-0001D)	0-02F-12	原子炉建屋	0.060	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用所内電源系	B-ディーゼル機関 (3DGE1B)	3DG-J-N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑥
換気空調系	4A, 4B中央制御室循環ファン入口ダンパ (4B-VS-604A, B)	制御建屋	26.1	28.00	1.90	原子炉補機冷却海水系	原子炉補機冷却海水ポンプ(E) (342-0001E)	0-02F-13	原子炉建屋	0.060	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用所内電源系	B-ディーゼル機関 (3DGE1B)	3DG-J-N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑥
換気空調系	4A, 4B中央制御室循環流量調節ダンパ (4HCP-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.52	1.42	原子炉補機冷却海水系	原子炉補機冷却海水ポンプ(F) (342-0001F)	0-02F-14	原子炉建屋	0.060	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用所内電源系	B-ディーゼル機関 (3DGE1B)	3DG-J-N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑥
換気空調系	4A, 4B中央制御室循環ダンパ流量設定 (4HC-2885, 2886)	制御建屋	26.1	27.40	1.30	原子炉補機冷却海水系	原子炉補機冷却海水ポンプ(G) (342-0001G)	0-02F-15	原子炉建屋	0.060	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用所内電源系	B-ディーゼル機関 (3DGE1B)	3DG-J-N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑥
換気空調系	34A, 34B安全補機閉閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78	原子炉補機冷却海水系	原子炉補機冷却海水ポンプ(H) (342-0001H)	0-02F-16	原子炉建屋	0.060	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用所内電源系	B-ディーゼル機関 (3DGE1B)	3DG-J-N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑥
換気空調系	34C, 34D安全補機閉閉器室空調ファン	制御建屋	26.1	27.88	1.78	原子炉補機冷却海水系	原子炉補機冷却海水ポンプ(I) (342-0001I)	0-02F-17	原子炉建屋	0.060	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用所内電源系	B-ディーゼル機関 (3DGE1B)	3DG-J-N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑥
換気空調系	34A, 34B, 34C, 34D安全補機閉閉器室空調ファン現場操作箱 (34LB-13, 14, 20, 21)	制御建屋	26.1	27.33	1.23	原子炉補機冷却海水系	原子炉補機冷却海水ポンプ(J) (342-0001J)	0-02F-18	原子炉建屋	0.060	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用所内電源系	B-ディーゼル機関 (3DGE1B)	3DG-J-N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑥
換気空調系	4安全系電気盤室排気止めダンパA (4D-VS-532, 533)	制御建屋	26.1	29.21	3.11	原子炉補機冷却海水系	原子炉補機冷却海水ポンプ(K) (342-0001K)	0-02F-19	原子炉建屋	0.060	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用所内電源系	B-ディーゼル機関 (3DGE1B)	3DG-J-N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑥
換気空調系	4安全系電気盤室排気止めダンパB (4D-VS-536)	制御建屋	28.7	31.07	2.37	原子炉補機冷却海水系	原子炉補機冷却海水ポンプ(L) (342-0001L)	0-02F-20	原子炉建屋	0.060	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用所内電源系	B-ディーゼル機関 (3DGE1B)	3DG-J-N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑥
換気空調系	4安全系電気盤室排気止めダンパB (4D-VS-537)	制御建屋	26.1	29.50	3.40	原子炉補機冷却海水系	原子炉補機冷却海水ポンプ(M) (342-0001M)	0-02F-21	原子炉建屋	0.060	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用所内電源系	B-ディーゼル機関 (3DGE1B)	3DG-J-N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑥
換気空調系	4A, 4B安全補機閉閉器室温度 (4TS-2917, 2918)	制御建屋	15.8	17.23	1.43	原子炉補機冷却海水系	原子炉補機冷却海水ポンプ(N) (342-0001N)	0-02F-22	原子炉建屋	2.325	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	非常用所内電源系	B-ディーゼル機関 (3DGE1B)	3DG-J-N1 (3DG-H-N1)	ディーゼル発電機建屋	0.20	0.32	基本	⑥

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由				
4号炉防護対象設備リスト (原子炉格納容器内設置設備除く) (8/9)					表1 防護対象設備一覧 (17/27)					表1 防護対象設備一覧 (17/35)					【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違 ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。				
系統	設備	設置建屋	設置高さ		機能喪失高さ [※]	系統	設備	区分番号	設置建屋	E.L. ^① [m]	機能 ^②	系統	設備	区分番号	設置建屋	基本設定高さ ^③ [m]	個別測定高さ ^④ [m]	設定箇所	安全機能
換気空調系	4A, 4B制御用空気圧縮機室給気ファン	原子炉周辺建屋	E.L. + [m]	E.L. + [m]	床上[m]	原子炉格納容器取水系	制御用ポンプ(3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27) (28) (29) (30) (31) (32) (33) (34) (35) (36) (37) (38) (39) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (46) (47) (48) (49) (50) (51) (52) (53) (54) (55) (56) (57) (58) (59) (60) (61) (62) (63) (64) (65) (66) (67) (68) (69) (70) (71) (72) (73) (74) (75) (76) (77) (78) (79) (80) (81) (82) (83) (84) (85) (86) (87) (88) (89) (90) (91) (92) (93) (94) (95) (96) (97) (98) (99) (100) (101) (102) (103) (104) (105) (106) (107) (108) (109) (110) (111) (112) (113) (114) (115) (116) (117) (118) (119) (120) (121) (122) (123) (124) (125) (126) (127) (128) (129) (130) (131) (132) (133) (134) (135) (136) (137) (138) (139) (140) (141) (142) (143) (144) (145) (146) (147) (148) (149) (150) (151) (152) (153) (154) (155) (156) (157) (158) (159) (160) (161) (162) (163) (164) (165) (166) (167) (168) (169) (170) (171) (172) (173) (174) (175) (176) (177) (178) (179) (180) (181) (182) (183) (184) (185) (186) (187) (188) (189) (190) (191) (192) (193) (194) (195) (196) (197) (198) (199) (200) (201) (202) (203) (204) (205) (206) (207) (208) (209) (210) (211) (212) (213) (214) (215) (216) (217) (218) (219) (220) (221) (222) (223) (224) (225) (226) (227) (228) (229) (230) (231) (232) (233) (234) (235) (236) (237) (238) (239) (240) (241) (242) (243) (244) (245) (246) (247) (248) (249) (250) (251) (252) (253) (254) (255) (256) (257) (258) (259) (260) (261) (262) (263) (264) (265) (266) (267) (268) (269) (270) (271) (272) (273) (274) (275) (276) (277) (278) (279) (280) (281) (282) (283) (284) (285) (286) (287) (288) (289) (290) (291) (292) (293) (294) (295) (296) (297) (298) (299) (300) (301) (302) (303) (304) (305) (306) (307) (308) (309) (310) (311) (312) (313) (314) (315) (316) (317) (318) (319) (320) (321) (322) (323) (324) (325) (326) (327) (328) (329) (330) (331) (332) (333) (334) (335) (336) (337) (338) (339) (340) (341) (342) (343) (344) (345) (346) (347) (348) (349) (350) (351) (352) (353) (354) (355) (356) (357) (358) (359) (360) (361) (362) (363) (364) (365) (366) (367) (368) (369) (370) (371) (372) (373) (374) (375) (376) (377) (378) (379) (380) (381) (382) (383) (384) (385) (386) (387) (388) (389) (390) (391) (392) (393) (394) (395) (396) (397) (398) (399) (400) (401) (402) (403) (404) (405) (406) (407) (408) (409) (410) (411) (412) (413) (414) (415) (416) (417) (418) (419) (420) (421) (422) (423) (424) (425) (426) (427) (428) (429) (430) (431) (432) (433) (434) (435) (436) (437) (438) (439) (440) (441) (442) (443) (444) (445) (446) (447) (448) (449) (450) (451) (452) (453) (454) (455) (456) (457) (458) (459) (460) (461) (462) (463) (464) (465) (466) (467) (468) (469) (470) (471) (472) (473) (474) (475) (476) (477) (478) (479) (480) (481) (482) (483) (484) (485) (486) (487) (488) (489) (490) (491) (492) (493) (494) (495) (496) (497) (498) (499) (500) (501) (502) (503) (504) (505) (506) (507) (508) (509) (510) (511) (512) (513) (514) (515) (516) (517) (518) (519) (520) (521) (522) (523) (524) (525) (526) (527) (528) (529) (530) (531) (532) (533) (534) (535) (536) (537) (538) (539) (540) (541) (542) (543) (544) (545) (546) (547) (548) (549) (550) (551) (552) (553) (554) (555) (556) (557) (558) (559) (560) (561) (562) (563) (564) (565) (566) (567) (568) (569) (570) (571) (572) (573) (574) (575) (576) (577) (578) (579) (580) (581) (582) (583) (584) (585) (586) (587) (588) (589) (590) (591) (592) (593) (594) (595) (596) (597) (598) (599) (600) (601) (602) (603) (604) (605) (606) (607) (608) (609) (610) (611) (612) (613) (614) (615) (616) (617) (618) (619) (620) (621) (622) (623) (624) (625) (626) (627) (628) (629) (630) (631) (632) (633) (634) (635) (636) (637) (638) (639) (640) (641) (642) (643) (644) (645) (646) (647) (648) (649) (650) (651) (652) (653) (654) (655) (656) (657) (658) (659) (660) (661) (662) (663) (664) (665) (666) (667) (668) (669) (670) (671) (672) (673) (674) (675) (676) (677) (678) (679) (680) (681) (682) (683) (684) (685) (686) (687) (688) (689) (690) (691) (692) (693) (694) (695) (696) (697) (698) (699) (700) (701) (702) (703) (704) (705) (706) (707) (708) (709) (710) (711) (712) (713) (714) (715) (716) (717) (718) (719) (720) (721) (722) (723) (724) (725) (726) (727) (728) (729) (730) (731) (732) (733) (734) (735) (736) (737) (738) (739) (740) (741) (742) (743) (744) (745) (746) (747) (748) (749) (750) (751) (752) (753) (754) (755) (756) (757) (758) (759) (760) (761) (762) (763) (764) (765) (766) (767) (768) (769) (770) (771) (772) (773) (774) (775) (776) (777) (778) (779) (780) (781) (782) (783) (784) (785) (786) (787) (788) (789) (790) (791) (792) (793) (794) (795) (796) (797) (798) (799) (800) (801) (802) (803) (804) (805) (806) (807) (808) (809) (810) (811) (812) (813) (814) (815) (816) (817) (818) (819) (820) (821) (822) (823) (824) (825) (826) (827) (828) (829) (830) (831) (832) (833) (834) (835) (836) (837) (838) (839) (840) (841) (842) (843) (844) (845) (846) (847) (848) (849) (850) (851) (852) (853) (854) (855) (856) (857) (858) (859) (860) (861) (862) (863) (864) (865) (866) (867) (868) (869) (870) (871) (872) (873) (874) (875) (876) (877) (878) (879) (880) (881) (882) (883) (884) (885) (886) (887) (888) (889) (890) (891) (892) (893) (894) (895) (896) (897) (898) (899) (900) (901) (902) (903) (904) (905) (906) (907) (908) (909) (910) (911) (912) (913) (914) (915) (916) (917) (918) (919) (920) (921) (922) (923) (924) (925) (926) (927) (928) (929) (930) (931) (932) (933) (934) (935) (936) (937) (938) (939) (940) (941) (942) (943) (944) (945) (946) (947) (948) (949) (950) (951) (952) (953) (954) (955) (956) (957) (958) (959) (960) (961) (962) (963) (964) (965) (966) (967) (968) (969) (970) (971) (972) (973) (974) (975) (976) (977) (978) (979) (980) (981) (982) (983) (984) (985) (986) (987) (988) (989) (990) (991) (992) (993) (994) (995) (996) (997) (998) (999) (1000) (1001) (1002) (1003) (1004) (1005) (1006) (1007) (1008) (1009) (1010) (1011) (1012) (1013) (1014) (1015) (1016) (1017) (1018) (1019) (1020) (1021) (1022) (1023) (1024) (1025) (1026) (1027) (1028) (1029) (1030) (1031) (1032) (1033) (1034) (1035) (1036) (1037) (1038) (1039) (1040) (1041) (1042) (1043) (1044) (1045) (1046) (1047) (1048) (1049) (1050) (1051) (1052) (1053) (1054) (1055) (1056) (1057) (1058) (1059) (1060) (1061) (1062) (1063) (1064) (1065) (1066) (1067) (1068) (1069) (1070) (1071) (1072) (1073) (1074) (1075) (1076) (1077) (1078) (1079) (1080) (1081) (1082) (1083) (1084) (1085) (1086) (1087) (1088) (1089) (1090) (1091) (1092) (1093) (1094) (1095) (1096) (1097) (1098) (1099) (1100) (1101) (1102) (1103) (1104) (1105) (1106) (1107) (1108) (1109) (1110) (1111) (1112) (1113) (1114) (1115) (1116) (1117) (1118) (1119) (1120) (1121) (1122) (1123) (1124) (1125) (1126) (1127) (1128) (1129) (1130) (1131) (1132) (1133) (1134) (1135) (1136) (1137) (1138) (1139) (1140) (1141) (1142) (1143) (1144) (1145) (1146) (1147) (1148) (1149) (1150) (1151) (1152) (1153) (1154) (1155) (1156) (1157) (1158) (1159) (1160) (1161) (1162) (1163) (1164) (1165) (1166) (1167) (1168) (1169) (1170) (1171) (1172) (1173) (1174) (1175) (1176) (1177) (1178) (1179) (1180) (1181) (1182) (1183) (1184) (1185) (1186) (1187) (1188) (1189) (1190) (1191) (1192) (1193) (1194) (1195) (1196) (1197) (1198) (1199) (1200) (1201) (1202) (1203) (1204) (1205) (1206) (1207) (1208) (1209) (1210) (1211) (1212) (1213) (1214) (1215) (1216) (1217) (1218) (1219) (1220) (1221) (1222) (1223) (1224) (1225) (1226) (1227) (1228) (1229) (1230) (1231) (1232) (1233) (1234) (1235) (1236) (1237) (1238) (1239) (1240) (1241) (1242) (1243) (1244) (1245) (1246) (1247) (1248) (1249) (1250) (1251) (1252) (1253) (1254) (1255) (1256) (1257) (1258) (1259) (1260) (1261) (1262) (1263) (1264) (1265) (1266) (1267) (1268) (1269) (1270) (1271) (1272) (1273) (1274) (1275) (1276) (1277) (1278) (1279) (1280) (1281) (1282) (1283) (1284) (1285) (1286) (1287) (1288) (1289) (1290) (1291) (1292) (1293) (1294) (1295) (1296) (1297) (1298) (1299) (1300) (1301) (1302) (1303) (1304) (1305) (1306) (1307) (1308) (1309) (1310) (1311) (1312) (1313) (1314) (1315) (1316) (1317) (1318) (1319) (1320) (1321) (1322) (1323) (1324) (1325) (1326) (1327) (1328) (1329) (1330) (1331) (1332) (1333) (1334) (1335) (1336) (1337) (1338) (1339) (1340) (1341) (1342) (1343) (1344) (1345) (1346) (1347) (1348) (1349) (1350) (1351) (1352) (1353) (1354) (1355) (1356) (1357) (1358) (1359) (1360) (1361) (1362) (1363) (1364) (1365) (1366) (1367) (1368) (1369) (1370) (1371) (1372) (1373) (1374) (1375) (1376) (1377) (1378) (1379) (1380) (1381) (1382) (1383) (1384) (1385) (1386) (1387) (1388) (1389) (1390) (1391) (1392) (1393) (1394) (1395) (1396) (1397) (1398) (1399) (1400) (1401) (1402) (1403) (1404) (1405) (1406) (1407) (1408) (1409) (1410) (1411) (1412) (1413) (1414) (1415) (1416) (1417) (1418) (1419) (1420) (1421) (1422) (1423) (1424) (1425) (1426) (1427) (1428) (1429) (1430) (1431) (1432) (1433) (1434) (1435) (1436) (1437) (1438) (1439) (1440) (1441) (1442) (1443) (1444) (1445) (1446) (1447) (1448) (1449) (1450) (1451) (1452) (1453) (1454) (1455) (1456) (1457) (1458) (1459) (1460) (1461) (1462) (1463) (1464) (1465) (1466) (1467) (1468) (1469) (1470) (1471) (1472) (1473) (1474) (1475) (1476) (1477) (1478) (1479) (1480) (1481) (1482) (1483) (1484) (1485) (1486) (1487) (1488) (1489) (1490) (1491) (1492) (1493) (1494) (1495) (1496) (1497) (1498) (1499) (1500) (1501) (1502) (1503) (1504) (1505) (1506) (1507) (1508) (1509) (1510) (1511) (1512) (1513) (1514) (1515) (1516) (1517) (1518) (1519) (1520) (1521) (1522) (1523) (1524) (1525) (1526) (1527) (1528) (1529) (1530) (1531) (1532) (1533) (1534) (1535) (1536) (1537) (1538) (1539) (1540) (1541) (1542) (1543) (1544) (1545) (1546) (1547) (1548) (1549) (1550) (1551) (1552) (1553) (1554) (1555) (1556) (1557) (1558) (1559) (1560) (1561) (1562) (1563) (1564) (1565) (1566) (1567) (1568) (1569) (1570) (1571) (1572) (1573) (1574) (1575) (1576) (1577) (1578) (1579) (1580) (1581) (1582) (1583) (1584) (1585) (1586) (1587) (1588) (1589) (1590) (1591) (1592) (1593) (1594) (1595) (1596) (1597) (1598) (1599) (1600) (1601) (1602) (1603) (1604) (1605) (1606) (1607) (1608) (1609) (1610) (1611) (1612) (1613) (1614) (1615) (1616) (1617) (1618) (1619) (1620) (1621) (1622) (1623) (1624) (1625) (1626) (1627) (1628) (1629) (1630) (1631) (1632) (1633) (1634) (1635) (1636) (1637) (1638) (1639) (1640) (1641) (1642) (1643) (1644) (1645) (1646) (1647) (1648) (1649) (1650) (1651) (1652) (1653) (1654) (1655) (1656) (1657) (1658) (1659) (1660) (1661) (1662) (1663) (1664) (1665) (1666) (1667) (1668) (1669) (1670) (1671) (1672) (1673) (1674) (1675) (1676) (1677) (1678) (1679) (1680) (1681) (1682) (1683) (1684) (1685) (1686) (1687) (1688) (1689) (1690) (1691) (1692) (1693) (1694) (1695) (1696) (1697) (1698) (1699) (1700) (1701) (1702) (1703) (1704) (1705) (1706) (1707) (1708) (1709) (1710) (1711) (1712) (1713) (1714) (1715) (1716) (1717) (1718) (1719) (1720) (1721) (1722) (1723) (1724) (1725) (1726) (1727) (1728) (1729) (1730) (1731) (1732) (1733) (1734) (1735) (1736) (1737) (1738) (1739) (1740) (1741) (1742) (1743) (1744) (1745) (1746) (1747) (1748) (1749) (1750) (1751) (1752) (1753) (1754) (1755) (1756) (1757) (1758) (1759) (1760) (1761) (1762) (1763) (1764) (1765) (1766) (1767) (1768) (1769) (1770) (1771) (1772) (1773) (1774) (1775) (1776) (1777) (1778) (1779) (1780) (1781) (1782) (1783) (1784) (1785) (1786) (1787) (1788) (1789) (1790) (1791) (1792) (1793) (1794) (1795) (1796) (1797) (1798) (1799) (1800) (1801) (1802) (1803) (1804) (1805) (1806) (1807) (1808) (1809) (1810) (1811) (1812) (1813) (1814) (1815) (1816) (1817) (1818) (1819) (1820) (1821) (1822) (1823) (1824) (1825) (1826) (1827) (1828) (1829) (1830) (1831) (1832) (1833) (1834) (1835) (1836) (1837) (1838) (1839) (1840) (1841) (1842) (1843) (1844) (1845) (1846) (1847) (1848) (1849) (1850) (1851) (1852) (1853) (1854) (1855) (1856) (1857) (1858) (1859) (1860) (1861) (1862) (1863) (1864) (1865) (1866) (1867) (1868) (1869) (1870) (1871) (1872) (1873) (1874) (1875) (1876) (1877) (1878) (1879) (1880) (1881) (1882) (1883) (1884) (1885) (1886) (1887) (1888) (1889) (1890) (1891) (1892) (1893) (1894) (1895) (1896) (1897) (1898) (1899) (1900) (1901) (1902) (1903) (1904) (1905) (1906) (1907) (1908) (1909) (1910) (1911) (1912) (1913) (1914) (1915) (1916) (1917) (1918) (1919) (1920) (1921) (1922) (1923) (1924) (1925) (1926) (1927) (1928) (1929) (1930) (1931) (1932) (1933) (1934) (1935) (1936) (1937) (1938) (1939) (1940) (1941) (1942) (1943) (1944) (1945) (1946) (1947) (1948) (1949) (1950) (1951) (1952) (1953) (1954) (1955) (1956) (1957) (1958) (1959) (1960) (1961) (1962) (1963) (1964) (1965) (1966) (1967) (1968) (1969) (1970) (1971) (1972) (1973) (1974) (1975) (1976) (1977) (1978) (1979) (1980) (1981) (1982) (1983) (1984) (1985) (1986) (1987) (1988) (1989) (1990) (1991) (1992) (1993) (1994) (1995) (1996) (1997) (1998) (1999) (2000) (2001) (2002) (2003) (2004) (2005) (2006) (2007) (2008) (2009) (2010) (2011) (2012) (2013) (2014) (2015) (2016) (2017) (2018) (2019) (2020) (2021) (2022) (2023) (2024) (2025) (2026) (2027) (2028) (2029) (2030) (2031) (2032) (2033) (2034) (2035) (2036) (2037) (2038) (2039) (2040) (2041) (2042) (2043) (2044) (2045) (2046) (2047) (2048) (2049) (2050) (2051) (2052) (2053) (2054) (2055) (2056) (2057) (2058) (2059) (2060) (2061) (2062) (2063) (2064) (2065) (2066) (2067) (2068) (2069) (2070) (2071) (2072) (2073) (2074) (2075) (2076) (2077) (2078) (2079) (2080) (2081) (2082) (2083) (2084) (2085) (2086) (2087) (2088) (2089) (2090) (2091) (2092) (2093												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3 / 4号炉				女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由							
4号炉防護対象設備リスト（原子炉格納容器内設置設備除く）(9/9)				表1 防護対象設備一覧 (18/27)				表1 防護対象設備一覧 (18/35)				【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川・大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違							
系統	設備	設置建屋	設置高さ E.L. + [m]	機能喪失高さ [※] E.L. + [m]	床高 [m]	系統	設備	設置建屋	E.L. + [m]	機能 [※]	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} [m]	個別測定高さ ^{※2} [m]	設定箇所	安全機能	【大飯】 記載方針の相違 設計方針の相違 ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである 「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。 （島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 【女川】 設計方針の相違 安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。
換気空調系	4A, 4Bほう酸ポンプ室温度調節計 (4TC-2601, 2611)	原子炉周辺建屋	10.0	10.70	0.70	原子炉格納容器内系 (3)	保安用圧力(3) 高圧水圧調整弁 (3) (342-1903B)	9-03F-1	原子炉格納容器内系	0.533	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器	B-1格納容器スプレー冷却器						⑤
換気空調系	4ほう酸タンク室温度(1), (2), (3), (4) (4TS-2602, 2603, 2612, 2613)	原子炉周辺建屋	10.0	11.30	1.30	原子炉格納容器内系 (3)	300℃高圧機(3) 高圧水圧調整弁 (3) (342-1903B)	9-03F-4	原子炉格納容器内系	0.713	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器スプレー系	出口C/V外側隔離弁 (3V-CP-013B)	3BB-E-2	原子炉建屋	1.12	1.44	基本	⑤
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン	制御建屋	29.3	29.93	0.63	原子炉格納容器内系 (3)	300℃高圧機(3) 高圧水圧調整弁 (3) (342-1903B)	9-03F-4	原子炉格納容器内系	0.723	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器スプレー系	よう素除去薬品タンク注入 Aライン止め弁 (3V-CP-054A)	3AB-H-1	原子炉補助建屋	0.52	0.42	個別	⑤
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン現場操作箱 (4LB-97, 98)	制御建屋	29.3	30.50	1.20	原子炉格納容器内系 (3)	300℃高圧機(3) 高圧水圧調整弁 (3) (342-1903B)	9-03F-14	原子炉格納容器内系	0.965	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器スプレー系	よう素除去薬品タンク注入 Bライン止め弁 (3V-CP-054B)	3AB-H-1	原子炉補助建屋	0.51	0.42	個別	⑤
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ (4D-VS-602A, B)	制御建屋	29.3	29.65	0.35	原子炉格納容器内系 (3)	300℃高圧機(3) 高圧水圧調整弁 (3) (342-1903B)	9-03F-1	原子炉格納容器内系	2.285	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器スプレー系	よう素除去薬品タンク注入						
換気空調系	4A, 4B中央制御室外気取入流量調節ダンパ (4HCD-2874, 2875)	制御建屋	29.3	29.65	0.35	原子炉格納容器内系 (3)	300℃高圧機(3) 高圧水圧調整弁 (3) (342-1903B)	9-03F-1	原子炉格納容器内系	0.1309 [※]	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器スプレー系	よう素除去薬品タンク注入						
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時外気取入流量調節ダンパ (4HCD-2889, 2890)	制御建屋	29.3	29.68	0.38	原子炉格納容器内系 (3)	300℃高圧機(3) 高圧水圧調整弁 (3) (342-1903B)	9-03F-1	原子炉格納容器内系	0.1309 [※]	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器スプレー系	よう素除去薬品タンク注入						
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時循環流量調節ダンパ (4HCD-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.28	1.98	原子炉格納容器内系 (3)	300℃高圧機(3) 高圧水圧調整弁 (3) (342-1903B)	9-03F-14	原子炉格納容器内系	0.703	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器スプレー系	よう素除去薬品タンク注入						
換気空調系	4A, 4B中央制御室非常用循環ファン出口流量 (4FS-2904, 2905)	制御建屋	26.1	27.42	1.32	原子炉格納容器内系 (3)	300℃高圧機(3) 高圧水圧調整弁 (3) (342-1903B)	9-03F-14	原子炉格納容器内系	0.370	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器スプレー系	よう素除去薬品タンク注入						
換気空調系	4A, 4B中央制御室外気取入調節ダンパ流量設定 (4HC-2874, 2875)	制御建屋	29.3	30.91	1.61	原子炉格納容器内系 (3)	300℃高圧機(3) 高圧水圧調整弁 (3) (342-1903B)	9-03F-14	原子炉格納容器内系	0.370	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器スプレー系	よう素除去薬品タンク注入						
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時外気取入調節ダンパ流量設定 (4HC-2889, 2890)	制御建屋	29.3	30.51	1.21	原子炉格納容器内系 (3)	300℃高圧機(3) 高圧水圧調整弁 (3) (342-1903B)	9-03F-14	原子炉格納容器内系	0.302	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器スプレー系	よう素除去薬品タンク注入						
換気空調系	4A, 4B中央制御室事故時循環ダンパ流量設定 (4HC-2891, 2892)	制御建屋	29.3	31.31	2.01	原子炉格納容器内系 (3)	300℃高圧機(3) 高圧水圧調整弁 (3) (342-1903B)	9-03F-14	原子炉格納容器内系	0.302	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器スプレー系	よう素除去薬品タンク注入						
換気空調系	4A, 4Bアニュラス空気浄化ファン (4VSA, B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.46	0.56	原子炉格納容器内系 (3)	300℃高圧機(3) 高圧水圧調整弁 (3) (342-1903B)	9-03F-14	原子炉格納容器内系	0.745	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器スプレー系	よう素除去薬品タンク注入						
換気空調系	4A, 4Bアニュラス空気浄化ファン現場操作箱 (4LB-52, 53)	原子炉周辺建屋	20.9	22.10	1.20	原子炉格納容器内系 (3)	300℃高圧機(3) 高圧水圧調整弁 (3) (342-1903B)	9-03F-14	原子炉格納容器内系	0.745	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器スプレー系	よう素除去薬品タンク注入						
換気空調系	4A, 4Bアニュラス排気ダンパ (4D-VS-101A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	21.35	0.45	原子炉格納容器内系 (3)	300℃高圧機(3) 高圧水圧調整弁 (3) (342-1903B)	9-03F-14	原子炉格納容器内系	0.745	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器スプレー系	よう素除去薬品タンク注入						
換気空調系	4A, 4Bアニュラス展りダンパ (4D-VS-104A, B)	原子炉周辺建屋	17.1	19.21	2.11	原子炉格納容器内系 (3)	300℃高圧機(3) 高圧水圧調整弁 (3) (342-1903B)	9-03F-14	原子炉格納容器内系	0.745	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器スプレー系	よう素除去薬品タンク注入						
換気空調系	4A, 4Bアニュラス全量排気弁 (4V-VS-102A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	22.98	2.08	原子炉格納容器内系 (3)	300℃高圧機(3) 高圧水圧調整弁 (3) (342-1903B)	9-03F-14	原子炉格納容器内系	0.745	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器スプレー系	よう素除去薬品タンク注入						
換気空調系	4A, 4Bアニュラス少量排気弁 (4V-VS-103A, B)	原子炉周辺建屋	20.9	23.27	2.37	原子炉格納容器内系 (3)	300℃高圧機(3) 高圧水圧調整弁 (3) (342-1903B)	9-03F-14	原子炉格納容器内系	0.745	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩	原子炉格納容器スプレー系	よう素除去薬品タンク注入						

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料4）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																								
	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (19/27)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設備番号</th> <th>設置棟屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>機能^{※2}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高圧炉心スプレィ補給内配水系</td> <td>高圧炉心スプレィ補給内配水ポンプ</td> <td>3P1-3300</td> <td>原子炉建屋</td> <td>4.070</td> <td>②③④⑤</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレィ補給内配水系</td> <td>高圧炉心スプレィ補給内配水ポンプ</td> <td>3P1-3301</td> <td>原子炉建屋</td> <td>4.110[※]</td> <td>②③④⑤</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレィ補給内配水系</td> <td>高圧炉心スプレィ補給内配水ポンプ</td> <td>3P1-3302</td> <td>原子炉建屋</td> <td>4.065</td> <td>②③④⑤</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレィ補給内配水系</td> <td>高圧炉心スプレィ補給内配水ポンプ</td> <td>3P1-3303</td> <td>原子炉建屋</td> <td>4.385</td> <td>②③④⑤</td> </tr> <tr> <td>燃料送給機非常用内配水系(A)</td> <td>燃料送給機非常用内配水系高圧機(C) 制御盤(C)-1</td> <td>3P2-7304</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺</td> </tr> <tr> <td>燃料送給機非常用内配水系(A)</td> <td>燃料送給機非常用内配水系高圧機(C) 制御盤(C)-1</td> <td>3P2-7305</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺</td> </tr> <tr> <td>燃料送給機非常用内配水系(A)</td> <td>燃料送給機非常用内配水系高圧機(A)</td> <td>3P2-3001A</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.115</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺</td> </tr> <tr> <td>燃料送給機非常用内配水系(A)</td> <td>燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)</td> <td>3P2-3001C</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.115</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺</td> </tr> <tr> <td>燃料送給機非常用内配水系(A)</td> <td>燃料送給機非常用内配水系高圧機(A)</td> <td>3P2-3002A</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.220</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺</td> </tr> <tr> <td>燃料送給機非常用内配水系(A)</td> <td>燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)</td> <td>3P2-3002C</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.205</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺</td> </tr> <tr> <td>燃料送給機非常用内配水系(A)</td> <td>燃料送給機非常用内配水系高圧機(A)</td> <td>3P2-3003A</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.180</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺</td> </tr> <tr> <td>燃料送給機非常用内配水系(A)</td> <td>燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)</td> <td>3P2-3003C</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.395</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺</td> </tr> <tr> <td>燃料送給機非常用内配水系(A)</td> <td>燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)</td> <td>3P2-3004C</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.445</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺</td> </tr> <tr> <td>燃料送給機非常用内配水系(A)</td> <td>燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)</td> <td>3P2-3005C</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.490</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺</td> </tr> <tr> <td>燃料送給機非常用内配水系(A)</td> <td>燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)</td> <td>3P2-3006C</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.175</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺</td> </tr> <tr> <td>燃料送給機非常用内配水系(A)</td> <td>燃料送給機非常用内配水系高圧機(C) 制御盤(C)-2</td> <td>3P2-7306</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺</td> </tr> <tr> <td>燃料送給機非常用内配水系(A)</td> <td>燃料送給機非常用内配水系高圧機(C) 制御盤(C)-2</td> <td>3P2-7307</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.000</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺</td> </tr> <tr> <td>燃料送給機非常用内配水系(A)</td> <td>燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)</td> <td>3P2-3007C</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.125</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺</td> </tr> <tr> <td>燃料送給機非常用内配水系(A)</td> <td>燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)</td> <td>3P2-3008C</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.115</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺</td> </tr> <tr> <td>燃料送給機非常用内配水系(A)</td> <td>燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)</td> <td>3P2-3009C</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.220</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺</td> </tr> <tr> <td>燃料送給機非常用内配水系(A)</td> <td>燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)</td> <td>3P2-3010C</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.220</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺</td> </tr> <tr> <td>燃料送給機非常用内配水系(A)</td> <td>燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)</td> <td>3P2-3011C</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.180</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺</td> </tr> <tr> <td>燃料送給機非常用内配水系(A)</td> <td>燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)</td> <td>3P2-3012C</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.435</td> <td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺</td> </tr> </tbody> </table>	系統	設備	設備番号	設置棟屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	機能 ^{※2}	高圧炉心スプレィ補給内配水系	高圧炉心スプレィ補給内配水ポンプ	3P1-3300	原子炉建屋	4.070	②③④⑤	高圧炉心スプレィ補給内配水系	高圧炉心スプレィ補給内配水ポンプ	3P1-3301	原子炉建屋	4.110 [※]	②③④⑤	高圧炉心スプレィ補給内配水系	高圧炉心スプレィ補給内配水ポンプ	3P1-3302	原子炉建屋	4.065	②③④⑤	高圧炉心スプレィ補給内配水系	高圧炉心スプレィ補給内配水ポンプ	3P1-3303	原子炉建屋	4.385	②③④⑤	燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C) 制御盤(C)-1	3P2-7304	原子炉建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C) 制御盤(C)-1	3P2-7305	原子炉建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(A)	3P2-3001A	原子炉建屋	0.115	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3001C	原子炉建屋	0.115	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(A)	3P2-3002A	原子炉建屋	0.220	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3002C	原子炉建屋	0.205	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(A)	3P2-3003A	原子炉建屋	0.180	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3003C	原子炉建屋	0.395	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3004C	原子炉建屋	0.445	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3005C	原子炉建屋	0.490	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3006C	原子炉建屋	1.175	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C) 制御盤(C)-2	3P2-7306	原子炉建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C) 制御盤(C)-2	3P2-7307	原子炉建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3007C	原子炉建屋	0.125	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3008C	原子炉建屋	0.115	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3009C	原子炉建屋	0.220	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3010C	原子炉建屋	0.220	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3011C	原子炉建屋	0.180	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3012C	原子炉建屋	0.435	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (19/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置棟屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉格納容器スプレィ系</td> <td>格納容器圧力(V)(3PT-090)</td> <td>3B0-F-2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.85</td> <td>1.12</td> <td>基本</td> <td>②③</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水浄化冷却系</td> <td>A-使用済燃料ピットポンプ(3SFP1A)</td> <td>3B0-H-7</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.69</td> <td>0.75</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水浄化冷却系</td> <td>B-使用済燃料ピットポンプ(3SFP1B)</td> <td>3B0-H-7</td> <td>原子炉建屋</td> <td>0.69</td> <td>0.76</td> <td>基本</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系</td> <td>A-高圧注入ポンプ(3SIP1A)</td> <td>3AB-L-8(3AB-L-9)</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.33</td> <td>0.32</td> <td>個別</td> <td>②④</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系</td> <td>B-高圧注入ポンプ(3SIP1B)</td> <td>3AB-L-2(3AB-L-3)</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.33</td> <td>0.32</td> <td>個別</td> <td>②④</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系</td> <td>A-高圧注入ポンプ燃料取替用</td> <td>3AB-H-9</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>1.84</td> <td>個別</td> <td>②④⑤</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系</td> <td>B-高圧注入ポンプ燃料取替用</td> <td>3AB-H-2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>1.84</td> <td>個別</td> <td>②④⑤</td> </tr> <tr> <td>高圧注入系</td> <td>A-高圧注入ポンプ第1ミニローザ(3V-SI-014A)</td> <td>3AB-K-22</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.72</td> <td>0.72</td> <td>基本</td> <td>②④</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：洪水により機能喪失する床面からの高さ</p> <p>①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能</p> <p>⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置棟屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	原子炉格納容器スプレィ系	格納容器圧力(V)(3PT-090)	3B0-F-2	原子炉建屋	0.85	1.12	基本	②③	使用済燃料ピット水浄化冷却系	A-使用済燃料ピットポンプ(3SFP1A)	3B0-H-7	原子炉建屋	0.69	0.75	基本	⑤	使用済燃料ピット水浄化冷却系	B-使用済燃料ピットポンプ(3SFP1B)	3B0-H-7	原子炉建屋	0.69	0.76	基本	⑤	高圧注入系	A-高圧注入ポンプ(3SIP1A)	3AB-L-8(3AB-L-9)	原子炉補助建屋	0.33	0.32	個別	②④	高圧注入系	B-高圧注入ポンプ(3SIP1B)	3AB-L-2(3AB-L-3)	原子炉補助建屋	0.33	0.32	個別	②④	高圧注入系	A-高圧注入ポンプ燃料取替用	3AB-H-9	原子炉補助建屋	0.80	1.84	個別	②④⑤	高圧注入系	B-高圧注入ポンプ燃料取替用	3AB-H-2	原子炉補助建屋	0.80	1.84	個別	②④⑤	高圧注入系	A-高圧注入ポンプ第1ミニローザ(3V-SI-014A)	3AB-K-22	原子炉補助建屋	0.72	0.72	基本	②④	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	設備番号	設置棟屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	機能 ^{※2}																																																																																																																																																																																																																						
高圧炉心スプレィ補給内配水系	高圧炉心スプレィ補給内配水ポンプ	3P1-3300	原子炉建屋	4.070	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																						
高圧炉心スプレィ補給内配水系	高圧炉心スプレィ補給内配水ポンプ	3P1-3301	原子炉建屋	4.110 [※]	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																						
高圧炉心スプレィ補給内配水系	高圧炉心スプレィ補給内配水ポンプ	3P1-3302	原子炉建屋	4.065	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																						
高圧炉心スプレィ補給内配水系	高圧炉心スプレィ補給内配水ポンプ	3P1-3303	原子炉建屋	4.385	②③④⑤																																																																																																																																																																																																																						
燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C) 制御盤(C)-1	3P2-7304	原子炉建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺																																																																																																																																																																																																																						
燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C) 制御盤(C)-1	3P2-7305	原子炉建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺																																																																																																																																																																																																																						
燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(A)	3P2-3001A	原子炉建屋	0.115	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺																																																																																																																																																																																																																						
燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3001C	原子炉建屋	0.115	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺																																																																																																																																																																																																																						
燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(A)	3P2-3002A	原子炉建屋	0.220	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺																																																																																																																																																																																																																						
燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3002C	原子炉建屋	0.205	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺																																																																																																																																																																																																																						
燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(A)	3P2-3003A	原子炉建屋	0.180	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺																																																																																																																																																																																																																						
燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3003C	原子炉建屋	0.395	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺																																																																																																																																																																																																																						
燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3004C	原子炉建屋	0.445	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺																																																																																																																																																																																																																						
燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3005C	原子炉建屋	0.490	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺																																																																																																																																																																																																																						
燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3006C	原子炉建屋	1.175	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺																																																																																																																																																																																																																						
燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C) 制御盤(C)-2	3P2-7306	原子炉建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺																																																																																																																																																																																																																						
燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C) 制御盤(C)-2	3P2-7307	原子炉建屋	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺																																																																																																																																																																																																																						
燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3007C	原子炉建屋	0.125	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺																																																																																																																																																																																																																						
燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3008C	原子炉建屋	0.115	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺																																																																																																																																																																																																																						
燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3009C	原子炉建屋	0.220	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺																																																																																																																																																																																																																						
燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3010C	原子炉建屋	0.220	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺																																																																																																																																																																																																																						
燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3011C	原子炉建屋	0.180	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺																																																																																																																																																																																																																						
燃料送給機非常用内配水系(A)	燃料送給機非常用内配水系高圧機(C)	3P2-3012C	原子炉建屋	0.435	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺																																																																																																																																																																																																																						
系統	設備	区画番号	設置棟屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																				
原子炉格納容器スプレィ系	格納容器圧力(V)(3PT-090)	3B0-F-2	原子炉建屋	0.85	1.12	基本	②③																																																																																																																																																																																																																				
使用済燃料ピット水浄化冷却系	A-使用済燃料ピットポンプ(3SFP1A)	3B0-H-7	原子炉建屋	0.69	0.75	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																				
使用済燃料ピット水浄化冷却系	B-使用済燃料ピットポンプ(3SFP1B)	3B0-H-7	原子炉建屋	0.69	0.76	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																				
高圧注入系	A-高圧注入ポンプ(3SIP1A)	3AB-L-8(3AB-L-9)	原子炉補助建屋	0.33	0.32	個別	②④																																																																																																																																																																																																																				
高圧注入系	B-高圧注入ポンプ(3SIP1B)	3AB-L-2(3AB-L-3)	原子炉補助建屋	0.33	0.32	個別	②④																																																																																																																																																																																																																				
高圧注入系	A-高圧注入ポンプ燃料取替用	3AB-H-9	原子炉補助建屋	0.80	1.84	個別	②④⑤																																																																																																																																																																																																																				
高圧注入系	B-高圧注入ポンプ燃料取替用	3AB-H-2	原子炉補助建屋	0.80	1.84	個別	②④⑤																																																																																																																																																																																																																				
高圧注入系	A-高圧注入ポンプ第1ミニローザ(3V-SI-014A)	3AB-K-22	原子炉補助建屋	0.72	0.72	基本	②④																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																												
	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (22/27)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置階層</th> <th>E.L¹⁾(m)</th> <th>機能²⁾</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>非常用DC(A)</td><td>120V 直流発電機(パワーセンタ)2 (3&2-P053A)</td><td>C-02-F-4</td><td>制御棟</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用DC(A)</td><td>120V 発電機2 (3&2-P053B)</td><td>C-02-F-4</td><td>制御棟</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用DC(A)</td><td>120V 直流主母線(3&2)1 (3&2-P053A)</td><td>C-02-F-4</td><td>制御棟</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用DC(A)</td><td>120V 直流主母線(3&2)2 (3&2-P053B)</td><td>C-02-F-4</td><td>制御棟</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用DC(A)</td><td>120V 直流分電盤(3&2)1 (3&2-P051)</td><td>C-02-F-4</td><td>制御棟</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用DC(A)</td><td>120V 直流分電盤(3&2)2 (3&2-P052)</td><td>3F-2F-2-2</td><td>制御棟(付) (非常用圧力)</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用DC(B)</td><td>120V 制御電機 (1)</td><td>C-02-F-4</td><td>制御棟</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用DC(B)</td><td>120V 直流発電機(パワーセンタ)2 (3&2-P053A)</td><td>C-02-F-4</td><td>制御棟</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用DC(B)</td><td>120V 発電機2 (3&2-P053B)</td><td>C-02-F-4</td><td>制御棟</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用DC(B)</td><td>120V 直流主母線(3&2)1 (3&2-P053A)</td><td>C-02-F-4</td><td>制御棟</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用DC(B)</td><td>120V 直流主母線(3&2)2 (3&2-P053B)</td><td>C-02-F-4</td><td>制御棟</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用DC(B)</td><td>120V 直流分電盤(3&2)1 (3&2-P051)</td><td>C-02-F-4</td><td>制御棟</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用DC(B)</td><td>120V 直流分電盤(3&2)2 (3&2-P052)</td><td>3F-2F-2-2</td><td>制御棟(付) (非常用圧力)</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用DC(B)PC</td><td>120V 制御電機 (1)</td><td>B-02-F-4</td><td>原子炉建屋 行機</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用DC(B)PC</td><td>120V 発電機2 (3&2-P053B)</td><td>B-02-F-4</td><td>原子炉建屋 行機</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用DC(B)PC</td><td>120V 直流主母線(3&2)1 (3&2-P053A)</td><td>B-02-F-4</td><td>原子炉建屋 行機</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用DC(B)PC</td><td>120V 直流主母線(3&2)2 (3&2-P053B)</td><td>B-02-F-4</td><td>原子炉建屋 行機</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用DC(B)PC</td><td>120V 直流分電盤(3&2)1 (3&2-P051)</td><td>B-02-F-4</td><td>原子炉建屋 行機</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用DC(B)PC</td><td>120V 直流分電盤(3&2)2 (3&2-P052)</td><td>B-02-F-4</td><td>原子炉建屋 行機</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td><td>非常用ディーゼル発電機(3相)2台内装型 (3&2-P225A)</td><td>B-1F-13</td><td>原子炉建屋 行機</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td><td>非常用ディーゼル発電機(3相)2台内装型 (3&2-P225B)</td><td>B-1F-13</td><td>原子炉建屋 行機</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td><td>非常用ディーゼル発電機(3相)2台自動調整型 (3&2-P225A)</td><td>B-1F-13</td><td>原子炉建屋 行機</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td><td>非常用ディーゼル発電機(3相)2台自動調整型 (3&2-P225B)</td><td>B-1F-13</td><td>原子炉建屋 行機</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td><td>非常用ディーゼル発電機(3相)2台制御型 (3&2-P225A)</td><td>B-1F-13</td><td>原子炉建屋 行機</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (A)</td><td>非常用ディーゼル発電機(3相)2台制御型 (3&2-P225B)</td><td>B-1F-13</td><td>原子炉建屋 行機</td><td>0.000</td><td>②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：床面より機能喪失する床面からの高さ（床上面より0.000を考慮） ※2：①緊急停止機能 ②水漏れ検知機能 ③温度検知機能 ④圧力検知機能 ⑤圧力変動検知機能 ⑥圧力変動検知機能 ⑦圧力変動検知機能 ⑧圧力変動検知機能 ⑨圧力変動検知機能 ⑩圧力変動検知機能 ⑪圧力変動検知機能 ⑫圧力変動検知機能 ⑬圧力変動検知機能 ⑭圧力変動検知機能 ⑮圧力変動検知機能 ⑯圧力変動検知機能 ⑰圧力変動検知機能 ⑱圧力変動検知機能 ⑲圧力変動検知機能 ⑳圧力変動検知機能 ㉑圧力変動検知機能 ㉒圧力変動検知機能 ㉓圧力変動検知機能 ㉔圧力変動検知機能 ㉕圧力変動検知機能 ㉖圧力変動検知機能 ㉗圧力変動検知機能 ㉘圧力変動検知機能 ㉙圧力変動検知機能 ㉚圧力変動検知機能 ㉛圧力変動検知機能 ㉜圧力変動検知機能 ㉝圧力変動検知機能 ㉞圧力変動検知機能 ㉟圧力変動検知機能 ㊱圧力変動検知機能 ㊲圧力変動検知機能 ㊳圧力変動検知機能 ㊴圧力変動検知機能 ㊵圧力変動検知機能 ㊶圧力変動検知機能 ㊷圧力変動検知機能 ㊸圧力変動検知機能 ㊹圧力変動検知機能 ㊺圧力変動検知機能 ㊻圧力変動検知機能 ㊼圧力変動検知機能 ㊽圧力変動検知機能 ㊾圧力変動検知機能 ㊿圧力変動検知機能</p>	系統	設備	区画番号	設置階層	E.L ¹⁾ (m)	機能 ²⁾	非常用DC(A)	120V 直流発電機(パワーセンタ)2 (3&2-P053A)	C-02-F-4	制御棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用DC(A)	120V 発電機2 (3&2-P053B)	C-02-F-4	制御棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用DC(A)	120V 直流主母線(3&2)1 (3&2-P053A)	C-02-F-4	制御棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用DC(A)	120V 直流主母線(3&2)2 (3&2-P053B)	C-02-F-4	制御棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用DC(A)	120V 直流分電盤(3&2)1 (3&2-P051)	C-02-F-4	制御棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用DC(A)	120V 直流分電盤(3&2)2 (3&2-P052)	3F-2F-2-2	制御棟(付) (非常用圧力)	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用DC(B)	120V 制御電機 (1)	C-02-F-4	制御棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用DC(B)	120V 直流発電機(パワーセンタ)2 (3&2-P053A)	C-02-F-4	制御棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用DC(B)	120V 発電機2 (3&2-P053B)	C-02-F-4	制御棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用DC(B)	120V 直流主母線(3&2)1 (3&2-P053A)	C-02-F-4	制御棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用DC(B)	120V 直流主母線(3&2)2 (3&2-P053B)	C-02-F-4	制御棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用DC(B)	120V 直流分電盤(3&2)1 (3&2-P051)	C-02-F-4	制御棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用DC(B)	120V 直流分電盤(3&2)2 (3&2-P052)	3F-2F-2-2	制御棟(付) (非常用圧力)	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用DC(B)PC	120V 制御電機 (1)	B-02-F-4	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用DC(B)PC	120V 発電機2 (3&2-P053B)	B-02-F-4	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用DC(B)PC	120V 直流主母線(3&2)1 (3&2-P053A)	B-02-F-4	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用DC(B)PC	120V 直流主母線(3&2)2 (3&2-P053B)	B-02-F-4	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用DC(B)PC	120V 直流分電盤(3&2)1 (3&2-P051)	B-02-F-4	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用DC(B)PC	120V 直流分電盤(3&2)2 (3&2-P052)	B-02-F-4	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル発電機(3相)2台内装型 (3&2-P225A)	B-1F-13	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル発電機(3相)2台内装型 (3&2-P225B)	B-1F-13	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル発電機(3相)2台自動調整型 (3&2-P225A)	B-1F-13	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル発電機(3相)2台自動調整型 (3&2-P225B)	B-1F-13	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル発電機(3相)2台制御型 (3&2-P225A)	B-1F-13	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル発電機(3相)2台制御型 (3&2-P225B)	B-1F-13	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (22/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置階層</th> <th>基本設定高さ^{※1)}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2)}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>主蒸気</td><td>B-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528B)</td><td>3B-B-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>7.12</td><td>7.57</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>C-主蒸気隔離弁 (3V-MS-628C)</td><td>3B-B-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>7.12</td><td>7.58</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>A-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)</td><td>3B-C-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>0.60</td><td>0.63</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>B-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)</td><td>3B-C-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>0.60</td><td>0.63</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>C-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)</td><td>3B-C-N51</td><td>原子炉建屋</td><td>0.60</td><td>0.63</td><td>基本</td><td>③⑤</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>A-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-465)</td><td>3B-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>A-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-466)</td><td>3B-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>A-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-467)</td><td>3B-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>A-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-468)</td><td>3B-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.80</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>B-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-475)</td><td>3B-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>B-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-476)</td><td>3B-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>B-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-477)</td><td>3B-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気</td><td>B-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-478)</td><td>3B-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急時停止機能 ②水漏れ検知機能 ③炉心冷却機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射線物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置階層	基本設定高さ ^{※1)} (m)	個別測定高さ ^{※2)} (m)	設定箇所	安全機能	主蒸気	B-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528B)	3B-B-N51	原子炉建屋	7.12	7.57	基本	③⑤	主蒸気	C-主蒸気隔離弁 (3V-MS-628C)	3B-B-N51	原子炉建屋	7.12	7.58	基本	③⑤	主蒸気	A-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)	3B-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	③⑤	主蒸気	B-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)	3B-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	③⑤	主蒸気	C-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)	3B-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	③⑤	主蒸気	A-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-465)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	主蒸気	A-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-466)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	主蒸気	A-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-467)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	主蒸気	A-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-468)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.80	個別	③⑦	主蒸気	B-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-475)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	主蒸気	B-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-476)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	主蒸気	B-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-477)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	主蒸気	B-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-478)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置階層	E.L ¹⁾ (m)	機能 ²⁾																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用DC(A)	120V 直流発電機(パワーセンタ)2 (3&2-P053A)	C-02-F-4	制御棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用DC(A)	120V 発電機2 (3&2-P053B)	C-02-F-4	制御棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用DC(A)	120V 直流主母線(3&2)1 (3&2-P053A)	C-02-F-4	制御棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用DC(A)	120V 直流主母線(3&2)2 (3&2-P053B)	C-02-F-4	制御棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用DC(A)	120V 直流分電盤(3&2)1 (3&2-P051)	C-02-F-4	制御棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用DC(A)	120V 直流分電盤(3&2)2 (3&2-P052)	3F-2F-2-2	制御棟(付) (非常用圧力)	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用DC(B)	120V 制御電機 (1)	C-02-F-4	制御棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用DC(B)	120V 直流発電機(パワーセンタ)2 (3&2-P053A)	C-02-F-4	制御棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用DC(B)	120V 発電機2 (3&2-P053B)	C-02-F-4	制御棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用DC(B)	120V 直流主母線(3&2)1 (3&2-P053A)	C-02-F-4	制御棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用DC(B)	120V 直流主母線(3&2)2 (3&2-P053B)	C-02-F-4	制御棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用DC(B)	120V 直流分電盤(3&2)1 (3&2-P051)	C-02-F-4	制御棟	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用DC(B)	120V 直流分電盤(3&2)2 (3&2-P052)	3F-2F-2-2	制御棟(付) (非常用圧力)	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用DC(B)PC	120V 制御電機 (1)	B-02-F-4	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用DC(B)PC	120V 発電機2 (3&2-P053B)	B-02-F-4	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用DC(B)PC	120V 直流主母線(3&2)1 (3&2-P053A)	B-02-F-4	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用DC(B)PC	120V 直流主母線(3&2)2 (3&2-P053B)	B-02-F-4	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用DC(B)PC	120V 直流分電盤(3&2)1 (3&2-P051)	B-02-F-4	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用DC(B)PC	120V 直流分電盤(3&2)2 (3&2-P052)	B-02-F-4	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル発電機(3相)2台内装型 (3&2-P225A)	B-1F-13	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル発電機(3相)2台内装型 (3&2-P225B)	B-1F-13	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル発電機(3相)2台自動調整型 (3&2-P225A)	B-1F-13	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル発電機(3相)2台自動調整型 (3&2-P225B)	B-1F-13	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル発電機(3相)2台制御型 (3&2-P225A)	B-1F-13	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
非常用ディーゼル発電設備 (A)	非常用ディーゼル発電機(3相)2台制御型 (3&2-P225B)	B-1F-13	原子炉建屋 行機	0.000	②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																										
系統	設備	区画番号	設置階層	基本設定高さ ^{※1)} (m)	個別測定高さ ^{※2)} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																																								
主蒸気	B-主蒸気隔離弁 (3V-MS-528B)	3B-B-N51	原子炉建屋	7.12	7.57	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																																								
主蒸気	C-主蒸気隔離弁 (3V-MS-628C)	3B-B-N51	原子炉建屋	7.12	7.58	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																																								
主蒸気	A-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)	3B-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																																								
主蒸気	B-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)	3B-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																																								
主蒸気	C-主蒸気隔離弁 (付属パネル) (一)	3B-C-N51	原子炉建屋	0.60	0.63	基本	③⑤																																																																																																																																																																																																																																																																								
主蒸気	A-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-465)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																																								
主蒸気	A-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-466)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																																								
主蒸気	A-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-467)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																																								
主蒸気	A-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-468)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.80	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																																								
主蒸気	B-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-475)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																																								
主蒸気	B-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-476)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																																								
主蒸気	B-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-477)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																																								
主蒸気	B-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-478)	3B-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																																								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (23/27)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設備番号</th> <th>設置場所</th> <th>と、L²(m)</th> <th>機能^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070A)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070B)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070C)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070D)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070E)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070F)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070G)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070H)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070I)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070J)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070K)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070L)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070M)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070N)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070O)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070P)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070Q)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070R)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070S)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070T)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070U)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070V)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070W)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070X)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070Y)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> <tr><td>圧縮空気システム</td><td>圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070Z)</td><td>0-102-4</td><td>原子炉建屋 行機構</td><td>0.900</td><td>②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿</td></tr> </tbody> </table>	系統	設備	設備番号	設置場所	と、L ² (m)	機能 ^{※1}	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070A)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070B)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070C)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070D)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070E)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070F)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070G)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070H)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070I)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070J)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070K)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070L)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070M)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070N)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070O)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070P)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070Q)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070R)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070S)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070T)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070U)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070V)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070W)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070X)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070Y)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070Z)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (23/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定 高さ^{※1} (m)</th> <th>個別測定 高さ^{※2} (m)</th> <th>設定 箇所</th> <th>安全 機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>主蒸気系</td><td>C-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-485)</td><td>3B5-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気系</td><td>C-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-486)</td><td>3B5-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気系</td><td>C-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-487)</td><td>3B5-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>主蒸気系</td><td>C-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-488)</td><td>3B5-C-N1</td><td>原子炉建屋</td><td>1.03</td><td>0.79</td><td>個別</td><td>③⑦</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-エアユラス空気浄化ファン (3VSP9A)</td><td>3B5-C-2</td><td>原子炉建屋</td><td>0.15</td><td>1.10</td><td>基本</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-エアユラス空気浄化ファン (3VSP9B)</td><td>3B5-C-2</td><td>原子炉建屋</td><td>0.15</td><td>1.10</td><td>基本</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-エアユラス排気ダンパ (3D-VS-101A)</td><td>3B5-C-2</td><td>原子炉建屋</td><td>4.55</td><td>4.02</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-エアユラス排気ダンパ (3D-VS-101B)</td><td>3B5-C-2</td><td>原子炉建屋</td><td>4.55</td><td>4.02</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-エアユラス戻りダンパ (3PCD-2373)</td><td>3B5-B-3</td><td>原子炉建屋</td><td>5.40</td><td>4.86</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-エアユラス戻りダンパ (3PCD-2393)</td><td>3B5-B-3</td><td>原子炉建屋</td><td>5.40</td><td>4.86</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-エアユラス戻りダンパ流量 設定器 (3HC-2373)</td><td>3B5-B-2</td><td>原子炉建屋</td><td>1.44</td><td>1.44</td><td>基本</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-エアユラス戻りダンパ流量 設定器 (3HC-2393)</td><td>3B5-B-2</td><td>原子炉建屋</td><td>1.44</td><td>1.44</td><td>基本</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-エアユラス全量排気弁 (3V-VS-102A)</td><td>3B5-B-4</td><td>原子炉建屋</td><td>4.17</td><td>4.16</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <p>①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能</p> <p>⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定 高さ ^{※1} (m)	個別測定 高さ ^{※2} (m)	設定 箇所	安全 機能	主蒸気系	C-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-485)	3B5-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	主蒸気系	C-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-486)	3B5-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	主蒸気系	C-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-487)	3B5-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	主蒸気系	C-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-488)	3B5-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦	換気空調系	A-エアユラス空気浄化ファン (3VSP9A)	3B5-C-2	原子炉建屋	0.15	1.10	基本	⑤	換気空調系	B-エアユラス空気浄化ファン (3VSP9B)	3B5-C-2	原子炉建屋	0.15	1.10	基本	⑤	換気空調系	A-エアユラス排気ダンパ (3D-VS-101A)	3B5-C-2	原子炉建屋	4.55	4.02	個別	⑤	換気空調系	B-エアユラス排気ダンパ (3D-VS-101B)	3B5-C-2	原子炉建屋	4.55	4.02	個別	⑤	換気空調系	A-エアユラス戻りダンパ (3PCD-2373)	3B5-B-3	原子炉建屋	5.40	4.86	個別	⑤	換気空調系	B-エアユラス戻りダンパ (3PCD-2393)	3B5-B-3	原子炉建屋	5.40	4.86	個別	⑤	換気空調系	A-エアユラス戻りダンパ流量 設定器 (3HC-2373)	3B5-B-2	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑤	換気空調系	B-エアユラス戻りダンパ流量 設定器 (3HC-2393)	3B5-B-2	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑤	換気空調系	A-エアユラス全量排気弁 (3V-VS-102A)	3B5-B-4	原子炉建屋	4.17	4.16	個別	⑤	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	設備番号	設置場所	と、L ² (m)	機能 ^{※1}																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070A)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070B)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070C)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070D)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070E)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070F)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070G)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070H)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070I)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070J)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070K)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070L)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070M)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070N)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070O)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070P)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070Q)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070R)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070S)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070T)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070U)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070V)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070W)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070X)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070Y)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
圧縮空気システム	圧縮空気システム圧力監視装置 (303-1070Z)	0-102-4	原子炉建屋 行機構	0.900	②④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿																																																																																																																																																																																																																																																																																
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定 高さ ^{※1} (m)	個別測定 高さ ^{※2} (m)	設定 箇所	安全 機能																																																																																																																																																																																																																																																																														
主蒸気系	C-主蒸気ライン圧力 (I) (3PT-485)	3B5-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																																														
主蒸気系	C-主蒸気ライン圧力 (II) (3PT-486)	3B5-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																																														
主蒸気系	C-主蒸気ライン圧力 (III) (3PT-487)	3B5-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																																														
主蒸気系	C-主蒸気ライン圧力 (IV) (3PT-488)	3B5-C-N1	原子炉建屋	1.03	0.79	個別	③⑦																																																																																																																																																																																																																																																																														
換気空調系	A-エアユラス空気浄化ファン (3VSP9A)	3B5-C-2	原子炉建屋	0.15	1.10	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-エアユラス空気浄化ファン (3VSP9B)	3B5-C-2	原子炉建屋	0.15	1.10	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																														
換気空調系	A-エアユラス排気ダンパ (3D-VS-101A)	3B5-C-2	原子炉建屋	4.55	4.02	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-エアユラス排気ダンパ (3D-VS-101B)	3B5-C-2	原子炉建屋	4.55	4.02	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																														
換気空調系	A-エアユラス戻りダンパ (3PCD-2373)	3B5-B-3	原子炉建屋	5.40	4.86	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-エアユラス戻りダンパ (3PCD-2393)	3B5-B-3	原子炉建屋	5.40	4.86	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																														
換気空調系	A-エアユラス戻りダンパ流量 設定器 (3HC-2373)	3B5-B-2	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-エアユラス戻りダンパ流量 設定器 (3HC-2393)	3B5-B-2	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																														
換気空調系	A-エアユラス全量排気弁 (3V-VS-102A)	3B5-B-4	原子炉建屋	4.17	4.16	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																						
	<p>表1 防護対象設備一覧 (25/27)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設備番号</th> <th>設置場所</th> <th>SL^{※1}(m)</th> <th>機能^{※2}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>機関連検度 (3) ボジションスイッチ (3K3-F5236)</td><td>0-27-16</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.20</td><td>①②③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>燃料ハンドレボルト機取巻 (3) ボジションスイッチ (3K3-F5236)</td><td>0-27-16</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.20</td><td>①②③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>機関付巻上げポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-F5238-1)</td><td>0-27-16</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>1.65</td><td>①②③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>機関付巻上げポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-F5238-2)</td><td>0-27-16</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>1.65</td><td>①②③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>機関 (3) 入口潤滑油圧力スイッチ (3K3-F5107B-1)</td><td>0-27-16</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>1.05</td><td>①②③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>機関 (3) 入口潤滑油圧力スイッチ (3K3-F5107B-2)</td><td>0-27-16</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>1.05</td><td>①②③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>発電機 (3) (3) 過電流保護 (3K3-F5240)</td><td>0-27-16</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.20</td><td>①②③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>3/5 (3) 第一起動弁 (3K3-30-F312)</td><td>0-27-16</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.22</td><td>①②③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>3/5 (3) 第二起動弁 (3K3-30-F313)</td><td>0-27-16</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.22</td><td>①②③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>3/5 (3) 第一停止弁 (3K3-30-F314)</td><td>0-27-16</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.22</td><td>①②③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>3/5 (3) 第二停止弁 (3K3-30-F315)</td><td>0-27-16</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.22</td><td>①②③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>機関 (3) (3) 12 ディーゼル油母液温度スイッチ (3K3-F5246)</td><td>0-27-16</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>1.65</td><td>①②③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>機関付ハンドレボルトポンプ (3) 入口流量スイッチ (3K3-F5247)</td><td>0-27-16</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>1.65</td><td>①②③④⑤⑥</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>MPS 3系発電用ディーゼル発電機 制御装置 (3K3-F524)</td><td>0-14-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.00</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>MPS 3系発電用ディーゼル発電機 燃料制御装置 (3K3-F524)</td><td>0-14-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.00</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>MPS 3系発電用ディーゼル発電機 自動燃焼調整装置 (3K3-F524)</td><td>0-14-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.00</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>MPS 3系発電用ディーゼル発電機 燃料調整装置 (3K3-F524)</td><td>0-14-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.00</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>MPS 3系発電用ディーゼル発電機 制御装置 (3K3-F524)</td><td>0-14-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.00</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>MPS 3系発電用ディーゼル発電機 N4装置 (3K3-F524)</td><td>0-14-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.00</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>MPS 3系発電用ディーゼル発電機 N5装置 (3K3-F524)</td><td>0-14-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.00</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>MPS 3系発電用ディーゼル発電機 P7装置 (3K3-F524)</td><td>0-14-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.00</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>MPS 3系発電用ディーゼル発電機 P7装置 (3K3-F524)</td><td>0-14-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.00</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>MPS 3系発電用ディーゼル発電機 P7装置 (3K3-F524)</td><td>0-14-15</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.00</td><td>①②③④</td></tr> <tr><td>発電用ディーゼル発電設備 (3)</td><td>排水加熱器 (3K4-3002)</td><td>0-27-16</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.20</td><td>①②③④</td></tr> </tbody> </table>	系統	設備	設備番号	設置場所	SL ^{※1} (m)	機能 ^{※2}	発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関連検度 (3) ボジションスイッチ (3K3-F5236)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	0.20	①②③④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (3)	燃料ハンドレボルト機取巻 (3) ボジションスイッチ (3K3-F5236)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	0.20	①②③④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関付巻上げポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-F5238-1)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	1.65	①②③④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関付巻上げポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-F5238-2)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	1.65	①②③④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関 (3) 入口潤滑油圧力スイッチ (3K3-F5107B-1)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	1.05	①②③④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関 (3) 入口潤滑油圧力スイッチ (3K3-F5107B-2)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	1.05	①②③④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (3)	発電機 (3) (3) 過電流保護 (3K3-F5240)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	0.20	①②③④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (3)	3/5 (3) 第一起動弁 (3K3-30-F312)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	0.22	①②③④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (3)	3/5 (3) 第二起動弁 (3K3-30-F313)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	0.22	①②③④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (3)	3/5 (3) 第一停止弁 (3K3-30-F314)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	0.22	①②③④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (3)	3/5 (3) 第二停止弁 (3K3-30-F315)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	0.22	①②③④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関 (3) (3) 12 ディーゼル油母液温度スイッチ (3K3-F5246)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	1.65	①②③④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関付ハンドレボルトポンプ (3) 入口流量スイッチ (3K3-F5247)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	1.65	①②③④⑤⑥	発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPS 3系発電用ディーゼル発電機 制御装置 (3K3-F524)	0-14-15	原子炉建屋 行機庫	0.00	①②③④	発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPS 3系発電用ディーゼル発電機 燃料制御装置 (3K3-F524)	0-14-15	原子炉建屋 行機庫	0.00	①②③④	発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPS 3系発電用ディーゼル発電機 自動燃焼調整装置 (3K3-F524)	0-14-15	原子炉建屋 行機庫	0.00	①②③④	発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPS 3系発電用ディーゼル発電機 燃料調整装置 (3K3-F524)	0-14-15	原子炉建屋 行機庫	0.00	①②③④	発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPS 3系発電用ディーゼル発電機 制御装置 (3K3-F524)	0-14-15	原子炉建屋 行機庫	0.00	①②③④	発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPS 3系発電用ディーゼル発電機 N4装置 (3K3-F524)	0-14-15	原子炉建屋 行機庫	0.00	①②③④	発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPS 3系発電用ディーゼル発電機 N5装置 (3K3-F524)	0-14-15	原子炉建屋 行機庫	0.00	①②③④	発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPS 3系発電用ディーゼル発電機 P7装置 (3K3-F524)	0-14-15	原子炉建屋 行機庫	0.00	①②③④	発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPS 3系発電用ディーゼル発電機 P7装置 (3K3-F524)	0-14-15	原子炉建屋 行機庫	0.00	①②③④	発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPS 3系発電用ディーゼル発電機 P7装置 (3K3-F524)	0-14-15	原子炉建屋 行機庫	0.00	①②③④	発電用ディーゼル発電設備 (3)	排水加熱器 (3K4-3002)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	0.20	①②③④	<p>表1 防護対象設備一覧 (25/35)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置場所</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>換気空調系</td><td>A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9A)</td><td>3B8-F-N10</td><td>原子炉建屋</td><td>0.20</td><td>0.19</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9B)</td><td>3B8-F-N10</td><td>原子炉建屋</td><td>0.20</td><td>0.19</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>C-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9C)</td><td>3B8-F-N8</td><td>原子炉建屋</td><td>0.20</td><td>0.19</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>D-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9D)</td><td>3B8-F-N8</td><td>原子炉建屋</td><td>0.20</td><td>0.19</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ (3HCD-2741)</td><td>3B8-F-N10</td><td>原子炉建屋</td><td>5.07</td><td>4.11</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ (3HCD-2742)</td><td>3B8-F-N8</td><td>原子炉建屋</td><td>5.07</td><td>4.11</td><td>個別</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2741)</td><td>3B8-F-N10</td><td>原子炉建屋</td><td>1.44</td><td>1.44</td><td>基本</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2742)</td><td>3B8-F-N8</td><td>原子炉建屋</td><td>1.44</td><td>1.44</td><td>基本</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (1) (3TS-2747)</td><td>3D6-F-N2</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>1.07</td><td>5.80</td><td>基本</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (2) (3TS-2748)</td><td>3D6-F-N2</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>1.07</td><td>5.79</td><td>基本</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (3) (3TS-2751)</td><td>3D6-F-N2</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>1.17</td><td>5.21</td><td>基本</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (4) (3TS-2752)</td><td>3D6-F-N2</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>1.17</td><td>5.21</td><td>基本</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (1) (3TS-2749)</td><td>3D6-F-N1</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>1.07</td><td>5.16</td><td>基本</td><td>⑤</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：技術により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②未論断維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧前側室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置場所	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9A)	3B8-F-N10	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑤	換気空調系	B-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9B)	3B8-F-N10	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑤	換気空調系	C-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9C)	3B8-F-N8	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑤	換気空調系	D-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9D)	3B8-F-N8	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑤	換気空調系	A-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ (3HCD-2741)	3B8-F-N10	原子炉建屋	5.07	4.11	個別	⑤	換気空調系	B-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ (3HCD-2742)	3B8-F-N8	原子炉建屋	5.07	4.11	個別	⑤	換気空調系	A-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2741)	3B8-F-N10	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑤	換気空調系	B-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2742)	3B8-F-N8	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑤	換気空調系	A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (1) (3TS-2747)	3D6-F-N2	ディーゼル発電機建屋	1.07	5.80	基本	⑤	換気空調系	A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (2) (3TS-2748)	3D6-F-N2	ディーゼル発電機建屋	1.07	5.79	基本	⑤	換気空調系	A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (3) (3TS-2751)	3D6-F-N2	ディーゼル発電機建屋	1.17	5.21	基本	⑤	換気空調系	A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (4) (3TS-2752)	3D6-F-N2	ディーゼル発電機建屋	1.17	5.21	基本	⑤	換気空調系	B-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (1) (3TS-2749)	3D6-F-N1	ディーゼル発電機建屋	1.07	5.16	基本	⑤	<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> <u>設計方針の相違</u> ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ (基本設定箇所)」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ (個別測定箇所)」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。(島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様) ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 ・安全機能に関しては、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	設備番号	設置場所	SL ^{※1} (m)	機能 ^{※2}																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関連検度 (3) ボジションスイッチ (3K3-F5236)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	0.20	①②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	燃料ハンドレボルト機取巻 (3) ボジションスイッチ (3K3-F5236)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	0.20	①②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関付巻上げポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-F5238-1)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	1.65	①②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関付巻上げポンプ (3) 出口圧力スイッチ (3K3-F5238-2)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	1.65	①②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関 (3) 入口潤滑油圧力スイッチ (3K3-F5107B-1)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	1.05	①②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関 (3) 入口潤滑油圧力スイッチ (3K3-F5107B-2)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	1.05	①②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	発電機 (3) (3) 過電流保護 (3K3-F5240)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	0.20	①②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	3/5 (3) 第一起動弁 (3K3-30-F312)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	0.22	①②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	3/5 (3) 第二起動弁 (3K3-30-F313)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	0.22	①②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	3/5 (3) 第一停止弁 (3K3-30-F314)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	0.22	①②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	3/5 (3) 第二停止弁 (3K3-30-F315)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	0.22	①②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関 (3) (3) 12 ディーゼル油母液温度スイッチ (3K3-F5246)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	1.65	①②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	機関付ハンドレボルトポンプ (3) 入口流量スイッチ (3K3-F5247)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	1.65	①②③④⑤⑥																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPS 3系発電用ディーゼル発電機 制御装置 (3K3-F524)	0-14-15	原子炉建屋 行機庫	0.00	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPS 3系発電用ディーゼル発電機 燃料制御装置 (3K3-F524)	0-14-15	原子炉建屋 行機庫	0.00	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPS 3系発電用ディーゼル発電機 自動燃焼調整装置 (3K3-F524)	0-14-15	原子炉建屋 行機庫	0.00	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPS 3系発電用ディーゼル発電機 燃料調整装置 (3K3-F524)	0-14-15	原子炉建屋 行機庫	0.00	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPS 3系発電用ディーゼル発電機 制御装置 (3K3-F524)	0-14-15	原子炉建屋 行機庫	0.00	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPS 3系発電用ディーゼル発電機 N4装置 (3K3-F524)	0-14-15	原子炉建屋 行機庫	0.00	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPS 3系発電用ディーゼル発電機 N5装置 (3K3-F524)	0-14-15	原子炉建屋 行機庫	0.00	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPS 3系発電用ディーゼル発電機 P7装置 (3K3-F524)	0-14-15	原子炉建屋 行機庫	0.00	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPS 3系発電用ディーゼル発電機 P7装置 (3K3-F524)	0-14-15	原子炉建屋 行機庫	0.00	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	MPS 3系発電用ディーゼル発電機 P7装置 (3K3-F524)	0-14-15	原子炉建屋 行機庫	0.00	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																																				
発電用ディーゼル発電設備 (3)	排水加熱器 (3K4-3002)	0-27-16	原子炉建屋 行機庫	0.20	①②③④																																																																																																																																																																																																																																																																				
系統	設備	区画番号	設置場所	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調系	A-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9A)	3B8-F-N10	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調系	B-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9B)	3B8-F-N10	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調系	C-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9C)	3B8-F-N8	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調系	D-ディーゼル発電機密閉給気ファン (3VSFS9D)	3B8-F-N8	原子炉建屋	0.20	0.19	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調系	A-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ (3HCD-2741)	3B8-F-N10	原子炉建屋	5.07	4.11	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調系	B-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ (3HCD-2742)	3B8-F-N8	原子炉建屋	5.07	4.11	個別	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調系	A-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2741)	3B8-F-N10	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調系	B-ディーゼル発電機密閉給気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2742)	3B8-F-N8	原子炉建屋	1.44	1.44	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調系	A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (1) (3TS-2747)	3D6-F-N2	ディーゼル発電機建屋	1.07	5.80	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調系	A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (2) (3TS-2748)	3D6-F-N2	ディーゼル発電機建屋	1.07	5.79	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調系	A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (3) (3TS-2751)	3D6-F-N2	ディーゼル発電機建屋	1.17	5.21	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調系	A-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (4) (3TS-2752)	3D6-F-N2	ディーゼル発電機建屋	1.17	5.21	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																		
換気空調系	B-ディーゼル発電機密閉室内空気温度 (1) (3TS-2749)	3D6-F-N1	ディーゼル発電機建屋	1.07	5.16	基本	⑤																																																																																																																																																																																																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																								
	<p>表1 防護対象設備一覧 (26/27)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>設備番号</th> <th>設置棟屋</th> <th>高さ^{※1}(m)</th> <th>機能^{※2}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油加熱器 (344-4003)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.940</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>高圧中心スプレイ兼ディーゼル発電機 (344-0001)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>1.245</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>高圧中心スプレイ兼ディーゼル発電機 (344-0002)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.965</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>高圧油断油ポンプ (344-0003)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.905</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油フライングポンプ (344-0100)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.940</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油補助ポンプ (344-0100)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.370</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>燃料移送ポンプ (344-0200)</td><td>107-0</td><td>燃料ドック</td><td>0.445</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>オイルパン監視スイッチ (344-12310)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.915</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油補助ポンプ監視スイッチ (344-12320)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.145</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>燃料ディスタンス監視 (344-12330)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.145</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>機関油温度オプションスイッチ (344-90200)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.927</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>燃料レベル停止位置オプションスイッチ (344-90201)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.975</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>機関冷却水ポンプ出口圧力スイッチ (344-9502-1)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>2.455</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>機関冷却水ポンプ出口圧力スイッチ (344-9502-2)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>2.455</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>機関入口潤滑油圧力スイッチ (344-95114-1)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>1.485</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>機関入口潤滑油圧力スイッチ (344-95114-2)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>1.485</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>非常用DRCS遠隔制御器 (344-9030)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.145</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>DRCS1号一級冷却 (344-90-0300)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.745</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>DRCS1号二級冷却 (344-90-0301)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.745</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>DRCS1号一停止弁 (344-90-0310)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.230</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>DRCS1号二停止弁 (344-90-0311)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>0.230</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>機関冷却ポンプ監視スイッチ (344-9030)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>2.455</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> <tr><td>非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)</td><td>潤滑油フライングポンプ入口監視スイッチ (344-9100)</td><td>0-07-13</td><td>原子炉建屋 行機庫</td><td>1.485</td><td>⑩⑪⑫</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：溢水により機能喪失する床面からの高さ（床上高さ0.05mを考慮） ※2：①緊急停止機能 ②未検出維持機能 ③遠隔停止機能 ④原子炉建屋からの機能 ⑤自動停止機能 ⑥閉じ込め機能 ⑦電圧監視 ⑧燃料供給ポンプ内送機能 ⑨燃料供給ポンプ送込機能 ⑩燃料供給ポンプ送込監視機能 ⑪燃料供給ポンプ送込監視機能 ⑫燃料供給ポンプ送込監視機能 ⑬燃料供給ポンプ送込監視機能 ⑭燃料供給ポンプ送込監視機能 ⑮燃料供給ポンプ送込監視機能 ⑯燃料供給ポンプ送込監視機能 ⑰燃料供給ポンプ送込監視機能 ⑱燃料供給ポンプ送込監視機能 ⑲燃料供給ポンプ送込監視機能 ⑳燃料供給ポンプ送込監視機能</p>	系統	設備	設備番号	設置棟屋	高さ ^{※1} (m)	機能 ^{※2}	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油加熱器 (344-4003)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.940	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	高圧中心スプレイ兼ディーゼル発電機 (344-0001)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	1.245	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	高圧中心スプレイ兼ディーゼル発電機 (344-0002)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.965	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	高圧油断油ポンプ (344-0003)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.905	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油フライングポンプ (344-0100)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.940	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油補助ポンプ (344-0100)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.370	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料移送ポンプ (344-0200)	107-0	燃料ドック	0.445	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	オイルパン監視スイッチ (344-12310)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.915	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油補助ポンプ監視スイッチ (344-12320)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.145	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料ディスタンス監視 (344-12330)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.145	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関油温度オプションスイッチ (344-90200)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.927	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料レベル停止位置オプションスイッチ (344-90201)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.975	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関冷却水ポンプ出口圧力スイッチ (344-9502-1)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	2.455	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関冷却水ポンプ出口圧力スイッチ (344-9502-2)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	2.455	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関入口潤滑油圧力スイッチ (344-95114-1)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	1.485	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関入口潤滑油圧力スイッチ (344-95114-2)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	1.485	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	非常用DRCS遠隔制御器 (344-9030)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.145	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	DRCS1号一級冷却 (344-90-0300)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.745	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	DRCS1号二級冷却 (344-90-0301)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.745	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	DRCS1号一停止弁 (344-90-0310)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.230	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	DRCS1号二停止弁 (344-90-0311)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.230	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関冷却ポンプ監視スイッチ (344-9030)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	2.455	⑩⑪⑫	非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油フライングポンプ入口監視スイッチ (344-9100)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	1.485	⑩⑪⑫	<p>表1 防護対象設備一覧 (26/35)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置棟屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>換気空調系</td><td>B-ディーゼル発電機室内空気温度(2) (3TS-2750)</td><td>3DG-01-N1</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>1.67</td><td>5.16</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-ディーゼル発電機室内空気温度(3) (3TS-2753)</td><td>3DG-01-N1</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>0.92</td><td>4.41</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-ディーゼル発電機室内空気温度(4) (3TS-2754)</td><td>3DG-01-N1</td><td>ディーゼル発電機建屋</td><td>0.92</td><td>4.42</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSF40A)</td><td>3RB-01-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>4.4</td><td>4.55</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSF40B)</td><td>3RB-01-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>4.4</td><td>4.54</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (SHCD-2670)</td><td>3RB-01-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>4.90</td><td>4.53</td><td>個別</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (SHCD-2680)</td><td>3RB-01-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>4.90</td><td>4.54</td><td>個別</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (SHC-2670)</td><td>3RB-01-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>5.44</td><td>5.44</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (SHC-2680)</td><td>3RB-01-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>5.44</td><td>5.45</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1) (3TS-2671)</td><td>3RB-01-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.39</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2) (3TS-2672)</td><td>3RB-01-N6</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.40</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1) (3TS-2681)</td><td>3RB-01-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.40</td><td>基本</td><td>③</td></tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：放水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②未検出維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④原子炉冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置棟屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	B-ディーゼル発電機室内空気温度(2) (3TS-2750)	3DG-01-N1	ディーゼル発電機建屋	1.67	5.16	基本	⑥	換気空調系	B-ディーゼル発電機室内空気温度(3) (3TS-2753)	3DG-01-N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.41	基本	⑥	換気空調系	B-ディーゼル発電機室内空気温度(4) (3TS-2754)	3DG-01-N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.42	基本	⑥	換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSF40A)	3RB-01-N6	原子炉建屋	4.4	4.55	基本	③	換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSF40B)	3RB-01-N7	原子炉建屋	4.4	4.54	基本	③	換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (SHCD-2670)	3RB-01-N6	原子炉建屋	4.90	4.53	個別	③	換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (SHCD-2680)	3RB-01-N7	原子炉建屋	4.90	4.54	個別	③	換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (SHC-2670)	3RB-01-N6	原子炉建屋	5.44	5.44	基本	③	換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (SHC-2680)	3RB-01-N7	原子炉建屋	5.44	5.45	基本	③	換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1) (3TS-2671)	3RB-01-N6	原子炉建屋	1.42	5.39	基本	③	換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2) (3TS-2672)	3RB-01-N6	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	③	換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1) (3TS-2681)	3RB-01-N7	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	③	<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> <u>設計方針の相違</u> ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 ・安全機能に関しては、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	設備番号	設置棟屋	高さ ^{※1} (m)	機能 ^{※2}																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油加熱器 (344-4003)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.940	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	高圧中心スプレイ兼ディーゼル発電機 (344-0001)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	1.245	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	高圧中心スプレイ兼ディーゼル発電機 (344-0002)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.965	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	高圧油断油ポンプ (344-0003)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.905	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油フライングポンプ (344-0100)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.940	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油補助ポンプ (344-0100)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.370	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料移送ポンプ (344-0200)	107-0	燃料ドック	0.445	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	オイルパン監視スイッチ (344-12310)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.915	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油補助ポンプ監視スイッチ (344-12320)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.145	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料ディスタンス監視 (344-12330)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.145	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関油温度オプションスイッチ (344-90200)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.927	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	燃料レベル停止位置オプションスイッチ (344-90201)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.975	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関冷却水ポンプ出口圧力スイッチ (344-9502-1)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	2.455	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関冷却水ポンプ出口圧力スイッチ (344-9502-2)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	2.455	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関入口潤滑油圧力スイッチ (344-95114-1)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	1.485	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関入口潤滑油圧力スイッチ (344-95114-2)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	1.485	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	非常用DRCS遠隔制御器 (344-9030)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.145	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	DRCS1号一級冷却 (344-90-0300)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.745	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	DRCS1号二級冷却 (344-90-0301)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.745	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	DRCS1号一停止弁 (344-90-0310)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.230	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	DRCS1号二停止弁 (344-90-0311)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	0.230	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	機関冷却ポンプ監視スイッチ (344-9030)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	2.455	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
非常用ディーゼル発電設備 (DRCS)	潤滑油フライングポンプ入口監視スイッチ (344-9100)	0-07-13	原子炉建屋 行機庫	1.485	⑩⑪⑫																																																																																																																																																																																																																																																						
系統	設備	区画番号	設置棟屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	B-ディーゼル発電機室内空気温度(2) (3TS-2750)	3DG-01-N1	ディーゼル発電機建屋	1.67	5.16	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	B-ディーゼル発電機室内空気温度(3) (3TS-2753)	3DG-01-N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.41	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	B-ディーゼル発電機室内空気温度(4) (3TS-2754)	3DG-01-N1	ディーゼル発電機建屋	0.92	4.42	基本	⑥																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSF40A)	3RB-01-N6	原子炉建屋	4.4	4.55	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室給気ファン (3VSF40B)	3RB-01-N7	原子炉建屋	4.4	4.54	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (SHCD-2670)	3RB-01-N6	原子炉建屋	4.90	4.53	個別	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ (SHCD-2680)	3RB-01-N7	原子炉建屋	4.90	4.54	個別	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (SHC-2670)	3RB-01-N6	原子炉建屋	5.44	5.44	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (SHC-2680)	3RB-01-N7	原子炉建屋	5.44	5.45	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1) (3TS-2671)	3RB-01-N6	原子炉建屋	1.42	5.39	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	A-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2) (3TS-2672)	3RB-01-N6	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				
換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(1) (3TS-2681)	3RB-01-N7	原子炉建屋	1.42	5.40	基本	③																																																																																																																																																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																		
	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (27/27)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置階層</th> <th>E.L¹⁾(m)</th> <th>機能²⁾</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入込監視系(1)40-47(3)</td><td>0-17-0</td><td>原子炉格納箱2号機</td><td>3.284</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入り監視系(1)40-47(3)</td><td>0-17-0</td><td>原子炉格納箱2号機</td><td>3.050</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入込監視系(1)40-47(3)</td><td>0-17-0</td><td>原子炉格納箱2号機</td><td>3.230</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入り監視系(1)40-47(3)</td><td>0-17-0</td><td>原子炉格納箱2号機</td><td>3.494</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入込監視系(1)40-47(3)</td><td>0-102-10</td><td>原子炉格納箱2号機</td><td>3.305</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入り監視系(1)40-47(3)</td><td>0-102-10</td><td>原子炉格納箱2号機</td><td>3.305</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入り監視系(1)40-47(3)</td><td>0-102-10</td><td>原子炉格納箱2号機</td><td>6.409</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入り監視系(1)40-47(3)</td><td>0-102-10</td><td>原子炉格納箱2号機</td><td>3.302</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入り監視系(1)40-47(3)</td><td>0-102-10</td><td>原子炉格納箱2号機</td><td>3.304</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>原子炉格納箱監視系(A)</td><td>格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入り監視系(1)40-47(3)</td><td>0-102-10</td><td>原子炉格納箱2号機</td><td>4.440</td><td>⑤</td></tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※1：設水により機能喪失する床面からの高さ（床面上高さ0.95mを考慮） ※2：①緊急停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧新炉室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能 ⑪緊急停止機能 ⑫未臨界維持機能 ⑬原子炉停止後の除熱機能 ⑭炉心冷却機能 ⑮放射性物質の閉じ込め機能 ⑯安全上特に重要な関連機能 ⑰事故時のプラント状態の把握機能 ⑱新炉室外からの安全停止機能 ⑲ピット冷却機能 ⑳ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置階層	E.L ¹⁾ (m)	機能 ²⁾	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入込監視系(1)40-47(3)	0-17-0	原子炉格納箱2号機	3.284	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入り監視系(1)40-47(3)	0-17-0	原子炉格納箱2号機	3.050	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入込監視系(1)40-47(3)	0-17-0	原子炉格納箱2号機	3.230	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入り監視系(1)40-47(3)	0-17-0	原子炉格納箱2号機	3.494	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入込監視系(1)40-47(3)	0-102-10	原子炉格納箱2号機	3.305	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入り監視系(1)40-47(3)	0-102-10	原子炉格納箱2号機	3.305	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入り監視系(1)40-47(3)	0-102-10	原子炉格納箱2号機	6.409	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入り監視系(1)40-47(3)	0-102-10	原子炉格納箱2号機	3.302	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入り監視系(1)40-47(3)	0-102-10	原子炉格納箱2号機	3.304	⑤	原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入り監視系(1)40-47(3)	0-102-10	原子炉格納箱2号機	4.440	⑤	<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (27/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置階層</th> <th>基本設定高さ^{①)}(m)</th> <th>個別測定高さ^{②)}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>換気空調系</td><td>B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2)(3TS-2652)</td><td>30B-II-N7</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>5.41</td><td>基本</td><td>③</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-新炉用空気圧縮機室給気ファン(3VSF42A)</td><td>30B-II-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>4.50</td><td>4.64</td><td>基本</td><td>④</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-新炉用空気圧縮機室給気ファン(3VSF42B)</td><td>30B-II-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>4.50</td><td>4.64</td><td>基本</td><td>⑤</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3HCD-2701)</td><td>30B-II-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>5.00</td><td>4.64</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3HCD-2711)</td><td>30B-II-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>5.00</td><td>4.63</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3MC-2701)</td><td>30B-II-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>5.74</td><td>5.76</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3MC-2711)</td><td>30B-II-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>5.74</td><td>5.75</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-新炉用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2702)</td><td>30B-II-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.39</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-新炉用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2703)</td><td>30B-II-N2</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.39</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-新炉用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2712)</td><td>30B-II-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.39</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-新炉用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2713)</td><td>30B-II-N3</td><td>原子炉建屋</td><td>1.42</td><td>1.40</td><td>個別</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>A-安全補機閉器室給気ファン(3VSF27A)</td><td>3AB-D-N1</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.15</td><td>2.16</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> <tr><td>換気空調系</td><td>B-安全補機閉器室給気ファン(3VSF27B)</td><td>3AB-D-N1</td><td>原子炉補助建屋</td><td>0.15</td><td>2.16</td><td>基本</td><td>⑥</td></tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：設水により機能喪失する床面からの高さ ①緊急停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧新炉室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能</p>	系統	設備	区画番号	設置階層	基本設定高さ ^{①)} (m)	個別測定高さ ^{②)} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2)(3TS-2652)	30B-II-N7	原子炉建屋	1.42	5.41	基本	③	換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室給気ファン(3VSF42A)	30B-II-N2	原子炉建屋	4.50	4.64	基本	④	換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室給気ファン(3VSF42B)	30B-II-N3	原子炉建屋	4.50	4.64	基本	⑤	換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3HCD-2701)	30B-II-N2	原子炉建屋	5.00	4.64	個別	⑥	換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3HCD-2711)	30B-II-N3	原子炉建屋	5.00	4.63	個別	⑥	換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3MC-2701)	30B-II-N2	原子炉建屋	5.74	5.76	基本	⑥	換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3MC-2711)	30B-II-N3	原子炉建屋	5.74	5.75	基本	⑥	換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2702)	30B-II-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥	換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2703)	30B-II-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥	換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2712)	30B-II-N3	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥	換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2713)	30B-II-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑥	換気空調系	A-安全補機閉器室給気ファン(3VSF27A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	⑥	換気空調系	B-安全補機閉器室給気ファン(3VSF27B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	⑥	<p>【女川】</p> <p style="color: green;">記載方針の相違</p> <p style="color: red;">設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関しては、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置階層	E.L ¹⁾ (m)	機能 ²⁾																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入込監視系(1)40-47(3)	0-17-0	原子炉格納箱2号機	3.284	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入り監視系(1)40-47(3)	0-17-0	原子炉格納箱2号機	3.050	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入込監視系(1)40-47(3)	0-17-0	原子炉格納箱2号機	3.230	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入り監視系(1)40-47(3)	0-17-0	原子炉格納箱2号機	3.494	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入込監視系(1)40-47(3)	0-102-10	原子炉格納箱2号機	3.305	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入り監視系(1)40-47(3)	0-102-10	原子炉格納箱2号機	3.305	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入り監視系(1)40-47(3)	0-102-10	原子炉格納箱2号機	6.409	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入り監視系(1)40-47(3)	0-102-10	原子炉格納箱2号機	3.302	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入り監視系(1)40-47(3)	0-102-10	原子炉格納箱2号機	3.304	⑤																																																																																																																																																																																
原子炉格納箱監視系(A)	格納箱内監視系モータ系(3)10ヤシンプル入り監視系(1)40-47(3)	0-102-10	原子炉格納箱2号機	4.440	⑤																																																																																																																																																																																
系統	設備	区画番号	設置階層	基本設定高さ ^{①)} (m)	個別測定高さ ^{②)} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-電動補助給水ポンプ室内空気温度(2)(3TS-2652)	30B-II-N7	原子炉建屋	1.42	5.41	基本	③																																																																																																																																																																														
換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室給気ファン(3VSF42A)	30B-II-N2	原子炉建屋	4.50	4.64	基本	④																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室給気ファン(3VSF42B)	30B-II-N3	原子炉建屋	4.50	4.64	基本	⑤																																																																																																																																																																														
換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3HCD-2701)	30B-II-N2	原子炉建屋	5.00	4.64	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ(3HCD-2711)	30B-II-N3	原子炉建屋	5.00	4.63	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3MC-2701)	30B-II-N2	原子炉建屋	5.74	5.76	基本	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室外気取入風量調節ダンパ流量設定器(3MC-2711)	30B-II-N3	原子炉建屋	5.74	5.75	基本	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2702)	30B-II-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	A-新炉用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2703)	30B-II-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室内空気温度(1)(3TS-2712)	30B-II-N3	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-新炉用空気圧縮機室内空気温度(2)(3TS-2713)	30B-II-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	A-安全補機閉器室給気ファン(3VSF27A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	⑥																																																																																																																																																																														
換気空調系	B-安全補機閉器室給気ファン(3VSF27B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	2.16	基本	⑥																																																																																																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																										
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (28/35)</p> <table border="1" data-bbox="1281 247 1861 837"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-安全系計装室室内空気温度 (3TS-2790)</td> <td>3AB-F-N13</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-安全系計装室室内空気温度 (3TS-2791)</td> <td>3AB-F-N2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-蓄電池室排気ファン (3VSP31A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.52</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-蓄電池室排気ファン (3VSP31B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.51</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室前扉ファン (3VSP20A)</td> <td>3AB-D-NS2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.17</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室前扉ファン (3VSP20B)</td> <td>3AB-D-NS2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.18</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室給気ファン (3VSP21A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>1.12</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室給気ファン (3VSP21B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>1.13</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>3.79</td> <td>3.83</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>3.79</td> <td>3.83</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室前扉ファン入口ダンパ (3D-VS-604A)</td> <td>3AB-D-NS2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.25</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室前扉ファン入口ダンパ (3D-VS-604B)</td> <td>3AB-D-NS2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.26</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室前扉風量調節ダンパ (3RCD-2834)</td> <td>3AB-D-NS2</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.25</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0" data-bbox="1310 869 1836 949"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑥安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑨ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ピット給水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	A-安全系計装室室内空気温度 (3TS-2790)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸	換気空調系	B-安全系計装室室内空気温度 (3TS-2791)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸	換気空調系	A-蓄電池室排気ファン (3VSP31A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.52	個別	㊸	換気空調系	B-蓄電池室排気ファン (3VSP31B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.51	個別	㊸	換気空調系	A-中央制御室前扉ファン (3VSP20A)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.15	0.17	基本	㊸	換気空調系	B-中央制御室前扉ファン (3VSP20B)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.15	0.18	基本	㊸	換気空調系	A-中央制御室給気ファン (3VSP21A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.12	基本	㊸	換気空調系	B-中央制御室給気ファン (3VSP21B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.13	基本	㊸	換気空調系	A-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	㊸	換気空調系	B-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	㊸	換気空調系	A-中央制御室前扉ファン入口ダンパ (3D-VS-604A)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊸	換気空調系	B-中央制御室前扉ファン入口ダンパ (3D-VS-604B)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.80	0.26	個別	㊸	換気空調系	A-中央制御室前扉風量調節ダンパ (3RCD-2834)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊸	①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能	②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																																						
換気空調系	A-安全系計装室室内空気温度 (3TS-2790)	3AB-F-N13	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸																																																																																																																						
換気空調系	B-安全系計装室室内空気温度 (3TS-2791)	3AB-F-N2	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸																																																																																																																						
換気空調系	A-蓄電池室排気ファン (3VSP31A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.52	個別	㊸																																																																																																																						
換気空調系	B-蓄電池室排気ファン (3VSP31B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.92	1.51	個別	㊸																																																																																																																						
換気空調系	A-中央制御室前扉ファン (3VSP20A)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.15	0.17	基本	㊸																																																																																																																						
換気空調系	B-中央制御室前扉ファン (3VSP20B)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.15	0.18	基本	㊸																																																																																																																						
換気空調系	A-中央制御室給気ファン (3VSP21A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.12	基本	㊸																																																																																																																						
換気空調系	B-中央制御室給気ファン (3VSP21B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	1.13	基本	㊸																																																																																																																						
換気空調系	A-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	㊸																																																																																																																						
換気空調系	B-中央制御室給気ファン出口ダンパ (3D-VS-603B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	3.79	3.83	基本	㊸																																																																																																																						
換気空調系	A-中央制御室前扉ファン入口ダンパ (3D-VS-604A)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊸																																																																																																																						
換気空調系	B-中央制御室前扉ファン入口ダンパ (3D-VS-604B)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.80	0.26	個別	㊸																																																																																																																						
換気空調系	A-中央制御室前扉風量調節ダンパ (3RCD-2834)	3AB-D-NS2	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊸																																																																																																																						
①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能																																																																																																																												
②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																																																												
③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能																																																																																																																												
④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能																																																																																																																												
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																		
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (29/35)</p> <table border="1" data-bbox="1285 245 1865 995"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室常備風量調節ダンパ (3HCD-2837)</td> <td>3AB-D-N2C</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.80</td> <td>0.25</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室常備風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2836)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室常備風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2837)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>中央制御室内空気温度 (2) (3TS-2846)</td> <td>3AB-F-N8</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>中央制御室内空気温度 (3) (3TS-2847)</td> <td>3AB-F-N8</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.92</td> <td>1.30</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室非常用前扉ファン (3V3F22A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.54</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室非常用前扉ファン (3V3F22B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.15</td> <td>0.54</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室非常用前扉ファン出口空気流量 (3FS-2867)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.35</td> <td>1.34</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室非常用前扉ファン出口空気流量 (3FS-2868)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.35</td> <td>1.34</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室非常用前扉ファン入口ダンパ (3D-Y5-602A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.70</td> <td>0.36</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室非常用前扉ファン入口ダンパ (3D-Y5-602B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>0.70</td> <td>0.38</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HCD-2823)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>5.34</td> <td>5.31</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0" data-bbox="1308 916 1765 986"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑥安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑨ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ピット給水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	B-中央制御室常備風量調節ダンパ (3HCD-2837)	3AB-D-N2C	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊸	換気空調系	A-中央制御室常備風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2836)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	㊸	換気空調系	B-中央制御室常備風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2837)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	㊸	換気空調系	中央制御室内空気温度 (2) (3TS-2846)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸	換気空調系	中央制御室内空気温度 (3) (3TS-2847)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸	換気空調系	A-中央制御室非常用前扉ファン (3V3F22A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.54	基本	㊸	換気空調系	B-中央制御室非常用前扉ファン (3V3F22B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.54	基本	㊸	換気空調系	A-中央制御室非常用前扉ファン出口空気流量 (3FS-2867)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.35	1.34	個別	㊸	換気空調系	B-中央制御室非常用前扉ファン出口空気流量 (3FS-2868)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.35	1.34	個別	㊸	換気空調系	A-中央制御室非常用前扉ファン入口ダンパ (3D-Y5-602A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.70	0.36	個別	㊸	換気空調系	B-中央制御室非常用前扉ファン入口ダンパ (3D-Y5-602B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.70	0.38	個別	㊸	換気空調系	A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HCD-2823)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	5.34	5.31	個別	㊸	①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能	②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能	<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																														
換気空調系	B-中央制御室常備風量調節ダンパ (3HCD-2837)	3AB-D-N2C	原子炉補助建屋	0.80	0.25	個別	㊸																																																																																																														
換気空調系	A-中央制御室常備風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2836)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	㊸																																																																																																														
換気空調系	B-中央制御室常備風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2837)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	㊸																																																																																																														
換気空調系	中央制御室内空気温度 (2) (3TS-2846)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸																																																																																																														
換気空調系	中央制御室内空気温度 (3) (3TS-2847)	3AB-F-N8	原子炉補助建屋	1.92	1.30	個別	㊸																																																																																																														
換気空調系	A-中央制御室非常用前扉ファン (3V3F22A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.54	基本	㊸																																																																																																														
換気空調系	B-中央制御室非常用前扉ファン (3V3F22B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.15	0.54	基本	㊸																																																																																																														
換気空調系	A-中央制御室非常用前扉ファン出口空気流量 (3FS-2867)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.35	1.34	個別	㊸																																																																																																														
換気空調系	B-中央制御室非常用前扉ファン出口空気流量 (3FS-2868)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.35	1.34	個別	㊸																																																																																																														
換気空調系	A-中央制御室非常用前扉ファン入口ダンパ (3D-Y5-602A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.70	0.36	個別	㊸																																																																																																														
換気空調系	B-中央制御室非常用前扉ファン入口ダンパ (3D-Y5-602B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	0.70	0.38	個別	㊸																																																																																																														
換気空調系	A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HCD-2823)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	5.34	5.31	個別	㊸																																																																																																														
①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能																																																																																																																				
②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																																																				
③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能																																																																																																																				
④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能																																																																																																																				
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																		
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (30/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HC-2824)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>5.34</td> <td>5.31</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2823)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.64</td> <td>1.65</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2824)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.64</td> <td>1.65</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-2850)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.94</td> <td>4.62</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-2851)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.94</td> <td>5.00</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2850)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2851)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.14</td> <td>1.15</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>試料採取室排気隔離ダンパ (3D-VS-653)</td> <td>3AB-B-1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.15</td> <td>3.29</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>試料採取室排気風量制御ダンパ (3FCD-2905)</td> <td>3AB-B-1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>4.15</td> <td>3.61</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3A)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.49</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3B)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.49</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.53</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table style="width: 100%; font-size: small;"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑥安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧制御室からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑨ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ピット排水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HC-2824)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	5.34	5.31	個別	㊸	換気空調系	A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2823)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	㊸	換気空調系	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2824)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	㊸	換気空調系	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-2850)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	4.94	4.62	個別	㊸	換気空調系	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-2851)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	4.94	5.00	基本	㊸	換気空調系	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2850)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	㊸	換気空調系	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2851)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	㊸	換気空調系	試料採取室排気隔離ダンパ (3D-VS-653)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.29	個別	㊸	換気空調系	試料採取室排気風量制御ダンパ (3FCD-2905)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.61	個別	㊸	換気空調系	A-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3A)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	㊸	換気空調系	B-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3B)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	㊸	換気空調系	A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.50	2.53	基本	㊸	①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能	②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット排水機能	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関しては、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																																														
換気空調系	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ (3HC-2824)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	5.34	5.31	個別	㊸																																																																																																														
換気空調系	A-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2823)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	㊸																																																																																																														
換気空調系	B-中央制御室外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2824)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.64	1.65	基本	㊸																																																																																																														
換気空調系	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-2850)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	4.94	4.62	個別	㊸																																																																																																														
換気空調系	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ (3HC-2851)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	4.94	5.00	基本	㊸																																																																																																														
換気空調系	A-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2850)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	㊸																																																																																																														
換気空調系	B-中央制御室事故時外気取入風量調節ダンパ流量設定器 (3HC-2851)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.14	1.15	基本	㊸																																																																																																														
換気空調系	試料採取室排気隔離ダンパ (3D-VS-653)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.29	個別	㊸																																																																																																														
換気空調系	試料採取室排気風量制御ダンパ (3FCD-2905)	3AB-B-1	原子炉補助建屋	4.15	3.61	個別	㊸																																																																																																														
換気空調系	A-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3A)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	㊸																																																																																																														
換気空調系	B-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3B)	3RB-A-N2	原子炉建屋	2.50	2.49	個別	㊸																																																																																																														
換気空調系	A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.50	2.53	基本	㊸																																																																																																														
①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能																																																																																																																				
②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																																																				
③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室からの安全停止機能																																																																																																																				
④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能																																																																																																																				
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット排水機能																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (31/35)</p> <table border="1" data-bbox="1285 245 1856 746"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.57</td> <td>2.58</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.50</td> <td>2.51</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.57</td> <td>2.58</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A)</td> <td>3RB-II-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.80</td> <td>2.80</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B)</td> <td>3RB-II-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.80</td> <td>2.79</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (1) (3TS-2970)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (2) (3TS-2971)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (1) (3TS-2980)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.41</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (2) (3TS-2981)</td> <td>3RB-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.41</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0" data-bbox="1305 783 1765 855"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>④安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑤制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑧ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑨ピット給水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.57	2.58	基本	⑥	換気空調系	C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.50	2.51	基本	⑥	換気空調系	D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.57	2.58	基本	⑥	換気空調系	A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A)	3RB-II-N2	原子炉建屋	2.80	2.80	基本	⑥	換気空調系	B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B)	3RB-II-N3	原子炉建屋	2.80	2.79	個別	⑥	換気空調系	A-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (1) (3TS-2970)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調系	A-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (2) (3TS-2971)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調系	B-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (1) (3TS-2980)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.41	個別	⑥	換気空調系	B-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (2) (3TS-2981)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.41	個別	⑥	①緊急時停止機能	④安全上特に重要な関連機能	②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑤制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑧ピット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑨ピット給水機能	<p>【女川】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関しては、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																						
換気空調系	B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.57	2.58	基本	⑥																																																																																						
換気空調系	C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.50	2.51	基本	⑥																																																																																						
換気空調系	D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.57	2.58	基本	⑥																																																																																						
換気空調系	A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A)	3RB-II-N2	原子炉建屋	2.80	2.80	基本	⑥																																																																																						
換気空調系	B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B)	3RB-II-N3	原子炉建屋	2.80	2.79	個別	⑥																																																																																						
換気空調系	A-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (1) (3TS-2970)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																						
換気空調系	A-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (2) (3TS-2971)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																						
換気空調系	B-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (1) (3TS-2980)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.41	個別	⑥																																																																																						
換気空調系	B-原子炉補機冷却水サージタンク室内空気温度 (2) (3TS-2981)	3RB-A-N2	原子炉建屋	1.42	1.41	個別	⑥																																																																																						
①緊急時停止機能	④安全上特に重要な関連機能																																																																																												
②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																												
③原子炉停止後の除熱機能	⑤制御室外からの安全停止機能																																																																																												
④炉心冷却機能	⑧ピット冷却機能																																																																																												
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑨ピット給水機能																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																		
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (32/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3A) 出口空気温度 (2) (3TS-2973)</td> <td>3B2-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.58</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3B) 出口空気温度 (2) (3TS-2983)</td> <td>3B2-A-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.57</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2930)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2931)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2934)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.41</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2935)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>C-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2950)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>C-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2951)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>D-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2954)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.42</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>D-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2955)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.41</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A) 出口空気温度 (2) (3TS-2933)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.53</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：設水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;"> ①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能 </td> <td style="width: 50%; border: none;"> ⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能 </td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	A-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3A) 出口空気温度 (2) (3TS-2973)	3B2-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.58	個別	⑥	換気空調系	B-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3B) 出口空気温度 (2) (3TS-2983)	3B2-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.57	個別	⑥	換気空調系	A-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2930)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調系	A-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2931)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調系	B-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2934)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.41	個別	⑥	換気空調系	B-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2935)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調系	C-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2950)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調系	C-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2951)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調系	D-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2954)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥	換気空調系	D-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2955)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.41	個別	⑥	換気空調系	A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A) 出口空気温度 (2) (3TS-2933)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.65	2.53	個別	⑥	①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能	<p>【女川】</p> <p><u>記載方針の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで設水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関しては、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																														
換気空調系	A-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3A) 出口空気温度 (2) (3TS-2973)	3B2-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.58	個別	⑥																																																																																														
換気空調系	B-原子炉補機冷却水サージタンク室電気ヒータ (3VSE3B) 出口空気温度 (2) (3TS-2983)	3B2-A-N2	原子炉建屋	2.65	2.57	個別	⑥																																																																																														
換気空調系	A-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2930)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																														
換気空調系	A-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2931)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																														
換気空調系	B-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2934)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.41	個別	⑥																																																																																														
換気空調系	B-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2935)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																														
換気空調系	C-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2950)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																														
換気空調系	C-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2951)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																														
換気空調系	D-非管理区域空調機器室内空気温度 (1) (3TS-2954)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.42	基本	⑥																																																																																														
換気空調系	D-非管理区域空調機器室内空気温度 (2) (3TS-2955)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.42	1.41	個別	⑥																																																																																														
換気空調系	A-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2A) 出口空気温度 (2) (3TS-2933)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.65	2.53	個別	⑥																																																																																														
①緊急時停止機能 ②未臨界維持機能 ③原子炉停止後の除熱機能 ④炉心冷却機能 ⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑥安全上特に重要な関連機能 ⑦事故時のプラント状態の把握機能 ⑧制御室外からの安全停止機能 ⑨ピット冷却機能 ⑩ピット給水機能																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																		
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (33/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1}(m)</th> <th>個別測定高さ^{※2}(m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B) 出口空気温度(2) (3TS-2937)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.72</td> <td>2.65</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C) 出口空気温度(2) (3TS-2953)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.48</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D) 出口空気温度(2) (3TS-2957)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>2.72</td> <td>2.64</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-制御用空気圧縮機室室内空気温度(5) (3TS-2910)</td> <td>3RB-H-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.40</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-制御用空気圧縮機室室内空気温度(6) (3TS-2911)</td> <td>3RB-H-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.39</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-制御用空気圧縮機室室内空気温度(5) (3TS-2920)</td> <td>3RB-H-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.40</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-制御用空気圧縮機室室内空気温度(6) (3TS-2921)</td> <td>3RB-H-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>1.42</td> <td>1.40</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A) 出口空気温度(2) (3TS-2913)</td> <td>3RB-H-N2</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.89</td> <td>2.82</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>換気空調系</td> <td>B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B) 出口空気温度(2) (3TS-2923)</td> <td>3RB-H-N3</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.89</td> <td>2.82</td> <td>個別</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>A-空調用冷水ポンプ (3CHP1A)</td> <td>3RB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>⑥</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table style="width: 100%; font-size: small;"> <tr> <td>①緊急停止機能</td> <td>⑥安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未異常維持機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧制御室からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑨ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ピット給水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	換気空調系	B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B) 出口空気温度(2) (3TS-2937)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.72	2.65	個別	⑥	換気空調系	C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C) 出口空気温度(2) (3TS-2953)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.65	2.48	個別	⑥	換気空調系	D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D) 出口空気温度(2) (3TS-2957)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.72	2.64	個別	⑥	換気空調系	A-制御用空気圧縮機室室内空気温度(5) (3TS-2910)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑥	換気空調系	A-制御用空気圧縮機室室内空気温度(6) (3TS-2911)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥	換気空調系	B-制御用空気圧縮機室室内空気温度(5) (3TS-2920)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑥	換気空調系	B-制御用空気圧縮機室室内空気温度(6) (3TS-2921)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑥	換気空調系	A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A) 出口空気温度(2) (3TS-2913)	3RB-H-N2	原子炉建屋	2.89	2.82	個別	⑥	換気空調系	B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B) 出口空気温度(2) (3TS-2923)	3RB-H-N3	原子炉建屋	2.89	2.82	個別	⑥	空調用冷水系	A-空調用冷水ポンプ (3CHP1A)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	⑥	①緊急停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能	②未異常維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能	<p>【女川】</p> <p><u>記載方針の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																														
換気空調系	B-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2B) 出口空気温度(2) (3TS-2937)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.72	2.65	個別	⑥																																																																																														
換気空調系	C-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2C) 出口空気温度(2) (3TS-2953)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.65	2.48	個別	⑥																																																																																														
換気空調系	D-非管理区域空調機器室電気ヒータ (3VSE2D) 出口空気温度(2) (3TS-2957)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	2.72	2.64	個別	⑥																																																																																														
換気空調系	A-制御用空気圧縮機室室内空気温度(5) (3TS-2910)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑥																																																																																														
換気空調系	A-制御用空気圧縮機室室内空気温度(6) (3TS-2911)	3RB-H-N2	原子炉建屋	1.42	1.39	個別	⑥																																																																																														
換気空調系	B-制御用空気圧縮機室室内空気温度(5) (3TS-2920)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑥																																																																																														
換気空調系	B-制御用空気圧縮機室室内空気温度(6) (3TS-2921)	3RB-H-N3	原子炉建屋	1.42	1.40	個別	⑥																																																																																														
換気空調系	A-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1A) 出口空気温度(2) (3TS-2913)	3RB-H-N2	原子炉建屋	2.89	2.82	個別	⑥																																																																																														
換気空調系	B-制御用空気圧縮機室電気ヒータ (3VSE1B) 出口空気温度(2) (3TS-2923)	3RB-H-N3	原子炉建屋	2.89	2.82	個別	⑥																																																																																														
空調用冷水系	A-空調用冷水ポンプ (3CHP1A)	3RB-K-N4	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	⑥																																																																																														
①緊急停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能																																																																																																				
②未異常維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																																				
③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室からの安全停止機能																																																																																																				
④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能																																																																																																				
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																										
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (34/35)</p> <table border="1" data-bbox="1285 244 1865 710"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1} (m)</th> <th>個別測定高さ^{※2} (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>B-空調用冷水ポンプ (3CHP1B)</td> <td>3B-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>C-空調用冷水ポンプ (3CHP1C)</td> <td>3B-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>D-空調用冷水ポンプ (3CHP1D)</td> <td>3B-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.43</td> <td>2.45</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>A-空調用冷凍機 (3CHE1A)</td> <td>3B-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>B-空調用冷凍機 (3CHE1B)</td> <td>3B-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>C-空調用冷凍機 (3CHE1C)</td> <td>3B-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>D-空調用冷凍機 (3CHE1D)</td> <td>3B-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.05</td> <td>2.27</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>A-安全補機閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2774)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.96</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>B-安全補機閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2775)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.97</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：設水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table border="0" data-bbox="1285 742 1865 821"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>⑥安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②未臨界維持機能</td> <td>⑦事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>⑧制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>⑨ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>⑩ピット給水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	空調用冷水系	B-空調用冷水ポンプ (3CHP1B)	3B-K-N4	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	㊸	空調用冷水系	C-空調用冷水ポンプ (3CHP1C)	3B-K-N1	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	㊸	空調用冷水系	D-空調用冷水ポンプ (3CHP1D)	3B-K-N1	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	㊸	空調用冷水系	A-空調用冷凍機 (3CHE1A)	3B-K-N4	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸	空調用冷水系	B-空調用冷凍機 (3CHE1B)	3B-K-N4	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸	空調用冷水系	C-空調用冷凍機 (3CHE1C)	3B-K-N1	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸	空調用冷水系	D-空調用冷凍機 (3CHE1D)	3B-K-N1	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸	空調用冷水系	A-安全補機閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2774)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.96	基本	㊸	空調用冷水系	B-安全補機閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2775)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.97	基本	㊸	①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能	②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能	<p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様） ・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違 ・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																						
空調用冷水系	B-空調用冷水ポンプ (3CHP1B)	3B-K-N4	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	㊸																																																																																						
空調用冷水系	C-空調用冷水ポンプ (3CHP1C)	3B-K-N1	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	㊸																																																																																						
空調用冷水系	D-空調用冷水ポンプ (3CHP1D)	3B-K-N1	原子炉建屋	2.43	2.45	基本	㊸																																																																																						
空調用冷水系	A-空調用冷凍機 (3CHE1A)	3B-K-N4	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸																																																																																						
空調用冷水系	B-空調用冷凍機 (3CHE1B)	3B-K-N4	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸																																																																																						
空調用冷水系	C-空調用冷凍機 (3CHE1C)	3B-K-N1	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸																																																																																						
空調用冷水系	D-空調用冷凍機 (3CHE1D)	3B-K-N1	原子炉建屋	2.05	2.27	基本	㊸																																																																																						
空調用冷水系	A-安全補機閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2774)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.96	基本	㊸																																																																																						
空調用冷水系	B-安全補機閉器室給気ユニット冷水温度制御弁 (3TCV-2775)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.97	基本	㊸																																																																																						
①緊急時停止機能	⑥安全上特に重要な関連機能																																																																																												
②未臨界維持機能	⑦事故時のプラント状態の把握機能																																																																																												
③原子炉停止後の除熱機能	⑧制御室外からの安全停止機能																																																																																												
④炉心冷却機能	⑨ピット冷却機能																																																																																												
⑤放射性物質の閉じ込め機能	⑩ピット給水機能																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																		
		<p style="text-align: center;">表1 防護対象設備一覧 (35/35)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>区画番号</th> <th>設置建屋</th> <th>基本設定高さ^{※1} (m)</th> <th>個別測定高さ^{※2} (m)</th> <th>設定箇所</th> <th>安全機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>A-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁 (3TCV-2827)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.77</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>B-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁 (3TCV-2828)</td> <td>3AB-D-N1</td> <td>原子炉補助建屋</td> <td>1.20</td> <td>1.77</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>空調用冷水A母管入口隔離弁 (3V-CH-012A)</td> <td>3EB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.55</td> <td>2.97</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>空調用冷水B母管入口隔離弁 (3V-CH-012B)</td> <td>3EB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.53</td> <td>2.97</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>空調用冷水C母管入口隔離弁 (3V-CH-012C)</td> <td>3EB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.53</td> <td>2.86</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系</td> <td>空調用冷水C母管出口隔離弁 (3V-CH-013)</td> <td>3EB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.65</td> <td>2.98</td> <td>基本</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>A-空調用冷凍機盤 (3VCPA)</td> <td>3EB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.23</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>B-空調用冷凍機盤 (3VCPB)</td> <td>3EB-K-N4</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.22</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>C-空調用冷凍機盤 (3VCPD)</td> <td>3EB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.23</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> <tr> <td>関連設備</td> <td>D-空調用冷凍機盤 (3VCPD)</td> <td>3EB-K-N1</td> <td>原子炉建屋</td> <td>2.25</td> <td>2.23</td> <td>個別</td> <td>㊸</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：保守的に機能喪失すると仮定した床面からの高さ ※2：浸水により機能喪失する床面からの高さ</p> <table style="width: 100%; font-size: small;"> <tr> <td>①緊急時停止機能</td> <td>㊸安全上特に重要な関連機能</td> </tr> <tr> <td>②半臨界維持機能</td> <td>㊸事故時のプラント状態の把握機能</td> </tr> <tr> <td>③原子炉停止後の除熱機能</td> <td>㊸制御室外からの安全停止機能</td> </tr> <tr> <td>④炉心冷却機能</td> <td>㊸ピット冷却機能</td> </tr> <tr> <td>⑤放射性物質の閉じ込め機能</td> <td>㊸ピット給水機能</td> </tr> </table>	系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能	空調用冷水系	A-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁 (3TCV-2827)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.77	基本	㊸	空調用冷水系	B-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁 (3TCV-2828)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.77	基本	㊸	空調用冷水系	空調用冷水A母管入口隔離弁 (3V-CH-012A)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.55	2.97	基本	㊸	空調用冷水系	空調用冷水B母管入口隔離弁 (3V-CH-012B)	3EB-K-N1	原子炉建屋	2.53	2.97	基本	㊸	空調用冷水系	空調用冷水C母管入口隔離弁 (3V-CH-012C)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.53	2.86	基本	㊸	空調用冷水系	空調用冷水C母管出口隔離弁 (3V-CH-013)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.65	2.98	基本	㊸	関連設備	A-空調用冷凍機盤 (3VCPA)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	㊸	関連設備	B-空調用冷凍機盤 (3VCPB)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.22	個別	㊸	関連設備	C-空調用冷凍機盤 (3VCPD)	3EB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	㊸	関連設備	D-空調用冷凍機盤 (3VCPD)	3EB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	㊸	①緊急時停止機能	㊸安全上特に重要な関連機能	②半臨界維持機能	㊸事故時のプラント状態の把握機能	③原子炉停止後の除熱機能	㊸制御室外からの安全停止機能	④炉心冷却機能	㊸ピット冷却機能	⑤放射性物質の閉じ込め機能	㊸ピット給水機能	<p>【女川】</p> <p><u>記載方針の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。</p> <p>上記を踏まえ、表1には防護対象設備の「基本設定箇所」と「個別測定箇所」の機能喪失高さを併記し、どちらを採用しているか明確となるよう設定箇所を記載している。（島根2号炉、柏崎6,7号炉と同様）</p> <p>・設備名称等については、炉型の違い及びプラント設計の違いによる相違</p> <p>・安全機能に関して、炉型の相違により機能名称が異なるが、「止める」「冷やす」「閉じ込める」「ピット冷却」の達成を目的とした機能であることに相違はない。</p>
系統	設備	区画番号	設置建屋	基本設定高さ ^{※1} (m)	個別測定高さ ^{※2} (m)	設定箇所	安全機能																																																																																														
空調用冷水系	A-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁 (3TCV-2827)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.77	基本	㊸																																																																																														
空調用冷水系	B-中央制御室給気ユニット 冷水温度制御弁 (3TCV-2828)	3AB-D-N1	原子炉補助建屋	1.20	1.77	基本	㊸																																																																																														
空調用冷水系	空調用冷水A母管入口隔離弁 (3V-CH-012A)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.55	2.97	基本	㊸																																																																																														
空調用冷水系	空調用冷水B母管入口隔離弁 (3V-CH-012B)	3EB-K-N1	原子炉建屋	2.53	2.97	基本	㊸																																																																																														
空調用冷水系	空調用冷水C母管入口隔離弁 (3V-CH-012C)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.53	2.86	基本	㊸																																																																																														
空調用冷水系	空調用冷水C母管出口隔離弁 (3V-CH-013)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.65	2.98	基本	㊸																																																																																														
関連設備	A-空調用冷凍機盤 (3VCPA)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	㊸																																																																																														
関連設備	B-空調用冷凍機盤 (3VCPB)	3EB-K-N4	原子炉建屋	2.25	2.22	個別	㊸																																																																																														
関連設備	C-空調用冷凍機盤 (3VCPD)	3EB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	㊸																																																																																														
関連設備	D-空調用冷凍機盤 (3VCPD)	3EB-K-N1	原子炉建屋	2.25	2.23	個別	㊸																																																																																														
①緊急時停止機能	㊸安全上特に重要な関連機能																																																																																																				
②半臨界維持機能	㊸事故時のプラント状態の把握機能																																																																																																				
③原子炉停止後の除熱機能	㊸制御室外からの安全停止機能																																																																																																				
④炉心冷却機能	㊸ピット冷却機能																																																																																																				
⑤放射性物質の閉じ込め機能	㊸ピット給水機能																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

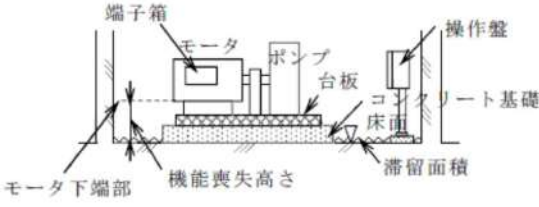
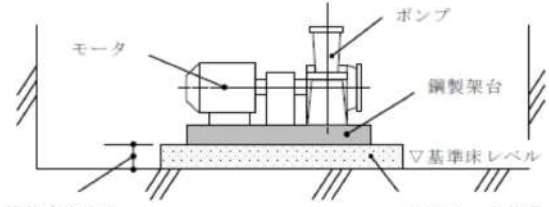
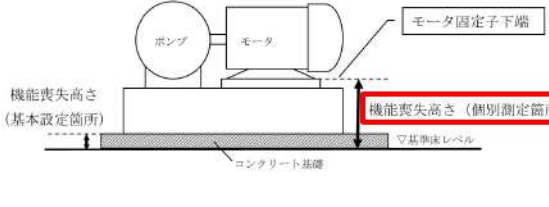

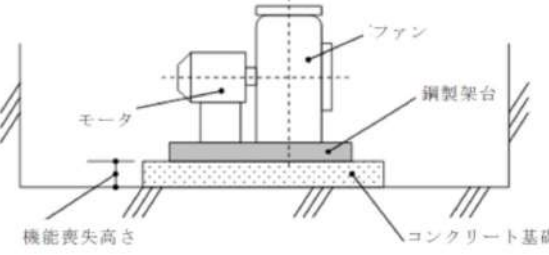
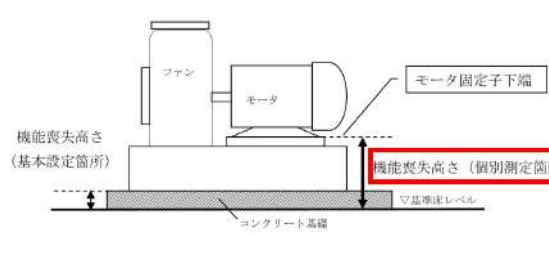
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>添付資料 1.2-2</p> <p>3. 機能喪失高さ</p> <p>各機器における機能喪失高さの考え方を表1にまとめるとともに図2にポンプの例を示す。</p>	<p>添付資料 5</p> <p>機能喪失高さの考え方</p> <p>弁類、ポンプ類、ファン類、電気盤類、計器関係における機能喪失高さ設定の考え方を表1及び図1～図5にそれぞれ示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【島根2号炉】</p> <p>まとめ資料 p9条-別添1-添付1-1より抜粋</p> <p>1.1 機能喪失高さ</p> <p>機能喪失高さは「基本設定箇所」を基本とし、溢水水位に応じて機能喪失高さの実力値である「個別設定箇所」に見直す。</p> </div>	<p>添付資料 5</p> <p>機能喪失高さの考え方</p> <p>弁類、ポンプ類、ファン類、電気盤類、計器関係における機能喪失高さ設定の考え方を表1及び図1～図5にそれぞれ示す。</p> <p>機能喪失高さは「基本設定箇所」を基本とし、溢水水位に応じて機能喪失高さの実力値である「個別測定箇所」に見直す。</p>	<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では評価ガイドの要求に則り、機能喪失高さは、保守的に機能喪失すると仮定した高さである「評価高さ（基本設定箇所）」を標準としているが、評価高さで没水してしまう機器については「実力高さ（個別測定箇所）」を適用している。 ・上記の機能喪失高さの設定方針は、先行審査プラントである島根2号炉及び柏崎6、7号炉で実績があり、女川2号炉においても、溢水水位に対して防護対象設備の機能喪失高さの裕度が小さい場合には、実際の機能喪失高さを実測することで実際には十分な裕度が確保されていることを確認している。 <p>【島根】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p>泊は資料間で「個別測定箇所」と記載統一している。</p> <p>【大阪】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料5）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																															
<p>表1 各設備の機能喪失高さの考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>機能喪失高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁</td> <td>①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ダンパ</td> <td>各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ポンプ（操作盤含む）</td> <td>①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>ファン</td> <td>モータは下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>盤</td> <td>盤内の最低高さの計器類の下端部</td> </tr> <tr> <td>計器</td> <td>計器本体下端又は伝送器下端の低い方</td> </tr> </tbody> </table>	機器	機能喪失高さ	弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部	ポンプ（操作盤含む）	①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方	ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い方	盤	盤内の最低高さの計器類の下端部	計器	計器本体下端又は伝送器下端の低い方	<p>表1 機能喪失高さ設定の考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器</th> <th>機能喪失高さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁類</td> <td>弁が設置される配管の中心レベル</td> </tr> <tr> <td>ポンプ類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> </tr> <tr> <td>ファン類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> </tr> <tr> <td>電気盤類</td> <td>対象機器の設置レベル</td> </tr> <tr> <td>計器関係</td> <td>計器下端レベル</td> </tr> </tbody> </table> <p>【島根2号炉】 まとめ資料 p9条-別添1-添付1-1より抜粋</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設備</th> <th colspan="2">機能喪失高さ</th> </tr> <tr> <th>基本設定箇所*</th> <th>個別設定箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポンプ/電動機</td> <td>・ポンプベース高さ</td> <td>・電動機下端部 ・電線管接続部下端部</td> </tr> <tr> <td>空気作動弁/電動弁</td> <td>・取付け配管中心高さ</td> <td>・制御ボックス下端部 ・電線管接続部下端部</td> </tr> <tr> <td>盤</td> <td>・盤ベース高さ</td> <td>・開口部下端部 ・計器下端部 ・電線管接続部下端部</td> </tr> <tr> <td>計器ラック</td> <td>・計器ドレン弁高さ</td> <td>・計器下端部 ・電線管接続部下端部 ・端子箱下端部</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 保守的に機能喪失すると仮定した部位</p>	機器	機能喪失高さ	弁類	弁が設置される配管の中心レベル	ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ファン類	コンクリート基礎の高さ	電気盤類	対象機器の設置レベル	計器関係	計器下端レベル	設備	機能喪失高さ		基本設定箇所*	個別設定箇所	ポンプ/電動機	・ポンプベース高さ	・電動機下端部 ・電線管接続部下端部	空気作動弁/電動弁	・取付け配管中心高さ	・制御ボックス下端部 ・電線管接続部下端部	盤	・盤ベース高さ	・開口部下端部 ・計器下端部 ・電線管接続部下端部	計器ラック	・計器ドレン弁高さ	・計器下端部 ・電線管接続部下端部 ・端子箱下端部	<p>表1 機能喪失高さ設定の考え方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">機器</th> <th colspan="2">機能喪失高さ</th> </tr> <tr> <th>基本設定箇所*</th> <th>個別測定箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>弁類</td> <td>弁が設置される配管の中心レベル</td> <td>①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部</td> </tr> <tr> <td>ポンプ類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> <td>ポンプあるいは電動機のいずれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部</td> </tr> <tr> <td>ファン類</td> <td>コンクリート基礎の高さ</td> <td>電動機の下端部又は端子箱下端の低い方</td> </tr> <tr> <td>電気盤類（操作盤含む）</td> <td>対象機器の設置レベル</td> <td>盤内機器（端子台、リレー、変圧器、遮断器等）の最下部</td> </tr> <tr> <td>計器関係</td> <td>計器下端レベル（計器箱に収納されているものは箱の下端レベル）</td> <td>計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 保守的に機能喪失すると仮定した部位</p>	機器	機能喪失高さ		基本設定箇所*	個別測定箇所	弁類	弁が設置される配管の中心レベル	①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部	ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ポンプあるいは電動機のいずれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部	ファン類	コンクリート基礎の高さ	電動機の下端部又は端子箱下端の低い方	電気盤類（操作盤含む）	対象機器の設置レベル	盤内機器（端子台、リレー、変圧器、遮断器等）の最下部	計器関係	計器下端レベル（計器箱に収納されているものは箱の下端レベル）	計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方	<p>【女川】 設計方針の相違 泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。 （島根2号炉と同様）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p>
機器	機能喪失高さ																																																																	
弁	①電動弁：電動弁駆動装置下端部 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																																																																	
ダンパ	各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ）のうち、最低高さの付属品の下端部																																																																	
ポンプ（操作盤含む）	①ポンプ又はモータの低い方 ②ポンプは軸貫通部下端又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ③モータは下端部又は端子箱下端の低い方																																																																	
ファン	モータは下端部又は端子箱下端の低い方																																																																	
盤	盤内の最低高さの計器類の下端部																																																																	
計器	計器本体下端又は伝送器下端の低い方																																																																	
機器	機能喪失高さ																																																																	
弁類	弁が設置される配管の中心レベル																																																																	
ポンプ類	コンクリート基礎の高さ																																																																	
ファン類	コンクリート基礎の高さ																																																																	
電気盤類	対象機器の設置レベル																																																																	
計器関係	計器下端レベル																																																																	
設備	機能喪失高さ																																																																	
	基本設定箇所*	個別設定箇所																																																																
ポンプ/電動機	・ポンプベース高さ	・電動機下端部 ・電線管接続部下端部																																																																
空気作動弁/電動弁	・取付け配管中心高さ	・制御ボックス下端部 ・電線管接続部下端部																																																																
盤	・盤ベース高さ	・開口部下端部 ・計器下端部 ・電線管接続部下端部																																																																
計器ラック	・計器ドレン弁高さ	・計器下端部 ・電線管接続部下端部 ・端子箱下端部																																																																
機器	機能喪失高さ																																																																	
	基本設定箇所*	個別測定箇所																																																																
弁類	弁が設置される配管の中心レベル	①電動弁：電動弁駆動装置の電線管接続部下端 ②空気作動弁：各付属品（アクチュエータ、電磁弁、減圧弁、リミットスイッチ等）のうち、最低高さの付属品の下端部																																																																
ポンプ類	コンクリート基礎の高さ	ポンプあるいは電動機のいずれか低い箇所 ①ポンプは軸貫通部又は油タンクのエアブリーザ部の低い方 ②電動機は下端部																																																																
ファン類	コンクリート基礎の高さ	電動機の下端部又は端子箱下端の低い方																																																																
電気盤類（操作盤含む）	対象機器の設置レベル	盤内機器（端子台、リレー、変圧器、遮断器等）の最下部																																																																
計器関係	計器下端レベル（計器箱に収納されているものは箱の下端レベル）	計器本体の電線管接続部下端又は伝送器下端の低い方																																																																
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p9条-別添1-添付1-2より抜粋</p> <p>図1-2 機能喪失高さ（電動弁の例）</p> <p>※ 本資料のうち、括弧中の内容は機能に関する事項のため公開できません。</p>	<p>図1 弁における機能喪失高さ</p>	<p>図1 機能喪失高さ（電動弁の例）</p>	<p>【女川】 設計方針の相違 泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。 （島根2号炉と同様）</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。 （島根2号炉と同様）</p>																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図2 ポンプにおける機能喪失高さ</p>	 <p>図2 ポンプにおける機能喪失高さ</p>	 <p>図2 機能喪失高さ（ポンプの例）</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。 （島根2号炉と同様）</p> <p>【女川・大飯】 <u>記載方針の相違</u> 泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。 （島根2号炉と同様）</p>
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p9条-別添1-添付1-2より抜粋</p>  <p>図1-1 機能喪失高さ（ポンプの例）</p> <p>本資料のうち、詳細な内容は機密に係る事項のため公開できません。</p>	 <p>図3 ファンにおける機能喪失高さ</p>	 <p>図3 機能喪失高さ（ファンの例）</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。 （島根2号炉と同様）</p>
			<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。 （島根2号炉と同様）</p>

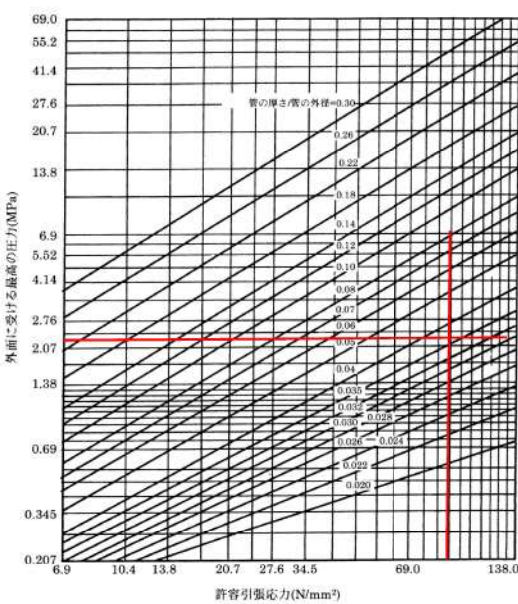
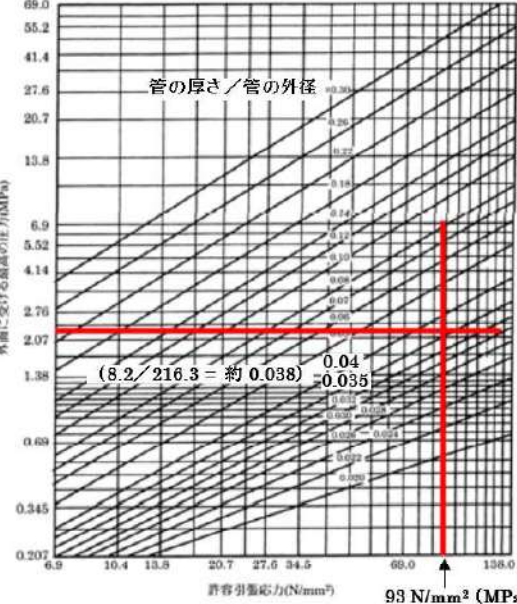
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p9条-別添1-添付1-3より抜粋</p>  <p>図 1-3 機能喪失高さ（盤の例）</p> <p>本資料のうち、枠囲みの内容は機能に関する事項のため公開できません。</p>	<p>機能喪失高さ = 設置レベル</p> <p>図 4 電気盤における機能喪失高さ</p>	<p>機能喪失高さ（個別測定箇所）</p> <p>図 4 機能喪失高さ（盤の例）</p>	<p>【女川】 設計方針の相違 泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。 （島根2号炉と同様）</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。 （島根2号炉と同様）</p>
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p9条-別添1-添付1-4より抜粋</p>  <p>図 1-5 機能喪失高さ（計器の例）</p> <p>本資料のうち、枠囲みの内容は機能に関する事項のため公開できません。</p>	<p>計器の機能喪失高さ</p> <p>図 5 計器における機能喪失高さ</p>	<p>機能喪失高さ（個別測定箇所）</p> <p>図 5 機能喪失高さ（計器の例）</p>	<p>【女川】 設計方針の相違 泊は基本設定箇所と個別測定箇所を適用している。 （島根2号炉と同様）</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊は機能喪失高さの個別測定箇所として、防護対象設備の構成部位のうち最も低い位置にある部位を選定していることから、図中の個別測定箇所の部位は一例として示している。具体的な個別測定箇所の位置は表1に示している。 （島根2号炉と同様）</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">添付資料6</p> <p style="text-align: center;">溢水影響評価の対象外とした設備について</p> <p>1. 溢水影響評価から対象外とした設備 別添1-3の図3-1に示した選定フローにより溢水影響評価対象外とした設備について、系統、設備名及び対象外の理由をリストとしてまとめた。結果を表2に示す。 また、図3-1の選定フローにおける①～④の対象外理由について以下に示す。</p> <p>(1) ①「溢水により機能を喪失しない」について 容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないとし溢水影響評価対象外とした。</p> <p>a. 配管・弁 例として、配管（材質 STPG370、口径 200A、公称肉厚 sch40（管の外径 216.3mm、管の厚さ 8.2mm）、許容引張応力 S=93MPa（常温））を設計・建設規格 PPD-3411（2）に基づき評価すると、2MPa以上の外圧に対して健全性が確保されるため、内部溢水影響評価上考慮する水頭に対しては十分な余裕がある。（図1参照） 弁は配管に対して肉厚であるため、同様に内部溢水影響評価上考慮する水頭に対して十分余裕がある。 また、弁の軸封部は、スタフィンボックス内に挿入したグランドパッキンを、押さえ金具で締め付ける構造であり、締め付けによって発生する面圧で、内部流体が外部に漏れ出ないようシールするものであるため、溢水によって弁グランドパッキンから内部への溢水の流入及びそれに伴う影響はない。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料6</p> <p style="text-align: center;">溢水影響評価の対象外とした設備について</p> <p>1. 溢水影響評価から対象外とした設備 別添1-3の図3-1に示した選定フローにより溢水影響評価対象外とした設備について、系統、設備名及び対象外の理由をリストとしてまとめた。結果を表2に示す。 また、図3-1の選定フローにおける①～④の対象外理由について以下に示す。</p> <p>(1) ①「溢水により機能を喪失しない」について 容器、熱交換器、安全弁、逆止弁、手動弁、配管等の静的機器は、外部からの電源供給等が不要であることから、溢水の影響により外部からの電源供給や電気信号を喪失しても機能喪失はしないため、溢水影響がないとし溢水影響評価対象外とした。</p> <p>a. 配管・弁 例として、配管（材質 STPG370、口径 200A、公称肉厚 sch40（管の外径 216.3mm、管の厚さ 8.2mm）、許容引張応力 S=93MPa（常温））を設計・建設規格 PPD-3411（2）に基づき評価すると、2MPa以上の外圧に対して健全性が確保されるため、内部溢水影響評価上考慮する水頭に対しては十分な余裕がある。（図1参照） 弁は配管に対して肉厚であるため、同様に内部溢水影響評価上考慮する水頭に対して十分余裕がある。 また、弁の軸封部は、スタフィンボックス内に挿入したグランドパッキンを、押さえ金具で締め付ける構造であり、締め付けによって発生する面圧で、内部流体が外部に漏れ出ないようシールするものであるため、溢水によって弁グランドパッキンから内部への溢水の流入及びそれに伴う影響はない。</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>(備考) 中間の値は、比例法によって計算する。</p> <p>図1 配管の外圧評価例（日本機械学会「発電用原子力設備規格設計建設規格」（JSME S NC1-2012）PPD-3411(2)より抜粋）</p> <p>b. 容器・熱交換器 容器及び熱交換器について、機器ごとに個別に構造及び設置の状況、設置区画における溢水の状況に基づき、図面及び現場調査により溢水による機能喪失の可能性について評価を行い、除外する判断が妥当であることを確認した。結果を表1に示す。</p>	 <p>(備考) 中間の値は、比例法によって計算する。</p> <p>図1 配管の外圧評価例（日本機械学会「発電用原子力設備規格設計建設規格」（JSME S NC1-2012）PPD-3411(2)より抜粋）</p> <p>b. 容器・熱交換器 容器及び熱交換器について、機器ごとに個別に構造及び設置の状況、設置区画における溢水の状況に基づき、図面及び現場調査により溢水による機能喪失の可能性について評価を行い、除外する判断が妥当であることを確認した。結果を表1に示す。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊は、配管の材質から許容引張応力（93MPa）が決まり、管の厚さ/管の外径（8.2/216.3 = 約 0.038）の直線と許容引張応力（93MPa）が交わる点のy軸の値が健全性を確保できる最高の外圧（2MPa以上）となることを読み取り易くするための情報を記載している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																				
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(1/6)</p> <table border="1" data-bbox="703 256 1227 1254"> <thead> <tr> <th>防護区画番号</th> <th>機器</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R-B1F-1</td> <td>CRD アキムレター CRD 薬素容器</td> <td>○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td>R-1F-13, R-1F-16</td> <td>清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ</td> <td>○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td>R-B1F-7, R-B1F-11</td> <td>清水冷却器 潤滑油冷却器</td> <td>○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水の高さしない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。 ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-B1F-1	CRD アキムレター CRD 薬素容器	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる他の要因が無いことを確認した。	R-1F-13, R-1F-16	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる他の要因が無いことを確認した。	R-B1F-7, R-B1F-11	清水冷却器 潤滑油冷却器	○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水の高さしない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。 ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる他の要因が無いことを確認した。	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(1/2)</p> <table border="1" data-bbox="1285 280 1854 1190"> <thead> <tr> <th>評価エリア番号</th> <th>機器</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>34E-F-23</td> <td>ほう殿注入タンク</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-1</td> <td>よう殿除去薬品タンク</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-4E</td> <td>原子炉補給冷却水サージタンク</td> <td>タンク開放部であるベント管より溢水が流入しないことを確認した。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-4E</td> <td>空調用冷水膨張タンク</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-4E</td> <td>A、B-原子炉補給冷却水冷却器</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-4E</td> <td>C、D-原子炉補給冷却水冷却器</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-4E</td> <td>34E-F-24</td> <td>体積制御タンク</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-18</td> <td>ほう殿タンク</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-1E</td> <td>貯水冷却器</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-18</td> <td>B-余熱除去冷却器</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-20</td> <td>A-余熱除去冷却器</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。</td> </tr> <tr> <td>34E-F-1E</td> <td>B-体積制御タンク</td> <td>同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。</td> </tr> </tbody> </table>	評価エリア番号	機器	評価	34E-F-23	ほう殿注入タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。	34E-F-1	よう殿除去薬品タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。	34E-F-4E	原子炉補給冷却水サージタンク	タンク開放部であるベント管より溢水が流入しないことを確認した。	34E-F-4E	空調用冷水膨張タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。	34E-F-4E	A、B-原子炉補給冷却水冷却器	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。	34E-F-4E	C、D-原子炉補給冷却水冷却器	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。	34E-F-4E	34E-F-24	体積制御タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。	34E-F-18	ほう殿タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。	34E-F-1E	貯水冷却器	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。	34E-F-18	B-余熱除去冷却器	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。	34E-F-20	A-余熱除去冷却器	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。	34E-F-1E	B-体積制御タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。	<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
防護区画番号	機器	評価																																																					
R-B1F-1	CRD アキムレター CRD 薬素容器	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる他の要因が無いことを確認した。																																																					
R-1F-13, R-1F-16	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油サンプタンク 空気だめ	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる他の要因が無いことを確認した。																																																					
R-B1F-7, R-B1F-11	清水冷却器 潤滑油冷却器	○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水の高さしない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。 ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の非常用ディーゼル発電設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようないかなる他の要因が無いことを確認した。																																																					
評価エリア番号	機器	評価																																																					
34E-F-23	ほう殿注入タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。																																																					
34E-F-1	よう殿除去薬品タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。																																																					
34E-F-4E	原子炉補給冷却水サージタンク	タンク開放部であるベント管より溢水が流入しないことを確認した。																																																					
34E-F-4E	空調用冷水膨張タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。																																																					
34E-F-4E	A、B-原子炉補給冷却水冷却器	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。																																																					
34E-F-4E	C、D-原子炉補給冷却水冷却器	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。																																																					
34E-F-4E	34E-F-24	体積制御タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。																																																				
34E-F-18	ほう殿タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。																																																					
34E-F-1E	貯水冷却器	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。																																																					
34E-F-18	B-余熱除去冷却器	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。																																																					
34E-F-20	A-余熱除去冷却器	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。																																																					
34E-F-1E	B-体積制御タンク	同一区画内に溢水液となりうる機器・配管は、流入防止措置を講じていることから、溢水による影響を受けない。																																																					

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(2/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="703 256 853 762">防産区画番号</th> <th data-bbox="703 767 853 1177">機器</th> <th data-bbox="703 1182 853 1492">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="703 256 853 347">R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19</td> <td data-bbox="703 352 853 762">燃料ダイオキタンク</td> <td data-bbox="703 767 853 1492">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のダイオキタンク面計の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 352 853 443">-(軽油タンクピット内)</td> <td data-bbox="703 448 853 762">軽油タンク</td> <td data-bbox="703 767 853 1492">○ピット内には溢水原因となる機器・配管はなく、また、ピット上部はハッチにより溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 448 853 539">R-2F-2-2, R-2F-2-3</td> <td data-bbox="703 544 853 762">FGS 再結合物 FGS 冷却器 FGS 気水分離器</td> <td data-bbox="703 767 853 1492">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度測定系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 544 853 635">R-3F-1</td> <td data-bbox="703 639 853 762">スキマサージタンク</td> <td data-bbox="703 767 853 1492">○コンクリートへの理込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 639 853 730">R-1F-4</td> <td data-bbox="703 735 853 762">燃料ブール冷却浄化系熱交換器</td> <td data-bbox="703 767 853 1492">○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防産区画番号	機器	評価	R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19	燃料ダイオキタンク	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のダイオキタンク面計の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	-(軽油タンクピット内)	軽油タンク	○ピット内には溢水原因となる機器・配管はなく、また、ピット上部はハッチにより溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-2F-2-2, R-2F-2-3	FGS 再結合物 FGS 冷却器 FGS 気水分離器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度測定系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-3F-1	スキマサージタンク	○コンクリートへの理込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。	R-1F-4	燃料ブール冷却浄化系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1285 256 1346 762">評価</th> <th data-bbox="1285 767 1346 1177">機器</th> <th data-bbox="1285 1182 1346 1492">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1285 256 1346 347">タンク面計部分であるベント管より溢水が浸入しないことと確認した。</td> <td data-bbox="1285 352 1346 762">溢水高さより高い位置に設置している。</td> <td data-bbox="1285 767 1346 1492">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1352 256 1413 762">同一区画内に溢水高さより高い機器・配管はない、浸入防止措置を講じていることから溢水による影響を受けない。</td> <td data-bbox="1352 352 1413 762">-</td> <td data-bbox="1352 767 1413 1492">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1420 256 1480 762">-</td> <td data-bbox="1420 352 1480 762">-</td> <td data-bbox="1420 767 1480 1492">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1487 256 1547 762">-</td> <td data-bbox="1487 352 1547 762">-</td> <td data-bbox="1487 767 1547 1492">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1554 256 1615 762">-</td> <td data-bbox="1554 352 1615 762">-</td> <td data-bbox="1554 767 1615 1492">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1621 256 1682 762">-</td> <td data-bbox="1621 352 1682 762">-</td> <td data-bbox="1621 767 1682 1492">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1688 256 1749 762">-</td> <td data-bbox="1688 352 1749 762">-</td> <td data-bbox="1688 767 1749 1492">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1756 256 1816 762">-</td> <td data-bbox="1756 352 1816 762">-</td> <td data-bbox="1756 767 1816 1492">○</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1823 256 1883 762">-</td> <td data-bbox="1823 352 1883 762">-</td> <td data-bbox="1823 767 1883 1492">○</td> </tr> </tbody> </table>	評価	機器	評価	タンク面計部分であるベント管より溢水が浸入しないことと確認した。	溢水高さより高い位置に設置している。	○	同一区画内に溢水高さより高い機器・配管はない、浸入防止措置を講じていることから溢水による影響を受けない。	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	○	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした呈取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
防産区画番号	機器	評価																																																	
R-2F-17, R-2F-18, R-2F-19	燃料ダイオキタンク	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分のダイオキタンク面計の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																	
-(軽油タンクピット内)	軽油タンク	○ピット内には溢水原因となる機器・配管はなく、また、ピット上部はハッチにより溢水の浸入防止が図られているため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																	
R-2F-2-2, R-2F-2-3	FGS 再結合物 FGS 冷却器 FGS 気水分離器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の可燃性ガス濃度測定系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																	
R-3F-1	スキマサージタンク	○コンクリートへの理込式タンクであるため溢水により機器の機能が喪失することはない。																																																	
R-1F-4	燃料ブール冷却浄化系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。																																																	
評価	機器	評価																																																	
タンク面計部分であるベント管より溢水が浸入しないことと確認した。	溢水高さより高い位置に設置している。	○																																																	
同一区画内に溢水高さより高い機器・配管はない、浸入防止措置を講じていることから溢水による影響を受けない。	-	○																																																	
-	-	○																																																	
-	-	○																																																	
-	-	○																																																	
-	-	○																																																	
-	-	○																																																	
-	-	○																																																	
-	-	○																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(3/6)</p> <p style="text-align: center;">評価</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p>○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○換気空調補機非常用冷却水系サージタンクは開放タンクであ り上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開 放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認し た。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸 水深が低いことを確認した。 ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内 に設置されている同区分の非常用ブイゼル発電設備の最も 低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損 傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因 が無いことを確認した。 ○清水膨張タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、 図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入 しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さ より、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">防護区画番号</th> <th style="width: 30%;">機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R-3F-1</td> <td>換気空調補機非常用冷却水系 サージタンク</td> </tr> <tr> <td>R-1F-15</td> <td>清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ</td> </tr> </tbody> </table> </div>	防護区画番号	機器	R-3F-1	換気空調補機非常用冷却水系 サージタンク	R-1F-15	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ		<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした星取 表形式で整理している。評価判定 の考え方については女川と泊で相 違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
防護区画番号	機器								
R-3F-1	換気空調補機非常用冷却水系 サージタンク								
R-1F-15	清水膨張タンク 機関付動弁注油タンク 機関付空気冷却器 潤滑油補給タンク 発電機軸受潤滑油冷却器 空気だめ								

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(4/6)</p> <table border="1" data-bbox="703 268 1272 1359"> <thead> <tr> <th data-bbox="703 1197 1272 1359">防護区画番号</th> <th data-bbox="703 869 1272 1192">機器</th> <th data-bbox="703 268 1272 865">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="703 1197 1272 1359">R-2F-3</td> <td data-bbox="703 869 1272 1192">高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク</td> <td data-bbox="703 268 1272 865"> ○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 1197 1272 1359">R-B3F-13</td> <td data-bbox="703 869 1272 1192">高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器</td> <td data-bbox="703 268 1272 865"> ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="703 1197 1272 1359">R-M3F-3-1</td> <td data-bbox="703 869 1272 1192">原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ</td> <td data-bbox="703 268 1272 865"> ○常時密圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 </td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号	機器	評価	R-2F-3	高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。	R-B3F-13	高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-M3F-3-1	原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ	○常時密圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。		<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした呈取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
防護区画番号	機器	評価													
R-2F-3	高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンク	○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低いいため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○高圧炉心スプレイ補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。													
R-B3F-13	高圧炉心スプレイ補機冷却水系熱交換器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の高圧炉心スプレイ補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。													
R-M3F-3-1	原子炉棟給気隔離弁用アキュムレータ	○常時密圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。													

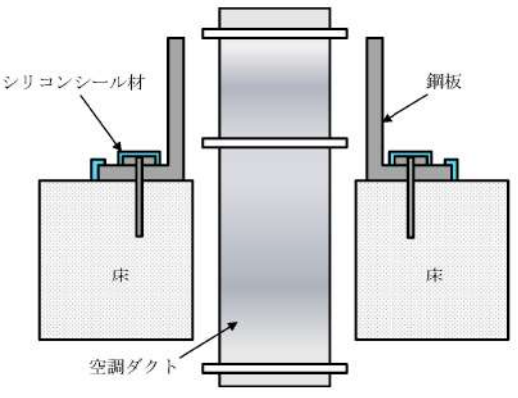
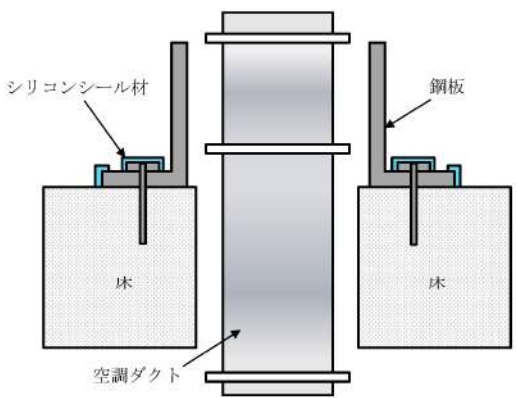
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由									
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価結果(5/6)</p> <table border="1" data-bbox="703 256 1272 1382"> <thead> <tr> <th data-bbox="703 1214 898 1382">防護区画番号 -(PCV内)</th> <th data-bbox="703 874 898 1209">機器</th> <th data-bbox="703 256 898 869">評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="904 1214 1010 1382">R-B1F-3-2</td> <td data-bbox="904 874 1010 1209">主蒸気逃し安全弁用アキユムレータ 主蒸気逃し安全弁アキユムレータ(ADS) 主蒸気第一隔離弁用アキユムレータ</td> <td data-bbox="904 256 1010 869">○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることがはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1016 1214 1039 1382">R-3F-1</td> <td data-bbox="1016 874 1039 1209">原子炉補機冷却水サージタンク</td> <td data-bbox="1016 256 1272 869">○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることがはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い。ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○原子炉補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進まない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。</td> </tr> </tbody> </table>	防護区画番号 -(PCV内)	機器	評価	R-B1F-3-2	主蒸気逃し安全弁用アキユムレータ 主蒸気逃し安全弁アキユムレータ(ADS) 主蒸気第一隔離弁用アキユムレータ	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることがはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	R-3F-1	原子炉補機冷却水サージタンク	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることがはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い。ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○原子炉補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進まない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。		<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
防護区画番号 -(PCV内)	機器	評価										
R-B1F-3-2	主蒸気逃し安全弁用アキユムレータ 主蒸気逃し安全弁アキユムレータ(ADS) 主蒸気第一隔離弁用アキユムレータ	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることがはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。										
R-3F-1	原子炉補機冷却水サージタンク	○常時蓄圧されていることから、溢水により機械的損傷が生じることがはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○当該機器設置区域は床面積が広く浸水深は最大で0.3m以下と低い。ため、溢水により機器に機械的損傷が生じることがない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○原子炉補機冷却水サージタンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進まない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
	<p>表1 容器・熱交換器に対する溢水による機能喪失の可能性評価 結果(6/6)</p> <table border="1" data-bbox="696 264 1272 1209"> <thead> <tr> <th data-bbox="696 264 869 783">評価</th> <th data-bbox="696 783 869 1209">機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="696 264 869 783"> ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 </td> <td data-bbox="696 783 869 1209"> 原子炉補機冷却水系熱交換器 R-B3F-11, R-B3F-14 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="696 264 869 783"> ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 </td> <td data-bbox="696 783 869 1209"> 残留熱除去系熱交換器 R-1F-1, R-1F-11 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="696 264 869 783"> ○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう酸水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○ほう酸水注入系貯蔵タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。 </td> <td data-bbox="696 783 869 1209"> ほう酸水注入系貯蔵タンク ほう酸水注入系アキユムレータ R-2F-3-1 </td> </tr> </tbody> </table>	評価	機器	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	原子炉補機冷却水系熱交換器 R-B3F-11, R-B3F-14	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	残留熱除去系熱交換器 R-1F-1, R-1F-11	○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう酸水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○ほう酸水注入系貯蔵タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。	ほう酸水注入系貯蔵タンク ほう酸水注入系アキユムレータ R-2F-3-1		<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では評価結果を横軸とした星取表形式で整理している。評価判定の考え方については女川と泊で相違は無い。 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
評価	機器										
○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の原子炉補機冷却水系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	原子炉補機冷却水系熱交換器 R-B3F-11, R-B3F-14										
○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されている同区分の残留熱除去系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。	残留熱除去系熱交換器 R-1F-1, R-1F-11										
○当該機器の機能が求められる際の区画の浸水深は、同じ区画内に設置されているほう酸水注入系設備の最も低い機能喪失高さ以下であるため、溢水により機器に機械的損傷が生じることはない。 ○現場調査により、溢水によって機能喪失するようなその他の要因が無いことを確認した。 ○ほう酸水注入系貯蔵タンクは開放タンクであり上部にベント管があるが、図面及び現場確認により、大気開放箇所が想定する溢水が進入しない位置であることを確認した。また、タンク開放部の高さより、タンク設置区画の最大浸水深が低いことを確認した。	ほう酸水注入系貯蔵タンク ほう酸水注入系アキユムレータ R-2F-3-1										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）





大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>c. ダクト</p> <p>換気空調系のダクトは構造部材ではないことから、水圧に対して機械的損傷が否定できないダクトについては図2に例示するような対策を講ずることとする。</p> <p>なお、例示のように、床を貫通するダクトに対して堰等の防護対策を施す場合には、現場調査の結果に基づき溢水の滴下による堰内への水の流入の可能性を検討し、必要に応じて流入防止のための配慮を行う。</p>  <p>図2 ダクトに対する溢水対策</p>	<p>c. ダクト</p> <p>換気空調系のダクトは構造部材ではないことから、水圧に対して機械的損傷が否定できないダクトについては図2に例示するような対策を講ずることとする。</p> <p>なお、例示のように、床を貫通するダクトに対して堰等の防護対策を施す場合には、現場調査の結果に基づき溢水の滴下による堰内への水の流入の可能性を検討し、必要に応じて流入防止のための配慮を行う。</p>  <p>図2 ダクトに対する溢水対策</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(4-2 原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響について より抜粋)</p> <p>3. 原子炉格納容器内防護対象設備の溢水影響評価について 耐環境性仕様である原子炉格納容器内防護対象設備については、LOCA時の原子炉格納容器内環境に対して機能維持が図れるよう、以下のことを確認している。確認結果の一覧は別表に示す。</p> <p>(1)被水影響 LOCAに伴い原子炉格納容器内圧力が上昇すると、格納容器スプレイが動作し、スプレイ水により防護対象設備が被水する。原子炉格納容器内防護対象設備は、スプレイ水に対しても機能維持が図れることを、1.に述べた環境試験により確認している。</p> <p>(2)没水影響 LOCAに伴う炉心注入及び格納容器スプレイにより、燃料取替用水ピット及び蓄圧タンクの保有水が原子炉格納容器内に注水される。LOCA時に機能要求のある防護対象設備は、1次冷却系の漏えい水の他、これらの保有水全量が原子炉格納容器内にたまった場合においても、没水しない高さに設置している。</p>	<p>(2)②「PCV内耐環境仕様の設備」について 原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、以下に示すように、設計基準事故において最も環境が苛酷な原子炉冷却材喪失事故時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様で設計（設計条件、圧力0.427MPa[gage]、温度：171℃、湿度：100%（蒸気））されているため、溢水影響評価において対象外としている。</p> <p>a. 被水による影響評価 設計基準事故時にドライウエル内が蒸気で満たされた場合、格納容器スプレイの蒸気凝縮効果によって原子炉格納容器を効果的に減圧することができる。格納容器スプレイ水はドライウエル内に一様に噴霧されるため、事故時に動作が必要となる設備については格納容器スプレイ時（被水時）にもその動作が保障されなければならない。そのため原子炉格納容器内に設置されており、事故時に動作が必要となる設備は、設計基準事故時の雰囲気下で機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>b. 没水影響評価 原子炉冷却材喪失事故時に原子炉格納容器内に発生する破断口からの溢水、及び格納容器スプレイ水は、原子炉格納容器内のドライウエル下部に溜まった後、ドライウエル下部にあるベント管を通り、サブプレッションチェンバへ流れ込む設計となっている。 高圧炉心スプレイ系の初期水源は復水貯蔵タンクであるが、サブプレッションチェンバ水位高（O.P.-3800）又は復水貯蔵タンク水位低で、水源はサブプレッションチェンバに切り替わることから、原子炉冷却材喪失事故時にサブプレッションチェンバ水位高（O.P.-3800）よりも高水位まで原子炉格納容器が溢水することは無い。 原子炉格納容器内の防護対象設備は上述したサブプレッションチェンバ水位高（O.P.-3800）以上の高さに設置されていることから、没水により機能喪失することはない。</p>	<p>(2)②「原子炉格納容器内耐環境仕様の設備」について 原子炉格納容器内設備のうち、重要度の特に高い安全機能を有する系統設備は、以下に示すように、設計基準事故において最も環境が苛酷な原子炉冷却材喪失事故時の原子炉格納容器内の状態（温度・圧力条件及び溢水影響）を考慮した耐環境仕様で設計（設計条件、圧力0.283MPa [gage]、温度：132℃、湿度：100%（蒸気））されているため、溢水影響評価において対象外としている。</p> <p>a. 被水による影響評価 設計基準事故時に原子炉格納容器内が蒸気で満たされた場合、格納容器スプレイの蒸気凝縮効果によって原子炉格納容器を効果的に減圧することができる。格納容器スプレイ水は原子炉格納容器内に一様に噴霧されるため、事故時に動作が必要となる設備については格納容器スプレイ時（被水時）にもその動作が保障されなければならない。そのため原子炉格納容器内に設置されており、事故時に動作が必要となる設備は、設計基準事故時の雰囲気下で機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>b. 没水影響評価 原子炉冷却材喪失事故時に原子炉格納容器内に発生する破断口からの溢水、及び格納容器スプレイ水は、原子炉格納容器最下階まで流下した後、原子炉格納容器再循環サンプへ流れ込む設計となっている。 原子炉冷却材喪失事故に伴う炉心注入及び原子炉格納容器スプレイにより、燃料取替用水ピット及び蓄圧タンクの保有水が原子炉格納容器内に注水され、燃料取替用水ピット水位低となり、原子炉格納容器再循環に切り替わる。 原子炉冷却材喪失事故による漏えい水も含めた水的全量が格納容器内に溜まった場合の水位はT.P.15.1mであり、原子炉格納容器内の防護対象設備はT.P.15.1mより高い位置に設置されていることから、没水により機能喪失することはない。</p>	<p>【女川】 設備名称の相違 【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違により、原子炉格納容器内の温度・圧力条件が異なる。 【女川】 設備名称の相違 【大飯】 記載表現の相違 記載方針の相違 女川審査実績の反映 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 PWRとBWRの原子炉格納容器の設計の相違により、原子炉格納容器内で発生する溢水水位の算出過程は異なるが、原子炉格納容器内の防護対象設備が溢水水位以上の高さに設置されており、没水によって機能喪失しない評価としていることに相違はない。 【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映 原子炉格納容器内の防護対象設備を没水しない高さに設置しているのは泊と大飯と同じ。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3)蒸気影響</p> <p>LOCAに伴い原子炉格納容器内には蒸気が充満する。原子炉格納容器内防護対象設備は、蒸気環境下においても機能維持が図れることを、1. に述べた環境試験により確認している。</p> <p>【伊方3号炉】まとめ資料 添付資料1 9条-別添1-添1-28より抜粋</p> <p>3. 蒸気影響評価</p> <p>LOCAに伴ってフラッシュ蒸発した1次冷却材の蒸気により、C/V内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>C/V内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう、設計および試験を実施している。</p>  <p>図-2 LOCA時のC/V内温度、圧力変化（環境条件）</p>	<p>c. 蒸気影響評価</p> <p>原子炉冷却材喪失事故に伴ってフラッシュ蒸発した原子炉冷却材の蒸気により、原子炉格納容器内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>原子炉冷却材喪失事故時に機能要求がある原子炉格納容器内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>被水及び蒸気影響を確認した確認試験は、原子炉格納容器内での再循環配管破断及び主蒸気配管破断時の環境（図3、図4参照）を包絡した条件で行っている。図5に試験条件の代表例を示す。</p>  <p>図3 原子炉格納容器圧力変化（再循環配管破断）</p>  <p>図4 原子炉格納容器温度変化（主蒸気配管破断）</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	<p>c. 蒸気影響評価</p> <p>原子炉冷却材喪失事故に伴ってフラッシュ蒸発した原子炉冷却材の蒸気により、原子炉格納容器内は全域が高温・高圧の蒸気雰囲気となる。</p> <p>原子炉冷却材喪失事故時に機能要求がある原子炉格納容器内防護対象設備は、安全解析で求められた高温・高圧環境に対して機能維持が図れるよう設計及び試験を行っている。</p> <p>被水及び蒸気影響を確認した確認試験は、原子炉格納容器内での原子炉冷却材喪失事故時の環境条件（図3参照）で行っている。図4に試験条件の代表例を示す。</p>  <p>図3 原子炉格納容器圧力変化（原子炉冷却材喪失事故時）</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績の反映</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>PWRとBWRの原子炉格納容器の設計の相違により、泊は原子炉格納容器内環境条件が最も厳しくなるLOCA時の環境条件として試験を行っている。</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>PWRとBWRの原子炉格納容器の設計の相違により、泊は原子炉格納容器内環境条件が最も厳しくなるLOCA時の環境条件として試験を行っている。（伊方と同様）</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【伊方】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>

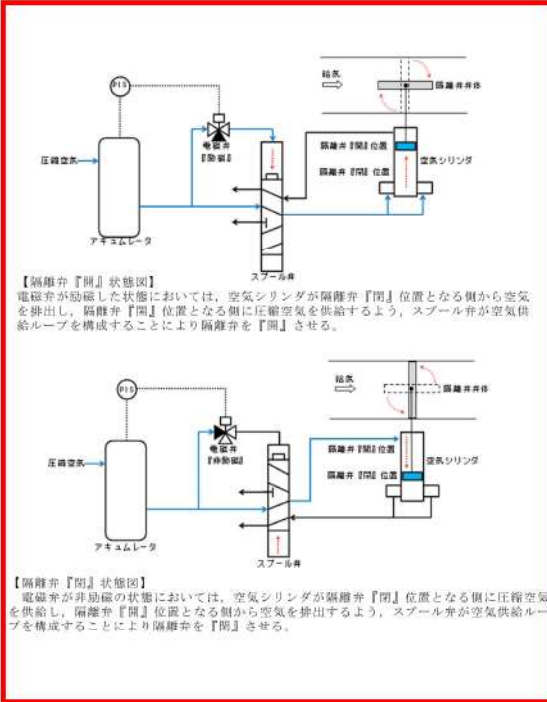
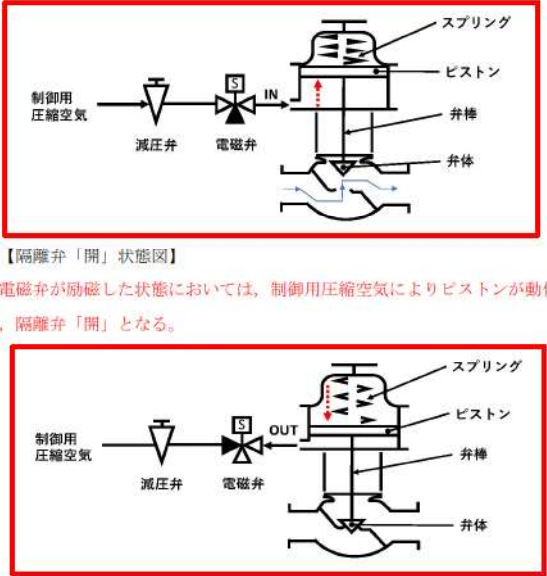
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
<p>4-3 原子炉格納容器内機器の耐環境性試験におけるスプレイ条件について</p> <p>1. 耐環境性試験の試験条件の考え方</p> <p>原則として、米国の民間規格 IEEE-323 を参考に、実機条件及び試験装置条件を考慮して設定する。</p> <p>なお、格納容器スプレイによる被水については、機器のシール性能が確認できれば機能への影響はないものと判断している。</p> <p>表1 実機条件と試験条件の比較</p> <table border="1" data-bbox="129 486 683 641"> <thead> <tr> <th></th> <th>試験条件 (伝送器の例)</th> <th>実機条件 (大阪3号炉、及び4号炉)</th> <th>実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)</th> <th>IEEE-323</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スプレイ 流量</td> <td>63.7 [L/min/m²]</td> <td>13.8 [L/min/m²]</td> <td>12.5 [L/min/m²]</td> <td>6.1 [L/min/m²]</td> </tr> <tr> <td>スプレイ 時間</td> <td>24[h]</td> <td>24[h]以上</td> <td>24[h]以上</td> <td>24[h]</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. スプレイ条件の保守性に関する考察</p> <p>格納容器スプレイは下図のとおり、LOCA後の環境温度、圧力が高い条件で24時間実施している。</p> <p>この条件でシール性能に問題のないことを確認できれば、温度、圧力が低下した24時間以降のシール性能についても問題はないと考えられ、IEEE-323にしたがったスプレイ条件は試験条件として妥当と判断している。</p> <p>図1 耐環境性試験プロファイル</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		試験条件 (伝送器の例)	実機条件 (大阪3号炉、及び4号炉)	実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)	IEEE-323	スプレイ 流量	63.7 [L/min/m ²]	13.8 [L/min/m ²]	12.5 [L/min/m ²]	6.1 [L/min/m ²]	スプレイ 時間	24[h]	24[h]以上	24[h]以上	24[h]	<p>原子炉格納容器内環境適合性の確認例</p> <p>図5 耐環境性試験品の試験条件（代表例）</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p>	<p>原子炉格納容器内環境適合性の確認例</p> <p>図4 耐環境性試験品の試験条件（代表例）</p> <p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計の相違 記載表現の相違</p>
	試験条件 (伝送器の例)	実機条件 (大阪3号炉、及び4号炉)	実機条件 (高浜3号炉、及び4号炉)	IEEE-323														
スプレイ 流量	63.7 [L/min/m ²]	13.8 [L/min/m ²]	12.5 [L/min/m ²]	6.1 [L/min/m ²]														
スプレイ 時間	24[h]	24[h]以上	24[h]以上	24[h]														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) ③「動作機能の喪失により安全機能に影響しない」について</p> <p>フェイル・セーフ機能により溢水影響評価対象外とした設備は空気作動のもの(A0)と電磁石によるもの(S0)に分類される。次項以降でそれぞれその構造を示す。</p> <p>なお、これらの溢水影響評価対象外とした設備については、フェイル動作後には動作要求がないことを確認した。</p> <p>a. 電磁弁(S0)への影響</p> <p>代表例として移動式炉心内校正装置バージ隔離弁の動作概要を図6に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は電磁石を励磁させる。これにより弁閉状態を維持するばね力に打ち勝って鉄心が電磁石に吸着し、弁開となり、またその状態を保持する。溢水によって当該隔離弁の動作機能が喪失した（電磁石が非励磁になった）場合、ばね力により鉄心は電磁石から離れて弁閉になり、また閉状態が維持される。当該弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p> <div data-bbox="728 941 1232 1197"> </div> <p>弁“開”状態図 電磁石が励磁すると、鉄心が電磁石に吸着し、弁体が押し下られて、弁体はシート部より離れる。このときばねは伸ばされ、常に弁「閉」側にばね力が加わった状態となる。</p> <p>弁“閉”状態図 電磁石が非励磁となると、鉄心は電磁石から解放され、ばねが縮みばね力にて弁体がシート部に密着する。</p> <p>図6 移動式炉心内校正装置バージ隔離弁の動作概要図</p>	<p>(3) ③「動作機能の喪失により安全機能に影響しない」について</p> <p>フェイル・セーフ機能により溢水影響評価対象外とした空気作動弁(AOV)について、次項以降でその構造を示す。</p> <p>なお、これらの溢水影響評価対象外とした設備については、フェイル動作後には動作要求がないことを確認した。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無い。</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無い。</p>

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>b. 空気作動弁（AO）への影響</p> <p>代表例として原子炉棟給気隔離弁の動作概要を図7に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は、電磁弁を励磁させ、圧縮空気によりスプール弁を動作させる。これにより圧縮空気供給ループの構成が変化して隔離弁開となり、また開状態が保持される。溢水によって当該弁の動作機能が喪失した（電磁弁が非励磁となった）場合、スプール弁は通常位置に復帰する。これにより圧縮空気供給ループが変化し、隔離弁閉となり、また閉状態が維持される。当該弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p>  <p>【隔離弁『閉』状態図】 電磁弁が励磁した状態においては、空気シリンダが隔離弁『閉』位置となる側から空気を排出し、隔離弁『開』位置となる側から圧縮空気を供給するよう、スプール弁が空気供給ループを構成することにより隔離弁を『開』させる。</p> <p>【隔離弁『開』状態図】 電磁弁が非励磁の状態においては、空気シリンダが隔離弁『閉』位置となる側から圧縮空気を供給し、隔離弁『開』位置となる側から空気を排出するよう、スプール弁が空気供給ループを構成することにより隔離弁を『閉』させる。</p> <p>図7 原子炉棟給気隔離弁の動作概要図</p>	<p>a. 空気作動弁（AOV）への影響</p> <p>フェイルポジションが「閉」である空気作動弁（隔離弁）の動作概要を図5に示す。当該隔離弁を開動作させる場合は、電磁弁を励磁させ、制御用圧縮空気によりピストンを動作させる。これにより隔離弁開となり、また開状態が保持される。溢水によって当該弁の動作機能が喪失した（電磁弁が非励磁となった）場合、ピストンは通常位置に復帰する。これにより隔離弁閉となり、また閉状態が維持される。隔離弁に要求される安全機能は閉じ込め機能であることから、溢水により当該弁の動作機能が喪失した場合においても安全機能に影響はない。</p>  <p>【隔離弁『開』状態図】 電磁弁が励磁した状態においては、制御用圧縮空気によりピストンが動作し、隔離弁『開』となる。</p> <p>【隔離弁『閉』状態図】 電磁弁が非励磁の状態においては、ピストンは通常位置に復帰し、隔離弁『閉』となる。</p> <p>図5 空気作動弁（隔離弁）の動作概要図</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊は具体的な弁を代表例としてあげるのではなく、空気作動弁（隔離弁）の共通的な動作概要として記載している。</p> <p>【女川】 設計方針の相違 隔離弁の構造の相違により、記載が異なる。</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>c. 没水によるフェイル・セイフ動作への影響</p> <p>以下に示すとおり、没水によりフェイル・セイフ機能への影響はないと考える。</p> <p>(a) 基本的には端子箱が没水した時点で電源が遮断され、電磁弁が作動し、弁のフェイル動作が完了する（電源が落ちれば誤作動はしない）。</p> <p>(b) 没水により電源が遮断されない場合は遠隔操作が可能である。</p> <p>(c) 没水により無励磁の箇所が誤って励磁される事象は考えられない。</p> <p>(d) 駆動部が没水状態となったとしても、その時点で空気排出を阻害するほどの水頭圧にならないため、空気排気・弁作動は可能である。</p> <p>(例 計装用圧縮空気系系統圧：約0.7MPa⇒水頭約70m)</p> <p>(4) ④「他の設備で代替できる」について</p> <p>他の設備により要求機能が代替できる防護対象設備は機能喪失しても安全機能に影響しないため溢水影響評価対象外とする。代替する設備はすべて逆止弁であり、またQMSに基づいた保全活動により、その機能維持を図っている。図8に系統構成例を示す。</p> <div data-bbox="703 895 1261 1417" data-label="Diagram"> </div> <p>図8 系統構成例（放射性物質の閉じ込め機能（原子炉格納容器隔離弁））</p>	<p>b. 没水によるフェイル・セイフ動作への影響</p> <p>以下に示すとおり、没水によりフェイル・セイフ機能への影響はないと考える。</p> <p>(a) 没水により電源が遮断されない場合は遠隔操作が可能である。</p> <p>(b) 没水により無励磁の箇所が誤って励磁される事象は考えられない。</p> <p>(c) 駆動部が没水状態となったとしても、その時点で空気排出を阻害するほどの水頭圧にならないため、空気排気・弁作動は可能である。</p> <p>(4) ④「他の設備で代替できる」について</p> <p>他の設備により要求機能が代替できる防護対象設備は機能喪失しても安全機能に影響しないため溢水影響評価対象外とする基準であるが、現状において、泊発電所3号炉の防護対象設備への適用実績はない。</p>	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では溢水評価対象外とした電磁弁は無いため、記載していない。</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>記載方針の相違</p> <p>図4に示したとおり隔離弁の開閉機構が異なるため、泊では女川のような例示は記載していない。</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では「他の設備で代替できる」との基準を適用し、溢水評価対象外とした設備は無い。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
(2-1 防護対象設備の抽出の考え方 より抜粋)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (1/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (1/9)					【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (1/10)															
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{※1}			
1次冷却系	原子炉容器		×	②	AC	T48-F001	バージ用空気供給側隔離弁	③	1次冷却系	3PCV-452A, B	加圧器透かし弁	②	【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違		
	SA, 3B, 3C, 3D蒸気発生器		×	②	AC	T48-F002	D/Wバージ用入口隔離弁	③	1次冷却系	3V-RC-054A, B	加圧器透かし弁元弁	③			
	SA, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ		×	①	AC	T48-F003	S/Cバージ用入口隔離弁	③	1次冷却系	3V-RC-055, 056, 057	加圧器安全弁	①			
	3加圧器		×	②	AC	T48-F004	S/Cバージ用入口隔離弁	③	1次冷却系	3LCV-451, 452	抽出ライン第1(2)止め弁	②			
	SA, 3B, 3C加圧器安全弁	3V-RC-055, 056, 057	×	①	AC	T48-F004A	格納容器外真空逃がし逆止隔離弁(A)	①	1次冷却系	3LT-451, 452, 453, 454	加圧器水位	②			
	SA, 3加圧器透かし弁	3PCV-452A, B	×	②	AC	T48-F004B	格納容器外真空逃がし逆止隔離弁(B)	①	1次冷却系	3PT-451, 452, 453, 454	加圧器圧力	②			
	SA, 3加圧器透かし弁副弁	3V-RC-054A, B	×	①	AC	T48-F005A	格納容器外真空逃がし隔離弁(A)	③	1次冷却系	3PT-410, 430	1次冷却材圧力	②			
	3加圧器透かしタンクガス分析ライン格納容器側側隔離弁	3V-RC-077	×	②	AC	T48-F005B	格納容器外真空逃がし隔離弁(B)	③	1次冷却系	3TE-411A, 413A, 415A, 421A, 423A, 425A, 431A, 433A, 435A, 441A, 443A, 445A	1次冷却材高温側温度(狭域)	②			
	3加圧器透かしタンクガス分析ライン格納容器側側隔離弁	3V-RC-078	×	①	AC	T48-F010	補給用蒸気ガス供給側第二隔離弁	③		1次冷却系	3TE-411B, 421B, 431B, 441B	1次冷却材低温側温度(狭域)		②	
	3加圧器透かしタンク蒸気供給ライン格納容器側側隔離弁	3V-RC-084	×	①	AC	T48-F010	補給用蒸気ガス供給側第二隔離弁	③	1次冷却系	3TE-410, 420, 430	1次冷却材高温側温度(広域)	②			
	3格納容器内補給水供給ライン格納容器側側隔離弁	3V-RC-095	×	①	AC	T48-F011	D/W補給用蒸気ガス供給用第一隔離弁	③	1次冷却系	3TE-417, 427, 437	1次冷却材低温側温度(広域)	②			
	SA, 3D加圧器スプレイ弁	3PCV-451A, B	×	①	AC	T48-F012	S/C補給用蒸気ガス供給用第一隔離弁	③	1次冷却系	3PT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435	1次冷却材流量	①			
	3-1次冷却材圧力	3PT-429, 430	×	②	AC	T48-F016	バージ用蒸気ガス供給側第二隔離弁	③		1次冷却系	3V-RC-077	加圧器透かしタンク自動ガス分析ラインC/V内側隔離弁		②	
	3加圧器水位	3LT-451, 452, 453, 454	×	②	AC	T48-F019	D/Wベント用出口隔離弁	③	1次冷却系	3V-RC-078	加圧器透かしタンク自動ガス分析ラインC/V外側隔離弁	③			
	SA, B, C, D-1次冷却材高温側・低濃縮側度(広域)	3TE-410, 415, 420, 425, 430, 435, 440, 445	×	②	AC	T48-F020	ベント用SGTS側隔離弁	③	1次冷却系	3V-RC-084	加圧器透かしタンク蒸気供給ラインC/V外側隔離弁	③			
	SA, B, C, D-1次冷却材高温側・低濃縮側度(狭域)	3TE-411A, 311B, 411C, 411D, 421A, 421B, 421C, 421D, 431A, 431B, 431C, 431D, 441A, 441B, 441C, 441D	×	②	AC	T48-F021	ベント用HYAC側隔離弁	③	1次冷却系	3V-RC-093	加圧器透かしタンク補給水ラインC/V外側隔離弁	③			
	3加圧器圧力	3PT-451, 452, 453, 454	×	②	AC	T48-F022	S/Cベント用出口隔離弁	③	1次冷却系	3V-RC-077	加圧器透かしタンク自動ガス分析ラインC/V内側隔離弁	②			
	SA, B, C, D-1次冷却材流量	3PT-412, 413, 414, 415, 422, 423, 424, 425, 432, 433, 434, 435, 442, 443, 444, 445	×	②	AC	T48-F023	D/Wベント用出口隔離弁バイパス弁	③		1次冷却系	3V-RC-078	加圧器透かしタンク自動ガス分析ラインC/V外側隔離弁		③	
	1次冷却材ポンプ回転数	3SE-415A, 425A, 435A, 445A	×	②	AC	T48-F024	S/Cベント用出口隔離弁バイパス弁	③	1次冷却系	3V-RC-084	加圧器透かしタンク蒸気供給ラインC/V外側隔離弁	③			
	SA, 3Bほう酸ポンプ		○	—	AC	T48-F708	事故後サンプリング設備戻り第二隔離弁	③	1次冷却系	3V-RC-093	加圧器透かしタンク補給水ラインC/V外側隔離弁	③			
SA, 3B, 3C充てんポンプ		○	—	AC	T48-F769	事故後サンプリング設備戻り第一隔離弁	③	※1 評価対象外とした理由 ①原本により機能を喪失しない、 ②原子炉格納容器内環境仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない、 ④他の設備で代替できる							
3体積制御タンク		×	②	AC	T48-F7001	バージ用蒸気供給流量	③								
3再生熱交換器		×	③	AC	T48-F7013	圧力抑制電圧力	③								
SA, 3Bほう酸タンク		×	③	AC	T48-S0-F042A	真空破壊弁(A) 計量用空気配管隔離弁	③								
3ほう酸フィルタ		×	③	AC	T48-S0-F042B	真空破壊弁(B) 計量用空気配管隔離弁	③								
3貯水冷却器		×	③	AC	T48-S0-F042C	真空破壊弁(C) 計量用空気配管隔離弁	③								
SA, 3B貯水注入フィルタ		×	③	AC	T48-S0-F042D	真空破壊弁(D) 計量用空気配管隔離弁	③								
3貯水ストレーナ		×	③	AC	T48-S0-F042E	真空破壊弁(E) 計量用空気配管隔離弁	③								
3体積制御タンク出口第1止め弁	3LCV-121B	○	—												
3体積制御タンク出口第2止め弁	3LCV-121C	○	—												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大阪発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由	
大阪3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (2/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (2/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (2/9)					【大阪】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違	
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*1	系統	機器番号	機器名称	理由*1				
化学体積制御系	3号炉急冷5機注入ライン補給弁	3V-CS-673	○	—	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (2/24)	AC	F48-S0-F042F	真空破断弁 (F) 計装用空気配管側開弁	③	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (2/9)	化学体積制御系	3FCV-138	充てん流量制御弁	③		
	3号炉充てんポンプ入り燃料取替用ホットヘッド補給弁A,B	3LV-1210, E	○	—		AC	F48-S0-F708	L S O 1 5 D/W 温水水位計装配管 (H) 制御弁	③		化学体積制御系	3V-CS-167	充てんライン流量制御弁補助オリフィスバイパス弁	③		
	3号炉充てんライン格納容器側隔離弁	3V-CS-157	○	—		AC	F48-S0-F710	L S O 1 5 D/W 温水水位計装配管 (L) 制御弁	③		化学体積制御系	3CST1	体積制御タンク	①		
	3号炉充てんライン止め弁	3V-CS-155	○	—		AC	F48-S0-F721	露点サンプリング入口第一隔離弁	③		化学体積制御系	3V-CS-191	充てんライン止め弁	③		
	3号炉充てんライン流量制御弁	3FCV-138	×	①		AC	F48-S0-F722	露点サンプリング入口第二隔離弁	③		化学体積制御系	3V-CS-186	加圧器補助スプレイ弁	④		
	3号炉1次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御弁	3FCV-146	×	①		AC	F48-S0-F723	露点サンプリング戻り第二隔離弁	③		化学体積制御系	3CSH1	再生熱交換器	①		
	3号炉抽出ライン第1止め弁	3LV-451	×	②		AC	F48-S0-F724	露点サンプリング戻り第一隔離弁	③		化学体積制御系	3CST5A, B	ほう酸タンク	①		
	3号炉抽出ライン第2止め弁	3LV-452	×	②		AC	F48-S0-F727	漏えい検出系放射線モニタ入口第一隔離弁	③		化学体積制御系	3CSF4	ほう酸フィルタ	①		
	3号炉3A, 3B抽出オリフィス出口格納容器第1隔離弁	3V-CS-004A, B, C	×	②		AC	F48-S0-F728	漏えい検出系放射線モニタ入口第二隔離弁	③		化学体積制御系	3V-CS-455A, B	ほう酸タンク出口弁	③		
	3号炉加圧器補助スプレイ弁	3V-CS-169	×	②		AC	F48-S0-F729	漏えい検出系放射線モニタ戻り第二隔離弁	③		化学体積制御系	3V-CS-468A, B	ほう酸ポンプ出口補給ライン切替弁	③		
	3号炉余熱抽出ライン第1止め弁	3V-CS-301	×	②		AC	F48-S0-F730	漏えい検出系放射線モニタ戻り第一隔離弁	③		化学体積制御系	3V-CS-473A, B	ほう酸ポンプ出口隔離ライン切替弁	③		
	3号炉余熱抽出ライン第2止め弁	3V-CS-301	×	②		AC	F48-S0-F772	T 4 8 - L S O 2 5 D/W 水位計装配管 (H) 制御弁	③		化学体積制御系	3V-CS-474A, B	ほう酸フィルタ出口A (B) ほう酸タンク戻り弁	③		
	3号炉抽出ライン格納容器第2隔離弁	3V-CS-607	×	①		CM5	E23-0001A	校正ガスボンベサポート	①		化学体積制御系	3V-CS-490A, B	ほう酸ポンプ入口切替弁	③		
	3号炉充てんライン流量制御弁前止め弁	3V-CS-151	×	①		CRD	C12	制御機駆動機構	①		化学体積制御系	3V-CS-004A, B, C	抽出オリフィス出口 C/V 内側隔離弁	②		
	3号炉ループ充てんライン止め弁	3V-CS-163	×	①		CRD	C12-0001-120	方向制御弁	③		化学体積制御系	3V-CS-006	抽出ライン格納容器外側隔離弁	③		
	3号炉1次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御弁前止め弁	3V-CS-177	×	①		CRD	C12-0001-123	方向制御弁	③		化学体積制御系	3CSH1	封水冷却器	①		
	3号炉3A, 3B, 3C, 3D-1次冷却材ポンプ封水注入ライン流量制御弁	3V-CS-196A, B, C, D	×	①		CRD	C12-0001-125	アキュムレータ	①		化学体積制御系	3V-CS-224A, B, C	1次冷却材ポンプ封水注入ライン C/V 外側隔離弁	③		
	3号炉1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第1隔離弁	3V-CS-310	×	②		CRD	C12-0001-126	スタックム入口弁	③		化学体積制御系	3V-CS-254	1次冷却材ポンプ封水戻りライン C/V 内側隔離弁	②		
	3号炉1次冷却材ポンプ封水戻りライン格納容器第2隔離弁	3V-CS-312	○	—		CRD	C12-0001-128	要素容器	①		化学体積制御系	3V-CS-242A, B, C	1次冷却材ポンプ封水戻りオリフィスバイパス弁	③		
	3号炉3A, 3B抽出オリフィス出口格納容器第1隔離弁	3V-CS-208A, B, C, D	×	②		CRD	C12-0001-132	制御機駆動水圧素ラプチュアディスク	①							
	3号炉3A, 3B抽出ほう酸タンク水位	3LT-206, 208	○	—		CRD	C12-0001-135	方向制御弁フィルタ	①							
	3号炉充てんポンプ速度制御弁	3CS	○	—		CRD	C12-0001-139	スタックムバイロット弁	③							
	3号炉充てんポンプ速度制御弁速度	3CSM	○	—		CRD	C12-L06129	HCUアキュムレータレベルスイッチ	③							
	3号炉3A, 3C1, 3C2充てんポンプ現場操作箱	3LB-5, 6, 7, 8	○	—		CRD	C12-P131	HCUアキュムレータ圧力指示計	③							
	3号炉3Bほう酸ポンプ現場操作箱	3LB-9, 10	○	—		CRD	C12-PS136	HCUアキュムレータ圧力スイッチ	③							
	安全注入系	3号炉3A, 3B高圧注入ポンプ		○		—										
		3号炉3A, 3B, 3C, 3D高圧タンク		×		②										
		3号炉3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第1止め弁	3V-S1-015A, B	○		—										
		3号炉3A, 3B高圧注入ポンプミニマムフローライン第2止め弁	3V-S1-016A, B	○		—										
		3号炉3A, 3B高圧注入ポンプ格納容器再循環サンプ吸入口格納容器側隔離弁	3V-S1-090A, B	○		—										
3号炉3A, 3B高圧注入ポンプ燃料取替用ホットヘッド入口弁		3V-S1-092A, B	○	—												
3号炉3A, 3B余熱除去ポンプRWSホット及び再循環サンプ吸入口弁		3V-S1-096A, B	○	—												
3号炉3A, 3B高圧注入ライン格納容器側隔離弁		3V-S1-062A, B	×	①												
3号炉3A, 3B高圧注入ポンプ出口連絡弁		3V-S1-060A, B	×	②												

※1 評価対象外とした理由
①溢水により機能を喪失しない
②FCV耐環境仕様仕様の設備
③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (3/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (3/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (3/9)				【大飯】	
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{#1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{#1}		
安全注入系	3A, 3B, 3C, 3D 高圧注入ポンプ高圧側注入ライン止め弁	3V-SI-067A, B	×	②	① 溢水により機能を喪失しない ② PCV内耐燃機仕様の設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④ 単一の設備で代替できる	CUW	G31-F002	CUW入口ライン第一隔離弁	②	高圧注入系	3SIT2	ほう酸注入タンク	①	【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	3A, 3B, 3C, 3D 高圧タンク出口弁	3V-SI-132A, B, C, D	×	②		DG	R13-A001A	清水膨張タンク (A)	①	高圧注入系	3V-SI-061A, B	高圧注入ポンプ出口 C/V 内側隔離弁	②	
	3格納容器再循環サンプ水位(狭域)・広域)	3LT-470, 471, 472, 473	×	②		DG	R13-A001B	清水膨張タンク (B)	①	高圧注入系	3V-SI-062A, B	高圧側高圧注入 (B) ライン止め弁	②	
	3A, 3B高圧注入ポンプ現場操作箱	3LB-12, 13	○	—		DG	R13-A100A	潤滑油サンプタンク (A)	①	高圧注入系	3V-SI-141	ほう酸注入タンク循環ライン入口止め弁	③	
	3A高圧注入流量 (I), 3B高圧注入流量 (II)	3FT-962, 963	○	—		DG	R13-A100B	潤滑油サンプタンク (B)	①	高圧注入系	3V-SI-145, 146	ほう酸注入タンク循環ライン出口第1 (2) 止め弁	③	
余熱除去系	3燃料転写用ホット水位 1, II, III, IV	3LT-1400, 1401, 1402, 1403	○	—	DG	R13-A101A	機関付動弁注油タンク (A)	①	高圧注入系	3CVT2, 3	格納容器再循環サンプ	①	【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違	
	3A, 3B余熱除去ポンプ	3PCV-601, 611	×	③	DG	R13-A101B	機関付動弁注油タンク (B)	①	高圧注入系	3LT-620, 630	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	②		
	3A, 3B余熱除去冷却器	3PCV-601, 611	○	—	DG	R13-A200A	軽油タンク (A)	①	高圧注入系	3LT-621, 631	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	②		
	3A, 3B余熱除去冷却器出口流量設定弁	3BCV-603, 613	×	①	DG	R13-A200B	軽油タンク (B)	①	高圧注入系	3SITA, B, C	蓄圧タンク	①		
	3A, 3B余熱除去冷却器バイパス流量制御弁	3PCV-604, 614	×	①	DG	R13-A200C	軽油タンク (C)	①	高圧注入系	3V-SI-123A, B, C	蓄圧タンクサンプリングライン C/V 内側隔離弁	②		
	3A, 3B余熱除去ポンプB, Cループ高圧側入口止め弁	3PCV-420, 430	×	②	DG	R13-A200D	軽油タンク (D)	①	高圧注入系	3V-SI-124	蓄圧タンクサンプリングライン C/V 外側隔離弁	②		
	3A, 3B余熱除去ポンプ入口格納容器隔離弁	3V-01-002A, B	×	②	DG	R13-A200E	軽油タンク (E)	①	高圧注入系	3V-SI-164	蓄圧タンク変換供給ライン C/V 外側隔離弁	③		
	3A, 3B余熱除去冷却器出口格納容器隔離弁	3V-01-043A, B	×	①	DG	R13-A200F	軽油タンク (F)	①	高圧注入系	3V-SI-184	安全注入逆止弁テストライン C/V 内側隔離弁	②		
	3A, 3B 余熱除去冷却器出口連絡弁	3V-01-047A, B	×	②	DG	R13-A201A	燃料デایتンク (A)	①	高圧注入系	3V-SI-185	蓄圧タンク補給ライン C/V 外側隔離弁	③		
	3B, 3Cループ高圧側高圧注入ライン止め弁	3V-01-048A, B	×	②	DG	R13-A201B	燃料デایتンク (B)	①	高圧注入系	3V-SI-186	安全注入逆止弁テストライン C/V 外側隔離弁	③		
格納容器スプレイ系	3A, 3B余熱除去ポンプ出口流量	3FT-601, 611	○	—	DG	R13-A300A	空気だめ (自動) (A)	①	余熱除去系	3RH1A, B	余熱除去冷却器	①	① 溢水により機能を喪失しない ② 原子炉格納容器内耐燃機仕様の設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④ その他の設備で代替できる	
	3A, 3B余熱除去ポンプ出口流量	3FT-601, 611	○	—	DG	R13-A300B	空気だめ (自動) (B)	①	余熱除去系	3RH1A, B	余熱除去冷却器	①		
	3A, 3B格納容器スプレイ現場操作箱	3LB-14, 15	○	—	DG	R13-B001A	清水冷却器 (A)	①	余熱除去系	3PCV-410, 430	余熱除去 (B) ライン入口止め弁	②		
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ	3LB-18, 19	○	—	DG	R13-B001B	清水冷却器 (B)	①	余熱除去系	3V-R1-002A, B	余熱除去ポンプ入口 C/V 内側隔離弁	②		
	3A, 3B格納容器スプレイ冷却器	3V-CP-059A, B	×	③	DG	R13-B003A-1	機関付空気冷却器 (L側)	①	余熱除去系	3V-R1-020A, B	余熱除去 (B) ライン C/V 外側隔離弁	③		
	3よう素除去薬品タンク	3V-CP-059A, B	×	③	DG	R13-B003A-2	機関付空気冷却器 (R側)	①	余熱除去系	3V-R1-033A, B	余熱除去冷却器出口 C/V 内側隔離弁	②		
	3-内調整弁タンク	3V-CP-001A, B	○	—	DG	R13-B003B-1	機関付空気冷却器 (L側)	①	余熱除去系	3V-R1-034A, B	高圧側低圧注入ライン止め弁	②		
	3A, 3Bよう素除去薬品注入ライン第1止め弁	3V-CP-002A, B	○	—	DG	R13-B003B-2	機関付空気冷却器 (R側)	①	主給水系	3LT-460, 461, 462, 473, 470, 471, 472, 473, 480, 481, 482, 483	蒸気発生器水位 (狭域)	②		
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ燃料転写用ホット水位入口止め弁	3V-CP-003A, B	○	—	DG	R13-B100A	潤滑油冷却器 (A)	①	主給水系	3LT-464, 474, 484	蒸気発生器水位 (広域)	②		
	3A, 3B格納容器スプレイポンプ再循環サンプ出入口格納容器隔離弁	3V-CP-024A, B	○	—	DG	R13-B100B	潤滑油冷却器 (B)	①						
主蒸気及び主給水系、補助給水系	3格納容器圧力 (広域) 1, II, III, IV	3PT-950, 951, 952, 953	○	—										
	3タービン駆動補助給水ポンプ	3LB-18, 19	○	—										
	3タービン駆動補助給水ポンプ	3LB-18, 19	○	—										
	3タービン駆動補助給水ポンプ	3V-WS-570A, B	○	—										
	3タービン駆動補助給水ポンプ起動弁A, B	3V-WS-570A, B	○	—										
	3A, 3B, 3C, 3D 補助給水隔離弁	3V-IV-574A, B, C, D	×	④										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト（4/10）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（4/24）				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（4/9）				【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{※1}	
主蒸気及び補助給水系	3A, 3B, 3C, 3D電動補助給水ライン直流量調節弁	3V-F9-667A, B, C, D	×	①	⑥	R43-0200A	燃料移送ポンプ入口ストレーナ（A）	①	3RVC-3616, 3626, 3636	主蒸気バイパス隔離弁	③	③	
	3重水ビット電動補助給水ポンプ阻止弁	3V-F9-680	×	①									
	3重水ビットタービン駆動補助給水ポンプ阻止弁	3V-F9-681	×	①									
	3A, 3B, 3C, 3Dタービン補助給水ライン直流量調節弁	3RVC-3715, 3725, 3735, 3745	×	①									
	3A, 3Bタービン駆動補助給水ポンプ駆動蒸気供給ライン止弁	3V-MS-675A, B	×	①									
	3A, 3B, 3C, 3D主給水隔離弁	3V-F9-620A, B, C, D	×	③									
	3重水ビット水位Ⅲ, IV	3LT-3760, 3761	○	—									
	3A, 3B, 3C, 3D蒸気発生器補助給水直流量	3FT-3716, 3726, 3736, 3746	○	—									
	3A, B, C, D蒸気発生器広域水位	3LT-464, 474, 484, 494	×	②									
	3A, B, C, D蒸気発生器狭域水位	3LT-460, 461, 462, 463, 470, 471, 472, 473, 480, 481, 482, 483, 490, 491, 492, 493	×	②									
	3タービン駆動補助給水ポンプ起動機A, B	3TD-A, B	○	—									
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁	3V-MS-630A, B, C, D	○	—									
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁バイパス弁	3RVC-3615, 3625, 3635, 3645	×	①									
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気過し弁	3RVC-3613, 3623, 3633, 3643	○	—									
	3A, 3B, 3C, 3D-1主蒸気安全弁	3V-MS-626A, B, C, D	×	①									
	3A, 3B, 3C, 3D-2主蒸気安全弁	3V-MS-627A, B, C, D	×	①									
	3A, 3B, 3C, 3D-3主蒸気安全弁	3V-MS-628A, B, C, D	×	①									
	3A, 3B, 3C, 3D-4主蒸気安全弁	3V-MS-629A, B, C, D	×	①									
	3A, 3B, 3C, 3D-5主蒸気安全弁	3V-MS-630A, B, C, D	×	①									
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気隔離弁上流ドレンライン止弁	3V-MS-685A, B, C, D	×	①									
	3A, 3B, 3C, 3D主蒸気過し弁弁弁	3V-MS-620A, B, C, D	×	①									
	I, II, III, IV, 3A, 3B, 3C, 3D主蒸気圧力	3PT-465, 466, 467, 468, 475, 476, 477, 478, 485, 486, 487, 488, 495, 496, 497, 498	○	—									
	原子炉補機冷却系	3A, 3B, 3C, 3D原子炉補機冷却水ポンプ	—	○			—	⑥					R43-115050A
3原子炉補機冷却水サージタンク		—	×	③									
3A, 3B原子炉補機冷却水冷却器		—	×	③									
3A, 3B格納容器スプレイ冷却器冷却水止弁		3V-CC-178A, B	○	—									
3A-C, 3B-C原子炉補機冷却水供給管逆閉弁		3V-CC-056A, B	○	—									
3A-C, 3B-C原子炉補機冷却水戻り管逆閉弁		3V-CC-043A, B	○	—									
3A, 3B余熱除去冷却器冷却水止弁		3V-CC-114A, B	○	—									
5-1次冷却材ポンプ冷却水供給ライン格納容器隔離弁		3V-CC-409	○	—									
5-2次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器隔離弁		3V-CC-427	×	②									
3A, 3B, 3C, 3D原子炉補機冷却水ポンプ		—	○	—									

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②PCT内前処理機仕体の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

*1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②原子炉格納容器内副凝縮器仕体の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④その他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (5/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/9)					【大飯】
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{※1}			
原子炉機械冷却系	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第1隔離弁	3V-CC-429	○	—	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/24)	06	B43-L5257B	シリンダー浸水スイッチ	⑤	表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (5/9)	使用済燃料ピット水浄化冷却系	3SFD1A,B	使用済燃料ピット冷却器	①	【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第2隔離弁	3V-CC-342	○	—		06	B43-P1052A	機関付浸水ポンプ出口圧力指示計	⑤		使用済燃料ピット水浄化冷却系	3SFD1A,B	使用済燃料ピット脱塩塔	①	
	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第3隔離弁	3V-CC-365	○	—		06	B43-P1052B	機関付浸水ポンプ出口圧力指示計	⑤		使用済燃料ピット水浄化冷却系	3SFD1A,B	使用済燃料ピットフィルタ	①	
	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第4隔離弁	3V-CC-189A,B	○	—		06	B43-P1191A	機関付浸水ポンプ出口圧力指示計	⑤		使用済燃料ピット水浄化冷却系	3SFD1A,B	使用済燃料ピットフィルタ	①	
	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第5隔離弁	3V-CC-198A,B,C,D	○	—		06	B43-P1101B	機関付浸水ポンプ出口圧力指示計	⑤		原子炉補機冷却海水系	3S-SW-01A,B,C,D	原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナ	①	
	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第6隔離弁	3V-CC-600,600	○	—		06	B43-P1202A	燃料移送ポンプ前後圧力指示計	③		原子炉補機冷却海水系	3S-SW-02A,B,C,D	原子炉補機冷却海水ポンプ入口ストレーナ	①	
	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第7隔離弁	3V-CC-600,600	○	—		06	B43-P1202B	燃料移送ポンプ前後圧力指示計	③		液体廃棄物処理系	3V-9L-005	CVDT自動ガス分析ラインC/V内側隔離弁	②	
	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第8隔離弁	3V-CC-600,600	○	—		06	B43-P1203A	燃料移送ポンプ出口圧力指示計	③		液体廃棄物処理系	3V-9L-006	CVDT自動ガス分析ラインC/V外側隔離弁	③	
	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第9隔離弁	3V-CC-600,600	○	—		06	B43-P1203B	燃料移送ポンプ出口圧力指示計	③		液体廃棄物処理系	3V-9L-010	格納容器冷却材ドレンタンクベントラインC/V内側隔離弁	②	
	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第10隔離弁	3V-CC-600,600	○	—		06	B43-P1211A	機関入口燃料油圧力指示計	④		液体廃棄物処理系	3V-9L-011	格納容器冷却材ドレンタンクベントラインC/V外側隔離弁	③	
	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第11隔離弁	3V-CC-600,600	○	—		06	B43-P1211B	機関入口燃料油圧力指示計	④		液体廃棄物処理系	3V-9L-017	格納容器冷却材ドレンタンク電素供給C/V隔離弁	③	
	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第12隔離弁	3V-CC-600,600	○	—		06	B43-P1255A	機関入口吸気圧力（L側）指示計	④		液体廃棄物処理系	3V-9L-031	格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/V内側隔離弁	②	
	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第13隔離弁	3V-CC-600,600	○	—		06	B43-P1255B	機関入口吸気圧力（R側）指示計	④		液体廃棄物処理系	3V-9L-032	格納容器冷却材ドレンポンプ出口C/V外側隔離弁	③	
	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第14隔離弁	3V-CC-600,600	○	—		06	B43-P1256A	機関入口吸気圧力（L側）指示計	④		液体廃棄物処理系	3V-9L-113	格納容器サンポンプ出口C/V内側隔離弁	②	
	3-1次冷却材ポンプ冷却水戻りライン格納容器第15隔離弁	3V-CC-600,600	○	—		06	B43-P1256B	機関入口吸気圧力（R側）指示計	④		液体廃棄物処理系	3V-9L-114	格納容器サンポンプ出口C/V外側隔離弁	③	
燃料ピット冷却浄化系	3A,3B使用済燃料ピット脱塩塔	3B-26,27,28,29	○	—	06	B43-P15108A	機関潤滑油圧力	③	① 評価対象外とした理由 ① 浸水により機能を喪失しない。 ② 原子炉格納容器内前座地仕様の設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない。 ④ その他の設備で代替できる	06	B43-P15108B	機関潤滑油圧力	④		
	3A,3B使用済燃料ピット脱塩塔	3B-26,27,28,29	○	—	06	B43-P15113A	潤滑油プライミングポンプ出口圧力指示計（接点付）	③		06	B43-P15113B	潤滑油プライミングポンプ出口圧力指示計（接点付）	③		
	3A,3B使用済燃料ピット脱塩塔	3B-26,27,28,29	○	—	06	B43-P15253A	空気だめ圧力（自動）指示計（接点付）	④		06	B43-P15253B	空気だめ圧力（自動）指示計（接点付）	④		
	3A,3B使用済燃料ピット脱塩塔	3B-26,27,28,29	○	—	06	B43-P15254B	燃料ハンドルの位置異常スイッチ	④		06	B43-Ps8200A	燃料ハンドルの位置異常スイッチ	④		
	3A,3B使用済燃料ピット脱塩塔	3B-26,27,28,29	○	—	06	B43-Ps8202A	ターニングハンドルの位置異常スイッチ	④		06	B43-Ps8202B	ターニングハンドルの位置異常スイッチ	④		
	3A,3B使用済燃料ピット脱塩塔	3B-26,27,28,29	○	—	06	B43-Ps250A	空気だめ圧力（自動）スイッチ	④		06	B43-Ps250B	空気だめ圧力（自動）スイッチ	④		
	3A,3B使用済燃料ピット脱塩塔	3B-26,27,28,29	○	—	06	B43-Ps250B	空気だめ圧力（自動）スイッチ	④							
	3A,3B使用済燃料ピット脱塩塔	3B-26,27,28,29	○	—											
	3A,3B使用済燃料ピット脱塩塔	3B-26,27,28,29	○	—											
	3A,3B使用済燃料ピット脱塩塔	3B-26,27,28,29	○	—											
燃料取替用水系	3A,3B燃料取替用水ポンプ	3B-33,34	○	—											
	3A,3B燃料取替用水ポンプ	3B-33,34	○	—											
	3A,3B燃料取替用水ポンプ	3B-33,34	○	—											
	3A,3B燃料取替用水ポンプ	3B-33,34	○	—											
	3A,3B燃料取替用水ポンプ	3B-33,34	○	—											
	3A,3B燃料取替用水ポンプ	3B-33,34	○	—											
	3A,3B燃料取替用水ポンプ	3B-33,34	○	—											
	3A,3B燃料取替用水ポンプ	3B-33,34	○	—											
	3A,3B燃料取替用水ポンプ	3B-33,34	○	—											
	3A,3B燃料取替用水ポンプ	3B-33,34	○	—											
蒸気発生器ブローダウン系	3A,3B,3C,3D蒸気発生器試験用排水ライン格納容器第1隔離弁	3V-BD-101A,B,C,D	×	①											
	3A,3B,3C,3D蒸気発生器試験用排水ライン格納容器第2隔離弁	3V-BD-018A,B,C,D	×	①											
	3A,3B,3C,3D蒸気発生器試験用排水ライン格納容器第3隔離弁	3V-SS-503	×	②											
	3A,3B,3C,3D蒸気発生器試験用排水ライン格納容器第4隔離弁	3V-SS-506	×	②											
	3A,3B,3C,3D蒸気発生器試験用排水ライン格納容器第5隔離弁	3V-SS-522	×	②											
	3A,3B,3C,3D蒸気発生器試験用排水ライン格納容器第6隔離弁	3V-SS-507	×	①											
	3A,3B,3C,3D蒸気発生器試験用排水ライン格納容器第7隔離弁	3V-SS-525	×	②											
	3A,3B,3C,3D蒸気発生器試験用排水ライン格納容器第8隔離弁	3V-SS-525	×	②											
	3A,3B,3C,3D蒸気発生器試験用排水ライン格納容器第9隔離弁	3V-SS-525	×	①											
	3A,3B,3C,3D蒸気発生器試験用排水ライン格納容器第10隔離弁	3V-SS-593A,B,C,D	×	②											
1次系試験採取系	3A,3B,3C,3D蒸気発生器試験用排水ライン格納容器第11隔離弁	3V-SS-594	×	①											
	3A,3B,3C,3D蒸気発生器試験用排水ライン格納容器第12隔離弁	3V-SS-574	×	①											
	3A,3B,3C,3D蒸気発生器試験用排水ライン格納容器第13隔離弁	3V-SS-574	×	①											
	3A,3B,3C,3D蒸気発生器試験用排水ライン格納容器第14隔離弁	3V-SS-574	×	①											
	3A,3B,3C,3D蒸気発生器試験用排水ライン格納容器第15隔離弁	3V-SS-574	×	①											
	3A,3B,3C,3D蒸気発生器試験用排水ライン格納容器第16隔離弁	3V-SS-574	×	①											
	3A,3B,3C,3D蒸気発生器試験用排水ライン格納容器第17隔離弁	3V-SS-574	×	①											
	3A,3B,3C,3D蒸気発生器試験用排水ライン格納容器第18隔離弁	3V-SS-574	×	①											
	3A,3B,3C,3D蒸気発生器試験用排水ライン格納容器第19隔離弁	3V-SS-574	×	①											
	3A,3B,3C,3D蒸気発生器試験用排水ライン格納容器第20隔離弁	3V-SS-574	×	①											
前扉用空気系	3A,3B前扉用空気圧縮機		○	—											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由	
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (6/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (6/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (6/9)				【大飯】	
制御用空気系	系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由*1	系統	機器番号	機器名称	理由*	記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
		3A、3B制御用空気乾燥機	3IAH1A、B	×*1	②	00	R43-PS201A	空気だめ圧力（自動）スイッチ	④	00	3V-SS-514、519	B（C）ループ高圧側サンプリングラインC/V内側隔離弁	②	
		3A、3B制御用空気乾燥機	3IAT1A、B	×*1	③	00	R43-PS201B	空気だめ圧力（自動）スイッチ	④	00	3V-SS-521A	Bループ高圧側、加圧器サンプリングラインC/V外側隔離弁	④	
		3A、3B制御用空気主配管遮断弁	3V-1A-505A、B	○	—	00	R43-TE331A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（U相）検出器	④	00	3V-SS-521B	Cループ高圧側サンプリングラインC/V外側隔離弁	⑤	
		3A-C、3B-C制御用空気管遮断弁	3V-1A-504A、B	○	—	00	R43-TE331B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（U相）検出器	④	00	3V-SS-718	PASS1次冷却材サンプル戻りラインC/V外側隔離弁	⑤	
		3A、3B制御用空気格納容器隔離弁	3V-1A-508A、B	○	—	00	R43-TE332A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（V相）検出器	④	00				
		3A、3B格納容器内前部8トラスタ制御用空気管遮断弁	3V-1A-510A、B	×	②	00	R43-TE332B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（V相）検出器	④	00	3V-DP-001A、B	格納容器減圧ライン格納容器内側隔離弁	②	
		3A、3B制御用空気供給管遮断弁	3PT-1800、1810	○	—	00	R43-TE333A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（W相）検出器	④	00	3V-DP-002A、B	格納容器減圧ライン格納容器外側隔離弁	⑤	
		3A、3B制御用空気圧縮機制御弁	3IAC-A、B	○	—	00	R43-TE334A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（U相）検出器	④	00	3V-BC-304A、B	格納容器水素バージ給気ライン格納容器外側隔離弁	③	
		3格納容器冷却材ドレンタンクガス分岐ライン格納容器第1隔離弁	3V-ML-078	×	②	00	R43-TE334B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（U相）検出器	④	00				
廃棄物処理系		3格納容器冷却材ドレンタンクガス分岐ライン格納容器第2隔離弁	3V-ML-079	×	①	00	R43-TE334C	非常用D/G（A）固定子巻線温度（U相）検出器	④	00				
		3格納容器冷却材ドレンタンクベントライン格納容器第1隔離弁	3V-ML-083	×	②	00	R43-TE334D	非常用D/G（B）固定子巻線温度（U相）検出器	④	00				
		3格納容器冷却材ドレンタンクベントライン格納容器第2隔離弁	3V-ML-084	×	①	00	R43-TE335A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（U相）検出器	④	00				
		3格納容器冷却材ドレンタンク集塵部給気ライン格納容器第1隔離弁	3V-ML-094	×	①	00	R43-TE335B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（U相）検出器	④	00				
		3格納容器冷却材ドレンタンク集塵部給気ライン格納容器第2隔離弁	3V-ML-042	×	②	00	R43-TE336A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（W相）検出器	④	00				
		3格納容器冷却材ドレンタンク出口格納容器第1隔離弁	3V-ML-043	×	①	00	R43-TE336B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（W相）検出器	④	00				
		3格納容器冷却材ドレンタンク出口格納容器第2隔離弁	3V-ML-143	×	②	00	R43-TE336C	非常用D/G（A）固定子巻線温度（W相）検出器	④	00				
		3格納容器サンポンプ出口格納容器第1隔離弁	3V-ML-144	×	①	00	R43-TE337A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（U相）検出器	④	00				
		3格納容器サンポンプ出口格納容器第2隔離弁	3V-ML-144	×	①	00	R43-TE337B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（U相）検出器	④	00				
		3格納容器サンポンプ出口格納容器第3隔離弁	3V-ML-143	×	②	00	R43-TE338A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（V相）検出器	④	00				
消火水系		3消火水ライン格納容器隔離弁	3V-FS-502	×	①	00	R43-TE338B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（V相）検出器	④	00				
		3消火水ライン格納容器隔離弁	3V-FS-502	×	①	00	R43-TE339A	非常用D/G（A）固定子巻線温度（W相）検出器	④	00				
炉内時計装置及びガスバーン装置		3炉内時計装置ガスバーンライン格納容器第1隔離弁	3V-TG-009	×	②	00	R43-TE339B	非常用D/G（B）固定子巻線温度（W相）検出器	④	00				
		3炉内時計装置ガスバーンライン格納容器第2隔離弁	3V-TG-008	×	①	00	R43-TE341A	非常用D/G（A）軸受温度検出器	④	00				
熱気空調系		手動弁 一式		×	③	00	R43-TE341B	非常用D/G（B）軸受温度検出器	④	00				
		3熱気空調機	3VB	○	—	00	R43-TI051B	機関入口ディーゼル冷却水温度指示計	④	00				
		3A、3B中央制御室空調ファン		○	—	00	R43-TI051B	機関入口ディーゼル冷却水温度指示計	④	00				
		3A、3B中央制御室循環ファン		○	—	00	R43-TI051A	機関出口ディーゼル冷却水温度指示計（接点付）	④	00				
		3A、3B中央制御室非常用循環ファン	3VSP22A、B	○	—	00	R43-TI054B	機関出口ブローワーゼル冷却水温度指示計（接点付）	④	00				
		3A、3B中央制御室外取入止めダンパ	3D-VS-601A、B	×	①	00	R43-TI09A	機関入口潤滑油温度指示計（接点付）	④	00				
		3A、3B中央制御室非常用循環ファン入口ダンパ	3D-VS-602A、B	○	—	00								
		3A、3B中央制御室空調ファン出口ダンパ	3D-VS-603A、B	○	—	00								
		3A、3B中央制御室循環ファン入口ダンパ	3D-VS-604A、B	○	—	00								
		3A、3B中央制御室外取入流量調節ダンパ	3BCD-2874、2875	○	—	00								
		3A、3B中央制御室循環流量調節ダンパ	3BCD-2885、2886	○	—	00								
		3A、3B中央制御室大気放出流量調節ダンパ	3BCD-2887、2888	×	①	00								
		3A、3B中央制御室事故時外取入流量調節ダンパ	3BCD-2889、2890	○	—	00								

【大飯】
 記載表現の相違
 女川審査実績の反映
 設計方針の相違
 プラント設計の違いによる相違

【女川】
 記載表現の相違
 設計方針の相違
 プラント設計の違いによる相違

*1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②原子炉格納容器内側保護仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④その他の設備で代替できる

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②PCV内側保護仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (7/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (7/24)				表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (7/9)				【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^①	系統	機器番号	機器名称	理由 ^②	
換気空調系	3A, 3B中央制御室非常時前扉開放制御ダンパ	3BFC-2991, 2992	○	—	① 評価対象外とした理由 ① 溢水により機能を喪失しない。 ② PCV内面腐蝕仕様の設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない。 ④ その他の設備で代替できる	06	R43-TIS109B	機関入口潤滑油温度指示計（検点付）	②	燃料取替用水系	3BF-P	燃料取替用水ヒット	①
	3中央制御室温度(1), (2)	3TS-2908, 2909	○	—		06	R43-TIS343A	非常用D/G(A) 軸受温度指示計（検点付）	②	燃料取替用水系	3BFH1	燃料取替用水加熱器	①
	3A, 3B中央制御室非常用前扉ファン出口流量	3FS-2904, 2905	○	—		06	R43-TIS343B	非常用D/G(B) 軸受温度指示計（検点付）	②	制御用空気系	3V-1A-514A, B	制御用空気原子炉格納容器内供給弁	②
	3A, 3B中央制御室空調ファン出口流量	3FS-2910, 2911	○	—		06	R43-TS112A	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	②	換気空調系	30-VS-291A, B	燃料取扱機事故時排気ライン隔離ダンパ	③
	3A, 3B中央制御室排気扇ダンパ流量設定	3HC-2974, 2975	○	—		06	R43-TS112B	潤滑油グライミングポンプ入口温度スイッチ	②	換気空調系	3VSK7A, B	アニュラス空気浄化フィルタユニット	①
	3A, 3B中央制御室排気扇ダンパ流量設定	3HC-2985, 2986	○	—		PCS	T49-4001A	FCS再結晶器(A)	①	換気空調系	—	排気筒	①
	3A, 3B中央制御室排気扇ダンパ流量設定	3HC-2987, 2988	○	①		PCS	T49-4001B	FCS再結晶器(B)	①	換気空調系	—	排気筒	①
	3A, 3B中央制御室排気扇ダンパ流量設定	3HC-2989, 2990	○	—		PCS	T49-4001A	FCS冷却器(A)	①	換気空調系	3V-VS-055	格納容器給気ライン格納容器外側隔離弁	③
	3A, 3B中央制御室排気扇ダンパ流量設定	3HC-2991, 2992	○	—		PCS	T49-4001B	FCS冷却器(B)	①	換気空調系	3V-VS-056	格納容器給気ライン格納容器内側隔離弁	②
	3A, 3B安全補機間閉器室空調ファン	3TS-2916, 2917	○	—		PCS	T49-0001A	FCS気水分離器(A)	①	換気空調系	3V-VS-061	格納容器排気ライン格納容器内側隔離弁	②
	3A, 3B安全補機間閉器室空調ファン	3TS-2918, 2919	○	—		PCS	T49-0001B	FCS気水分離器(B)	①	換気空調系	3V-VS-062	格納容器排気ライン格納容器外側隔離弁	③
	3安全系電気駆動給気止めダンパA, B	3D-VS-532, 533	○	—		PCS	T49-0001A	FCS(A) 入口ガス温度検出器	②	換気空調系	3V-VS-301A, B	安全補機室給気第1隔離ダンパ	③
	3安全系電気駆動排気止めダンパA, B	3D-VS-536, 537	○	—		PCS	T49-0001B	FCS(B) 入口ガス温度検出器	②	換気空調系	3D-VS-302A, B	安全補機室給気第2隔離ダンパ	③
	3A, 3B安全補機間閉器室温度	3TS-2917, 2918	○	—		PCS	T49-TI091A	FCS再結晶器(A) 内ガス温度検出器	②	換気空調系	3D-VS-303A, B	安全補機室排気第1隔離ダンパ	③
	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン	3TS-2771, 2772	○	—		PCS	T49-TI091B	FCS再結晶器(B) 内ガス温度検出器	②	換気空調系	3D-VS-304A, B	安全補機室排気第2隔離ダンパ	③
	3制御用空気圧縮機室温度(1), (2), (3), (4)	3TS-2773, 2774	○	—		PCS	T49-TI090A-1	FCS再結晶器(A) 内ガス温度検出器	②	換気空調系	3D-VS-402A, B, C, D	ディーゼル発電機室排気ダンパ	④
	3制御用空気圧縮機室排気ダンパA, B	3D-VS-431A, B	○	—		PCS	T49-TI090A-2	FCS再結晶器(A) 内ガス温度検出器	②	換気空調系	3VSG2A, B	原子炉建屋給気ガラリ	①
	3A, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン	3TS-2731, 2742	○	—		PCS	T49-TI090B-1	FCS再結晶器(B) 内ガス温度検出器	②	換気空調系	3VSA6A, B	安全補機間閉器室給気ユニット	①
	3A, 3B電動補助給水ポンプ室給気ファン	3TS-2733, 2744	○	—		PCS	T49-TI090B-2	FCS再結晶器(B) 内ガス温度検出器	②				
	3電動補助給水ポンプ室排気ダンパA, B	3D-VS-411A, B	○	—		FDW	B21-F052A	FDW第二隔離弁(A)	②				
	3A1, 3A2, 3B1, 3B2ディーゼル発電機室給気ファン	3TS-	○	—		FDW	B21-F052B	FDW第二隔離弁(B)	②				
	3A, 3Bディーゼル発電機室温度(1), (2), (3), (4)	3TS-2701, 2702, 2703, 2704	○	—		FFC	F31	使用済燃料プール	①				
	3ディーゼル発電機室排気ダンパA1, A2, B1, B2	3D-VS-401A, B, 402A, B	○	—		FFC	641-4001A	スキマナージタンク	①				
	3A, 3B安全補機室冷却ファン	3TS-2989, 2991	○	—		FFC	641-4001B	スキマナージタンク	①				
	3A, 3B安全補機室温度(1), (2)	3TS-2990, 2991	○	—		FFC	641-8001A	燃料プール冷却浄化系熱交換器(A)	①				
	3A, 3Bはう酸ポンプ室空調ファン	3TS-2902, 2903	○	—		FFC	641-8001B	燃料プール冷却浄化系熱交換器(B)	①				
	3A, 3Bはう酸ポンプ室空調ファン給気加熱コイル	3TS-2902, 2903	○	—		FFC	641-D006A	ブール浄化水戻りデフィューザ	①				
	3A, 3Bはう酸ポンプ室温度(1), (2), (3), (4)	3TS-2902, 2903	○	—		FFC	641-D006B	ブール浄化水戻りデフィューザ	①				
3A, 3Bアニュラス空気浄化ファン	3VSP9A, B	○	—	FFC	641-F013	FPCラベ視気室出口弁	②						
アニュラス空気浄化フィルタユニット電気加熱コイル	3VSH18A, B	×	①										
3A, 3Bアニュラス排気ダンパ	3D-VS-191A, B	○	—										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (8/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (8/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (8/9)					【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{*1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{*1}			
換気空調系	3A, 3Bアニュラス戻りダンパ	3D-YS-104A, B	○	—	FPC	641-L8016	燃料貯蔵プール水位スイッチ	③	換気空調系	3VS44A, B	中央制御室給気ユニット	①			
	3A, 3Bアニュラス全量排気弁	3V-YS-102A, B	○	—	FPC	641-P1006	F P Cポンプ出口圧力指示計	③	換気空調系	3D-YS-601A, B	中央制御室外気取入ダンパ	③			
	3A, 3Bアニュラス少量排気弁	3V-YS-103A, B	○	—	FPC	641-TB001	F P Cポンプ入口風速検出器	③	換気空調系	3D-YS-611, 612	中央制御室排気第1 (2) 隔離ダンパ	④			
	3A, 3Bアニュラス圧力制御器	3V7-2522, 2542	×	①	FPC	641-TE014A	F P C 熱交換器 (A) 出口風速検出器	④	換気空調系	3HCD-2838, 2839	中央制御室排気風量調節ダンパ	④			
	3A, 3B格納容器排気ファン出口ダンパ	3D-YS-060A, B	×	①	FPC	641-TE014B	F P C 熱交換器 (B) 出口風速検出器	④	換気空調系	3VS8	中央制御室非常用循環フィルタユニット	①			
	3格納容器排気止めダンパ	3D-YS-061	×	①	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④	換気空調系	3D-YS-053	格納容器給気気密ダンパ	④			
	3補助建屋排気流路調節ダンパ	3PCD-2500	×	①	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④	換気空調系	3D-YS-064	格納容器排気気密ダンパ	④			
	3補助建屋排気止めダンパ	3D-YS-351	×	①	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④	換気空調系	3D-YS-065A, B	格納容器排気ファン出口ダンパ	④			
	3放射線管理室排気流量制御ダンパ	34PC3-2976	×	①	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④	換気空調系	3D-YS-232	補助建屋排気隔離ダンパ	④			
	3放射線管理室排気止めダンパ	34D-YS-658	×	①	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④	換気空調系	3PCD-2526	補助建屋排気流量制御ダンパ	④			
	3A, 3B安全補機室排気ダンパ	3D-YS-105A, B	○	—	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④	空調用冷水系	3CHT1	空調用冷水貯留タンク	①			
	3安全補機室排気第1, 2隔離ダンパ	3D-YS-301, 302	×	①	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④	木消火系	3V-FS-504	消火水 C/V 外側隔離弁	③			
	3安全補機室排気第1, 2隔離ダンパ	3D-YS-303, 304	×	①	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④	炉内核計装装置ガスバージ設備系	3V-IG-008	炉内核計装装置二酸化炭素バージライン C/V 外側隔離弁	③			
	3アニュラス給気第1, 2隔離ダンパ	3D-YS-052, 053	×	①	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④	炉内核計装装置ガスバージ設備系	3V-IG-009	炉内核計装装置二酸化炭素バージライン C/V 内側隔離弁	②			
	3アニュラス排気第1, 2隔離ダンパ	3D-YS-056, 059	×	①	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④	原子炉格納容器真空逃がし装置	3V-YR-601A, B	真空逃がし装置 C/V 外側隔離弁	④			
	3格納容器給気第2隔離弁	3V-YS-054	×	①	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④	非常用所内電源系	3DG11A, B	ディーゼル発電機燃料油貯油槽	①			
	3格納容器給気第1隔離弁	3V-YS-055	×	②	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④	非常用所内電源系	3DG12A, B	ディーゼル発電機燃料油サービスタンク	①			
	3格納容器排気第1隔離弁	3V-YS-056	×	②	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④							
	3格納容器排気第2隔離弁	3V-YS-057	×	①	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④							
	3A, 3B安全補機室冷却ファン現場操作箱	3LB-82, 83	○	—	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④							
	3A1, 3A2, 3B1-2, 3B1-3, 3B1-4ディーゼル発電機室排気ファン現場操作箱	3LB-84, 85	○	—	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④							
	3A, 3B格納容器給水ポンプ室給気ファン現場操作箱	3LB-86, 87	○	—	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④							
	3A, 3B制御用空気圧縮機室給気ファン現場操作箱	3LB-90, 91	○	—	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④							
	3A, 3B中央制御室循環ファン現場操作箱	3LB-95, 99	○	—	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④							
3A, 3B中央制御室空調ファン現場操作箱	3LB-101, 102	○	—	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④								
3A4, 3A5, 3A6, 3A7, 3A8安全補機用閉塞室空調ファン現場操作箱	3ALB-13, 14, 20, 21	○	—	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④								
3A, 3Bほう機ポンプ室空調ファン現場操作箱	3LB-77, 78	○	—	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④								
3A, 3Bアニュラス空気浄化ファン現場操作箱	3LB-82, 83	○	—	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④								
3A, 3B中央制御室非常用循環ファン現場操作箱	3LB-97, 98	○	—	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④								
3空調用冷水貯留タンク			×	①	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④							
3A, 3B, 3C, 3D空調用冷凍機			○	—	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④							
3A, 3B, 3C, 3D空調用冷水ポンプ			○	—	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④							
3A, 3B, 3C, 3D安全補機用閉塞室空調ユニット冷水温度制御弁	34TCY-2800, 2801	○	—	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④								
3A, 3B中央制御室空調ユニット冷水温度制御弁	3TCY-2878, 2879	○	—	FPC	641-TE015	燃料貯蔵プール水温度	④								

※1 評価対象外とした理由
 ① 溢水により機能を喪失しない
 ② 炉内耐環境仕様設備
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④ 別の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉				相違理由		
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (9/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (9/24)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (9/9)				【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違		
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	機器名称	理由 ^{※1}				
冷水系	5空調用冷水Nヘッダ供給、戻りライン止め弁	3F-CP-002, 003	○	—	※1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②炉内貯留領域仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる	※1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②炉内貯留領域仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる	HNCW	F24-F302	HNCW供給ライン第二隔離弁	④	関連設備	3NE41A, B, 3NE42A, B, 3NE43A, B, 3NE44A, B	出力領域検出器	②		
	5高圧制御油冷却ポンプユニット冷水入口、出口格納容器隔離弁	3F-CP-453, 457	×	①			HNCW	F24-F307	HNCW戻りライン第一隔離弁	②						
	3A, 3B, 3C, 3D空調用冷水ポンプ現場操作箱設置1台機	3F-B-103, 104, 105, 106	○	—			HPCS	E22-0010	高圧が心スプレイストレーナ	①	関連設備	3NE31, 32	中性子領域検出器	②		
	3A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器設置1台機	3F-IP-003A, B	×	②			HPCS	E22-0P066	HPCSノズル逆伝送器	②	関連設備	3RE-91A, 92A	格納容器高レンジエリアモニタ（低レンジ）	②		
3A, 3B格納容器減圧装置排気ライン格納容器設置1台機	3F-IP-002A, B	×	①	HPCS			E22-910	HPCS S/G試験用調整弁	③	関連設備	3RE-91B, 92B	格納容器高レンジエリアモニタ（高レンジ）	②			
3A, 3B格納容器本系バーン給気ライン格納容器設置1台機	3F-IP-300A, B	×	①	HPCS			E22-P021	HPCS注入ライン試験用遮断弁	②	—	—	手動弁一式	①			
3A, 3B格納容器本系バーン給気ライン格納容器設置1台機	3F-IP-305A, B	×	①	HPCS			E22-P021	HPCS注入ライン試験用遮断弁	②	—	—	遮断弁一式	①			
放射線監視設備 空気サンプリング系	3格納容器サンプル取り出しライン格納容器設置1台機	3F-IP-001	×	②			HPCS	E22-FT055B	HPCSポンプ出口流量変換器	③	—	—	配管一式	①		
	3格納容器サンプル取り出しライン格納容器設置1台機	3F-IP-002	×	①			HPCS	E22-PT001	HPCSポンプ入口圧力	③	*1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②炉内貯留領域仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる	*1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②炉内貯留領域仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる	HPCS	E22-PT004	HPCSポンプ出口圧力	③
	3格納容器サンプル取り出しライン格納容器設置1台機	3F-IP-013	×	①			HPCS	E22-PT004	HPCSポンプ出口圧力	③						
	3主盤（原子炉盤）	3MCD	○	—			HPCS	E22-PT001A	HPCSポンプ入口圧力伝送器	③						
3原子炉補助機	3BAD	○	—	HPCSOG			R44-4001	清水循環タンク	①							
3原子炉安全保護計装機1, 2, 3, 4	3MPC-1, 2, 3, 4	○	—	HPCSOG			R44-A102	潤滑油補給タンク	①							
3A, 3B, 3C, 3D原子炉安全保護ロジック盤	3MPL-A, B, C, D	○	—	HPCSOG			R44-A200	軽油タンク（G）	①							
3安全保護シーケンス盤001, 002, 001, 002	3SPS-A1, A2, B1, B2	○	—	HPCSOG			R44-A201	燃料デイツタンク	①							
3A1, 3A2, 3A3, 3A4, 3B1, 3B2, 3B3, 3B4ゾレノイ五分電盤	3SD-A1, A2, A3, A4, B1, B2, B3, B4	○	—	HPCSOG			R44-A300	空気だめ（自動）	①							
3原子炉トリップ遮断装置	3RTS	○	—	HPCSOG			R44-4001	清水冷却器	①							
3A, 3Bドロップ盤	3BCT-A-00P, 3BCT-B-00P	○	—	HPCSOG			R44-4003	機関付空気冷却器	①							
3A, 3B直流キ電盤	3BMP-A, B	○	—	HPCSOG			R44-B100	潤滑油冷却器	①							
3A, 3B直流分電盤	3BDF-A, B	○	—	HPCSOG			R44-B102	発電機軸受潤滑油冷却器	①							
3A, 3B蓄電池	3BCT-A, B	○	—	HPCSOG			R44-D100	機関付潤滑油フィルタ	①							
3A1, 3A2, 3B1, 3B2メタルクランプスイッチギア	3MC-A1, A2, B1, B2	○	—	HPCSOG			R44-D200	燃料移送ポンプ入口トレーナ	①							
3A1, 3A2, 3B1, 3B2パワーセンタ	3PC-A1, A2, B1, B2	○	—	HPCSOG			R44-D201	HPCS D/G燃料移送ポンプ出口フィルタ	①							
3A1, 3A2, 3B1, 3B2原子炉コントロールセンタ	3BOC-A1, A2, B1, B2	○	—	HPCSOG			R44-D202-1	燃料油フィルタ-1	①							
3A, 3B, 3C, 3D計装用電解盤(1)~(3)	3IBC-A, B, C, D	○	—	HPCSOG	R44-D202-2	燃料油フィルタ-2	①									
3A1, 3A2, 3B1, 3B2, 3C1, 3C2, 3D1, 3D2計装用分電盤	3IFD-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2	○	—	HPCSOG	R44-D300	始動用空気Y型トレーナ	①									
3A, 3B, 3C, 3D計装用交流電解切替盤	3ISF-A, B, C, D	○	—	HPCSOG	R44-D001	始動用空気Y型トレーナ	①									
3所内盤	3BSP	○	—	HPCSOG	R44-gS112	機関付潤滑油フィルタ差圧	③									
3AC, 3BD計装用後着分電盤	3IBD-AC, BD	○	—													
3事故時放射線監視盤	3MRS-III, IV	○	—													
計器	3H1力領域中性子束	3S-41, 42, 43, 44	×	②												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉	相違理由		
大飯3号炉防護対象設備のスクリーンアウト (10/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (10/24)							
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}				
計器	S中性子検出管中性子束	30V-31,32	×	②	HPVSDG	R44-4P214	燃料油フィルタ差圧スイッチ	③		<p>【大飯】</p> <p>記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>		
	S格納容器高レベルアラームユタ(既レンジ)・(高レベル)	30H-R1A, 91B, 92A, 92B	×	②	HPVSDG	R44-6200	ブレイクシブルチューブ	①				
	非常用電源系	3A,3Bディーゼル機関		○	—	HPVSDG	R44-L1S050	溢水影響タンク水位指示計 (接点付)	③			
	3A,3Bディーゼル発電機		○	—	HPVSDG	R44-L8257	シリンドラー排水スイッチ	③				
	3A,3Bディーゼル発電機コントロールセンサ	300C-A,B	○	—	HPVSDG	R44-P1052	機関付排水ポンプ出口圧力	③				
	3A,3Bディーゼル発電機制御装置	300C-A,B	○	—	HPVSDG	R44-P1102	機関付潤滑油ポンプ出口圧力指示計	③				
スクリーンアウトの考え方 ①プラント停止操作時に動作要求のない電動弁及び動作機能喪失によりフェイルオープンとなる空気作動弁並びに安全弁は機能喪失しても安全機能に影響ない(動作要求のない原子格納容器外設置の格納容器隔離弁を含む) ②原子格納容器内の防護対象設備は温度、圧力条件及び溢水影響を考慮した制御電圧であるため機能喪失しない。又は、溢水現象が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないもの。 ③タンク、熱交換器、逆止弁、手動弁等の静的機器は溢水により機能喪失しない。 ④他の設備で代替できる。												
＜溢水影響評価対象外の注記＞ ※1 静的機器は溢水により機能喪失しないが、プラント停止の対応設備を明確にするために防護対象装置リストに追加した。一方、機能喪失高さは「—」として溢水影響評価の対象外とした。												
					※1 評価対象外とした理由 ①溢水による機能を喪失しない ②PCV内耐震増仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由	
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (1/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (11/24)											
系統	設備	番号	最大影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}				
1次冷却材系	4号炉容器		×	②	HP/SDG	R44-TS342H	H P C S D / G 直結倒軸受温度検出器	④	HP/SDG	R44-T1051	機関入口ブローヤセル冷却水温度指示計	④		【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違		
	4A, 4B, 4C, 4D 蒸気発生器		×	⑤	HP/SDG	R44-T1051	機関入口ブローヤセル冷却水温度指示計	④	HP/SDG	R44-T1103	機関出口潤滑油温度指示計	④				
	4A, 4B, 4C, 4D-1 冷却材ポンプ		×	①	HP/SDG	R44-TS3054	機関出口ブローヤセル冷却水温度指示計（接点付）	④	HP/SDG	R44-TS1111	機関潤滑油温度	⑤				
	4加圧器		×	⑤	HP/SDG	R44-TS3430	H P C S D / G 直結倒軸受温度指示計（接点付）	④	HP/SDG	R44-TS3430	H P C S D / G 直結倒軸受温度指示計（接点付）	④				
	4A, 4B, 4C 加圧器安全弁	4F-BC-055, 056, 057		×	③	HP/SDG	R44-TS344H	H P C S D / G 直結倒軸受温度指示計（接点付）	④	HP/SDG	R44-TS344H	H P C S D / G 直結倒軸受温度指示計（接点付）	④			
	4A, 4B 加圧器遮断弁	4F-BC-054A, B		×	①	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④			
	4加圧器遮断弁シランクガス分析ライン格納容器（直結付）	4F-BC-077		×	②	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④			
	4加圧器遮断弁シランクガス分析ライン格納容器（直結付）	4F-BC-078		×	①	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④			
	4加圧器遮断弁シランク蒸気発生ライン格納容器（直結付）	4F-BC-084		×	①	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④			
	4格納容器内潤滑油供給ライン格納容器（直結付）	4F-BC-095		×	①	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④			
	4A, 4B 加圧器スプレイ弁	4F-CV-451A, B		×	①	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④			
	4-1 冷却材圧力	4FT-429, 430		×	②	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④			
	4加圧器水位	4LT-451, 452, 453, 454		×	②	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④			
	4A, B, C, D/A-1 冷却材高温側・低流量異常（広域）	41E-410, 415, 420, 425 420, 435, 440, 445		×	②	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④			
	4A, B, C, D/A-1 冷却材高温側・低流量異常（狭域）	41E-411A, 411B, 411C, 411D, 421A, 421B, 421C, 421D, 431A, 431B, 431C, 431D, 441A, 441B, 441C, 441D		×	②	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④			
	4加圧器圧力	4FT-451, 452, 453, 454		×	②	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④			
	4A, B, C, D/A-1 冷却材流量	421-412, 413, 414, 415 422, 423, 424, 425 432, 433, 434, 435 442, 443, 444, 445		×	②	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④			
	1次冷却材ポンプ回転数	43E-4185, 425A 4300, 4485		×	②	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④			
	化学体積制御系	4A, 4B 加圧器ポンプ		○	—	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④			
		4A, 4B, 4C 充てんポンプ		○	—	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④			
		4E 補償タンク		×	⑤	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④			
		4再生熱交換器		×	⑤	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④			
		4A, 4B 加圧器タンク		×	⑤	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④			
		4加圧器タンク		×	⑤	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④			
4加圧器タンク			×	⑤	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④				
4加圧器タンク			×	⑤	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④				
4加圧器タンク			×	⑤	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④				
4加圧器タンク			×	⑤	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④				
4加圧器タンク			×	⑤	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④				
4加圧器タンク			×	⑤	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④	HP/SDG	R44-TS1107	潤滑油ブライミングポンプ入口温度スイッチ	④				

※1 評価対象外とした理由
 ① 溢水により機能を喪失しない
 ② 炉内耐漏域仕様の設備
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④ 他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト（2/10）					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（12/24）						
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}			
化学体積制御系	4号炉冷却水ポンプ入口燃料取替用ホット側 逆止弁A,B	4FCV-121D,E	○	—	HVAC	V10-F024	D/C-MCC C 2A室非常用体積隔離ダンパ	㉑			【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	4号炉冷却水ポンプ流量制御弁	4V-CS-137	○	—	HVAC	V10-F004A	原子炉種排気隔離弁（A）用アク્યムレータ	㉒			
	4号炉冷却水ポンプ流量制御弁	4V-CS-155	○	—	HVAC	V10-F001A	原子炉種排気隔離弁（A）	㉓			
	4号炉冷却水ポンプ流量制御弁	4FCV-138	×	㉑	HVAC	V10-F001B	原子炉種排気隔離弁（B）用アク્યムレータ	㉒			
	4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4FCV-140	×	㉑	HVAC	V10-F001B	原子炉種排気隔離弁（B）	㉓			
	4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4FCV-451	×	㉑	HVAC	V10-F002A	原子炉種排気隔離弁（A）用アク્યムレータ	㉒			
	4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4FCV-452	×	㉑	HVAC	V10-F002A	原子炉種排気隔離弁（A）	㉓			
	4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4V-CS-004A,B,C	×	㉑	HVAC	V10-F002A	原子炉種排気隔離弁（A）	㉓			
	4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4V-CS-109	×	㉑	HVAC	V10-F002B	原子炉種排気隔離弁（B）用アク્યムレータ	㉒			
	4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4V-CS-301	×	㉑	HVAC	V10-F002B	原子炉種排気隔離弁（B）	㉓			
	4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4V-CS-302	×	㉑	HVAC	V10-F002B	原子炉種排気隔離弁（B）	㉓			
	4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4V-CS-007	×	㉑	HVAC	V10-F002A	原子炉種排気隔離弁（A）用アク્યムレータ（電磁弁）	㉒			
	4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4V-CS-151	×	㉑	HVAC	V10-F022B	原子炉種排気隔離弁（B）用アク્યムレータ（電磁弁）	㉒			
	4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4V-CS-163	×	㉑	HVAC	V10-F022B	原子炉種排気隔離弁（B）用アク્યムレータ（電磁弁）	㉒			
	4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4V-CS-177	×	㉑	HVAC	V10-F030A	原子炉種排気隔離弁（A）用アク્યムレータ（電磁弁）	㉒			
	4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4V-CS-190A,B,C,D	×	㉑	HVAC	V10-F030B	原子炉種排気隔離弁（B）用アク્યムレータ（電磁弁）	㉒			
	4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4V-CS-310	×	㉑	HVAC	V10-F15015A	原子炉種排気隔離弁（A）用アク્યムレータ圧力	㉑			
	4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4V-CS-312	○	—	HVAC	V10-F15015B	原子炉種排気隔離弁（B）用アク્યムレータ圧力	㉑			
	4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4V-CS-208A,B,C,D	×	㉑	HVAC	V10-F15016A	原子炉種排気隔離弁（A）用アク્યムレータ圧力	㉑			
	4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4LT-205,208	○	—	HVAC	V10-F15016B	原子炉種排気隔離弁（B）用アク્યムレータ圧力	㉑			
	4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4CSAC	○	—	HVAC	V11-0001	原子炉補機（A）密給気冷却コイル	㉑			
	4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4LB-5,6,7,8	○	—	HVAC	V11-0002	原子炉補機（A）密給気加熱コイル	㉑			
	4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4LB-9,10	○	—	HVAC	V11-0001	原子炉補機（A）密給気バッグエアフィルタ	㉑			
	4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4LB-9,10	○	—	HVAC	V11-0002	D/G（A）密給気バッグエアフィルタ	㉑			
	4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4V-SI-015A,B	○	—	HVAC	V11-0P1001	原子炉補機（A）密給気バッグエアフィルタ差圧指示計	㉑			
	4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4V-SI-016A,B	○	—	HVAC	V11-0P1003	D/G（A）密給気バッグエアフィルタ差圧指示計	㉑			
	4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4V-SI-093A,B	○	—	HVAC	V11-0001	原子炉補機（A）密給気ループ	㉑			
4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4V-SI-092A,B	○	—	HVAC	V11-0002	原子炉補機（A）密給気ループ	㉑				
4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4V-SI-090A,B	○	—	HVAC	V11-0003	D/G（A）密給気ループ	㉑				
4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4V-SI-062A,B	×	㉑	HVAC	V11-0004	D/G（A）密給気ループ	㉑				
4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4V-SI-095A,B	×	㉑								
4号炉冷却水ポンプ排水注入ライン流量制 御弁	4V-SI-067A,B	×	㉑								

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②PCV内耐腐蝕仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3ノ4号炉						女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト（3/10）						表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧（13/24）						
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の有無		系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}			
安全注入系	IA, IB, IC, 40層圧タンク出口弁	4V-S1-132A, B, C, D	×	◎		HVAC	V12-B001	原子炉補機（B） 密給気冷却コイル	①	【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違		
	4格納容器内循環ポンプ水底（排気）（圧縮）	4LT-976, 977, 978, 979	×	◎		HVAC	V12-B002	原子炉補機（B） 密給気加熱コイル	①			
	IA, 40層圧注入ポンプ現場操作箱	4IB-12, 13	○	—		HVAC	V12-D001	原子炉補機（B） 密給気バッグエアフィルタ	①			
	4格納容器排水ピット水位1, II, III, IV	4LT-1400, 1401, 1402, 1403	○	—		HVAC	V12-D002	D/G（B） 密給気バッグエアフィルタ	①			
	40層圧注入流量（II）, 40層圧注入流量（III）	4PT-962, 963	○	—		HVAC	V12-4PT001	原子炉補機（B） 密給気バッグエアフィルタ差圧指示計	◎			
	IA, 40層熱除去ポンプ		○	—		HVAC	V12-4PT003	D/G（B） 密給気バッグエアフィルタ差圧指示計	◎			
	IA, 40層熱除去冷却器		×	◎		HVAC	V12-3001	原子炉補機（B） 密給気ルーバ	①			
	IA, 40層熱除去ポンプスモカムフローライン止め弁	4PCV-601, 611	○	—		HVAC	V12-3002	原子炉補機（B） 密給気ルーバ	①			
	IA, 40層熱除去冷却器出口流量設定弁	4PCV-603, 613	×	①		HVAC	V12-3003	D/G（B） 密給気ルーバ	①			
	IA, 40層熱除去冷却器バイパス流量調整弁	4PCV-604, 614	×	①		HVAC	V12-3004	D/G（B） 密給気ルーバ	①			
余熱除去系	IA, 40層熱除去ポンプ圧力コントロール高圧側入口止め弁	4PCV-420, 430	×	◎		HVAC	V12-3004A	D/G（B） 密給気ルーバ（A）	①			
	IA, 40層熱除去ポンプ入口格納容器隔離弁	4V-RH-902A, B	×	◎		HVAC	V12-3004B	D/G（B） 密給気ルーバ（B）	①			
	IA, 40層熱除去冷却器出口格納容器隔離弁	4V-RH-043A, B	×	①		HVAC	V13-B001A	原子炉補機（HPCS） 密給気加熱コイル（A）	①			
	IA, 40層熱除去冷却器出口連絡弁	4V-RH-047A, B	×	◎		HVAC	V13-B001B	原子炉補機（HPCS） 密給気加熱コイル（B）	①			
	IB, 20層圧高圧側圧入ライン止め弁	4V-RH-048A, B	×	◎		HVAC	V13-D001	D/G（HPCS） 密給気バッグエアフィルタ	①			
	IA, 40層熱除去ポンプ出口流量	4PT-601, 611	○	—		HVAC	V13-D002	D/G（HPCS） 密給気バッグエアフィルタ	①			
	IA, 40層熱除去ポンプ現場操作箱	4IB-14, 15	○	—		HVAC	V13-4PT001	原子炉補機（HPCS） 密給気バッグエアフィルタ差圧	◎			
	IA, 40層熱除去ポンプスプレイポンプ		○	—		HVAC	V13-4PT003	D/G（HPCS） 密給気バッグエアフィルタ差圧指示計	◎			
	IA, 40層熱除去ポンプスプレイ冷却器		×	◎		HVAC	V13-3001	原子炉補機（HPCS） 密給気ルーバ	①			
	4より蒸気発生タンク		×	◎		HVAC	V13-3002	原子炉補機（HPCS） 密給気ルーバ	①			
格納容器スプレイ系	40層調整弁タンク		×	◎		HVAC	V13-3003	D/G（HPCS） 密給気ルーバ	①			
	IA, 40層圧調整弁注入ライン第1止め弁	4V-CP-054A, B	○	—		HVAC	V13-3004	D/G（HPCS） 密給気ルーバ	①			
	IA, 40層圧調整弁注入ライン第2止め弁	4V-CP-056A, B	○	—		HVAC	V30-B001A	中央制御室密給気冷却コイル（A）	①			
	IA, 40層熱除去ポンプスプレイポンプ燃料和音用スプレイ吸入口止め弁	4V-CP-001A, B	○	—		HVAC	V30-B001B	中央制御室密給気冷却コイル（B）	①			
	IA, 40層熱除去ポンプスプレイポンプ再循環ポンプ吸入口隔離弁	4V-CP-003A, B	○	—		HVAC	V30-B001C	中央制御室密給気冷却コイル（C）	①			
	IA, 40層熱除去ポンプスプレイ冷却器出口格納容器隔離弁	4V-CP-302A, B	○	—		HVAC	V30-B001D	中央制御室密給気冷却コイル（D）	①			
	4格納容器圧力（圧縮） I, II, III, IV	4PT-950, 951, 952, 953	○	—		HVAC	V30-B001E	中央制御室密給気冷却コイル（E）	①			
	IA, 40層熱除去ポンプスプレイポンプ現場操作箱	4IB-18, 19	○	—		HVAC	V30-B001F	中央制御室密給気冷却コイル（F）	①			
	4タービン動機補助給水ポンプ		○	—								
	IA, 40層熱除去ポンプ		○	—								
主蒸気及び主給水系、補助給水系	4度水ピット		×	◎								
	4タービン動機補助給水ポンプ駆動弁A, B	4V-MS-570A, B	○	—								
	IA, IB, IC, 40層補助水隔離弁	4V-FH-574A, B, C, D	×	①								
	IA, IB, IC, 40層補助給水ライン流量調整弁	4V-FH-557A, B, C, D	×	①								

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②PCV内耐電圧仕様は設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉					相違理由	
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (5/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (15/24)											
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}				
原子炉機械 冷却系	H4炉内冷却ユニット・蒸餾抽出冷却器 取水設備ユニットの隔離弁	4V-CC-342	○	—	BYAC	V30-3002	MCR 排気ルーバ	①	【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違							
	H4炉内冷却ユニット・蒸餾抽出冷却器 取水設備ユニットの隔離弁	4V-CC-365	○	—	BYAC	V31-B001	計測制御電源 (A) 室給気冷却コイル	①								
	H4炉内冷却ユニット・蒸餾抽出冷却器 取水設備ユニットの隔離弁	4V-CC-180A, B	○	—	BYAC	V31-B002	計測制御電源 (A) 室給気加熱コイル	①								
	H4, 4B, 4C, 4D炉内冷却器蒸餾ユニット高圧 水取りライン 取捨調整弁	4V-CC-198A, B, C, D	○	—	BYAC	V31-B001	計測制御電源 (A) 室給気バグフィルター	①								
	H4炉内冷却器蒸餾ユニット高圧 水取りライン 取捨調整弁	4V-CC-605, 606	○	—	BYAC	V31-4P1001	計測制御電源 (A) 室給気バグエアフィルタ兼圧指示計	③								
	H4炉内冷却器蒸餾ユニット高圧水取り ライン (4号機側)	4LT-1200, 1201	○	—	BYAC	V31-3001	計測制御電源 (A) 室給気ルーバ	①								
	H4, 4B, 4C, 4D原子炉蒸餾冷却器本ポンプ 現場操作箱	4LB-20, 21, 22, 23	○	—	BYAC	V31-3002	計測制御電源 (A) 室給気ルーバ	①								
	H4, 4B, 4C炉水ポンプ		○	—	BYAC	V32-B001	計測制御電源 (B) 室給気冷却コイル	①								
	H4, 4B, 4C炉水ポンプ出口 4B, 4C, 4D炉水 ストレーナ	4S-SF-01A, B, C, D	× ^{※1}	③	BYAC	V32-B002	計測制御電源 (B) 室給気加熱コイル	①								
	H4, 4B, 4C炉水ポンプ軸流ストレーナ, B	4S-SF-02A, B, C	×	③	BYAC	V32-3001	計測制御電源 (B) 室給気ルーバ	①								
	H4, 4B, 4C炉水ポンプ軸流ストレーナ, C	4S-SF-03A, B, C	×	③	BYAC	V32-3002	計測制御電源 (B) 室給気ルーバ	①								
	H4, 4B原子炉蒸餾冷却器高圧冷却器水 止め弁	4V-SF-570A, B	○	—	BYAC	V32-4P1001	計測制御電源 (B) 室給気バグエアフィルタ兼圧指示計	③								
	H4, 4B1, 4B2, 4C炉水ポンプ現場操作箱	4LB-25, 27, 28, 29	○	—	BYAC	V32-3001	計測制御電源 (B) 室給気ルーバ	①								
	燃料ピット 冷却浄化系	4A, 4B使用済燃料ピットポンプ		○	—	BYAC	V32-3002	計測制御電源 (B) 室給気ルーバ		①						
		4A, 4B使用済燃料ピット		× ^{※1}	③	IA/HPIN	P52-F111	I A第二隔離弁		④						
4A, 4B, 4C使用済燃料ピット冷却器			× ^{※1}	③	IA/HPIN	P54-F015	H P I N 常用第二隔離弁	④								
4A, 4B使用済燃料ピット脱塩槽			×	③	IA/HPIN	P54-F068A	H P I N 非常用第二隔離弁 (A)	④								
4A, 4B使用済燃料ピットフィルタ			×	③	IA/HPIN	P54-F068B	H P I N 非常用第二隔離弁 (B)	④								
燃料取替用水系	4A, 4B使用済燃料ピットポンプ現場操作箱	4LB-24, 25	○	—	LPCS	E21-0001	低圧炉心スプレイホストレーナ	①								
	4A, 4B燃料取替用水ポンプ		○	—	LPCS	E21-F006	L P C S 試験用調整弁	③								
蒸気発生器 ブローダウンス系	燃料取替用水ピット		× ^{※1}	③	LPCS	E21-F016	L P C S 圧入ライン試験可能逆止弁	③								
	4A, 4B燃料取替用水ポンプ現場操作箱	4LB-23, 24	○	—	LPCS	E21-P1001	L P C S ポンプ入口圧力	③								
	4A, 4B, 4C, 4Dブローダウンスライン格納容器 隔離弁	4V-BD-01A, B, C, D	×	①	LPCS	E21-P1004	L P C S ポンプ出口圧力	③								
	4A, 4B, 4C, 4D蒸気発生器燃料採取ライン格 納容器隔離弁	4V-BD-010A, B, C, D	×	①	LPCS	E21-PT005	L P C S ポンプ出口圧力	③								
	4V-SF-503		×	③	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-クエンチャ (A)	①								
	4V-SF-505		×	③	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-クエンチャ (B)	①								
	4V-SF-507		×	①	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-クエンチャ (C)	①								
	4V-SF-507		×	①	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-クエンチャ (D)	①								
	4V-SF-525		×	①												
	4V-SF-594		×	①												
1次系統燃料採取 系	4V-SF-574		×	①												
	4V-SF-593A, B, C, D		×	③												
制御用空気を 系	4V-SF-594		×	①												
	4A, 4B, 4C, 4D炉内タンク燃料採取ライン格 納容器隔離弁	4V-SF-593A, B, C, D	×	③												
制御用空気を 系	4V-SF-594		×	①												
	4V-SF-574		×	①												
制御用空気を 系	4A, 4B制御用空気圧縮機		○	—												
	4A, 4B制御用空気乾燥器	4A4B1A, B	× ^{※1}	③												

※1 評価対象外とした理由
 ① 溢水により機能を喪失しない
 ② PCV内耐震強化様の設備
 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④ 他設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉				相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (6/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (16/24)								【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}					【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
制御用空気系	4A、4B制御用空気ため	4IAT1A、B	× ^①	②	MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (E)	①					
	4A、4B制御用空気主蒸気逃がし弁弁体部分イン止弁	4V-1A-505A、B	○	—		MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (F)	①				
	4A、C、4B-C制御用空気母管連絡弁	4V-1A-503A、B	○	—		MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (G)	①				
	4A、4B制御用空気格納容器隔離弁	4V-1A-505A、B	○	—		MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (H)	①				
	4A、4B格納容器内前部クラス制御用空気母管弁止弁	4V-1A-510A、B	×	②		MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (I)	①				
	4A、4B制御用空気母管弁圧力	4PT-1800、1810	○	—		MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (J)	①				
廃棄物処理系	4A、4B制御用空気圧縮機制御盤	4IAC-A、B	○	—		MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (K)	①				
	4格納容器貯留材ドレンタンクガス分析ライン格納容器第1隔離弁	4V-FL-078	×	②		MS	B21	主蒸気逃がし安全弁排気管 T-7クエンチヤ (L)	①				
	4格納容器貯留材ドレンタンクガス分析ライン格納容器第2隔離弁	4V-FL-079	×	①		MS	B21-000JA	主蒸気逃し安全弁 (A) 遮し弁機能用アキュムレータ	①				
	4格納容器貯留材ドレンタンクベントライン格納容器第1隔離弁	4V-FL-080	×	②		MS	B21-000JB	主蒸気逃し安全弁 (B) 遮し弁機能用アキュムレータ	①				
	4格納容器貯留材ドレンタンクベントライン格納容器第2隔離弁	4V-FL-084	×	①		MS	B21-000JC	主蒸気逃し安全弁 (C) 遮し弁機能用アキュムレータ	①				
	4格納容器貯留材ドレンタンク背面供給ライン格納容器第1隔離弁	4V-FL-094	×	②		MS	B21-000JD	主蒸気逃し安全弁 (D) 遮し弁機能用アキュムレータ	①				
	4格納容器貯留材ドレンタンク出口格納容器第1隔離弁	4V-FL-042	×	②		MS	B21-000JE	主蒸気逃し安全弁 (E) 遮し弁機能用アキュムレータ	①				
	4格納容器貯留材ドレンタンク出口格納容器第2隔離弁	4V-FL-043	×	②		MS	B21-000JF	主蒸気逃し安全弁 (F) 遮し弁機能用アキュムレータ	①				
	4格納容器貯留材ドレンタンク出口格納容器第3隔離弁	4V-FL-043	×	②		MS	B21-000JG	主蒸気逃し安全弁 (G) 遮し弁機能用アキュムレータ	①				
	4格納容器貯留材ドレンタンク出口格納容器第4隔離弁	4V-FL-144	×	①		MS	B21-000JH	主蒸気逃し安全弁 (H) 遮し弁機能用アキュムレータ	①				
直大水系	4直大水ライン格納容器隔離弁	4V-FS-502	×	①	MS	B21-000JI	主蒸気逃し安全弁 (I) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
6号内排気調整系	46号内排気調整装置スパーージライン格納容器第1隔離弁	4V-1G-009	×	②	MS	B21-000JJ	主蒸気逃し安全弁 (J) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
	46号内排気調整装置スパーージライン格納容器第2隔離弁	4V-1G-008	×	①	MS	B21-000JK	主蒸気逃し安全弁 (K) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
—	手動弁 一式		×	②	MS	B21-000JL	主蒸気逃し安全弁 (L) 遮し弁機能用アキュムレータ	①					
—	遮止弁 一式		×	③	MS	B21-0002A	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (A) ADS	①					
換気空調系	4換気空調盤	4VB	○	—	MS	B21-0002C	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (C) ADS	①					
	4A、4B中央制御室空調ファン		○	—	MS	B21-0002E	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (E) ADS	①					
	4A、4B中央制御室監視ファン		○	—	MS	B21-0002J	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (H) ADS	①					
	4A、4B中央制御室非常用監視ファン	4VSP22A、B	○	—	MS	B21-0002I	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (I) ADS	①					
	4A、4B中央制御室外気取入止めダンパ	4D-VS-601A、B	×	①	MS	B21-0002L	主蒸気逃がし安全弁アキュムレータ (L) ADS	①					
	4A、4B中央制御室非常用監視ファン入口ダンパ	4D-VS-602A、B	○	—	MS	B21-0003A	主蒸気第一隔離弁 (A) 用アキュムレータ	①					
	4A、4B中央制御室空調ファン出口ダンパ	4D-VS-603A、B	○	—	MS	B21-0003B	主蒸気第一隔離弁 (B) 用アキュムレータ	①					
	4A、4B中央制御室監視ファン入口ダンパ	4D-VS-604A、B	○	—	MS	B21-0003C	主蒸気第一隔離弁 (C) 用アキュムレータ	①					
	4A、4B中央制御室外気取入流量調節ダンパ	4BKP-2874、2875	○	—									
	4A、4B中央制御室新備成量調節ダンパ	4BKP-2885、2886	○	—									
	4A、4B中央制御室大気放出流量調節ダンパ	4BKP-2887、2888	×	①									
	4A、4B中央制御室事故時排気取入流量調節ダンパ	4BKP-2889、2890	○	—									
	4A、4B中央制御室事故時循環流量調節ダンパ	4BKP-2891、2892	○	—									

※1 評価対象外とした理由
 ①原水により機能を喪失しない
 ②PCVが耐震規格仕様の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (7/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (17/24)						
系統	設備	番号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}			
換気空調系	中央制御室温度(1),(2)	4TS-2908,2909	○	—	MS	B21-A0030	主蒸気第一隔離弁(D)用アキュムレータ	①			【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違
	4A,4B中央制御室非常用循環ファン出口流量	4FS-2904,2905	○	—		B21-A004A	主蒸気第二隔離弁(A)用アキュムレータ	①			
	4A,4B中央制御室空調ファン出口流量	4FS-2910,2911	○	—		B21-A004B	主蒸気第二隔離弁(B)用アキュムレータ	①			
	24キョウチン排気第1,2隔離ダンパ	24D-VS-905,906	×	①		B21-A004C	主蒸気第二隔離弁(C)用アキュムレータ	①			
	4A,4B中央制御室外気吸入調節ダンパ流量設定	4HC-2874,2875	○	—		B21-A004D	主蒸気第二隔離弁(D)用アキュムレータ	①			
	4A,4B中央制御室前扉ダンパ流量設定	4HC-2885,2886	○	—		B21-F001A	主蒸気速がし安全弁(A)	②			
	4A,4B中央制御室外気吸入ダンパ流量設定	4HC-2887,2888	×	①		B21-F001B	主蒸気速がし安全弁(B)	②			
	4A,4B中央制御室事故時排気吸入調節ダンパ流量設定	4HC-2889,2890	○	—		B21-F001C	主蒸気速がし安全弁(C)	②			
	4A,4B中央制御室事故時循環ファン流量設定	4HC-2891,2892	○	—		B21-F001D	主蒸気速がし安全弁(D)	②			
	4A4,4B4安全解除時間調整空調ファン		○	—		B21-F001E	主蒸気速がし安全弁(E)	②			
	4C,34D安全解除時間調整空調ファン		○	—		B21-F001F	主蒸気速がし安全弁(F)	②			
	4安全系電気盤室排気止めダンパA,B	4D-VS-532,533	○	—		B21-F001G	主蒸気速がし安全弁(G)	②			
	4安全系電気盤室排気止めダンパA,B	4D-VS-536,537	○	—		B21-F001H	主蒸気速がし安全弁(H)	②			
	4A,4B安全解除時間調整室温度	4TS-2917,2918	○	—		B21-F001I	主蒸気速がし安全弁(I)	②			
	4A,4B制御用空気圧縮機室給気ファン		○	—		B21-F001J	主蒸気速がし安全弁(J)	②			
	4制御用空気圧縮機室排気ダンパA,B	4D-VS-431A,B	○	—		B21-F001K	主蒸気速がし安全弁(K)	②			
	4制御用空気圧縮機室温度(1),(2),(3),(4)	4TS-2771,2772,2773,2774	○	—		B21-F001L	主蒸気速がし安全弁(L)	②			
	4A,4B電動補助給水ポンプ室給気ファン		○	—		B21-F002A	主蒸気第一隔離弁(A)	②			
	4電動補助給水ポンプ室排気ダンパA,B	4D-VS-411A,B	○	—		B21-F002B	主蒸気第一隔離弁(B)	②			
	4A,4B電動補助給水ポンプ室温度(1),(2)	4TS-2741,2742,2743,2744	○	—		B21-F002C	主蒸気第一隔離弁(C)	②			
	4A1,4A2,4B1,4B2ディーゼル発電機室給気ファン		○	—		B21-F002D	主蒸気第一隔離弁(D)	②			
	4ディーゼル発電機室排気ダンパA1,A2,B1,B2	4D-VS-401A,B,403A,B	○	—		B21-F003A	主蒸気第二隔離弁(A)	③			
	4A,4Bディーゼル発電機室温度(1),(2),(3),(4)	4TS-2701,2702,2703,2704,2711,2712,2713,2714	○	—		B21-F003B	主蒸気第二隔離弁(B)	③			
	4A,4B安全解除室冷却ファン		○	—		B21-F003C	主蒸気第二隔離弁(C)	③			
	4A,4B安全解除室温度(1),(2)	4TS-2680,2681,2682,2683	○	—		B21-F003D	主蒸気第二隔離弁(D)	③			
	4A,4B3号酸ポンプ室空調ファン		○	—		B21-F004	主蒸気ドレンライン第一隔離弁	②			
	4A,4B3号酸ポンプ室空調ファン前気熱コイル		○	—		B21-F0045	主蒸気第二隔離弁リークオフライン隔離弁	④			
	4A,4B3号酸ポンプ室温度調節計	4TS-2691,2691	○	—		B21-F004	事故後排水サンプリング第一隔離弁	②			
	4B3号酸タンク室温度(1),(2),(3),(4)	4TS-2602,2603,2613,2613	○	—							
	4A,4Bアンモニアス空気浄化ファン	4V93A,B	○	—							
4アンモニアス空気浄化フィルタユニット電気加熱コイル	4V9H18A,B	×	①								
4A,4Bアンモニアス排気ダンパ	4D-VS-101A,B	○	—								
4A,4Bアンモニアス戻りダンパ	4D-VS-104A,B	○	—								
4A,4Bアンモニアス全量排気弁	4V-VS-102A,B	○	—								

※1 評価対象外とした理由
 ①溢水により機能を喪失しない
 ②PCV内制御電圧降下の設備
 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない
 ④他の設備で代替できる

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由	
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (8/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (18/24)							
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}				
換気空調系	4A, 4Bアニューラス少量排気弁	4A-4S-103A, B	○	—	MS	B21-F062	事故時炉水タンピング第二隔離弁	㊸			【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違	
	4A, 4Bアニューラス圧力制御器	4PT-2522, 2542	×	㊸	PLR	B32-F002A	原子炉再循環ポンプ（A）吐出弁	㊸				
	4A, 4B格納容器排気ファン出口ダンパ	4FV-060A, B	×	㊸	PLR	B32-F002B	原子炉再循環ポンプ（B）吐出弁	㊸				
	4格納容器排気止めダンパ	4FV-061	×	㊸	PLR	B32-F013	P L R サンプルライン第一隔離弁	㊸				
	4補助地層排気流量調整ダンパ	4RPD-2590	×	㊸	PLR	B32-F014	P L R サンプルライン第二隔離弁	㊸				
	4補助地層排気止めダンパ	4FV-051	×	㊸	BCIC	E51-P004	原子炉隔離時冷却系ストレーナ	㊸				
	34放射線管理系排気流量制御ダンパ	34PCD-2976	×	㊸	BCIC	E51-P005	スバージャ	㊸				
	34放射線管理系排気止めダンパ	34FV-058	×	㊸	BCIC	E51-F007	R C 1 Cタービン入口蒸気ライン第一隔離弁	㊸				
	4A, 4B安全補機室排気ダンパ	4FV-4S-105A, B	○	—	BCIC	E51-F027	R C 1 Cタービン入口蒸気ライン隔離弁	㊸				
	4安全補機室排気第1, 2隔離ダンパ	4FV-301, 302	×	㊸	BCIC	E51-P1001	R C 1 Cポンプ入口圧力指示計	㊸				
	4安全補機室排気第1, 2隔離ダンパ	4FV-303, 304	×	㊸	BCIC	E51-P1003	R C 1 Cポンプ出口圧力指示計	㊸				
	4アニューラス排気第1, 2隔離ダンパ	4FV-052, 053	×	㊸	BCIC	E51-P1007	R C 1 Cポンプ電動用タービン入口蒸気圧力指示計	㊸				
	4アニューラス排気第1, 2隔離ダンパ	4FV-058, 059	×	㊸	BCIC	E51-P1009	R C 1 Cタービン排気圧力指示計	㊸				
	4格納容器給気第2隔離弁	4FV-054	×	㊸	BCIC	E51-PT001A	R C 1 Cポンプ入口圧力伝感器	㊸				
	4格納容器給気第1隔離弁	4FV-055	×	㊸	BCV	P42-A001A	原子炉補機冷却水サージタンク（A）	㊸				
	4格納容器排気第1隔離弁	4FV-056	×	㊸	BCV	P42-A002B	原子炉補機冷却水サージタンク（B）	㊸				
	4格納容器排気第2隔離弁	4FV-057	×	㊸	BCV	P42-B001A	原子炉補機冷却水系統交換器（A）	㊸				
	4A, 4B安全補機室冷却ファン駆動機作箱	4LB-82, 83	○	—	BCV	P42-B002B	原子炉補機冷却水系統交換器（B）	㊸				
	4A1, 4B1, 4B2ワイヤードル電機室給気ファン駆動機作箱	4LB-84, 85	○	—	BCV	P42-B002C	原子炉補機冷却水系統交換器（C）	㊸				
	4A, 4B電機室給気給水ポンプ給気ファン駆動機作箱	4LB-86, 87	○	—	BCV	P42-B002D	原子炉補機冷却水系統交換器（D）	㊸				
	4A, 4B排煙用空気圧縮機室給気ファン駆動機作箱	4LB-90, 91	○	—	BCV	P42-F006A	R C W冷却水供給温度熱交換器（A）調整弁	㊸				
	4A, 4B中央制御室通風ファン駆動機作箱	4LB-95, 96	○	—	BCV	P42-F006B	R C W冷却水供給温度熱交換器（B）調整弁	㊸				
	4A, 4B中央制御室空調ファン駆動機作箱	4LB-101, 102	○	—	BCV	P42-F010A	R C W冷却水供給温度ポンプ（A）調整弁	㊸				
	34A, 34B, 34C, 34D安全補機室排気室空調ファン駆動機作箱	34LB-13, 14, 20, 21	○	—	BCV	P42-F010B	R C W冷却水供給温度ポンプ（B）調整弁	㊸				
	4A, 4B3ヶ所排気ファン室空調ファン駆動機作箱	4LB-77, 78	○	—	BCV	P42-F080A	R C W常用冷却水緊急シャ断弁（A）	㊸				
	4A, 4Bアニューラス空気浄化ファン駆動機作箱	4LB-52, 53	○	—	BCV	P42-F080B	R C W常用冷却水緊急シャ断弁（B）	㊸				
	4A, 4B中央制御室非常用通風ファン駆動機作箱	4LB-97, 98	○	—	BCV	P42-F080C	R C W常用冷却水緊急シャ断弁（C）	㊸				
	4空調用冷水貯水タンク			×	㊸							
	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷凍機			○	—							
	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ			○	—							
	4A, 4B中央制御室空調ユニット冷水温度検知器	4TCV-2878, 2879	○	—								
	34A, 34B安全補機室排気室空調ユニット冷水温度検知器	34TCV-2796, 2799	○	—								
	4空調用冷水N-ヘッダ供給、戻りライン止め弁	4V-CM-032, 033	○	—								
	4制御室空気圧縮機室冷却ユニット冷水入口、出口圧力調整器	4V-CM-453, 457	×	㊸								
	4A, 4B, 4C, 4D空調用冷水ポンプ駆動機作箱	4LB-103, 104, 105, 106	○	—								
						※1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②BCV内新増設仕様の設備 ③動作機種の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3 / 4号炉					女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由	
大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (9/10)					表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (19/24)							
系統	設備	番号	溢水影響 評価対象	スクリーンアウト の考え方	系統	機器番号	設備	理由※1				
格納容器減圧装置 及び水素抑制 装置	4A, 4B格納容器減圧装置空気ライン格納容器 設置用調整弁	4V-DF-001A,B	×	㊸	RCW	P42-F065D	R C W 常用冷却水緊急シャ断弁 (D)	㊸			【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違 【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違	
	4A, 4B格納容器減圧装置空気ライン格納容器 設置用調整弁	4V-DF-002A,B	×	㊸	RCW	P42-F112A	R C W 供給側第二隔離弁 (A)	㊸				
	4A, 4B格納容器水素パーズ除気ライン格納 容器設置用調整弁	4V-HC-001A,B	×	㊸	RCW	P42-F112B	R C W 供給側第二隔離弁 (B)	㊸				
	4A, 4B格納容器水素パーズ除気ライン格納 容器設置用調整弁	4V-HC-002A,B	×	㊸	RCW	P42-F115A	R C W 戻り側第一隔離弁 (A)	㊸				
放射性監視設備 空気サンプリング システム	4格納容器サンプル取り出しライン格納容 器設置用調整弁	4V-RM-001	×	㊸	RCW	P42-F115B	R C W 戻り側第一隔離弁 (B)	㊸				
	4格納容器サンプル取り出しライン格納容 器設置用調整弁	4V-RM-002	×	㊸	RCW	P42-F1006A	R C W A 系系統流量発信器	㊸				
	4格納容器サンプル取り出しライン格納容 器設置用調整弁	4V-RM-013	×	㊸	RCW	P42-F1006B	R C W B 系系統流量発信器	㊸				
	4格納容器サンプル取り出しライン格納容 器設置用調整弁	4V-RM-013	×	㊸	RCW	P42-F1014A	R C W A 系常用系入口流量発信器	㊸				
電気盤	4土盤 (原子炉室)	4BC3	○	—	RCW	P42-F1014B	R C W B 系常用系入口流量発信器	㊸				
	4原子炉補助盤	4BAB	○	—	RCW	P42-F1016A	R H R 熱交換器 (A) 冷却水入口流量発信器	㊸				
	4原子炉安全保護計装盤 I, II, III, IV	4BPP-1, II, III, IV	○	—	RCW	P42-F1016B	R H R 熱交換器 (B) 冷却水入口流量発信器	㊸				
	4A, 4B, 4C, 4D原子炉安全保護ロジック盤	4BPL-A, B, C, D	○	—	RCW	P42-L1009A	R C W サージタンク (A) 水位	㊸				
電気盤	4安全保護シークス盤A01, B02, B01, B02	4BSP-A1, A2, B1, B2	○	—	RCW	P42-L1009B	R C W サージタンク (B) 水位	㊸				
	4A1, 4A2, 4A3, 4A4, 4B1, 4B2, 4B3, 4B4フレ イド分電盤	4BSP-A1, A2, A3, A4 , B1, B2, B3, B4	○	—	RCW	P42-L1010A	R C W サージタンク (A) 水位発信器	㊸				
	4原子炉トリップ遮断盤	4BTS	○	—	RCW	P42-L1010B	R C W サージタンク (B) 水位発信器	㊸				
	4A, 4Bドロップ盤	4BPC-A-100P , 4BPC-B-100P	○	—	RCW	P42-P1001A	R C W ボンプ (A) 出口圧力	㊸				
	4A, 4B直流分電盤	4BMP-A, B	○	—	RCW	P42-P1001B	R C W ボンプ (B) 出口圧力	㊸				
	4A, 4B直流分電盤	4BMP-A, B	○	—	RCW	P42-P1001C	R C W ボンプ (C) 出口圧力	㊸				
	4A, 4B蓄電池	4BMP-A, B	○	—	RCW	P42-P1001D	R C W ボンプ (D) 出口圧力	㊸				
	4A, 4B充電盤	4BPC-A, B	○	—	RCW	P42-P1007A	R C W ボンプ (A) 入口圧力	㊸				
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2メタルクランプスイッ チボックス	4BMC-A1, A2, B1, B2	○	—	RCW	P42-P1007B	R C W ボンプ (B) 入口圧力	㊸				
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2パワーセンタ	4BPC-A1, A2, B1, B2	○	—	RCW	P42-P1007C	R C W ボンプ (C) 入口圧力	㊸				
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2原子炉コントロールセ ンタ	4BCC-A1, A2, B1, B2	○	—	RCW	P42-P1007D	R C W ボンプ (D) 入口圧力	㊸				
	4A, 4B, 4C, 4D計装用電線盤 (I) ~ (D)	4BPC-A, B, C, D	○	—	RCW	P42-TE005A	R C W A 系冷却水供給温度検出器	㊸				
	4A1, 4A2, 4B1, 4B2, 4C1, 4C2, 4D1, 4D2計装用 分電盤	4BPC-A1, A2, B1, B2, C1, C2, D1, D2	○	—	RCW	P42-TE005B	R C W B 系冷却水供給温度検出器	㊸				
	4A, 4B, 4C, 4D計装用交直流電源母線	4BSP-A, B, C, D	○	—	RCW	P42-TE017A	R H R 熱交換器 (A) 冷却水出口温度検出器	㊸				
	4所内盤	4BIS	○	—	RCW	P42-TE017B	R H R 熱交換器 (B) 冷却水出口温度検出器	㊸				
	4AC, 4BD計装用後備分電盤	4BIB-AC, BD	○	—								
	4事故時燃料棒監視機能	4BRS-III, IV	○	—								
	計器	4出力領域中性子束	4B-11, 42, 43, 44	×	㊸							
		4中性子制御域中性子束	4B-31, 32	×	㊸							
		4格納容器高レベルアラームコンタ (監視レ ジ)・(高レンジ)	4BIE-01A, 01B , 02A, 02B	×	㊸							
					※1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない ②DCV内耐震増仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる							

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料6）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																						
<p>大飯4号炉防護対象設備のスクリーンアウト (10/10)</p> <table border="1" data-bbox="136 215 672 343"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>設備</th> <th>非号</th> <th>溢水影響評価対象</th> <th>スクリーンアウトの考え方</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">非常用電源系</td> <td>IA、IBディーゼル機関</td> <td></td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>IA、IBディーゼル発電機</td> <td></td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>IA、IBディーゼル発電機コントロールセンサ</td> <td>46CC-A、B</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>IA、IBディーゼル発電機燃料調整</td> <td>46CC-A、B</td> <td>○</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>スクリーンアウトの考え方 ①プラント停止時に動作要求のない電動弁及び動作機能喪失によりフェイルポジションとなる空気作動弁並びに安全弁は機能喪失しても安全機能に影響ない（動作要求のない原子炉格納容器外設置の格納容器隔離弁を含む）。 ②原子炉格納容器内の防護対象設備は温度、圧力条件及び溢水影響を考慮した耐浸食仕様であるため機能喪失しない。又は、溢水事故が発生した場合のプラント停止操作において必ずしも必要でないもの。 ③ダンク、熱弁、遮断弁、手動弁等の静的機能は溢水により機能喪失しない。 ④他の設備で代替できる。</p> <p>＜溢水影響評価対象外の注記＞ *1 静的機能は溢水により機能喪失しないが、プラント停止の対処設備を明確にするために防護対象設備リストに追加した。一方、機能喪失高さは「—」として溢水影響評価の対象外とした。</p>	系統	設備	非号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方	非常用電源系	IA、IBディーゼル機関		○	—	IA、IBディーゼル発電機		○	—	IA、IBディーゼル発電機コントロールセンサ	46CC-A、B	○	—	IA、IBディーゼル発電機燃料調整	46CC-A、B	○	—	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (20/24)</p> <table border="1" data-bbox="703 215 1272 989"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由*1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>BO</td><td>E11-F003</td><td>D/W LCWサンプ第一隔離弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F103</td><td>D/W HCWサンプ第一隔離弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-D001A</td><td>残留熱除去系統交換器（A）</td><td>①</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-D001B</td><td>残留熱除去系統交換器（B）</td><td>①</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-D001A</td><td>残留熱除去系A系ストレーナ</td><td>①</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-D001B</td><td>残留熱除去系B系ストレーナ</td><td>①</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-D001C</td><td>残留熱除去系C系ストレーナ</td><td>①</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-gPT009A</td><td>L P C I系A/L P C S注入ライン差圧伝感器</td><td>③</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-gPT009B</td><td>L P C I系B・C注入ライン差圧伝感器</td><td>③</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F012A</td><td>R H R A系試験用調整弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F012B</td><td>R H R B系試験用調整弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F012C</td><td>R H R C系試験用調整弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F014A</td><td>R H R A系停止時冷却吸込元弁</td><td>①</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F014B</td><td>R H R B系停止時冷却吸込元弁</td><td>①</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F015A</td><td>R H R A系停止時冷却吸込第一隔離弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F015B</td><td>R H R B系停止時冷却吸込第一隔離弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F021</td><td>R H R ヘッドスプレイ注入隔離弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F044A</td><td>R H R A系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F044B</td><td>R H R B系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F044C</td><td>R H R C系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F045A</td><td>R H R A系RW連絡第一弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F045B</td><td>R H R B系RW連絡第一弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F049A</td><td>R H R A系系統吸機弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F049B</td><td>R H R B系系統吸機弁</td><td>③</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F058A</td><td>R H R A系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F058B</td><td>R H R B系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁</td><td>②</td></tr> <tr><td>BO</td><td>E11-F014</td><td>原子炉ヘッドスプレイ流量変換器</td><td>③</td></tr> </tbody> </table> <p>*1 評価対象外とした理由 ①溢水により機能を喪失しない。 ②PCV耐浸食仕様設備。 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない。 ④他の設備で代替できる。</p>	系統	機器番号	設備	理由*1	BO	E11-F003	D/W LCWサンプ第一隔離弁	②	BO	E11-F103	D/W HCWサンプ第一隔離弁	②	BO	E11-D001A	残留熱除去系統交換器（A）	①	BO	E11-D001B	残留熱除去系統交換器（B）	①	BO	E11-D001A	残留熱除去系A系ストレーナ	①	BO	E11-D001B	残留熱除去系B系ストレーナ	①	BO	E11-D001C	残留熱除去系C系ストレーナ	①	BO	E11-gPT009A	L P C I系A/L P C S注入ライン差圧伝感器	③	BO	E11-gPT009B	L P C I系B・C注入ライン差圧伝感器	③	BO	E11-F012A	R H R A系試験用調整弁	③	BO	E11-F012B	R H R B系試験用調整弁	③	BO	E11-F012C	R H R C系試験用調整弁	③	BO	E11-F014A	R H R A系停止時冷却吸込元弁	①	BO	E11-F014B	R H R B系停止時冷却吸込元弁	①	BO	E11-F015A	R H R A系停止時冷却吸込第一隔離弁	②	BO	E11-F015B	R H R B系停止時冷却吸込第一隔離弁	②	BO	E11-F021	R H R ヘッドスプレイ注入隔離弁	③	BO	E11-F044A	R H R A系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②	BO	E11-F044B	R H R B系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②	BO	E11-F044C	R H R C系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②	BO	E11-F045A	R H R A系RW連絡第一弁	③	BO	E11-F045B	R H R B系RW連絡第一弁	③	BO	E11-F049A	R H R A系系統吸機弁	③	BO	E11-F049B	R H R B系系統吸機弁	③	BO	E11-F058A	R H R A系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②	BO	E11-F058B	R H R B系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②	BO	E11-F014	原子炉ヘッドスプレイ流量変換器	③		<p>【大飯】 記載表現の相違 女川審査実績の反映 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
系統	設備	非号	溢水影響評価対象	スクリーンアウトの考え方																																																																																																																																					
非常用電源系	IA、IBディーゼル機関		○	—																																																																																																																																					
	IA、IBディーゼル発電機		○	—																																																																																																																																					
	IA、IBディーゼル発電機コントロールセンサ	46CC-A、B	○	—																																																																																																																																					
	IA、IBディーゼル発電機燃料調整	46CC-A、B	○	—																																																																																																																																					
系統	機器番号	設備	理由*1																																																																																																																																						
BO	E11-F003	D/W LCWサンプ第一隔離弁	②																																																																																																																																						
BO	E11-F103	D/W HCWサンプ第一隔離弁	②																																																																																																																																						
BO	E11-D001A	残留熱除去系統交換器（A）	①																																																																																																																																						
BO	E11-D001B	残留熱除去系統交換器（B）	①																																																																																																																																						
BO	E11-D001A	残留熱除去系A系ストレーナ	①																																																																																																																																						
BO	E11-D001B	残留熱除去系B系ストレーナ	①																																																																																																																																						
BO	E11-D001C	残留熱除去系C系ストレーナ	①																																																																																																																																						
BO	E11-gPT009A	L P C I系A/L P C S注入ライン差圧伝感器	③																																																																																																																																						
BO	E11-gPT009B	L P C I系B・C注入ライン差圧伝感器	③																																																																																																																																						
BO	E11-F012A	R H R A系試験用調整弁	③																																																																																																																																						
BO	E11-F012B	R H R B系試験用調整弁	③																																																																																																																																						
BO	E11-F012C	R H R C系試験用調整弁	③																																																																																																																																						
BO	E11-F014A	R H R A系停止時冷却吸込元弁	①																																																																																																																																						
BO	E11-F014B	R H R B系停止時冷却吸込元弁	①																																																																																																																																						
BO	E11-F015A	R H R A系停止時冷却吸込第一隔離弁	②																																																																																																																																						
BO	E11-F015B	R H R B系停止時冷却吸込第一隔離弁	②																																																																																																																																						
BO	E11-F021	R H R ヘッドスプレイ注入隔離弁	③																																																																																																																																						
BO	E11-F044A	R H R A系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BO	E11-F044B	R H R B系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BO	E11-F044C	R H R C系L P C I注入試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BO	E11-F045A	R H R A系RW連絡第一弁	③																																																																																																																																						
BO	E11-F045B	R H R B系RW連絡第一弁	③																																																																																																																																						
BO	E11-F049A	R H R A系系統吸機弁	③																																																																																																																																						
BO	E11-F049B	R H R B系系統吸機弁	③																																																																																																																																						
BO	E11-F058A	R H R A系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BO	E11-F058B	R H R B系停止時冷却試験可能逆止弁均圧弁	②																																																																																																																																						
BO	E11-F014	原子炉ヘッドスプレイ流量変換器	③																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p style="text-align: center;">表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (21/24)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>RHR</td><td>EL1-PI001A</td><td>RHRポンプ(A) 入口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>EL1-PI001B</td><td>RHRポンプ(B) 入口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>EL1-PI001C</td><td>RHRポンプ(C) 入口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>EL1-PI004A</td><td>RHRポンプ(A) 出口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>EL1-PI004B</td><td>RHRポンプ(B) 出口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>EL1-PI004C</td><td>RHRポンプ(C) 出口圧力</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>EL1-PI005A</td><td>RHRポンプ(A) 出口圧力伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>EL1-PI005B</td><td>RHRポンプ(B) 出口圧力伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>RHR</td><td>EL1-PI005C</td><td>RHRポンプ(C) 出口圧力伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>HR</td><td>EL1-PT013A</td><td>RHR A系入口圧力伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>HR</td><td>EL1-PT013B</td><td>RHR B系入口圧力伝送器</td><td>③</td></tr> <tr><td>HR</td><td>EL1-TE007A</td><td>RHR熱交換器(A) 出口風度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>HR</td><td>EL1-TE007B</td><td>RHR熱交換器(B) 出口風度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>HR</td><td>EL1-TE010A</td><td>RHR熱交換器(A) 入口風度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>HR</td><td>EL1-TE010B</td><td>RHR熱交換器(B) 入口風度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001A</td><td>原子炉補機冷却海水系ストレータ(A)</td><td>①</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001B</td><td>原子炉補機冷却海水系ストレータ(B)</td><td>①</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001C</td><td>原子炉補機冷却海水系ストレータ(C)</td><td>①</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-D001D</td><td>原子炉補機冷却海水系ストレータ(D)</td><td>①</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PI003A</td><td>R C W熱交換器(A) 管側圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PI003B</td><td>R C W熱交換器(B) 管側圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PI003C</td><td>R C W熱交換器(C) 管側圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-4PI003D</td><td>R C W熱交換器(D) 管側圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-PI001A</td><td>R S Wポンプ(A) 出口圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-PI001B</td><td>R S Wポンプ(B) 出口圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-PI001C</td><td>R S Wポンプ(C) 出口圧力指示計</td><td>③</td></tr> <tr><td>RSW</td><td>P45-PI001D</td><td>R S Wポンプ(D) 出口圧力指示計</td><td>③</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 評価対象外とした理由 ① 溢水により機能を喪失しない ② PCV内耐震規格仕様の設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④ 別の設備で代替できる</p>	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	RHR	EL1-PI001A	RHRポンプ(A) 入口圧力	③	RHR	EL1-PI001B	RHRポンプ(B) 入口圧力	③	RHR	EL1-PI001C	RHRポンプ(C) 入口圧力	③	RHR	EL1-PI004A	RHRポンプ(A) 出口圧力	③	RHR	EL1-PI004B	RHRポンプ(B) 出口圧力	③	RHR	EL1-PI004C	RHRポンプ(C) 出口圧力	③	RHR	EL1-PI005A	RHRポンプ(A) 出口圧力伝送器	③	RHR	EL1-PI005B	RHRポンプ(B) 出口圧力伝送器	③	RHR	EL1-PI005C	RHRポンプ(C) 出口圧力伝送器	③	HR	EL1-PT013A	RHR A系入口圧力伝送器	③	HR	EL1-PT013B	RHR B系入口圧力伝送器	③	HR	EL1-TE007A	RHR熱交換器(A) 出口風度検出器	③	HR	EL1-TE007B	RHR熱交換器(B) 出口風度検出器	③	HR	EL1-TE010A	RHR熱交換器(A) 入口風度検出器	③	HR	EL1-TE010B	RHR熱交換器(B) 入口風度検出器	③	RSW	P45-D001A	原子炉補機冷却海水系ストレータ(A)	①	RSW	P45-D001B	原子炉補機冷却海水系ストレータ(B)	①	RSW	P45-D001C	原子炉補機冷却海水系ストレータ(C)	①	RSW	P45-D001D	原子炉補機冷却海水系ストレータ(D)	①	RSW	P45-4PI003A	R C W熱交換器(A) 管側圧力指示計	③	RSW	P45-4PI003B	R C W熱交換器(B) 管側圧力指示計	③	RSW	P45-4PI003C	R C W熱交換器(C) 管側圧力指示計	③	RSW	P45-4PI003D	R C W熱交換器(D) 管側圧力指示計	③	RSW	P45-PI001A	R S Wポンプ(A) 出口圧力指示計	③	RSW	P45-PI001B	R S Wポンプ(B) 出口圧力指示計	③	RSW	P45-PI001C	R S Wポンプ(C) 出口圧力指示計	③	RSW	P45-PI001D	R S Wポンプ(D) 出口圧力指示計	③		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}																																																																																																																
RHR	EL1-PI001A	RHRポンプ(A) 入口圧力	③																																																																																																																
RHR	EL1-PI001B	RHRポンプ(B) 入口圧力	③																																																																																																																
RHR	EL1-PI001C	RHRポンプ(C) 入口圧力	③																																																																																																																
RHR	EL1-PI004A	RHRポンプ(A) 出口圧力	③																																																																																																																
RHR	EL1-PI004B	RHRポンプ(B) 出口圧力	③																																																																																																																
RHR	EL1-PI004C	RHRポンプ(C) 出口圧力	③																																																																																																																
RHR	EL1-PI005A	RHRポンプ(A) 出口圧力伝送器	③																																																																																																																
RHR	EL1-PI005B	RHRポンプ(B) 出口圧力伝送器	③																																																																																																																
RHR	EL1-PI005C	RHRポンプ(C) 出口圧力伝送器	③																																																																																																																
HR	EL1-PT013A	RHR A系入口圧力伝送器	③																																																																																																																
HR	EL1-PT013B	RHR B系入口圧力伝送器	③																																																																																																																
HR	EL1-TE007A	RHR熱交換器(A) 出口風度検出器	③																																																																																																																
HR	EL1-TE007B	RHR熱交換器(B) 出口風度検出器	③																																																																																																																
HR	EL1-TE010A	RHR熱交換器(A) 入口風度検出器	③																																																																																																																
HR	EL1-TE010B	RHR熱交換器(B) 入口風度検出器	③																																																																																																																
RSW	P45-D001A	原子炉補機冷却海水系ストレータ(A)	①																																																																																																																
RSW	P45-D001B	原子炉補機冷却海水系ストレータ(B)	①																																																																																																																
RSW	P45-D001C	原子炉補機冷却海水系ストレータ(C)	①																																																																																																																
RSW	P45-D001D	原子炉補機冷却海水系ストレータ(D)	①																																																																																																																
RSW	P45-4PI003A	R C W熱交換器(A) 管側圧力指示計	③																																																																																																																
RSW	P45-4PI003B	R C W熱交換器(B) 管側圧力指示計	③																																																																																																																
RSW	P45-4PI003C	R C W熱交換器(C) 管側圧力指示計	③																																																																																																																
RSW	P45-4PI003D	R C W熱交換器(D) 管側圧力指示計	③																																																																																																																
RSW	P45-PI001A	R S Wポンプ(A) 出口圧力指示計	③																																																																																																																
RSW	P45-PI001B	R S Wポンプ(B) 出口圧力指示計	③																																																																																																																
RSW	P45-PI001C	R S Wポンプ(C) 出口圧力指示計	③																																																																																																																
RSW	P45-PI001D	R S Wポンプ(D) 出口圧力指示計	③																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (22/24)</p> <table border="1" data-bbox="698 212 1272 981"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ESW</td><td>P45-P1001A</td><td>R S Wポンプ（A）出口圧力伝送器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>P45-P1001B</td><td>R S Wポンプ（B）出口圧力伝送器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>P45-P1001C</td><td>R S Wポンプ（C）出口圧力伝送器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>P45-P1001D</td><td>R S Wポンプ（D）出口圧力伝送器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>P45-T1004A</td><td>R C W熱交換器（A）海水出口温度</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>P45-T1004B</td><td>R C W熱交換器（B）海水出口温度</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>P45-T1004C</td><td>R C W熱交換器（C）海水出口温度</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>ESW</td><td>P45-T1004D</td><td>R C W熱交換器（D）海水出口温度</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1002A</td><td>空気乾燥装置（A）デミスタ差圧指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1002B</td><td>空気乾燥装置（B）デミスタ差圧指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1004</td><td>フィルタ装置中性化エアフィルタ差圧指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1005</td><td>フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1010</td><td>フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-dP1013</td><td>フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-F001A</td><td>非常用ガス処理系入口弁（A）</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SGTS</td><td>T46-F001B</td><td>非常用ガス処理系入口弁（B）</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41</td><td>ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-A001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-A003A</td><td>ほう酸水注入系アキュムレータ（A）</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-A003B</td><td>ほう酸水注入系アキュムレータ（B）</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-B001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-B002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク保護用ヒータ</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-L0001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-L1001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-L1001</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-P1010A</td><td>ほう酸水注入系ポンプ（A）潤滑油圧力指示計</td><td>㊦</td></tr> <tr><td>SLC</td><td>E41-P1010B</td><td>ほう酸水注入系ポンプ（B）潤滑油圧力指示計</td><td>㊦</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="698 1045 963 1109"> ※1 評価対象外とした理由 ① 溢水により機能を喪失しない ② PCV内崩壊防止装置の設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④ 他の設備で代替できる </p>	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	ESW	P45-P1001A	R S Wポンプ（A）出口圧力伝送器	㊦	ESW	P45-P1001B	R S Wポンプ（B）出口圧力伝送器	㊦	ESW	P45-P1001C	R S Wポンプ（C）出口圧力伝送器	㊦	ESW	P45-P1001D	R S Wポンプ（D）出口圧力伝送器	㊦	ESW	P45-T1004A	R C W熱交換器（A）海水出口温度	㊦	ESW	P45-T1004B	R C W熱交換器（B）海水出口温度	㊦	ESW	P45-T1004C	R C W熱交換器（C）海水出口温度	㊦	ESW	P45-T1004D	R C W熱交換器（D）海水出口温度	㊦	SGTS	T46-dP1002A	空気乾燥装置（A）デミスタ差圧指示計	㊦	SGTS	T46-dP1002B	空気乾燥装置（B）デミスタ差圧指示計	㊦	SGTS	T46-dP1004	フィルタ装置中性化エアフィルタ差圧指示計	㊦	SGTS	T46-dP1005	フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊦	SGTS	T46-dP1010	フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計	㊦	SGTS	T46-dP1013	フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊦	SGTS	T46-F001A	非常用ガス処理系入口弁（A）	㊦	SGTS	T46-F001B	非常用ガス処理系入口弁（B）	㊦	SLC	E41	ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ	㊦	SLC	E41-A001	ほう酸水注入系貯蔵タンク	㊦	SLC	E41-A003A	ほう酸水注入系アキュムレータ（A）	㊦	SLC	E41-A003B	ほう酸水注入系アキュムレータ（B）	㊦	SLC	E41-B001	ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ	㊦	SLC	E41-B002	ほう酸水注入系貯蔵タンク保護用ヒータ	㊦	SLC	E41-L0001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器	㊦	SLC	E41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計	㊦	SLC	E41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器	㊦	SLC	E41-P1010A	ほう酸水注入系ポンプ（A）潤滑油圧力指示計	㊦	SLC	E41-P1010B	ほう酸水注入系ポンプ（B）潤滑油圧力指示計	㊦		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}																																																																																																																
ESW	P45-P1001A	R S Wポンプ（A）出口圧力伝送器	㊦																																																																																																																
ESW	P45-P1001B	R S Wポンプ（B）出口圧力伝送器	㊦																																																																																																																
ESW	P45-P1001C	R S Wポンプ（C）出口圧力伝送器	㊦																																																																																																																
ESW	P45-P1001D	R S Wポンプ（D）出口圧力伝送器	㊦																																																																																																																
ESW	P45-T1004A	R C W熱交換器（A）海水出口温度	㊦																																																																																																																
ESW	P45-T1004B	R C W熱交換器（B）海水出口温度	㊦																																																																																																																
ESW	P45-T1004C	R C W熱交換器（C）海水出口温度	㊦																																																																																																																
ESW	P45-T1004D	R C W熱交換器（D）海水出口温度	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-dP1002A	空気乾燥装置（A）デミスタ差圧指示計	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-dP1002B	空気乾燥装置（B）デミスタ差圧指示計	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-dP1004	フィルタ装置中性化エアフィルタ差圧指示計	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-dP1005	フィルタ装置前置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-dP1010	フィルタ装置チャコールエアフィルタ差圧指示計	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-dP1013	フィルタ装置後置高性能エアフィルタ差圧指示計	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-F001A	非常用ガス処理系入口弁（A）	㊦																																																																																																																
SGTS	T46-F001B	非常用ガス処理系入口弁（B）	㊦																																																																																																																
SLC	E41	ほう酸水注入系ポンプ潤滑油ポンプフィルタ	㊦																																																																																																																
SLC	E41-A001	ほう酸水注入系貯蔵タンク	㊦																																																																																																																
SLC	E41-A003A	ほう酸水注入系アキュムレータ（A）	㊦																																																																																																																
SLC	E41-A003B	ほう酸水注入系アキュムレータ（B）	㊦																																																																																																																
SLC	E41-B001	ほう酸水注入系貯蔵タンク加熱用ヒータ	㊦																																																																																																																
SLC	E41-B002	ほう酸水注入系貯蔵タンク保護用ヒータ	㊦																																																																																																																
SLC	E41-L0001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位検出器	㊦																																																																																																																
SLC	E41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位指示計	㊦																																																																																																																
SLC	E41-L1001	ほう酸水注入系貯蔵タンク水位伝送器	㊦																																																																																																																
SLC	E41-P1010A	ほう酸水注入系ポンプ（A）潤滑油圧力指示計	㊦																																																																																																																
SLC	E41-P1010B	ほう酸水注入系ポンプ（B）潤滑油圧力指示計	㊦																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

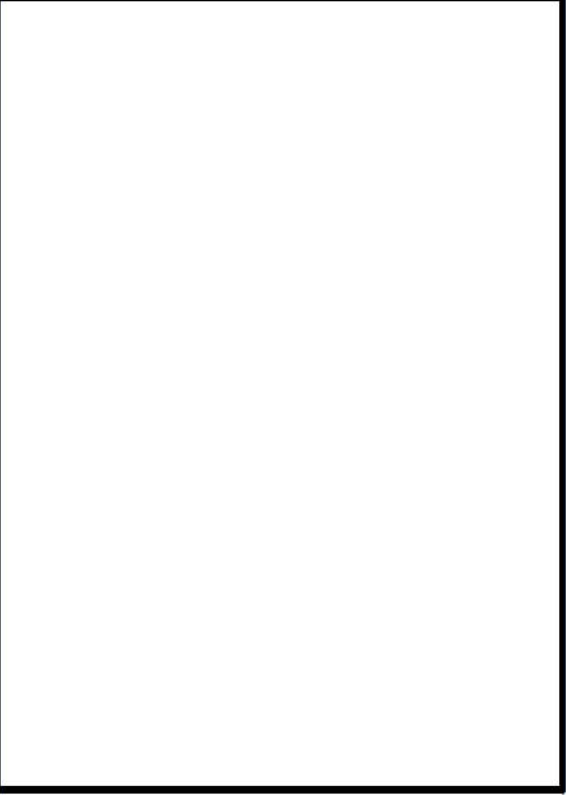
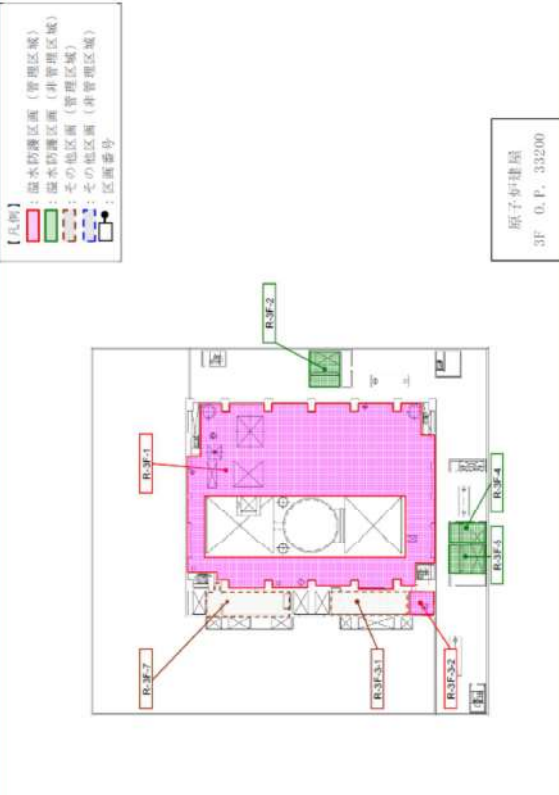
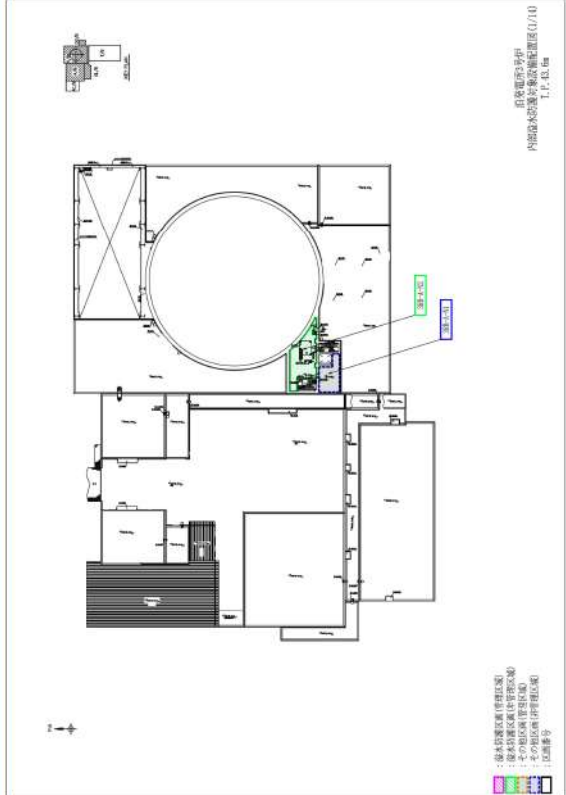
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (23/24)</p> <table border="1" data-bbox="698 213 1272 986"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>S/LC</td><td>C41-TS002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>S/LC</td><td>C41-TS003</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>S/LC</td><td>C41-TS004</td><td>S/LC貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度検出器</td><td>③</td></tr> <tr><td>S/LC</td><td>C41-TS002</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）</td><td>③</td></tr> <tr><td>S/LC</td><td>C41-TS003</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）</td><td>③</td></tr> <tr><td>S/LC</td><td>C41-TS004</td><td>ほう酸水注入系貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度</td><td>③</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE001A</td><td>サブプレッションプール水温度（1.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE001B</td><td>サブプレッションプール水温度（1.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE002A</td><td>サブプレッションプール水温度（3.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE002B</td><td>サブプレッションプール水温度（3.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE003A</td><td>サブプレッションプール水温度（5.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE003B</td><td>サブプレッションプール水温度（5.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE004A</td><td>サブプレッションプール水温度（7.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE004B</td><td>サブプレッションプール水温度（7.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE005A</td><td>サブプレッションプール水温度（10.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE005B</td><td>サブプレッションプール水温度（10.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE006A</td><td>サブプレッションプール水温度（12.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE006B</td><td>サブプレッションプール水温度（12.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE007A</td><td>サブプレッションプール水温度（14.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE007B</td><td>サブプレッションプール水温度（14.6°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE008A</td><td>サブプレッションプール水温度（16.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE008B</td><td>サブプレッションプール水温度（16.9°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE009A</td><td>サブプレッションプール水温度（19.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE009B</td><td>サブプレッションプール水温度（19.1°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE010A</td><td>サブプレッションプール水温度（21.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE010B</td><td>サブプレッションプール水温度（21.4°）</td><td>②</td></tr> <tr><td>S/PM</td><td>T11-TE011A</td><td>サブプレッションプール水温度（23.6°）</td><td>②</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="698 1050 963 1117"> ※1 評価対象外とした理由 ① 溢水により機能を喪失しない ② PCV内耐漏域仕様の設備 ③ 動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④ 他の設備で代替できる </p>	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	S/LC	C41-TS002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③	S/LC	C41-TS003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③	S/LC	C41-TS004	S/LC貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度検出器	③	S/LC	C41-TS002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③	S/LC	C41-TS003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③	S/LC	C41-TS004	ほう酸水注入系貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度	③	S/PM	T11-TE001A	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②	S/PM	T11-TE001B	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②	S/PM	T11-TE002A	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②	S/PM	T11-TE002B	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②	S/PM	T11-TE003A	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②	S/PM	T11-TE003B	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②	S/PM	T11-TE004A	サブプレッションプール水温度（7.9°）	②	S/PM	T11-TE004B	サブプレッションプール水温度（7.9°）	②	S/PM	T11-TE005A	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②	S/PM	T11-TE005B	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②	S/PM	T11-TE006A	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②	S/PM	T11-TE006B	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②	S/PM	T11-TE007A	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②	S/PM	T11-TE007B	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②	S/PM	T11-TE008A	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②	S/PM	T11-TE008B	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②	S/PM	T11-TE009A	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②	S/PM	T11-TE009B	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②	S/PM	T11-TE010A	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②	S/PM	T11-TE010B	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②	S/PM	T11-TE011A	サブプレッションプール水温度（23.6°）	②		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}																																																																																																																
S/LC	C41-TS002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③																																																																																																																
S/LC	C41-TS003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度検出器	③																																																																																																																
S/LC	C41-TS004	S/LC貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度検出器	③																																																																																																																
S/LC	C41-TS002	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③																																																																																																																
S/LC	C41-TS003	ほう酸水注入系貯蔵タンク温度指示計（接点付）	③																																																																																																																
S/LC	C41-TS004	ほう酸水注入系貯蔵タンク保溫用ヒータケース表面温度	③																																																																																																																
S/PM	T11-TE001A	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE001B	サブプレッションプール水温度（1.1°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE002A	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE002B	サブプレッションプール水温度（3.4°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE003A	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE003B	サブプレッションプール水温度（5.6°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE004A	サブプレッションプール水温度（7.9°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE004B	サブプレッションプール水温度（7.9°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE005A	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE005B	サブプレッションプール水温度（10.1°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE006A	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE006B	サブプレッションプール水温度（12.4°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE007A	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE007B	サブプレッションプール水温度（14.6°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE008A	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE008B	サブプレッションプール水温度（16.9°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE009A	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE009B	サブプレッションプール水温度（19.1°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE010A	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE010B	サブプレッションプール水温度（21.4°）	②																																																																																																																
S/PM	T11-TE011A	サブプレッションプール水温度（23.6°）	②																																																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


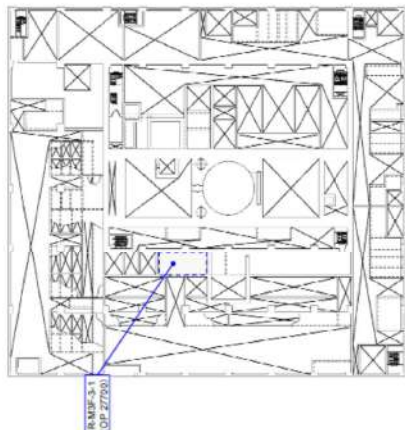
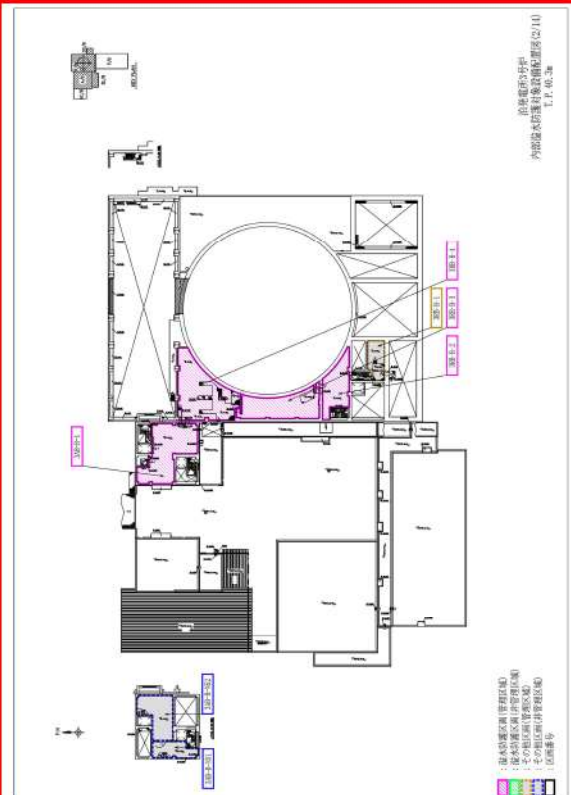
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
	<p>表2 溢水影響評価から対象外とした設備一覧 (24/24)</p> <table border="1" data-bbox="696 213 1279 767"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>機器番号</th> <th>設備</th> <th>理由^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE011B</td><td>サブプレッションプール水温度 (23.6°)</td><td>㉒</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE012A</td><td>サブプレッションプール水温度 (25.9°)</td><td>㉒</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE012B</td><td>サブプレッションプール水温度 (25.9°)</td><td>㉒</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE013A</td><td>サブプレッションプール水温度 (28.1°)</td><td>㉒</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE013B</td><td>サブプレッションプール水温度 (28.1°)</td><td>㉒</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE014A</td><td>サブプレッションプール水温度 (30.4°)</td><td>㉒</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE014B</td><td>サブプレッションプール水温度 (30.4°)</td><td>㉒</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE015A</td><td>サブプレッションプール水温度 (32.6°)</td><td>㉒</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE015B</td><td>サブプレッションプール水温度 (32.6°)</td><td>㉒</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE016A</td><td>サブプレッションプール水温度 (34.9°)</td><td>㉒</td></tr> <tr><td>SPTM</td><td>T11-TE016B</td><td>サブプレッションプール水温度 (34.9°)</td><td>㉒</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>CS1-F081A</td><td>T1Pバルブアセンブリ (ボール弁A・爆発弁A)</td><td>㉓</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>CS1-F081B</td><td>T1Pバルブアセンブリ (ボール弁B・爆発弁B)</td><td>㉓</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>CS1-F081C</td><td>T1Pバルブアセンブリ (ボール弁C・爆発弁C)</td><td>㉓</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>CS1-F081D</td><td>T1Pバルブアセンブリ (ボール弁D・爆発弁D)</td><td>㉓</td></tr> <tr><td>TIP</td><td>CS1-F083</td><td>T1Pバージョイント弁</td><td>㉓</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>手動弁一式</td><td>㉑</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>遮止弁一式</td><td>㉑</td></tr> <tr><td>その他</td><td>-</td><td>配管一式</td><td>㉑</td></tr> </tbody> </table> <p data-bbox="696 1050 963 1117"> ※1 評価対象外とした理由 ①冷水により機能を喪失しない ②PCV内耐腐蝕仕様の設備 ③動作機能の喪失により安全機能に影響しない ④他の設備で代替できる </p>	系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}	SPTM	T11-TE011B	サブプレッションプール水温度 (23.6°)	㉒	SPTM	T11-TE012A	サブプレッションプール水温度 (25.9°)	㉒	SPTM	T11-TE012B	サブプレッションプール水温度 (25.9°)	㉒	SPTM	T11-TE013A	サブプレッションプール水温度 (28.1°)	㉒	SPTM	T11-TE013B	サブプレッションプール水温度 (28.1°)	㉒	SPTM	T11-TE014A	サブプレッションプール水温度 (30.4°)	㉒	SPTM	T11-TE014B	サブプレッションプール水温度 (30.4°)	㉒	SPTM	T11-TE015A	サブプレッションプール水温度 (32.6°)	㉒	SPTM	T11-TE015B	サブプレッションプール水温度 (32.6°)	㉒	SPTM	T11-TE016A	サブプレッションプール水温度 (34.9°)	㉒	SPTM	T11-TE016B	サブプレッションプール水温度 (34.9°)	㉒	TIP	CS1-F081A	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁A・爆発弁A)	㉓	TIP	CS1-F081B	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁B・爆発弁B)	㉓	TIP	CS1-F081C	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁C・爆発弁C)	㉓	TIP	CS1-F081D	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁D・爆発弁D)	㉓	TIP	CS1-F083	T1Pバージョイント弁	㉓	その他	-	手動弁一式	㉑	その他	-	遮止弁一式	㉑	その他	-	配管一式	㉑		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違 プラント設計の違いによる相違</p>
系統	機器番号	設備	理由 ^{※1}																																																																																
SPTM	T11-TE011B	サブプレッションプール水温度 (23.6°)	㉒																																																																																
SPTM	T11-TE012A	サブプレッションプール水温度 (25.9°)	㉒																																																																																
SPTM	T11-TE012B	サブプレッションプール水温度 (25.9°)	㉒																																																																																
SPTM	T11-TE013A	サブプレッションプール水温度 (28.1°)	㉒																																																																																
SPTM	T11-TE013B	サブプレッションプール水温度 (28.1°)	㉒																																																																																
SPTM	T11-TE014A	サブプレッションプール水温度 (30.4°)	㉒																																																																																
SPTM	T11-TE014B	サブプレッションプール水温度 (30.4°)	㉒																																																																																
SPTM	T11-TE015A	サブプレッションプール水温度 (32.6°)	㉒																																																																																
SPTM	T11-TE015B	サブプレッションプール水温度 (32.6°)	㉒																																																																																
SPTM	T11-TE016A	サブプレッションプール水温度 (34.9°)	㉒																																																																																
SPTM	T11-TE016B	サブプレッションプール水温度 (34.9°)	㉒																																																																																
TIP	CS1-F081A	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁A・爆発弁A)	㉓																																																																																
TIP	CS1-F081B	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁B・爆発弁B)	㉓																																																																																
TIP	CS1-F081C	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁C・爆発弁C)	㉓																																																																																
TIP	CS1-F081D	T1Pバルブアセンブリ (ボール弁D・爆発弁D)	㉓																																																																																
TIP	CS1-F083	T1Pバージョイント弁	㉓																																																																																
その他	-	手動弁一式	㉑																																																																																
その他	-	遮止弁一式	㉑																																																																																
その他	-	配管一式	㉑																																																																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

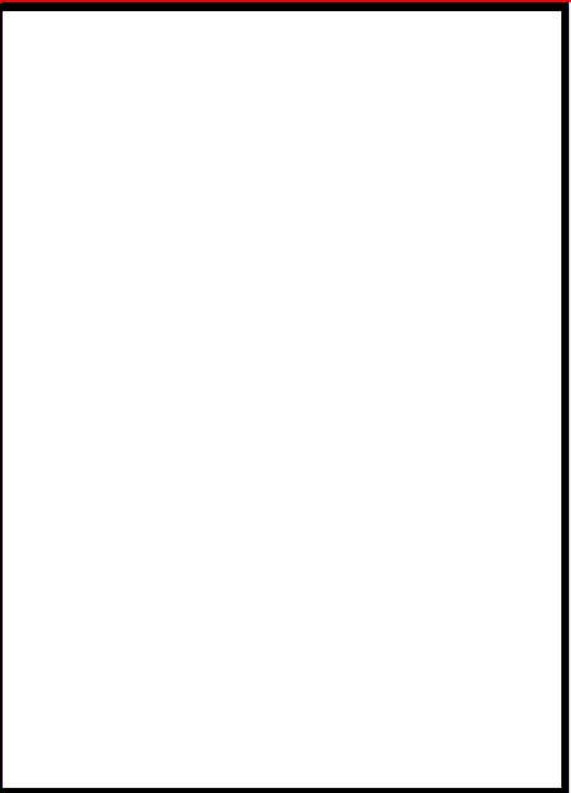

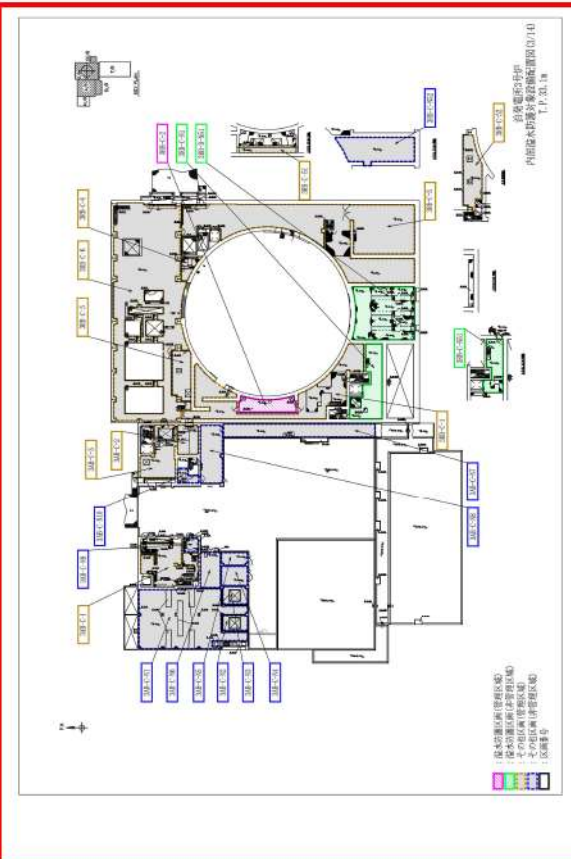
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料7）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
添付資料 1.3-1	添付資料 7	添付資料 7	
溢水防護区画の設定	溢水防護区画図	溢水防護区画図	
 <p data-bbox="264 1056 680 1088">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			<p data-bbox="1872 178 1935 197">【大飯】</p> <p data-bbox="1872 213 1993 233">記載表現の相違</p> <p data-bbox="1872 245 1989 264">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1872 280 1993 300">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 316 2134 335">プラント構成及び機器配置の相違</p>

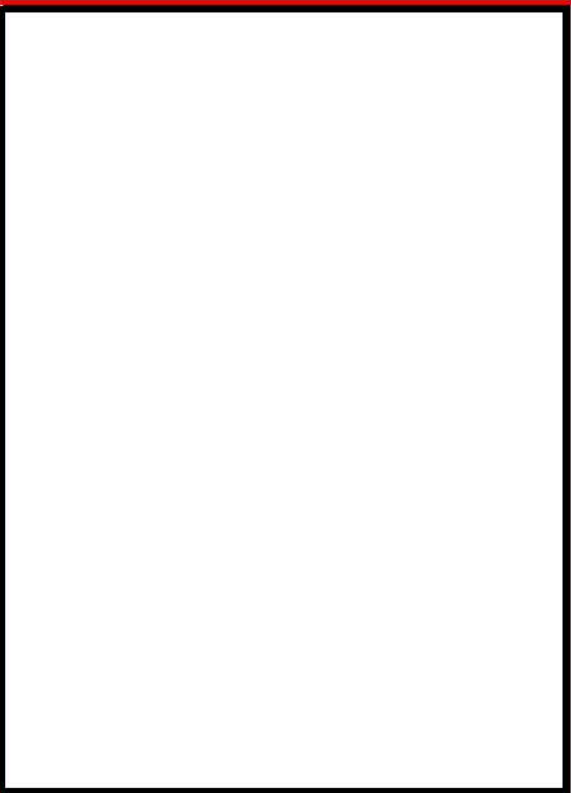
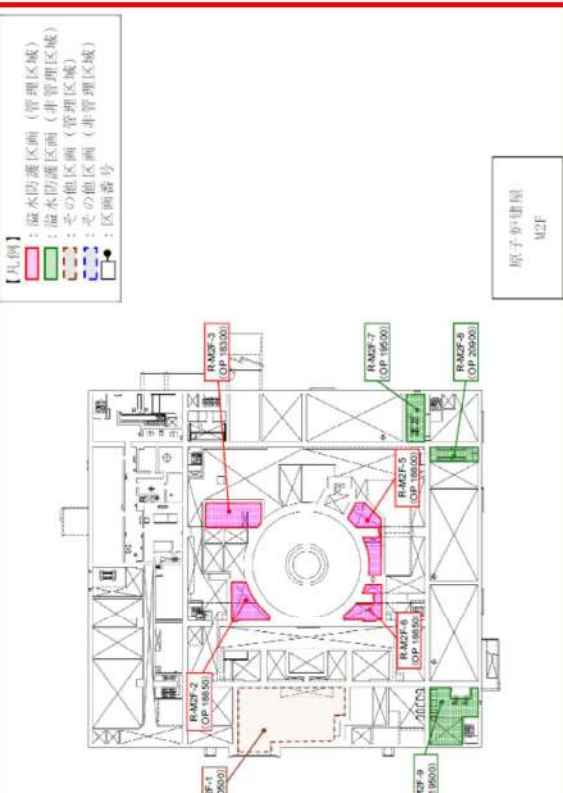
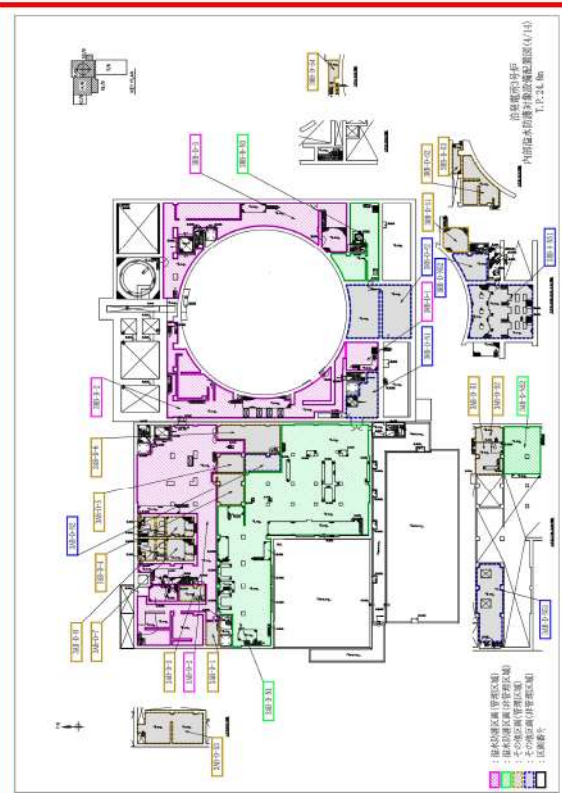
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 991 683 1023">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p data-bbox="703 177 824 464">【凡例】 赤：溢水防護区画 (管理区画) 青：溢水防護区画 (非管理区画) 緑：その他区画 (管理区画) 黄：その他区画 (非管理区画) 白：区画番号</p> <p data-bbox="1196 320 1265 464">原子炉建屋 M3F</p> 	 <p data-bbox="1778 177 1839 336">設備標準設計 内部設備設計対象設備配置図(2/1) T.P. 40.3a</p> <p data-bbox="1778 847 1839 975">溢水防護区画 (管理区画) 溢水防護区画 (非管理区画) その他区画 (管理区画) その他区画 (非管理区画) 区画番号</p>	<p data-bbox="1874 177 1989 201">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1874 209 1995 233">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 240 2130 264">プラント構成及び機器配置の相違</p>

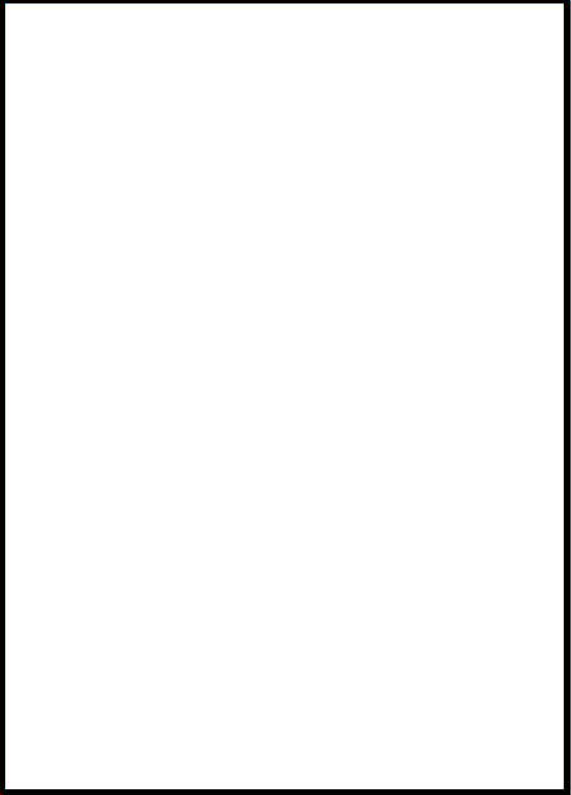
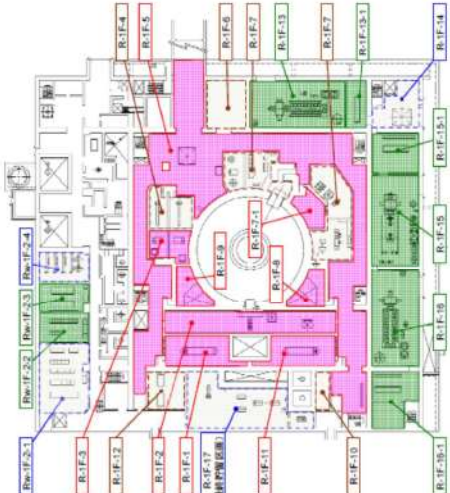
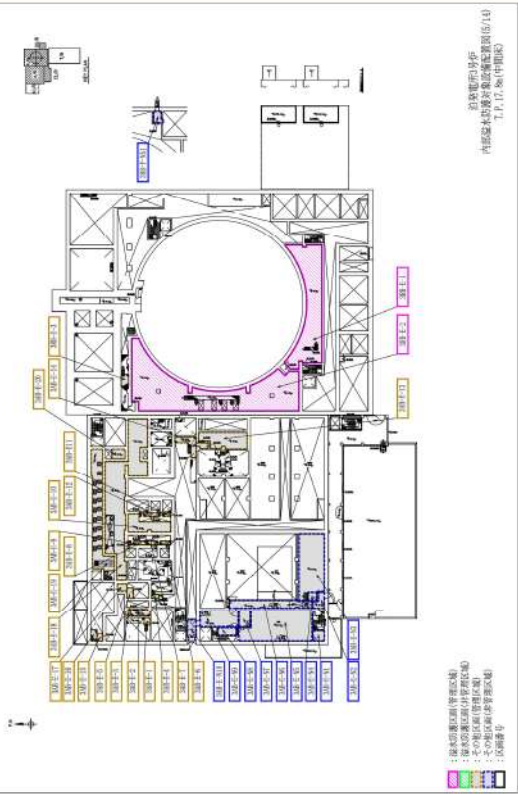
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="257 989 672 1021">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="703 199 817 470">【凡例】 赤：溢水防護区画 (管理区画) 青：溢水防護区画 (非管理区画) 緑：その他区画 (管理区画) 黄：その他区画 (非管理区画) 白：区画番号</p> <p data-bbox="1198 335 1265 470">原子炉建屋 2F 0.F. 22500</p>	 <p data-bbox="1758 199 1825 470">泊発電所3号炉 内部配水設備対象設備設置図(2F) 1.F. 22.10</p> <p data-bbox="1758 845 1825 973">赤：溢水防護区画 (管理区画) 青：溢水防護区画 (非管理区画) 緑：その他区画 (管理区画) 黄：その他区画 (非管理区画) 白：区画番号</p>	<p data-bbox="1874 177 1982 199">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1874 215 1993 237">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1874 247 2130 269">プラント構成及び機器配置の相違</p>



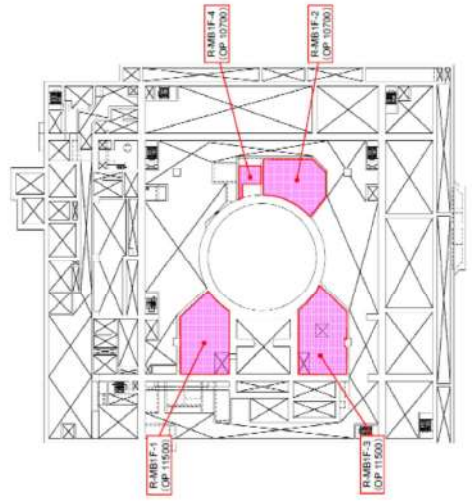
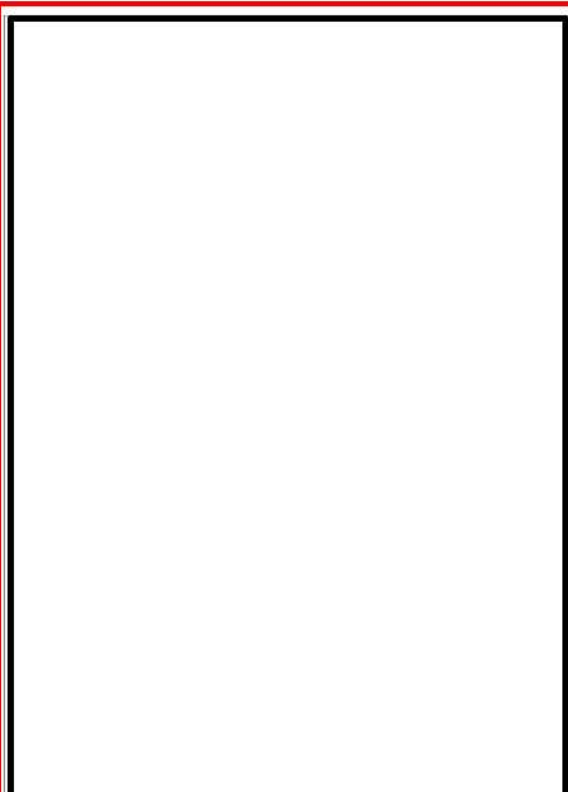
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 981 683 1029">※組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p data-bbox="705 199 817 470">【凡例】 ■：溢水防護区域 (管理区域) ■：溢水防護区域 (非管理区域) ■：その他区域 (管理区域) ■：その他区域 (非管理区域) ■：区域番号</p>  <p data-bbox="1198 335 1265 470">原子炉建屋 M2F</p>	 <p data-bbox="1780 199 1848 343">泊発電所3号炉 内部溢水防護区域(管理区域) 1F, 2F, 3F</p> <p data-bbox="1780 853 1848 973">■：溢水防護区域 (管理区域) ■：溢水防護区域 (非管理区域) ■：その他区域 (管理区域) ■：その他区域 (非管理区域) ■：区域番号</p>	<p data-bbox="1877 183 1982 199">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1877 215 1982 231">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2116 263">プラント構成及び機器配置の相違</p>

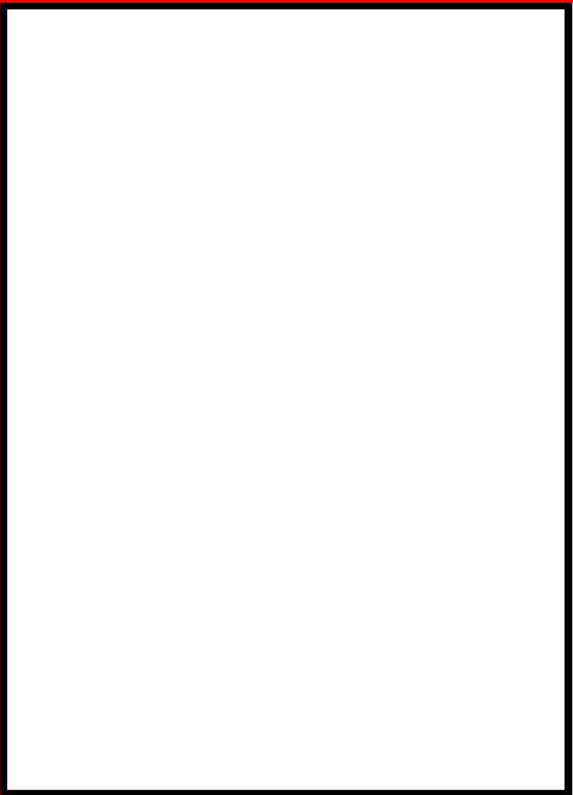
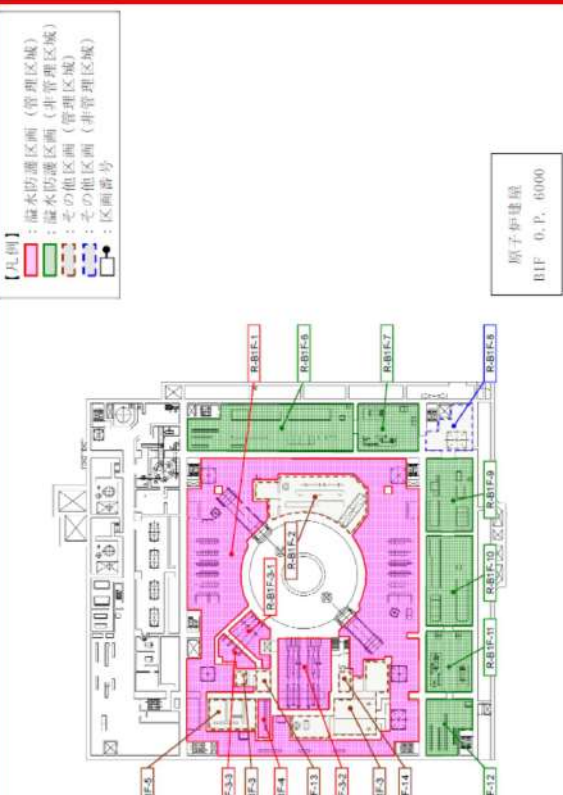
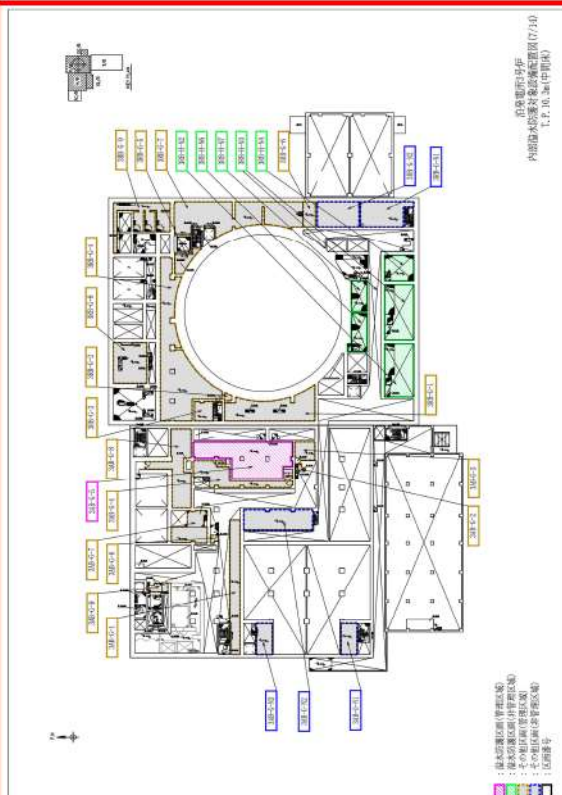
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 986 181 1018">↑</p> <p data-bbox="264 995 674 1018">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p data-bbox="705 199 817 470">【凡例】 赤：溢水防護区域 (管理区域) 青：溢水防護区域 (非管理区域) 緑：その他区域 (管理区域) 黄：その他区域 (非管理区域) 白：区域番号</p>  <p data-bbox="1198 343 1243 470">原子炉建屋 1F 0. P. 15000</p>	 <p data-bbox="1803 183 1848 343">泊発電所3号炉 内部基本防護対策設備設置箇所 (L1, L17, 8号中置庫)</p> <p data-bbox="1780 853 1848 981">赤：溢水防護区域 (管理区域) 青：溢水防護区域 (非管理区域) 緑：その他区域 (管理区域) 黄：その他区域 (非管理区域) 白：区域番号</p>	<p data-bbox="1877 183 1982 199">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1877 215 2004 231">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2128 263">プラント構成及び機器配置の相違</p>


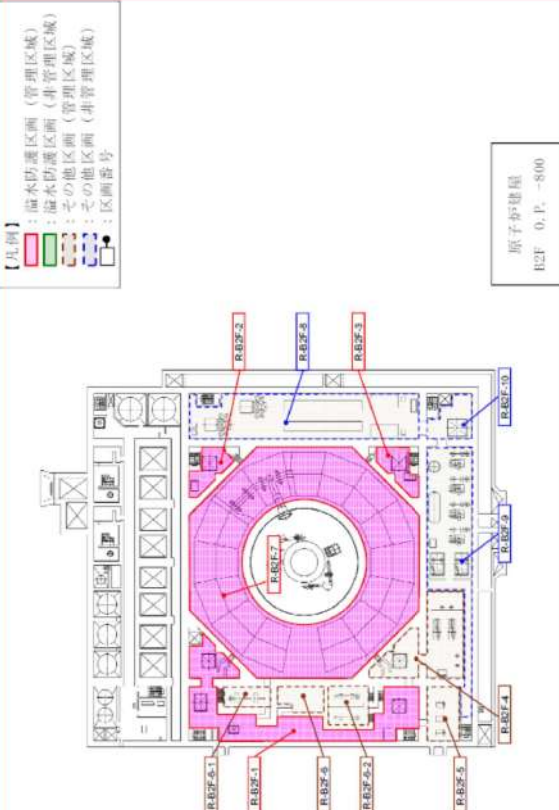
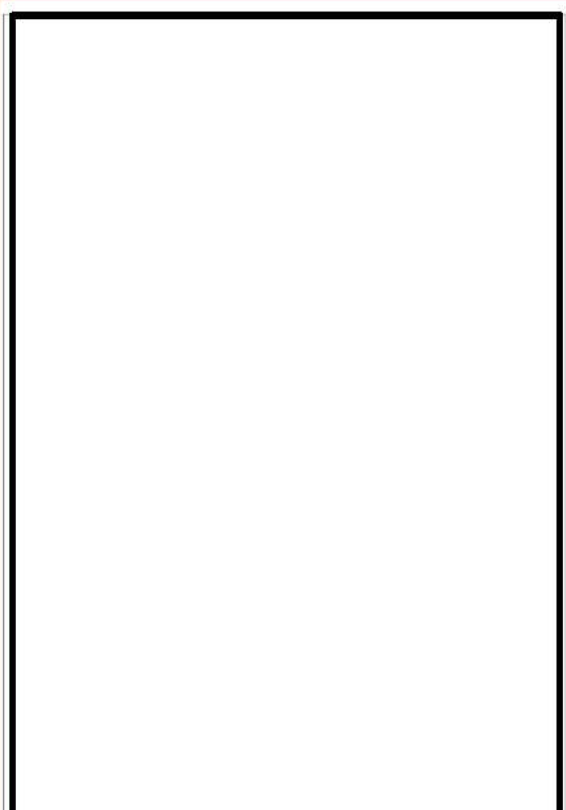
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 981 683 1021">  枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </p>	<div data-bbox="705 199 817 478"> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ：溢水防護区域（管理区域） ：溢水防護区域（非管理区域） ：その他区域（管理区域） ：その他区域（非管理区域） ：区域番号 </div> <div data-bbox="750 502 1220 1005">  </div>	 <p data-bbox="1288 981 1854 1021"> 枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </p>	<p>【女川・大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>

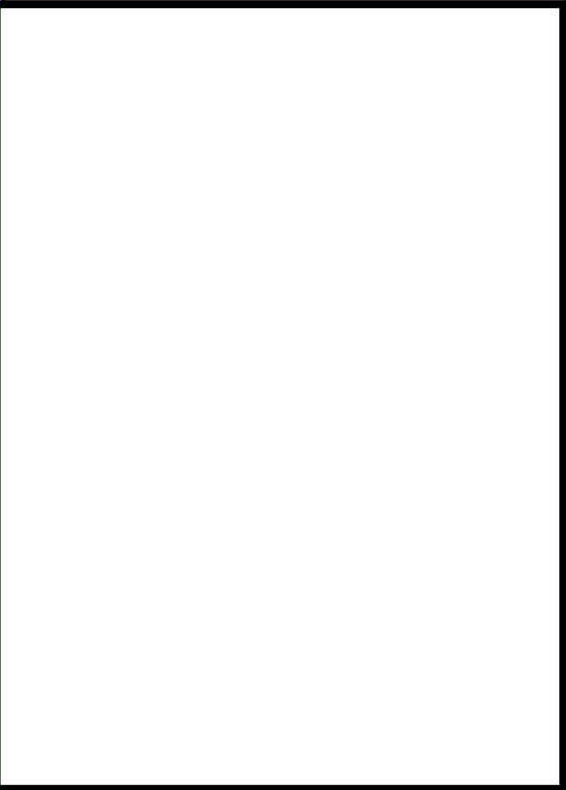

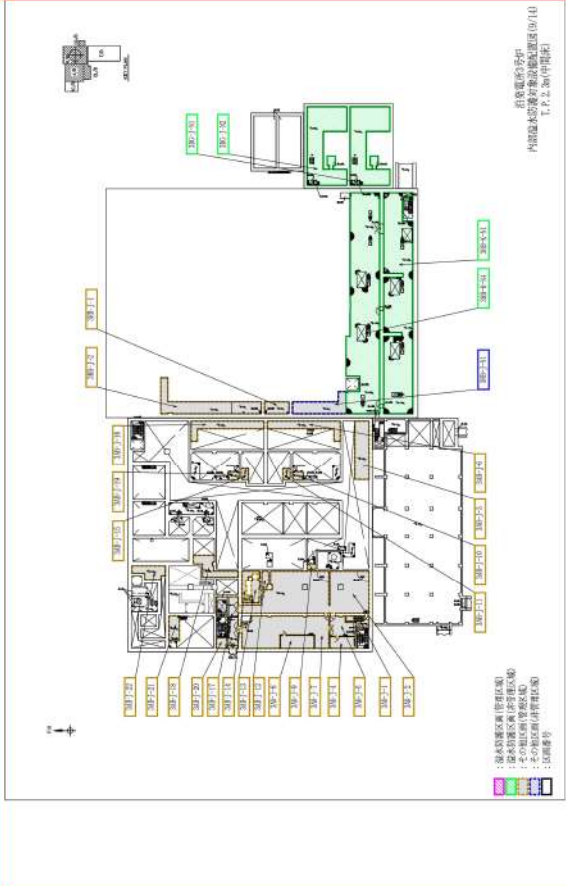
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="112 981 683 1069"> 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </p>	 <p data-bbox="705 183 1265 207">【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■：溢水防護区画 (管理区画) ■：溢水防護区画 (非管理区画) ■：その他区画 (管理区画) ■：その他区画 (非管理区画) ○：区画番号 <p data-bbox="1198 335 1265 470">原子炉建屋 B1F 0.P. 6000</p>	 <p data-bbox="1780 183 1848 343">泊発電所3号炉 内部防範的溢水対策設備配置図(7/10 4.2.10.3a(中間版))</p> <p data-bbox="1780 853 1848 981"> ■：基本防護区画 (管理区画) ■：基本防護区画 (非管理区画) ■：その他区画 (管理区画) ■：その他区画 (非管理区画) ○：区画番号 </p>	<p data-bbox="1870 175 2128 207">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1870 215 2128 247">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1870 247 2128 279">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


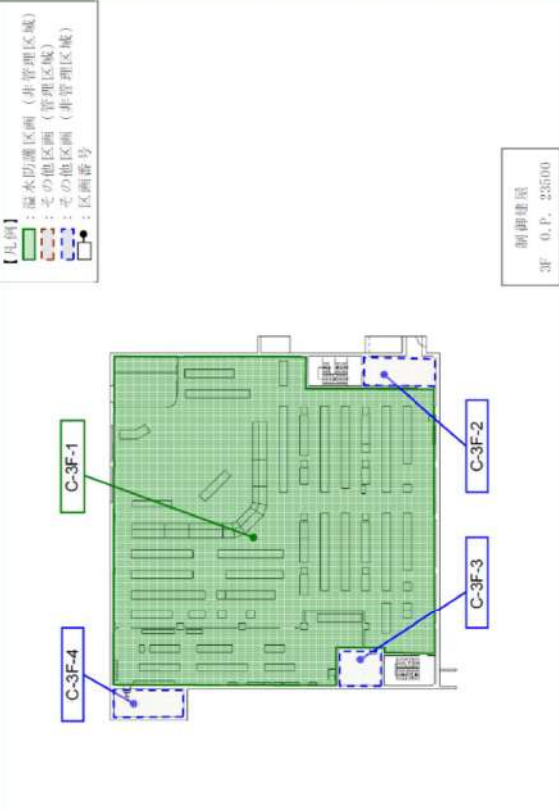
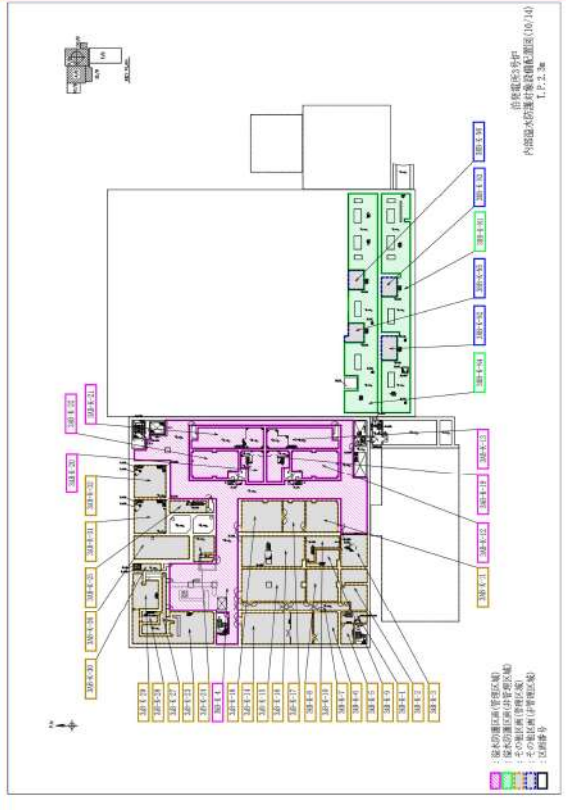
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 1005 680 1037">棒囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="707 1005 1263 1037">棒囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	 <p data-bbox="1290 1005 1854 1037">棒囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	<p data-bbox="1872 183 2134 207">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1872 215 2134 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 247 2134 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="264 994 680 1018">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="707 411 824 464">【凡例】 ■：溢水防護区域（管理区域） ■：溢水防護区域（非管理区域） ■：その他区域（管理区域） ■：その他区域（非管理区域） ■：区域番号</p> <p data-bbox="1205 336 1263 464">原子炉建屋 E3F 0. P. -8100</p>	 <p data-bbox="1783 852 1841 979">溢水防護区域（管理区域） 溢水防護区域（非管理区域） その他区域（管理区域） その他区域（非管理区域） 区域番号</p> <p data-bbox="1809 185 1841 336">非管理区域 外部設備設置区域（管理区域） T. P. 2. 36(中間)</p>	<p data-bbox="1872 180 1989 204">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1872 217 1995 240">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 248 2134 272">プラント構成及び機器配置の相違</p>

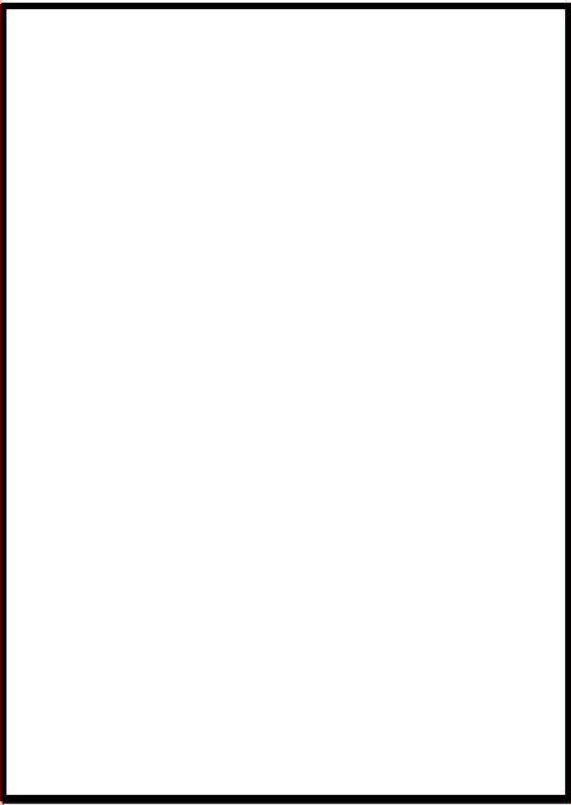

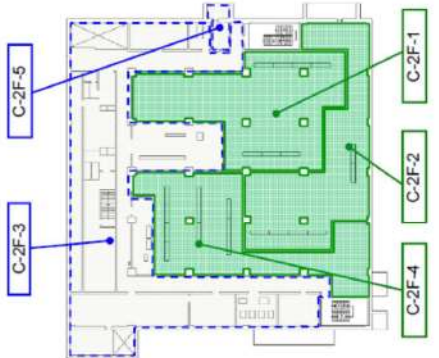
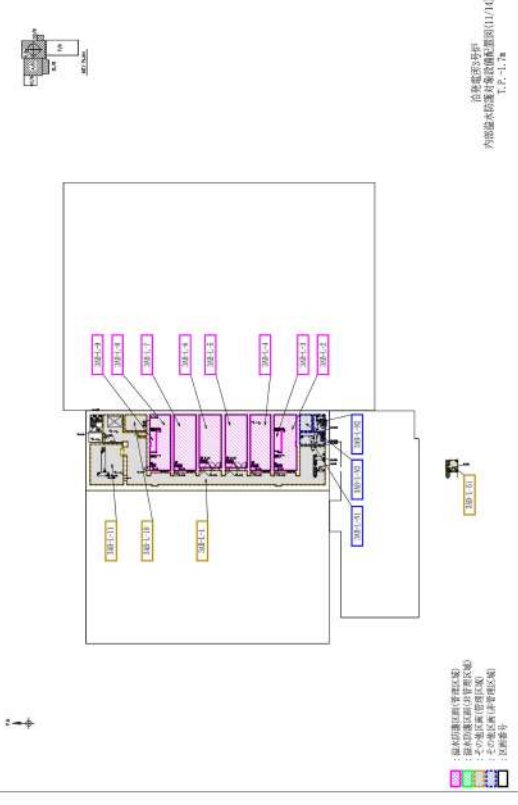

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料7）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 1005 680 1037"> 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </p>			<p data-bbox="1872 183 2134 207">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1872 215 2134 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1872 247 2134 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>

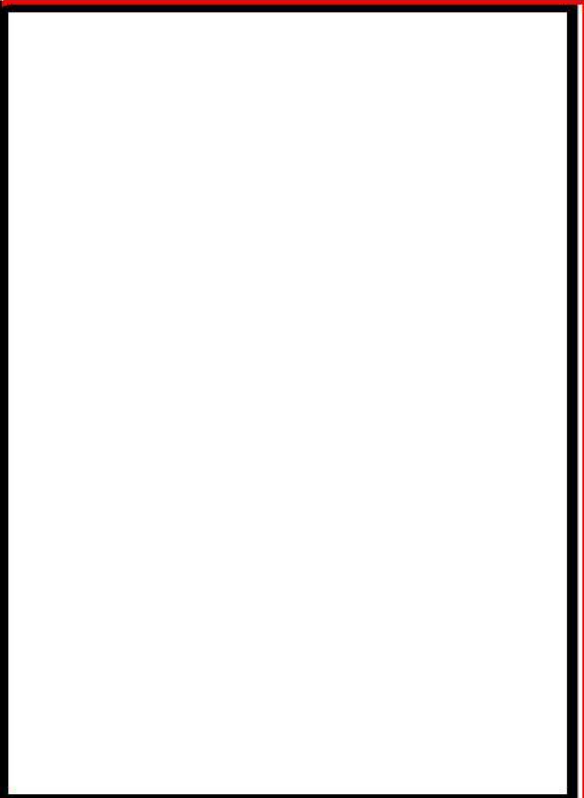
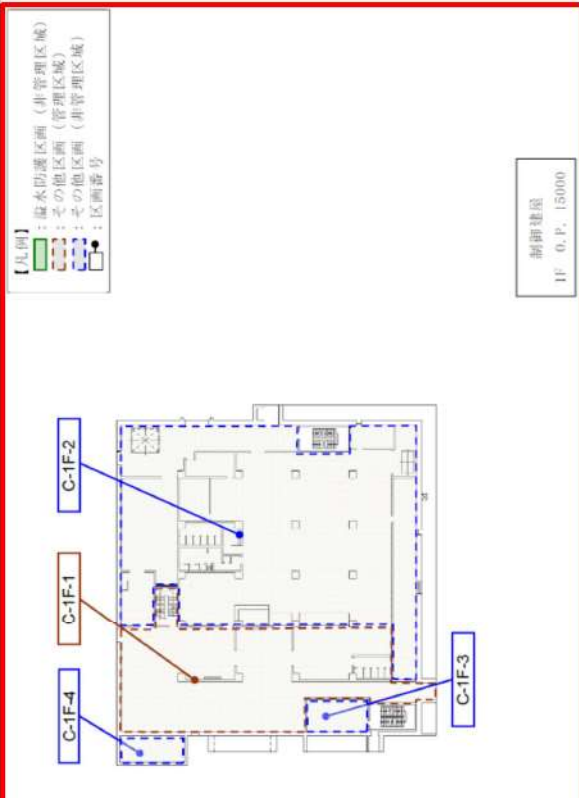
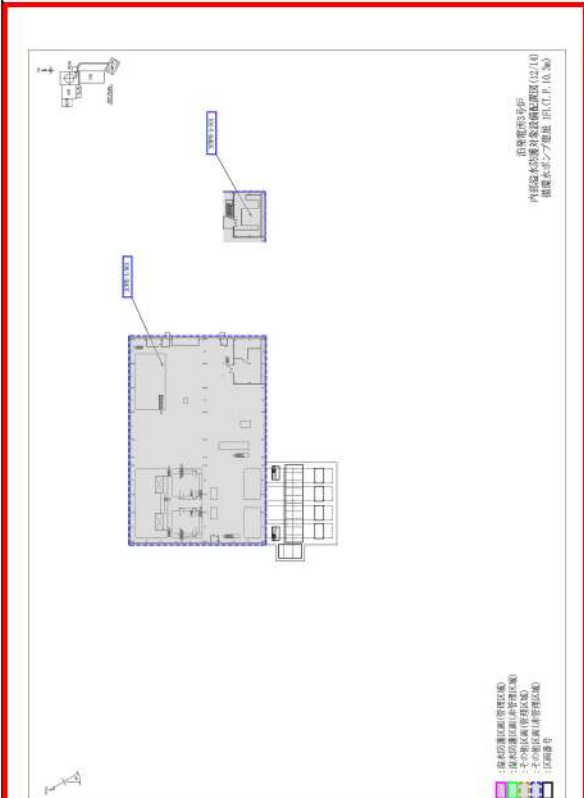
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料7）

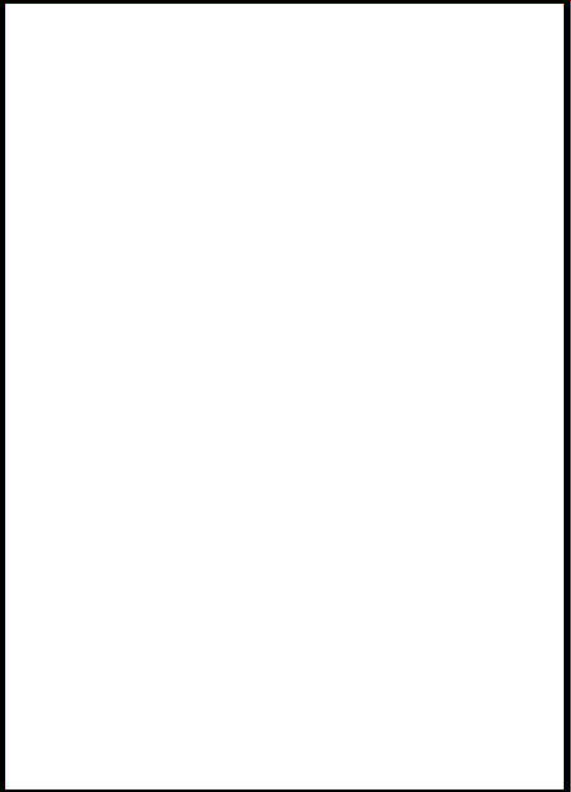
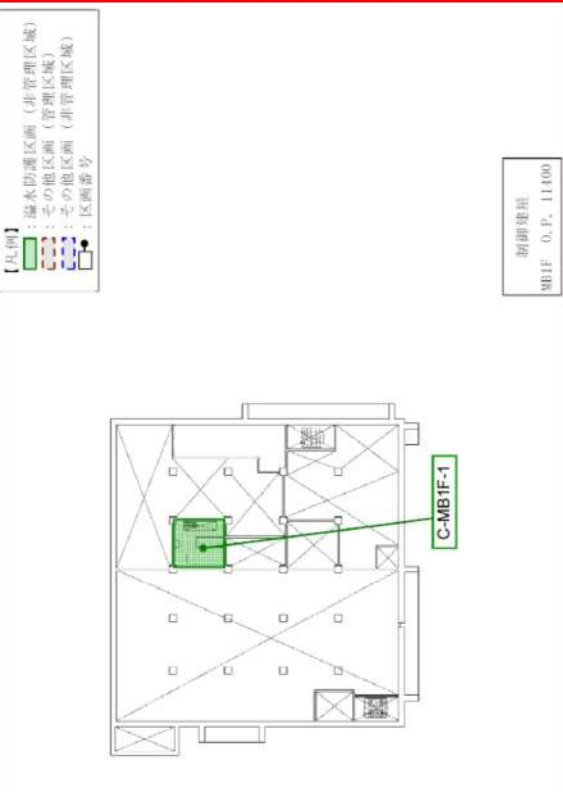
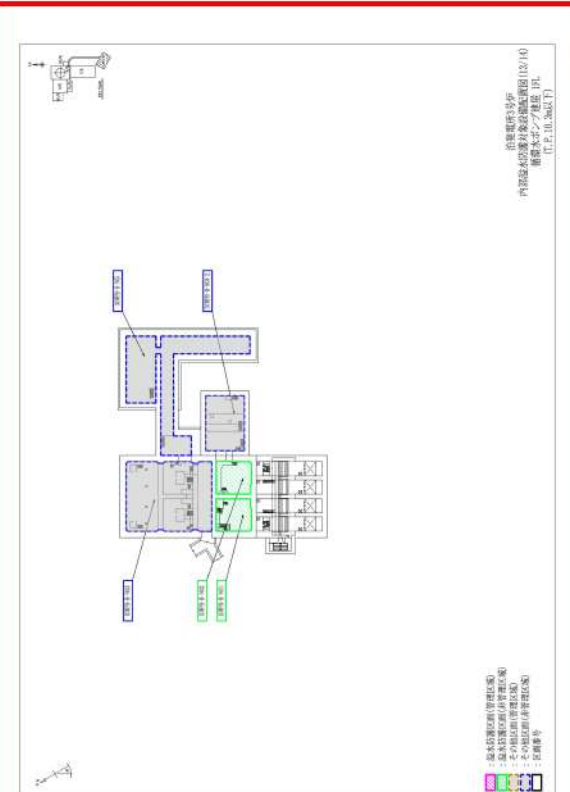
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 1005 683 1077">  特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ：溢水防護区域（非管理区域） ：その他区域（管理区域） ：その他区域（非管理区域） ：区域番号 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;"> 制御建屋 2F O.P. 19500 </div> 	 <p data-bbox="1332 1005 1848 1077">  </p>	<p>【女川・大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料7）

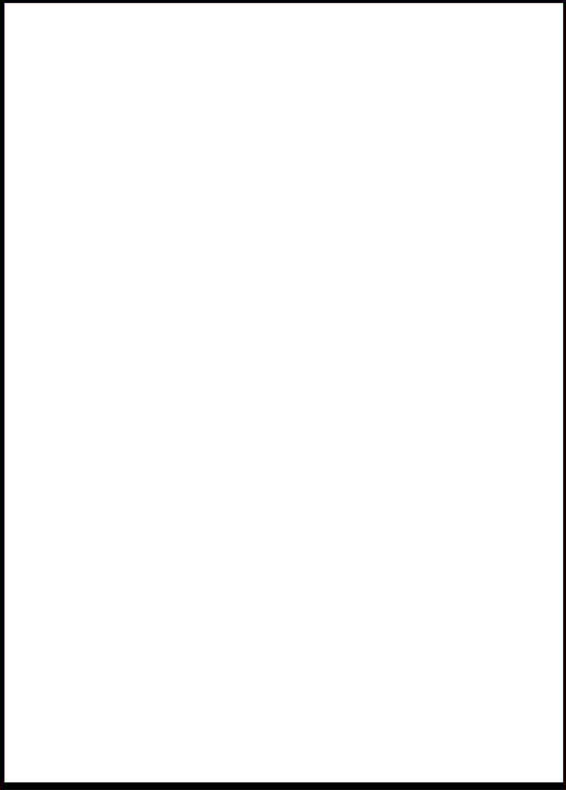

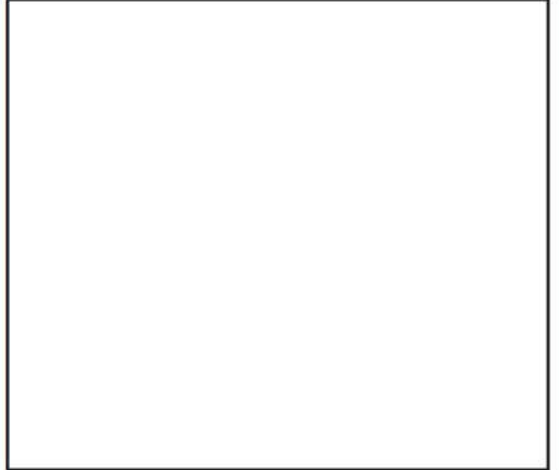
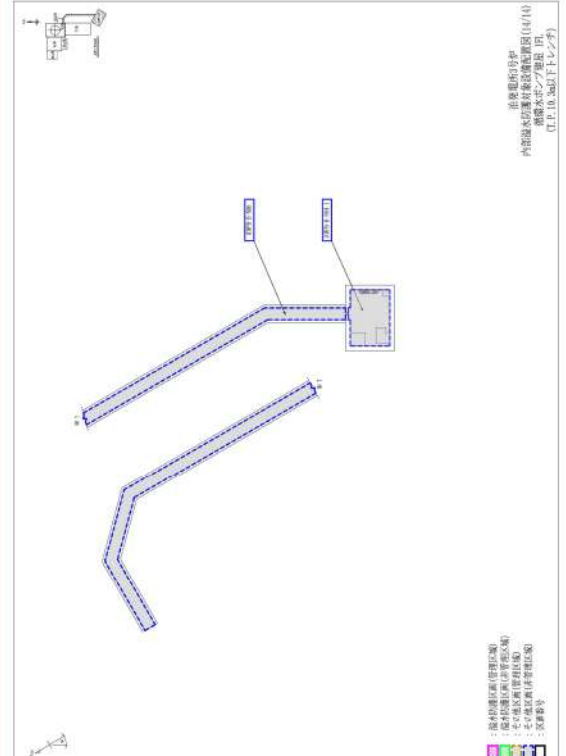
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="257 997 683 1021">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="705 183 795 454">【凡例】 ■：基本防護区域（非管理区域） ■：その他区域（管理区域） ■：その他区域（非管理区域） ■：区域番号</p> <p data-bbox="1209 335 1265 470">制御建造 IF 0. P. 15000</p>	 <p data-bbox="1758 223 1848 383">泊発電所3号炉 内部保安対策計画策定配置図(02.1.0) 機密表示プログラム 15.11.11.18.30</p> <p data-bbox="1758 853 1848 973">基本防護区域(非管理区域) 基本防護区域(管理区域) その他区域(非管理区域) その他区域(管理区域) 区域番号</p>	<p data-bbox="1870 175 1982 199">【女川・大飯】</p> <p data-bbox="1870 215 1993 239">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1870 247 2128 271">プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

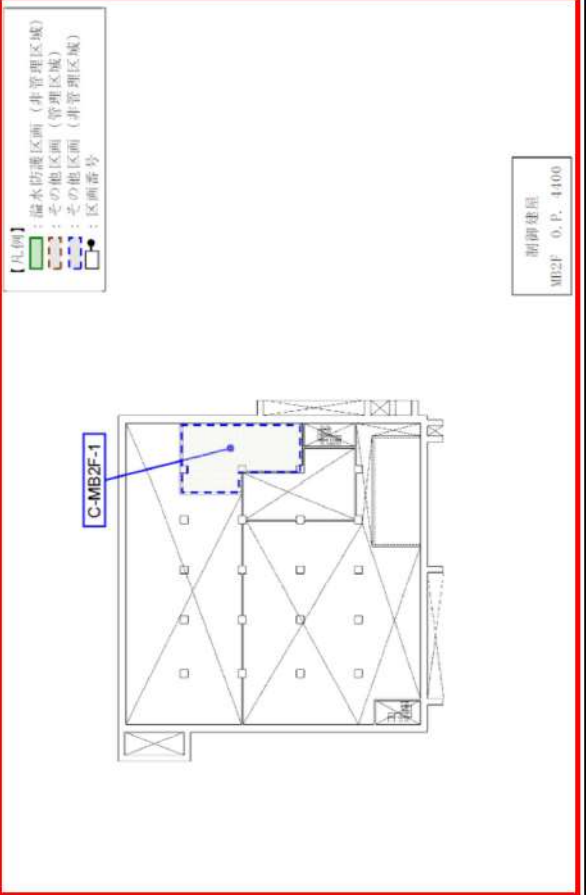
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="114 981 683 1021">特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="705 183 795 470"> 【凡例】 緑色：基本防護区域（非管理区域） 青色：その他区域（管理区域） 赤色：その他区域（非管理区域） 黒色：区画番号 </p> <p data-bbox="1198 335 1265 478"> 印刷建屋 MB1F 0. P. 11/100 </p>	 <p data-bbox="1288 183 1848 343"> 泊発電所3号炉 内部図4号炉（非管理区域）(02/10) 基本防護区域（管理区域） (T. E. 10. 36. 51 T) </p> <p data-bbox="1758 853 1848 973"> 基本防護区域（管理区域） 基本防護区域（非管理区域） その他区域（管理区域） その他区域（非管理区域） 区画番号 </p>	<p data-bbox="1872 178 2134 263"> 【女川・大飯】 設計方針の相違 プラント構成及び機器配置の相違 </p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

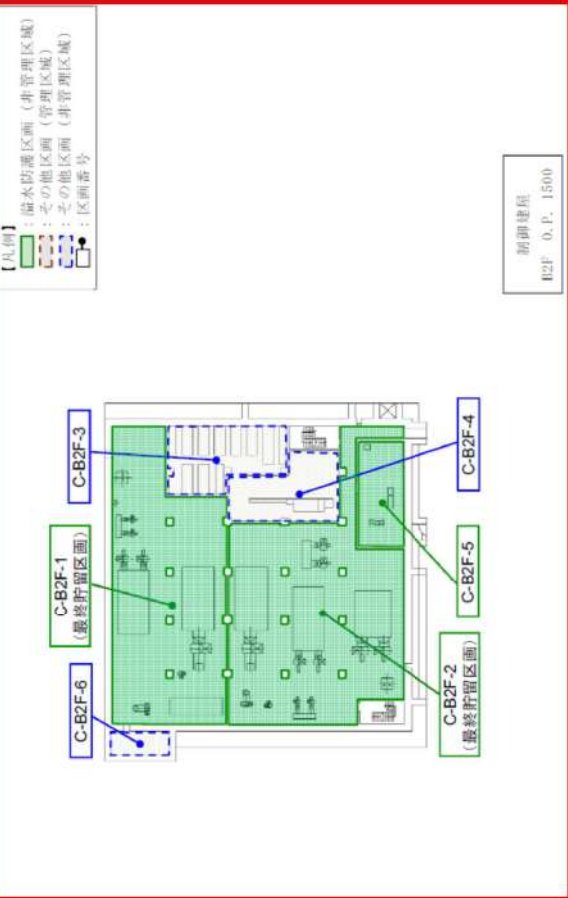
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料7）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="116 981 680 1021">  枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </p>	<p data-bbox="707 215 806 486"> 【凡例】 溢水防護区画（非管理区域） 溢水防護区画（管理区域） その他区画（管理区域） その他区画（非管理区域） : : 区画番号 </p>  <p data-bbox="1198 359 1254 486" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 制御建屋 B1F 0. P. 8000 </p> <p data-bbox="772 981 1254 1021" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。 </p>	 <p data-bbox="1769 215 1848 375" style="font-size: small;"> 形像地所番号 内部溢水防護対策設備設置区(0474) 内部溢水防護対策設備設置区(0475) (注) 図面は、2008年12月時点 </p> <p data-bbox="1769 853 1848 973" style="font-size: small;"> 溢水防護区画(管理区域) 溢水防護区画(管理区域) その他区画(管理区域) その他区画(非管理区域) : : 区画番号 </p>	<p data-bbox="1872 180 2134 263"> 【女川・大阪】 設計方針の相違 プラント構成及び機器配置の相違 </p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>

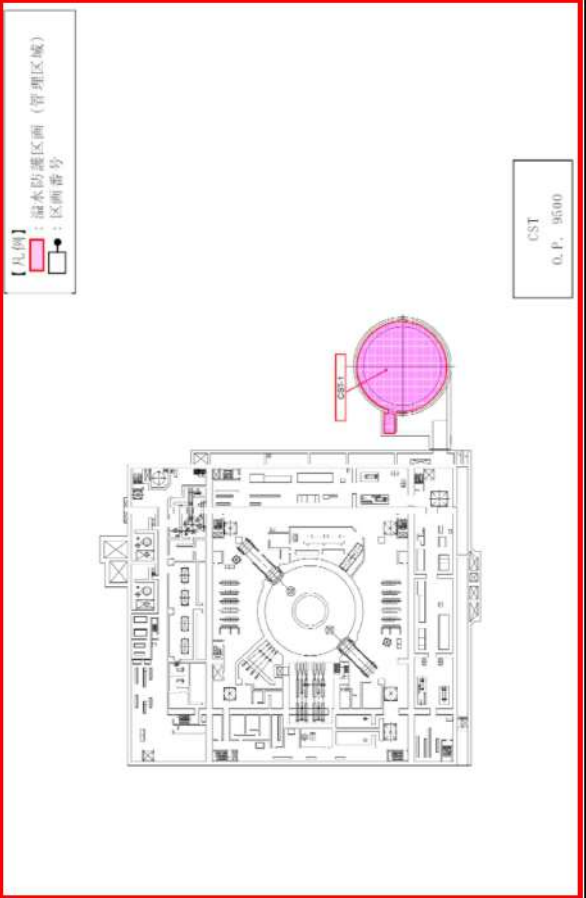
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 設計方針の相違 プラント構成及び機器配置の相違</p>

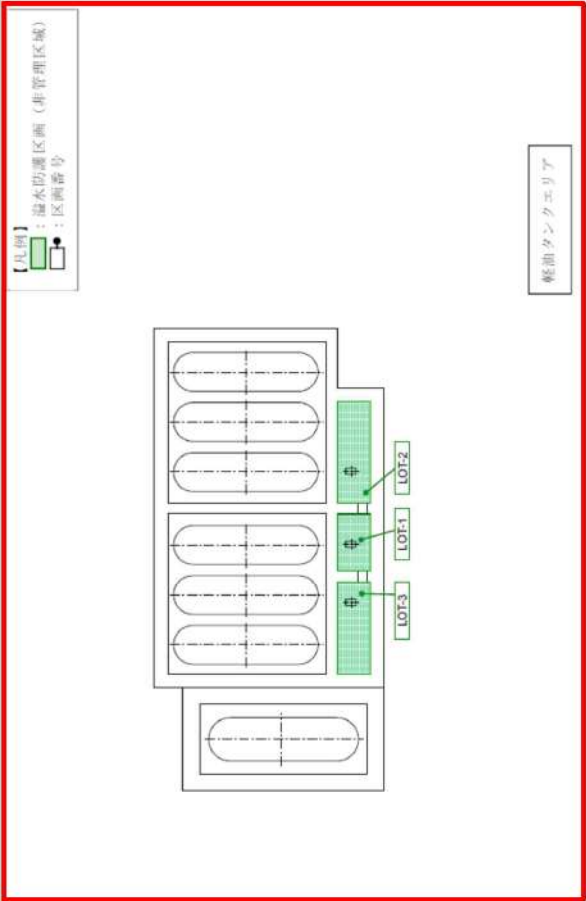
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="701 196 797 475" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>【凡例】</p> <p>■：溢水防護区画（非管理区域）</p> <p>□：その他区画（非管理区域）</p> <p>●：区画番号</p> </div> <div data-bbox="1227 347 1263 475" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> 海水ポンプ室 </div> <div data-bbox="701 491 1263 979" style="border: 1px solid black; height: 300px; margin: 10px 0;"> </div> <div data-bbox="770 995 1263 1027" style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> 枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。 </div>		<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>

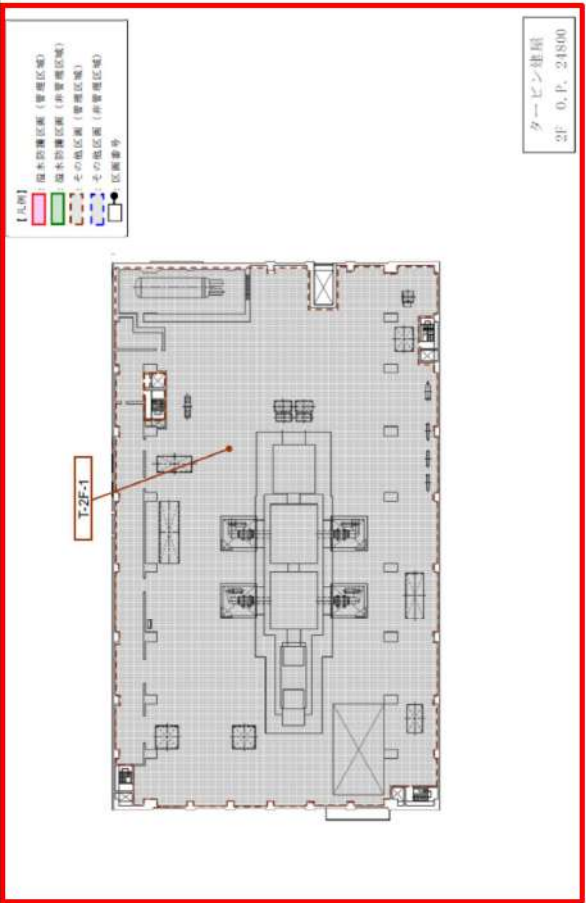
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 設計方針の相違 プラント構成及び機器配置の相違</p>

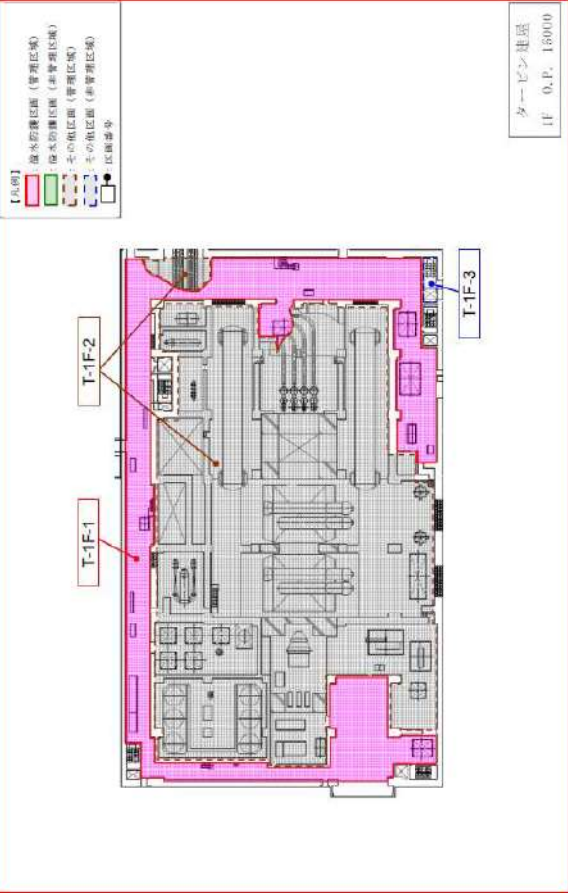
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>

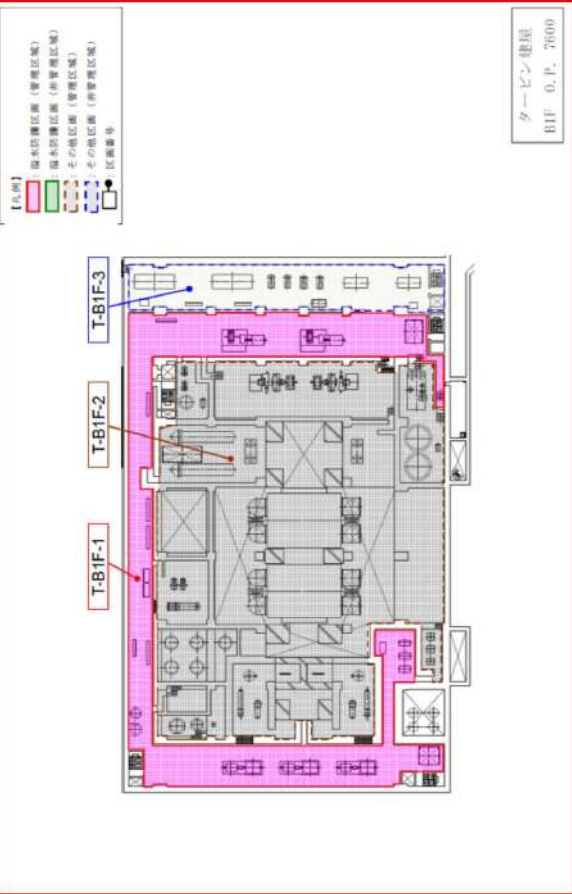
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント構成及び機器配置の相違</p>

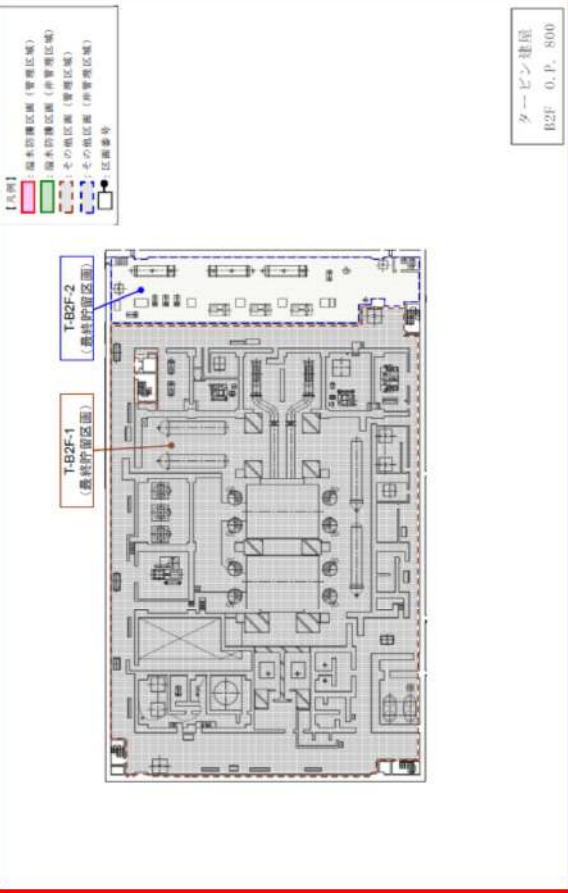
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 設計方針の相違 プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント構成及び機器配置の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料8）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
<p>17 滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価について</p> <p>1. はじめに</p> <p>前回の現場調査以降、火災防護設備、重大事故等対処設備、多様性拡張設備等の追加設置に伴い没水影響評価に用いる滞留面積の減少があることから、今回、滞留面積の精緻化を図り没水影響評価について再評価を実施した。</p> <p>2. 没水影響評価</p> <p>没水影響評価に用いる滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価の変更については、ゆらぎも含め溢水水位の上昇はわずかであり、防護対象設備が機能喪失しないことを確認した。</p> <p>没水評価結果の例を表1に示す。</p> <p>表1 滞留面積を精緻化の伴う没水影響評価について（例）</p> <table border="1" data-bbox="129 726 654 949"> <thead> <tr> <th colspan="8">原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m 非管理区域 3EB-N12A 自動スプリンクラー</th> </tr> <tr> <th></th> <th>① 溢水量 [m³]</th> <th>② 滞留面積 [m²]</th> <th>床勾配 [m]</th> <th>③ 溢水水位 [m]</th> <th>防護対象設備</th> <th>④ 機能喪失高さ [m]</th> <th>⑤ 影響評価</th> <th>⑥ 判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>変更前</td> <td rowspan="2">21.6</td> <td>165.7</td> <td rowspan="2">0.00</td> <td rowspan="2">0.131</td> <td rowspan="2">3A、3B 制御用空気圧縮機制御盤 (3IAC-A、B)</td> <td rowspan="2">0.44</td> <td rowspan="2">③<④</td> <td rowspan="2">○</td> </tr> <tr> <td>変更後</td> <td>71.8</td> </tr> </tbody> </table>	原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m 非管理区域 3EB-N12A 自動スプリンクラー									① 溢水量 [m ³]	② 滞留面積 [m ²]	床勾配 [m]	③ 溢水水位 [m]	防護対象設備	④ 機能喪失高さ [m]	⑤ 影響評価	⑥ 判定	変更前	21.6	165.7	0.00	0.131	3A、3B 制御用空気圧縮機制御盤 (3IAC-A、B)	0.44	③<④	○	変更後	71.8	<p>添付資料8</p> <p>滞留面積の算出について</p> <p>1. 滞留面積の算出要領</p> <p>滞留面積については、没水影響評価結果に与える影響が大きいため、以下のような条件にて算出することを基本とし、評価における保守性を確保する。</p>	<p>添付資料8</p> <p>滞留面積の算出について</p> <p>1. 滞留面積の算出要領</p> <p>滞留面積については、没水影響評価結果に与える影響が大きいため、以下のような条件にて算出することとし、評価における保守性を確保する。</p> <p>(1) 算出方法</p> <p>a. 滞留面積の算出エリアを設定し、その内側の面積を算出する。(以下「全面積」という)</p> <p>b. エリア内側にあるコンクリート基礎、柱、ビット、スロープ、床開口等、欠損となるコンクリート構造物の面積を算出する。(以下「基礎等欠損面積」という)</p> <p>c. 常設機器、現場資機材、床貫通部等、滞留面積の欠損となるものの面積を現場調査により算出する。(以下「現場調査欠損面積」という)</p> <p>d. 上記 a. で算出した面積より、b. 及び c. の欠損面積を差し引く。この結果を没水評価に用いる滞留面積とする。</p>	<p>【大飯】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>大飯は没水評価実施後に追加設置した設備等による滞留面積の減少分を精緻化して没水評価の再評価を実施していることを説明しているが、滞留面積の算出方法は泊と同様であり、欠損面積を現場実測している。</p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は全エリアに対して同様の算出方法としていることから「基本」という記載はしていない。</p> <p>【女川・大飯】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>泊は滞留面積の算出過程が明確となるよう、最初に算出方法を記載する構成としている。</p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は滞留面積の算出エリアの面積及びエリア内にある基礎等のコンクリート構造物は建築図面より算出し、評価に用いる滞留面積が現場の実態に即した精緻なものとなるよう、常設機器等の欠損面積を現場実測により算出している。</p> <p>(大飯3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)</p>
原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m 非管理区域 3EB-N12A 自動スプリンクラー																															
	① 溢水量 [m ³]	② 滞留面積 [m ²]	床勾配 [m]	③ 溢水水位 [m]	防護対象設備	④ 機能喪失高さ [m]	⑤ 影響評価	⑥ 判定																							
変更前	21.6	165.7	0.00	0.131	3A、3B 制御用空気圧縮機制御盤 (3IAC-A、B)	0.44	③<④	○																							
変更後		71.8																													

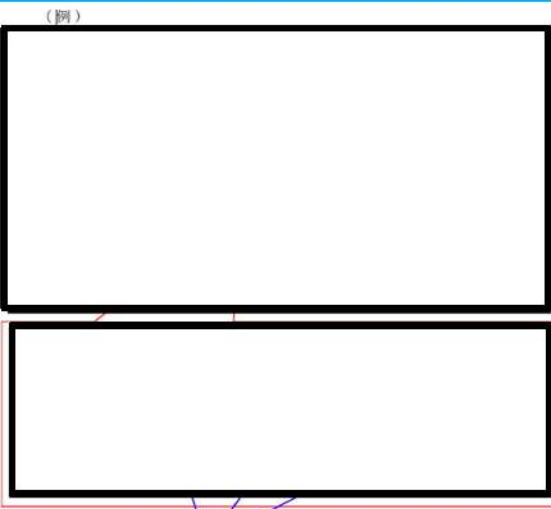
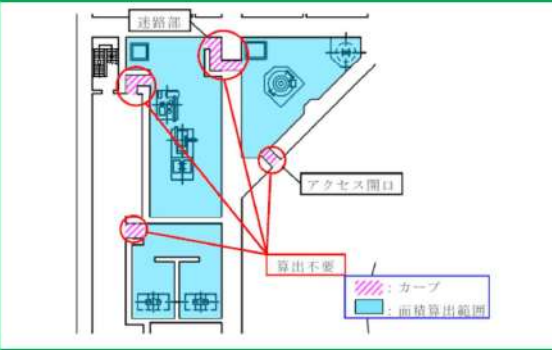
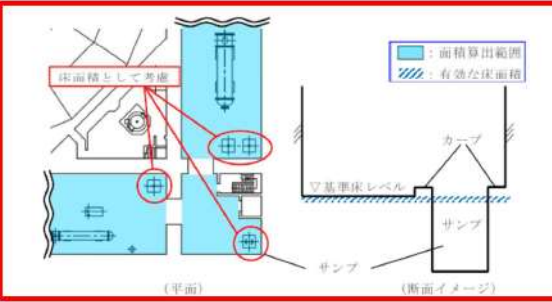
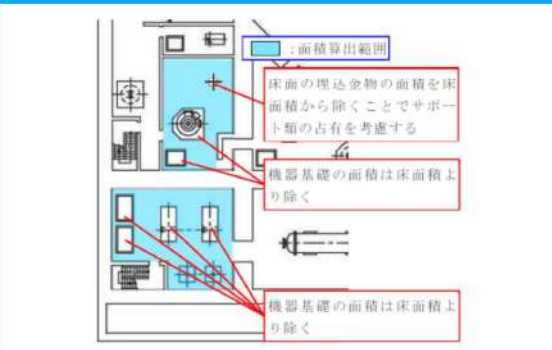
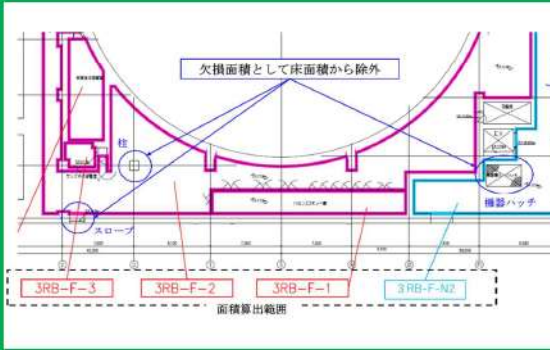
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(1) インプット</p> <p>a. 原則として、床躯体図を用いて躯体寸法を読み取り、手計算にて床面積を算出する。</p> <p>b. 一部形状が複雑なエリアは計算が繁雑となることから、CADデータを使用し床面積を算出する。</p> <p>(2) 算出範囲</p> <p>a. 壁、柱等で囲まれた範囲を単位区画として面積を算出する。(図1参照)</p> <p>b. アクセス開口及び迷路部等は床面積から除く。(図1参照)</p> <p>c. サンプ等、基準床面より掘り込んでいる部分については、有効な床面積として算出する。(図2参照)</p>	<p>(2) インプット</p> <p>a. 全面積及び基礎等欠損面積は、建築図（コンクリート形状図）を用いて躯体寸法を読み取り、手計算にて床面積を算出する。</p> <p>b. 現場調査欠損面積は、現場調査により対象となる機器等の寸法を実測し、欠損面積を算出する。</p> <p>(3) 算出範囲</p> <p>a. 壁、柱等で囲まれた範囲を単位区画として面積を算出する。(図1参照)</p> <p>b. コンクリート基礎、柱、ピット、スロープ、床開口は床面積から除く。(図1参照)</p>	<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は全エリアに対して同様の算出方法としていることから「原則」という記載はしていない。</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は滞留面積の算出エリアの面積及びエリア内にある基礎等のコンクリート構造物は建築図面より算出し、評価に用いる滞留面積が現場の実態に即した精緻なものとなるよう、常設機器等の欠損面積を現場実測により算出している。</p> <p>(大飯3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)</p> <p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>・泊では迷路部も床面積として算出している。(大飯3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)</p> <p>・また、ピットは欠損面積として扱っており、有効な床面積として含んでいない。(大飯3/4号炉、美浜3号炉、高浜1/2/3/4号炉と同様)</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

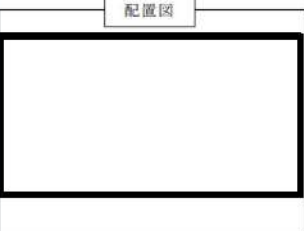

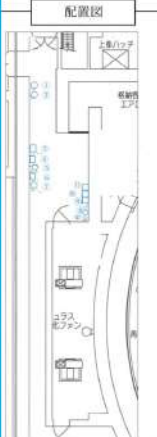

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																								
	<p>(3) 通常評価</p> <p>没水評価を実施する際は、原則として、算出した床面積の値に0.7倍した値を使用する。基準床面より盛り上がっている部分（機器基礎、床ハッチ、スロープ、ランプ周りのカーブ、サポート類等）は0.7の係数に含まれるものとする。ただし、床面積に対して機器基礎の占有率が30%以上となる区画は、占有率に応じた係数を使用する。機器基礎の占有率に応じた係数使用区画について表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 機器基礎の占有率に応じた係数使用区画</p> <table border="1" data-bbox="696 518 1279 909"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>区画番号</th> <th>建屋</th> <th>フロア</th> <th>床面積 [㎡]</th> <th>機器基礎面積 [㎡]</th> <th>機器基礎の占有率 [%]</th> <th>使用する係数</th> <th>エリア名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-B1F-12</td><td>R/B</td><td>B1F</td><td>102.6</td><td>33.5</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>区分B非常用MCC室</td></tr> <tr><td>2</td><td>R-1F-15</td><td>R/B</td><td>1F</td><td>200.9</td><td>65.2</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>B/G (BPCS) 室</td></tr> <tr><td>3</td><td>R-2F-2-2</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>50.4</td><td>15.7</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>FCS 再結合装置 (A) 室</td></tr> <tr><td>4</td><td>R-2F-2-3</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>50.4</td><td>15.7</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>FCS 再結合装置 (B) 室</td></tr> <tr><td>5</td><td>R-2F-2-5</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>14.5</td><td>5.3</td><td>37.0</td><td>0.6</td><td>CAMS ラック (A) 室</td></tr> <tr><td>6</td><td>R-2F-2-6</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>14.5</td><td>5.3</td><td>37.0</td><td>0.6</td><td>CAMS ラック (B) 室</td></tr> <tr><td>7</td><td>R-2F-13-1</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>33.1</td><td>11.6</td><td>36.0</td><td>0.6</td><td>B/G (A) 非常用送風機室</td></tr> <tr><td>8</td><td>R-2F-17</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>27.4</td><td>10.2</td><td>38.0</td><td>0.6</td><td>燃料デイトンク (A) 室</td></tr> <tr><td>9</td><td>R-2F-18</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>32.1</td><td>10.2</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>燃料デイトンク (B) 室</td></tr> <tr><td>10</td><td>R-2F-19</td><td>R/B</td><td>2F</td><td>27.7</td><td>9.1</td><td>33.0</td><td>0.65</td><td>燃料デイトンク (BPCS) 室</td></tr> <tr><td>11</td><td>C-B2F-3</td><td>C/B</td><td>B2F</td><td>113.7</td><td>57.9</td><td>51.0</td><td>0.45</td><td>DC250W バッテリー室</td></tr> <tr><td>12</td><td>C-B1F-2</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>44.4</td><td>13.7</td><td>31.0</td><td>0.65</td><td>DC125W バッテリー室 (A)</td></tr> <tr><td>13</td><td>C-B1F-4</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>70.3</td><td>28.0</td><td>40.0</td><td>0.55</td><td>DC125W バッテリー室 (B)</td></tr> <tr><td>14</td><td>C-B1F-5</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>211.8</td><td>62.1</td><td>30.0</td><td>0.65</td><td>計測制御電機室 (B)</td></tr> <tr><td>15</td><td>C-B1F-6-1</td><td>C/B</td><td>B1F</td><td>32.5</td><td>10.1</td><td>32.0</td><td>0.65</td><td>ISS 盤室</td></tr> </tbody> </table> <p>(4) 詳細評価</p> <p>最終的な溢水の滞留先となる最地下階の共通エリアや、復水器室等の機器の占有率が大きいエリアについては、詳細に算出した面積を使用する。(図3参照)</p> <p>対象とする区画は表2のとおり。</p> <p style="text-align: center;">表2 詳細に面積を算出した区画</p> <table border="1" data-bbox="696 1204 1279 1388"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>区画番号</th> <th>床面積 [㎡]</th> <th>機器基礎面積 [㎡]</th> <th>理込全物面積 [㎡]</th> <th>合計面積 [㎡]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>R-B3F-1</td><td>156.7</td><td>0.4</td><td>1.0</td><td>156.3</td></tr> <tr><td>2</td><td>R-B3F-12</td><td>70.8</td><td>0</td><td>0</td><td>70.8</td></tr> <tr><td>3</td><td>復水器室*</td><td>1621.5</td><td>286.0</td><td>73.0</td><td>1262.5</td></tr> </tbody> </table> <p>※ 復水器室は T-B2F-1 の面積に含め、没水評価で使用している。</p>	No.	区画番号	建屋	フロア	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	機器基礎の占有率 [%]	使用する係数	エリア名称	1	R-B1F-12	R/B	B1F	102.6	33.5	33.0	0.65	区分B非常用MCC室	2	R-1F-15	R/B	1F	200.9	65.2	33.0	0.65	B/G (BPCS) 室	3	R-2F-2-2	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 再結合装置 (A) 室	4	R-2F-2-3	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 再結合装置 (B) 室	5	R-2F-2-5	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS ラック (A) 室	6	R-2F-2-6	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS ラック (B) 室	7	R-2F-13-1	R/B	2F	33.1	11.6	36.0	0.6	B/G (A) 非常用送風機室	8	R-2F-17	R/B	2F	27.4	10.2	38.0	0.6	燃料デイトンク (A) 室	9	R-2F-18	R/B	2F	32.1	10.2	32.0	0.65	燃料デイトンク (B) 室	10	R-2F-19	R/B	2F	27.7	9.1	33.0	0.65	燃料デイトンク (BPCS) 室	11	C-B2F-3	C/B	B2F	113.7	57.9	51.0	0.45	DC250W バッテリー室	12	C-B1F-2	C/B	B1F	44.4	13.7	31.0	0.65	DC125W バッテリー室 (A)	13	C-B1F-4	C/B	B1F	70.3	28.0	40.0	0.55	DC125W バッテリー室 (B)	14	C-B1F-5	C/B	B1F	211.8	62.1	30.0	0.65	計測制御電機室 (B)	15	C-B1F-6-1	C/B	B1F	32.5	10.1	32.0	0.65	ISS 盤室	No.	区画番号	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	理込全物面積 [㎡]	合計面積 [㎡]	1	R-B3F-1	156.7	0.4	1.0	156.3	2	R-B3F-12	70.8	0	0	70.8	3	復水器室*	1621.5	286.0	73.0	1262.5	<p>(4) 現場調査欠損面積の算出</p> <p>現場調査欠損面積は、現場実測により算出した欠損面積に対し、すべてのエリアにおいて一律に25%の割り増しを行う。現場調査による欠損面積の対象外とした0.01㎡未満の機器は割り増しに含まれるものとする。</p> <p>現場調査欠損面積の現場実測の例を図2に示す。</p>	<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <p>・女川は床面積に対する機器等の占有率に応じて通常評価又は詳細評価を実施しているのに対し、泊は全エリアに対して同様の算出方法としている。</p> <p>・また、女川は滞留面積の算出時に係数を乗じることで保守性を確保しているのに対し、泊は全区画の欠損面積を一律に25%割り増しすることで保守性を確保している。</p> <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>同上</p>
No.	区画番号	建屋	フロア	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	機器基礎の占有率 [%]	使用する係数	エリア名称																																																																																																																																																																			
1	R-B1F-12	R/B	B1F	102.6	33.5	33.0	0.65	区分B非常用MCC室																																																																																																																																																																			
2	R-1F-15	R/B	1F	200.9	65.2	33.0	0.65	B/G (BPCS) 室																																																																																																																																																																			
3	R-2F-2-2	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 再結合装置 (A) 室																																																																																																																																																																			
4	R-2F-2-3	R/B	2F	50.4	15.7	32.0	0.65	FCS 再結合装置 (B) 室																																																																																																																																																																			
5	R-2F-2-5	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS ラック (A) 室																																																																																																																																																																			
6	R-2F-2-6	R/B	2F	14.5	5.3	37.0	0.6	CAMS ラック (B) 室																																																																																																																																																																			
7	R-2F-13-1	R/B	2F	33.1	11.6	36.0	0.6	B/G (A) 非常用送風機室																																																																																																																																																																			
8	R-2F-17	R/B	2F	27.4	10.2	38.0	0.6	燃料デイトンク (A) 室																																																																																																																																																																			
9	R-2F-18	R/B	2F	32.1	10.2	32.0	0.65	燃料デイトンク (B) 室																																																																																																																																																																			
10	R-2F-19	R/B	2F	27.7	9.1	33.0	0.65	燃料デイトンク (BPCS) 室																																																																																																																																																																			
11	C-B2F-3	C/B	B2F	113.7	57.9	51.0	0.45	DC250W バッテリー室																																																																																																																																																																			
12	C-B1F-2	C/B	B1F	44.4	13.7	31.0	0.65	DC125W バッテリー室 (A)																																																																																																																																																																			
13	C-B1F-4	C/B	B1F	70.3	28.0	40.0	0.55	DC125W バッテリー室 (B)																																																																																																																																																																			
14	C-B1F-5	C/B	B1F	211.8	62.1	30.0	0.65	計測制御電機室 (B)																																																																																																																																																																			
15	C-B1F-6-1	C/B	B1F	32.5	10.1	32.0	0.65	ISS 盤室																																																																																																																																																																			
No.	区画番号	床面積 [㎡]	機器基礎面積 [㎡]	理込全物面積 [㎡]	合計面積 [㎡]																																																																																																																																																																						
1	R-B3F-1	156.7	0.4	1.0	156.3																																																																																																																																																																						
2	R-B3F-12	70.8	0	0	70.8																																																																																																																																																																						
3	復水器室*	1621.5	286.0	73.0	1262.5																																																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>9 スロープ部の滞留面積の考え方について</p> <p>大阪発電所の現場にあるスロープ部の考え方については、図1のとおり、スロープ部全面及びフロアレベルよりも高い床面は、滞留面積から除いて評価している。</p>  <p>（例）</p> <p>3号炉 E.L.+26.0m 北側通路部には、勾配が76cmのスロープがあるため、スロープ部全面及びフロアレベルよりも高い床面は、滞留面積から除いている。</p> <p>図1 スロープ部の滞留面積の考え方</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項のため、公開できません。</p>	<p>（5）数値処理</p> <p>面積の算出は「㎡」単位で行い、小数第2位を切り捨てる。（床面積算出後に切り捨てを実施し、更に0.7倍後に切り捨てる。）</p>  <p>図1 面積算出範囲</p>  <p>図2 掘り込み部の扱い （例：最地下階サンプ）</p>  <p>図3 詳細に床面積を算出する場合の算出範囲（例）</p>	<p>（5）数値処理</p> <p>面積の算出は「㎡」単位で行い、小数第2位を切り捨てる。</p>  <p>図1 面積算出範囲</p>	<p>【女川】 設計方針の相違 泊では最終的な滞留面積算出時に切り捨て処理を行っている。</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 建屋構成の違いによる</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊ではピットは欠損面積として扱っており、有効な床面積として含んでいない。</p> <p>【女川】 記載方針の相違 泊ではすべてのエリアに対して同様の算出方法により滞留面積を算出していることから、女川のように「通常評価」と「詳細評価」の区別は無いが、機器基礎を床面積から除外していることは同様である。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料8）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																												
<p>(17 滞留面積の精緻化に伴う没水影響評価について)</p> <p>(例) 火災防護設備(盤)</p> <p>大飯3号炉 床面積精緻化に伴う対象物の調査結果</p> <table border="1" data-bbox="152 359 672 582"> <caption>管理表</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">番号</th> <th rowspan="2">対象物 種類</th> <th colspan="2">測定寸法(mm)</th> <th rowspan="2">欠損面積 (m²)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>縦</th> <th>横</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>033</td> <td>① 土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>033</td> <td>② 土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>033</td> <td>③ 土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>033</td> <td>④ 土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>034</td> <td>① 土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1個</td> </tr> <tr> <td>034</td> <td>② 土台</td> <td>650mm</td> <td>410mm</td> <td>0.267m²</td> <td>盤1個</td> </tr> </tbody> </table> <p>配置図</p>  <p>写真</p>  <p>No. 33①～④</p> <p>No. 34①～②</p>	番号	対象物 種類	測定寸法(mm)		欠損面積 (m ²)	備考	縦	横	033	① 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個	033	② 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個	033	③ 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個	033	④ 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個	034	① 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個	034	② 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個		<p>(例) 原子炉建屋 33.1m 3RB-C-1_通路, エアロック室①</p> <table border="1" data-bbox="1288 263 1848 550"> <caption>管理表</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th rowspan="2">設備名称</th> <th colspan="2">高さ(m)</th> <th colspan="2">内径(m)</th> <th colspan="2">水中設置寸法(m)</th> <th colspan="2">水中設置高さ(m)</th> </tr> <tr> <th>前</th> <th>後</th> <th>直径</th> <th>管径</th> <th>設置高さ</th> <th>管径</th> <th>Y</th> <th>上端</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>常設監視盤</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>常設監視盤</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>作業員監視盤(2000×11)</td> <td>600</td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>2000×11監視盤(2000×11)</td> <td>600</td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>常設監視盤</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>2000×11監視盤(2000×11)</td> <td>600</td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>常設監視盤</td> <td></td> <td></td> <td>110</td> <td>0.11</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>常設監視盤</td> <td></td> <td></td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>2000×11監視盤</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>2000×11監視盤</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>2000×11監視盤</td> <td>300</td> <td>300</td> <td>0.103</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>配置図</p>  <p>写真</p> 	No.	設備名称	高さ(m)		内径(m)		水中設置寸法(m)		水中設置高さ(m)		前	後	直径	管径	設置高さ	管径	Y	上端	1	常設監視盤			300	0.103			0	110	2	常設監視盤			300	0.103			0	110	3	作業員監視盤(2000×11)	600	300	0.103				0	100	4	2000×11監視盤(2000×11)	600	300	0.103				0	100	5	常設監視盤			300	0.103			0	110	6	2000×11監視盤(2000×11)	600	300	0.103				0	100	7	常設監視盤			110	0.11			0	100	8	常設監視盤			300	0.103			0	110	9	2000×11監視盤	200	200	0.103				0	100	10	2000×11監視盤	200	200	0.103				0	100	11	2000×11監視盤	300	300	0.103				0	100	<p>【女川】 記載方針の相違 泊では常設機器等の欠損面積を現場実測により算出していることから、現場実測の例を図2に示している。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p>
番号			対象物 種類	測定寸法(mm)			欠損面積 (m ²)	備考																																																																																																																																																																							
	縦	横																																																																																																																																																																													
033	① 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個																																																																																																																																																																										
033	② 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個																																																																																																																																																																										
033	③ 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個																																																																																																																																																																										
033	④ 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個																																																																																																																																																																										
034	① 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個																																																																																																																																																																										
034	② 土台	650mm	410mm	0.267m ²	盤1個																																																																																																																																																																										
No.	設備名称	高さ(m)		内径(m)		水中設置寸法(m)		水中設置高さ(m)																																																																																																																																																																							
		前	後	直径	管径	設置高さ	管径	Y	上端																																																																																																																																																																						
1	常設監視盤			300	0.103			0	110																																																																																																																																																																						
2	常設監視盤			300	0.103			0	110																																																																																																																																																																						
3	作業員監視盤(2000×11)	600	300	0.103				0	100																																																																																																																																																																						
4	2000×11監視盤(2000×11)	600	300	0.103				0	100																																																																																																																																																																						
5	常設監視盤			300	0.103			0	110																																																																																																																																																																						
6	2000×11監視盤(2000×11)	600	300	0.103				0	100																																																																																																																																																																						
7	常設監視盤			110	0.11			0	100																																																																																																																																																																						
8	常設監視盤			300	0.103			0	110																																																																																																																																																																						
9	2000×11監視盤	200	200	0.103				0	100																																																																																																																																																																						
10	2000×11監視盤	200	200	0.103				0	100																																																																																																																																																																						
11	2000×11監視盤	300	300	0.103				0	100																																																																																																																																																																						
<p>図1 滞留面積精緻化に伴う資料について</p> <p>枠囲みの範囲は機密に係る事項のため、公開できません。</p>		<p>図2 床面積欠損対象物の測定結果例</p>																																																																																																																																																																													

泊発電所3号炉 DB基準適合性 比較表

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料9）

大飯発電所3/4号炉						女川原子力発電所2号炉						泊発電所3号炉						相違理由			
添付資料1.3-3						添付資料9						添付資料9						【大飯】 記載表現の相違 ・女川審査実績の反映により表の名称が異なる。 ・また、表中の記載表現も一部異なるが、「号炉」以外の記載情報量に差異はない。 【女川】 記載表現の相違 設備名称の相違			
溢水影響評価で止水を期待できる設備 表1 止水を期待できる設備						表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(1/5)						表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備 (1/3)									
号炉	設置場所	設置高さ	対象		新設 既設	箇所 数	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所 数	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分		箇所 数		
3号炉	原子炉 周辺建屋 (管理区域)	E.L. + 3.5m	逆流 防止 弁	機器ドレン	既設	2	原子炉建屋 原子炉棟	B3F	R/Cタービンポンプ室 (R-B3F-2)	水密扉	既設 (改造)	1	原子炉建屋	T.P. 2.3m	3V-W-500 (3-T/D AFPP) 排気管温水ビ ット行きドレン管逆止弁 (-)	逆止弁	新設	1			
				逆止弁	新設	10			FPM/W ポンプ室 (R-B3F-8)	水密扉	新設	1				3V-W-501 (3-T/D AFPP) リーク管温水 ビット行きドレン管逆止弁 (-)	逆止弁	新設	1		
				ペント逆止弁	新設	1				逆流防止 ファン	新設	5					3V-W-502 (3-R/B 非管理区域ドレン管 定流ビット行きドレン管逆止弁 (-)	逆止弁	新設	1	
			目皿逆止弁	新設	11	RHR ポンプ(C)室 (R-B3F-7)			水密扉		既設 (改造)	1				3V-W-503 (3-主蒸気室室ドレン管定流 ビット行きドレン管逆止弁 (-)		逆止弁	新設	1	
			サンプタンク*	既設	1				RHR ポンプ(B)室 (R-B3F-6)	水密扉	既設	1					T.P. 4.35m	水密扉 No. 69 (3RB-K-N4)	水密扉	新設	1
			E.L. + 10.0m	逆流 防止 弁	機器ドレン	既設				3	HPCS ポンプ室 (R-B3F-5)	水密扉				既設			1	T.P. 10.5m	水密扉 No. 93 (3RB-H-N1)
		逆止弁			新設	9			LPCS ポンプ室 (R-B3F-4)	水密扉		既設			1	止水板 No. A (3RB-H-N5)	止水板	新設	1		
		目皿逆止弁			新設	14				RHR ポンプ(A)室 (R-B3F-3)		水密扉			既設		1	止水板 DG-A (3RB-H-N1)	止水板		
		水密扉		新設	1	E.L. + 17.1m			堰		新設	1			T.P. 17.8m	水密扉 No. 154 (3RB-H-N1)	水密扉		新設	1	
		E.L. + 26.0m	堰	新設	2					T.P. 24.8m							水密扉 No. 156 (3RB-D-N3)	水密扉	新設	1	
																		E.L. + 3.5m	逆流 防止 弁	機器ドレン	既設
		目皿逆止弁	新設	11	T.P. 29.9m					水密扉 No. 146 (3RB-D-N3)							水密扉			新設	1
サンプタンク*		既設	1	E.L. + 10.0m			水密扉	新設					1	T.P. 33.1m			水密扉 No. 158 (3RB-C-N51)	水密扉		新設	1
E.L. + 17.1m	堰	新設	1		R/C MCC 室 (R-B1F-4)					堰								新設	1	33.1m (区画境界②) 堰 (-)	堰
						E.L. + 22.0m			堰		新設	1			TIP 駆動装置室 (R-B1F-3-3)	堰					
E.L. + 26.0m	堰	新設	2		MS トンネル室 (R-B1F-3-2)					堰								新設	1	33.1m (区画境界④) 堰 (-)	堰
						E.L. + 3.5m			サンプタンク*		既設	1			(R-01)北西階段室	堰					
E.L. + 10.0m	水密扉	新設	1		(R-02)北東階段室					堰								新設	1	共通エリア・ハッチ (HR-307) (R-B1F-1)	堰
				E.L. + 17.1m		堰	新設	1	共通エリア・ハッチ (HR-311) (R-B1F-1)		堰	新設	1	RHR 熱交換器室(A)室 (R-1F-1)	水密扉	新設	1				
E.L. + 26.0m	堰	新設	2		FPC ポンプ室 (R-1F-3)					堰								新設	1	(R-01)北西階段室	堰
				※サンプタンクについては、水頭圧にて強度評価を実施した。																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																															
	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(2/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="20">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td rowspan="8">1F</td> <td>(R-02)北東階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>バルブ室(A) (R-1F-9)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>バルブ室(B) (R-1F-8)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R/B 大物搬入用小屋</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B 連絡通路(東側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>T/B 連絡通路(西側)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>R/B 大物搬入用扉</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">2F</td> <td>SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(R-01)北西階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>CAMS ラック(A)室 (R-2F-2-5)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>CAMS ラック(B)室 (R-2F-2-6)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SGTS ヒータユニット(B)室 (R-2F-1-3)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(R-02)北東階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>SGTS フィルタユニット室 (R-2F-1-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>FCS 再結合装置(A)室 (R-2F-2-2)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>FCS 再結合装置(B)室 (R-2F-2-3)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3F</td> <td>(R-02)北東階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>(R-01)北西階段室</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉建屋 付属棟</td> <td rowspan="3">B3F</td> <td>RCW 熱交換器(A)(C)室 (R-B3F-11)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>RCW 熱交換器(B)(D)室 (R-B3F-14)</td> <td>水密扉</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>HPCW 熱交換器室 (R-B3F-13)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数	原子炉建屋 原子炉棟	1F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1	バルブ室(A) (R-1F-9)	堰	新設	1	バルブ室(B) (R-1F-8)	堰	新設	1	R/B 大物搬入用小屋	水密扉	新設	1	T/B 連絡通路(東側)	水密扉	新設	1	T/B 連絡通路(西側)	水密扉	新設	1	R/B 大物搬入用扉	水密扉	新設	1	2F	SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)	水密扉	新設	1	(R-01)北西階段室	堰	新設	1	CAMS ラック(A)室 (R-2F-2-5)	堰	新設	1	CAMS ラック(B)室 (R-2F-2-6)	堰	新設	1	SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)	堰	新設	1	SGTS ヒータユニット(B)室 (R-2F-1-3)	堰	新設	1	(R-02)北東階段室	堰	新設	1	SGTS フィルタユニット室 (R-2F-1-1)	堰	新設	1	FCS 再結合装置(A)室 (R-2F-2-2)	堰	新設	1	FCS 再結合装置(B)室 (R-2F-2-3)	堰	新設	1	3F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1	(R-01)北西階段室	堰	新設	1	原子炉建屋 付属棟	B3F	RCW 熱交換器(A)(C)室 (R-B3F-11)	水密扉	既設 (改造)	1	RCW 熱交換器(B)(D)室 (R-B3F-14)	水密扉	既設	1	HPCW 熱交換器室 (R-B3F-13)	水密扉	既設 (改造)	1	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(2/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象(区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">原子炉補助 建屋</td> <td rowspan="3">T.P. 3.7m</td> <td>湧水ビット開口部ハッチ(3AB-L-N1)</td> <td>ハッチ</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>3V-FD-106(3-湧水ビットポンプ室フロアドレン目皿(SA-001)差止弁) (3AB-L-N1)</td> <td>差止弁</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No. 68 (-)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">T.P. 2.8m</td> <td>止水板 2.8-A (-)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No. 73 (3AB-K-4)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">T.P. 6.3m</td> <td>止水板 6.3-A (-)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板 6.3-B (-)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">T.P. 10.3m</td> <td>水密扉 No. 77 (3AB-H-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No. 78 (3AB-H-3A)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No. 87 (-)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉 No. 85 (3AB-H-N2)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>管理区域出入り口扉 (-)</td> <td>扉</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>10.3m (A-D)階段前機器ハッチ廻り 堰 (3AB-K-4)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板 No. 80 (3AB-H-M6)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板 No. 81 (3AB-H-M6)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>止水板 No. 82 (3AB-H-N1)</td> <td>止水板</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象(区画番号)	種類	区分	箇所数	原子炉補助 建屋	T.P. 3.7m	湧水ビット開口部ハッチ(3AB-L-N1)	ハッチ	新設	1	3V-FD-106(3-湧水ビットポンプ室フロアドレン目皿(SA-001)差止弁) (3AB-L-N1)	差止弁	新設	1	水密扉 No. 68 (-)	水密扉	新設	1	T.P. 2.8m	止水板 2.8-A (-)	止水板	新設	1	水密扉 No. 73 (3AB-K-4)	水密扉	新設	1	T.P. 6.3m	止水板 6.3-A (-)	止水板	新設	1	止水板 6.3-B (-)	止水板	新設	1	T.P. 10.3m	水密扉 No. 77 (3AB-H-1)	水密扉	新設	1	水密扉 No. 78 (3AB-H-3A)	水密扉	新設	1	水密扉 No. 87 (-)	水密扉	新設	1	水密扉 No. 85 (3AB-H-N2)	水密扉	新設	1	管理区域出入り口扉 (-)	扉	既設	1	10.3m (A-D)階段前機器ハッチ廻り 堰 (3AB-K-4)	堰	既設	1	止水板 No. 80 (3AB-H-M6)	止水板	新設	1	止水板 No. 81 (3AB-H-M6)	止水板	新設	1	止水板 No. 82 (3AB-H-N1)	止水板	新設	1	<p>【女川】</p> <p>設備名称の相違 記載表現の相違</p>
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																																																													
原子炉建屋 原子炉棟	1F	(R-02)北東階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																													
		バルブ室(A) (R-1F-9)	堰	新設	1																																																																																																																																																																													
		バルブ室(B) (R-1F-8)	堰	新設	1																																																																																																																																																																													
		R/B 大物搬入用小屋	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		T/B 連絡通路(東側)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		T/B 連絡通路(西側)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		R/B 大物搬入用扉	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		2F	SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																												
	(R-01)北西階段室		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	CAMS ラック(A)室 (R-2F-2-5)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	CAMS ラック(B)室 (R-2F-2-6)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	SGTS ヒータユニット(A)室 (R-2F-1-2)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	SGTS ヒータユニット(B)室 (R-2F-1-3)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	(R-02)北東階段室		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	SGTS フィルタユニット室 (R-2F-1-1)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	FCS 再結合装置(A)室 (R-2F-2-2)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	FCS 再結合装置(B)室 (R-2F-2-3)		堰	新設	1																																																																																																																																																																													
	3F		(R-02)北東階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																												
			(R-01)北西階段室	堰	新設	1																																																																																																																																																																												
	原子炉建屋 付属棟	B3F	RCW 熱交換器(A)(C)室 (R-B3F-11)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																																																																																																																												
RCW 熱交換器(B)(D)室 (R-B3F-14)			水密扉	既設	1																																																																																																																																																																													
HPCW 熱交換器室 (R-B3F-13)			水密扉	既設 (改造)	1																																																																																																																																																																													
設置エリア	フロア	対象(区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																																																													
原子炉補助 建屋	T.P. 3.7m	湧水ビット開口部ハッチ(3AB-L-N1)	ハッチ	新設	1																																																																																																																																																																													
		3V-FD-106(3-湧水ビットポンプ室フロアドレン目皿(SA-001)差止弁) (3AB-L-N1)	差止弁	新設	1																																																																																																																																																																													
		水密扉 No. 68 (-)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
	T.P. 2.8m	止水板 2.8-A (-)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																													
		水密扉 No. 73 (3AB-K-4)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
	T.P. 6.3m	止水板 6.3-A (-)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																													
		止水板 6.3-B (-)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																													
	T.P. 10.3m	水密扉 No. 77 (3AB-H-1)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		水密扉 No. 78 (3AB-H-3A)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		水密扉 No. 87 (-)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		水密扉 No. 85 (3AB-H-N2)	水密扉	新設	1																																																																																																																																																																													
		管理区域出入り口扉 (-)	扉	既設	1																																																																																																																																																																													
		10.3m (A-D)階段前機器ハッチ廻り 堰 (3AB-K-4)	堰	既設	1																																																																																																																																																																													
		止水板 No. 80 (3AB-H-M6)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																													
	止水板 No. 81 (3AB-H-M6)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																														
止水板 No. 82 (3AB-H-N1)	止水板	新設	1																																																																																																																																																																															

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料9）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																								
	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(3/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">原子炉建屋 付属棟</td> <td rowspan="3">B2F</td> <td>静止型PLRポンプ電源装置室 (R-B2F-8)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>IA, SA室及び通路 (R-B2F-9)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>区分II非常用電気品室 (R-B1F-10)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">B1F</td> <td>D/G補機(A)室 (R-B1F-7)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>区分IIIHPCS電気品室 (R-B1F-9)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>D/G(HPCS)室 (R-1F-15)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1F</td> <td>区分I非常用D/G制御盤室 (R-1F-13-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>区分III非常用D/G制御盤室 (R-1F-15-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>HWH熱交換器・ポンプ室 (R-1F-17)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">2F</td> <td>HECW冷凍機(B)(D)室 (R-2F-4)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>2F通路(O.P.23600) (R-2F-16-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機(A)室送風機室 (R-2F-6)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機(B)室 送風機室及び送風機エリア (R-2F-8)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">原子炉建屋 付属棟 (廃棄物処 理エリア)</td> <td rowspan="2">B3F</td> <td>2T-1トレンチ</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>主排気ダクト連絡トレンチ</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1F</td> <td>1F共通エリア(大物搬入用扉)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>1F共通エリア (Rw-1F-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>Rv制御室扉 Rv制御室送風機室 (Rw-1F-2-4)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数	原子炉建屋 付属棟	B2F	静止型PLRポンプ電源装置室 (R-B2F-8)	堰	新設	1	IA, SA室及び通路 (R-B2F-9)	堰	新設	1	区分II非常用電気品室 (R-B1F-10)	水密扉	新設	1	B1F	D/G補機(A)室 (R-B1F-7)	堰	新設	1	区分IIIHPCS電気品室 (R-B1F-9)	堰	新設	1	D/G(HPCS)室 (R-1F-15)	水密扉	新設	1	1F	区分I非常用D/G制御盤室 (R-1F-13-1)	堰	新設	1	区分III非常用D/G制御盤室 (R-1F-15-1)	堰	新設	1	HWH熱交換器・ポンプ室 (R-1F-17)	水密扉	新設	1	2F	HECW冷凍機(B)(D)室 (R-2F-4)	水密扉	新設	1	2F通路(O.P.23600) (R-2F-16-1)	水密扉	新設	1	原子炉補機(A)室送風機室 (R-2F-6)	堰	新設	1	原子炉補機(B)室 送風機室及び送風機エリア (R-2F-8)	堰	新設	2	原子炉建屋 付属棟 (廃棄物処 理エリア)	B3F	2T-1トレンチ	水密扉	新設	1	主排気ダクト連絡トレンチ	水密扉	新設	1	1F	1F共通エリア(大物搬入用扉)	水密扉	新設	1	1F共通エリア (Rw-1F-1)	水密扉	新設	1	Rv制御室扉 Rv制御室送風機室 (Rw-1F-2-4)	水密扉	新設	1	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(3/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象(区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">原子炉補助 建屋</td> <td rowspan="6">T.P.17.8m</td> <td>水密扉No.141(3AB-F-N7)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉No.142(-)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>水密扉No.143(3AB-F-N7)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>A-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N13)</td> <td>止水板^{※1}</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>A-安全系計装盤室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N12)</td> <td>止水板^{※1}</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N2)</td> <td>止水板^{※1}</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">T.P.21.2m</td> <td>水密扉No.144(3AB-F-N7)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>33.5m(区画境界)堰(-)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">T.P.33.1m</td> <td>33.5m(区画境界②)堰(-)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>33.5m(区画境界③)堰(-)</td> <td>堰</td> <td>既設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 現状の基本設計段階にて想定しているものであり、今後詳細設計等を精査するに伴い変更が生じる可能性がある。</p>	設置エリア	フロア	対象(区画番号)	種類	区分	箇所数	原子炉補助 建屋	T.P.17.8m	水密扉No.141(3AB-F-N7)	水密扉	新設	1	水密扉No.142(-)	水密扉	新設	1	水密扉No.143(3AB-F-N7)	水密扉	新設	1	A-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N13)	止水板 ^{※1}	新設	1	A-安全系計装盤室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N12)	止水板 ^{※1}	新設	1	B-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N2)	止水板 ^{※1}	新設	1	T.P.21.2m	水密扉No.144(3AB-F-N7)	水密扉	新設	1	33.5m(区画境界)堰(-)	堰	既設	1	T.P.33.1m	33.5m(区画境界②)堰(-)	堰	既設	1	33.5m(区画境界③)堰(-)	堰	既設	1	<p>【女川】</p> <p>設備名称の相違 記載表現の相違</p>
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																						
原子炉建屋 付属棟	B2F	静止型PLRポンプ電源装置室 (R-B2F-8)	堰	新設	1																																																																																																																																						
		IA, SA室及び通路 (R-B2F-9)	堰	新設	1																																																																																																																																						
		区分II非常用電気品室 (R-B1F-10)	水密扉	新設	1																																																																																																																																						
	B1F	D/G補機(A)室 (R-B1F-7)	堰	新設	1																																																																																																																																						
		区分IIIHPCS電気品室 (R-B1F-9)	堰	新設	1																																																																																																																																						
		D/G(HPCS)室 (R-1F-15)	水密扉	新設	1																																																																																																																																						
	1F	区分I非常用D/G制御盤室 (R-1F-13-1)	堰	新設	1																																																																																																																																						
		区分III非常用D/G制御盤室 (R-1F-15-1)	堰	新設	1																																																																																																																																						
		HWH熱交換器・ポンプ室 (R-1F-17)	水密扉	新設	1																																																																																																																																						
	2F	HECW冷凍機(B)(D)室 (R-2F-4)	水密扉	新設	1																																																																																																																																						
		2F通路(O.P.23600) (R-2F-16-1)	水密扉	新設	1																																																																																																																																						
		原子炉補機(A)室送風機室 (R-2F-6)	堰	新設	1																																																																																																																																						
		原子炉補機(B)室 送風機室及び送風機エリア (R-2F-8)	堰	新設	2																																																																																																																																						
	原子炉建屋 付属棟 (廃棄物処 理エリア)	B3F	2T-1トレンチ	水密扉	新設	1																																																																																																																																					
			主排気ダクト連絡トレンチ	水密扉	新設	1																																																																																																																																					
1F		1F共通エリア(大物搬入用扉)	水密扉	新設	1																																																																																																																																						
		1F共通エリア (Rw-1F-1)	水密扉	新設	1																																																																																																																																						
		Rv制御室扉 Rv制御室送風機室 (Rw-1F-2-4)	水密扉	新設	1																																																																																																																																						
設置エリア	フロア	対象(区画番号)	種類	区分	箇所数																																																																																																																																						
原子炉補助 建屋	T.P.17.8m	水密扉No.141(3AB-F-N7)	水密扉	新設	1																																																																																																																																						
		水密扉No.142(-)	水密扉	新設	1																																																																																																																																						
		水密扉No.143(3AB-F-N7)	水密扉	新設	1																																																																																																																																						
		A-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N13)	止水板 ^{※1}	新設	1																																																																																																																																						
		A-安全系計装盤室(東側)通路(仮称) (3AB-F-N12)	止水板 ^{※1}	新設	1																																																																																																																																						
		B-安全系計装盤室(西側)通路(仮称) (3AB-F-N2)	止水板 ^{※1}	新設	1																																																																																																																																						
	T.P.21.2m	水密扉No.144(3AB-F-N7)	水密扉	新設	1																																																																																																																																						
		33.5m(区画境界)堰(-)	堰	既設	1																																																																																																																																						
	T.P.33.1m	33.5m(区画境界②)堰(-)	堰	既設	1																																																																																																																																						
		33.5m(区画境界③)堰(-)	堰	既設	1																																																																																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉					泊発電所3号炉	相違理由
	表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(4/5)						<p>【女川】</p> <p>設備名称の相違</p> <p>記載表現の相違</p>
	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所 数	
	制御建屋	B2F	制御建屋空調機械(B)室南側 (C-B2F-2)	水密扉	既設	1	
制御建屋空調機械(B)室北側 (C-B2F-2)			水密扉	既設	1		
制御建屋空調機械(B)室 【250V 直流主母線盤室境界】 (C-B2F-2)			水密扉	既設 (改造)	1		
T/B 連絡通路扉			水密扉	新設	1		
1号 C/B 連絡通路			水密扉	新設	1		
1S1 室 (C-B2F-5)			水密扉	新設	1		
B1F		計測制御電源室(A) 【計測制御電源室(B)境界】 (C-B1F-3)	水密扉	新設	1		
		計測制御電源室(A) 【常用及び共通M/C、P/C 室境界】 (C-B1F-3)	水密扉	新設	1		
		常用及び共通M/C、P/C 室 【RSS 盤室境界】 (C-B1F-1)	水密扉	新設	1		
		計測制御電源室(B) (C-B1F-5)	水密扉	新設	1		
1F		T/B 連絡通路扉	水密扉	新設	1		
		1F 入退域エリア (管理区域) (C-1F-1)	水密扉	新設	1		
		1F 入退域エリア (管理区域へ ヘルメット置場) (C-1F-1)	水密扉	新設	1		
		1号 C/B 連絡通路	水密扉	新設	2		
2F		補助ボイラー建屋連絡通路	水密扉	新設	1		
		1号 C/B 連絡通路	水密扉	新設	1		
3F		区分-1 ケーブル処理室 (C-2F-1)	扉	新設	1		
		常用系ケーブル処理室 (C-2F-4)	扉	新設	2		
3F	1号 MCR 境界	水密扉	新設	1			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																									
	<p>表1 溢水影響評価において止水を期待できる設備(5/5)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>フロア</th> <th>対象 (区画番号)</th> <th>種類</th> <th>区分</th> <th>箇所 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">タービン 建屋</td> <td>B2F</td> <td>B2F エリア (T-B2F-1)</td> <td>止水壁</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>B1F</td> <td>B1F エリア (T-B1F-1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">1F</td> <td>大物搬入用扉</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>大物搬入用横扉</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>共通エリア【東側】(No.1)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>共通エリア【東側】(No.2)</td> <td>堰</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">海水ポンプ 室</td> <td>—</td> <td>RSW ポンプ(A) (C)室 (SW-1F-2)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>RSW ポンプ(B) (D)室 (SW-1F-5)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>HPSW ポンプ室 (SW-1F-4)</td> <td>水密扉</td> <td>既設 (改造)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">軽油タンク エリア</td> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ(A)エリア (LOT-1)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ(B)エリア (LOT-2)</td> <td>水密扉</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ室アクセス用 ハッチ</td> <td>ハッチ</td> <td>新設</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>燃料移送ポンプ室機器搬出入 用ハッチ</td> <td>ハッチ</td> <td>新設</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所 数	タービン 建屋	B2F	B2F エリア (T-B2F-1)	止水壁	既設 (改造)	1	B1F	B1F エリア (T-B1F-1)	堰	新設	1	1F	大物搬入用扉	堰	新設	1	大物搬入用横扉	堰	新設	1	共通エリア【東側】(No.1)	堰	新設	1			共通エリア【東側】(No.2)	堰	新設	1	海水ポンプ 室	—	RSW ポンプ(A) (C)室 (SW-1F-2)	水密扉	既設 (改造)	1	—	RSW ポンプ(B) (D)室 (SW-1F-5)	水密扉	既設 (改造)	1	—	HPSW ポンプ室 (SW-1F-4)	水密扉	既設 (改造)	1	軽油タンク エリア	—	燃料移送ポンプ(A)エリア (LOT-1)	水密扉	新設	1	—	燃料移送ポンプ(B)エリア (LOT-2)	水密扉	新設	1	—	燃料移送ポンプ室アクセス用 ハッチ	ハッチ	新設	2	—	燃料移送ポンプ室機器搬出入 用ハッチ	ハッチ	新設	1		<p>【女川】 設備名称の相違 記載表現の相違</p>
設置エリア	フロア	対象 (区画番号)	種類	区分	箇所 数																																																																							
タービン 建屋	B2F	B2F エリア (T-B2F-1)	止水壁	既設 (改造)	1																																																																							
	B1F	B1F エリア (T-B1F-1)	堰	新設	1																																																																							
	1F	大物搬入用扉	堰	新設	1																																																																							
		大物搬入用横扉	堰	新設	1																																																																							
		共通エリア【東側】(No.1)	堰	新設	1																																																																							
		共通エリア【東側】(No.2)	堰	新設	1																																																																							
海水ポンプ 室	—	RSW ポンプ(A) (C)室 (SW-1F-2)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																							
	—	RSW ポンプ(B) (D)室 (SW-1F-5)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																							
	—	HPSW ポンプ室 (SW-1F-4)	水密扉	既設 (改造)	1																																																																							
軽油タンク エリア	—	燃料移送ポンプ(A)エリア (LOT-1)	水密扉	新設	1																																																																							
	—	燃料移送ポンプ(B)エリア (LOT-2)	水密扉	新設	1																																																																							
	—	燃料移送ポンプ室アクセス用 ハッチ	ハッチ	新設	2																																																																							
	—	燃料移送ポンプ室機器搬出入 用ハッチ	ハッチ	新設	1																																																																							
<p>【参考】伊方発電所3号炉</p> <p>添付資料1-3 水密区画について</p> <p>1. 概要</p> <p>水密区画は、耐水性のある塗装を施した壁、堰で囲まれた区画となっており、区画内のタンクおよび付属配管からの漏水を全量区画内にとどめることが可能な設計となっている。</p> <p>また、水密区画を構成する壁については、耐震壁または学協会規格・基準の要件を満たす鉄筋コンクリート造の壁であり、地震時においても健全性は維持できる。</p> <p>2. 水密区画内設置として溢水源から除外した機器</p> <p>伊方3号機における溢水源となりうる機器より、水密区画内設置として溢水源から対象外とした機器の一覧を表-1に示す。</p>		<p>水密区画について</p> <p>1. 概要</p> <p>水密区画は、耐水性のある塗装を施した壁、堰で囲まれた区画となっており、区画内のタンク及び付属配管からの漏水を全量区画内にとどめることが可能な設計となっている。</p> <p>また、水密区画を構成する壁については、耐震壁又は「鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説（日本建築学会）」の規準上の耐震壁と同等な壁であり、地震時においても健全性は維持できる。</p> <p>2. 水密区画内設置として溢水源から除外した機器</p> <p>泊発電所3号炉における溢水源となりうる機器より、水密区画内設置として溢水源から対象外とした機器の一覧を表1に示す。</p>	<p>【女川】 別紙1 設計方針の相違 泊は閉鎖区画内に設置されたタンク類が多数あり、これらの区画境界の止水性を確保することで水密区画としている。水密区画内のタンク類から生じた溢水は区画内に留まるため、溢水源として想定しないことを明記している。本資料にて水密区画である水密コンパートメントの詳細を記載した。記載に際し、先行審査実績のある伊方3号炉を掲載する。 （泊欄の赤色は女川との相違を示しており、以下同様である。） 【伊方】 記載表現の相違</p>																																																																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料9）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																	
<p>【参考】伊方発電所3号炉</p> <p>表-1 伊方3号機における水密区画内設置機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水密区画内設置機器</th> <th>設置位置</th> <th>タンク容量</th> <th>室面積</th> <th>床水高さ</th> <th>耐水塗装高さ</th> <th>室入口高さ</th> <th>区画壁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>冷却材貯蔵タンクA</td> <td>A/F EL. 3.3m</td> <td>304t基</td> <td>150</td> <td>3.66^①</td> <td>3.7</td> <td>3.7</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>冷却材貯蔵タンクB</td> <td>A/F EL. 3.3m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用済樹脂貯蔵タンクA</td> <td>A/F EL. 3.3m</td> <td>77</td> <td>35</td> <td>2.2</td> <td>2.4</td> <td>5.45</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>使用済樹脂貯蔵タンクB</td> <td>A/F EL. 3.3m</td> <td>77</td> <td>35</td> <td>2.2</td> <td>2.4</td> <td>5.45</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>使用済樹脂タンク</td> <td>A/F EL. 3.3m</td> <td>5.3</td> <td>16</td> <td>0.4</td> <td>2.1</td> <td>3.3</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>凝液貯蔵タンクA</td> <td>A/F EL. 3.3m</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>1.0</td> <td>2.1</td> <td>1.6</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>凝液貯蔵タンクB</td> <td>A/F EL. 3.3m</td> <td>60</td> <td>65</td> <td>1.0</td> <td>2.1</td> <td>1.6</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>一次系純水タンク</td> <td>B/F EL. 10.0m</td> <td>510</td> <td>170</td> <td>3.0</td> <td>4.0</td> <td>7.1</td> <td>耐震壁 (①)</td> </tr> <tr> <td>濃縮液流入タンクA</td> <td>A/F EL. 10.0m</td> <td>38</td> <td>32</td> <td>1.2</td> <td>2.1</td> <td>3.6</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>濃縮液流入タンクB</td> <td>A/F EL. 10.0m</td> <td>38</td> <td>32</td> <td>1.2</td> <td>2.1</td> <td>3.6</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>予備濃縮液タンク</td> <td>A/F EL. 10.0m</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>0.9</td> <td>2.1</td> <td>1.4</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> <tr> <td>洗浄排水濃縮液流入タンク</td> <td>A/F EL. 10.0m</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>1.1</td> <td>2.1</td> <td>1.4</td> <td>耐震壁 (①、②)</td> </tr> </tbody> </table> <p>①：冷却材貯蔵タンクは全量で100%（304m³）以上の受入容量を確保するよう、マニュアルで規定されているが、溢水高さの算出においては90%容量（受入容量×インターロック閉止水位）×2基の水量（548m³）を適用した。（冷却材貯蔵タンクA、B型は共通で共通）</p> <p>②：区画壁は、「①耐震設計と考慮している耐震壁」、耐震設計上考慮していないが「②学協会規格・基準の要件を満たす耐震壁」に分類する。なお、「学協会規格・基準の要件を満たす耐震壁」は、原子力施設コンクリート構造計算規準・同解説（日本建築学会、2005年）「19条 耐震壁の断面算定」第3項の記載（壁板の厚さ、壁板のせん断補強筋比、壁板の縦筋配筋、壁板の径と間隔等）を満たす壁とする。</p>	水密区画内設置機器	設置位置	タンク容量	室面積	床水高さ	耐水塗装高さ	室入口高さ	区画壁	冷却材貯蔵タンクA	A/F EL. 3.3m	304t基	150	3.66 ^①	3.7	3.7	耐震壁 (①)	冷却材貯蔵タンクB	A/F EL. 3.3m							使用済樹脂貯蔵タンクA	A/F EL. 3.3m	77	35	2.2	2.4	5.45	耐震壁 (①)	使用済樹脂貯蔵タンクB	A/F EL. 3.3m	77	35	2.2	2.4	5.45	耐震壁 (①)	使用済樹脂タンク	A/F EL. 3.3m	5.3	16	0.4	2.1	3.3	耐震壁 (①、②)	凝液貯蔵タンクA	A/F EL. 3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 (①)	凝液貯蔵タンクB	A/F EL. 3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 (①)	一次系純水タンク	B/F EL. 10.0m	510	170	3.0	4.0	7.1	耐震壁 (①)	濃縮液流入タンクA	A/F EL. 10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 (①、②)	濃縮液流入タンクB	A/F EL. 10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 (①、②)	予備濃縮液タンク	A/F EL. 10.0m	12	16	0.9	2.1	1.4	耐震壁 (①、②)	洗浄排水濃縮液流入タンク	A/F EL. 10.0m	12	11	1.1	2.1	1.4	耐震壁 (①、②)		<p>表 1 泊発電所3号炉における水密区画内設置機器一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>水密区画内設置機器</th> <th>設置場所</th> <th>タンク容量 (m³)</th> <th>室面積 (m²)</th> <th>床水高さ (cm)</th> <th>耐水塗装高さ床 (cm)</th> <th>室入口高さ床 (cm)</th> <th>区画壁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A-濃縮液貯蔵タンク</td> <td>原子炉 補助建屋</td> <td>25</td> <td rowspan="2">37.1</td> <td rowspan="2">134.8</td> <td rowspan="2">160</td> <td rowspan="2">280</td> <td rowspan="2">①、②</td> </tr> <tr> <td>B-濃縮液貯蔵タンク</td> <td>T.P. 17.8m</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>A-冷却材貯蔵タンク</td> <td>原子炉 補助建屋</td> <td>360</td> <td>64.46</td> <td>558.5</td> <td>561</td> <td>740</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>B-冷却材貯蔵タンク</td> <td>原子炉 補助建屋</td> <td>360</td> <td>64.46</td> <td>558.5</td> <td>561</td> <td>740</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>A-使用済樹脂貯蔵タンク</td> <td>原子炉</td> <td>70</td> <td rowspan="3">72.17</td> <td rowspan="3">291</td> <td rowspan="3">295</td> <td rowspan="3">810</td> <td rowspan="3">①</td> </tr> <tr> <td>B-使用済樹脂貯蔵タンク</td> <td>原子炉 補助建屋</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>C-使用済樹脂貯蔵タンク</td> <td>T.P. 2.8m</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>一次系純水タンク</td> <td>原子炉 建屋</td> <td>365</td> <td>92.48</td> <td>394.7</td> <td>395</td> <td>690</td> <td>①</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 1 区画壁は、「①耐震設計上考慮している耐震壁」、 「②鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説（日本建築学会）の規準上の耐震壁と同等な耐震壁」に分類する。</p>	水密区画内設置機器	設置場所	タンク容量 (m ³)	室面積 (m ²)	床水高さ (cm)	耐水塗装高さ床 (cm)	室入口高さ床 (cm)	区画壁	A-濃縮液貯蔵タンク	原子炉 補助建屋	25	37.1	134.8	160	280	①、②	B-濃縮液貯蔵タンク	T.P. 17.8m	25	A-冷却材貯蔵タンク	原子炉 補助建屋	360	64.46	558.5	561	740	①	B-冷却材貯蔵タンク	原子炉 補助建屋	360	64.46	558.5	561	740	①	A-使用済樹脂貯蔵タンク	原子炉	70	72.17	291	295	810	①	B-使用済樹脂貯蔵タンク	原子炉 補助建屋	70	C-使用済樹脂貯蔵タンク	T.P. 2.8m	70	一次系純水タンク	原子炉 建屋	365	92.48	394.7	395	690	①	<p>相違理由</p> <p>【伊方】 <u>設計方針の相違</u> 伊方ではタンク容量をインターロックによって設定される水位（全容量の90%）で評価しているが、泊は設計上のタンク全容量で設定し評価している。</p> <p>【伊方】 <u>設備名称の相違</u> <u>記載表現の相違</u></p> <p>【伊方】 <u>記載表現の相違</u> 【伊方】 <u>記載方針の相違</u> 泊は漏えい検知器若しくは水位計の低警報によって漏えいが検知できる（システム検知）。</p>
水密区画内設置機器	設置位置	タンク容量	室面積	床水高さ	耐水塗装高さ	室入口高さ	区画壁																																																																																																																																																													
冷却材貯蔵タンクA	A/F EL. 3.3m	304t基	150	3.66 ^①	3.7	3.7	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
冷却材貯蔵タンクB	A/F EL. 3.3m																																																																																																																																																																			
使用済樹脂貯蔵タンクA	A/F EL. 3.3m	77	35	2.2	2.4	5.45	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
使用済樹脂貯蔵タンクB	A/F EL. 3.3m	77	35	2.2	2.4	5.45	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
使用済樹脂タンク	A/F EL. 3.3m	5.3	16	0.4	2.1	3.3	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
凝液貯蔵タンクA	A/F EL. 3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
凝液貯蔵タンクB	A/F EL. 3.3m	60	65	1.0	2.1	1.6	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
一次系純水タンク	B/F EL. 10.0m	510	170	3.0	4.0	7.1	耐震壁 (①)																																																																																																																																																													
濃縮液流入タンクA	A/F EL. 10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
濃縮液流入タンクB	A/F EL. 10.0m	38	32	1.2	2.1	3.6	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
予備濃縮液タンク	A/F EL. 10.0m	12	16	0.9	2.1	1.4	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
洗浄排水濃縮液流入タンク	A/F EL. 10.0m	12	11	1.1	2.1	1.4	耐震壁 (①、②)																																																																																																																																																													
水密区画内設置機器	設置場所	タンク容量 (m ³)	室面積 (m ²)	床水高さ (cm)	耐水塗装高さ床 (cm)	室入口高さ床 (cm)	区画壁																																																																																																																																																													
A-濃縮液貯蔵タンク	原子炉 補助建屋	25	37.1	134.8	160	280	①、②																																																																																																																																																													
B-濃縮液貯蔵タンク	T.P. 17.8m	25																																																																																																																																																																		
A-冷却材貯蔵タンク	原子炉 補助建屋	360	64.46	558.5	561	740	①																																																																																																																																																													
B-冷却材貯蔵タンク	原子炉 補助建屋	360	64.46	558.5	561	740	①																																																																																																																																																													
A-使用済樹脂貯蔵タンク	原子炉	70	72.17	291	295	810	①																																																																																																																																																													
B-使用済樹脂貯蔵タンク	原子炉 補助建屋	70																																																																																																																																																																		
C-使用済樹脂貯蔵タンク	T.P. 2.8m	70																																																																																																																																																																		
一次系純水タンク	原子炉 建屋	365	92.48	394.7	395	690	①																																																																																																																																																													
<p>3. 水密区画の構造</p> <p>水密区画は下記に示す設計としており、溢水した保有水が区画外へ漏えいしない構造となっている。図-1に水密区画の概要図を示す。</p> <p>①区画壁は鉄筋コンクリート造の壁であり地震時に倒壊、損傷しない強度を有するとともに、耐水性のあるエポキシ樹脂系塗料にて塗装が施されている</p> <p>②区画入口は溢水高さ以上に設置されている。</p> <p>③溢水高さ以下の壁貫通部は、シール施工をしており、外部へ漏洩しない設計としている。また貫通配管は貫通部前後でサポート固定されており、貫通部シールに大きな荷重がかからないよう配慮されている。</p> <p>④床ドレンラインの隔離弁は通常施錠閉としており、漏洩検知設備を設置。</p>		<p>3. 水密区画の構造</p> <p>水密区画は下記に示す設計としており、溢水した保有水が区画外へ漏えいしない構造となっている。図 1 に水密区画の概要図を示す。</p> <p>①区画壁は鉄筋コンクリート造の壁であり地震時に倒壊、損傷しない強度を有するとともに、耐水性のあるエポキシ樹脂系塗料にて塗装が施している。</p> <p>②区画入口は溢水高さ以上に設置している。</p> <p>③溢水高さ以下の壁貫通部は、シール施工をしており、外部へ漏えいしない設計としている。また貫通配管は貫通部前後でサポート固定されており、貫通部シールに大きな荷重がかからないよう配慮している。</p> <p>④床ドレン配管の隔離弁は常時閉運用としており、水密区画内の漏水が検知できる設備を設置する。</p>	<p>【伊方】 <u>記載表現の相違</u> 【伊方】 <u>記載方針の相違</u></p>																																																																																																																																																																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

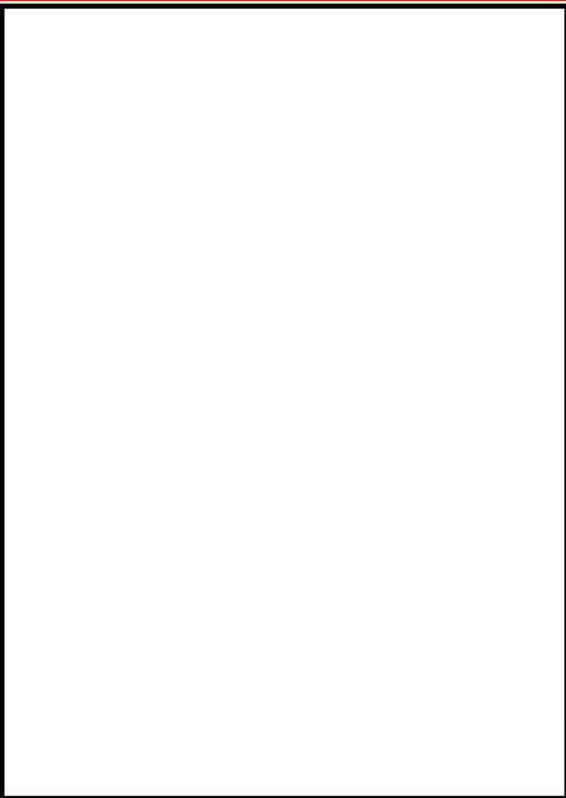
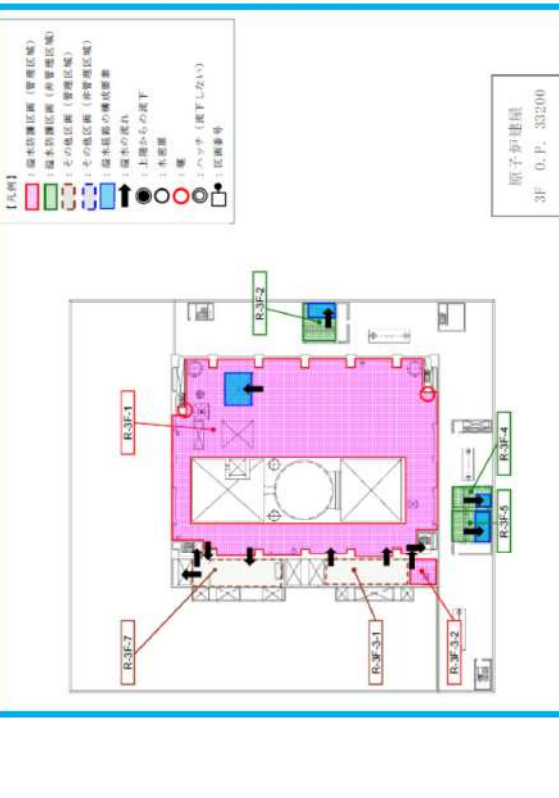
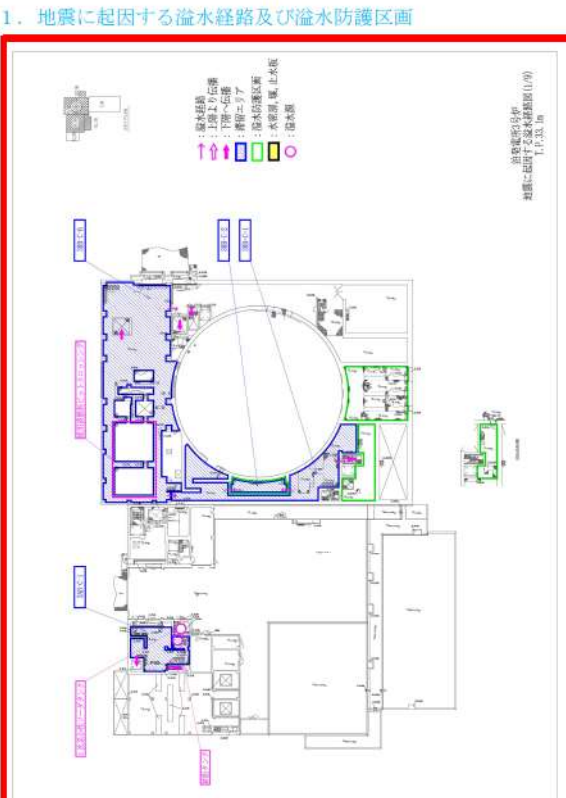
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【参考】伊方発電所3号炉</p>			<p>【伊方】 記載表現の相違 ・伊方は一例として1次系純水タンクを記載しているのに対し、泊は水密区画にあるタンクすべての概要図を記載し、設計が異なるものではないことを明示している。 ・水密区画の貫通部シール施工概要図及び貫通部シール施工例写真を図2及び図3として記載した（伊方は図-1の図中に記載）。</p>
<p>図-1 水密区画概要図（1次系純水タンクの例）</p>		<p>図1 水密区画内設置機器概要図</p>	
		<p>(a) 止水板等による漏えい防止図（前面部、後面部） (b) プーツによる漏えい防止図（後面部、前面部）</p>	
		<p>図2 貫通部シール施工概要図</p>	
		<p><現地施工状況例></p>	
		<p>図3 貫通部シール施工例</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

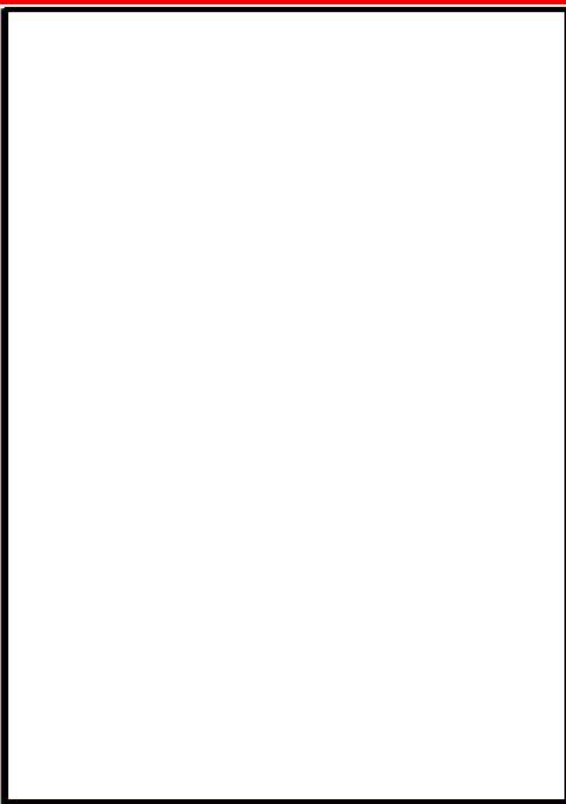
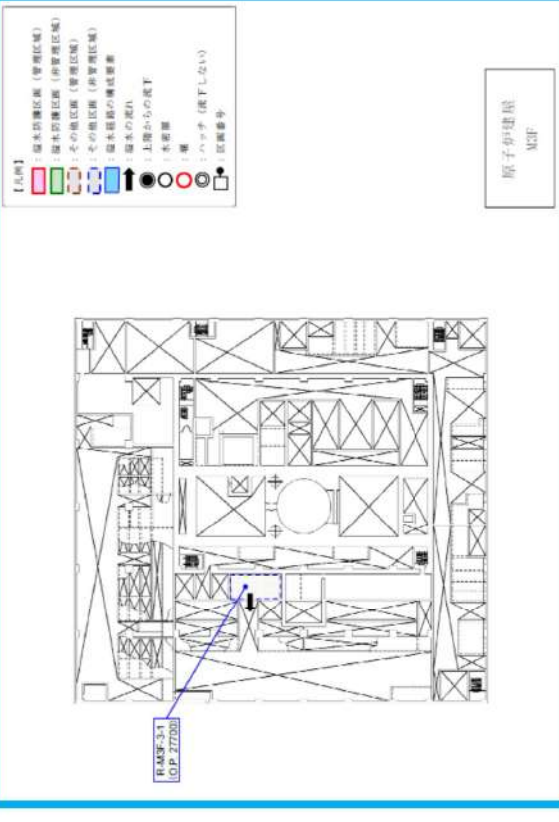
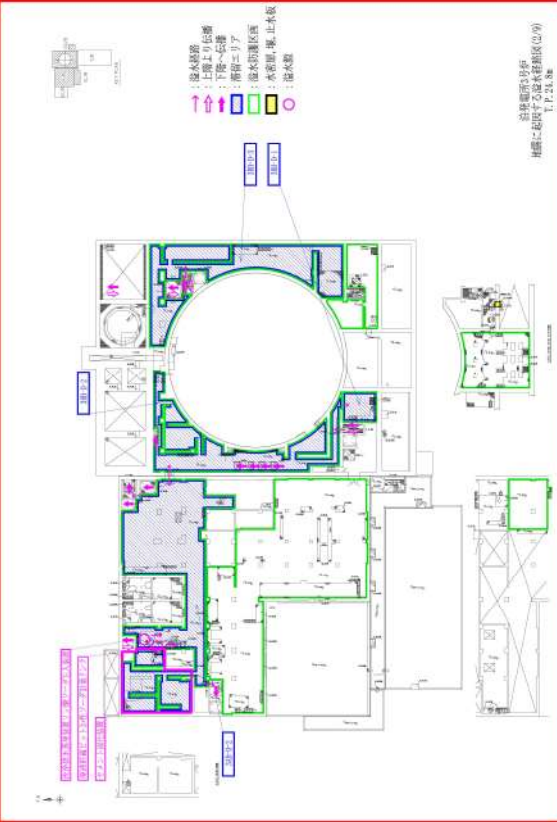
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【参考】伊方発電所3号炉</p> <p>4. 鉄筋コンクリート壁の水密性について 水密区画の隔壁はマッシブな鉄筋コンクリートであるが、基準地震動 S_s による最大せん断ひずみがせん断力-せん断ひずみ線図上の第一折れ点を上回る層もあり、ひび割れの発生による漏水を否定できないため、ひび割れによる漏水量について検討を実施した。別紙3に検討結果を示す。</p>		<p>4. 鉄筋コンクリート壁の水密性について 水密区画の隔壁は耐震壁又は「鉄筋コンクリート構造計算規 準・同解説（日本建築学会）」の規準上の耐震壁と同等な壁であ るが、基準地震動による最大せん断ひずみがせん断力-せん断ひ ずみ線図上の第一折れ点を上回る層もあり、ひび割れの発生によ る漏水を否定できないため、ひび割れによる漏水量について検討 した結果、最大残留ひび割れ幅は「維持管理指針」に示される評 価基準である「0.2mm」を超えないことを確認した。補足説明資 料29「内部溢水評価における耐震壁等の確認について」に検討 結果を示す。</p>	<p>【伊方】 記載表現の相違 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊方は対象の隔壁を総称してマッシブな鉄筋コンクリートと表現しているが、泊は耐震壁及び規準上の耐震壁と同等な壁として分類し、記載している。（補足説明資料29） ・検討結果より、最終貯留区画の耐震壁及び規準上の耐震壁と同等な壁において、ひび割れによる漏水が極めて少量であり、溢水影響評価へ影響しないことを確認した。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

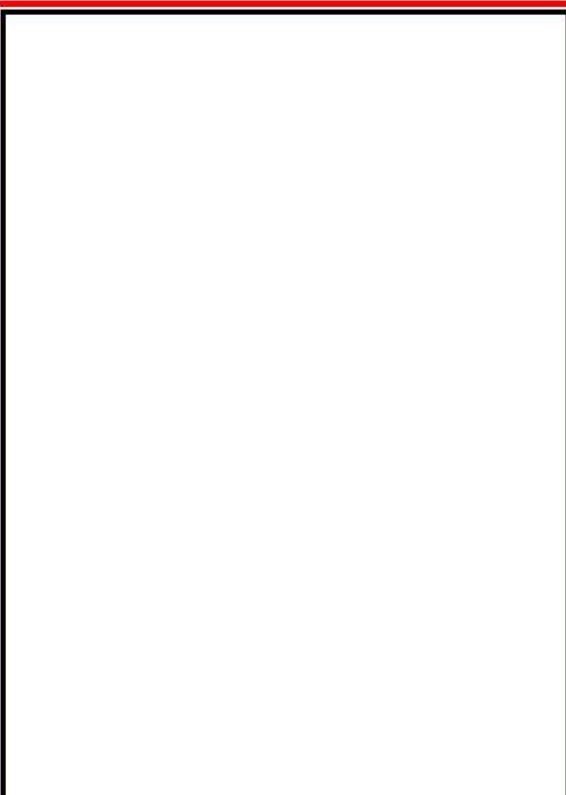
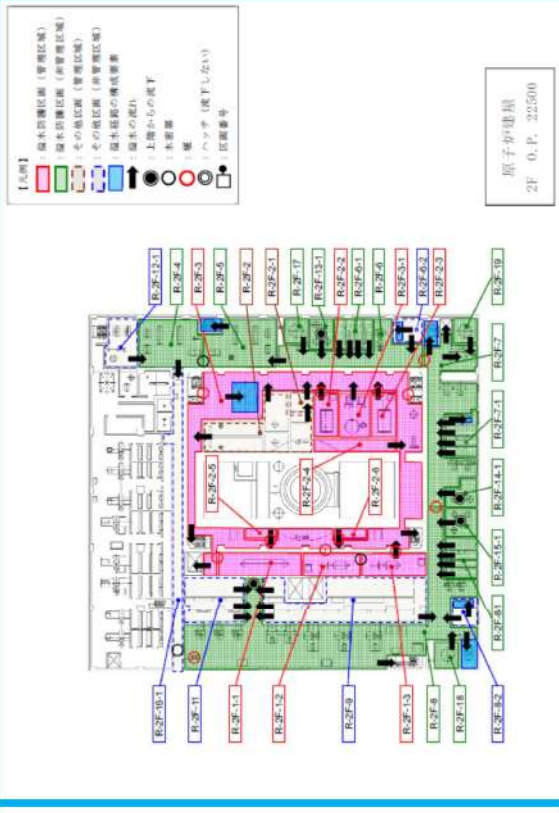
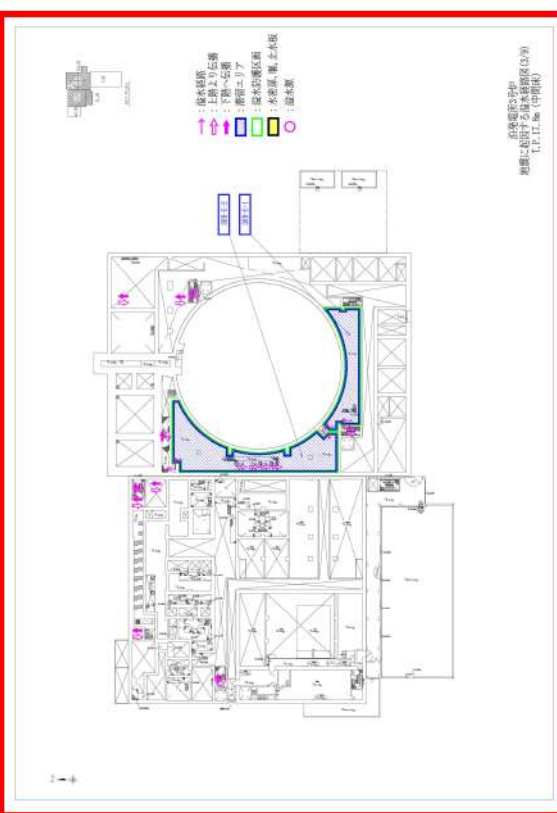
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料10）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
添付資料 1.4.3-3	添付資料 10	添付資料 10	
	<p>女川原子力発電所2号炉 添付資料 10 溢水伝播経路図（平面図）</p> 	<p>泊発電所3号炉 添付資料 10 溢水伝播経路図（平面図）</p> <p>1. 地震に起因する溢水経路及び溢水防護区画</p> 	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載方針の相違 女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			


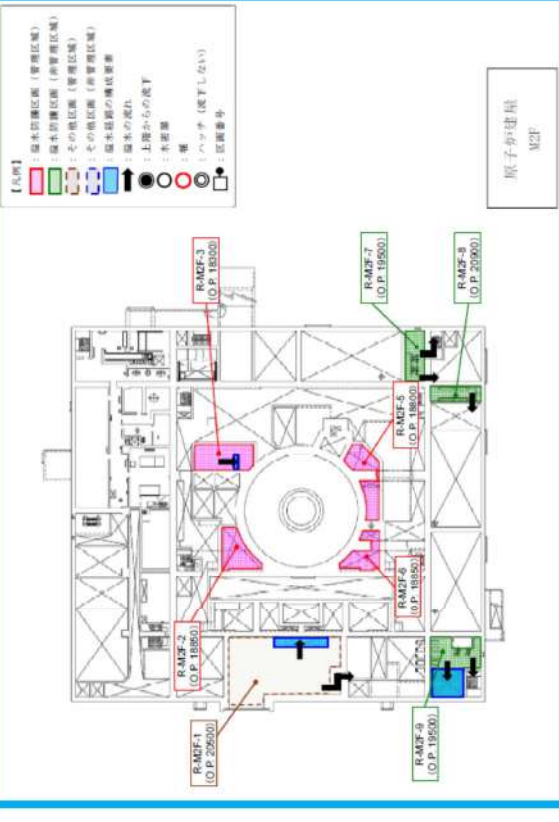
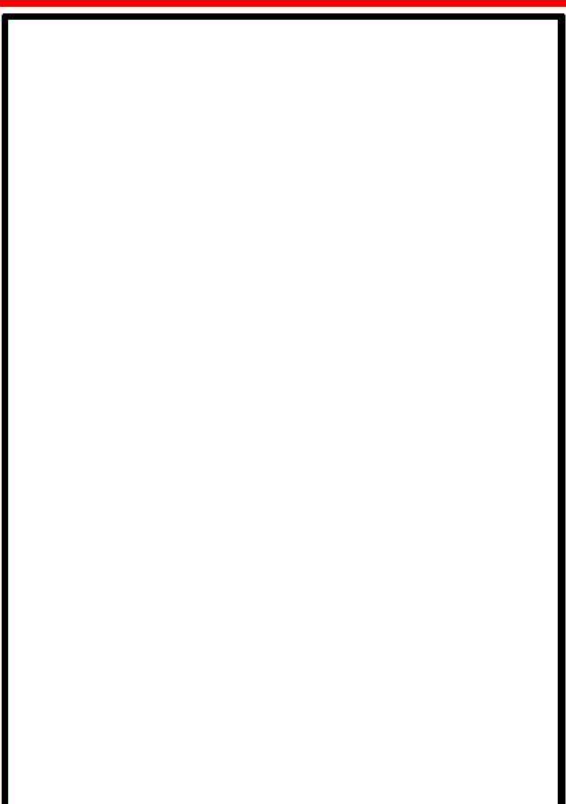
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>【注例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 溢水防護区画（管理区域） 溢水防護区画（非管理区域） その他区域（管理区域） その他区域（非管理区域） 溢水部分の構成要素 溢水の配水 上層からの配水 水溜り ハッチ（開閉しない） 設備番号 <p>原子炉建屋 WDF</p>	 <p>溢水防護区画（管理区域）</p> <p>溢水防護区画（非管理区域）</p> <p>その他区域（管理区域）</p> <p>その他区域（非管理区域）</p> <p>溢水部分の構成要素</p> <p>溢水の配水</p> <p>上層からの配水</p> <p>水溜り</p> <p>ハッチ（開閉しない）</p> <p>設備番号</p> <p>泊発電所3号炉 原子炉建屋 WDF</p>	<p>【女川】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p><u>プラント設計の相違</u></p>
<p>特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

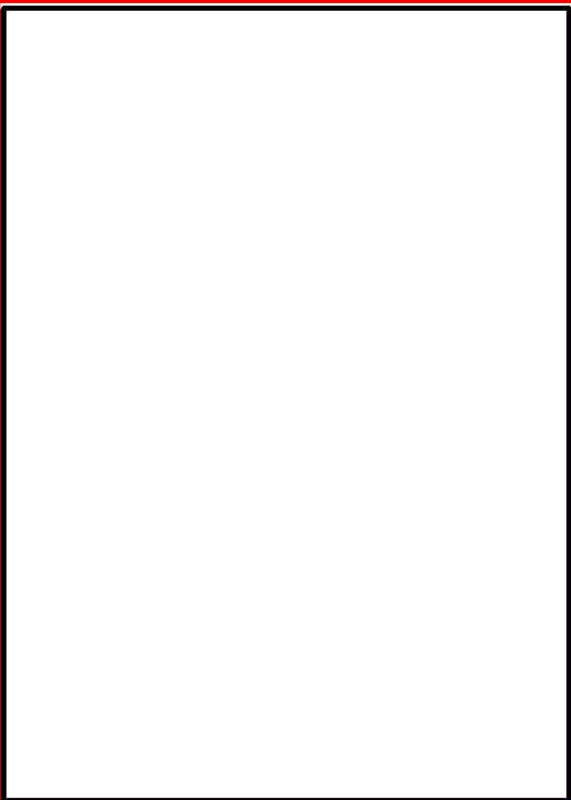
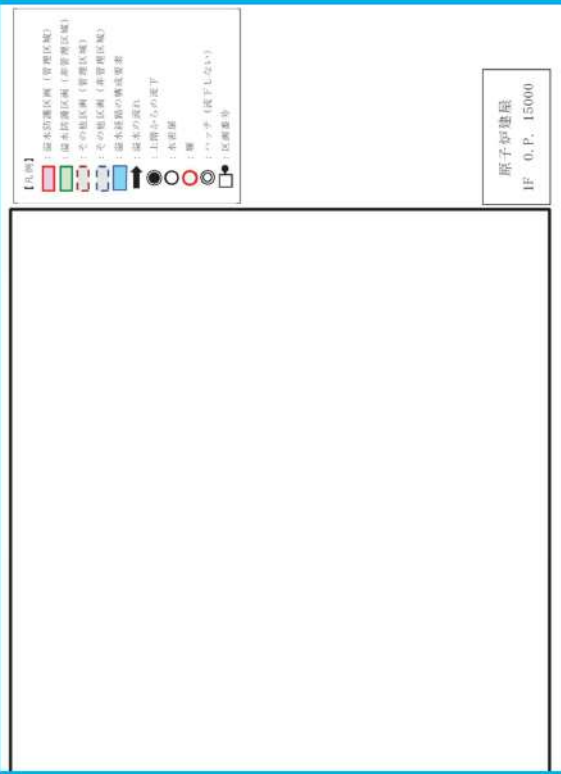
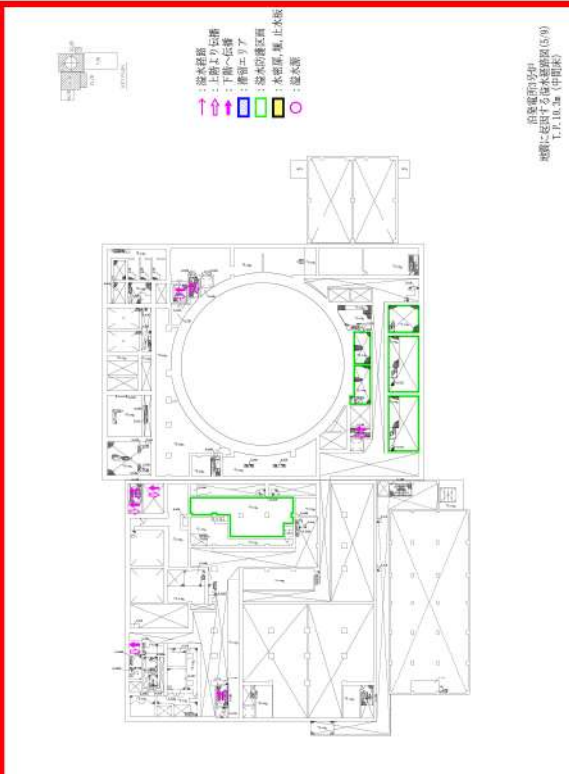
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>
<p>特組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

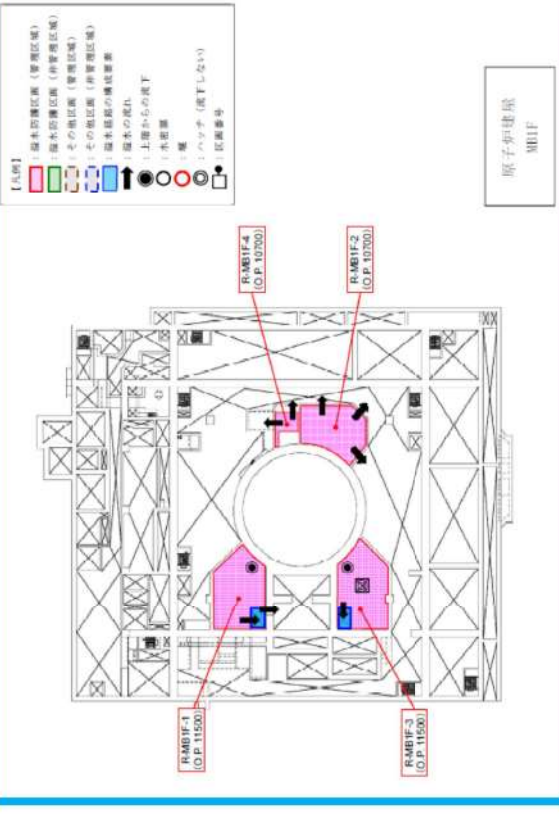
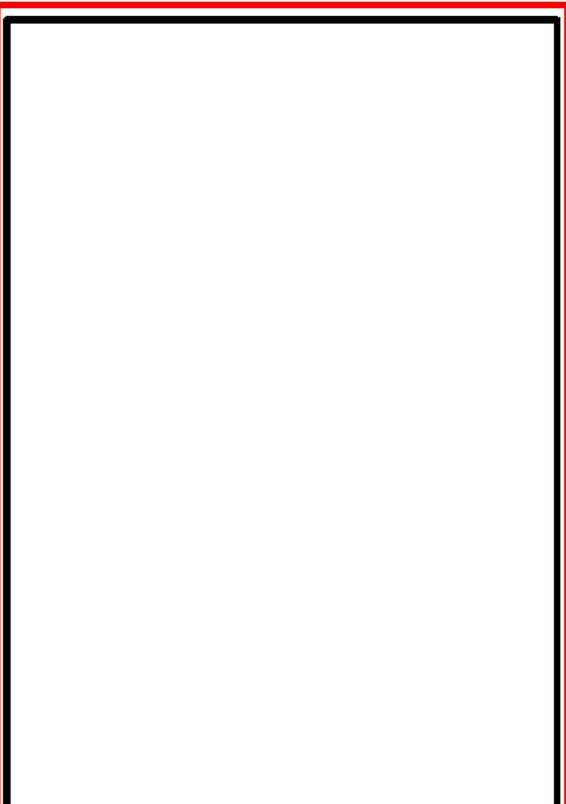
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>
<p>持組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>持組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



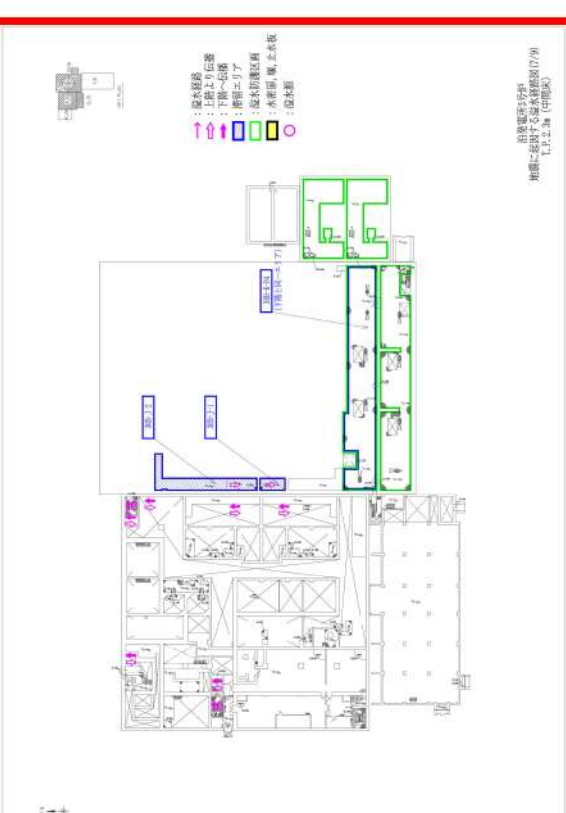
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大飯発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p style="text-align: center;">枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大飯と同様)</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

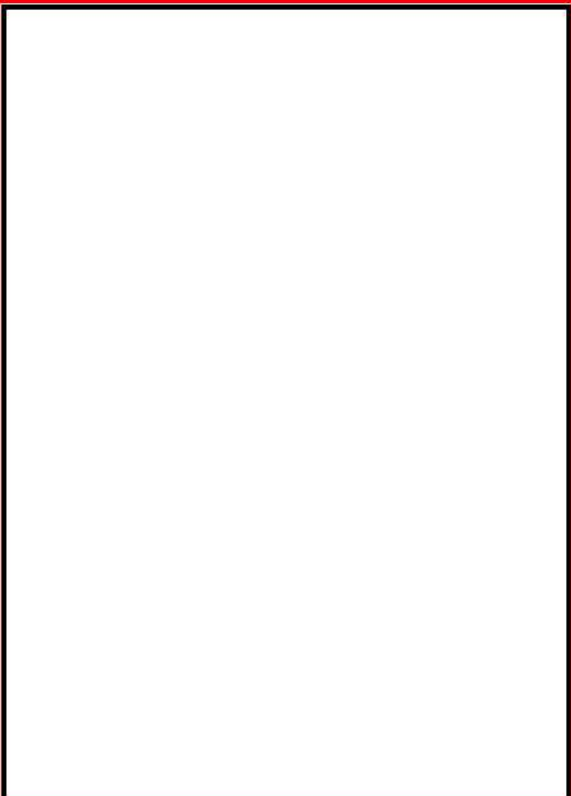
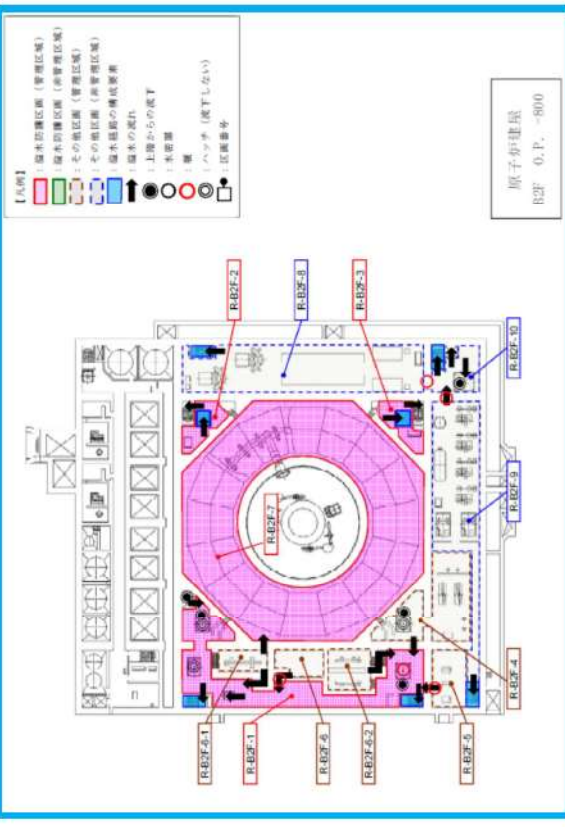

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 記載方針の相違 女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

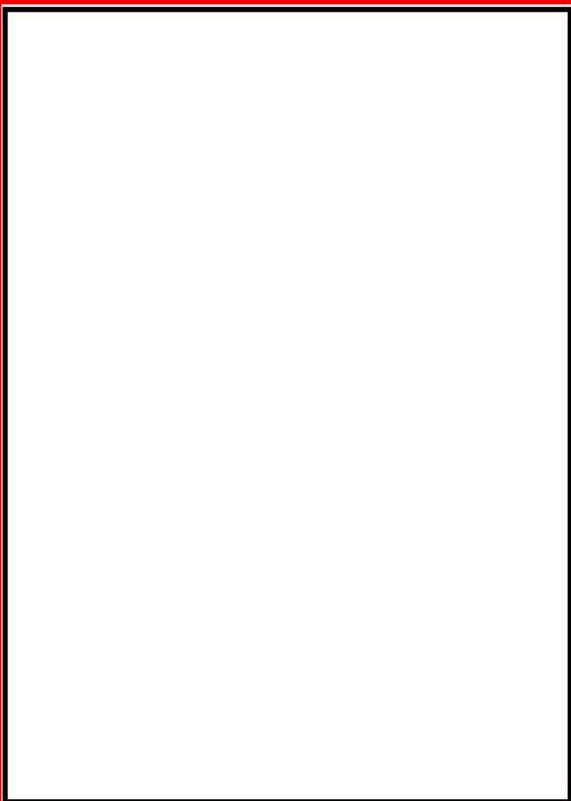

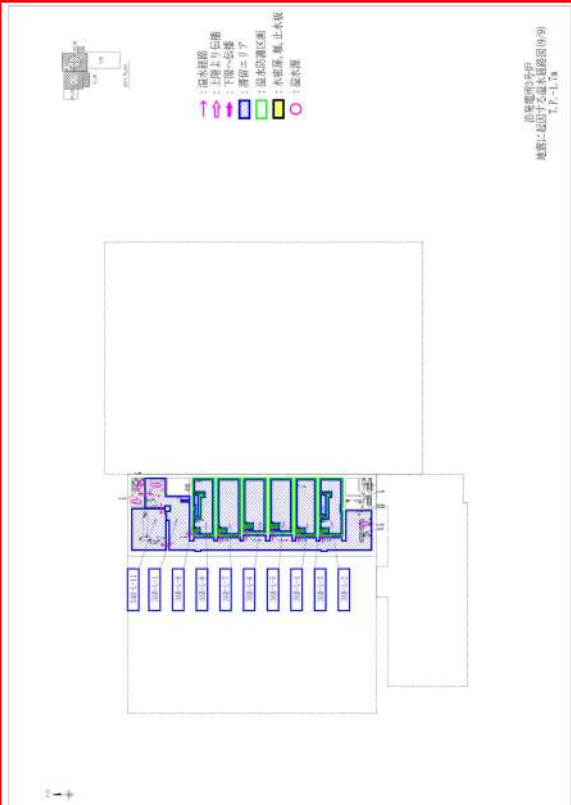
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>原子炉建屋 BIF O.P. 6000</p>		<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>
<p>種組みの範囲に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

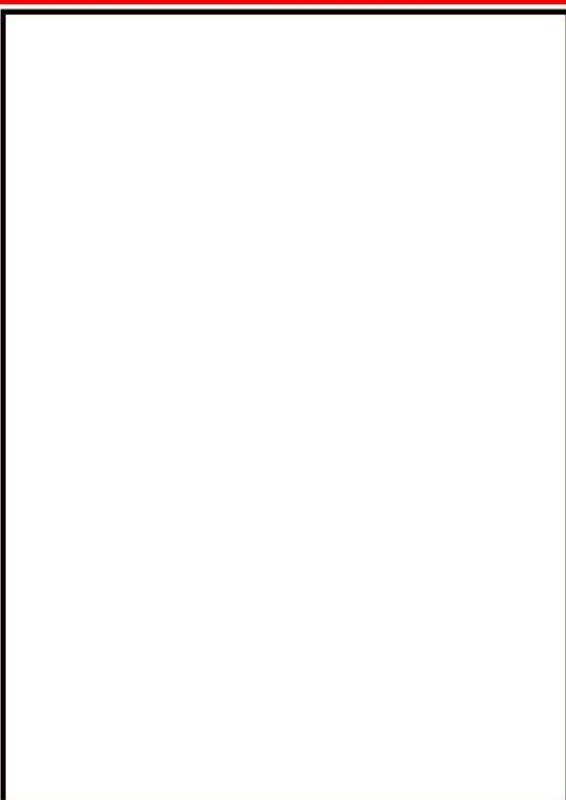



大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大飯と同様)</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

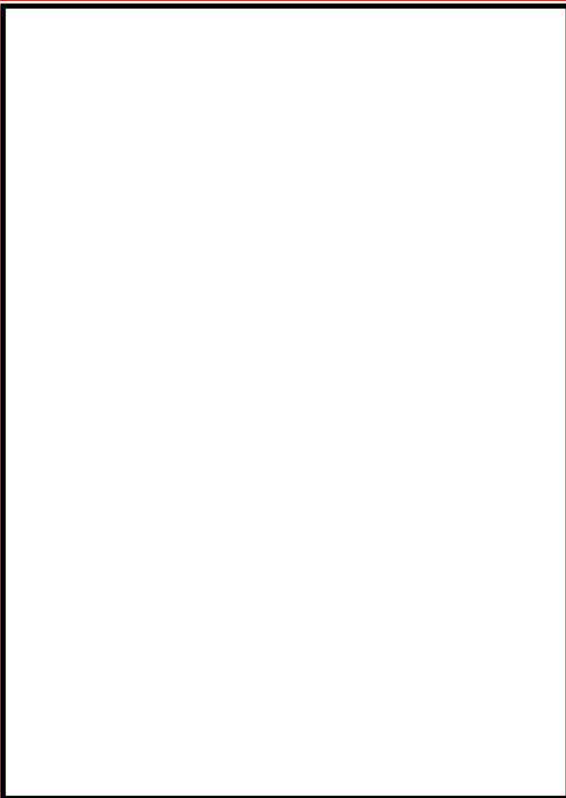
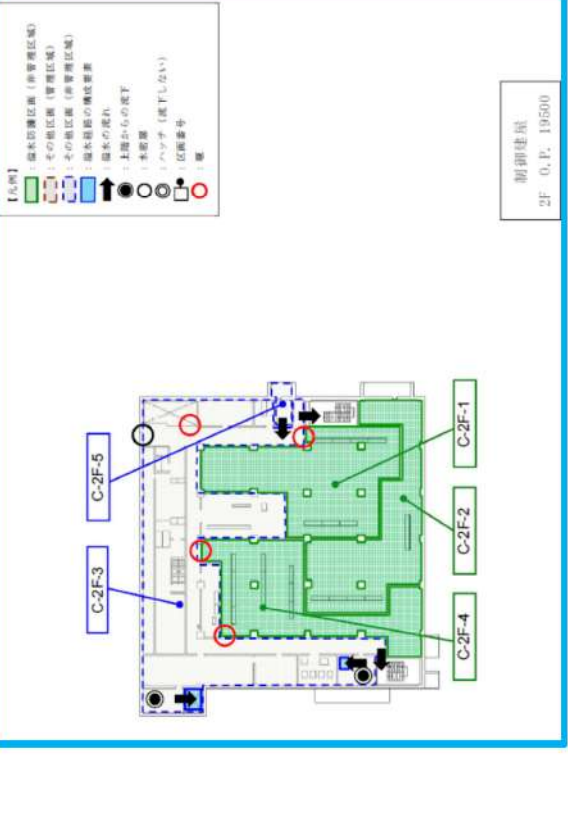
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画面図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

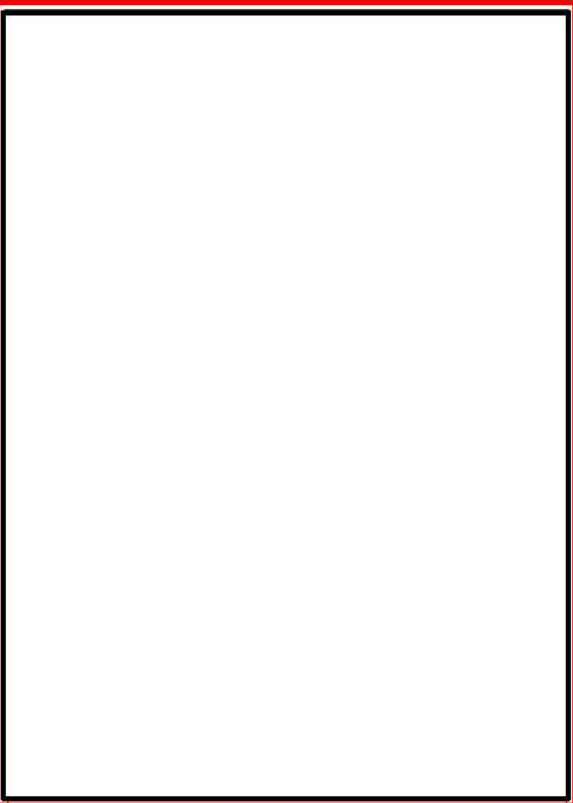
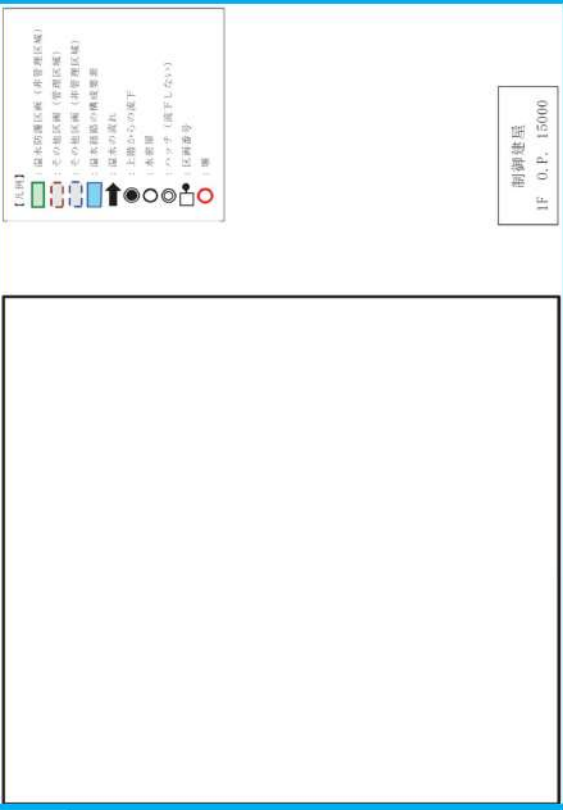
大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>
 <p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

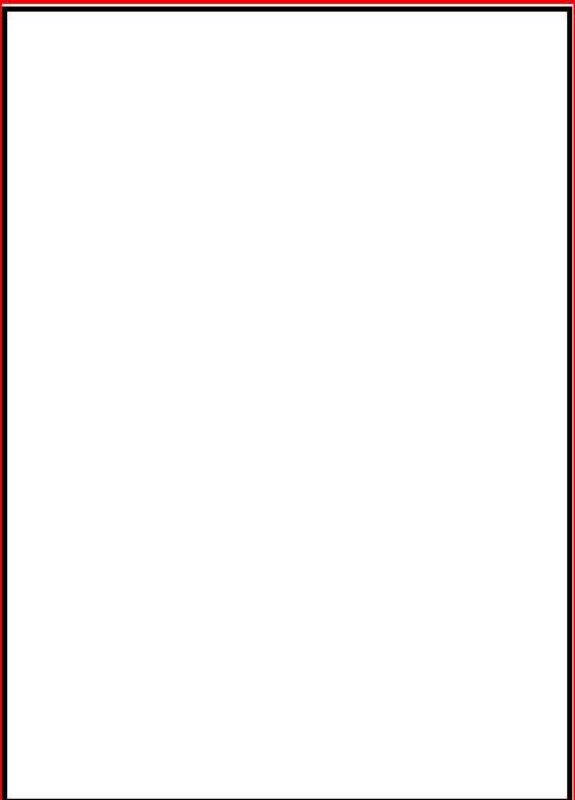
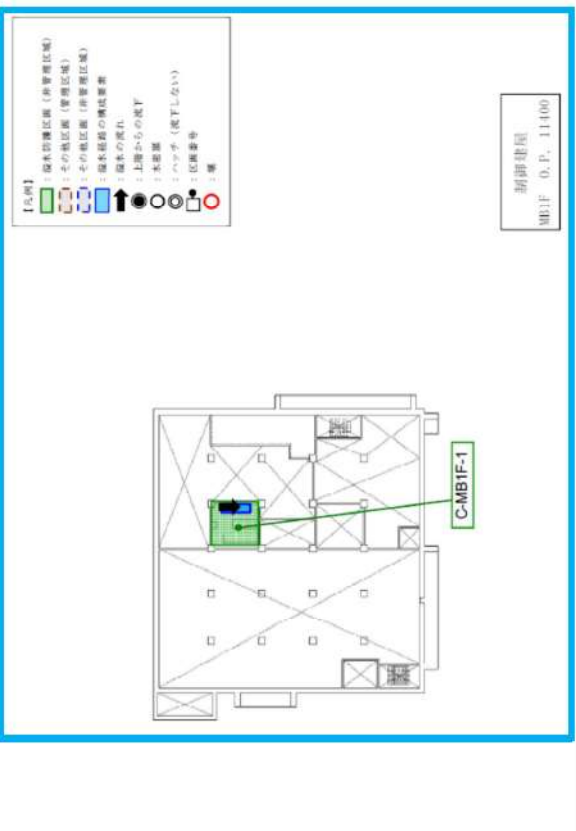
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大飯と同様)</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

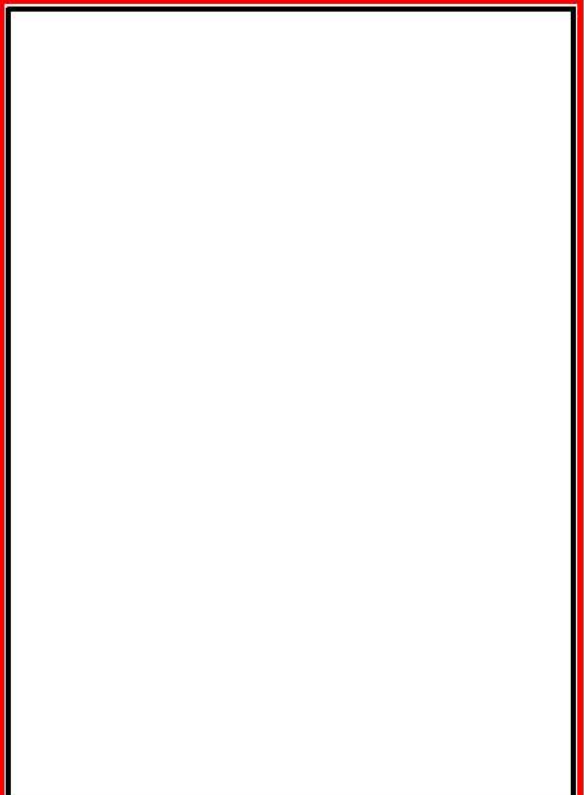

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p data-bbox="112 1018 683 1045">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	 <p data-bbox="772 1005 1198 1029">枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		<p data-bbox="1877 178 1937 199">【女川】</p> <p data-bbox="1877 215 2004 236">記載方針の相違</p> <p data-bbox="1877 247 2128 438">女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p data-bbox="1877 454 1937 475">【大阪】</p> <p data-bbox="1877 486 2004 507">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 518 2027 539">プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>
<p>種組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			


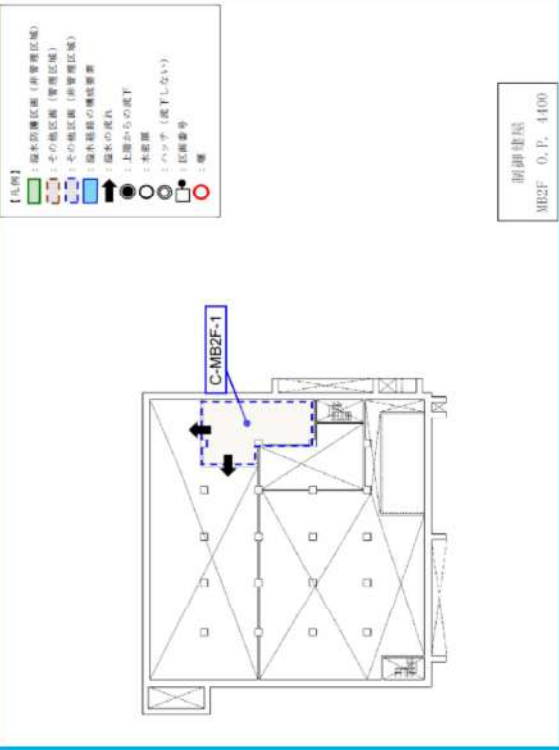
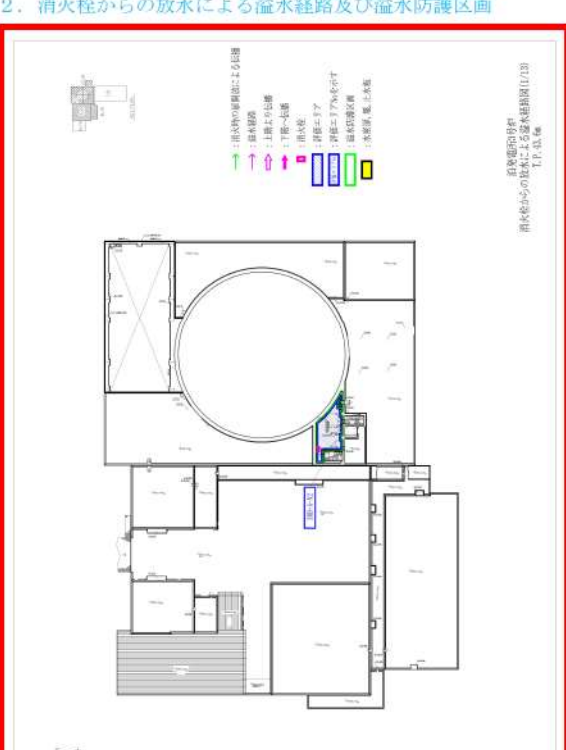
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）


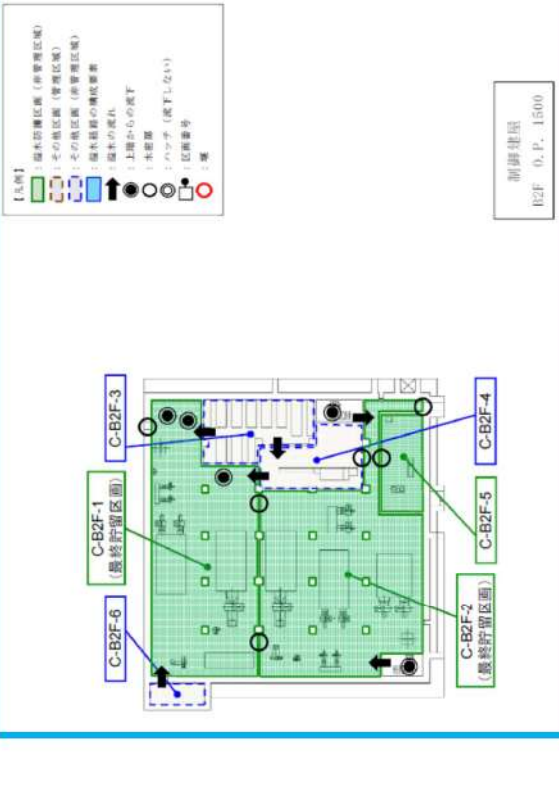
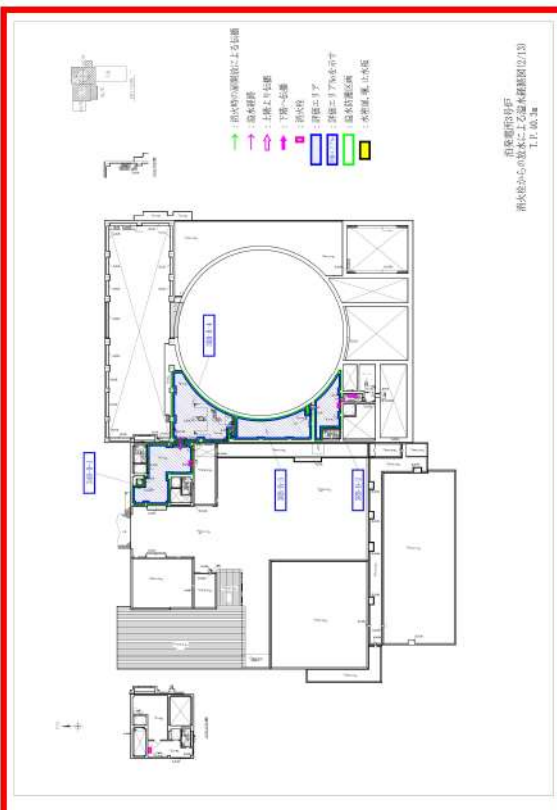
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>【凡例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑色：基本防護区画（非管理区域） 赤色：その他区画（管理区域） 青色：その他区画（非管理区域） 黒色：基本防護区画の構成要素 ↑：原子炉の位置 ●：主配管からの配下 ○：主配管 ○：ハコチ（配下しなし） ○：区画番号 ○：壁 <p>制御建屋 BIF 0. P. 8000</p>		<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大阪と同様）</p> <p>【大阪】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<p>枠組みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

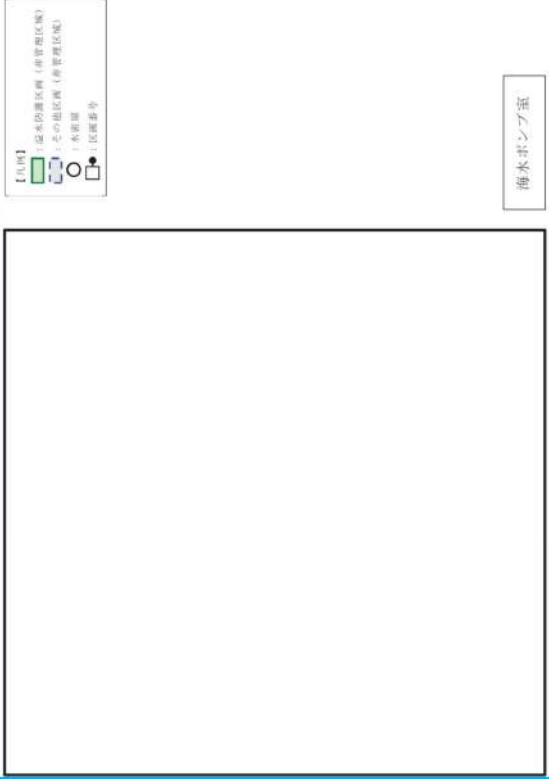
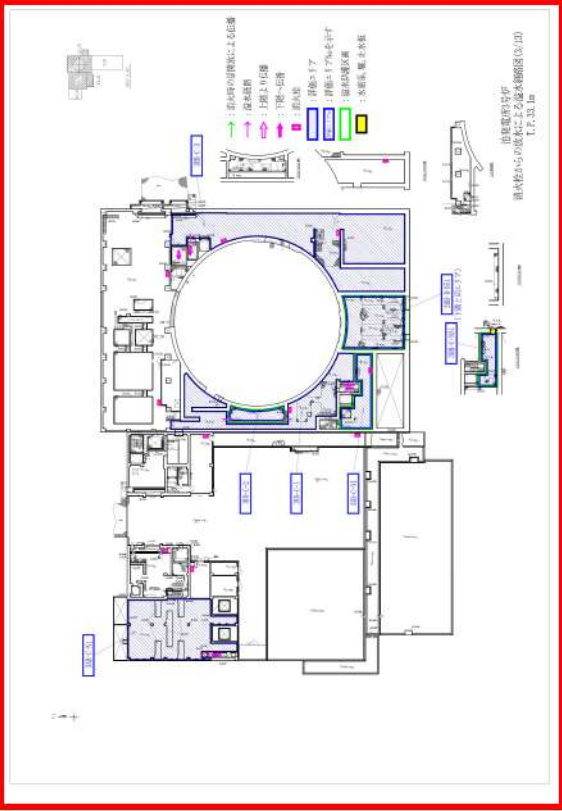
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料10）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>添付資料 1.4.2-3</p> 	<p>前脚建屋 MB2F O.P. 4400</p> 	<p>2. 消火栓からの放水による溢水経路及び溢水防護区画</p> 	<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違 <u>記載表現の相違</u></p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

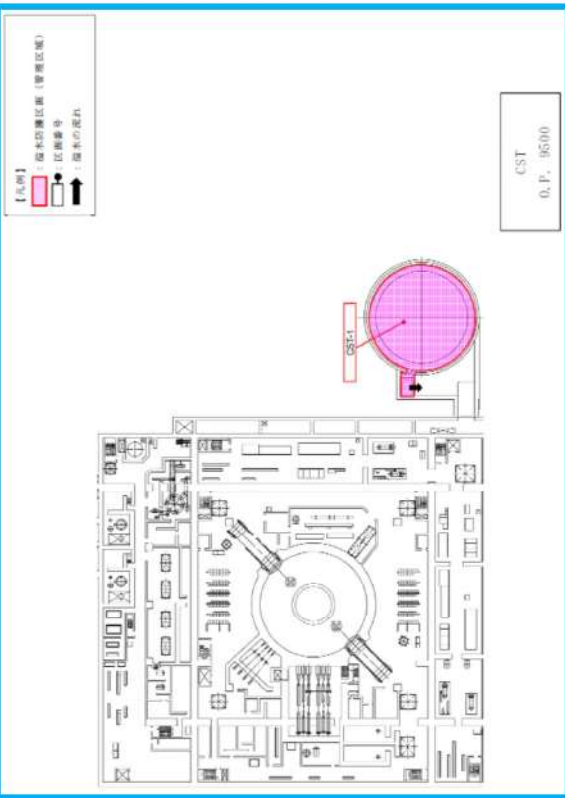
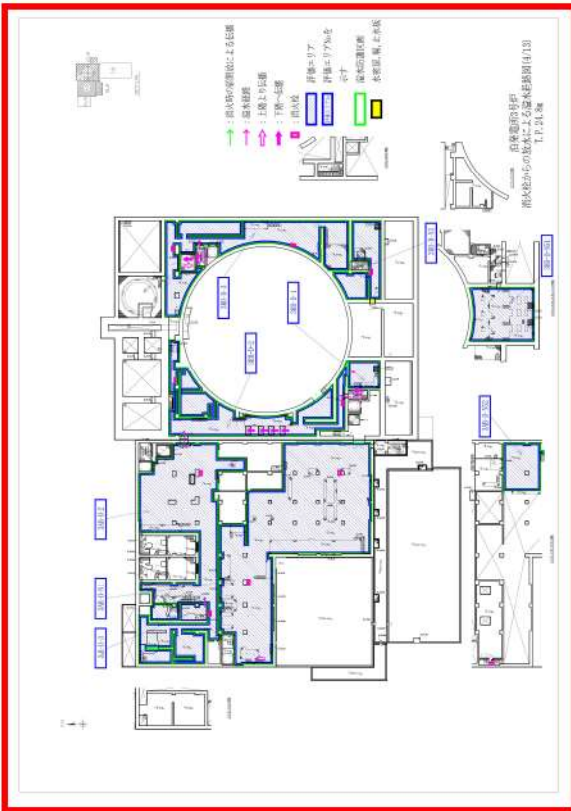
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大飯と同様)</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

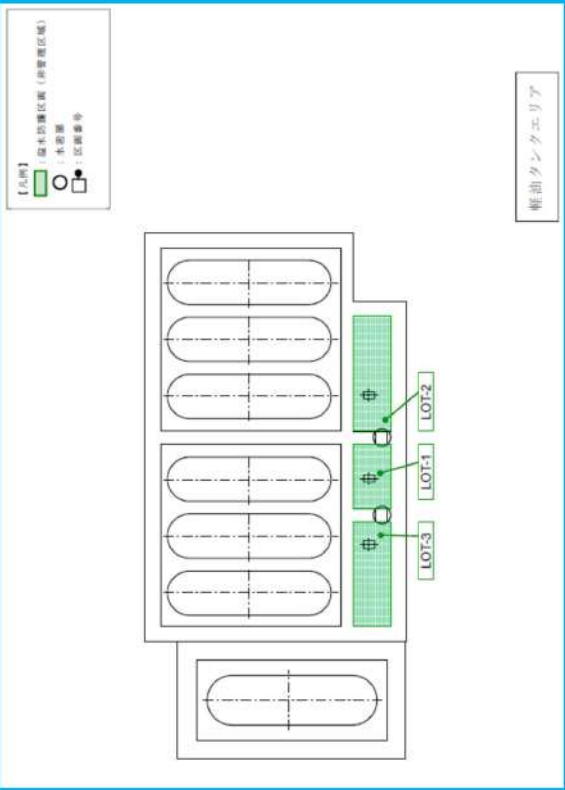
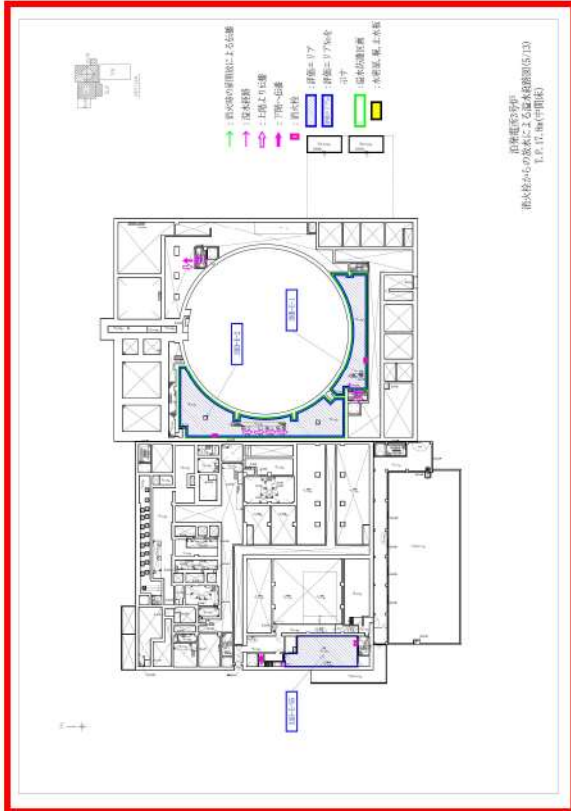
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="712 194 810 386">【凡例】 ① 基本防護区域（非管理区域） ② その他区域（非管理区域） ③ 非管理 ④ 区域番号</p> <p data-bbox="1214 274 1249 386">海水ポンプ室</p> <p data-bbox="779 976 1249 1008">枠囲みの内容は防護上の観点から公開できません。</p>	 <p data-bbox="1348 236 1818 322">① 基本防護区域（非管理区域） ② その他区域（非管理区域） ③ 非管理 ④ 区域番号</p> <p data-bbox="1348 331 1818 386">⑤ 基本防護区域（非管理区域） ⑥ その他区域（非管理区域） ⑦ 非管理 ⑧ 区域番号</p> <p data-bbox="1348 395 1818 450">⑨ 基本防護区域（非管理区域） ⑩ その他区域（非管理区域） ⑪ 非管理 ⑫ 区域番号</p> <p data-bbox="1348 459 1818 513">⑬ 基本防護区域（非管理区域） ⑭ その他区域（非管理区域） ⑮ 非管理 ⑯ 区域番号</p> <p data-bbox="1348 523 1818 577">⑰ 基本防護区域（非管理区域） ⑱ その他区域（非管理区域） ⑲ 非管理 ⑳ 区域番号</p> <p data-bbox="1348 587 1818 641">㉑ 基本防護区域（非管理区域） ㉒ その他区域（非管理区域） ㉓ 非管理 ㉔ 区域番号</p> <p data-bbox="1348 651 1818 705">㉕ 基本防護区域（非管理区域） ㉖ その他区域（非管理区域） ㉗ 非管理 ㉘ 区域番号</p> <p data-bbox="1348 715 1818 769">㉙ 基本防護区域（非管理区域） ㉚ その他区域（非管理区域） ㉛ 非管理 ㉜ 区域番号</p> <p data-bbox="1348 778 1818 833">㉝ 基本防護区域（非管理区域） ㉞ その他区域（非管理区域） ㉟ 非管理 ㊱ 区域番号</p> <p data-bbox="1348 842 1818 896">㊲ 基本防護区域（非管理区域） ㊳ その他区域（非管理区域） ㊴ 非管理 ㊵ 区域番号</p> <p data-bbox="1348 906 1818 960">㊶ 基本防護区域（非管理区域） ㊷ その他区域（非管理区域） ㊸ 非管理 ㊹ 区域番号</p> <p data-bbox="1348 970 1818 1024">㊺ 基本防護区域（非管理区域） ㊻ その他区域（非管理区域） ㊼ 非管理 ㊽ 区域番号</p> <p data-bbox="1348 1034 1818 1088">㊾ 基本防護区域（非管理区域） ㊿ その他区域（非管理区域） ㋀ 非管理 ㋁ 区域番号</p> <p data-bbox="1348 1098 1818 1152">㋂ 基本防護区域（非管理区域） ㋃ その他区域（非管理区域） ㋄ 非管理 ㋅ 区域番号</p> <p data-bbox="1348 1161 1818 1216">㋆ 基本防護区域（非管理区域） ㋇ その他区域（非管理区域） ㋈ 非管理 ㋉ 区域番号</p> <p data-bbox="1348 1225 1818 1279">㋊ 基本防護区域（非管理区域） ㋋ その他区域（非管理区域） ㋌ 非管理 ㋍ 区域番号</p> <p data-bbox="1348 1289 1818 1343">㋎ 基本防護区域（非管理区域） ㋏ その他区域（非管理区域） ㋐ 非管理 ㋑ 区域番号</p> <p data-bbox="1348 1353 1818 1407">㋒ 基本防護区域（非管理区域） ㋓ その他区域（非管理区域） ㋔ 非管理 ㋕ 区域番号</p> <p data-bbox="1348 1417 1818 1471">㋖ 基本防護区域（非管理区域） ㋗ その他区域（非管理区域） ㋘ 非管理 ㋙ 区域番号</p> <p data-bbox="1348 1481 1818 1535">㋚ 基本防護区域（非管理区域） ㋛ その他区域（非管理区域） ㋜ 非管理 ㋝ 区域番号</p>	<p data-bbox="1886 178 1930 204">【女川】</p> <p data-bbox="1886 210 1998 236">記載方針の相違</p> <p data-bbox="1886 242 2134 443">女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p data-bbox="1886 450 1930 475">【大飯】</p> <p data-bbox="1886 481 1998 507">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1886 513 2020 539">プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大飯と同様)</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>

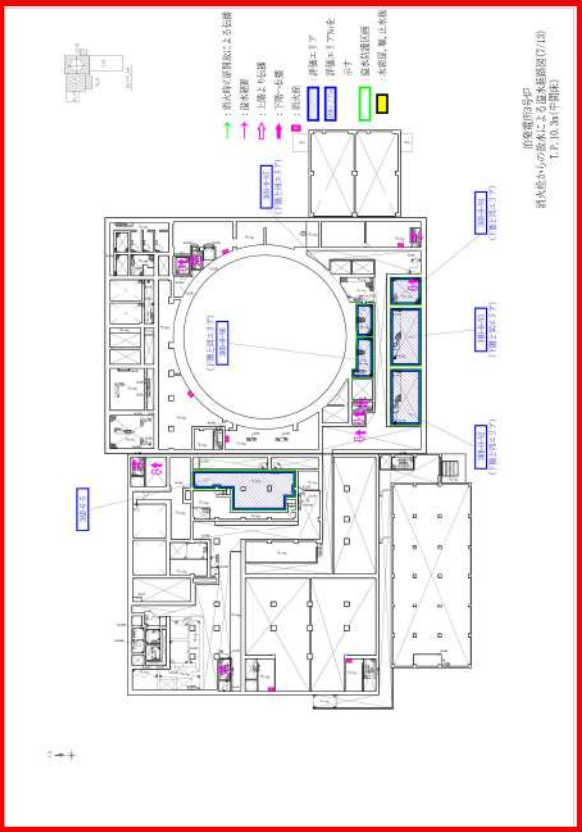
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大飯と同様)</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<div style="border: 2px solid red; padding: 10px; min-height: 500px;"> <!-- Redacted content --> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> [REDACTED] 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。 </div>	<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>

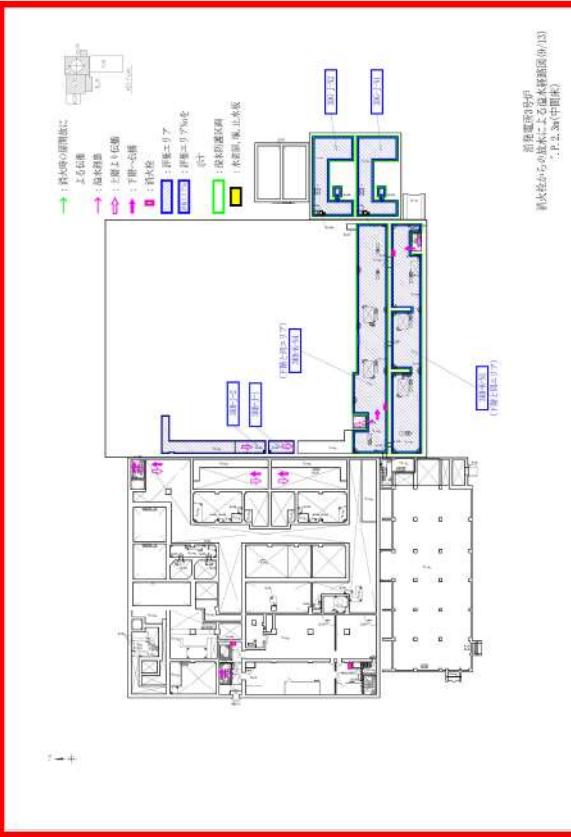
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違 プラント設計の相違</p>

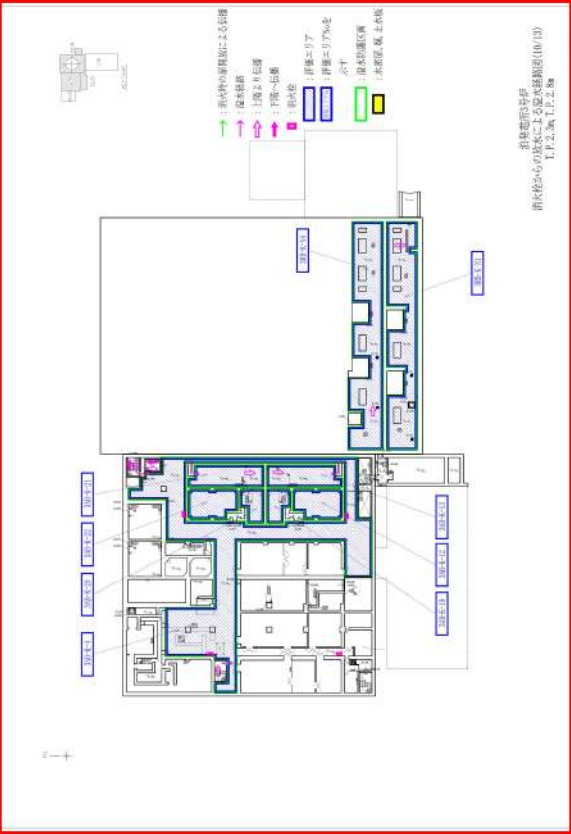
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<div style="border: 2px solid red; width: 100%; height: 100%;"></div>	<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
		<div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 15px; display: inline-block;"></div> 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。	

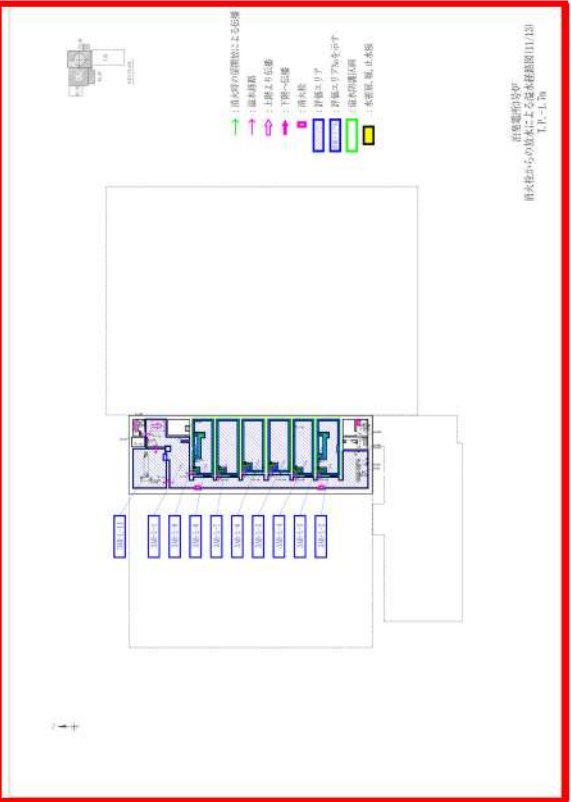
赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>赤字：設計方針の相違 青字：記載方針の相違 緑字：実質的な相違なし</p>	<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

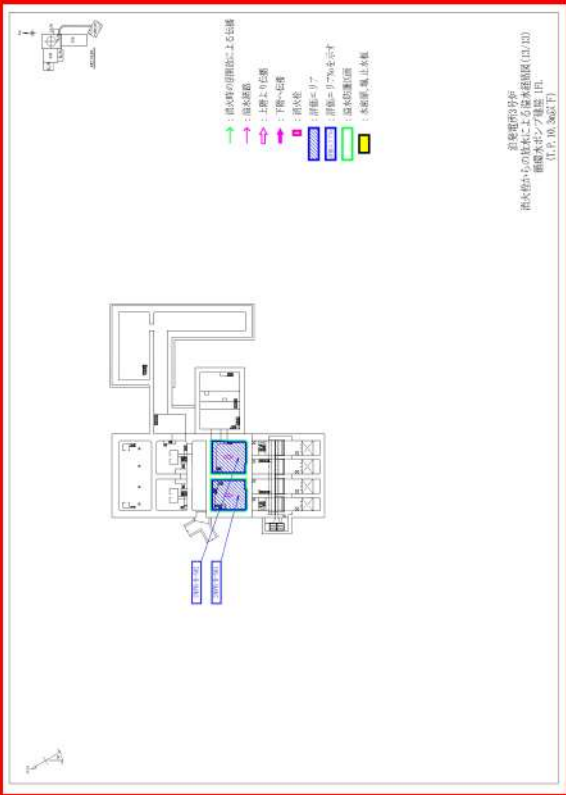
大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

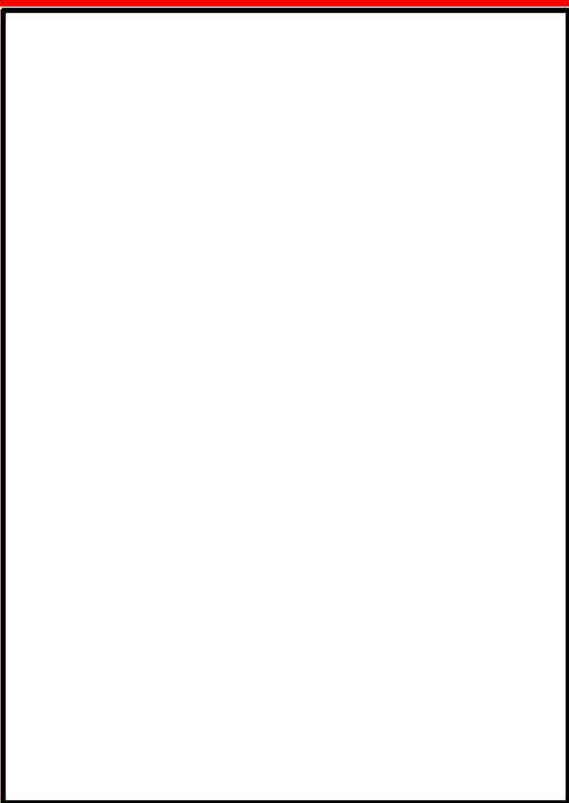

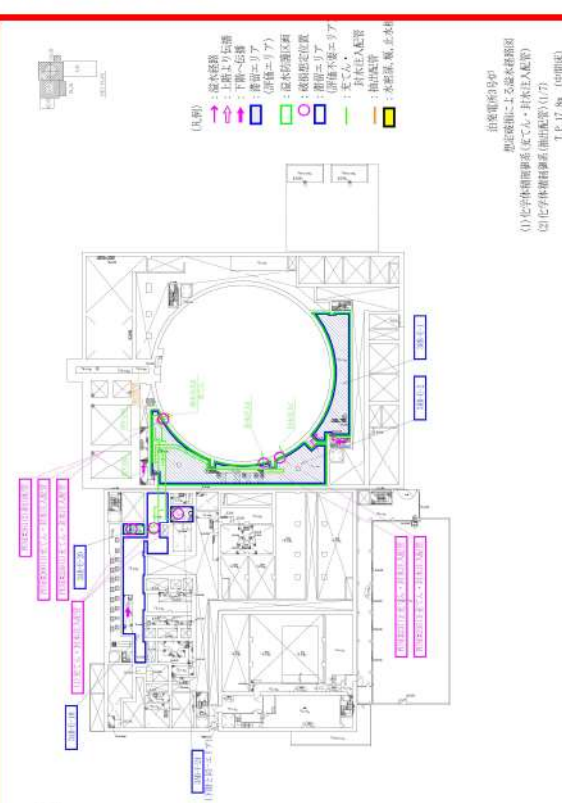
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

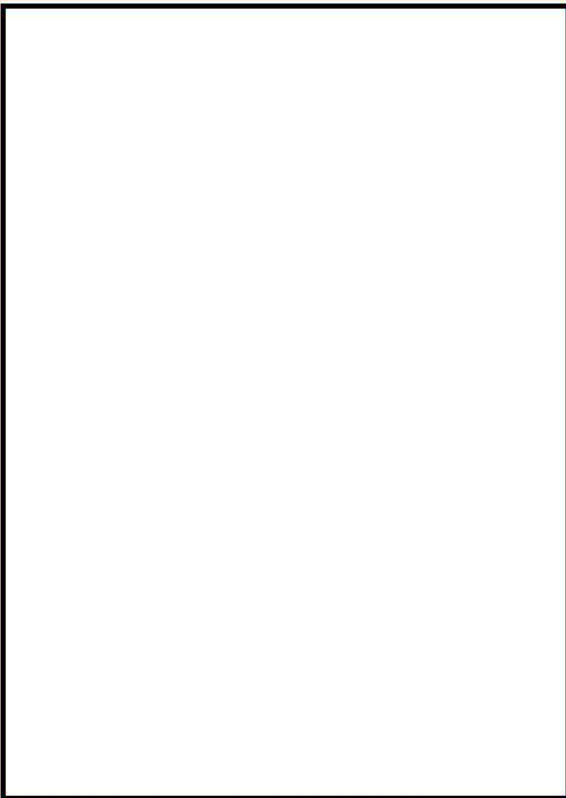
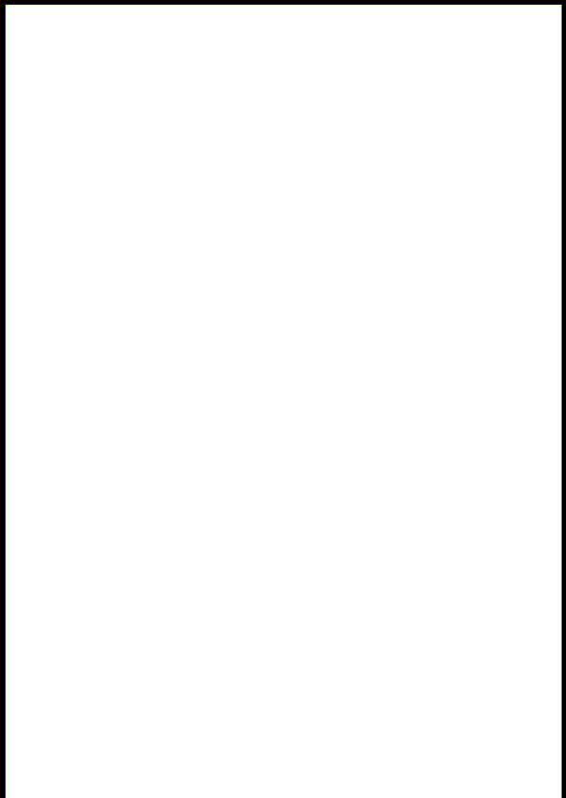
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p> 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違） 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違） 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし） </p> <p> 大飯発電所3号炉 女川発電所2号炉との比較による相違箇所（図10） 記載箇所及び内容の相違箇所 図10の相違箇所 </p>	<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違 プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>3. 想定破損による溢水経路及び溢水防護区画 (1) 化学体積制御系統</p>  <p>由発電所の号炉 想定破損による溢水経路図 (1)化学体積制御系統(主待機・封水注入配管) 図1化学体積制御系統(中開閉区画) T.P.17.8a (中開閉区)</p>	<p>【女川】 記載方針の相違 女川では、地震起因、消火水放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。(大飯と同様)</p> <p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

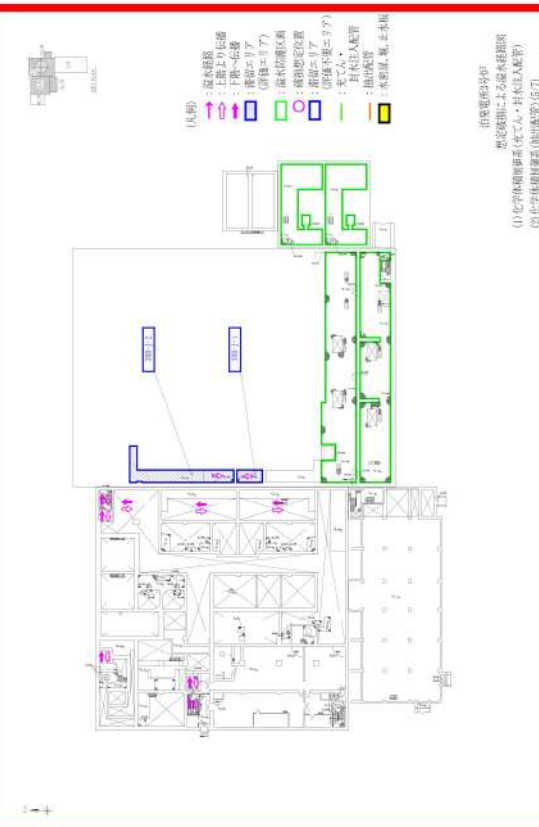
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>←+ 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

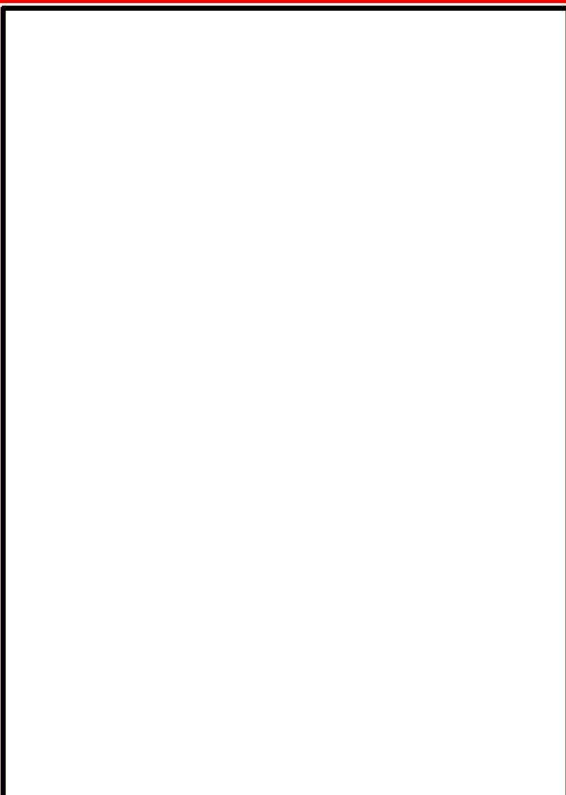

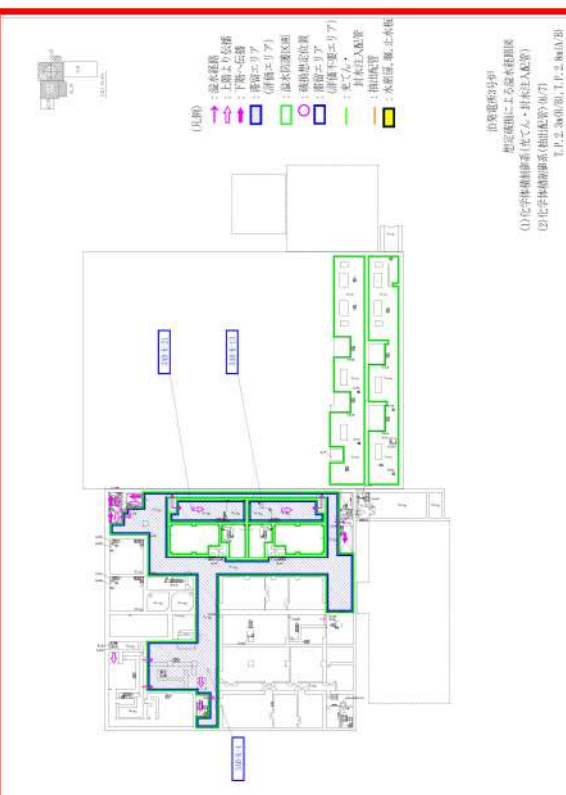
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>		<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>	<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>□ 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

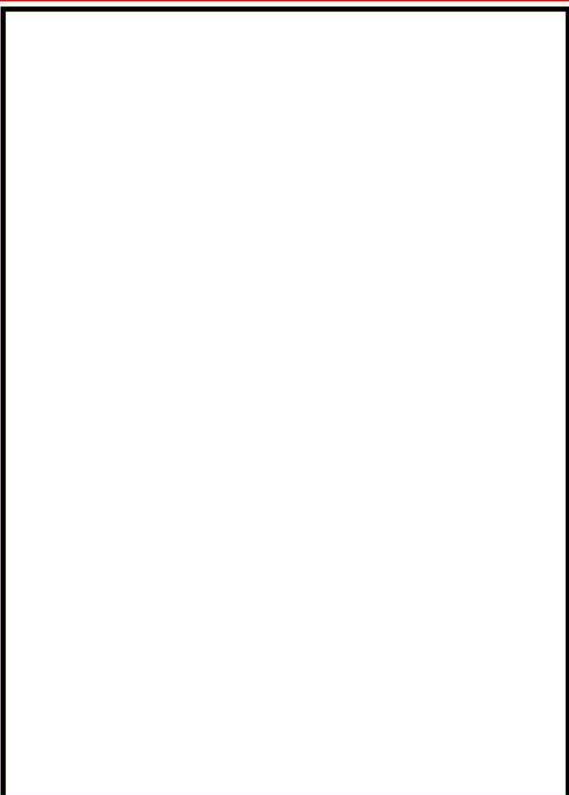

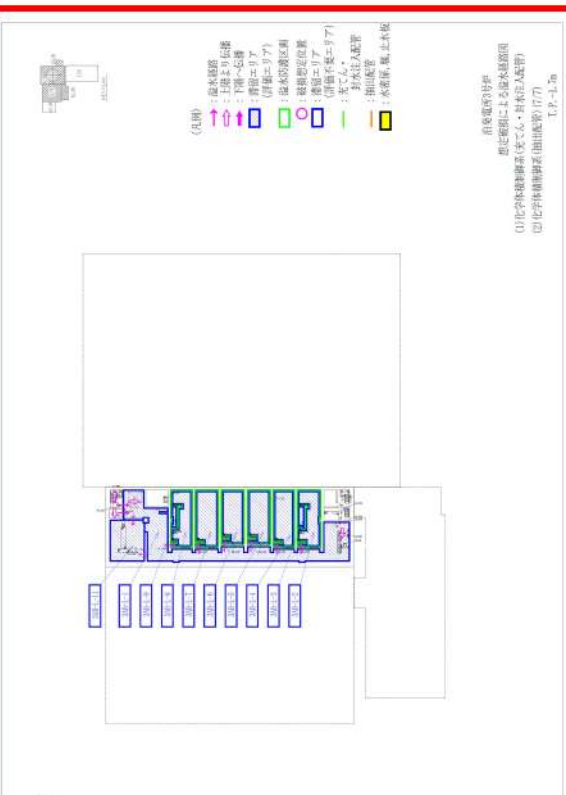
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<div style="border: 2px solid red; padding: 10px;">  <p style="font-size: x-small; margin-top: 10px;"> 泊発電所3号炉 施設説明による基本経路図 (1)化学体側側面等(主として、主注注入配管) (2)化学体側側面等(抽出配管)等(7) T.P.2.2b (中略) </p> </div>	<p>【大阪】</p> <p>設計方針の相違 プラント設計の相違</p>

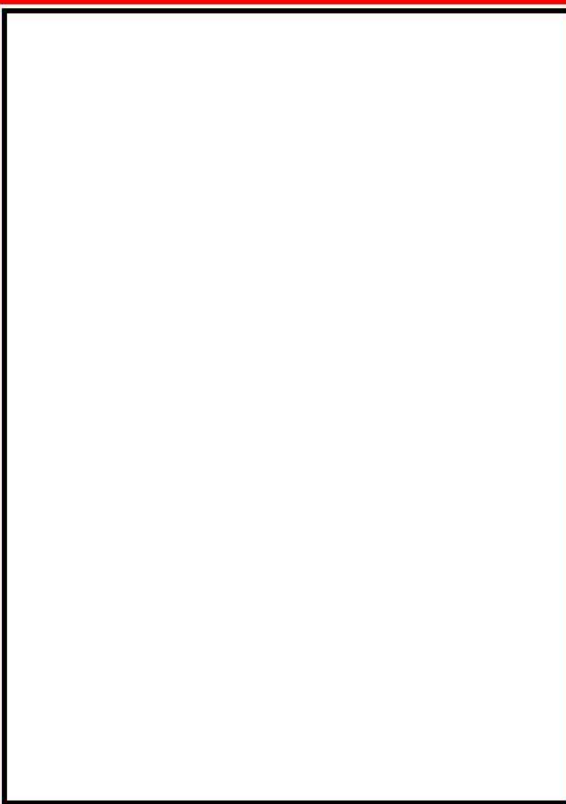

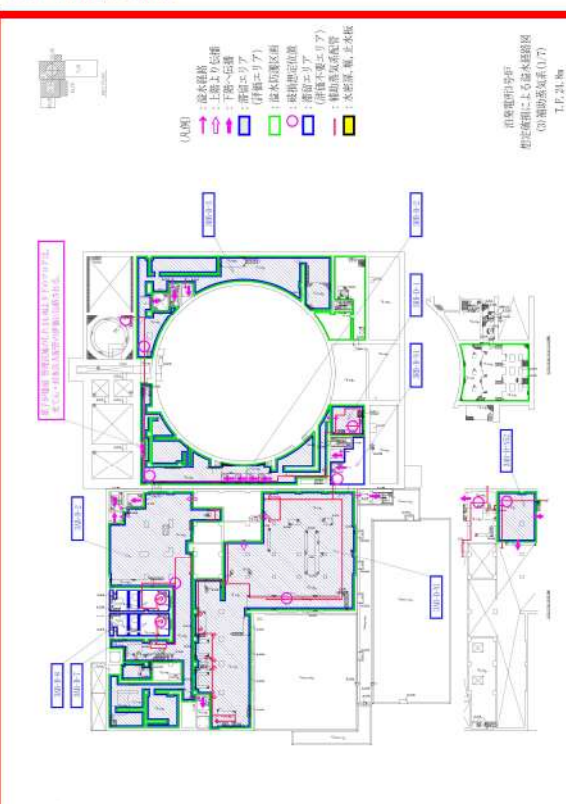
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p> (凡例) 赤：設備、運用又は体制の相違 青：記載箇所又は記載内容の相違 緑：記載表現、設備名称の相違 赤：水漏れ防止水栓 青：水漏れ防止水栓 緑：水漏れ防止水栓 </p> <p> 泊発電所3号炉 想定範囲による漏水区域 (1)化学系統機組室(炉心・封入圧配管) (2)化学系統機組室(抽出配管/炉心) T.P.2.3a(1)表、T.P.2.3a(1)B </p>	<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>特記の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

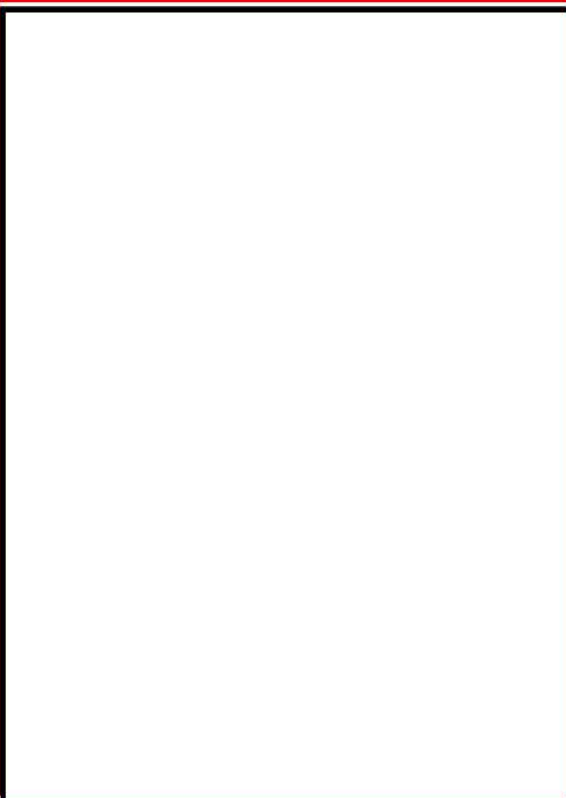

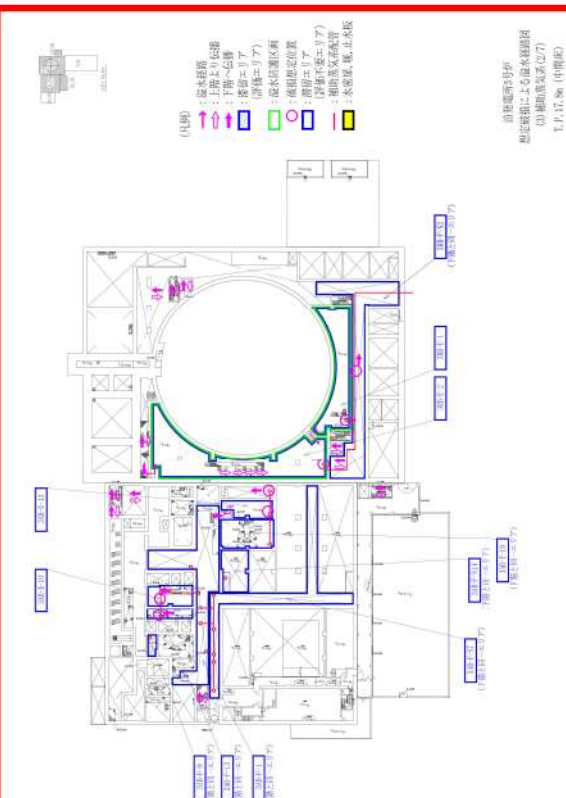
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>←+ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>(2) 補助蒸気系統</p> 	<p>【女川】 <u>記載方針の相違</u> 女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p>【大飯】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>(LHP) 赤：設計方針の相違 青：記載内容の相違 緑：記載表現、設備名称の相違</p> <p>泊発電所3号炉 設計方針による相違箇所 (1) 補助送風機(27) T.P.17.26(中間区)</p>	<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>←+ 冷組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

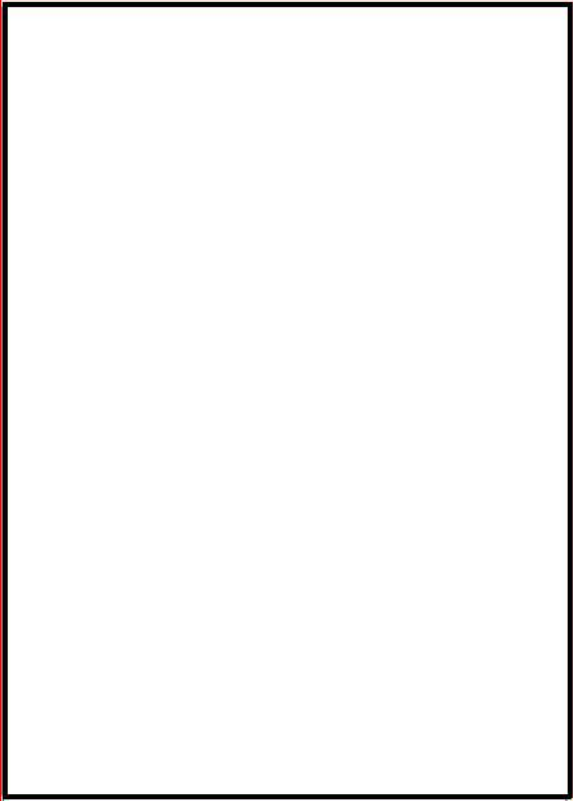
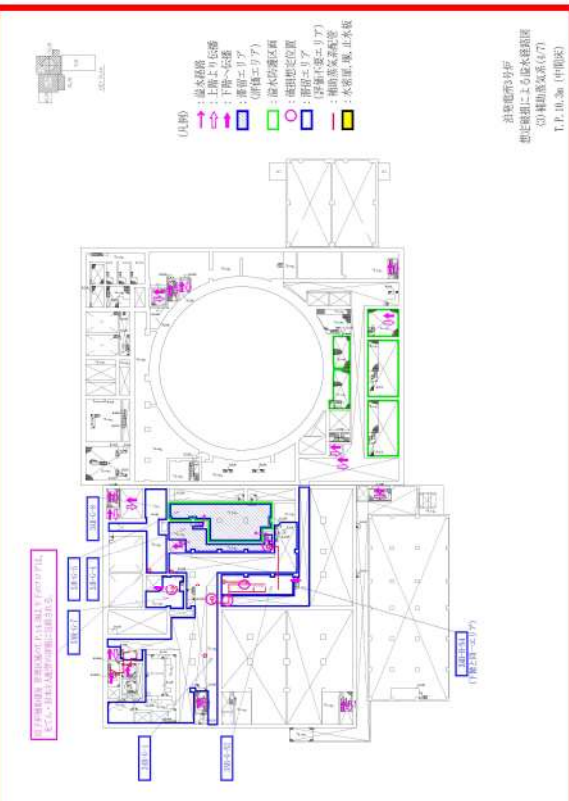
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>		<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>	<p>【大飯】 設計方針の相違 グラント設計の相違</p>
<p>冷温みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

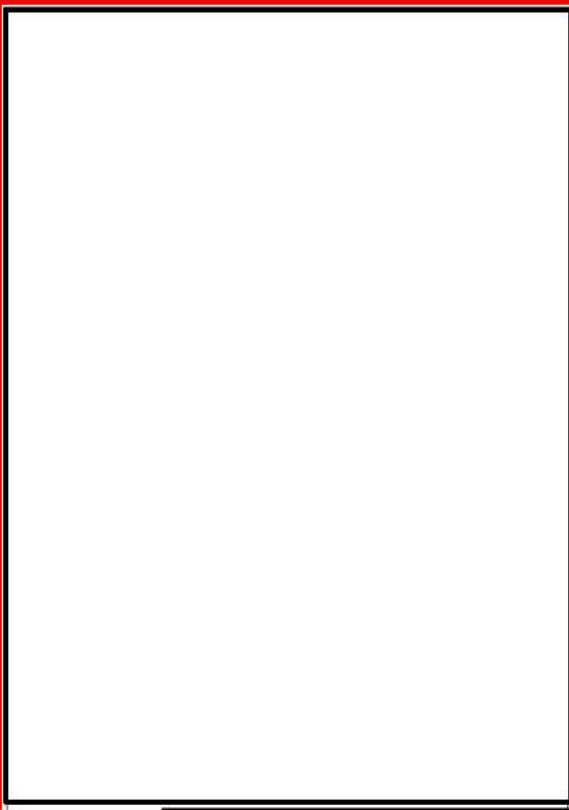
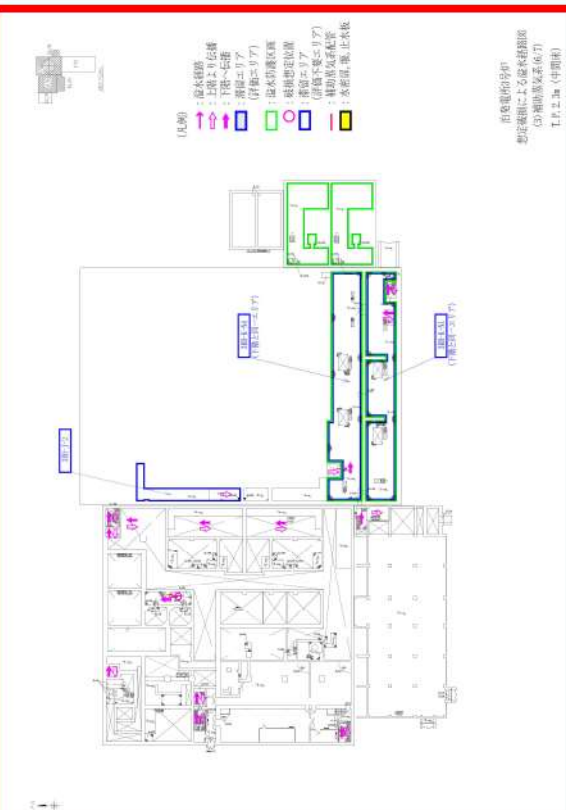
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


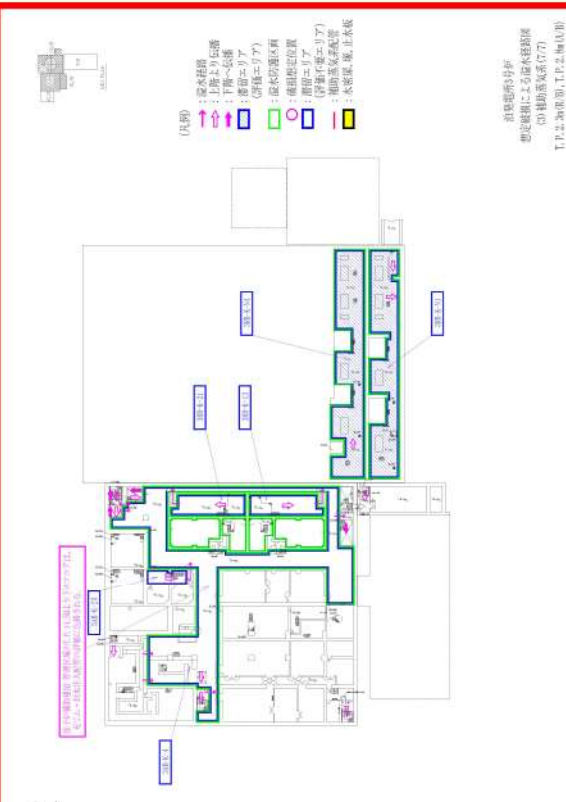
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>		<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>	<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>←+ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>□ 枠組みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

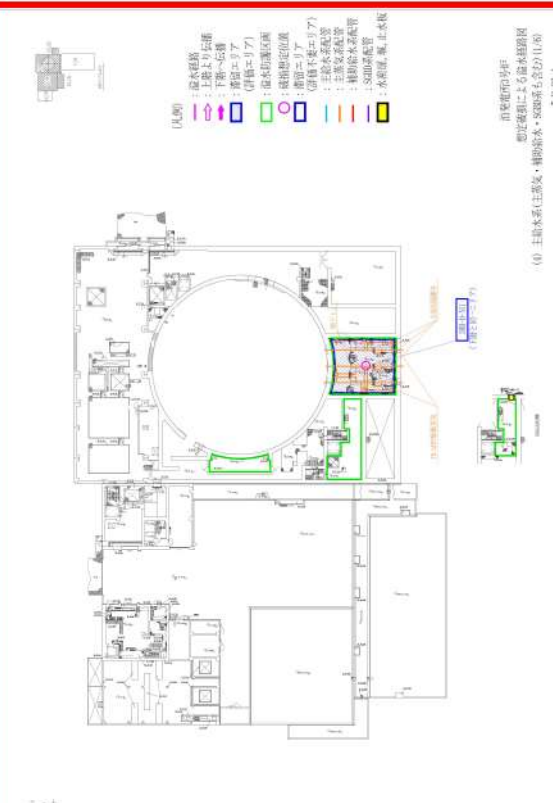
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>※図面の範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

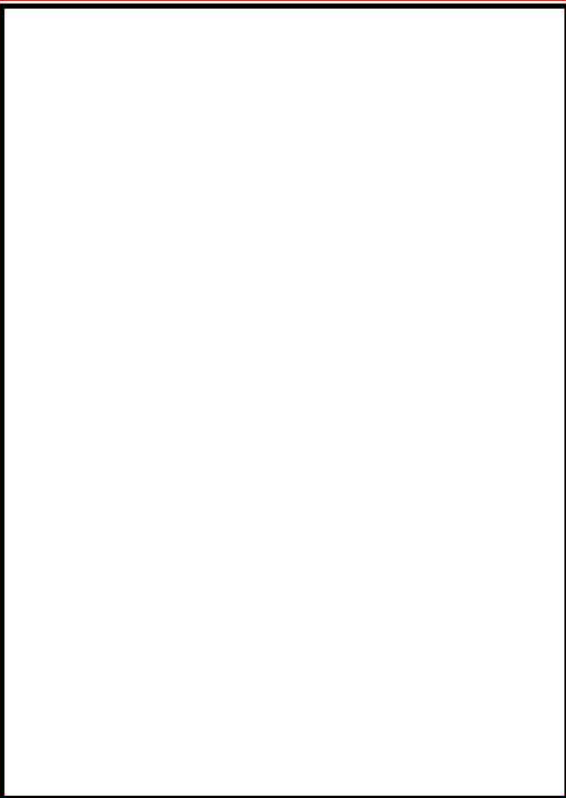

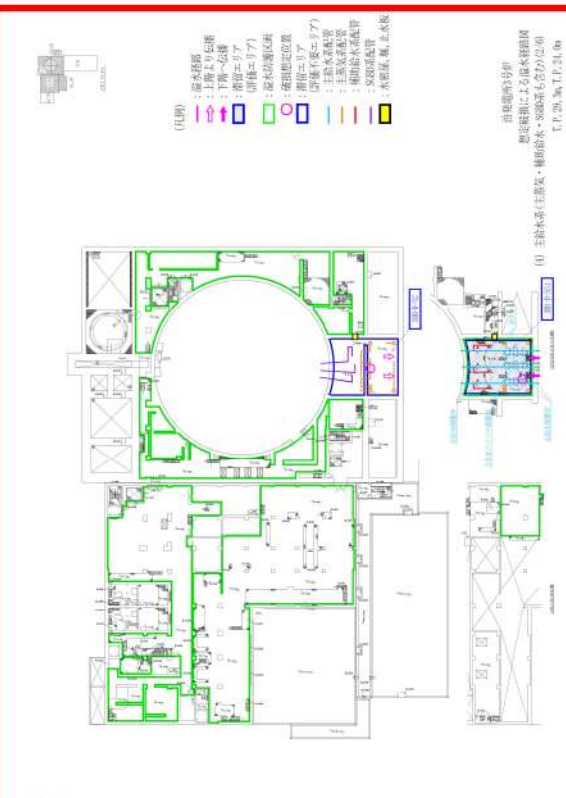
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>プラント設計の相違</p>
<p>←→</p> <p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

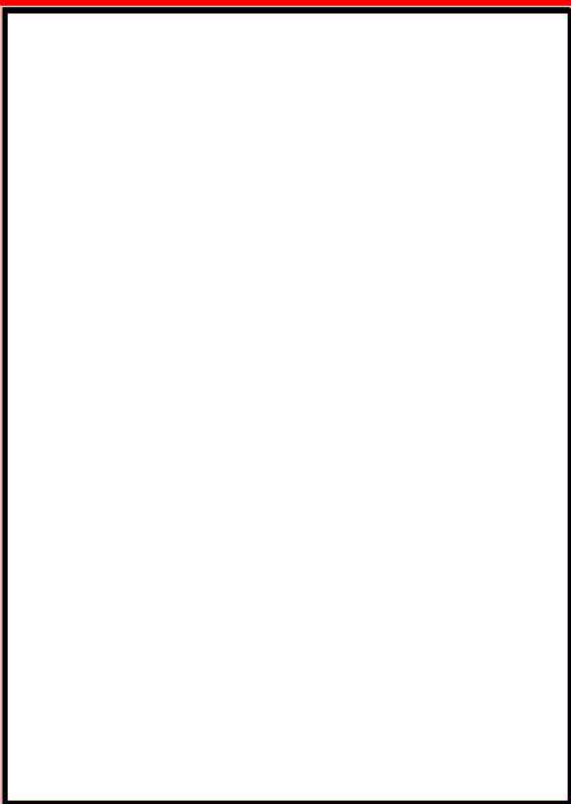
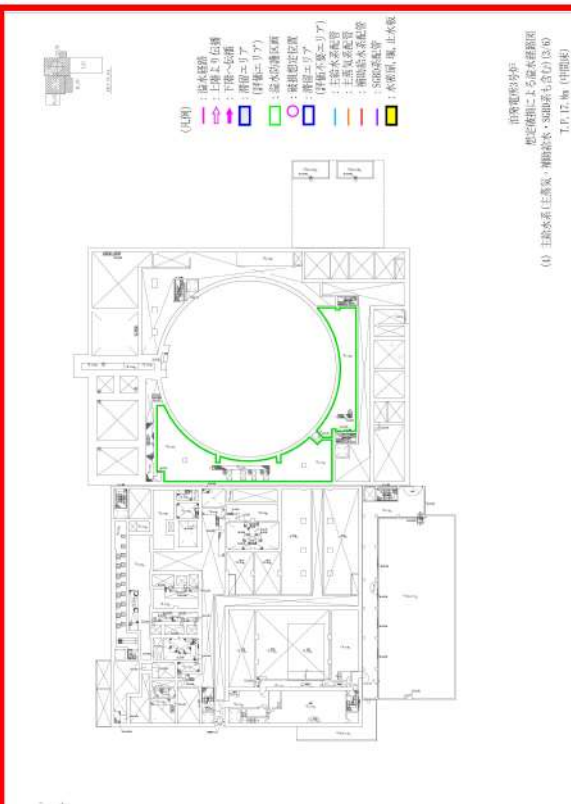
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="114 212 685 1018" style="border: 2px solid red; height: 500px;"></div> <div data-bbox="114 1023 685 1043" style="font-size: small;"> 冷組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>		<p data-bbox="1294 180 1845 201">(3) 主給水系統（主蒸気・補助給水・SGBD系統も含む）</p> 	<p data-bbox="1877 180 1935 201">【女川】</p> <p data-bbox="1877 217 1995 237">記載方針の相違</p> <p data-bbox="1877 248 2134 440">女川では、地震起因、消火放水、想定破損による溢水によらず防護区画図上に溢水の伝播経路を示しているが、泊は溢水源によって溢水経路及び溢水防護区画を設定している。（大飯と同様）</p> <p data-bbox="1877 456 1935 477">【大飯】</p> <p data-bbox="1877 488 1995 509">設計方針の相違</p> <p data-bbox="1877 520 2024 541">プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>※組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

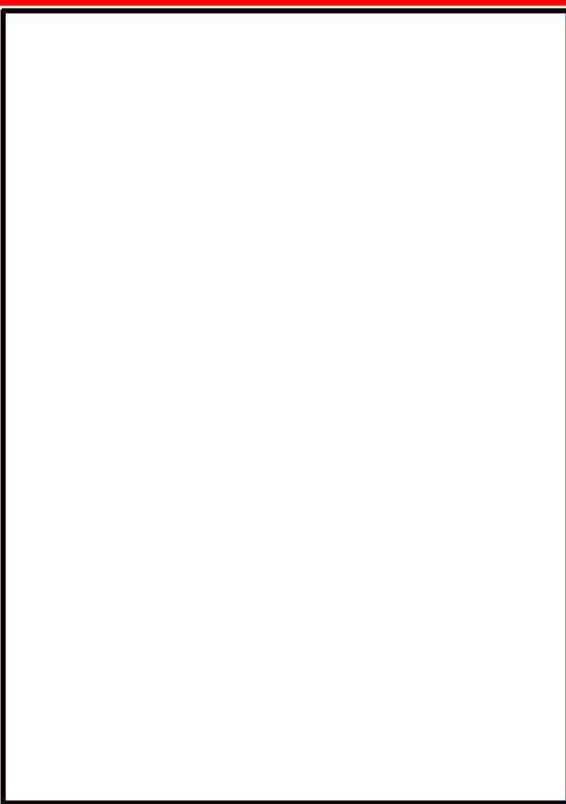
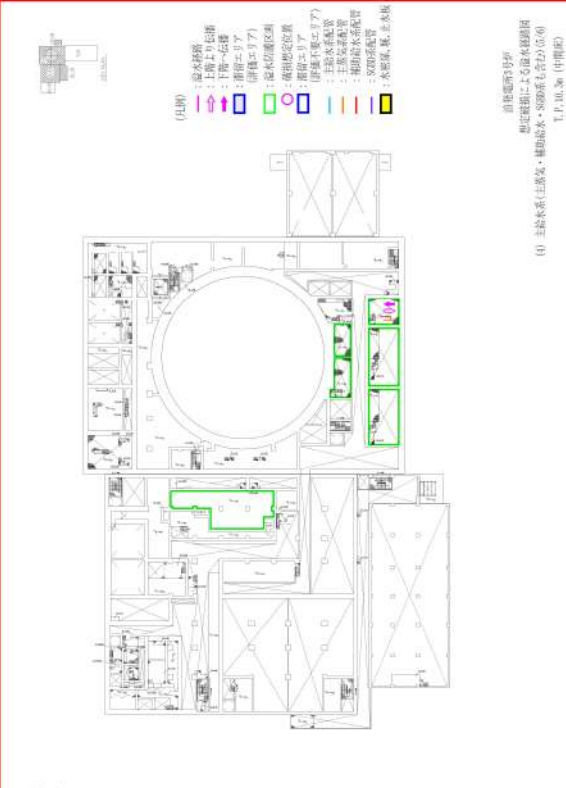
第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>泊発電所3号炉 想定範囲による基本設備位置 (0) 主層水害伝達装置、階間伝達装置、SDR伝達装置 T.P. 17. 9m (中間階)</p>	<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

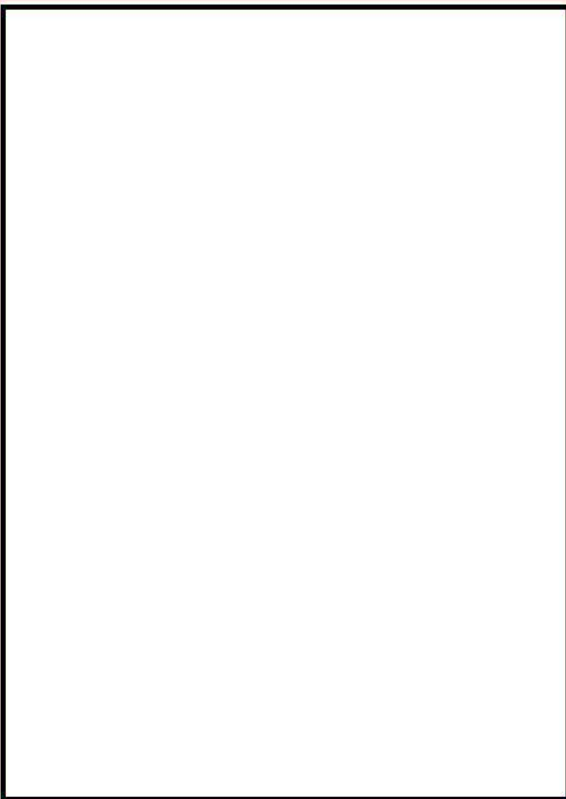

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>		<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div>	<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>←+ 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>□ 枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

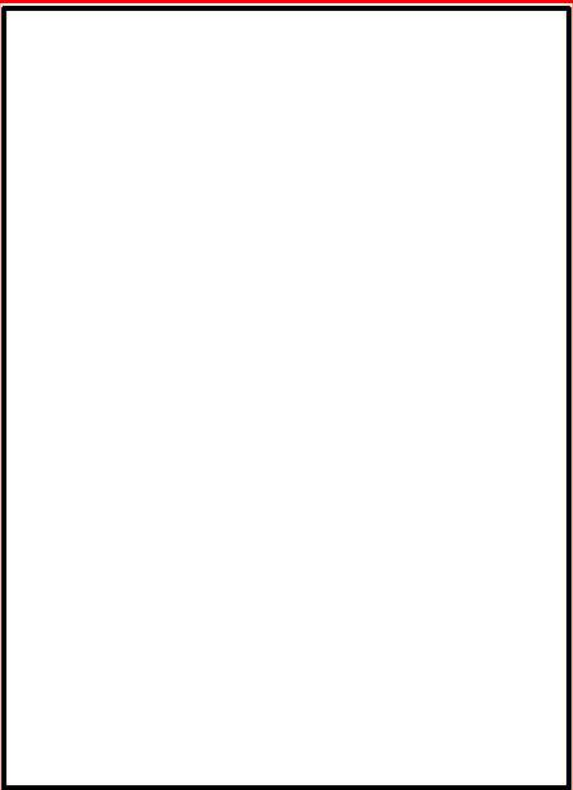
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		 <p>泊発電所3号炉 設計図面による炉本體図面 (0) 主排水系(圧縮機・補助排水・SBO排水)等 T.P. 10.30 (中間配)</p>	<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

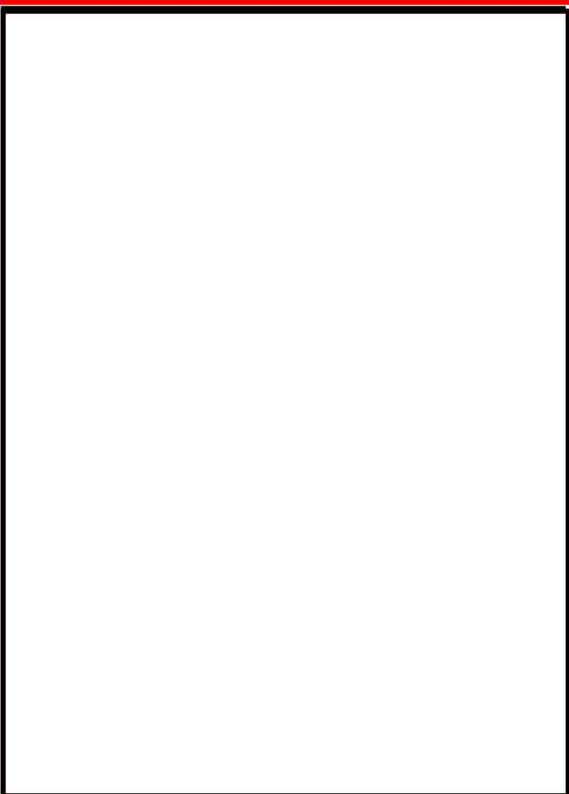
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>		<p>枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

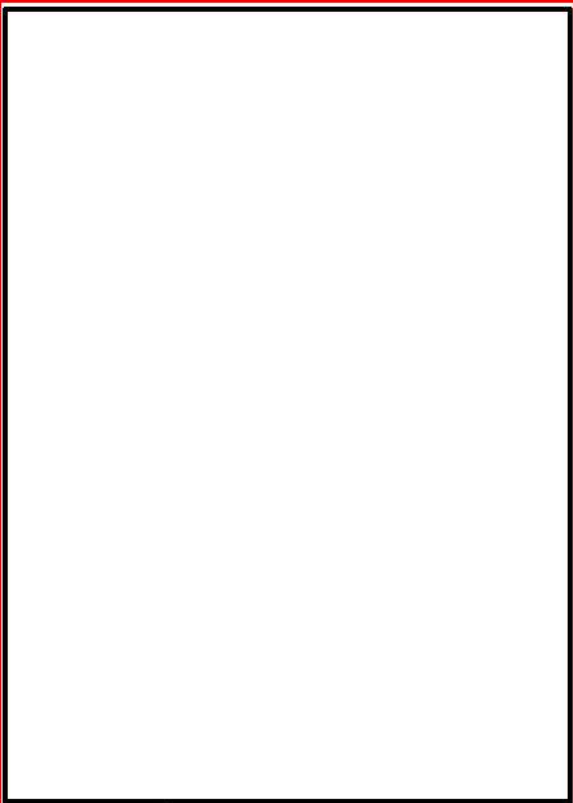
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

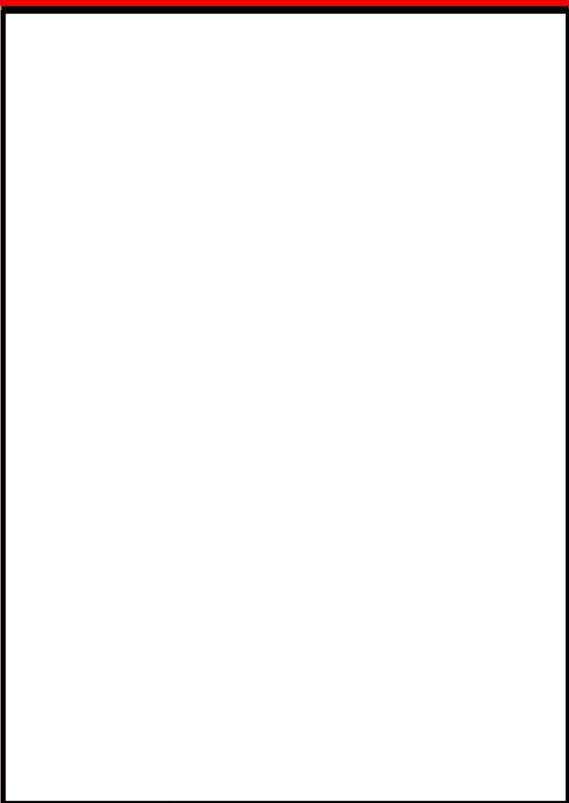
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>図10-5 炉心冷却系</p> <p>炉心冷却系は機器に依る事項であり、2000年以降の設計は異なる。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

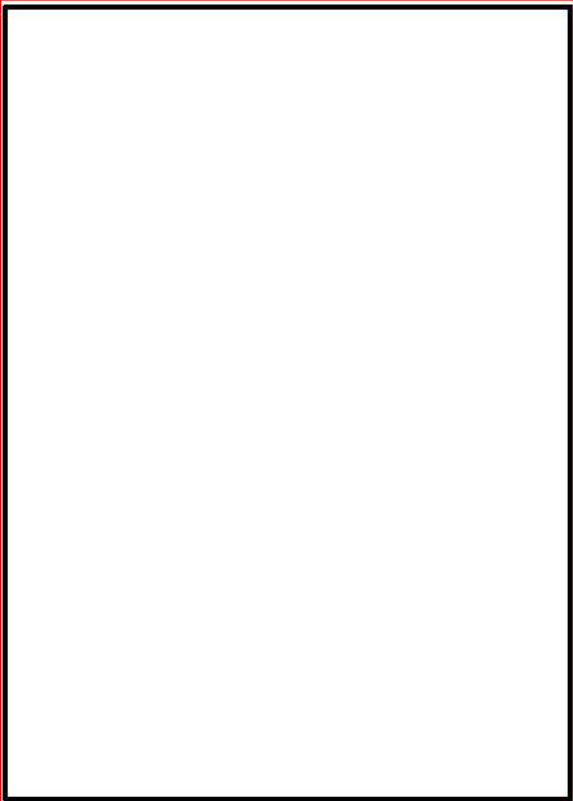
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大飯】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>図4-4-1 炉心及び炉内は機密に係る事項で公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

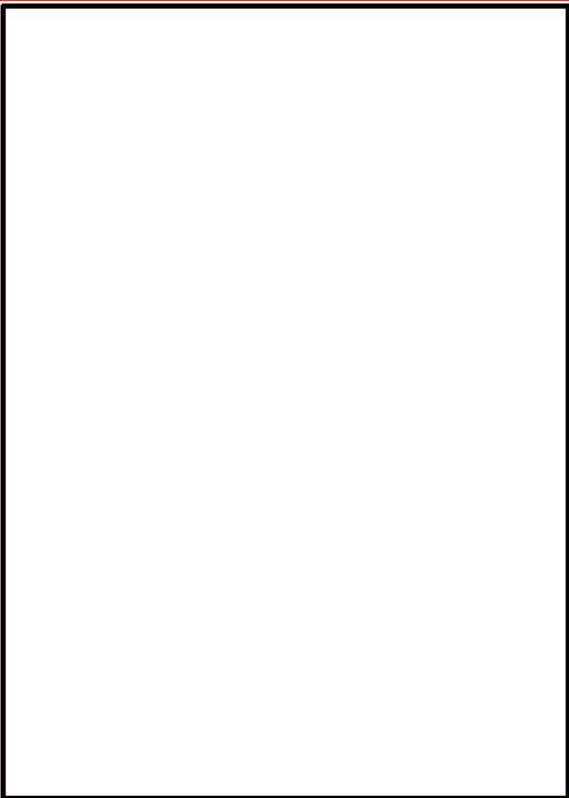
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 2px solid red; height: 500px; width: 100%;"></div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;"> 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </p>			<p>【大阪】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

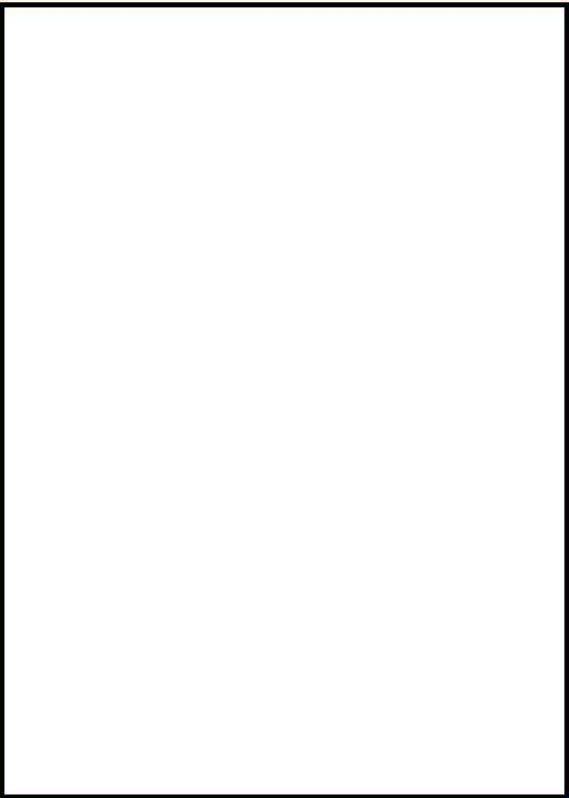
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

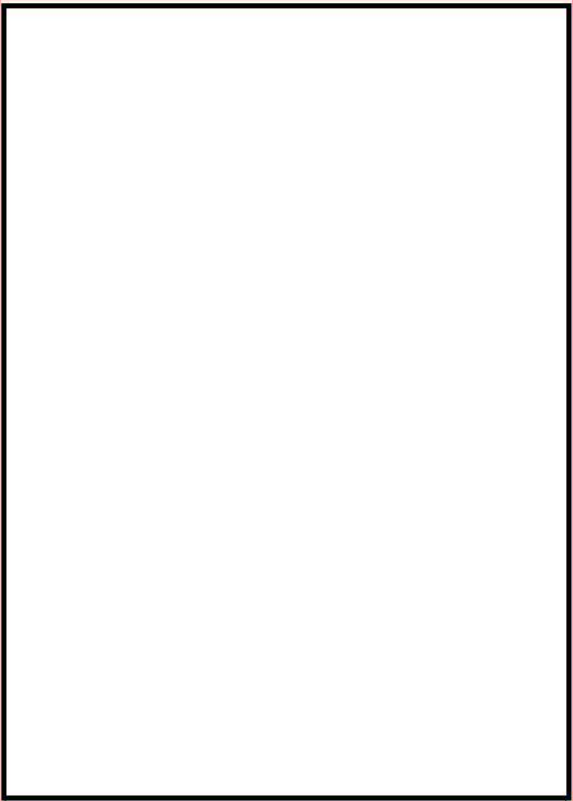
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>※ ← + 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料10）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
			<p>【大阪】 設計方針の相違 プラント設計の相違</p>
<p>※ 枠組みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【大飯3/4号炉】 まとめ資料 p.2-9-別1-60 より抜粋 2.3 溢水防護区画及び溢水経路の設定 (3) 溢水伝播 上層階の溢水は階段あるいは機器ハッチを経由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。</p>	<p>【女川2号炉】 まとめ資料 p.9条-別添1-4-3 より抜粋 4. 3 溢水経路の設定 (3) 溢水伝播 上層階の溢水は階段あるいは開口部を経由して下層階へ伝播する。下層階への伝播については、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとする。</p>	<p style="text-align: right;">別紙1</p> <p>機器ハッチから溢水が流下しない場合の影響について</p> <p>1. はじめに 機器ハッチが床面にある区画の没水影響評価では、機器ハッチからの流下に期待せず、溢水全量が区画に貯留される条件で溢水水位を算出している。また、機器ハッチの下層階にある区画の没水影響評価では、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が下層階へ流入するものとしている。 ここでは、定期事業者検査作業に伴う機器ハッチの状態変更等により、一時的に上層階から下層階へ溢水が伝播しない機器ハッチが生じた場合を想定しても、溢水防護対象設備が必要な安全機能を損なわないことを確認する。</p> <p>2. 確認結果 下層階への伝播経路には、機器ハッチの他、階段室やエレベータもあり、定期事業者検査作業等で機器ハッチから溢水が流下しない状況になった場合でも、上層階からの溢水が流下する区画への流下経路が複数存在しているケースでは、没水影響評価で想定する溢水伝播経路は変わらない。 また、上層階からの溢水流下経路が機器ハッチ1箇所の区画については、流下経路が閉塞した場合に下層階へ溢水伝播しないため、下層階の没水影響評価で考慮すべき溢水量が無くなる。若しくは下層階の溢水源から生じる溢水量のみに減少することにより、溢水水位は下層階への伝播を想定した場合よりも低くなるため、溢水防護対象設備が没水により必要な安全機能を損なうことはない。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">図1：流下経路の例</p>	<p>【女川・大飯】 記載方針の相違</p> <p>・女川と大飯も、上層階からの溢水伝播において、下層階における溢水の伝播先を特定し、上層階からの溢水量全量が流入するものとしている点は泊と同じである。 ・泊では、伝播経路として特定した溢水の流下経路のうち、機器ハッチが定期事業者検査作業等によって溢水が伝播しない状況になった場合の影響を確認している。</p>

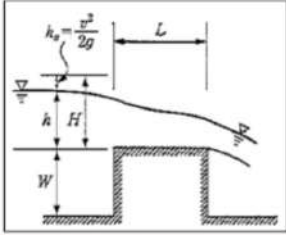
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																													
	<p style="text-align: right;">添付資料 12</p> <p>開口部等からの流出流量の評価</p> <p>1. はじめに 没水高さが高くなるようなエリアについて、扉開運用などにより流下開口を設置し、ある没水高さ以上とならないよう対策を実施している。ここでは、流下開口を設置しているエリアについて、流下開口からの流出流量が想定破損による系統流量を上回ることを確認する。</p> <p>2. 流下開口設置エリア 流下開口が設置してある区画を、表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 流下開口設置区画 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="696 997 1272 1493"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>区画番号</th> <th>流下開口</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20">原子炉建屋原子炉棟</td><td>R-1F-5</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td>R-B1F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td>R-K2F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td>R-3F-1</td><td>ハッチ（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-3</td><td>ハッチ（大物搬入口）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-K2F-2</td><td>ハッチ（グレーチング）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-K2F-3</td><td>ハッチ（グレーチング）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-3</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-5</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-6</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-1F-8</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-1F-9</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M31F-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M31F-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M31F-3</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M31F-4</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-K3F-7</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	建屋	区画番号	流下開口	数量	原子炉建屋原子炉棟	R-1F-5	扉（開運用）	2	R-B1F-1	扉（開運用）	2	R-K2F-1	扉（開運用）	2	R-3F-1	ハッチ（開運用）	1	R-2F-3	ハッチ（大物搬入口）	1	R-K2F-2	ハッチ（グレーチング）	1	R-K2F-3	ハッチ（グレーチング）	1	R-M2F-1	吹抜	1	R-M2F-2	吹抜	1	R-M2F-3	吹抜	1	R-M2F-5	吹抜	1	R-M2F-6	吹抜	1	R-1F-8	吹抜	1	R-1F-9	吹抜	1	R-M31F-1	吹抜	1	R-M31F-2	吹抜	1	R-M31F-3	吹抜	1	R-M31F-4	吹抜	1	R-K3F-7	吹抜	1	<p style="text-align: right;">添付資料 11</p> <p>開口部等からの流出流量の評価</p> <p>1. はじめに 没水高さが高くなるようなエリアについて、床開口部により流下開口を設置し、ある没水高さ以上とならないよう対策を実施している。ここでは、流下開口を設置しているエリアについて、流下開口からの流出流量が想定破損による系統流量を上回ることを確認する。</p> <p>2. 流下開口設置エリア 流下開口が設置してある区画を、表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">表1 流下開口設置区画</p> <table border="1" data-bbox="1279 1007 1861 1107"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>区画番号</th> <th>流下開口</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>原子炉建屋</td><td>3RB-D-N51</td><td>グレーチング</td><td>2</td></tr> <tr><td rowspan="2">原子炉補助建屋</td><td>3AB-H-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>3AB-H-9</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> </tbody> </table>	建屋	区画番号	流下開口	数量	原子炉建屋	3RB-D-N51	グレーチング	2	原子炉補助建屋	3AB-H-2	吹抜	1	3AB-H-9	吹抜	1	<p>【大阪】 記載方針の相違 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 泊は扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</p> <p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違 ・建屋名称、区画番号の相違。 ・泊は開運用の扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</p>
建屋	区画番号	流下開口	数量																																																																													
原子炉建屋原子炉棟	R-1F-5	扉（開運用）	2																																																																													
	R-B1F-1	扉（開運用）	2																																																																													
	R-K2F-1	扉（開運用）	2																																																																													
	R-3F-1	ハッチ（開運用）	1																																																																													
	R-2F-3	ハッチ（大物搬入口）	1																																																																													
	R-K2F-2	ハッチ（グレーチング）	1																																																																													
	R-K2F-3	ハッチ（グレーチング）	1																																																																													
	R-M2F-1	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-2	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-3	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-5	吹抜	1																																																																													
	R-M2F-6	吹抜	1																																																																													
	R-1F-8	吹抜	1																																																																													
	R-1F-9	吹抜	1																																																																													
	R-M31F-1	吹抜	1																																																																													
	R-M31F-2	吹抜	1																																																																													
	R-M31F-3	吹抜	1																																																																													
	R-M31F-4	吹抜	1																																																																													
	R-K3F-7	吹抜	1																																																																													
	建屋	区画番号	流下開口	数量																																																																												
原子炉建屋	3RB-D-N51	グレーチング	2																																																																													
原子炉補助建屋	3AB-H-2	吹抜	1																																																																													
	3AB-H-9	吹抜	1																																																																													

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																
	<p style="text-align: center;">表1 流下開口設置区画(2/2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">建屋</th> <th style="width: 20%;">区画番号</th> <th style="width: 40%;">流下開口</th> <th style="width: 20%;">数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="16">原子炉建屋付属棟</td><td>R-2F-5</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-7</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-8</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-1F-14</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B1F-8</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B1F-12</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-B2F-10</td><td>扉（開運用）</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-3F-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-3F-4</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-3F-5</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M3F-3-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-6-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-7-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-2F-8-2</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>R-M2F-9</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td rowspan="6">制御建屋</td><td>C-3F-3</td><td>床開口</td><td>1</td></tr> <tr><td>C-3F-4</td><td>床開口</td><td>1</td></tr> <tr><td>C-2F-3</td><td>床開口</td><td>3</td></tr> <tr><td></td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>C-1F-4</td><td>床開口</td><td>3</td></tr> <tr><td>C-M31F-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td rowspan="2">タービン建屋</td><td>C-M32F-1</td><td>吹抜</td><td>1</td></tr> <tr><td>T-1F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> <tr><td></td><td>T-B1F-1</td><td>扉（開運用）</td><td>2</td></tr> </tbody> </table>	建屋	区画番号	流下開口	数量	原子炉建屋付属棟	R-2F-5	扉（開運用）	1	R-2F-7	扉（開運用）	1	R-2F-8	扉（開運用）	1	R-1F-14	扉（開運用）	1	R-B1F-8	扉（開運用）	1	R-B1F-12	扉（開運用）	1	R-B2F-10	扉（開運用）	1	R-3F-2	吹抜	1	R-3F-4	吹抜	1	R-3F-5	吹抜	1	R-M3F-3-1	吹抜	1	R-2F-6-2	吹抜	1	R-2F-7-1	吹抜	1	R-2F-8-2	吹抜	1	R-M2F-9	吹抜	1	制御建屋	C-3F-3	床開口	1	C-3F-4	床開口	1	C-2F-3	床開口	3		吹抜	1	C-1F-4	床開口	3	C-M31F-1	吹抜	1	タービン建屋	C-M32F-1	吹抜	1	T-1F-1	扉（開運用）	2		T-B1F-1	扉（開運用）	2		<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <p>・建屋名称、区画番号の相違。 ・泊は開運用の扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</p>
建屋	区画番号	流下開口	数量																																																																																
原子炉建屋付属棟	R-2F-5	扉（開運用）	1																																																																																
	R-2F-7	扉（開運用）	1																																																																																
	R-2F-8	扉（開運用）	1																																																																																
	R-1F-14	扉（開運用）	1																																																																																
	R-B1F-8	扉（開運用）	1																																																																																
	R-B1F-12	扉（開運用）	1																																																																																
	R-B2F-10	扉（開運用）	1																																																																																
	R-3F-2	吹抜	1																																																																																
	R-3F-4	吹抜	1																																																																																
	R-3F-5	吹抜	1																																																																																
	R-M3F-3-1	吹抜	1																																																																																
	R-2F-6-2	吹抜	1																																																																																
	R-2F-7-1	吹抜	1																																																																																
	R-2F-8-2	吹抜	1																																																																																
	R-M2F-9	吹抜	1																																																																																
	制御建屋	C-3F-3	床開口	1																																																																															
C-3F-4		床開口	1																																																																																
C-2F-3		床開口	3																																																																																
		吹抜	1																																																																																
C-1F-4		床開口	3																																																																																
C-M31F-1		吹抜	1																																																																																
タービン建屋	C-M32F-1	吹抜	1																																																																																
	T-1F-1	扉（開運用）	2																																																																																
	T-B1F-1	扉（開運用）	2																																																																																
	<p>3. 流下開口（扉）からの流出量</p> <p>(1) 扉からの流出量</p> <p>常時開の扉開口を想定し、カーブを乗り越えて溢水が伝播する際の越流水深と越流量との関係式について、「第四版土木工学ハンドブックⅠ，土木学会編，技報堂出版」より，図1のような長方堰の流量算出式を参照し，以下の式を利用した。</p>		<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを先行PWRのまとめ資料に記載がないことをもって確認している。）</p>																																																																																

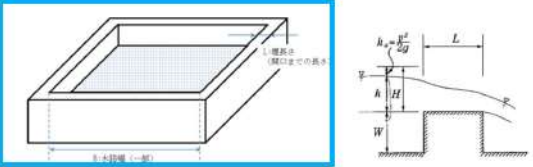
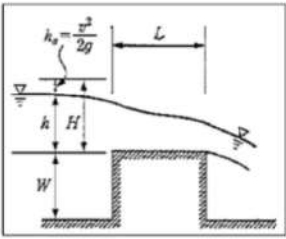
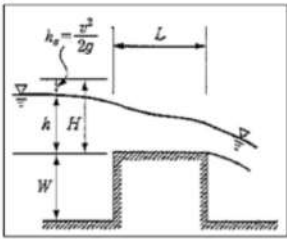
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
	<div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>$Q=C \times B \times h^{\frac{3}{2}}$ …… ①式</p> <p>ここで、$0.4 \leq h/L \leq (1.5 \sim 1.9)$; $C=1.444+0.352(\frac{h}{L})$</p> <p>Q：越流量(m³/s) B：堰の幅(m) h：越流水深(m) C：流量係数(m^{3/2}/s) L：堰長さ(m) W：堰高さ(m)</p>  </div> <p style="text-align: center;">図1 長方堰の越流量</p> <p>(2) 算出結果</p> <p>前述の式から越流量を算出した結果を表2に示す。没水高さ0.3mの場合、扉（1箇所）での越流水深は0.17mとなり、越流量は331m³/hとなる。原子炉建屋について、扉からの排出を期待する系統のうち、原子炉建屋原子炉棟における最大漏えい流量は263m³/h（高圧炉心スプレイ系）、原子炉建屋付属棟における最大漏えい流量は201m³/h（原子炉補機冷却水系）であり、扉からの流出量が上回っているため、没水高さ0.3m以上に達することはない。</p> <p style="text-align: center;">表2 扉の諸元と越流量算出結果（没水高さ0.3mの場合）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>記号</th> <th>値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堰高さ【カーブ高さ】(m)</td> <td>W</td> <td>0.13</td> <td></td> </tr> <tr> <td>堰長さ【カーブ奥行き】(m)</td> <td>L</td> <td>0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>越流水深(m)</td> <td>h</td> <td>0.17</td> <td></td> </tr> <tr> <td>堰の幅【開口幅】(m)</td> <td>B</td> <td>0.8</td> <td>躯体開口は1m</td> </tr> <tr> <td>越流量(m³/h)</td> <td>Q</td> <td>331</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	記号	値	備考	堰高さ【カーブ高さ】(m)	W	0.13		堰長さ【カーブ奥行き】(m)	L	0.3		越流水深(m)	h	0.17		堰の幅【開口幅】(m)	B	0.8	躯体開口は1m	越流量(m ³ /h)	Q	331			<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊は扉から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PRRにおいても同様であることを資料に記載がないことをもって確認している。）</p>
項目	記号	値	備考																								
堰高さ【カーブ高さ】(m)	W	0.13																									
堰長さ【カーブ奥行き】(m)	L	0.3																									
越流水深(m)	h	0.17																									
堰の幅【開口幅】(m)	B	0.8	躯体開口は1m																								
越流量(m ³ /h)	Q	331																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																
	<p>4. 流下開口（床開口）からの流出量</p> <p>建屋内の床面に開口を設置する対策について、開口部からの流出流量が想定破損時による系統流量を上回ることを確認する。</p> <p>(1) 評価条件</p> <ul style="list-style-type: none"> 床開口は満水流れとして評価を実施する。 下記に示す評価式のとおり、流量は落差が大きいくほど大きくなるため、スラブ上の滞留深さは考慮せず、落差としてはスラブ厚さを考慮する。 床開口は円形とし、φ100mmと設定する。 <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> $Q = A \sqrt{\frac{2gH}{\lambda \frac{L}{d} + \xi + 1}} \dots\dots \text{②式}$ <p>Q：流量(m³/s) A：断面積(m²) H：落差(m) d：内径(m) L：直管長(m) ξ：損失係数 λ：摩擦係数 g：重力加速度(m/s²)</p> </div> <p>(2) 算出結果</p> <p>表3の結果より、床開口1箇所あたりの流出流量は52.8m³/hとなった。この条件をもとに、想定破損時の系統流量が排出可能な必要開口数を表4に示す。必要開口数を設置することにより、床面からの開口から系統流量が排出可能であることを確認した。</p> <p style="text-align: center;">表3 床開口1箇所あたりの流出流量算出結果</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>記号</th> <th>値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内径(m)</td> <td>d</td> <td>0.10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>摩擦係数</td> <td>λ</td> <td>0.06</td> <td>最も粗度の高いコンクリート管（管壁の粗度0.03）を想定</td> </tr> <tr> <td>直管長(m)</td> <td>L</td> <td>0.3</td> <td>スラブ厚さ</td> </tr> <tr> <td>損失係数</td> <td>ξ</td> <td>0.5</td> <td>管路入口における損失は、最も損失が大きい角端を想定</td> </tr> <tr> <td>重力加速度(m/s²)</td> <td>g</td> <td>9.80665</td> <td></td> </tr> <tr> <td>落差(m)</td> <td>H</td> <td>0.3</td> <td>スラブ上の滞留深さは考慮せずスラブ厚さのみを考慮</td> </tr> <tr> <td>流量(m³/h)</td> <td>Q</td> <td>52.8</td> <td>開口部1箇所からの流出流量</td> </tr> </tbody> </table>	項目	記号	値	備考	内径(m)	d	0.10		摩擦係数	λ	0.06	最も粗度の高いコンクリート管（管壁の粗度0.03）を想定	直管長(m)	L	0.3	スラブ厚さ	損失係数	ξ	0.5	管路入口における損失は、最も損失が大きい角端を想定	重力加速度(m/s ²)	g	9.80665		落差(m)	H	0.3	スラブ上の滞留深さは考慮せずスラブ厚さのみを考慮	流量(m ³ /h)	Q	52.8	開口部1箇所からの流出流量		<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>泊は円形の床開口から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。（先行PWRにおいても同様であることを資料に記載がないことをもって確認している。）</p>
項目	記号	値	備考																																
内径(m)	d	0.10																																	
摩擦係数	λ	0.06	最も粗度の高いコンクリート管（管壁の粗度0.03）を想定																																
直管長(m)	L	0.3	スラブ厚さ																																
損失係数	ξ	0.5	管路入口における損失は、最も損失が大きい角端を想定																																
重力加速度(m/s ²)	g	9.80665																																	
落差(m)	H	0.3	スラブ上の滞留深さは考慮せずスラブ厚さのみを考慮																																
流量(m ³ /h)	Q	52.8	開口部1箇所からの流出流量																																

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																	
<p>大飯発電所3/4号炉</p>	<p>表4 想定破損時の系統流量が排出可能な必要開口数</p> <table border="1" data-bbox="703 220 1265 370"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>区画内系統漏えい流量(m³/h)*</th> <th>床開口数</th> <th>床開口からの流出流量(m³/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C-3F-3</td> <td>20.1(消火系)</td> <td>1</td> <td>52.8</td> </tr> <tr> <td>C-3F-4</td> <td>9.1(所内用水)</td> <td>1</td> <td>52.8</td> </tr> <tr> <td>C-2F-3</td> <td rowspan="2">155 (BWC)</td> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2">158.4</td> </tr> <tr> <td>C-1F-4</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 区画内系統漏えい流量(m³/h)の値は、保守的に当該区画内を通過する配管口径ではなく、当該系統における最大口径を用いて評価した値</p>	区画番号	区画内系統漏えい流量(m³/h)*	床開口数	床開口からの流出流量(m³/h)	C-3F-3	20.1(消火系)	1	52.8	C-3F-4	9.1(所内用水)	1	52.8	C-2F-3	155 (BWC)	3	158.4	C-1F-4	<p>泊発電所3号炉</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊は円形の床開口から溢水が流出し、没水水位を抑制することに期待していない。(先行PWRにおいても同様であることを資料に記載がないことをもって確認している。)</p>
区画番号	区画内系統漏えい流量(m³/h)*	床開口数	床開口からの流出流量(m³/h)																	
C-3F-3	20.1(消火系)	1	52.8																	
C-3F-4	9.1(所内用水)	1	52.8																	
C-2F-3	155 (BWC)	3	158.4																	
C-1F-4																				
<p>【島根2】 まとめ資料 p.9条-別添1-補足 4-1 より抜粋 1. 機器搬入ハッチ等の開口部からの排出流量 1.1 機器搬入ハッチ等の開口部からの排出流量 一般的な機器搬入ハッチの形状を想定し、以下の式を利用して機器搬入ハッチ等の開口部からの排出流量を算出する。 開口部概略図を図1-1に示す。(参考文献「土木学会 水理公式集 平成11年度版」)</p> $Q_{out} = C_{out} \times B \times h^{\frac{3}{2}} \dots\dots\dots (1)$ $C_{out} = 1.642 \times \left(\frac{h}{L}\right)^{0.022} \dots\dots\dots (2)$ <p> Q_{out} : 排出流量 [m³/s] B : 開口の幅 [m] C_{out} : 排出係数 [m^{1/2}/s] h : 溢水水位 [m] L : 開口までの長さ [m] W : 堰高さ [m] </p>  <p>図1-1 開口部概略図</p>	<p>5. 流下開口（ハッチ、吹抜）からの流出量 「3. 流下開口（扉）からの流出量」より再掲 3. 流下開口（扉）からの流出量 (1) 扉からの流出量 常時開の扉開口を想定し、カーブを乗り越えて溢水が伝播する際の越流水深と越流量との関係式について、「第四版土木工学ハンドブック I, 土木学会編, 技報堂出版」より、図1のような長方堰の流量算出式を参照し、以下の式を利用した。</p> $Q = C \times B \times h^{\frac{3}{2}} \dots\dots\dots \text{①式}$ <p>ここで、$0.4 \leq h/L \leq (1.5 \sim 1.9)$; $C = 1.444 + 0.352 \left(\frac{h}{L}\right)$</p> <p> Q : 越流量 [m³/s] B : 堰の幅 [m] h : 越流水深 [m] C : 流量係数 [m^{1/2}/s] L : 堰長さ [m] W : 堰高さ [m] </p>  <p>図1 長方堰の越流量</p>	<p>3. 流下開口（グレーチング、吹抜）からの流出量 (1) グレーチング、吹抜からの流出量 グレーチング、吹抜の開口を想定し、堰を乗り越えて溢水が伝播する際の越流水深と越流量との関係式について、「土木学会 水理公式集（平成11年版）」より、図1のような長方堰の流量算出式を参照し、以下の式を利用した。</p> $Q = C \times B \times h^{\frac{3}{2}} \dots\dots\dots \text{①式}$ <p>ここで、$0 < h/L \leq 0.1$; $C = 1.642 \left(\frac{h}{L}\right)^{0.022}$</p> <p> Q : 越流量 [m³/s] B : 開口の幅 [m] h : 越流水深 [m] C : 流量係数 [m^{1/2}/s] L : 堰長さ [m] W : 堰高さ [m] </p>  <p>図1 長方堰の越流量</p>	<p>【女川】 <u>記載表現の相違</u> <u>記載方針の相違</u> ・泊は扉開口からの流出に期待しないため、本項において記載した。 ・女川は「3. 流下開口（扉）からの流出量」で左記の評価式を記載しており、ハッチ、吹抜からの流出流量についても左記の評価式を利用することを後述している。 また、女川でもハッチ、吹抜について、堰を考慮して評価を実施しているため、女川の「3. 流下開口（扉）からの流出量」の記載をグレーチング、ハッチに置き換えて記載する。 ・文献は異なるが利用している式に相違はない。(泊は島根と同様の文献を参照している。)</p> <p><u>設計方針の相違</u> 堰長さの保守性により、島根と同様の流出係数算出式に限定される。(島根と同様)</p> <p>【島根】 <u>記載方針の相違</u> 流出量の算出における、構文については、女川を参照し記載する。 <u>記載表現の相違</u></p>																	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p.9条-別添1-補足4-2より抜粋 なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>	<p>(1) 流下開口（ハッチ、吹抜）からの流出量評価の前提条件 ハッチ、吹抜からの流出量について、①式を使用して算出する。 一部、開口周囲にカーブがない箇所もあるが、ここでは保守的にカーブ高さ、カーブ幅を仮定した場合の流出量を算出する。 また、ハッチについては、開口4辺のうち、2辺から流出していくこととして算出する。 表5にハッチ、吹抜の開口条件を示す。</p>	<p>(2) 流下開口（グレーチング、吹抜）からの流出量評価の前提条件 グレーチング、吹抜からの流出量について、①式を使用して算出する。 一部、開口周囲に堰がない箇所もあるが、ここでは保守的に堰高さ、堰長さを仮定した場合の流出量を算出する。 なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。 表2にグレーチング、吹抜の開口条件を示す。</p>	<p>【女川】 記載表現の相違 【女川】 設計方針の相違 開口の位置が部屋の端にあることや開口の幅が1辺のみであることを踏まえ、「開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。」（島根記載）を参考にし、泊も同様に、開口の幅については、流出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料11）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																					
<p>【島根2号炉】</p> <p>まとめ資料 p.9条-別添2-補足4-2より抜粋</p> <p>表1-1 開口部の各パラメータ値及び排出流量算出結果</p> <table border="1" data-bbox="136 320 656 453"> <tr><td>B：開口の幅 [m]</td><td>12.5</td></tr> <tr><td>h：溢水水位 [m]</td><td>0.32</td></tr> <tr><td>L：開口までの長さ [m]</td><td>50</td></tr> <tr><td>h/L</td><td>0.0064</td></tr> <tr><td>C_{co}：排出係数 [m^{1/2}/s]</td><td>1.47</td></tr> <tr><td>Q_{co}：排出流量 [m³/h]</td><td>11,988</td></tr> </table> <p>まとめ資料 p.9条-別添1-補足4-1より抜粋</p> <p>なお、開口までの長さLを長くするほどに排出流量が少なくなることから、保守的に原子炉建物の二次格納施設の1辺に相当する50mとし、床面を長頂堰とみなして算出する。</p>	B：開口の幅 [m]	12.5	h：溢水水位 [m]	0.32	L：開口までの長さ [m]	50	h/L	0.0064	C _{co} ：排出係数 [m ^{1/2} /s]	1.47	Q _{co} ：排出流量 [m ³ /h]	11,988	<p>表5 ハッチ、吹抜の開口条件(1/2)</p> <table border="1" data-bbox="703 209 1265 635"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>開口数</th> <th>開口幅 (m)</th> <th>カーブ高さ (m)</th> <th>カーブ幅 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-3F-1</td><td>1</td><td>6.5×5.5</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-2F-3</td><td>1</td><td>6.5×5.5</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4F-2</td><td>1</td><td>3.0×3.0</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4F-3</td><td>1</td><td>3.1×3.1</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4F-1</td><td>1</td><td>11.1×2.2×2.2</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4F-2</td><td>1</td><td>—※1</td><td>—※1</td><td>—※1</td></tr> <tr><td>R-4F-3</td><td>1</td><td>3.3×1.05×3.3</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4F-5</td><td>1</td><td>3.9</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4F-6</td><td>1</td><td>—※1</td><td>—※1</td><td>—※1</td></tr> <tr><td>R-1F-8</td><td>1</td><td>6.5以上</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-1F-9</td><td>1</td><td>2.7</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>R-4DF-1</td><td>1</td><td>3.1 (4.4) ※2</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4DF-2</td><td>1</td><td>9.1以上</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4DF-3</td><td>1</td><td>2.5 (4.4) ※2</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4DF-4</td><td>1</td><td>5.6</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4DF-7</td><td>1</td><td>—※1</td><td>—※1</td><td>—※1</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 床なし区画 ※2 開口が2辺のため、小さいほうの値で評価</p>	区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)	R-3F-1	1	6.5×5.5	0.13	0.25	R-2F-3	1	6.5×5.5	0.13	0.25	R-4F-2	1	3.0×3.0	0.13	0.25	R-4F-3	1	3.1×3.1	0.13	0.25	R-4F-1	1	11.1×2.2×2.2	0.13	0.2	R-4F-2	1	—※1	—※1	—※1	R-4F-3	1	3.3×1.05×3.3	0.13	0.25	R-4F-5	1	3.9	0.13	0.2	R-4F-6	1	—※1	—※1	—※1	R-1F-8	1	6.5以上	0.13	0.25	R-1F-9	1	2.7	0.13	0.25	R-4DF-1	1	3.1 (4.4) ※2	0.13	0.2	R-4DF-2	1	9.1以上	0.13	0.2	R-4DF-3	1	2.5 (4.4) ※2	0.13	0.2	R-4DF-4	1	5.6	0.13	0.2	R-4DF-7	1	—※1	—※1	—※1	<p>表2 グレーチング、吹抜の開口条件</p> <table border="1" data-bbox="1285 248 1854 397"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>開口数</th> <th>開口の幅 (m)</th> <th>堰高さ (m)</th> <th>堰長さ (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3RB-D-N51</td><td>2※1</td><td>2.075</td><td>0.1</td><td>76.6※2</td></tr> <tr><td>3AB-H-2</td><td>1</td><td>1.35</td><td>0.1</td><td>56.2※2</td></tr> <tr><td>3AB-H-9</td><td>1</td><td>1.35</td><td>0.1</td><td>56.2※2</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性を考慮して、評価上は開口部1箇所を想定 ※2 開口までの長さLを長くするほどに感流量が少なくなることから、保守的に建屋の長辺に相当する値とし、床面を長頂堰とみなして算出</p>	区画番号	開口数	開口の幅 (m)	堰高さ (m)	堰長さ (m)	3RB-D-N51	2※1	2.075	0.1	76.6※2	3AB-H-2	1	1.35	0.1	56.2※2	3AB-H-9	1	1.35	0.1	56.2※2	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 区画番号の相違。開口数、開口の幅、堰高さ、堰長さについては評価条件の相違。 泊の※1について、開口部は2箇所あるが、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性を考慮して、保守的に開口部1箇所を想定して評価を実施している。 泊の※2について、島根の記載を参考にし、開口までの長さを長くするほどに排出流量が少なくなることから、保守的に建屋の長辺を堰長さとして設定している。 女川の※1の床なし区画は、泊の開口条件にはない。 女川の※2の保守性については、泊では「排出を期待できる開口の幅の50%」としている。（島根と同様） <p>【島根】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 堰長さの保守性の設定について、島根では原子炉建物の二次格納施設の1辺に相当する50mを用いている。一方で、泊では原子炉建屋、原子炉補助建屋それぞれの長辺として設定しており、プラント設計違いによる評価条件の相違であり、考え方は同様である。
B：開口の幅 [m]	12.5																																																																																																																							
h：溢水水位 [m]	0.32																																																																																																																							
L：開口までの長さ [m]	50																																																																																																																							
h/L	0.0064																																																																																																																							
C _{co} ：排出係数 [m ^{1/2} /s]	1.47																																																																																																																							
Q _{co} ：排出流量 [m ³ /h]	11,988																																																																																																																							
区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)																																																																																																																				
R-3F-1	1	6.5×5.5	0.13	0.25																																																																																																																				
R-2F-3	1	6.5×5.5	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4F-2	1	3.0×3.0	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4F-3	1	3.1×3.1	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4F-1	1	11.1×2.2×2.2	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4F-2	1	—※1	—※1	—※1																																																																																																																				
R-4F-3	1	3.3×1.05×3.3	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4F-5	1	3.9	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4F-6	1	—※1	—※1	—※1																																																																																																																				
R-1F-8	1	6.5以上	0.13	0.25																																																																																																																				
R-1F-9	1	2.7	0.13	0.25																																																																																																																				
R-4DF-1	1	3.1 (4.4) ※2	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4DF-2	1	9.1以上	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4DF-3	1	2.5 (4.4) ※2	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4DF-4	1	5.6	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4DF-7	1	—※1	—※1	—※1																																																																																																																				
区画番号	開口数	開口の幅 (m)	堰高さ (m)	堰長さ (m)																																																																																																																				
3RB-D-N51	2※1	2.075	0.1	76.6※2																																																																																																																				
3AB-H-2	1	1.35	0.1	56.2※2																																																																																																																				
3AB-H-9	1	1.35	0.1	56.2※2																																																																																																																				
	<p>表5 ハッチ、吹抜の開口条件(2/2)</p> <table border="1" data-bbox="703 799 1265 1107"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>開口数</th> <th>開口幅 (m)</th> <th>カーブ高さ (m)</th> <th>カーブ幅 (m)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-3F-2</td><td>1</td><td>2.7 (5.1) ※1</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-3F-4</td><td>1</td><td>2.7 (3.0) ※1</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-3F-5</td><td>1</td><td>6.1</td><td>0.13</td><td>0.2</td></tr> <tr><td>R-4DF-3-1</td><td>1</td><td>3.85</td><td>0.13※2</td><td>0.30※2</td></tr> <tr><td>R-2F-6-2</td><td>1</td><td>4.1×1.6×4.1</td><td>0.13</td><td>0.15</td></tr> <tr><td>R-2F-7-1</td><td>1</td><td>4.7×1.5</td><td>0.13</td><td>0.15</td></tr> <tr><td>R-2F-8-2</td><td>1</td><td>4.1×1.6×4.1</td><td>0.13</td><td>0.15</td></tr> <tr><td>R-4DF-9</td><td>1</td><td>4.0以上</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>C-2F-3</td><td>1</td><td>3.9</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>C-4DF-1</td><td>1</td><td>4.4×1.2</td><td>0.13</td><td>0.25</td></tr> <tr><td>C-4DF-1</td><td>1</td><td>6.5以上</td><td>0.13※2</td><td>0.30※2</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 開口が2辺のため、小さいほうの値で評価 ※2 保守的に設定</p>	区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)	R-3F-2	1	2.7 (5.1) ※1	0.13	0.2	R-3F-4	1	2.7 (3.0) ※1	0.13	0.2	R-3F-5	1	6.1	0.13	0.2	R-4DF-3-1	1	3.85	0.13※2	0.30※2	R-2F-6-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15	R-2F-7-1	1	4.7×1.5	0.13	0.15	R-2F-8-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15	R-4DF-9	1	4.0以上	0.13	0.25	C-2F-3	1	3.9	0.13	0.25	C-4DF-1	1	4.4×1.2	0.13	0.25	C-4DF-1	1	6.5以上	0.13※2	0.30※2																																																											
区画番号	開口数	開口幅 (m)	カーブ高さ (m)	カーブ幅 (m)																																																																																																																				
R-3F-2	1	2.7 (5.1) ※1	0.13	0.2																																																																																																																				
R-3F-4	1	2.7 (3.0) ※1	0.13	0.2																																																																																																																				
R-3F-5	1	6.1	0.13	0.2																																																																																																																				
R-4DF-3-1	1	3.85	0.13※2	0.30※2																																																																																																																				
R-2F-6-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15																																																																																																																				
R-2F-7-1	1	4.7×1.5	0.13	0.15																																																																																																																				
R-2F-8-2	1	4.1×1.6×4.1	0.13	0.15																																																																																																																				
R-4DF-9	1	4.0以上	0.13	0.25																																																																																																																				
C-2F-3	1	3.9	0.13	0.25																																																																																																																				
C-4DF-1	1	4.4×1.2	0.13	0.25																																																																																																																				
C-4DF-1	1	6.5以上	0.13※2	0.30※2																																																																																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【島根2号炉】 まとめ資料p.9条-別添1-補足4-2より抜粋 結果としては、溢水水位が0.32m（この区画の最も低い浸水防護設備の高さ）にて排出流量は11,900m³/h程度となり、これは系統からの流出に対し、機器搬入ハッチ等の開口部からの排水を期待する系統の中の最大流量337m³/h（原子炉補機冷却系）よりも上回っているため、没水高さがこの区画の最も低い浸水防護設備の高さ以上となることはない。</p>	<p>（2）算出結果 流下開口（ハッチ、吹抜）からの流出量に関して、越流水深を0.17mと仮定（没水高さ0.3m）した場合の算出結果を表6に示す。 越流量は十分に大きく、没水高さは0.3mを超えないことを確認した。</p>	<p>（3）算出結果 流下開口（グレーチング、吹抜）からの流出量の算出結果を表3に示す。 結果としては、3RB-D-N51では溢水水位が0.5m（この区画の最も低い溢水防護対象設備の機能喪失高さ）にて越流量は2,764m³/hとなり、これは系統からの流出に対し、当該開口部からの排水を期待する系統の中の最大流量2,091m³/h（主給水系）よりも上回っている。 また、3AB-H-2及び3AB-H-9では溢水水位が0.8m（この区画の最も低い溢水防護対象設備の機能喪失高さ）にて越流量4,243m³/hとなり、これは系統からの流出に対し、当該開口部からの排水を期待する系統の中の最大流量120m³/h（化学体積制御系（充てん配管））よりも上回っている。 以上より、没水高さがこれらの区画の最も低い溢水防護対象設備の機能喪失高さ以上となることはない。</p>	<p>【女川】 記載表現の相違 記載方針の相違 泊では、島根の構文を参考にして、結果を文章で示した後に表を掲載する。</p> <p>【島根】 設計方針の相違 ・溢水水位、最大流量、系統、越流量は評価条件の相違。 ・島根では浸水防護設備の高さに対して越流量を算出しているのに対して、泊では溢水防護対象設備の機能喪失高さに対して越流量を算出している。 記載方針の相違 ・2つの評価結果を示すため、区画を個別に記載する。 ・島根の1つの評価結果の構文を2つの評価結果を示すために、2回用いることによる構文の相違。 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料11）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p.9 条-別添1-補足4-2より抜粋 なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>	<p>表6 ハッチ、吹抜からの越流量算出結果(1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>種別</th> <th>越流量 (m³/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-3F-1</td><td>ハッチ</td><td>4672^{※1}</td></tr> <tr><td>R-2F-3</td><td>ハッチ</td><td>4672^{※1}</td></tr> <tr><td>R-B2F-2</td><td>ハッチ</td><td>2548^{※1}</td></tr> <tr><td>R-B2F-3</td><td>ハッチ</td><td>2633^{※1}</td></tr> <tr><td>R-M2F-1</td><td>吹抜</td><td>4882</td></tr> <tr><td>R-M2F-3</td><td>吹抜</td><td>1401</td></tr> <tr><td>R-M2F-5</td><td>吹抜</td><td>1715</td></tr> <tr><td>R-1F-8</td><td>吹抜</td><td>2761</td></tr> <tr><td>R-1F-9</td><td>吹抜</td><td>1146</td></tr> <tr><td>R-MB1F-1</td><td>吹抜</td><td>1363</td></tr> <tr><td>R-MB1F-2</td><td>吹抜</td><td>4002</td></tr> <tr><td>R-MB1F-3</td><td>吹抜</td><td>1099</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 開口4辺のうち、小さい2辺からの流出を想定</p>	区画番号	種別	越流量 (m ³ /h)	R-3F-1	ハッチ	4672 ^{※1}	R-2F-3	ハッチ	4672 ^{※1}	R-B2F-2	ハッチ	2548 ^{※1}	R-B2F-3	ハッチ	2633 ^{※1}	R-M2F-1	吹抜	4882	R-M2F-3	吹抜	1401	R-M2F-5	吹抜	1715	R-1F-8	吹抜	2761	R-1F-9	吹抜	1146	R-MB1F-1	吹抜	1363	R-MB1F-2	吹抜	4002	R-MB1F-3	吹抜	1099	<p>表3 グレーチング、吹抜からの越流量算出結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>種別</th> <th>越流量 (m³/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>3RB-D-N51</td><td>グレーチング</td><td>2,764</td></tr> <tr><td>3AB-H-2</td><td>吹抜</td><td>4,243</td></tr> <tr><td>3AB-H-9</td><td>吹抜</td><td>4,243</td></tr> </tbody> </table>	区画番号	種別	越流量 (m ³ /h)	3RB-D-N51	グレーチング	2,764	3AB-H-2	吹抜	4,243	3AB-H-9	吹抜	4,243	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・区画番号、種別、越流量の数値については、評価条件の相違。 ・女川は「開口4辺のうち、小さい2辺からの流出を想定」として いるところに対して、泊は、開口の幅については、流出を期待できる開口の幅の50%として設定する。（島根と同様）</p>
区画番号	種別	越流量 (m ³ /h)																																																				
R-3F-1	ハッチ	4672 ^{※1}																																																				
R-2F-3	ハッチ	4672 ^{※1}																																																				
R-B2F-2	ハッチ	2548 ^{※1}																																																				
R-B2F-3	ハッチ	2633 ^{※1}																																																				
R-M2F-1	吹抜	4882																																																				
R-M2F-3	吹抜	1401																																																				
R-M2F-5	吹抜	1715																																																				
R-1F-8	吹抜	2761																																																				
R-1F-9	吹抜	1146																																																				
R-MB1F-1	吹抜	1363																																																				
R-MB1F-2	吹抜	4002																																																				
R-MB1F-3	吹抜	1099																																																				
区画番号	種別	越流量 (m ³ /h)																																																				
3RB-D-N51	グレーチング	2,764																																																				
3AB-H-2	吹抜	4,243																																																				
3AB-H-9	吹抜	4,243																																																				
<p>【島根2号炉】 まとめ資料 p.9 条-別添1-補足4-2より抜粋 なお、開口の幅については、周囲の壁等の状況や開口角部で流出が阻害される可能性も考慮し、排出を期待できる開口の幅の50%として設定する。</p>	<p>表6 ハッチ、吹抜からの越流量算出結果(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区画番号</th> <th>種別</th> <th>越流量 (m³/h)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>R-MB1F-4</td><td>吹抜</td><td>2463</td></tr> <tr><td>R-3F-2</td><td>吹抜</td><td>1187</td></tr> <tr><td>R-3F-4</td><td>吹抜</td><td>1187</td></tr> <tr><td>R-3F-5</td><td>吹抜</td><td>2683</td></tr> <tr><td>R-M3F-3-1</td><td>吹抜</td><td>1596</td></tr> <tr><td>R-2F-6-2</td><td>吹抜</td><td>1906</td></tr> <tr><td>R-2F-7-1</td><td>吹抜</td><td>1395^{※1}</td></tr> <tr><td>R-2F-8-2</td><td>吹抜</td><td>1906</td></tr> <tr><td>R-M2F-9</td><td>吹抜</td><td>1699</td></tr> <tr><td>C-2F-3</td><td>吹抜</td><td>1656</td></tr> <tr><td>C-MB1F-1</td><td>吹抜</td><td>1019^{※1}</td></tr> <tr><td>C-MB2F-1</td><td>吹抜</td><td>2695</td></tr> </tbody> </table> <p>※1 開口4辺のうち、小さい2辺からの流出を想定</p>	区画番号	種別	越流量 (m ³ /h)	R-MB1F-4	吹抜	2463	R-3F-2	吹抜	1187	R-3F-4	吹抜	1187	R-3F-5	吹抜	2683	R-M3F-3-1	吹抜	1596	R-2F-6-2	吹抜	1906	R-2F-7-1	吹抜	1395 ^{※1}	R-2F-8-2	吹抜	1906	R-M2F-9	吹抜	1699	C-2F-3	吹抜	1656	C-MB1F-1	吹抜	1019 ^{※1}	C-MB2F-1	吹抜	2695														
区画番号	種別	越流量 (m ³ /h)																																																				
R-MB1F-4	吹抜	2463																																																				
R-3F-2	吹抜	1187																																																				
R-3F-4	吹抜	1187																																																				
R-3F-5	吹抜	2683																																																				
R-M3F-3-1	吹抜	1596																																																				
R-2F-6-2	吹抜	1906																																																				
R-2F-7-1	吹抜	1395 ^{※1}																																																				
R-2F-8-2	吹抜	1906																																																				
R-M2F-9	吹抜	1699																																																				
C-2F-3	吹抜	1656																																																				
C-MB1F-1	吹抜	1019 ^{※1}																																																				
C-MB2F-1	吹抜	2695																																																				

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【大飯3/4号炉】 まとめ資料 p.2-9-14 より抜粋 ・具体的には、溢水防護区画内で発生する溢水に対しては、床ドレン、床面開口部及び床貫通部、壁貫通部、扉から他区画への流出は想定しない条件で溢水経路を設定し、溢水防護区画内の溢水水位を算出する。</p>	<p>6. 床ドレンからの排水について 女川2号炉内部溢水影響評価において、床ドレンからの流出を考慮する場合については以下のとおりとする。 (1) 評価条件 ・同一区画に目皿が複数ある場合は、床ドレン一箇所の閉塞を考慮した上で、他の床ドレン配管からの単位時間あたりの流出を考慮する。 ・床ドレンからの流出流量は、開口の有効面積と当該区画の水位を用いて以下の式より算出する。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>$Q = AC\sqrt{2gH}$ …… ③式</p> <p>Q：流量(m³/s) A：開口の有効面積(m²) H：当該区画の水位(m) C：流出流量損失係数 (=0.82) g：重力加速度 (m/s²)</p> </div> <p>7. 今後の運用管理について 女川原子力発電所原子炉施設保安規定に基づく規定文書として制定する「内部溢水対応要領書（仮称）」に、以下の内容を明記することとする。 なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p> <p>(1) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部は、それがわかるように現場に表示を行うこと。</p> <p>(2) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部へ落下防止対策（ネットの設置、フェンスの設置等）を実施する場合は、カーブからの越流に影響を及ぼさないように配慮すること。</p>	<p>4. 今後の運用管理について 泊発電所原子炉施設保安規定に基づく規定文書として制定する「内部溢水対応要領（仮称）」に、以下の内容を明記することとする。 なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p> <p>(1) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部は、それがわかるように現場に表示を行うこと。</p> <p>(2) 内部溢水影響評価において、流下を考慮している開口部へ落下防止対策（ネットの設置、フェンスの設置等）を実施する場合は、堰からの越流に影響を及ぼさないように配慮すること。</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊は床ドレンからの排水に期待せずに溢水水位を算出し、没水影響評価を実施している。（大飯と同様）</p> <p>【女川】 <u>記載表現の相違</u></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料3-2</p> <p>溢水ガイド付録Aにしたがい、高エネルギー配管及び低エネルギー配管を以下のフローによって分類した。</p> <p style="text-align: center;">図1 高エネルギー配管と低エネルギー配管の分類フロー</p>	<p style="text-align: right;">添付資料13</p> <p>溢水源となる対象系統について</p> <p>1. 溢水源となる対象系統の抽出及び分類</p> <p>溢水ガイドの定義に基づき、破損を想定する系統について、図1のフローに従い分類した。分類の結果について表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">図1 高エネルギー配管と低エネルギー配管の分類フロー</p> <p><small>※1 防護対象設備が設置されている建屋と接続している建屋内の水系配管（油系配管含む）については、防護対象設備が設置されている建屋への溢水伝播の有無を確認するため対象とする。</small></p>	<p style="text-align: right;">添付資料12</p> <p>溢水源となる対象系統について</p> <p>1. 溢水源となる対象系統の抽出及び分類</p> <p>溢水ガイドの定義に基づき、破損を想定する系統について、図1のフローに従い分類した。分類の結果について表1に示す。</p> <p style="text-align: center;">図1 高エネルギー配管と低エネルギー配管の分類フロー</p> <p><small>※1 防護対象設備が設置されている建屋と接続している建屋内の水系配管（油系配管含む）については、防護対象設備が設置されている建屋への溢水伝播の有無を確認するため対象とする。</small></p>	<p>【女川・大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記載の表現に相違があるものの、溢水ガイドに基づきフローを作成しているという点において、相違はない。 ・大阪の表現は異なるものの、対象としている配管は泊、女川と同様である。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料12）

大飯発電所3／4号炉

表2 配管破損を想定する低エネルギー配管の抽出結果

系統名
原子炉補機冷却系
格納容器スプレイ系
化学体積制御系
冷水系
1次系洗浄水系
1次系放射性ドレン系(機器ドレン)
1次系放射性ドレン系(床ドレン)
消火水系
1次系補給水系
余熱除去系
燃料取替用水系
燃料ピット冷却浄化系
安全注入系
液体廃棄物処理系
固体廃棄物処理系
補助給水系（低温配管該当部分）

女川原子力発電所2号炉

表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア
(2/6)

系統	設計条件 最高使用 圧力 (MPa)	最高使用 温度(°C)	分類		設置エリア								
			低エネ	高エネ	原子炉建屋		タービン 建屋	タービン 管理棟	補助 ボイラー 管理棟	LOIエ リア ※6	LOIエ リア ※6		
					原子炉種 別	付属機 種別						付属機 種別	設置 管理
床ドレン・化学廃液系	0.35	66	○	○									
ステームドレン系	0.34	145		○									
廃スラッジ系	0.36	66		○									
濃縮廃液系	1.37	66		○									
酸化系	1.37	95		○									
排水系	0.35	66		○									
	1.94	66		○									
	6.98	66		○									
給水系	15.49	180		○									
給水加熱器ドレン系	0.62	302		○									
原水ろ過設備	1.94	66		○									
	0.59	66		○									
排水処理設備	1.94	66		○									
	0.59	66		○									

※1 当該系統の運転期間が短いため、低エネルギー配管に分類する
 ※2 廃棄物処理エリアのみ
 ※3 排水補給水系の排水量で考慮する
 ※4 休止設備であり保有水なし
 ※5 CSTエリア：排水貯蔵タンクエリア
 ※6 LOIエリア：電源タンクエリア

泊発電所3号炉

表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア
(2/3)

系統	設計条件 運転圧力 (MPa)	運転温度 (°C)	分類		設置エリア									
			低エネ	高エネ	原子炉建屋		原子炉補助建屋		タービン 建屋	タービン 管理棟	電気変電 棟	循環水 ポンプ 建屋		
					管理	非管理	管理	非管理					タービン 発電機 建屋	タービン 管理棟
液体廃棄物処理系	1.01	80		○										
固体廃棄物処理系	1.01	40		○										
飲料採取系	0.7	46.1		○										
蒸気発生器ブローダウン系	5.6	274		○										
燃料取替用水系	0.87	40		○										
原子炉補給水系(脱塩水)	1.05	40		○										
原子炉補給水系(純水)	1.01	40		○										
補助蒸気系	0.7	170		○										
	0.1	40		○										
水消火系	1.8	49		○										
地下排水系	0.47	40		○										
飲料水系	0.51	40		○										
海水電解装置排水供給・注入系	0.61	26		○										
空調用給水系	1.0	10		○										

※1 当該系統の運転期間が短いため、低エネルギー配管に分類する

相違理由

【女川】
[記載表現の相違](#)
[設計方針の相違](#)
 ・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大飯、高浜、美浜と同様)
 ・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。
 【大飯】
[記載方針の相違](#)
 女川審査実績を反映し、表の構成を変更し、高エネルギー配管と低エネルギー配管を建屋ごとに星取表の形で抽出した。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (3/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="10">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">静水圧力 (MPa)</th> <th rowspan="2">最高使用 温度(℃)</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">原子炉建屋 付属種</th> <th colspan="2">原子炉建屋 付属種(廃棄物貯 留エリア)</th> <th colspan="2">原子炉建屋 付属種</th> <th colspan="2">タービン 建屋</th> <th colspan="2">補助 ボイラー 建屋</th> <th colspan="2">機水 ポンプ 建屋</th> <th colspan="2">LOTエ リア #6</th> </tr> <tr> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>固定子冷却給排水系</td> <td>0.86</td> <td>74</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>循環水系</td> <td>0.45</td> <td>41</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>1.15</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>1.37</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>1.15</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>燃料プール補給水系</td> <td>1.37</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>炉内用水系</td> <td>1.07</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>熱気空冷排気機</td> <td>1.27</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>実用炉給排水系</td> <td>0.85</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>熱気空冷排気機</td> <td>1.15</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>固定子冷却給排水系</td> <td>0.86</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン冷却給排水系</td> <td>0.75</td> <td>50</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン冷却給排水系</td> <td>0.69</td> <td>41</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>1.15</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>1.15</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転期間が短いため、低エネルギー配管に分類する ※2 原燃物処理エリアのみ ※3 機水冷却水系の機水量で考慮する ※4 休止設備であり保有水なし</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア										静水圧力 (MPa)	最高使用 温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋 付属種		原子炉建屋 付属種(廃棄物貯 留エリア)		原子炉建屋 付属種		タービン 建屋		補助 ボイラー 建屋		機水 ポンプ 建屋		LOTエ リア #6		管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	固定子冷却給排水系	0.86	74	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	循環水系	0.45	41	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水系	1.15	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水系	1.37	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水系	1.15	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	燃料プール補給水系	1.37	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	炉内用水系	1.07	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	熱気空冷排気機	1.27	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	実用炉給排水系	0.85	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	熱気空冷排気機	1.15	85	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	固定子冷却給排水系	0.86	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	タービン冷却給排水系	0.75	50	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	タービン冷却給排水系	0.69	41	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水系	1.15	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水系	1.15	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (3/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="10">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">運転圧力 (MPa)</th> <th rowspan="2">運転温度 (℃)</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">原子炉建屋 付属種</th> <th colspan="2">原子炉建屋 付属種(廃棄物貯 留エリア)</th> <th colspan="2">原子炉建屋 付属種</th> <th colspan="2">タービン 建屋</th> <th colspan="2">補助 ボイラー 建屋</th> <th colspan="2">機水 ポンプ 建屋</th> </tr> <tr> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> <th>管理</th> <th>井管理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>5.25</td> <td>208</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>1.2</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>0.69</td> <td>25</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>0.65</td> <td>30</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>2.0</td> <td>30</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>0.1</td> <td>30</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>3.8</td> <td>220</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>0.3</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>0.7</td> <td>26</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>1.68</td> <td>20</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>0.91</td> <td>25</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>0.11</td> <td>65</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>2.46</td> <td>223</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>1.2</td> <td>40</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>3.48</td> <td>271</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>0.65</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>機水冷却水系</td> <td>0.65</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転期間が短いため、低エネルギー配管に分類する</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア										運転圧力 (MPa)	運転温度 (℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋 付属種		原子炉建屋 付属種(廃棄物貯 留エリア)		原子炉建屋 付属種		タービン 建屋		補助 ボイラー 建屋		機水 ポンプ 建屋		管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	機水冷却水系	5.25	208	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水系	1.2	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水系	0.69	25	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水系	0.65	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水系	2.0	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水系	0.1	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水系	3.8	220	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水系	0.3	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水系	0.7	26	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水系	1.68	20	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水系	0.91	25	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水系	0.11	65	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水系	2.46	223	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水系	1.2	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水系	3.48	271	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水系	0.65	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	機水冷却水系	0.65	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大飯、高浜、美浜と同様) プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。
系統	設計条件		分類		設置エリア																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	静水圧力 (MPa)		最高使用 温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋 付属種		原子炉建屋 付属種(廃棄物貯 留エリア)		原子炉建屋 付属種		タービン 建屋		補助 ボイラー 建屋		機水 ポンプ 建屋		LOTエ リア #6																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
		管理				井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
固定子冷却給排水系	0.86	74	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
循環水系	0.45	41	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
機水冷却水系	1.15	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
機水冷却水系	1.37	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
機水冷却水系	1.15	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
燃料プール補給水系	1.37	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
炉内用水系	1.07	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
熱気空冷排気機	1.27	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
実用炉給排水系	0.85	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
熱気空冷排気機	1.15	85	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
固定子冷却給排水系	0.86	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
タービン冷却給排水系	0.75	50	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
タービン冷却給排水系	0.69	41	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
機水冷却水系	1.15	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
機水冷却水系	1.15	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
系統	設計条件		分類		設置エリア																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	運転圧力 (MPa)	運転温度 (℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋 付属種		原子炉建屋 付属種(廃棄物貯 留エリア)		原子炉建屋 付属種		タービン 建屋		補助 ボイラー 建屋		機水 ポンプ 建屋																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
					管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理	管理	井管理																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
機水冷却水系	5.25	208	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
機水冷却水系	1.2	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
機水冷却水系	0.69	25	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
機水冷却水系	0.65	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
機水冷却水系	2.0	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
機水冷却水系	0.1	30	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
機水冷却水系	3.8	220	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
機水冷却水系	0.3	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
機水冷却水系	0.7	26	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
機水冷却水系	1.68	20	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
機水冷却水系	0.91	25	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
機水冷却水系	0.11	65	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
機水冷却水系	2.46	223	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
機水冷却水系	1.2	40	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
機水冷却水系	3.48	271	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
機水冷却水系	0.65	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
機水冷却水系	0.65	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																
	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (4/6)</p> <table border="1" data-bbox="696 245 1167 1150"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="10">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">機軸使用圧力(MPa)</th> <th rowspan="2">最高使用温度(℃)</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">原子炉建屋付属棟</th> <th colspan="2">原子炉建屋付属棟(隣接施設)</th> <th colspan="2">タービン建屋</th> <th rowspan="2">補助ボイラー棟</th> <th rowspan="2">機軸ポンプ棟</th> <th rowspan="2">CSTエリア</th> <th rowspan="2">LOTエリア</th> </tr> <tr> <th>付属棟</th> <th>付属棟</th> <th>付属棟</th> <th>付属棟</th> <th>管理</th> <th>管理</th> <th>管理</th> <th>管理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蒸気発生炉スプレッド</td> <td>0.78</td> <td>50</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>凝縮器冷却水系統</td> <td>2.55</td> <td>204</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>凝縮器冷却水系統</td> <td>3.43</td> <td>300</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>凝縮器冷却水系統</td> <td>0.96</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>凝縮器冷却水系統</td> <td>1.57</td> <td>204</td> <td>○</td> <td>○*</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>炉内冷却水系統</td> <td>1.15</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機冷却水系統</td> <td>0.64</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生炉スプレッド付属棟冷却水系統</td> <td>0.64</td> <td>95 (構造鋼材) (構造鋼材は95℃以下)</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機冷却水系統</td> <td>0.96</td> <td>85</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する ※2 原簿処理エリアのみ ※3 原本冷却水系統の本水量で考慮する ※4 休止設備であり無容量なし</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア										機軸使用圧力(MPa)	最高使用温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋付属棟		原子炉建屋付属棟(隣接施設)		タービン建屋		補助ボイラー棟	機軸ポンプ棟	CSTエリア	LOTエリア	付属棟	付属棟	付属棟	付属棟	管理	管理	管理	管理	蒸気発生炉スプレッド	0.78	50	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	凝縮器冷却水系統	2.55	204	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	凝縮器冷却水系統	3.43	300	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	凝縮器冷却水系統	0.96	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	凝縮器冷却水系統	1.57	204	○	○*	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	炉内冷却水系統	1.15	85	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	非常用ディーゼル発電機冷却水系統	0.64	85	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	蒸気発生炉スプレッド付属棟冷却水系統	0.64	95 (構造鋼材) (構造鋼材は95℃以下)	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	非常用ディーゼル発電機冷却水系統	0.96	85	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大飯、高浜、美浜と同様) ・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。
系統	設計条件		分類		設置エリア																																																																																																																																																																																														
	機軸使用圧力(MPa)		最高使用温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建屋		原子炉建屋付属棟		原子炉建屋付属棟(隣接施設)		タービン建屋		補助ボイラー棟	機軸ポンプ棟	CSTエリア	LOTエリア																																																																																																																																																																																		
		付属棟				付属棟	付属棟	付属棟	管理	管理	管理	管理																																																																																																																																																																																							
蒸気発生炉スプレッド	0.78	50	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-																																																																																																																																																																																			
凝縮器冷却水系統	2.55	204	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																			
凝縮器冷却水系統	3.43	300	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																			
凝縮器冷却水系統	0.96	66	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																			
凝縮器冷却水系統	1.57	204	○	○*	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-																																																																																																																																																																																			
炉内冷却水系統	1.15	85	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-																																																																																																																																																																																			
非常用ディーゼル発電機冷却水系統	0.64	85	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-																																																																																																																																																																																			
蒸気発生炉スプレッド付属棟冷却水系統	0.64	95 (構造鋼材) (構造鋼材は95℃以下)	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																			
非常用ディーゼル発電機冷却水系統	0.96	85	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																			

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																					
	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (5/6)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="4">設置エリア</th> <th rowspan="3">補助ボイラー設置</th> <th rowspan="3">機水ポンプ室</th> <th rowspan="3">LOTエリア※6</th> <th rowspan="3">CSTエリア※5</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">機水吐出圧力(MPa)</th> <th rowspan="2">機水吐出温度(℃)</th> <th rowspan="2">高エネ</th> <th rowspan="2">低エネ</th> <th colspan="2">原子炉建造</th> <th colspan="2">塔・タービン建造</th> </tr> <tr> <th>原子炉棟</th> <th>付属棟</th> <th>付属棟(発電機島内)</th> <th>塔・タービン棟</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高圧炉心スプレッドシステム冷却設備</td> <td>0.98</td> <td>65</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン冷却設備</td> <td>0.59</td> <td>45</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン冷却設備</td> <td>0.59</td> <td>45</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン冷却設備</td> <td>0.98</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン冷却設備</td> <td>0.98</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン冷却設備</td> <td>2.16</td> <td>79</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン冷却設備</td> <td>0.38</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン冷却設備</td> <td>0.62</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン冷却設備</td> <td>0.50</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン冷却設備</td> <td>0.45</td> <td>79</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン冷却設備</td> <td>13.80</td> <td>70</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>タービン冷却設備</td> <td>0.34</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する ※2 原燃物処理エリアのみ ※3 機水供給系統の機水量で考慮する ※4 体は設備であり保水なし</p> <p>※5 CSTエリア：機水貯蔵タンクエリア ※6 LOTエリア：軽油タンクエリア</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア				補助ボイラー設置	機水ポンプ室	LOTエリア※6	CSTエリア※5	機水吐出圧力(MPa)	機水吐出温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建造		塔・タービン建造		原子炉棟	付属棟	付属棟(発電機島内)	塔・タービン棟	高圧炉心スプレッドシステム冷却設備	0.98	65	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	タービン冷却設備	0.59	45	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	タービン冷却設備	0.59	45	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	タービン冷却設備	0.98	66	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	タービン冷却設備	0.98	66	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	タービン冷却設備	2.16	79	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	タービン冷却設備	0.38	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	タービン冷却設備	0.62	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	タービン冷却設備	0.50	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	タービン冷却設備	0.45	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	タービン冷却設備	13.80	70	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	タービン冷却設備	0.34	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-		<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違</p> <p>・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。(大飯、高浜、美浜と同様)</p> <p>・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。</p>
系統	設計条件		分類		設置エリア				補助ボイラー設置	機水ポンプ室									LOTエリア※6	CSTエリア※5																																																																																																																																																																				
	機水吐出圧力(MPa)		機水吐出温度(℃)	高エネ	低エネ	原子炉建造		塔・タービン建造																																																																																																																																																																																
		原子炉棟				付属棟	付属棟(発電機島内)	塔・タービン棟																																																																																																																																																																																
高圧炉心スプレッドシステム冷却設備	0.98	65	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																												
タービン冷却設備	0.59	45	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																												
タービン冷却設備	0.59	45	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																												
タービン冷却設備	0.98	66	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																												
タービン冷却設備	0.98	66	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																												
タービン冷却設備	2.16	79	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-																																																																																																																																																																												
タービン冷却設備	0.38	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																												
タービン冷却設備	0.62	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																												
タービン冷却設備	0.50	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																												
タービン冷却設備	0.45	79	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																												
タービン冷却設備	13.80	70	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																												
タービン冷却設備	0.34	70	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																												

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																							
<p>補足資料3-2</p> <p>図1のフローによって低エネルギー配管を抽出した結果を表1に示す。また、通常運転時に高エネルギー状態にある運転期間が短時間であるため低エネルギー配管とした系統について、高エネルギー状態にある運転時間割合を評価した結果を表1に示す。</p>	<p>表1 低エネルギー配管・高エネルギー配管の分類と設置エリア (6/6)</p> <table border="1" data-bbox="696 252 862 1149"> <thead> <tr> <th rowspan="3">系統</th> <th colspan="2">設計条件</th> <th colspan="2">分類</th> <th colspan="4">設置エリア</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">機系使用圧力(MPa)</th> <th rowspan="2">機系使用温度(℃)</th> <th rowspan="2">高エネルギー</th> <th rowspan="2">低エネルギー</th> <th colspan="2">原子炉建屋</th> <th colspan="2">タービン建屋</th> </tr> <tr> <th>付属種</th> <th>付属種</th> <th>付属種</th> <th>付属種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>非放射線性ドレン移送系</td> <td>0.39</td> <td>66</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>炉内用水系</td> <td>0.29</td> <td>70</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 当該系統の運転時間が短いため、低エネルギー配管に分類する ※2 廃棄物処理エリアのみ ※3 復水側給水系の積水量で考慮する ※4 休止数量であり保有量なし</p> <p>※5 CSTエリア：復水貯蔵タンクエリア ※6 LOTエリア：軽油タンクエリア</p> <p>2. 高エネルギー及び低エネルギー配管の分類について ガイド付録Aには、高エネルギー配管であっても高エネルギー状態にある運転期間が短時間（プラントの通常運転時の1%より小さい）である場合には、低エネルギー配管とすることができる」と定められている。</p>	系統	設計条件		分類		設置エリア				機系使用圧力(MPa)	機系使用温度(℃)	高エネルギー	低エネルギー	原子炉建屋		タービン建屋		付属種	付属種	付属種	付属種	非放射線性ドレン移送系	0.39	66	-	○	○	-	-	-	炉内用水系	0.29	70	-	○	-	-	-	-	<p>2. 高エネルギー及び低エネルギー配管の分類について ガイド付録Aには、高エネルギー配管であっても高エネルギー状態にある運転期間が短時間（プラントの通常運転時の1%より小さい）である場合には、低エネルギー配管とすることができる」と定められている。</p>	<p>【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表1において、泊は高エネルギー配管、低エネルギー配管の分類については、溢水ガイドに記載のとおり、「運転圧力」、「運転温度」を用いている。（大飯、高浜、美浜と同様） ・プラントの相違による、建屋名称、系統名の相違。 <p>【大飯】 記載方針の相違</p> <p>女川審査実績を反映し、記載内容を変更した。大飯も高エネルギー配管を低エネルギー配管とすることを確認しており、実施内容について相違はない。</p>
系統	設計条件		分類		設置エリア																																					
	機系使用圧力(MPa)		機系使用温度(℃)	高エネルギー	低エネルギー	原子炉建屋		タービン建屋																																		
		付属種				付属種	付属種	付属種																																		
非放射線性ドレン移送系	0.39	66	-	○	○	-	-	-																																		
炉内用水系	0.29	70	-	○	-	-	-	-																																		

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料12）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																													
<p>今回、運転している期間が短いことから低エネルギー配管とした6系統について、高エネルギー状態にある運転期間の条件を満足することを確認した結果を表2に示す。</p> <p>本システムについては、通常、待機状態であるため、高エネルギー状態にある運転期間はサーベランス及び定期検査中の作業時の試運転を考慮した。なお、残留熱除去系については、定期検査中の停止時冷却モード運転も考慮した。</p> <p>なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p>	<p>今回、運転している期間が短いことから低エネルギー配管とした4系統について、高エネルギー状態にある運転期間の条件を満足することを確認した結果を表2に示す。</p> <p>本システムについては、通常、待機状態であるため、高エネルギー状態にある運転期間はサーベランス及び定期事業者検査中の作業時の試運転を考慮した。なお、余熱除去系については、定期事業者検査中の冷却運転も考慮した。</p> <p>なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p>	<p>今回、運転している期間が短いことから低エネルギー配管とした4系統について、高エネルギー状態にある運転期間の条件を満足することを確認した結果を表2に示す。</p> <p>本システムについては、通常、待機状態であるため、高エネルギー状態にある運転期間はサーベランス及び定期事業者検査中の作業時の試運転を考慮した。なお、余熱除去系については、定期事業者検査中の冷却運転も考慮した。</p> <p>なお、本事項は後段規則での対応が必要となる事項である。（別添2参照）</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計による相違 <u>記載表現の相違</u> BWRは残留熱除去系の運転モードの1つとして原子炉停止後の崩壊熱を除去する「停止時冷却モード」がある。PWRではそのような運転モード名称はないため、定期事業者検査中の「冷却」とする。</p>																																																																																													
<p>表1 低エネルギー配管を有する系統の抽出結果</p>	<p>表2 高エネルギー状態の運転期間割合算出結果</p>	<p>表2 高エネルギー状態の運転期間割合算出結果</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u></p>																																																																																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>対象範囲における使用条件</th> <th>運転時間割合※2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>格納容器スプレイ系※1</td> <td>運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃</td> <td><1%</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>冷水系</td> <td>運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系洗浄水系</td> <td>運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系放射性ドレン系（機器ドレン）</td> <td>運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系放射性ドレン系（床ドレン）</td> <td>運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>消火水系</td> <td>運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系補給水系</td> <td>運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系※1</td> <td>運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 177℃以下</td> <td><1%</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水系</td> <td>運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料ピット冷却浄化系</td> <td>運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>安全注入系※1</td> <td>運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃</td> <td><1%</td> </tr> <tr> <td>海水系</td> <td>運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>液体廃棄物処理系</td> <td>運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>固体廃棄物処理系</td> <td>運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>補助給水系※1</td> <td>運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃</td> <td><1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 通常運転時に高エネルギー状態にある運転期間が短時間であるため低エネルギー配管とした系統。 ※2 運転時間割合のうち、通常運転時の運転時間については、毎月のサーベランスの運転時間実績で評価した。格納容器スプレイ系、安全注入系及び補助給水系は事故時に動作する系統であり、定検時の調整運転等を考慮しても通常運転時に比べ十分短く、また、余熱除去ポンプの定検期間の運転時間も十分短いため、サーベランスで代表しても評価に影響しない。</p>	系統	対象範囲における使用条件	運転時間割合※2	原子炉補機冷却系	運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃	—	格納容器スプレイ系※1	運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%	化学体積制御系	運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃	—	冷水系	運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃	—	1次系洗浄水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—	1次系放射性ドレン系（機器ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—	1次系放射性ドレン系（床ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—	消火水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—	1次系補給水系	運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃	—	余熱除去系※1	運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 177℃以下	<1%	燃料取替用水系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—	燃料ピット冷却浄化系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—	安全注入系※1	運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%	海水系	運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃	—	液体廃棄物処理系	運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃	—	固体廃棄物処理系	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—	補助給水系※1	運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃	<1%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>運転時間割合</th> <th>計算式 (X^{※1}/Y^{※2})</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ほう酸水注入系</td> <td>(A):0.05% (B):0.05%</td> <td>(A):(63 h)/(133921 h)=0.05% < 1% (B):(63 h)/(133921 h)=0.05% < 1%</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系</td> <td>(A):0.03% (B):0.02% (C):0.02%</td> <td>(A):(28 h)/(133921 h)=0.03% < 1% (B):(23 h)/(133921 h)=0.02% < 1% (C):(14 h)/(133921 h)=0.02% < 1%</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレイ系</td> <td>0.10%</td> <td>(133 h)/(133921 h)=0.10% < 1%</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系</td> <td>0.15%</td> <td>(189 h)/(133921 h)=0.15% < 1%</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系</td> <td>0.08%</td> <td>(99 h)/(133921 h)=0.08% < 1%</td> </tr> <tr> <td>加熱蒸気及び復水戻り系(原子炉隔離時冷却系タービンテストライン)</td> <td>0.01%</td> <td>(3 h)/(133921 h)=0.01% < 1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 高エネルギー状態にある運転期間（時間） ※2 プラント運転開始（平成7年7月）～第11回定検解除（平成22年11月）</p>	系統	運転時間割合	計算式 (X ^{※1} /Y ^{※2})	ほう酸水注入系	(A):0.05% (B):0.05%	(A):(63 h)/(133921 h)=0.05% < 1% (B):(63 h)/(133921 h)=0.05% < 1%	残留熱除去系	(A):0.03% (B):0.02% (C):0.02%	(A):(28 h)/(133921 h)=0.03% < 1% (B):(23 h)/(133921 h)=0.02% < 1% (C):(14 h)/(133921 h)=0.02% < 1%	低圧炉心スプレイ系	0.10%	(133 h)/(133921 h)=0.10% < 1%	高圧炉心スプレイ系	0.15%	(189 h)/(133921 h)=0.15% < 1%	原子炉隔離時冷却系	0.08%	(99 h)/(133921 h)=0.08% < 1%	加熱蒸気及び復水戻り系(原子炉隔離時冷却系タービンテストライン)	0.01%	(3 h)/(133921 h)=0.01% < 1%	<table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>運転時間割合</th> <th>計算式 (X^{※1}/Y^{※2})</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>余熱除去系</td> <td>(A):0.85% (B):0.85%</td> <td>(A):(176h)/(20,760h)=0.85%<1% (B):(176h)/(20,760h)=0.85%<1%</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ系</td> <td>(A):0.03% (B):0.03%</td> <td>(A):(4.2h)/(20,760h)=0.03%<1% (B):(4.2h)/(20,760h)=0.03%<1%</td> </tr> <tr> <td>補助給水系 (電動補助給水ポンプ)</td> <td>(A):0.11% (B):0.03%</td> <td>(A):(22.5h)/(20,760h)=0.11%<1% (B):(4.5h)/(20,760h)=0.03%<1%</td> </tr> <tr> <td>補助給水系 (タービン動補助給水ポンプ)</td> <td>0.05%</td> <td>(9h)/(20,760h)=0.05%<1%</td> </tr> <tr> <td>安全注入系</td> <td>(A):0.03% (B):0.03%</td> <td>(A):(4.3h)/(20,760h)=0.03%<1% (B):(4.3h)/(20,760h)=0.03%<1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 高エネルギー状態にある運転期間（時間） ※2 プラント運転開始（平成21年12月）～第2回定検解除（平成24年5月）</p>	系統	運転時間割合	計算式 (X ^{※1} /Y ^{※2})	余熱除去系	(A):0.85% (B):0.85%	(A):(176h)/(20,760h)=0.85%<1% (B):(176h)/(20,760h)=0.85%<1%	原子炉格納容器スプレイ系	(A):0.03% (B):0.03%	(A):(4.2h)/(20,760h)=0.03%<1% (B):(4.2h)/(20,760h)=0.03%<1%	補助給水系 (電動補助給水ポンプ)	(A):0.11% (B):0.03%	(A):(22.5h)/(20,760h)=0.11%<1% (B):(4.5h)/(20,760h)=0.03%<1%	補助給水系 (タービン動補助給水ポンプ)	0.05%	(9h)/(20,760h)=0.05%<1%	安全注入系	(A):0.03% (B):0.03%	(A):(4.3h)/(20,760h)=0.03%<1% (B):(4.3h)/(20,760h)=0.03%<1%	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・プラント設計による系統の相違 ・運転期間が異なることによる評価条件の相違</p> <p>【大飯】 <u>記載方針の相違</u> 女川審査実績を反映した表の記載とし、高エネルギー状態の計算に用いる時間を記載した。</p>
系統	対象範囲における使用条件	運転時間割合※2																																																																																														
原子炉補機冷却系	運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃	—																																																																																														
格納容器スプレイ系※1	運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%																																																																																														
化学体積制御系	運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃	—																																																																																														
冷水系	運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃	—																																																																																														
1次系洗浄水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
1次系放射性ドレン系（機器ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
1次系放射性ドレン系（床ドレン）	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
消火水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
1次系補給水系	運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
余熱除去系※1	運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 177℃以下	<1%																																																																																														
燃料取替用水系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—																																																																																														
燃料ピット冷却浄化系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—																																																																																														
安全注入系※1	運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%																																																																																														
海水系	運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃	—																																																																																														
液体廃棄物処理系	運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃	—																																																																																														
固体廃棄物処理系	運転圧力： 大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																														
補助給水系※1	運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃	<1%																																																																																														
系統	運転時間割合	計算式 (X ^{※1} /Y ^{※2})																																																																																														
ほう酸水注入系	(A):0.05% (B):0.05%	(A):(63 h)/(133921 h)=0.05% < 1% (B):(63 h)/(133921 h)=0.05% < 1%																																																																																														
残留熱除去系	(A):0.03% (B):0.02% (C):0.02%	(A):(28 h)/(133921 h)=0.03% < 1% (B):(23 h)/(133921 h)=0.02% < 1% (C):(14 h)/(133921 h)=0.02% < 1%																																																																																														
低圧炉心スプレイ系	0.10%	(133 h)/(133921 h)=0.10% < 1%																																																																																														
高圧炉心スプレイ系	0.15%	(189 h)/(133921 h)=0.15% < 1%																																																																																														
原子炉隔離時冷却系	0.08%	(99 h)/(133921 h)=0.08% < 1%																																																																																														
加熱蒸気及び復水戻り系(原子炉隔離時冷却系タービンテストライン)	0.01%	(3 h)/(133921 h)=0.01% < 1%																																																																																														
系統	運転時間割合	計算式 (X ^{※1} /Y ^{※2})																																																																																														
余熱除去系	(A):0.85% (B):0.85%	(A):(176h)/(20,760h)=0.85%<1% (B):(176h)/(20,760h)=0.85%<1%																																																																																														
原子炉格納容器スプレイ系	(A):0.03% (B):0.03%	(A):(4.2h)/(20,760h)=0.03%<1% (B):(4.2h)/(20,760h)=0.03%<1%																																																																																														
補助給水系 (電動補助給水ポンプ)	(A):0.11% (B):0.03%	(A):(22.5h)/(20,760h)=0.11%<1% (B):(4.5h)/(20,760h)=0.03%<1%																																																																																														
補助給水系 (タービン動補助給水ポンプ)	0.05%	(9h)/(20,760h)=0.05%<1%																																																																																														
安全注入系	(A):0.03% (B):0.03%	(A):(4.3h)/(20,760h)=0.03%<1% (B):(4.3h)/(20,760h)=0.03%<1%																																																																																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料13）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料 3-3（別紙1）</p> <p>高エネルギー配管（補助蒸気供給配管）の破損形状の設定</p> <p>1. 概要</p> <p>高エネルギー配管のうち補助蒸気供給配管について溢水ガイド附属書Aの高エネルギー配管の評価対象（25A以上）に対し、ターミナルエンドは完全全周破断、ターミナルエンド以外（一般部）は、許容応力の0.8倍又は0.4倍に応じた破損形状とする旨の記載にしたがって評価している。本資料は補助蒸気供給配管の応力評価の手法、結果についてとりまとめたものである。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 14</p> <p>高エネルギー配管の想定破損除外について</p> <p>1. 評価対象配管</p> <p>想定破損除外の適用（応力評価）を実施する対象配管を表1に示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 13</p> <p>高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックについて</p> <p>1. 評価対象配管</p> <p>想定破損除外又は貫通クラックの適用（応力評価）を実施する対象配管を表1に示す。</p>	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違 設計方針の相違</p> <p>泊は高エネルギー配管に対して、貫通クラックを適用している系統がある。（大飯、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様）</p> <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川の審査実績を反映し、応力評価を実施する配管を抽出した上で応力評価結果を記載する方針とする。</p> <p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																										
<p>補足資料3-3</p> <p>表1 想定破損の応力評価に基づく破損形状の結果（一般部）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統名</th> <th>応力評価</th> <th>破損形状</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td rowspan="5">実施なし</td> <td rowspan="5">完全全周破断</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>主蒸気系</td> </tr> <tr> <td>主給水系</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器 ブローダウン系</td> </tr> <tr> <td>補助給水系</td> </tr> <tr> <td>補助蒸気系</td> <td>実施あり</td> <td>貫通クラック*</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 応力評価を実施し、評価結果は許容応力(0.8Sa)以下であった</p>	系統名	応力評価	破損形状	備考	化学体積制御系	実施なし	完全全周破断		主蒸気系	主給水系	蒸気発生器 ブローダウン系	補助給水系	補助蒸気系	実施あり	貫通クラック*		<p>表1 高エネルギー配管の想定破損除外を適用する対象配管</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置エリア</th> <th rowspan="2">溢水防護 区画番号</th> <th rowspan="2">対象系統</th> <th colspan="2">対象配管</th> </tr> <tr> <th>ライン番号</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td rowspan="2">R-1F-5</td> <td rowspan="2">HS</td> <td>200A-IS-100-1</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>50A-IS-4</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-1F-12</td> <td rowspan="2">HS</td> <td>50A-IS-4</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>100A-IS-109</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B1F-1</td> <td rowspan="2">HS</td> <td>40A-IS-110</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>200A-HSCR-152-2</td> <td>STPA23</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td rowspan="6">R-B2F-1</td> <td rowspan="6">HSCR</td> <td>25A-HSCR-220</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>100A-IS-109</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>40A-IS-110</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>200A-HSCR-152-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>200A-HSCR-153</td> <td></td> </tr> <tr> <td>100A-HSCR-152-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td rowspan="6">R-B2F-5</td> <td rowspan="6">HS</td> <td>20A-HSCR-452-1</td> <td>STPA23</td> </tr> <tr> <td>40A-HSCR-208</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>25A-HSCR-159</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25A-HSCR-206</td> <td></td> </tr> <tr> <td>20A-HSCR-466-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>40A-IS-110</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">制御建屋</td> <td rowspan="2">C-1F-1</td> <td rowspan="2">HS</td> <td>100A-IS-109</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td>20A-IS-562-1</td> <td>STS42</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">制御建屋</td> <td rowspan="2">C-1F-3</td> <td rowspan="2">HS</td> <td>100A-RCIC-6-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>250A-IS-3</td> <td>STPT38</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">制御建屋</td> <td rowspan="2">C-1F-3</td> <td rowspan="2">HS</td> <td>250A-IS-3</td> <td>STPT38</td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	溢水防護 区画番号	対象系統	対象配管		ライン番号	材質	原子炉建屋 原子炉棟	R-1F-5	HS	200A-IS-100-1	STPT38	50A-IS-4	STPT38	R-1F-12	HS	50A-IS-4	STPT38	100A-IS-109	STPT38	R-B1F-1	HS	40A-IS-110	STPT38	200A-HSCR-152-2	STPA23	原子炉建屋 原子炉棟	R-B2F-1	HSCR	25A-HSCR-220	STPT38	100A-IS-109	STPT38	40A-IS-110	STPT38	200A-HSCR-152-2		200A-HSCR-153		100A-HSCR-152-3		原子炉建屋 原子炉棟	R-B2F-5	HS	20A-HSCR-452-1	STPA23	40A-HSCR-208	STPT38	25A-HSCR-159		25A-HSCR-206		20A-HSCR-466-1		40A-IS-110	STPT38	制御建屋	C-1F-1	HS	100A-IS-109	STPT38	20A-IS-562-1	STS42	制御建屋	C-1F-3	HS	100A-RCIC-6-2		250A-IS-3	STPT38	制御建屋	C-1F-3	HS	250A-IS-3	STPT38	<p>表1 高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックを適用する対象配管</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設置エリア</th> <th>対象配管</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td>補助蒸気系配管*</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助建屋</td> <td></td> <td>STPT370</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋</td> <td>蒸気発生器ブローダウン系 (主蒸気管室外)配管*</td> <td>STPT370</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助建屋</td> <td>主蒸気系(主蒸気管室外)配管*</td> <td>STPT370</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 蒸気影響範囲のみ応力評価を実施。</p>	設置エリア	対象配管	材質	原子炉建屋	補助蒸気系配管*	STPG370	原子炉補助建屋		STPT370	原子炉建屋	蒸気発生器ブローダウン系 (主蒸気管室外)配管*	STPT370	原子炉補助建屋	主蒸気系(主蒸気管室外)配管*	STPT370	<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は高エネルギー配管に対して、貫通クラックを適用している系統がある。(大飯, 高浜, 美浜, 玄海, 川内, 伊方と同様) ・建屋名称, 対象系統, 材質の相違。 ・女川では、想定破損除外のために3次元はりモデル解析を実施する配管を抽出し、当該配管の溢水防護区画番号及びライン番号を記載している。 ・泊では、原則として標準支持間隔法を用いた応力評価を実施するため個別配管の溢水防護区画番号及びライン番号を特定する必要はない。(大飯と同様) ・泊では、高エネルギー配管の蒸気影響範囲のみに絞って応力評価を実施している。 <p>【大飯】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <p>大飯では想定破損除外を適用している高エネルギー配管はない。</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川の審査実績を反映し、応力評価を実施する配管を抽出した上で応力評価結果を抽出する記載方針とする。</p>
系統名	応力評価	破損形状	備考																																																																																																										
化学体積制御系	実施なし	完全全周破断																																																																																																											
主蒸気系																																																																																																													
主給水系																																																																																																													
蒸気発生器 ブローダウン系																																																																																																													
補助給水系																																																																																																													
補助蒸気系	実施あり	貫通クラック*																																																																																																											
設置エリア	溢水防護 区画番号	対象系統	対象配管																																																																																																										
			ライン番号	材質																																																																																																									
原子炉建屋 原子炉棟	R-1F-5	HS	200A-IS-100-1	STPT38																																																																																																									
			50A-IS-4	STPT38																																																																																																									
	R-1F-12	HS	50A-IS-4	STPT38																																																																																																									
			100A-IS-109	STPT38																																																																																																									
	R-B1F-1	HS	40A-IS-110	STPT38																																																																																																									
			200A-HSCR-152-2	STPA23																																																																																																									
	原子炉建屋 原子炉棟	R-B2F-1	HSCR	25A-HSCR-220	STPT38																																																																																																								
				100A-IS-109	STPT38																																																																																																								
				40A-IS-110	STPT38																																																																																																								
				200A-HSCR-152-2																																																																																																									
				200A-HSCR-153																																																																																																									
				100A-HSCR-152-3																																																																																																									
	原子炉建屋 原子炉棟	R-B2F-5	HS	20A-HSCR-452-1	STPA23																																																																																																								
				40A-HSCR-208	STPT38																																																																																																								
				25A-HSCR-159																																																																																																									
25A-HSCR-206																																																																																																													
20A-HSCR-466-1																																																																																																													
40A-IS-110				STPT38																																																																																																									
制御建屋	C-1F-1	HS	100A-IS-109	STPT38																																																																																																									
			20A-IS-562-1	STS42																																																																																																									
制御建屋	C-1F-3	HS	100A-RCIC-6-2																																																																																																										
			250A-IS-3	STPT38																																																																																																									
制御建屋	C-1F-3	HS	250A-IS-3	STPT38																																																																																																									
			設置エリア	対象配管	材質																																																																																																								
原子炉建屋	補助蒸気系配管*	STPG370																																																																																																											
原子炉補助建屋		STPT370																																																																																																											
原子炉建屋	蒸気発生器ブローダウン系 (主蒸気管室外)配管*	STPT370																																																																																																											
原子炉補助建屋	主蒸気系(主蒸気管室外)配管*	STPT370																																																																																																											

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料3-3（別紙1）</p> <p>3.1. 評価方法</p> <p>溢水ガイド附属書Aにしたがい、供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により S_n（一次応力+二次応力）を算出し、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた S_a（許容応力）との比較により破損形状を設定する。一次応力に対する支持間隔の算出については、標準支持間隔のモデルによるものとし（詳細は、「別紙3 標準支持間隔法による一次応力評価」を参照）、必要に応じて3次元はりモデル解析を行う。二次応力である熱応力は保守的な値として建設工認時における限度値の100MPaを一律に用いる。</p>	<p>2. 評価方法</p> <p>加熱蒸気及び復水戻り系は非安全系の配管であることから、溢水ガイド附属書Aのクラス2、3又は非安全系の配管に適用される計算式により応力評価を実施し、評価条件を満足することを確認する。</p> <p>供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により計算した（一次応力+二次応力）S_nが、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた許容応力 S_a の0.4倍以下であることを確認する。</p>	<p>2. 評価方法</p> <p>補助蒸気系、蒸気発生器ブローダウン系（主蒸気管室外）及び主蒸気系（主蒸気管室外）は非安全系の配管であることから、溢水ガイド附属書Aのクラス2、3又は非安全系の配管に適用される計算式により応力評価を実施し、評価条件を満足することを確認する。</p> <p>供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により計算した（一次応力+二次応力）S_nと、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた許容応力 S_a との比較により破断形状を設定する。一次応力に対する支持間隔の算出については、標準支持間隔のモデルによるものとし（詳細は、「別紙 標準支持間隔法による一次応力評価」を参照）、必要に応じて3次元はりモデル解析を行う。二次応力である熱応力は保守的な値として建設工認時における限度値の100MPaを一律に用いる。</p>	<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違 プラント設計による系統の相違</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川はS_n（一次応力+二次応力）が許容応力S_aの0.4倍以下であれば想定破損除外を適用し、それ以外は完全全周破断を想定することにしているが、泊はそれに加えて、許容応力S_aの0.4倍を超え0.8倍以下である場合は貫通クラックを適用することにしている。（大飯、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様） ・泊では、大飯と同様に原則標準支持間隔法における応力評価を実施しており、二次応力である熱応力は保守的な値として建設工認時における限度値の100MPaを一律に用いている。（大飯、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様） <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違 女川審査実績の反映 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料13）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
<p>b. $S_n = \frac{P_m D_o}{4t} + \frac{0.75 I_1 (M_c + M_b) + I_2 M_c}{Z}$</p> <p>$S_n$: 一次応力と二次応力を加えて求めた応力 (MPa) I_1, I_2 : 応力係数 M_c : 管の熱による支持点の変位及び熱膨張により生ずるモーメント (N・mm) P_m : 内面に受ける最高の圧力 (MPa) M_b : 管の機械的荷重 (透し弁又は安全弁の吹出し反力その他の短期的荷重に限る) により生ずるモーメント (N・mm) D_o : 管の外径 (mm) t : 管の厚さ (mm) M_a : 管の機械的荷重 (自重その他の長期荷重に限る) により生ずるモーメント (N・mm)</p> <p>d. $S_s = 1.25 S_c + (1.2 + 0.25f) S_h$</p> <p>$S_a$: 許容応力 (MPa) f : 許容応力低減係数</p> <p>S_c : 室温における材料の許容引張応力 (MPa) S_h : 使用温度における材料の許容引張応力 (MPa)</p> <p>設計・建設規格 PPC-3530 (1) 抜粋</p>	<p>(1) S_a の算出 設計・建設規格 PPC-3530 (1) d. の計算式から算出する。 $S_a = 1.25fS_c + (1.2 + 0.25f) Sh \cdots \textcircled{1}$式 S_a : 許容応力 F : 許容応力低減係数 (=1.0)</p> <p>加熱蒸気及び復水戻り系配管は、通年（運転時、定検時）において、圧力は一定に保つように設定されているため、有意な温度変化は受けず、また、補機の発停回数も有意な回数がないことから、表2より、応力低減係数を1.0に設定した。</p>	<p>(1) S_a の算出 設計・建設規格 PPC-3530 (1) d. の計算式から算出する。 $S_a = 1.25fS_c + (1.2 + 0.25f) Sh \cdots \textcircled{1}$式 S_a : 許容応力 F : 許容応力低減係数 (=1.0)</p> <p>補助蒸気系、蒸気発生器ブローダウン系（主蒸気管室外）及び主蒸気系（主蒸気管室外）配管は、通年（運転時、定期事業者検査時）において、圧力は一定に保つように設定されているため、有意な温度変化は受けず、また、補機の発停回数も有意な回数がないことから、表2より、応力低減係数を1.0に設定した。</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績を反映し、S_nの算出については記載しない。S_nを算出しているという点において、泊、女川と相違はない。 ・女川審査実績を反映し、S_cとS_hについての説明は後述する。 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 プラント設計による系統の相違 記載表現の相違</p>																												
	<p>表2 許容応力低減係数（設計・建設規格 PPC-3530 より抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="772 1129 1189 1289"> <thead> <tr> <th>温度変化サイクル数</th> <th>fの値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,000 未満</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>7,000 以上 14,000 未満</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>14,000 以上 22,000 未満</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>22,000 以上 45,000 未満</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>45,000 以上 100,000 未満</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>100,000 以上</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table>	温度変化サイクル数	fの値	7,000 未満	1.0	7,000 以上 14,000 未満	0.9	14,000 以上 22,000 未満	0.8	22,000 以上 45,000 未満	0.7	45,000 以上 100,000 未満	0.6	100,000 以上	0.5	<p>表2 許容応力低減係数（設計・建設規格 PPC-3530 より抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="1384 1129 1756 1289"> <thead> <tr> <th>温度変化サイクル数</th> <th>fの値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,000 未満</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>7,000 以上 14,000 未満</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>14,000 以上 22,000 未満</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>22,000 以上 45,000 未満</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>45,000 以上 100,000 未満</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>100,000 以上</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table>	温度変化サイクル数	fの値	7,000 未満	1.0	7,000 以上 14,000 未満	0.9	14,000 以上 22,000 未満	0.8	22,000 以上 45,000 未満	0.7	45,000 以上 100,000 未満	0.6	100,000 以上	0.5	
温度変化サイクル数	fの値																														
7,000 未満	1.0																														
7,000 以上 14,000 未満	0.9																														
14,000 以上 22,000 未満	0.8																														
22,000 以上 45,000 未満	0.7																														
45,000 以上 100,000 未満	0.6																														
100,000 以上	0.5																														
温度変化サイクル数	fの値																														
7,000 未満	1.0																														
7,000 以上 14,000 未満	0.9																														
14,000 以上 22,000 未満	0.8																														
22,000 以上 45,000 未満	0.7																														
45,000 以上 100,000 未満	0.6																														
100,000 以上	0.5																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>Sc：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の室温における許容引張応力（STPT38=93MPa, STPA23=103MPa, STS42=103MPa）</p> <p>Sh：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の使用温度における許容引張応力（STPT38=93MPa, STPA23=103MPa, STS42=103MPa）</p> <p>①式に上記の値を代入（STPT38の場合）し、Saを算出すると、 $Sa = 1.25 \times 1.0 \times 93 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 93$ $= 251.1 \rightarrow 251$（小数点以下を切り捨て）</p> <p>したがって、$0.4Sa = 0.4 \times 251 = 100.4 \rightarrow 100$（MPa）（小数点以下を切り捨て）となる。</p>	<p>Sc：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の室温における許容引張応力（STPG370=79MPa, STPT370=93MPa）</p> <p>Sh：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の使用温度における許容引張応力（STPG370=79MPa, STPT370=93MPa）</p> <p>①式に上記の値を代入（STPT370の場合）し、Saを算出すると、 $Sa = 1.25 \times 1.0 \times 93 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 93$ $= 116.25 + 134.85$ $= 116 + 134$（小数点以下を切り捨て）=250</p> <p>したがって、$0.8Sa = 0.8 \times 250 = 200$（MPa）、$0.4Sa = 0.4 \times 250 = 100$（MPa）となる。</p>	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> プラント設計による材質の相違。</p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・泊では、各項の計算結果に対して小数点以下の切り捨てを実施している。各項において切り捨てを実施するほうが、許容応力が小さくなるため保守的である。（大飯と同様） ・Saが許容応力Saの0.4倍を超え0.8倍以下である場合は貫通クラックを適用することとしているため、0.8Saの算出について記載している。 <u>記載方針の相違</u> ・0.8Sa及び0.4Saの算出における小数点以下の切り捨て処理は、STPT370の計算においては発生しないため、記載しない。 ・泊でも小数点以下の数字がある場合は、切り捨てを実施している。</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3. 実評価の流れ</p> <p>表1に示す高エネルギー配管の想定破損除外を適用する溢水防護区画内の配管系について3次元梁モデルを構築し、解析により発生応力を算出する。以下に解析条件を示す。</p> <p>(1) 系統条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・200A-HS-100-1, 200A-HSCR-152-2, 200A-HSCR-153 100A-HSCR-152-3, 25A-HSCR-220, 20A-HSCR-452-1 40A-HSCR-208, 25A-HSCR-159, 25A-HSCR-206, 25A-HSCR-466-1 100A-RCIC-6-2（原子炉隔離時冷却水系としては最高使用温度302℃, 8.62MPa）最高使用温度：188℃ 最高使用圧力：0.96MPa ・20A-HS-562-1, 40A-HS-110, 50A-HS-4, 100A-HS-109, 250A-HS-3, 最高使用温度：204℃ 最高使用圧力：1.57MPa 	<p>3. 実評価の流れ</p> <p>表1に示す高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックを適用する溢水防護区画内の配管系について、標準支持間隔法又は3次元はりモデル解析により発生応力を算出する。以下に解析条件を示す。</p> <p>(1) 系統条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助蒸気系 最高使用温度：185℃ 最高使用圧力：0.93MPa ・蒸気発生器ブローダウン系 最高使用温度：291℃ 最高使用圧力：7.48MPa ・主蒸気系 最高使用温度：291℃ 最高使用圧力：7.48MPa 	<p>3. 実評価の流れ</p> <p>表1に示す高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックを適用する溢水防護区画内の配管系について、標準支持間隔法又は3次元はりモデル解析により発生応力を算出する。以下に解析条件を示す。</p> <p>(1) 系統条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助蒸気系 最高使用温度：185℃ 最高使用圧力：0.93MPa ・蒸気発生器ブローダウン系 最高使用温度：291℃ 最高使用圧力：7.48MPa ・主蒸気系 最高使用温度：291℃ 最高使用圧力：7.48MPa 	<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は高エネルギー配管に対して、貫通クラックを適用している系統がある。（大阪、高浜、美浜、玄海、川内、伊方と同様） ・泊では標準支持間隔法により発生応力が最も高くなるものを代表ブロックとして抽出し、3次元はりモデル解析を実施している。また、代表ブロック以外の系統については、標準支持間隔法による評価を実施し、許容応力を満足しない場合は、3次元はりモデル解析を実施している。（大阪、川内、玄海と同様） <p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラント設計による系統の相違。 ・女川では、想定破損除外のために3次元はりモデル解析を実施する配管を抽出し、当該配管の溢水防護区画番号及びライン番号を記載している。 ・泊では、原則として標準支持間隔法を用いた応力評価を実施するため個別配管の溢水防護区画番号及びライン番号を特定する必要はないが、3次元はりモデル解析を実施する一部の配管については解析モデル図で対象配管を明確にしている。（後段の9-別添1-添13-8の大阪の図1を参照。） ・系統の相違による最高使用温度、最高使用圧力の相違。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
<p style="text-align: right;">補足資料3-3（別紙1）</p> <p>6. 標準支持間隔法に用いる SPAN コード</p> <table border="1" data-bbox="123 391 678 531"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>計算機 プログラム名 (解析コード名)</th> <th>計算機 プログラム バージョン</th> <th>製造元</th> <th>解析対象 (使用目的)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管類</td> <td>SPAN2000</td> <td>4.0</td> <td>三菱重工</td> <td>耐震最大 支持間隔算出</td> </tr> </tbody> </table> <p>【美浜3号炉】 まとめ資料 p. 1-9-補-157 より抜粋</p> <table border="1" data-bbox="138 659 663 815"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>計算機 プログラム名 (解析コード名)</th> <th>計算機 プログラム バージョン</th> <th>製造元</th> <th>解析対象 (使用目的)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管類</td> <td>SPAN2000</td> <td>4.0 5.0 6.0</td> <td>三菱重工</td> <td>耐震最大 支持間隔算出</td> </tr> </tbody> </table>	対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)	配管類	SPAN2000	4.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出	対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)	配管類	SPAN2000	4.0 5.0 6.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出	<p>(2) 地震条件 弾性設計用地震動 Sd の 1/3 を入力とし、水平及び鉛直地震動を考慮し、スペクトルモーダル解析にて応力を算出する。</p> <p>(3) 解析コード SOLVER Rev. 02.05</p> <p>(4) その他 100A-RCIC-6-2 については、運転期間が短期間（プラントの通常運転時の 1% より小さい）であることから、低エネルギー配管に分類した上で、評価を実施する。</p>	<p>(2) 地震条件 弾性設計用地震動 Sd の 1/3 を入力とし、水平及び鉛直地震動を考慮し、スペクトルモーダル解析にて応力を算出する。</p> <p>(3) 解析コード ・標準支持間隔法 SPAN2000 Ver. 4.0 Ver. 5.0 Ver. 6.0 ・3次元はりモデル解析 MSAP PCI.0 版</p>	<p>相違理由</p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・泊では、原則標準支持間隔法による解析を実施しており、必要に応じて3次元はりモデル解析を実施している。 ・SPANコードについては、大飯も同様にSPAN2000を用いており、美浜においては、泊と同様のVerを用いている。 ・泊でも女川と同様に3次元はりモデル解析を実施しており、「MSAP PCI.0 版」を用いている。本解析コードについては、先行PWRの資料には記載がなかったものの、メーカー確認の結果、先行PWRでは泊と同様のコードを使用していることを確認している。</p> <p>【大飯】 <u>記載表現の相違</u> <u>記載方針の相違</u> 女川審査実績の反映</p> <p>【女川】 <u>記載内容の相違</u> 女川は区画内のHS系について抽出した上で、HS系に含まれているRCIC配管の運転時間が短期間で低エネルギー配管であることを記載している。泊では、その他として記載する内容は無い。</p>
対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)																			
配管類	SPAN2000	4.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出																			
対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)																			
配管類	SPAN2000	4.0 5.0 6.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2. 破損形状の設定フロー</p>		<p>(4) 破損形状の評価フロー</p> <p>高エネルギー配管の破損形状の評価フローを図1に示す。</p>	<p>【女川】 設計方針の相違 泊は原則標準支持間隔法を用いており、必要に応じて3次元はりモデル解析を実施しているため、評価フローを記載した。(評価フローについては、大飯と同様)</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 大飯の図の名称が評価フロー、タイトルが設定フローとなっているため、泊ではタイトルと図の名称の統一を図り、評価フローとして記載する。</p>
<p>図1 高エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p>		<p>図1 高エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p>	

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																				
<p>【玄海3/4号炉】 まとめ資料 p.9 条-別添1-補3-1-16 より抜粋 表-1 応力評価結果（3次元はりモデルによる評価）</p> <table border="1" data-bbox="152 336 667 416"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>EL. (m)</th> <th>配管仕様</th> <th>配管名</th> <th>一次+二次応力 (MPa)</th> <th>許容値※ (0.8Sa (MPa))</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A/B</td> <td>~19.25</td> <td>1-1/2B-sch40</td> <td>補助蒸気系統配管</td> <td>101</td> <td>170</td> </tr> </tbody> </table>	建屋	EL. (m)	配管仕様	配管名	一次+二次応力 (MPa)	許容値※ (0.8Sa (MPa))	A/B	~19.25	1-1/2B-sch40	補助蒸気系統配管	101	170	<p>表3 最大応力発生箇所における応力評価結果(1/3)</p> <table border="1" data-bbox="707 220 1263 991"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画</th> <th rowspan="2">解析モデル (対象ライン)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R-1F-5</td> <td>HS-002 (200A-HS-100-1)</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>48</td> <td>66^青</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-001 (50A-HS-4)</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>16</td> <td>27</td> <td>49^青</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>R-1F-12</td> <td>HS-001 (50A-HS-4)</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>79</td> <td>92^青</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">R-B1F-1</td> <td>HS-001-1 (100A-HS-121)</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>70</td> <td>85^青</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-004 (40A-HS-110)</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>23</td> <td>63</td> <td>93^青</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>14</td> <td>77</td> <td>100^青</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (25A-HSCR-220)</td> <td colspan="5">評価除外 (25A以下)</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">R-B2F-1</td> <td>HS-001-1 (100A-HS-121)</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>15</td> <td>68</td> <td>91^青</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-001-1 (100A-HS-123)</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>18</td> <td>64</td> <td>88^青</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-001-1 (100A-HS-127)</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>59</td> <td>84^青</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HS-004 (40A-HS-110)</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>14</td> <td>72</td> <td>93^青</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>19</td> <td>78</td> <td>105^青</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (200A-HSCR-153)</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>45^青</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HS-004 (40A-HSCR-208)</td> <td>2</td> <td>11</td> <td>30</td> <td>52</td> <td>95^青</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 サポート追加後(対策後)の評価値であり、設計進捗により変更の可能性有り</p>	区画	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計	R-1F-5	HS-002 (200A-HS-100-1)	7	1	10	48	66 ^青	100	HS-001 (50A-HS-4)	5	1	16	27	49 ^青	100	R-1F-12	HS-001 (50A-HS-4)	5	1	7	79	92 ^青	100	R-B1F-1	HS-001-1 (100A-HS-121)	5	4	6	70	85 ^青	100	HS-004 (40A-HS-110)	3	4	23	63	93 ^青	100	HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)	7	2	14	77	100 ^青	111	HSCR-003 (25A-HSCR-220)	評価除外 (25A以下)						R-B2F-1	HS-001-1 (100A-HS-121)	5	3	15	68	91 ^青	100	HS-001-1 (100A-HS-123)	5	1	18	64	88 ^青	100	HS-001-1 (100A-HS-127)	5	11	9	59	84 ^青	100	HS-004 (40A-HS-110)	3	4	14	72	93 ^青	100	HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)	7	1	19	78	105 ^青	111	HSCR-003 (200A-HSCR-153)	7	4	17	17	45 ^青	111	HS-004 (40A-HSCR-208)	2	11	30	52	95 ^青	100	<p>表3 最大応力発生箇所における応力評価結果（貫通クラック）</p> <table border="1" data-bbox="1290 212 1845 330"> <thead> <tr> <th rowspan="2">配管</th> <th rowspan="2">口径 (B)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.8Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助蒸気系配管</td> <td>4</td> <td>4.5</td> <td>22.1</td> <td>32.3</td> <td>100</td> <td>159</td> <td>169</td> </tr> </tbody> </table>	配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.8Sa (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計	補助蒸気系配管	4	4.5	22.1	32.3	100	159	169	<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> ・泊は想定破損除外を適用する他に、貫通クラックを適用するパターンがあり、想定破損除外と貫通クラックで許容値が異なるため、表3（貫通クラック）と表4（想定破損除外）に分けて記載している。 ・女川は、溢水防護区画内の応力評価が必要な配管ラインを特定した上で、3次元はりモデル解析を実施している。一方、泊でも3次元はりモデル解析を実施しているが、対象ライン名称及び区画の特定を実施していないことから、記載しない。（玄海と同様） ・一次+二次応力の相違はプラント系統構成による相違。許容値は材質が異なることによる相違。</p> <p>【玄海】 表の体裁は女川を参照し記載するが、参考として補助蒸気配管に対して貫通クラックを想定する評価結果を示す。</p>
建屋	EL. (m)	配管仕様	配管名	一次+二次応力 (MPa)	許容値※ (0.8Sa (MPa))																																																																																																																																																		
A/B	~19.25	1-1/2B-sch40	補助蒸気系統配管	101	170																																																																																																																																																		
区画	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																																																																
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計																																																																																																																																																	
R-1F-5	HS-002 (200A-HS-100-1)	7	1	10	48	66 ^青	100																																																																																																																																																
	HS-001 (50A-HS-4)	5	1	16	27	49 ^青	100																																																																																																																																																
R-1F-12	HS-001 (50A-HS-4)	5	1	7	79	92 ^青	100																																																																																																																																																
R-B1F-1	HS-001-1 (100A-HS-121)	5	4	6	70	85 ^青	100																																																																																																																																																
	HS-004 (40A-HS-110)	3	4	23	63	93 ^青	100																																																																																																																																																
	HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)	7	2	14	77	100 ^青	111																																																																																																																																																
	HSCR-003 (25A-HSCR-220)	評価除外 (25A以下)																																																																																																																																																					
R-B2F-1	HS-001-1 (100A-HS-121)	5	3	15	68	91 ^青	100																																																																																																																																																
	HS-001-1 (100A-HS-123)	5	1	18	64	88 ^青	100																																																																																																																																																
	HS-001-1 (100A-HS-127)	5	11	9	59	84 ^青	100																																																																																																																																																
	HS-004 (40A-HS-110)	3	4	14	72	93 ^青	100																																																																																																																																																
	HSCR-003 (200A-HSCR-152-2)	7	1	19	78	105 ^青	111																																																																																																																																																
	HSCR-003 (200A-HSCR-153)	7	4	17	17	45 ^青	111																																																																																																																																																
	HS-004 (40A-HSCR-208)	2	11	30	52	95 ^青	100																																																																																																																																																
配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.8Sa (MPa)																																																																																																																																																
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計																																																																																																																																																	
補助蒸気系配管	4	4.5	22.1	32.3	100	159	169																																																																																																																																																

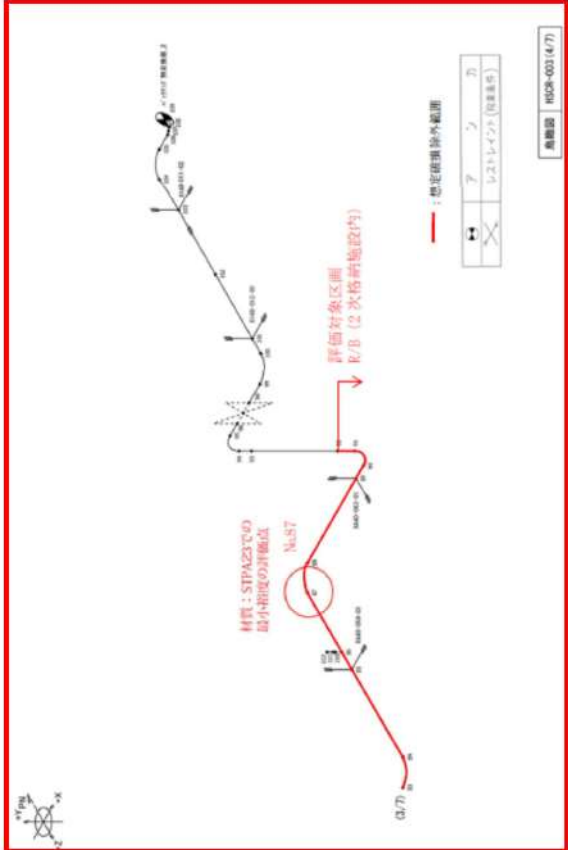
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																					
	<p>表3 最大応力発生箇所における応力評価結果(2/3)</p> <table border="1" data-bbox="707 220 1263 1061"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画</th> <th rowspan="2">解析モデル (対象ライン)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">R-B2F-1</td> <td>HS-004 (25A-HSCR-159) (25A-HSCR-206)</td> <td colspan="5" rowspan="2">評価除外(25A以下)</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (20A-HSCR-452-1) (20A-HSCR-452-2)</td> </tr> <tr> <td>R-B2F-5</td> <td>HS-004 (40A-HSCR-208)</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>85</td> <td>95^{※1}</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">R-B3F-2</td> <td>HS-130 (20A-HS-129)</td> <td colspan="5" rowspan="5">評価除外(25A以下)</td> <td rowspan="5"></td> </tr> <tr> <td>HS-104 (20A-HS-733)</td> </tr> <tr> <td>HS-105 (20A-HS-734)</td> </tr> <tr> <td>HSCR-001-1 (25A-HSCR-241) (25A-HSCR-242) (25A-HSCR-243) (25A-HSCR-244) (25A-HSCR-245) (20A-HSCR-581-1) (20A-HSCR-582-1)</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C-1F-1</td> <td>HS-003 (250A-HS-3)</td> <td>13</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>77</td> <td>95^{※1}</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HSCR-001 (80A-HSCR-85)</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>87</td> <td>97^{※1}</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">C-1F-3</td> <td>HS-003 (250A-HS-3)</td> <td>13</td> <td>1</td> <td>6</td> <td>68</td> <td>88^{※1}</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>HSCR-001 (80A-HSCR-85)</td> <td>5</td> <td>13</td> <td>7</td> <td>22</td> <td>47^{※1}</td> <td>111</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 サポート追加後(対新機)の評価値であり、設計進捗により変更の可能性有り</p>	区画	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計	R-B2F-1	HS-004 (25A-HSCR-159) (25A-HSCR-206)	評価除外(25A以下)						HSCR-003 (20A-HSCR-452-1) (20A-HSCR-452-2)	R-B2F-5	HS-004 (40A-HSCR-208)	3	1	6	85	95 ^{※1}	100	R-B3F-2	HS-130 (20A-HS-129)	評価除外(25A以下)						HS-104 (20A-HS-733)	HS-105 (20A-HS-734)	HSCR-001-1 (25A-HSCR-241) (25A-HSCR-242) (25A-HSCR-243) (25A-HSCR-244) (25A-HSCR-245) (20A-HSCR-581-1) (20A-HSCR-582-1)		C-1F-1	HS-003 (250A-HS-3)	13	2	3	77	95 ^{※1}	100	HSCR-001 (80A-HSCR-85)	5	2	3	87	97 ^{※1}	111	C-1F-3	HS-003 (250A-HS-3)	13	1	6	68	88 ^{※1}	100	HSCR-001 (80A-HSCR-85)	5	13	7	22	47 ^{※1}	111	<p>表4 最大応力発生箇所における応力評価結果(想定破損除外)</p> <table border="1" data-bbox="1290 220 1854 395"> <thead> <tr> <th rowspan="2">配管</th> <th rowspan="2">口径 (B)</th> <th colspan="5">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蒸気発生器ブロー ダウン系配管</td> <td>3</td> <td>33.3</td> <td>0.6</td> <td>32.9</td> <td>13.3</td> <td>81</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>主蒸気系配管</td> <td>3</td> <td>32.9</td> <td>0.4</td> <td>57.7</td> <td>1.5</td> <td>93</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計	蒸気発生器ブロー ダウン系配管	3	33.3	0.6	32.9	13.3	81	100	主蒸気系配管	3	32.9	0.4	57.7	1.5	93	100	<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u> <u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 一次+二次応力の相違はプラント系統構成による相違。許容値は材質が異なることによる相違 泊でも3次元はりモデル解析を実施しているが、対象ライン名称及び区画の特定を実施していないことから、記載していない。(玄海と同様)
区画	解析モデル (対象ライン)			一次+二次応力 (MPa)						許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																														
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計																																																																																																		
R-B2F-1	HS-004 (25A-HSCR-159) (25A-HSCR-206)	評価除外(25A以下)																																																																																																						
	HSCR-003 (20A-HSCR-452-1) (20A-HSCR-452-2)																																																																																																							
R-B2F-5	HS-004 (40A-HSCR-208)	3	1	6	85	95 ^{※1}	100																																																																																																	
R-B3F-2	HS-130 (20A-HS-129)	評価除外(25A以下)																																																																																																						
	HS-104 (20A-HS-733)																																																																																																							
	HS-105 (20A-HS-734)																																																																																																							
	HSCR-001-1 (25A-HSCR-241) (25A-HSCR-242) (25A-HSCR-243) (25A-HSCR-244) (25A-HSCR-245) (20A-HSCR-581-1) (20A-HSCR-582-1)																																																																																																							
C-1F-1	HS-003 (250A-HS-3)	13	2	3	77	95 ^{※1}	100																																																																																																	
	HSCR-001 (80A-HSCR-85)	5	2	3	87	97 ^{※1}	111																																																																																																	
C-1F-3	HS-003 (250A-HS-3)	13	1	6	68	88 ^{※1}	100																																																																																																	
	HSCR-001 (80A-HSCR-85)	5	13	7	22	47 ^{※1}	111																																																																																																	
配管	口径 (B)	一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)																																																																																																	
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	合計																																																																																																		
蒸気発生器ブロー ダウン系配管	3	33.3	0.6	32.9	13.3	81	100																																																																																																	
主蒸気系配管	3	32.9	0.4	57.7	1.5	93	100																																																																																																	

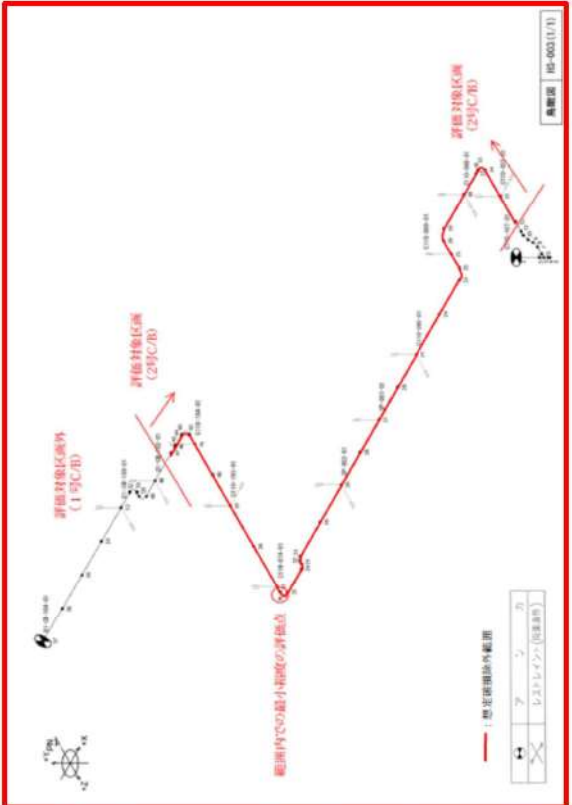
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
	<p>表3 最大応力発生箇所における応力評価結果(3/3)</p> <table border="1" data-bbox="707 217 1272 453"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区画</th> <th rowspan="2">解析モデル (対象ライン)</th> <th colspan="4">一次+二次応力 (MPa)</th> <th rowspan="2">許容値 0.4Sa (MPa)</th> </tr> <tr> <th>内圧 応力</th> <th>自重 応力</th> <th>地震 応力</th> <th>二次 応力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">非管理 区域 (T/D)</td> <td>HSCR-003 (150A-HSCR-79)</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>11</td> <td>40</td> <td>60^{※1}</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (80A-HSCR-54-3)</td> <td>5</td> <td>18</td> <td>32</td> <td>47</td> <td>102^{※1}</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>HSCR-003 (50A-HSCR-75)</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>18</td> <td>85</td> <td>110^{※1}</td> <td>111</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 サポート追加後(対策後)の評価値であり、設計進捗により変更の可能性有り</p>	区画	解析モデル (対象ライン)	一次+二次応力 (MPa)				許容値 0.4Sa (MPa)	内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力	非管理 区域 (T/D)	HSCR-003 (150A-HSCR-79)	5	4	11	40	60 ^{※1}	111	HSCR-003 (80A-HSCR-54-3)	5	18	32	47	102 ^{※1}	111	HSCR-003 (50A-HSCR-75)	3	4	18	85	110 ^{※1}	111		<p>【女川】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次+二次応力の相違はプラント系統構成による相違。許容値は材質が異なることによる相違 ・泊でも3次元よりモデル解析を実施しているが、対象ライン名称及び区画の特定を実施していないことから、記載していない。(玄海と同様)
区画	解析モデル (対象ライン)			一次+二次応力 (MPa)					許容値 0.4Sa (MPa)																											
		内圧 応力	自重 応力	地震 応力	二次 応力																															
非管理 区域 (T/D)	HSCR-003 (150A-HSCR-79)	5	4	11	40	60 ^{※1}	111																													
	HSCR-003 (80A-HSCR-54-3)	5	18	32	47	102 ^{※1}	111																													
	HSCR-003 (50A-HSCR-75)	3	4	18	85	110 ^{※1}	111																													

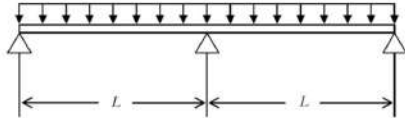
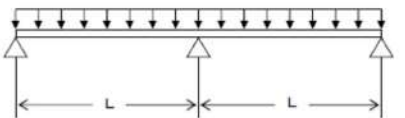
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p data-bbox="705 1133 1270 1157">図3 HSCR-003 解析モデル図 (STPA23 最小裕度の範囲) (1/2)</p>		<p data-bbox="1874 183 2136 271">【女川】 設計方針の相違 応力評価の対象とした系統の相違</p> <p data-bbox="1874 1029 2136 1093">【女川】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>図3 HS-003 解析モデル図 (STPT38 最小裕度の範囲) (2/2)</p>		<p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 応力評価の対象とした系統の相違</p> <p>【女川】 <u>記載表現の相違</u></p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">別紙3</p> <p>標準支持間隔法による一次応力評価</p> <p>1. 基本方針</p> <p>本件の想定破損の配管強度評価は、高エネルギー配管のうち補助蒸気供給配管と低エネルギー配管の一次応力に対して標準支持間隔法を用いている。標準支持間隔法では、標準支持間隔以下で配管を敷設することで、発生応力が標準支持間隔で算出した一次応力以下となる。</p> <p>標準支持間隔の算出は以下の基準及び規格に基づき実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針」（JEAG4601-1987） ・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針重要度分類・許容応力編」（JEAG4601・補-1984） ・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針」（JEAG4601-1991 追補版） ・日本機械学会「発電用原子力設備規格設計・建設規格」（JSME S NC1-2005/2007） <p>評価に用いる弾性設計用地震動 S_d に基づく床応答曲線は、耐震設計で用いるものと同じである。</p> <p>また、標準支持間隔の計算に用いる配管系の設計用減衰については、5. 参考文献に示す既往研究等において試験等により妥当性が確認されている値を使用する。（参考文献参照）</p> <p>2. 支持間隔算出の方法</p> <p>2.1. 概要</p> <p>標準支持間隔は、配管系の内圧、自重及び地震力に基づき、一次応力の評価基準値内になるように階高に応じて算出する。なお、地震応力の算出にあたっては、耐震設計で用いる各弾性設計用地震動 S_d による床応答曲線と同じものを用いる。</p> <p>2.2. 直管部の支持間隔</p> <p>2.2.1. 解析モデル</p> <p>各種配管を図5のように支持間隔Lで3点支持した等分布質量の連続梁にモデル化する。この場合、支持点の拘束方向は軸直角方向のみとし、軸方向及び回転に対しては自由とする。</p>  <p style="text-align: center;">図5 標準支持間隔法の解析モデル</p>		<p style="text-align: right;">別紙</p> <p>標準支持間隔法による一次応力評価</p> <p>1. 基本方針</p> <p>想定破損の配管強度評価は、高エネルギー配管のうち補助蒸気系統配管及び低エネルギー配管の一次応力に対して標準支持間隔法を用いている。標準支持間隔法では、標準支持間隔以下で配管を敷設することで、発生応力が標準支持間隔で算出した一次応力以下となる。</p> <p>標準支持間隔の算出は以下の基準及び規格に基づき実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針」（JEAG4601-1987） ・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針重要度分類・許容応力編」（JEAG4601・補-1984） ・日本電気協会「原子力発電所耐震設計技術指針」（JEAG4601-1991 追補版） ・日本機械学会「発電用原子力設備規格設計・建設規格」（JSME S NC1-2005/2007） <p>評価に用いる弾性設計用地震動に基づく床応答曲線は、耐震設計で用いるものと同じである。</p> <p>また、標準支持間隔の計算に用いる配管系の設計用減衰については、5. 参考文献に示す既往研究等において試験等により妥当性が確認されている値を使用する。（参考文献参照）</p> <p>2. 支持間隔算出の方法</p> <p>2.1 概要</p> <p>標準支持間隔は、配管系の内圧、自重及び地震力に基づき、一次応力の評価基準値内になるように階高に応じて算出する。なお、地震応力の算出にあたっては、耐震設計で用いる各弾性設計用地震動による床応答曲線と同じものを用いる。</p> <p>2.2 支持間隔</p> <p>2.2.1 解析モデル</p> <p>各種配管を図1のように支持間隔Lで3点支持した等分布質量の連続梁にモデル化する。この場合、支持点の拘束方向は軸直角方向のみとし、軸方向及び回転に対しては自由とする。</p>  <p style="text-align: center;">図1 標準支持間隔法の解析モデル</p>	<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では、想定破損における一次応力を算出するために標準支持間隔法を用いている。一方、女川では溢水影響評価上必要な配管について、3次元はりモデル解析を実施しているため、別紙の内容については、大飯の資料との比較を実施する。</p> <p>【大飯】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>【大飯】</p> <p>記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料13）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																										
<p>2.2.2.解析条件及び解析方法</p> <p>①各種配管について、内圧及び自重の影響と地震力（(1/3) Sd）による応力を算出して最大支持間隔を求める。</p> <p>②配管の自重は、配管自体の重量と内部流体の重量とを合計した値とする。さらに、保温材ありの配管についてはその重量を考慮する。また、高エネルギー配管は別途二次応力として熱応力（100MPa）を考慮する。</p> <p>3. 地震力</p> <p>解析に使用する地震力（(1/3) Sd）は表2のとおりである。なお、減衰の設定において、保温材の効果は考慮している。</p> <p style="text-align: center;">表2 地震力の種類例</p> <table border="1" data-bbox="118 560 678 715"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>床応答曲線高さ E.L.+(m)</th> <th>減衰(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉</td> <td>低:17.1、26.0、33.6、47.3</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>周辺建屋</td> <td>高:33.6~17.1、33.6</td> <td>0.5、1.5、3.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">制御建屋</td> <td>低:11.5、15.8、21.3、26.1、33.6</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>高:33.6~15.8、33.6</td> <td>0.5、1.5、3.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>低:低エネルギー配管、高:高エネルギー（補助蒸気）配管</p>	建屋	床応答曲線高さ E.L.+(m)	減衰(%)	原子炉	低:17.1、26.0、33.6、47.3	0.5、2.0	周辺建屋	高:33.6~17.1、33.6	0.5、1.5、3.0	制御建屋	低:11.5、15.8、21.3、26.1、33.6	0.5、2.0	高:33.6~15.8、33.6	0.5、1.5、3.0	<p>2.2.2.解析条件及び解析方法</p> <p>①各種配管について、内圧及び自重の影響と地震力（(1/3) Sd）による応力を算出して最大支持間隔を求める。</p> <p>②配管の自重は、配管自体の重量と内部流体の重量とを合計した値とする。さらに、保温材ありの配管についてはその重量を考慮する。また、高エネルギー配管は別途二次応力として熱応力（100MPa）を考慮する。</p> <p>3. 地震力</p> <p>解析に使用する地震力（(1/3) Sd）は表1のとおりである。なお、減衰の設定において、保温材の効果は考慮している。</p> <p style="text-align: center;">表1 地震力の種類例</p> <table border="1" data-bbox="1290 560 1850 858"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>床応答曲線高さ T.P. (m)</th> <th>減衰(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">周辺補機棟 (RE/B)</td> <td>低:17.8、24.8、33.1</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>高:17.8、24.8、33.1</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱棟 (FH/B)</td> <td>低:41.0、47.6、55.0</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉補助建屋 (A/B)</td> <td>低:10.3、17.8、24.8、33.1、38.1、40.3、42.2、43.3、47.6</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>高:10.3、17.8、24.8、33.1</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機建屋 (DG/B)</td> <td>低:10.3、18.8</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>循環水ポンプ建屋 (CWF/B)</td> <td>低:10.05</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>低:低エネルギー配管、高:高エネルギー（補助蒸気）配管</p>	建屋	床応答曲線高さ T.P. (m)	減衰(%)	周辺補機棟 (RE/B)	低:17.8、24.8、33.1	0.5、2.0	高:17.8、24.8、33.1	1.5	燃料取扱棟 (FH/B)	低:41.0、47.6、55.0	0.5、2.0	原子炉補助建屋 (A/B)	低:10.3、17.8、24.8、33.1、38.1、40.3、42.2、43.3、47.6	0.5、2.0	高:10.3、17.8、24.8、33.1	1.5	ディーゼル発電機建屋 (DG/B)	低:10.3、18.8	0.5、2.0	循環水ポンプ建屋 (CWF/B)	低:10.05	0.5、2.0	<p>2.2.2.解析条件及び解析方法</p> <p>①各種配管について、内圧及び自重の影響と地震力（(1/3) Sd）による応力を算出して最大支持間隔を求める。</p> <p>②配管の自重は、配管自体の重量と内部流体の重量とを合計した値とする。さらに、保温材ありの配管についてはその重量を考慮する。また、高エネルギー配管は別途二次応力として熱応力（100MPa）を考慮する。</p> <p>3. 地震力</p> <p>解析に使用する地震力（(1/3) Sd）は表1のとおりである。なお、減衰の設定において、保温材の効果は考慮している。</p> <p style="text-align: center;">表1 地震力の種類例</p> <table border="1" data-bbox="1290 560 1850 858"> <thead> <tr> <th>建屋</th> <th>床応答曲線高さ T.P. (m)</th> <th>減衰(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">周辺補機棟 (RE/B)</td> <td>低:17.8、24.8、33.1</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>高:17.8、24.8、33.1</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱棟 (FH/B)</td> <td>低:41.0、47.6、55.0</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉補助建屋 (A/B)</td> <td>低:10.3、17.8、24.8、33.1、38.1、40.3、42.2、43.3、47.6</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>高:10.3、17.8、24.8、33.1</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>ディーゼル発電機建屋 (DG/B)</td> <td>低:10.3、18.8</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> <tr> <td>循環水ポンプ建屋 (CWF/B)</td> <td>低:10.05</td> <td>0.5、2.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>低:低エネルギー配管、高:高エネルギー（補助蒸気）配管</p>	建屋	床応答曲線高さ T.P. (m)	減衰(%)	周辺補機棟 (RE/B)	低:17.8、24.8、33.1	0.5、2.0	高:17.8、24.8、33.1	1.5	燃料取扱棟 (FH/B)	低:41.0、47.6、55.0	0.5、2.0	原子炉補助建屋 (A/B)	低:10.3、17.8、24.8、33.1、38.1、40.3、42.2、43.3、47.6	0.5、2.0	高:10.3、17.8、24.8、33.1	1.5	ディーゼル発電機建屋 (DG/B)	低:10.3、18.8	0.5、2.0	循環水ポンプ建屋 (CWF/B)	低:10.05	0.5、2.0	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載表現の相違</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 プラント設計による建屋名称、床応答曲線高さ、減衰の相違。</p>
建屋	床応答曲線高さ E.L.+(m)	減衰(%)																																																											
原子炉	低:17.1、26.0、33.6、47.3	0.5、2.0																																																											
周辺建屋	高:33.6~17.1、33.6	0.5、1.5、3.0																																																											
制御建屋	低:11.5、15.8、21.3、26.1、33.6	0.5、2.0																																																											
	高:33.6~15.8、33.6	0.5、1.5、3.0																																																											
建屋	床応答曲線高さ T.P. (m)	減衰(%)																																																											
周辺補機棟 (RE/B)	低:17.8、24.8、33.1	0.5、2.0																																																											
	高:17.8、24.8、33.1	1.5																																																											
燃料取扱棟 (FH/B)	低:41.0、47.6、55.0	0.5、2.0																																																											
原子炉補助建屋 (A/B)	低:10.3、17.8、24.8、33.1、38.1、40.3、42.2、43.3、47.6	0.5、2.0																																																											
	高:10.3、17.8、24.8、33.1	1.5																																																											
ディーゼル発電機建屋 (DG/B)	低:10.3、18.8	0.5、2.0																																																											
循環水ポンプ建屋 (CWF/B)	低:10.05	0.5、2.0																																																											
建屋	床応答曲線高さ T.P. (m)	減衰(%)																																																											
周辺補機棟 (RE/B)	低:17.8、24.8、33.1	0.5、2.0																																																											
	高:17.8、24.8、33.1	1.5																																																											
燃料取扱棟 (FH/B)	低:41.0、47.6、55.0	0.5、2.0																																																											
原子炉補助建屋 (A/B)	低:10.3、17.8、24.8、33.1、38.1、40.3、42.2、43.3、47.6	0.5、2.0																																																											
	高:10.3、17.8、24.8、33.1	1.5																																																											
ディーゼル発電機建屋 (DG/B)	低:10.3、18.8	0.5、2.0																																																											
循環水ポンプ建屋 (CWF/B)	低:10.05	0.5、2.0																																																											
<p>4. 評価手順</p> <p>一次応力のうち標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順を以下の図6に示す。</p>		<p>4. 評価手順</p> <p>一次応力のうち標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順を以下の図2に示す。</p>	<p>【大阪】 記載表現の相違</p>																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料13）

大飯発電所3号炉

設計用応答曲線

入力地震動	(1/3)Sd [®]
減衰	EAG等の値
床応答曲線階高	耐震設計と同じ
床応答曲線谷埋め	有
床応答曲線ピーク保持	有
NS-EV包絡	有

※スペクトル波と断層波を包絡

INPUT

標準支持間隔算出プログラム
解析コード「SPAN」

INPUT

応力制限 0.8Sa, 0.4Sa
(溢水ガイド 別冊書A)

OUTPUT

新標準支持間隔表		旧標準支持間隔表	
階高	EL. Cm	EL. Cm	EL. Cm
仕様	○, Cm (○MPa)	○, Cm (○MPa)	○, Cm (○MPa)
...			

比較

施工図

図6 標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順

5. 参考文献
 原子力規制委員会ホームページ「電源開発株式会社大間原子力発電所第1号機の工事計画認可申請に係る意見聴取会（機器・配管系）（第2回）意見反映版 資料4 機器・配管系の設計用減衰定数について」
<http://www.nsr.go.jp/archive/nisa/shingikai/800/6/002/4.pdf>

女川原子力発電所2号炉

図2 標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順

5. 参考文献
 「電源開発株式会社大間原子力発電所第1号機の工事計画認可申請に係る意見聴取会（機器・配管系）（第2回）意見反映版資料4 機器・配管系の設計用減衰定数について（改2）」

泊発電所3号炉

設計用応答曲線

入力地震動	(1/3) Sd
減衰	圧縮等の値
床応答曲線階高	耐震設計と同じ
床応答曲線谷埋め	有
床応答曲線ピーク保持	有
NS-EV包絡	有

※スペクトル中波と断層波を包絡

INPUT

標準支持間隔算出プログラム
解析コード「SPAN」

INPUT

応力制限 0.8Sa, 0.4Sa
(溢水ガイド 付属書A)

OUTPUT

新標準支持間隔表		旧標準支持間隔表	
階高	T.P. Cm	T.P. Cm	T.P. Cm
仕様	○, Cm (○MPa)	○, Cm (○MPa)	○, Cm (○MPa)
...			

比較

施工図

図2 標準支持間隔法を用いた具体的な評価手順

5. 参考文献
 「電源開発株式会社大間原子力発電所第1号機の工事計画認可申請に係る意見聴取会（機器・配管系）（第2回）意見反映版資料4 機器・配管系の設計用減衰定数について（改2）」

相違理由

【大飯】
 記載表現の相違

【大飯】
 記載方針の相違

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1 添付資料14）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">補足資料 3-3（別紙2）</p> <p>低エネルギー配管の破損形状の設定</p> <p>1. 概要</p> <p>配管破損を想定する系統の低エネルギー配管について、溢水ガイド附属書A の低エネルギー配管の評価対象（25A 以上）に対し、許容応力の0.4 倍を超える場合は貫通クラックを想定する旨の記載にしたがって評価している。</p> <p>本資料は低エネルギー配管の応力評価とその結果についてとりまとめたものである。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 15</p> <p>低エネルギー配管の想定破損除外について</p> <p>1. 評価対象配管</p> <p>想定破損除外の適用（応力評価）を実施する対象配管を表1に示す。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 14</p> <p>低エネルギー配管の想定破損除外について</p> <p>1. 評価対象配管</p> <p>想定破損除外の適用（応力評価）を実施する対象配管を表1に示す。</p>	<p>【女川・大阪】</p> <p><u>記載表現の相違</u></p> <p>【大阪】</p> <p><u>記載方針の相違</u></p> <p>女川審査実績を反映し、応力評価を実施する配管を抽出した上で応力評価結果を記載する方針とする。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料14）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																												
<p>補足資料3-2</p> <p>表1 低エネルギー配管を有する系統の抽出結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>系統</th> <th>対象範囲における使用条件</th> <th>運転時間割合^{※1}</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉補機冷却系</td> <td>運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>格納容器 スプレイ系^{※1}</td> <td>運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃</td> <td><1%</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系</td> <td>運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>冷水系</td> <td>運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系洗浄水系</td> <td>運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系放射性下レン系（機器ドレン）</td> <td>運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系放射性下レン系（床ドレン）</td> <td>運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>消火水系</td> <td>運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1次系補給水系</td> <td>運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系^{※1}</td> <td>運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 17℃以下</td> <td><1%</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水系</td> <td>運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料ピット冷却 浄化系</td> <td>運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>安全注入系^{※1}</td> <td>運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃</td> <td><1%</td> </tr> <tr> <td>海水系</td> <td>運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>液体廃棄物処理系</td> <td>運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>固体廃棄物処理系</td> <td>運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>補助給水系^{※1}</td> <td>運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃</td> <td><1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 通常運転時に高エネルギー状態にある運転期間が短時間であるため低エネルギー配管とした系統</p> <p>※2 運転時間割合のうち、通常運転時の運転時間については、毎月のサーベイランスの運転時間実績で評価した。格納容器スプレイ系、安全注入系及び補助給水系は事故時に動作する系統であり、定検時の調整運転等を考慮しても通常運転時に比べ十分短く、また、余熱除去ポンプの定検期間の運転時間も十分短いため、サーベイランスで代表しても評価に影響しない。</p>	系統	対象範囲における使用条件	運転時間割合 ^{※1}	原子炉補機冷却系	運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃	—	格納容器 スプレイ系 ^{※1}	運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%	化学体積制御系	運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃	—	冷水系	運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃	—	1次系洗浄水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—	1次系放射性下レン系（機器ドレン）	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—	1次系放射性下レン系（床ドレン）	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—	消火水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—	1次系補給水系	運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃	—	余熱除去系 ^{※1}	運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 17℃以下	<1%	燃料取替用水系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—	燃料ピット冷却 浄化系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—	安全注入系 ^{※1}	運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%	海水系	運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃	—	液体廃棄物処理系	運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃	—	固体廃棄物処理系	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—	補助給水系 ^{※1}	運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃	<1%	<p>表1 低エネルギー配管の想定破損除外を適用する対象配管</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置エリア</th> <th rowspan="2">区画番号</th> <th rowspan="2">対象系統</th> <th colspan="2">対象配管</th> <th rowspan="2">材質</th> </tr> <tr> <th>ライン番号</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">原子炉建屋 原子炉棟</td> <td>R-2F-1-1</td> <td>HNCW</td> <td>50A-HNCW-41</td> <td></td> <td>STPG38</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R-B3F-3</td> <td rowspan="3">RHR (A)</td> <td>350A-RHR-2-1</td> <td></td> <td rowspan="3">STS42</td> </tr> <tr> <td>100A-RHR-24-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>100A-RHR-33</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-6</td> <td rowspan="2">RHR (B)</td> <td>350A-RHR-4-1</td> <td></td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>100A-RHR-25-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R-B3F-7</td> <td rowspan="3">RHR (C)</td> <td>350A-RHR-6-1</td> <td></td> <td rowspan="3">STS42</td> </tr> <tr> <td>300A-RHR-6-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>100A-RHR-26-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-4</td> <td rowspan="2">LPCS</td> <td>300A-LPCS-2-1</td> <td></td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>50A-LPCS-7</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-5</td> <td rowspan="2">HPCS</td> <td>300A-HPCS-2-1</td> <td></td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>100A-HPCS-6-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R-B3F-2</td> <td rowspan="2">RCIC</td> <td>100A-RCIC-3-1</td> <td></td> <td rowspan="2">STS42</td> </tr> <tr> <td>50A-RCIC-5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	設置エリア	区画番号	対象系統	対象配管		材質	ライン番号		原子炉建屋 原子炉棟	R-2F-1-1	HNCW	50A-HNCW-41		STPG38	R-B3F-3	RHR (A)	350A-RHR-2-1		STS42	100A-RHR-24-1		100A-RHR-33		R-B3F-6	RHR (B)	350A-RHR-4-1		STS42	100A-RHR-25-1		R-B3F-7	RHR (C)	350A-RHR-6-1		STS42	300A-RHR-6-2		100A-RHR-26-1		R-B3F-4	LPCS	300A-LPCS-2-1		STS42	50A-LPCS-7		R-B3F-5	HPCS	300A-HPCS-2-1		STS42	100A-HPCS-6-1		R-B3F-2	RCIC	100A-RCIC-3-1		STS42	50A-RCIC-5		<p>表1 低エネルギー配管の想定破損除外を適用する対象配管 (1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象配管</th> <th colspan="4">設置エリア</th> <th rowspan="2">材質</th> </tr> <tr> <th>原子炉建屋</th> <th>原子炉補助建屋</th> <th>循環水ポンプ建屋</th> <th>ディーゼル発電機建屋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1次冷却系配管</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系（充てん）配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系（抽出）配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>化学体積制御系（その他）配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>安全注入系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>余熱除去系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器スプレイ系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS316TP</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>STPG370 SM400A STPT370</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水浄化冷却系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却海水系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>STPG370 STPV400 SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>液体廃棄物処理系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP SUS316LTP SUS316LTP SUS316TP</td> </tr> <tr> <td>固体廃棄物処理系配管</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>試料採取系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP SUS316TP</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水系配管</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給水系配管（脱塩水）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP SUS316TP</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給水系配管（海水）</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> </tbody> </table>	対象配管	設置エリア				材質	原子炉建屋	原子炉補助建屋	循環水ポンプ建屋	ディーゼル発電機建屋	1次冷却系配管	○	—	—	—	SUS304TP	化学体積制御系（充てん）配管	○	○	—	—	SUS304TP	化学体積制御系（抽出）配管	○	○	—	—	SUS304TP	化学体積制御系（その他）配管	○	○	—	—	SUS304TP	安全注入系配管	○	○	—	—	SUS304TP	余熱除去系配管	○	○	—	—	SUS304TP	原子炉格納容器スプレイ系配管	○	○	—	—	SUS316TP	原子炉補機冷却水系配管	○	○	—	—	STPG370 SM400A STPT370	使用済燃料ピット水浄化冷却系配管	○	○	—	—	SUS304TP	原子炉補機冷却海水系配管	○	○	○	○	STPG370 STPV400 SUS304TP	液体廃棄物処理系配管	○	○	—	—	SUS304TP SUS316LTP SUS316LTP SUS316TP	固体廃棄物処理系配管	—	○	—	—	SUS304TP	試料採取系配管	○	○	—	—	SUS304TP SUS316TP	燃料取替用水系配管	○	—	—	—	SUS304TP	原子炉補給水系配管（脱塩水）	○	○	—	—	SUS304TP SUS316TP	原子炉補給水系配管（海水）	○	○	—	—	SUS304TP	<p>【女川】</p> <p>記載表現の相違</p> <p>設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川では、想定破損除外のために3次元はモデル解析を実施する配管を抽出し、当該配管の溢水防護区画番号及びライン番号を記載している。 ・泊では、原則として標準支持間隔法を用いた応力評価を実施するため個別配管の溢水防護区画番号及びライン番号を特定する必要はない。（大飯と同様） ・設置エリア名称、材質については、プラント設計による相違。 ・泊では低エネルギー配管に対しては、大飯と同様に原則として標準支持間隔法を用いて建屋内の対象系統が想定破損除外できることを確認しており、対象系統によっては、複数の建屋に配管が設置されているため、系統と建屋を星取表の形で記載する。 <p>【大飯】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川の審査実績を反映し、想定破損除外を適用する系統、設置エリア、材質を表で読み取れるように記載する。</p>
系統	対象範囲における使用条件	運転時間割合 ^{※1}																																																																																																																																																																																																																													
原子炉補機冷却系	運転圧力：約 0.88～0.94MPa 運転温度：約 14～32℃	—																																																																																																																																																																																																																													
格納容器 スプレイ系 ^{※1}	運転圧力：約 2.0MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%																																																																																																																																																																																																																													
化学体積制御系	運転圧力：約 0.14MPa 運転温度：約 28～39℃	—																																																																																																																																																																																																																													
冷水系	運転圧力：約 0.85MPa 運転温度：約 5℃	—																																																																																																																																																																																																																													
1次系洗浄水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																													
1次系放射性下レン系（機器ドレン）	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																													
1次系放射性下レン系（床ドレン）	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																													
消火水系	運転圧力：約 1.0MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																													
1次系補給水系	運転圧力：約 1.1MPa 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																													
余熱除去系 ^{※1}	運転圧力：約 2.9MPa以下 運転温度：約 17℃以下	<1%																																																																																																																																																																																																																													
燃料取替用水系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—																																																																																																																																																																																																																													
燃料ピット冷却 浄化系	運転圧力：約 0.8MPa 運転温度：約 19～36℃	—																																																																																																																																																																																																																													
安全注入系 ^{※1}	運転圧力：約 15.2MPa 運転温度：約 22～29℃	<1%																																																																																																																																																																																																																													
海水系	運転圧力：約 0.45MPa 運転温度：約 10～30℃	—																																																																																																																																																																																																																													
液体廃棄物処理系	運転圧力：約 19～47kPa 運転温度：約 105～111℃	—																																																																																																																																																																																																																													
固体廃棄物処理系	運転圧力：大気圧 運転温度：約 27℃	—																																																																																																																																																																																																																													
補助給水系 ^{※1}	運転圧力：約 10.7～12.1MPa 運転温度：約 21～29℃	<1%																																																																																																																																																																																																																													
設置エリア	区画番号	対象系統	対象配管		材質																																																																																																																																																																																																																										
			ライン番号																																																																																																																																																																																																																												
原子炉建屋 原子炉棟	R-2F-1-1	HNCW	50A-HNCW-41		STPG38																																																																																																																																																																																																																										
	R-B3F-3	RHR (A)	350A-RHR-2-1		STS42																																																																																																																																																																																																																										
			100A-RHR-24-1																																																																																																																																																																																																																												
			100A-RHR-33																																																																																																																																																																																																																												
	R-B3F-6	RHR (B)	350A-RHR-4-1		STS42																																																																																																																																																																																																																										
			100A-RHR-25-1																																																																																																																																																																																																																												
	R-B3F-7	RHR (C)	350A-RHR-6-1		STS42																																																																																																																																																																																																																										
			300A-RHR-6-2																																																																																																																																																																																																																												
			100A-RHR-26-1																																																																																																																																																																																																																												
	R-B3F-4	LPCS	300A-LPCS-2-1		STS42																																																																																																																																																																																																																										
50A-LPCS-7																																																																																																																																																																																																																															
R-B3F-5	HPCS	300A-HPCS-2-1		STS42																																																																																																																																																																																																																											
		100A-HPCS-6-1																																																																																																																																																																																																																													
R-B3F-2	RCIC	100A-RCIC-3-1		STS42																																																																																																																																																																																																																											
		50A-RCIC-5																																																																																																																																																																																																																													
対象配管	設置エリア				材質																																																																																																																																																																																																																										
	原子炉建屋	原子炉補助建屋	循環水ポンプ建屋	ディーゼル発電機建屋																																																																																																																																																																																																																											
1次冷却系配管	○	—	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																										
化学体積制御系（充てん）配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																										
化学体積制御系（抽出）配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																										
化学体積制御系（その他）配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																										
安全注入系配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																										
余熱除去系配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																										
原子炉格納容器スプレイ系配管	○	○	—	—	SUS316TP																																																																																																																																																																																																																										
原子炉補機冷却水系配管	○	○	—	—	STPG370 SM400A STPT370																																																																																																																																																																																																																										
使用済燃料ピット水浄化冷却系配管	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																										
原子炉補機冷却海水系配管	○	○	○	○	STPG370 STPV400 SUS304TP																																																																																																																																																																																																																										
液体廃棄物処理系配管	○	○	—	—	SUS304TP SUS316LTP SUS316LTP SUS316TP																																																																																																																																																																																																																										
固体廃棄物処理系配管	—	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																										
試料採取系配管	○	○	—	—	SUS304TP SUS316TP																																																																																																																																																																																																																										
燃料取替用水系配管	○	—	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																										
原子炉補給水系配管（脱塩水）	○	○	—	—	SUS304TP SUS316TP																																																																																																																																																																																																																										
原子炉補給水系配管（海水）	○	○	—	—	SUS304TP																																																																																																																																																																																																																										

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
		表1 低エネルギー配管の想定破損除外を適用する対象配管 (2/2)	【女川】 記載表現の相違 設計方針の相違																																																																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象配管</th> <th colspan="4">設置エリア</th> <th rowspan="2">材質</th> </tr> <tr> <th>原子炉 建屋</th> <th>原子炉 補助建屋</th> <th>循環水 ポンプ 建屋</th> <th>ディーゼル 発電機 建屋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助蒸気系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>水消火系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>地下水排水系配管</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>飲料水系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>空調用冷水系配管</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>補助給水系配管</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>所内用水系配管</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>SUS304TP</td> </tr> <tr> <td>海水電解装置海水供給・注入 系配管</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>SUS304TP STPG370</td> </tr> <tr> <td>海水ストレージ排水系配管</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>海水淡水化設備配管</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>○</td> <td>—</td> <td>SGP</td> </tr> </tbody> </table>	対象配管	設置エリア				材質	原子炉 建屋	原子炉 補助建屋	循環水 ポンプ 建屋	ディーゼル 発電機 建屋	補助蒸気系配管	○	○	—	—	STPG370	水消火系配管	○	○	—	○	STPG370	地下水排水系配管	—	○	—	—	STPG370	飲料水系配管	○	○	—	—	STPG370	空調用冷水系配管	○	○	—	—	STPG370	補助給水系配管	○	—	—	—	SUS304TP	所内用水系配管	—	—	○	—	SUS304TP	海水電解装置海水供給・注入 系配管	—	—	○	—	SUS304TP STPG370	海水ストレージ排水系配管	—	—	○	—	STPG370	海水淡水化設備配管	—	—	○	—	SGP	・女川では、想定破損除外のために3次元はモデル解析を実施する配管を抽出し、当該配管の溢水防護区画番号及びライン番号を記載している。 ・泊では、原則として標準支持間隔法を用いた応力評価を実施するため個別配管の溢水防護区画番号及びライン番号を特定する必要はない。(大飯と同様)
対象配管	設置エリア				材質																																																																				
	原子炉 建屋	原子炉 補助建屋	循環水 ポンプ 建屋	ディーゼル 発電機 建屋																																																																					
補助蒸気系配管	○	○	—	—	STPG370																																																																				
水消火系配管	○	○	—	○	STPG370																																																																				
地下水排水系配管	—	○	—	—	STPG370																																																																				
飲料水系配管	○	○	—	—	STPG370																																																																				
空調用冷水系配管	○	○	—	—	STPG370																																																																				
補助給水系配管	○	—	—	—	SUS304TP																																																																				
所内用水系配管	—	—	○	—	SUS304TP																																																																				
海水電解装置海水供給・注入 系配管	—	—	○	—	SUS304TP STPG370																																																																				
海水ストレージ排水系配管	—	—	○	—	STPG370																																																																				
海水淡水化設備配管	—	—	○	—	SGP																																																																				
			・設置エリア名称、材質については、プラント設計による相違。 ・泊では低エネルギー配管に対しては、大飯と同様に原則として標準支持間隔法を用いて建屋内の対象系統が想定破損除外できることを確認しており、対象系統によっては、複数の建屋に配管が設置されているため、系統と建屋を星取表の形で記載する。																																																																						

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3.1. 評価方法</p> <p>溢水ガイド附属書Aにしたがい、供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により S_n（一次応力+二次応力）を算出し、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた S_a（許容応力）との比較により破損形状を設定する。</p> <p>支持間隔に対する一次応力の算出、一次応力に対する支持間隔の算出については、標準支持間隔のモデルによるものとし（詳細は、「別紙3 標準支持間隔法による一次応力評価」を参照）、必要に応じて3次元はりモデル解析を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> $b. S_n = \frac{P_m D_o}{4t} + \frac{0.75 I_1 (M_a + M_b) + I_2 M_c}{Z}$ <p>S_n : 一次応力と二次応力を加えて求めた応力 (MPa) I_1, I_2 : 応力係数 M_c : 管の熱による支持点の変位及び熱膨張により生ずるモーメント (N・mm) P_m : 内面に受ける最高の圧力 (MPa) M_b : 管の機械的荷重(逃し弁又は安全弁の吹出し反力その他の短期的荷重に限る)により生ずるモーメント (N・mm) D_o : 管の外径 (mm) t : 管の厚さ (mm) M_a : 管の機械的荷重(自重その他の長期荷重に限る)により生ずるモーメント (N・mm)</p> $d. S_a = 1.25 f S_c + (1.2 + 0.25 f) S_b$ <p>S_a : 許容応力 (MPa) f : 許容応力低減係数 S_c : 室温における材料の許容引張応力 (MPa) S_b : 使用温度における材料の許容引張応力 (MPa)</p> <p style="text-align: right;">設計・建設規格 PPC-3530(1) 抜粋</p> </div>	<p>2. 評価方法</p> <p>表1に記載している配管はクラス2又は非安全系の配管であることから、溢水ガイド附属書Aのクラス2、3又は非安全系の配管に適用される計算式により応力評価を実施し、評価条件を満足することを確認する。</p> <p>供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により計算した（一次応力+二次応力）S_nが、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた許容応力 S_a の0.4倍以下であることを確認する。</p> <p>(1) S_a の算出</p> <p>設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式から算出する。 $S_a = 1.25 f S_c + (1.2 + 0.25 f) S_b \cdots \text{①式}$ S_a : 許容応力 f : 許容応力低減係数 (=1.0) (設計・建設規格 2005 解説より)</p> <p>7000回は約20年間毎日温度変化サイクルがあることを意味しており、通常の系では7000回以下と考えられる。 本系統においては毎日において有意な温度変化は受けないため、表2より、応力低減係数を1.0とした。</p>	<p>2. 評価方法</p> <p>表1に記載している配管はクラス2、3又は非安全系の配管であることから、溢水ガイド附属書Aのクラス2、3又は非安全系の配管に適用される計算式により応力評価を実施し、評価条件を満足することを確認する。</p> <p>供用状態A、B及び(1/3)Sd地震荷重に対して設計・建設規格 PPC-3530(1)b. の計算式により計算した（一次応力+二次応力）S_nが、設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式により求めた許容応力 S_a の0.4倍以下であることを確認する。</p> <p>支持間隔に対する一次応力の算出、一次応力に対する支持間隔の算出については、標準支持間隔のモデルによるものとし（詳細は、「添付資料13 高エネルギー配管の想定破損除外又は貫通クラックについて」の「別紙 標準支持間隔法による一次応力評価」を参照）、必要に応じて3次元はりモデル解析を行う。</p> <p>(1) S_a の算出</p> <p>設計・建設規格 PPC-3530(1)d. の計算式から算出する。 $S_a = 1.25 f S_c + (1.2 + 0.25 f) S_b \cdots \text{①式}$ S_a : 許容応力 f : 許容応力低減係数 (=1.0) (設計・建設規格 2005 解説より)</p> <p>7,000回は約20年間毎日温度変化サイクルがあることを意味しており、通常の系では7,000回以下と考えられる。 本系統においては毎日において有意な温度変化は受けないため、表2より、応力低減係数を1.0とした。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊は想定破損除外の対象となる低エネルギー配管にクラス3配管が含まれていることによる相違。 (大飯と同様)</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【女川】 設計方針の相違 泊では、大飯と同様に原則標準支持間隔法を用いて応力評価を実施している。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・女川審査実績を反映し、S_nの算出については記載しない。S_nを算出しているという点において、泊、女川と相違はない。 ・女川審査実績を反映し、S_cとS_bについての説明は後述する。 記載表現の相違</p> <p>【女川】 記載表現の相違</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
	<p>表2 許容応力低減係数（設計・建設規格 PPC-3530 より抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="779 209 1189 368"> <thead> <tr> <th>温度変化サイクル数</th> <th>fの値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,000未満</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>7,000以上14,000未満</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>14,000以上22,000未満</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>22,000以上45,000未満</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>45,000以上100,000未満</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>100,000以上</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>Sc：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の室温における許容引張応力（STPG38=93MPa, STS42=103MPa） Sh：設計・建設規格付録材料図表 Part 5 に規定する材料の使用温度における許容引張応力（STPG38=93MPa, STS42=103MPa）</p> <p>①式に上記の値（STPG38 の場合）を代入し、Saを算出すると、 $Sa = 1.25 \times 1.0 \times 93 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 93$ $= 251.1 \rightarrow 251$（小数点以下を切り捨て）</p> <p>したがって、$0.4Sa = 0.4 \times 251 = 100.4 \rightarrow 100$ (MPa)（小数点以下を切り捨て）となる。</p>	温度変化サイクル数	fの値	7,000未満	1.0	7,000以上14,000未満	0.9	14,000以上22,000未満	0.8	22,000以上45,000未満	0.7	45,000以上100,000未満	0.6	100,000以上	0.5	<p>表2 許容応力低減係数（設計・建設規格 PPC-3530 より抜粋）</p> <table border="1" data-bbox="1384 209 1749 368"> <thead> <tr> <th>温度変化サイクル数</th> <th>fの値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,000未満</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>7,000以上14,000未満</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>14,000以上22,000未満</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>22,000以上45,000未満</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>45,000以上100,000未満</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>100,000以上</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>Sc：設計・建設規格付録材料図表 Part5 に規定する材料の室温における許容引張応力（STPG370=79MPa, SUS304TP=103MPa） Sh：設計・建設規格付録材料図表 Part5 に規定する材料の使用温度における許容引張応力（STPG370=79MPa, SUS304TP=97MPa）</p> <p>①式に上記の値（STPG370 の場合）を代入し、Saを算出すると、 $Sa = 1.25 \times 1.0 \times 79 + (1.2 + 0.25 \times 1.0) \times 79$ $= 98.75 + 114.55$ $= 98 + 114$（小数点以下を切り捨て）$= 212$</p> <p>したがって、$0.4Sa = 0.4 \times 212 = 84.8 \rightarrow 84$ (MPa)（小数点以下を切り捨て）となる。</p>	温度変化サイクル数	fの値	7,000未満	1.0	7,000以上14,000未満	0.9	14,000以上22,000未満	0.8	22,000以上45,000未満	0.7	45,000以上100,000未満	0.6	100,000以上	0.5	<p>相違理由</p> <p>【女川】 設計方針の相違 ・プラント設計による材質の相違。 ・泊では、各項の計算結果に対して小数点以下の切り捨てを実施している。各項において切り捨てを実施するほうが、許容応力が小さくなるため保守的である。（大飯と同様）</p>
温度変化サイクル数	fの値																														
7,000未満	1.0																														
7,000以上14,000未満	0.9																														
14,000以上22,000未満	0.8																														
22,000以上45,000未満	0.7																														
45,000以上100,000未満	0.6																														
100,000以上	0.5																														
温度変化サイクル数	fの値																														
7,000未満	1.0																														
7,000以上14,000未満	0.9																														
14,000以上22,000未満	0.8																														
22,000以上45,000未満	0.7																														
45,000以上100,000未満	0.6																														
100,000以上	0.5																														

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
	<p>3. 実評価の流れ</p> <p>表1に示す低エネルギー配管の想定破損除外を適用する溢水防護区画内の配管系について3次元梁モデルを構築し、解析により発生応力を算出する。</p> <p>表3に解析条件を示す。</p> <p>(1) 系統条件</p> <p style="text-align: center;">表3 解析条件</p> <table border="1" data-bbox="703 699 1265 855"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HNCW</td> <td>66</td> <td>1.28</td> </tr> <tr> <td>RHR</td> <td>196^{※1}</td> <td>3.73</td> </tr> <tr> <td>LPCS</td> <td>100</td> <td>4.42</td> </tr> <tr> <td>HPCS</td> <td>100</td> <td>10.79</td> </tr> <tr> <td>RCIC</td> <td>66</td> <td>11.78</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 RHR(A),(B)系については、S/C吸込弁が「閉」となっている運転モードを除いた場合のRHR(A),(B)系の最高使用温度となる100°Cで評価を実施した。</p> <p>(2) 地震条件</p> <p>弾性設計用地震動Sdの1/3を入力とし、水平及び鉛直地震動を考慮し、スペクトルモーダル解析にて応力を算出する。</p>	対象系統	最高使用温度 (°C)	最高使用圧力 (MPa)	HNCW	66	1.28	RHR	196 ^{※1}	3.73	LPCS	100	4.42	HPCS	100	10.79	RCIC	66	11.78	<p>3. 実評価の流れ</p> <p>表1に示す低エネルギー配管の想定破損除外を適用する溢水防護区画内の配管系について、標準支持間隔法又は3次元はりモデル解析により発生応力を算出する。</p> <p>表3に解析条件を示す。</p> <p>(1) 系統条件</p> <p style="text-align: center;">表3 解析条件</p> <table border="1" data-bbox="1285 743 1848 842"> <thead> <tr> <th>対象系統</th> <th>最高使用温度 (°C)</th> <th>最高使用圧力 (MPa)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>低エネルギー配管 全系統</td> <td>95^{※1}</td> <td>1.9^{※1}</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 低エネルギー配管の上限値</p> <p>(2) 地震条件</p> <p>弾性設計用地震動Sdの1/3を入力とし、水平及び鉛直地震動を考慮し、スペクトルモーダル解析にて応力を算出する。</p>	対象系統	最高使用温度 (°C)	最高使用圧力 (MPa)	低エネルギー配管 全系統	95 ^{※1}	1.9 ^{※1}	<p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では標準支持間隔法により発生応力が最も高くなるものを代表ブロックとして抽出し、代表ブロックに対して、3次元はりモデル解析による確認を実施している。また、代表ブロック以外の系統については、標準支持間隔法により評価を実施し、許容応力を満足しない場合は、3次元はりモデル解析による確認を実施する評価フローとなっている。(大飯と同様)</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>泊では、全ての低エネルギー配管に対して、低エネルギー配管の上限値である温度及び圧力を設定して解析を行っている。(大飯と同様)</p>
対象系統	最高使用温度 (°C)	最高使用圧力 (MPa)																									
HNCW	66	1.28																									
RHR	196 ^{※1}	3.73																									
LPCS	100	4.42																									
HPCS	100	10.79																									
RCIC	66	11.78																									
対象系統	最高使用温度 (°C)	最高使用圧力 (MPa)																									
低エネルギー配管 全系統	95 ^{※1}	1.9 ^{※1}																									

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
<p style="text-align: right;">補足資料3-3（別紙1）</p> <p>6. 標準支持間隔法に用いる SPAN コード</p> <table border="1" data-bbox="123 255 676 395"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>計算機 プログラム名 (解析コード名)</th> <th>計算機 プログラム バージョン</th> <th>製造元</th> <th>解析対象 (使用目的)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管類</td> <td>SPAN2000</td> <td>4.0</td> <td>三菱重工</td> <td>耐震最大 支持間隔算出</td> </tr> </tbody> </table> <p>【美浜3号炉】 まとめ資料 p.1-9-補-157 より抜粋</p> <table border="1" data-bbox="138 523 660 679"> <thead> <tr> <th>対象設備</th> <th>計算機 プログラム名 (解析コード名)</th> <th>計算機 プログラム バージョン</th> <th>製造元</th> <th>解析対象 (使用目的)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配管類</td> <td>SPAN2000</td> <td>4.0 5.0 6.0</td> <td>三菱重工</td> <td>耐震最大 支持間隔算出</td> </tr> </tbody> </table>	対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)	配管類	SPAN2000	4.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出	対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)	配管類	SPAN2000	4.0 5.0 6.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出	<p>(3) 解析コード</p> <p>SOLVER Rev.02.05 ISAP-III</p>	<p>(3) 解析コード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標準支持間隔法 SPAN2000 Ver.4.0 Ver.5.0 Ver.6.0 ・3次元はりモデル解析 MSAP PC1.0版 	<p>【女川】</p> <p><u>設計方針の相違</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では、原則標準支持間隔法による解析を実施しており、必要に応じて3次元はりモデル解析を実施している。（大飯と同様） ・SPANコードについては、大飯も同様にSPAN2000を用いており、美浜においては、泊と同様のVerを用いている。 ・泊でも女川と同様に3次元はりモデル解析を実施しており、「MSAP PC1.0版」を用いている。本解析コードについては、先行の資料には記載がなかったものの、メーカー確認の結果、先行PWRでは泊と同様のコードを使用していることを確認している。 <p>【大飯】</p> <p><u>記載表現の相違</u> <u>記載方針の相違</u> 女川審査実績の反映</p>
対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)																			
配管類	SPAN2000	4.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出																			
対象設備	計算機 プログラム名 (解析コード名)	計算機 プログラム バージョン	製造元	解析対象 (使用目的)																			
配管類	SPAN2000	4.0 5.0 6.0	三菱重工	耐震最大 支持間隔算出																			

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第9条 溢水による損傷の防止等（別添1添付資料14）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2. 破損形状の設定フロー</p> <p>低エネルギー配管の破損形状の評価フローは、別紙1図1「高エネルギー配管の破損形状の評価フロー」と同じである。</p> <div data-bbox="112 319 672 1197"> <p>【大飯3号炉】 まとめ資料 p.2-9-別1補-174より抜粋</p> <p>図1 高エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p> </div>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>(4) 破損形状の評価フロー</p> <p>低エネルギー配管の破損形状の評価フローを図1に示す。</p> <div data-bbox="1288 319 1848 1197"> <p>図1 低エネルギー配管の破損形状の評価フロー</p> </div>	<p>相違理由</p> <p>【女川】 <u>設計方針の相違</u> 泊は原則標準支持間隔法を用いており、必要に応じて3次元はりモデル解析を実施しているため、評価フローを記載した。(大飯と同様)</p> <p>【大飯】 <u>記載表現の相違</u> <u>記載方針の相違</u> 大飯では、低エネルギー配管の破損形状の評価フローについて、高エネルギー配管と同様としているが、実際には低エネルギー配管においては、許容応力0.4Saを満足することを確認しているため、記載を適正化している。</p>

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>3.3. 破損形状の決定</p> <p>すべての建屋、階高で配管に発生する最大応力は0.4Saを下回っていることを確認した。したがって低エネルギー配管に破損を想定する必要はないことを確認した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【島根2号炉】添付資料7「耐震B,Cクラス機器・配管系の評価について」より抜粋 p9条-別添1-添付7-10</p> <p>3. 耐震B,Cクラス配管及び配管支持構造物の耐震評価結果について</p> <p>耐震B,Cクラス配管及び配管支持構造物の基準地震動Ssに対する耐震性評価結果について表3-1に示す。</p> <p>なお、本評価結果は暫定条件を用いた評価結果であることから、正式条件を用いた評価結果は詳細設計段階で示す。</p> </div>	<p>4. 低エネルギー配管の想定破損除外の評価結果</p> <p>対象とした配管のモデル図を図1~12に、区画内における最小裕度となる箇所における応力評価結果を表4に示す。</p> <p>評価の結果、配管の応力は、$S_n \leq 0.4S_a$であり、想定破損除外を適用できることを確認した。</p>	<p>4. 低エネルギー配管の想定破損除外の評価結果</p> <p>対象とした配管のモデル図を図2に、区画内における最小裕度となる箇所における応力評価結果を表4に、低エネルギー配管を有する系統の応力評価結果を表5に示す。</p> <p>評価の結果、配管の応力は、$S_n \leq 0.4S_a$であり、想定破損除外を適用できることを確認した。</p> <p>なお、本評価結果は暫定条件を用いた評価結果であることから、正式条件を用いた評価結果は詳細設計段階で示す。</p>	<p>【大阪】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>女川審査実績を反映し、評価結果について、一次応力+二次応力Snの数値を記載した上で許容応力を満足することを記載する。</p> <p>【女川】</p> <p>設計方針の相違</p> <p>代表配管ブロックについて評価を実施した上で、それ以外の評価対象配管については、標準支持間隔法により評価を満足することを確認している。その旨を説明するために表5を作成している。</p> <p>【女川】</p> <p>記載方針の相違</p> <p>応力評価結果は基本設計段階における評価結果であり、正式な評価結果は詳細設計段階で示すことを記載している。</p>